

「青島鹵獲書籍」の復元と清末民国初における独英の対中国文化接触に関する比較研究

著者	持井 康孝, 古畑 徹, 志村 恵, 東田 雅博, 古市 大輔, 弁納 才一
雑誌名	平成19(2007)年度科学研究費補助金 基盤研究(B) 研究成果報告書
巻	2005-2007
ページ	554p.
発行年	2009-03-01
URL	http://hdl.handle.net/2297/46621

「青島鹵獲書籍」の復元と清末民國初における
獨英の對中國文化接觸に關する比較研究

Corpus of “Books from German Tsing-tao”,
including comparative study on intercultural contact
between China and Germany and Britain respectively in the modern period.

(課題番號: 17320091)

平成17年度-平成19年度科學研究費補助金

(基盤研究(B) 一般)

研究成果報告書

平成21(2009)年3月

研究代表者

持井 康孝

(金澤大學文學部教授)

Yasutaka MOCHII

Faculty of Letters, Kanazawa University

金沢大学附属図書館



1300-05143-4

「青島鹵獲書籍」の復元と清末民國初における
獨英の對中國文化接觸に關する比較研究
Corpus of “Books from German Tsing-tao”,
including comparative study on intercultural contact
between China and Germany and Britain respectively in the modern period.

(課題番號: 17320091)

平成17年度-平成19年度科學研究費補助金
(基盤研究(B) 一般)
研究成果報告書

平成21(2009)年3月

研究代表者

持井 康孝

(金澤大學文學部教授)

Yasutaka MOCHII

Faculty of Letters, Kanazawa University

著 者 寄 贈

目 次

【はしがき】	ii-iii 頁
【研究組織】	iv 頁
【交付決定額(配分額)】	iv 頁
【研究発表】	iv 頁
●ドイツ租借期青島旧蔵書籍の現蔵機関及びその概況 志村 恵	1-14 頁
●獨逸租借期青島舊蔵書籍在日現蔵概況・豫備調査簡報 持井康孝, 古市大輔, Sylke U. Scherrmann	15-554 頁

【はしがき】

當調査・研究事業の目的は如下2項から成り、その第1は、日本全國の高等教育機關等に分散所蔵されている“青島舊蔵書籍”の全體像を把握・公表することに在る。又、その第2は、當該作業を通じて、青島に於るドイツ租借地の文化情況や中國との接觸情況、竝に獨逸の對中國文化政策を明らかにすると共に、當該租借地に於る諸情況を、例えば上海に代表されるが如きイギリスをその主勢力とする他の在華租借地に於る諸情況と比較することにより、新・舊帝國主義國家の對中國文化接觸の在り方、竝にそれに對する中國側對應の異同如何を解明するための基礎を構築することである。

青島獨逸租借地に原蔵され、その後、に於る青島守備軍の接收を経て、日本の高等教育機關等々に配分された“青島舊蔵書籍”に關しては、如下の作業を行なった。

- ①日本全國の高等教育機關等々に現蔵される當該書籍及び配分關聯文書の概況調査。
- ②箇々の書冊に關る書誌情報に就ての簡査、青島に於る原蔵狀況、青島守備軍による配分狀況、及び現蔵機關に於る所蔵狀況等々に關る諸情報の収集・整理。
- ③青島守備軍側が、獨逸側既製書目に對する増補形態乃至は油印本形態で獨自に作製した接收書目4種を活字化することに努め、このうちの油印本形態のもの3種に就ては、當報告書提出期限(含猶予期間10箇月)迄に全て公表すると共に、獨逸側既製書目に對する増補形態のものに就ても、未校了ながら當報告書中に収録した。即ち、後掲“●獨逸租借期青島舊蔵書籍在日現蔵概況・豫備調査簡報”の臺帳前半部を占めるものがそれである。
- ④最後に、②及び③の成果を結合し、青島守備軍接收書籍の配布先とその現蔵に就ての概況を一覽表の形で提示した。後掲“●獨逸租借期青島舊蔵書籍在日現蔵概況・豫備調査簡報”がそれである。

他方、青島や上海の租借地に於る文化接觸や文化政策に就ての比較検討を試みる“獨・英の對中國文化接觸”の研究に關しては、如下の作業を行なった。

- ①青島・上海を始めとする在華租借地に關する記載を含むマイクロフィルム資料の収集・整理。
- ②當該フィルム資料の電子情報化竝に當該租借地内部及びその周邊地域に於る文化・社會・經濟政策に關する情報の抽出、及び當該地域に於る歴史やイギリスの對中國政策に關る中國側諸文獻の分析。

既公表の成果は後掲“【研究発表】”の如くである。當報告書提出期限(含猶予期間10箇月)内ということであれば、これに如下1篇が加わる。斯る成果諸篇に就ては、當報告書に於ては、紙幅の都合に因り、そ
・持井康孝・古市大輔・Sylke U. Scherrmann: 獨逸租借期青島所蔵書籍目録: II, III, “金澤大學歴史言語文化學系論集 史學・考古學篇”, 1, 2009, pp. 1-154. (査讀なし)

の殆どの収録を割愛したが、志村 2007.のみは、當調査・研究事業代表者(持井)の方からその訂正・増補を依頼し、その提供を得て(2007年12月)、これを収録した。この訂正・増補稿は志村研究員の業績とす可く、その

内容に關する部分に就ては基本的に原稿の儘とした。結果として、當該訂正・増補稿には、その後に實施した東京大學に於る概況簡査、及びその後の2008年度中に新得した青島守備軍の北海道大學及び新潟大學宛配本情報を未収録ながら、このうちの東京大學に於る概況簡査に就ては、持井・古市・Scherrmann 2008., 68-73 頁にその一端を公表し、青島守備軍の北海道大學及び新潟大學宛配本情報に就ても、後掲“●獨逸租借期青島舊藏書籍在日現藏概況・豫備調査簡報”中にその内容を収録したので、併せ御覽頂きたい。

又、當初その収録を企劃した“●獨逸租借期青島概況”，“●獨逸租借期青島に於る書籍收藏概況”，及び“●青島守備軍接收書籍の處分概況”に就ては、未補訂ながら、持井・古市・Scherrmann 2007.の1-8 頁，全 8-26 頁，及び全 1-5 頁を各々御覽頂きたい。

尙、第2項の目的に關する成果が少ないとの御指摘に對しては甘受するものの、これは第1項の目的を當面の最優先事項として活動した結果と御理解願いたい。

最後に、當調査・研究事業の主宰者として一言述べておきたい。當調査・研究事業に於ては、優先的に“青島舊藏書籍”の全貌の把握とその提示に努めたこと、既述の如くである。周知の如く、“青島舊藏書籍”に對する關心を早くに表明した志村研究員は、金澤大學所藏の獨逸租借期青島舊藏書籍を當調査・研究事業開始前に調査し、その調査結果を報告している(志村 2000., 全 2001.)。彼が當該書籍群の存在に氣づいた時期に就ては不詳ながら、如し金澤大學赴任後のことであるのなら、その關心の萌芽は 1995 年 10 月以降ということにならう。その後、これに刺激されたかの如く信州大學(井出・須田 2001.)、及び山形大學(奥村 2006.)現藏書籍に對する報告兩篇が公表されたことからすれば、當該問題の存在に對する日本側大學關係者の注意を喚起した點に於て、當該報告は一定の貢獻を做したものと評價さる可きである。

だが、この志村 2000.に始る一聯の調査・報告は、當調査・研究事業の當面の目標と關する分野に就て見た場合、假にその作業を十全に遂行しても、それは獨逸租借期青島舊藏書籍を接收した當時の大日本帝國青島守備軍配布由來書籍の日本に現存する部分の集成に過ぎぬのであって、その集成した現存書籍が獨逸租借期青島舊藏書籍全體の中で占める位置に就ては素り、接收書籍配布時の諸臺帳全てを同時に閱覽することが必ずしも容易ならざる現状に於ては、當該書籍集成が青島守備軍接收・配布書籍中の如何なる部分に相當するのかといったことすら明示し得ぬという限界を内在していた。これは、その調査對象に對する基本的關心の在り方、及びこれと密接に關聯する調査・公表手法に内在する問題と看る可く、この旨は、志村 2000.公表直後に、持井が全研究員宛て直接指摘したものの、それは口頭での指摘であったため、その後の追隨者の視點形成に影響を及すことは無かった。

他方、當該問題に對する當調査・研究事業代表者の關心は、1989 年冬に於る梶井重明氏(當時金澤大學圖書館)の教示に始り、1998 年 12 月に京都大學總合圖書館地下書庫に於て當該書籍群のうちの膠州圖書館舊藏 *OL 徳文新報*、及びその附録 *SN(OL 徳文新報中に合綴)*に對する簡査を経て増幅されたものの、その實行には諸方面に互る多大な準備と膨大な豫算的措置が必要と判斷した結果、未着手の儘で當調査・研究事業の開始を迎えている。當調査・研究事業に於て“青島舊藏書籍”の全體像の把握とその提示に拘ったのは、斯る經緯に因る。

素り、當報告書中に収録した“●獨逸租借期青島舊藏書籍在日現藏概況・豫備調査簡報”の内容に満足している譯ではない。箇々の書冊に就ての具體的書誌情報、竝にその現藏(同定)確認の根據に就て明示し得ずにいることは、その最大の不満事である。但、今次概況・豫備調査時に於ては、その現藏を確認し得た全ての書冊に就て、その書誌情報報告を行なうに足る質の情報を収集した譯ではなく、その現藏(同定)確認を明示するために必要な箇々の書冊上に遺された諸痕蹟の提示には、情報収集の煩に加え、その提示準備に多大の勞力を要する(その一端に就ては持井・古市・Scherrmann 2009.を請参照)が故に、今後の調査・研究事業の承認・遂行に俟たねばならぬ。聊か釋明に終始したが、敢て申し添えておく。

尙、擱筆に當り、金澤大學圖書館を既に退官した梶井重明氏に對して御禮を申し上げますと共に、研究代表者の怠慢により、本書の作成が遅延したことに就き、この場を借りて、關聯各位に御詫び申し上げます。

(持井康孝; 2009.III.30.)

【研究組織】(2008年3月末日時点)

研究代表者: 持井 康孝(金澤大學文學部教授)
研究分擔者: 古畑 徹(金澤大學文學部教授)
研究分擔者: 志村 恵(金澤大學文學部准教授)
研究分擔者: 東田 雅博(金澤大學文學部教授)
研究分擔者: 古市 大輔(金澤大學文學部准教授)
研究分擔者: 弁納 才一(金澤大學經濟学部教授)
研究分擔者: 橋本 哲哉(金澤大學理事 副學長)

*尙, 當調査・研究事業が圓滑に遂行し得たのは, 如下兩氏からの無償協助を得た結果である. 此處にその旨を記し, 感謝の意を表したい.

研究協力者: 安部聡一郎(金澤大學文學部准教授)

研究協力者: Sylke U. Scherrmann(京都大學人文科學研究所外國人共同研究者)

*基本的役割分擔は, 如下:

- 調査・研究統括: 持井
- 調査・研究環境整備: 橋本・古畑・安部
- 獨逸租借期青島竝に其處に於る所藏書籍の概況把握: 持井・古市・Scherrmann
- 獨逸租借期青島舊藏書籍に對する現藏調査: 持井・志村・古市・Scherrmann
- 20世紀前半期に於る青島經濟狀況及び日本の對中接觸に關する調査・研究: 弁納・古畑
- 19世紀後半期清國內に於る社會・經濟狀況の變化に對する調査・研究: 古市
- 19世紀後半期清國に對する英國側異文化認識に關する調査・研究: 東田

【交付決定額(配分額)】

	直接經費	間接經費	(單位: 圓) 合計
平成 17 年度	4,300,000	0	4,300,000
平成 18 年度	2,100,000	0	2,100,000
平成 19 年度	1,700,000	510,000	2,210,000
總 計	8,100,000	510,000	8,610,000

【研究発表】

【雑誌論文】

- 東田雅博: 近代イギリスの中国觀—陶磁器の模様=柳模様に浮かぶ中国—, “金澤大學文學部論集 史學・考古學・地理學篇”, 26, 2006, pp. 1-18. (査讀なし)
- 弁納才一: 占領時期前後における山東綿業構造の変動, 本庄比佐子編“日本の青島占領と山東の社会經濟—1914~22年”, 東洋文庫, 2006, pp. 269-96. (査讀なし)
- 持井康孝・古市大輔・Sylke Scherrmann: 獨逸租借期青島所藏書籍目録: I, “金澤大學文學部論集 史學・考古學・地理學篇”, 27, 2007, pp. 1-160. (査讀なし)
- 志村恵: 青島函獲書籍について—現在の所藏を中心に—, “金澤大學文學部論集 言語・文學篇”, 27, 2007, pp. 23-36. (査讀なし)
- 持井康孝・古市大輔・Sylke Scherrmann: 獨逸租借期青島所藏書籍目録: I(結), “金澤大學文學部論集 史學・考古學・地理學篇”, 28, 2008, pp. 21-76. (査讀なし)
- 志村恵: 宣教巡察使ヴィッテが見た日本と中国—視察旅行記『東洋の不思議な世界』を巡って—, “北陸宗教文化”, 21 [島岩博士追悼論文集], 2008, pp. 209-24. (査讀なし)

● ドイツ租借期青島旧蔵書籍の現蔵機関及びその概況¹

志 村 恵

<はじめに>

第一次世界大戦においてドイツに勝利した日本軍は、さまざまな「戦利品」や膨大な資料を膠州・青島から日本に持ち帰った。その中には、膠州図書館(Kiautschou-Bibliothek)、徳華高等学堂²(Deutsch-chinesische Hochschule)、膠州総督府(Landesverwaltung von Kiautschou)あるいは青島裁判所(Kaiserliches Gericht in Tsingtau)などが所蔵していた約 27,380 冊³の書籍も含まれていた。本報告は、本科学研究費によって行った調査及びそれに先立つ報告者の「事前概要調査」等に基づき、現在のところまで判明したこのいわゆる「青島鹵獲書籍」の所蔵状況をまとめるものである。

<事前概要調査>

報告者は、本研究に先立つ2000年・2001年に『金沢大学中央図書館所蔵「青島文庫」蔵書目録(1)・(2)』⁴を作成した。また、青島文庫及び青島鹵獲書籍の由来を紹介した『日独戦争と青島鹵獲書籍』⁵をまとめるために、2000年5月から「事前概要調査」を行った。調査は、「鹵獲書籍寄贈分配表」⁶に基づき、分配計画のあった教育機関である東京帝国大学、京都帝国大学、東北理科大学、九州工科医科大学、北海

¹ 本報告は、「青島鹵獲書籍について — 現在の所蔵を中心に —」『金沢大学文学部論集』(文学科篇)27(2007年)23-36頁、において報告したものを、大幅に補足・修正するものである。

² „Deutsch-chinesische Hochschule“には「独中大学校」などの訳語もあるが、本報告では旧日本軍が使用した「徳華高等学堂」を使用する。

³ この数は、青島守備軍参謀部『鹵獲書籍目録訂正表(謄写目録及欧文目録)』(金沢大学図書館蔵)による((一)官有書籍 洋書 9,523 冊、漢書 1,479 冊、(二)徳華高等学堂蔵書 洋書 1,341 冊、漢書 5,103 冊、(三)ウキルヘルムコーン叢書 洋書 326 冊、(四)膠州図書館蔵書 洋書 9,608 冊、合計 27,380 冊)。しかし、実際に送付された書籍数は現時点では不明である。

なお、ウキルヘルムコーン叢書については、『青島官報(Amtsblatt für das Deutsche Kiautschou-Gebiet)』に次のような記載がある：「シェーネベルクで死去した作家ヴィルヘルム・コーンは、自ら収集したドイツ語及び中国語の蔵書を青島に設置し、広範な読者に無料で使用させることを遺言した。同蔵書はすでに青島に到着し、ただちに総督府の図書と並んで配架された。総督府の図書同様、作家コーンの蔵書は特別の申請を行えば無料で貸し出される。」(1905年7月22日、144頁。)

⁴ 志村恵『金沢大学中央図書館所蔵「青島文庫」蔵書目録(1)(2)』「金沢大学文学部論集」(言語・文学篇)20(2000年)129-151頁、21(2001年)115-121頁。

⁵ 志村恵『日独戦争と青島鹵獲書籍』「独文研究室報」(金沢大学独文学研究会)18(2002年)17-32頁。

⁶ 防衛庁防衛研究所所蔵「大正八年以降青島鹵獲書類二関スル件」(陸軍省 日独戦役 T8~1/66)に綴られている「青参第 67 号 鹵獲図書目録ノ送付及処分二関スル件照会」に添付された「鹵獲書籍寄贈分配表」(1920年2月)。この計画による配分先は以下のとおりである(書籍の種類呼び冊数を含む)。帝国図書館(官洋 23、膠図 678、計 701)、拓殖局(官洋 332)、鉄道院(官洋 20)、内務省(官洋 124)、外務省(官洋 5、膠図 393、計 398)、大蔵省(官洋 108)、海軍省軍務局(官洋 1354)、海軍大学校(官洋 446、膠図 237、計 683)、陸軍省医務局(官洋 102)、陸軍文庫(官洋 978、膠図 731、計 1709)、陸軍大学校(官洋 477、膠図 76、計 553)、砲工学校(官洋 95)、士官学校(官洋 332、膠図 90、計 422)、中央幼年学校(官洋 135、膠図 58、計 193)、東京帝国大学(官洋 357、ウキルヘルムコーン叢書 324、学堂洋 20、学堂漢 2850、膠図 963、計 4514)、京都帝国大学(官洋 1308、学堂漢 1448、膠図 1457、計 4213)、東北理科大学(官洋 196、膠図 406、計 602)、九州工科医科大学(官洋 82、膠図 174、計 256)、北海道農科大学(官洋 69、膠図 50、計 119)、第一高等学校(官洋 103、膠図 243、計 346)、第二高等学校(官洋 71、膠図 272、計 343)、第三高等学校(官洋 84、膠図 321、計 405)、第四高等学校(官洋 80、膠図 308、計 388)、第五高等学校(官洋 63、膠図 218、計 281)、第六高等学校(官洋 66、膠図 234、計 300)、第七高等学校(官洋 73、膠図 249、計 322)、第八高等学校(官洋 89、膠図 234、計 323)、松山高等学校(官洋 71、膠図 452、計 523)、新潟高等学校(官洋 73、膠図 416、計 489)、松本高等学校(官洋 80、膠図 347、計 427)、山口高等学校(官洋 153、膠図 380、計 533)、東京外国語学校・ゲルマニア図書館(官洋 335、膠図 331、計 666)、青島官庁残置書籍(官洋 750、官有漢籍 1477、学堂洋 1274、学堂漢 760、膠図 155、計 4416)。

道農科大学、第一高等学校、第二高等学校、第三高等学校、第四高等学校、第五高等学校、第六高等学校、第七高等学校、第八高等学校、松山高等学校、新潟高等学校、松本高等学校、山口高等学校及び東京外国語学校・ゲルマニア図書館の承継機関である東京大学(東京帝国大学、第一高等学校)、京都大学(京都帝国大学、第三高等学校)、東北大学(東北理科大学、第二高等学校)、九州大学(九州工科大学)、北海道大学(北海道農科大学)、熊本大学(第五高等学校)、岡山大学(第六高等学校)、鹿児島大学(第七高等学校)、名古屋大学(第八高等学校)、愛媛大学(松山高等学校)、新潟大学(新潟高等学校)、信州大学(松本高等学校)、山口大学(山口高等学校)、東京外国語大学(東京外国語学校・ゲルマニア図書館)という14大学の附属図書館に質問紙を郵送する形で行った⁷。依頼文には、金沢大学(第四高等学校)の例を示しながら、「函獲書籍寄贈分配表」に記載されている分配予定冊数を挙げて、当該機関における函獲書籍の所蔵の有無を尋ねた。回答紙には、以下の記載事項を設定した。

図1. 回答用紙

<当該機関名>

- 該当する書籍が ある。
 ない。
- ある場合の所蔵形態について尋ねます。
 一箇所にまとめて所蔵している。
 ばらばらに所蔵・配架している。
 その他
- また、その際所蔵冊数がおわかりでしたらお書きください。
_____ 冊
- これらの書籍の受け入れに関する記録が
 ある。
 ない。
- その他特記事項

- 記入者

ご協力ありがとうございました。

回答は、東京大学、京都大学、東北大学、北海道大学、熊本大学、岡山大学、鹿児島大学、愛媛大学、新潟大学、信州大学、東京外国語大学の11校から寄せられた。なお、京都大学は附属図書館と総合人間学部の二箇所から回答が寄せられた。

これら11校のうち青島函獲書籍を所蔵していると回答してきたのは、東京大学、京都大学、東北大学、北海道大学、愛媛大学、新潟大学、信州大学、東京外国語大学の8校であり、所蔵がないと回答し

⁷ すでに概要を把握していた金沢大学(第四高等学校)は省略した。また、青島守備軍参謀部『膠州図書館蔵書目録 補遺』(金沢大学図書館蔵)、あるいは「大正八年以降青島函獲書類二関スル件」に綴られている「八年九年欧第一六〇三 四八号 函獲書籍分配二関スル件」で通牒案として起案され、「欧発第46号」として1922年2月20日付けで発信された第二修正案(森孝明『愛媛における日独関係史「青島守備軍司令部」寄贈ドイツ図書と旧制松山高等学校(前)』一九頁以下参照)に挙げられている水戸高等学校、山形高等学校、佐賀高等学校の継承機関である茨城大学、山形大学、佐賀大学に対しては、この時点では照会を行わなかった。

てきたのは、熊本大学、岡山大学、鹿児島大学の3校であった。

報告者は、この回答に基づき『日独戦争と青島鹵獲書籍』⁸において、その時点での現存が確認できた機関を、金沢大学を含む9箇所とした。

<現在の所蔵状況>

その後、報告者及び本研究グループでは、「鹵獲書籍寄贈分配表」、「同第二修正案」⁹、『膠州図書館蔵書目録 補遺』¹⁰に基づきながら鹵獲書籍の所蔵調査を行ってきたが、現在、所蔵が確認されているのは以下の26機関である¹¹。

【中央官庁】外務省図書館、法務省図書館

【旧軍機関】海上自衛隊第一術科学校、海上保安大学校、昭和館図書館、埼玉大学、埼玉県立浦和図書館、埼玉県立熊谷図書館、防衛大学校、一橋大学、陸上自衛隊衛生学校

【教育機関】東京大学、京都大学、東北大学、九州大学、北海道大学、金沢大学、愛媛大学、新潟大学、信州大学、山口大学、東京外国語大学、茨城大学、山形大学、福島図書館研究所、佐賀大学

以下では、各所蔵機関に関して、その沿革、所蔵の経緯、現在の所蔵状況などを調査手順とともにまとめる。

<青島鹵獲書籍を現在所蔵している機関>

1. 外務省図書館

外務省には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書5冊、膠州図書館洋書393冊、計398冊が配布予定であった。また、『膠州図書館目録 補遺』には、外務省へ配布予定の54冊のタイトルが挙げられている。そのうちの30冊は実際に1934年発行の『外務省図書目録』¹²に掲載されている。現物を確認できないので、これらの書籍が全て青島鹵獲書籍であることは断定できないが、少なくとも当初計画で配布予定だった書籍のかなりの部分が、外務省に送られたと推察できる。しかし、外務省は戦後、大幅な図書の整理を実施し、その結果、旧外務省から受け継いだ書籍のうち外務省図書館が現蔵しているものは19,000冊に過ぎないという。そして、本調査で確認できた青島鹵獲書籍は3冊のみである。ところで、その3冊はすべて旧膠州図書館蔵書にもかかわらず、『膠州図書館目録 補遺』に掲載されていない。したがって、『膠州図書館目録 補遺』に掲載された54冊の他にも、青島鹵獲書籍が外務省に配布されたことは確実である。

調査は、志村が2005年11月4日に外務省図書館が予め収集した3冊を確認し、その後書庫を点検・調査するかたちで行った。書庫では新たな鹵獲書籍の発見には至らなかった。

2. 法務省図書館

法務省の前身である司法省には、1915年(大正4年)5月の「欧発第840号 鹵獲図書送付ノ件」に対する回答(青副庶第19号)¹³に187冊¹⁴を寄贈する旨が記載されている。司法省を引き継いだ法務省の

⁸ 志村恵『日独戦争と青島鹵獲書籍』26頁以下。

⁹ 「第二修正案」(一、水戸、山形、佐賀高等学校ニ対シ、他ノ応答学校ト同一程度ニ分配スルコト 二、別紙其一ヨリ其十三八、陸軍省、参謀本部、教育総監部、陸軍技術本部、東京砲兵工廠、陸軍被服本廠、陸軍糧秣本廠、千住製絨所、陸軍工兵学校、陸軍士官学校、東京陸軍幼年学校、陸軍經理学校、陸軍軍医学校ニ夫々分配スルコト)。森孝明『愛媛における日独関係史「青島守備軍司令部」寄贈ドイツ図書と旧制松山高等学校(前)』一九頁以下。

¹⁰ 青島守備軍参謀部『膠州図書館蔵書目録 補遺』(金沢大学図書館蔵)。

¹¹ 掲載は「鹵獲書籍寄贈分配表」と「同第二修正案」に掲載されている順序により、それを「中央官庁」「軍機関」「教育機関」の順に再整理した。

¹² 外務省(編)『外務省図書目録』(Catalogue of the Library of the Department of Foreign Affairs)1934年。

¹³ 防衛研究所蔵『陸軍省大日記類欧受大日記大正8年T8-6』に収録。

表 1. 第二次世界大戦終了時の所蔵機関と現在の所蔵機関および掲載順

第二次世界大戦終了時の所蔵機関		現在の所蔵機関	掲載順
外務省	→	外務省図書館	1
司法省	→	法務省図書館	2
海軍大学校	→	海上自衛隊第一術科学校	3
	→	海上保安大学校	4
	→	昭和館図書館	5
予科士官学校	→	埼玉大学	6
	→	埼玉県立浦和図書館	7
	→	埼玉県立熊谷図書館	8
陸軍経理学校	→	防衛大学校	9
	→	一橋大学	10
陸軍軍医学校	→	陸上自衛隊衛生学校	11
東京帝国大学	→	東京大学	12
京都帝国大学	→	京都大学	13
東北帝国大学	→	東北大学	14
九州帝国大学	→	九州大学	15
北海道帝国大学	→	北海道大学	16
第一高等学校			
第二高等学校			
第三高等学校			
第四高等学校	→	金沢大学	17
松山高等学校	→	愛媛大学	18
新潟高等学校	→	新潟大学	19
松本高等学校	→	信州大学	20
山口高等学校	→	山口大学	21
東京外国語学校	→	東京外国語大学	22
水戸高等学校	→	茨木大学	23
山形高等学校	→	山形大学	24
	→	福島図書館研究所	25
佐賀高等学校	→	佐賀大学	26

務図書館(正式には、国立国会図書館支部法務省図書館)¹⁵に 121 冊が現存している(混配)。

調査は、志村が 2006 年 5 月 30 日と 7 月 7 日に、前述の「欧発第 840 号 鹵獲図書送付ノ件」に対する回答(青副庶第 19 号)に掲載されている書籍リストに基づき、書庫を点検・調査するかたちで行った。

¹⁴ 目録には 204 冊が挙げられているが、「此分ハ送ラス」と修正があり、チェックの入った書籍は実際に送られなかったようである。

¹⁵ <http://moj.opac.jp/>

3. 海上自衛隊第一術科学校

海上自衛隊第一術科学校は、海上自衛隊術科学校が1958年(昭和33年)に名称変更されたもので¹⁶、広島県江田島の海軍兵学校の跡地に設置されている。同校図書室には『海上保安大学校図書館から移管した元海軍教育図書目録』があり、それによると総計4,788冊が海上保安大学校から移管されたことになっている。現在のところ、青島からの鹵獲書籍は10冊確認されている。これらのうちの3冊の最初の被分配機関は、軍令部第三班で、1920年(大正9年)7月20日受領となっている。軍令部とは海軍軍令部、第三班は当時「列国軍事調査及関連事項」等と「編纂及戦史」等の担当部署であった¹⁷。残りの7冊の由来は不明である。青島鹵獲書籍には該当しないが、『海上保安大学校図書館から移管した元海軍教育図書目録』には海軍大学校、陸軍中央文庫、海軍文庫、海軍兵学校由来の書籍が記載されていて、同校所蔵の「旧海軍教育図書」にはさまざまなルートに由来したものが含まれているようである。

調査は、志村が2006年7月26日に、海上自衛隊第一術科学校図書室作成の『海上保安大学校図書館から移管した元海軍教育図書目録』に基づき、現物を確認・調査した。

4. 海上保安大学校

海上保安大学校は、1951年(昭和26年)4月に海上保安庁の附属機関として設置された¹⁸。図書館機能の充実のため、同年12月に日比谷図書館(現東京都立日比谷図書館)に移管されていた海軍大学校の旧蔵書を保安庁(後の防衛庁・防衛省)と二分割する形で譲り受けたという¹⁹。海軍大学校(軍令部第三班の蔵書印があるものもある)を経由して同校図書館に所蔵されている鹵獲書籍は現在までに54冊確認されている。

調査は、志村が2006年7月25日に、書庫にある「旧海軍大学校図書」を点検・調査するかたちで行った。

5. 昭和館図書館

1999年3月に開館した昭和館の図書館には、海軍の諸機関から引き継がれた膨大な書籍が所蔵されている。それらは財団法人史料調査会が昭和館の開館時に寄託したもので、海軍文庫、海軍大学校の旧所蔵本もそこに含まれる。海軍大学校には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書446冊、膠州図書館洋書237冊、計683冊が分配される予定であった。現在のところ昭和館図書館では、1926年(大正15年)6月29日に海軍省文庫から海軍大学校に寄贈された3冊のみが確認されている。

調査は、志村が2006年7月8日、2007年3月16日および26日に、1914年以前に出版されたドイツ語洋書を全点目視することで行った。しかし、英語及びフランス語の書籍に関しては未調査であり、今後調査を続ける必要がある。

6. 埼玉大学

埼玉大学の場合は事情が幾分複雑である。すなわち、埼玉大学の前身である旧制浦和高等学校はその設立が1921年(大正10年)11月であるので²⁰、1920年(大正9年)2月に作られた当初の青島鹵獲書籍分配計画の対象外であったし、また実際分配されていないようである。しかし、第二次世界大戦終戦直後の1945年10月29・30日の両日、朝霞にあった陸軍予科士官学校の蔵書が、アメリカ軍の接收を避けるため、近くにあった埼玉県立図書館にトラックで運び込まれたという²¹。また、「浦和市内の小・中学校の生徒が動員され、徒歩で朝霞からリュックにつめて運ばれた図書は、玄関西側の大部屋の床に山積みされた」²²という証言もある。1949年、埼玉大学が国立大学になる際に県立図書館から埼玉大学に相当

¹⁶ <http://www.mod.go.jp/msdf/onemss/enkaku.html>

¹⁷ 坂本正器・福川秀樹(編)『日本海軍編制事典』芙蓉書房、2003年、34頁。

¹⁸ 海上保安大学校五十年史編集委員会(編)『海上保安大学校50年史 沿革史1』2002年。

¹⁹ 海上保安大学校図書館ホームページ「旧海軍大学校図書」による(<http://www.jcga.ac.jp/>)。

²⁰ 旧制高等学校資料保存会(編)『資料集成旧制高等学校全書第一巻創設篇』旧制高等学校資料保存会刊行部、1985年、221頁。

²¹ 『埼玉県立浦和図書館50年誌』埼玉県立浦和図書館、1972年、149頁(年表)。

²² 佐波義正：「県立図書館とわたし」In:『埼玉県立浦和図書館50年誌』104頁。

数の書籍が移された。これらの書籍は、現在は、「借用図書」として書庫に混配されている。これらの書籍の蔵書印は、陸軍士官学校、陸軍中央幼年学校および陸軍予科士官学校のものである。同大学附属図書館が編んだ『埼玉大学附属図書館所蔵旧蔵書目録洋書編』²³には、旧制浦和高等学校、埼玉師範学校、陸軍予科士官学校の旧蔵所目録が掲載されている。この目録をもとに、2006年10月31日志村が書庫を現物点検したところ、51冊の鹵獲書籍が確認された。

7. 埼玉県立浦和図書館

埼玉県立浦和図書館の前身であった埼玉県立図書館には、前項のように朝霞にあった陸軍予科士官学校の蔵書が大量に持ち込まれた。1949年には、そのうちの相当数が埼玉大学に「借用」された。その後、2003年には県立図書館の統廃合があり、洋書部門は主に熊谷図書館が受け持つことになり、陸軍予科士官学校の旧蔵書の相当数が熊谷図書館に移管された。現在浦和図書館に残されている鹵獲書籍は140冊である。これらの書籍の蔵書印は、埼玉大学同様、陸軍士官学校、陸軍中央幼年学校および陸軍予科士官学校のものである。

2006年11月1日、志村が埼玉県立浦和図書館作成の鹵獲蔵書リストに基づき、現物を調査・確認した。

8. 埼玉県立熊谷図書館

前項のように、2003年の埼玉県立図書館の統廃合により洋書部門の担当になった熊谷図書館には、現在、95冊の鹵獲書籍があるが、これらの書籍の蔵書印は、埼玉大学および浦和図書館同様、陸軍士官学校、陸軍中央幼年学校および陸軍予科士官学校のものである。

2006年11月2日、同じく志村が埼玉県立浦和図書館作成の鹵獲蔵書リストに基づき、現物を調査・確認した。

したがって、陸軍予科士官学校に由来する現存の鹵獲書籍は、合計286冊になる。

9. 防衛大学校

防衛大学校は、1952年(昭和27年)保安庁の付属機関として「保安大学校」の名称で設置され、その後の1954年、防衛庁設置法の施行とともに「防衛大学校」に改名された²⁴。防衛大学校は、第二次世界大戦後にできた組織であるので、直接鹵獲書籍の分配はなかった。しかし、陸軍予科士官学校に所蔵されていた書籍が県立埼玉図書館を経由し²⁵、また陸軍経理学校の所蔵本が一橋大学を経由して防衛大学校に移管されている。なお陸軍予科士官学校からの書籍は、1960年(昭和35年)4月25日と6月21日付けで登録されている。鹵獲書籍は現在144冊が確認されている。しかし、安達将孝は「冊数にして凡そ200冊位で、ほとんどが独文でアジア関係の地誌、気候、風俗関係の図書が多く、刊行年は19世紀から20世紀初頭にわたるものが大半を占めていた」²⁶としており、この50冊ほどの差については今後の調査が待たれる。

調査は、志村が2006年11月10日と2007年2月23日に、防衛大学校図書館が予め収集したものを現物確認し、その後書庫及び貴重書籍書庫を点検・調査するかたちで行った。

10. 一橋大学

一橋大学の前身の一つである東京産業大学(1944年に東京商科大学から改称:1947年まで)²⁷には青島鹵獲書籍の分配の計画はなかった。しかし、同大学附属図書館所蔵の「旧陸軍経理学校図書始末」²⁸によれば、第二次世界大戦終戦直後、陸軍経理学校図書館に放置・散乱していた図書の惨状を見かねた村松祐次のイニシアティブで、1945年10月、陸軍経理学校長古野好武と東京産業大学長高瀬荘太郎の間で

²³ 埼玉大学附属図書館『埼玉大学附属図書館所蔵旧蔵書目録洋書編』1989年。

²⁴ <http://www.nda.ac.jp/index-j.html> から沿革へ。

²⁵ 埼玉図書館の経路が確認できないものもある。

²⁶ 安達将孝『第一、二次世界大戦中における日本軍接收図書』「図書館界」33.2(1981.7), 69頁。

²⁷ <http://www.hit-u.ac.jp/guide/outline/history.html>

²⁸ 一橋大学図書館蔵「旧陸軍経理学校図書始末」(一橋大学附属図書館古書類保存箱№7 資料番号129(元箱8))。

寄贈の覚書が交わされ、凡そ 40,000 冊の図書が東京産業大学に寄贈されたという。その後、1954 年には保安庁および陸上自衛隊業務学校より図書返却の要請があり、1954 年から 1963 年にかけて合計 10,409 冊の書籍が返却された。また、1955 年には、会計検査院の指摘により、未登録書籍の整理が行われた。その後の 1967 年時点でのまとめによると、陸軍経理学校からの蔵書は、和書が 1,074 冊、漢書(和綴じ本含む)が 10,961 冊、洋書が 3,175 冊、合計 15,210 冊である。なお、1966 年には防衛大学校に和書 392 冊が寄贈されている。

調査は志村が次のような方法で行った。まず、2007 年 9 月 25 日・26 日に、同附属図書館古書類保存箱 7 資料番号 128(元箱 8)の「(若松会)旧陸軍経理学校図書整理目録」および資料番号 130(元箱 8)の「若松文庫関係書類」に収蔵されているガリ版印刷の「若松文庫」(No3, No6, No17)、“The Monthly Bulletin of the Hitotsubashi University Library Special No. Aug. 1955”に記載され、なおかつ 1914 年以前に発行されている洋書籍をリストアップした。次に、同年 11 月 8 日・9 日に、同リストに基づいて、書庫で現物を点検・調査をした。その結果、6 冊の鹵獲書籍が確認された。これらはいずれも旧陸軍経理学校の旧蔵書である。また、ドイツ側の旧蔵箇所は、総督府図書館および徳華高等学堂である(一冊は旧蔵機関不明)。

11. 陸上自衛隊衛生学校彰古館

「鹵獲書籍寄贈分配表第二修正案」には、「二、別紙其一ヨリ其十三八、陸軍省、参謀本部、教育総監部、陸軍技術本部、東京砲兵工廠、陸軍被服本廠、陸軍糧秣本廠、千住製絨所、陸軍工兵学校、陸軍士官学校、東京陸軍幼年学校、陸軍経理学校、陸軍軍医学校二夫々分配スルコト」とあり、陸軍軍医学校にも鹵獲書籍が分配予定であったことが分かる。新宿区戸山町にあった陸軍軍医学校は²⁹、1945 年 3 月以来の空襲の激化により、山形県への疎開を決定した。しかし、5 月 25 日の東京大空襲により、疎開貨物を集積していた新宿駅も被災した。幸い貨物は奇跡的に被災を免れた。その後、陸軍医学校の諸資料は山形盆地に分散秘匿され、戦後、軍医学校の人員機材は東京第一陸軍病院に統合された。11 月 26 日の陸軍省令第 56 号によって陸軍軍医学校は廃止となり、12 月 1 日、陸軍軍医学校の人員機材は国立第一病院に改編された。第一病院に集められた諸資料は、1956 年の厚生大臣命で、陸上自衛隊衛生学校に移管され、現在は陸上自衛隊三宿駐屯地にある陸上自衛隊衛生学校の校内に設置されている彰古館に保存されている。旧陸軍軍医学校所蔵の鹵獲書籍は 15 冊である。

調査は、志村が 2007 年 8 月 6 日に彰古館の書庫を点検・調査するかたちで行った。

12. 東京大学

東京大学の前身の一つである東京帝国大学(1886 年帝国大学令により「帝国大学」、1897 年京都帝国大学の設置に伴い「東京帝国大学」)³⁰には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書 357 冊、膠州図書館洋書 963 冊、ウィルヘルムコーン叢書 324 冊、徳華高等学堂漢書 2,850 冊、徳華高等学堂洋書 20 冊、計 4,514 冊が寄贈される予定になっていた。また同じく東京大学の前身の一つである旧制第一高等学校(1886 年中学校令により第一高等中学校、1894 年高等学校令により第一高等学校)³¹には、公官庁洋書 103 冊、膠州図書館洋書 243 冊、計 346 冊が寄贈される予定になっていた。2000 年に行った事前概要調査に対する総合図書館による回答では、「図書原簿」に「青島本之ヨリ」とあって、1925 年(大正 14 年)10 月 30 日付けで 585 冊が登録されたという。これらの書籍は東京帝国大学および第一高等学校に分配された膨大な書籍の一部と思われるが、混配されており、現在のところ何冊残っているかは未確認である。また、同大学には、陸軍軍医学校の旧蔵書や海軍関係の旧蔵書が移管されたとされているとされるので³²、その意味でも今後の調査が待たれるところである。

13. 京都大学

²⁹ 「彰古館往来 31」『防衛ホーム』649 号(2004 年 8 月 15 日)による。

³⁰ 東京大学百年史編集委員会(編)『東京大学百年史 通史一』東京大学、1984 年、七八七頁以下、および同委員会(編)『東京大学百年史 通史二』東京大学、1985 年、三頁以下。

³¹ 旧制高等学校資料保存会(編)前掲書、59 頁以下。

³² 大東亜戦争研究会のホームページによる。http://www.geocities.co.jp/WallStreet/2687/sankosiryo/sanko10.html

京都大学の前身の一つである京都帝国大学(1896年の帝国大学令によって1897年に設置)³³には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、ドイツ公官庁洋書 1,308 冊、徳華高等学堂漢書 1,448 冊、膠州図書館洋書 1,457 冊、合計 4,213 冊が分配予定だった。2000年の事前概要調査に対する回答(附属図書館)では1532冊現存と報告されたが、現在、附属図書館に1,621冊(洋書のみ)見つかっている(混配)。また、図書原簿および『鹵獲書籍及図面目録』は現存する。ただし、『鹵獲書籍及図面目録』には表紙が欠けているので、実際何冊が送られたのかは不明である。

また、同じく京都大学の前身であった旧制第三高等学校(1886年中学校令により第三高等中学校、1894年高等学校令により第三高等学校)³⁴には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書 84 冊、膠州図書館洋書 321 冊、計 405 冊が分配予定であった。第三高等学校宛の『鹵獲書籍及図面目録』は現存しており、そこには「官有洋書一〇〇冊 膠州図書館洋書三一六冊 計四一六冊」と記されている。2000年の事前概要調査に対する回答(総合人間学部)では405冊収蔵されていると報告され、その全点が確認された。現在、総合人間学部の図書館に集中配架されている。

調査は、予め京都大学附属図書館が収集したものを点検し、その後書庫を再点検するかたちで行った。調査日は以下の通りである。2006年3月1日~3日(持井・志村・古市)、2006年3月15日~17日(持井・志村・古市)、2006年10月17日~19日(持井・古市)、2006年12月25日・26日(持井)、2007年5月10日~12日(持井)、2007年10月22日~25日(持井・古市)。

尚、京都帝国大学に関しては、配布予定数と比較して現存の冊数がかなり少ないので、今後も鹵獲書籍が見つかる可能性があり、今後も調査を続ける必要がある。

14. 東北大学

1907年東北帝国大学が設置され、1911年には東北帝国大学理科大学、1915年には同医科大学が作られた。両大学は、1919年それぞれ東北帝国大学理学部・医学部となった³⁵。「鹵獲書籍寄贈分配表」には東北理科大学と記され、公官庁洋書 196 冊、膠州図書館洋書 406 冊、計 602 冊が分配される予定であった。

一方、同じく東北大学の前身である旧制第二高等学校は、1886年の中学校令によって設置された第二高等中学校が1894年に第二高等学校に改組された。「鹵獲書籍寄贈分配表」には第二高等学校と記載され、公官庁洋書 71 冊、膠州図書館洋書 272 冊、計 343 冊が配布予定であった。2000年に行った事前概要調査に対する回答では、東北大学附属図書館には、「一ヶ所にまとめて所蔵分 323 冊(第二高等学校分と思われます)。混配分約280冊(科学分野の目録カードより)」が所蔵されているとのことであった。また、青島守備軍によって添付された『鹵獲書籍及図面目録』(東北理科大学校宛)が残っており、その表紙には、「東北理科大学校宛 官有図書七四冊、第二追加参冊、徳華学堂洋書八二冊、膠州図書二五〇冊」と記載されている(合計 409 冊)。また、登録年月日に関しては、1922年(大正11年)2月23日のもの(目録カードによる)、1928年(昭和3年)3月31日のもの(受け入れ印による)があるという。

なお、調査は以下の日程で行われた。東北大学(本館及び2号館)2006年6月14日~16日(持井)。2006年9月18日~22日(持井・古市)。2007年3月8日~9日(持井・古市)

15. 九州大学

九州大学の前身である九州工科医科大学³⁶には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書 82 冊、膠州図書館洋書 174 冊、計 256 冊が配布予定であった。現在、107冊が確認されている。しかし、1927年(昭和2年)5月30日および8月25日に登録された一部の書籍を除いて³⁷(「図書受入命令昭和二年五月」および「図書受入命令昭和二年七、八月」に記載)、当時受け入れ手続きがなされなかったもの

³³ http://www.kyoto-u.ac.jp/uni_int/01_enka/enkaku.htm

³⁴ 旧制高等学校資料保存会(編)：前掲書、94頁以下。

³⁵ <http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/profile1-4.htm>

³⁶ 正式には九州帝国大学工科大学および同医科大学。 <http://www.kyushu-u.ac.jp/university/data/history.php>

³⁷ 青島守備軍からとはなっておらず、単に「本部より引継ぎ」と記載されている。

が多数存在する。また、九州大学附属図書館には『鹵獲書籍及図面目録』(昭和2年5月30日受入)が残っているが、東北大学、新潟大学、金沢大学、京都大学のものとは異なり、表紙には何も記載がないので、九州工科医科大学に実際何冊分配されたかは不明である。

2006年6月27日、九州大学図書館作成の鹵獲書籍寄贈リストに基づき、書庫において志村が点検・調査した。

16. 北海道大学

札幌農学校を前身に持つ北海道大学は、東北帝国大学農科大学(1907年設置)を経て、1918年、北海道帝国大学農科大学となった。1919年には、北海道帝国大学となり、農学部と医学部が設置された³⁸。前述の「鹵獲書籍寄贈分配表」(1920年2月)には北海道農科大学と記され、公官庁洋書69冊、膠州図書館洋書50冊、合計119冊が寄贈される予定になっていた。2000年に行った事前概要調査に対する回答では、現存する「図書受け入れ簿」に、1922年10月5日付で、304冊が青島守備軍司令部から寄贈された旨記載されている。現在、北海道大学附属図書館が作成した青島守備軍司令部寄贈書籍リストに拠りながら確認作業中であるが、何冊残っているか未確認である。

調査は、北海道大学附属図書館が作成した青島守備軍司令部寄贈書籍リストに拠りながら、2007年3月1・2日に志村が、2007年7月30日に古市が行った。

17. 金沢大学

金沢大学の前身の一つである旧制第四高等学校(1886年の中学校令によって、1887年第四高等中学校、1894年の高等学校令により第四高等学校)³⁹には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書80冊、膠州図書館書308冊、計388冊が分配される予定であった。しかし、金沢大学図書館に残されている『鹵獲書籍及図面目録』の表紙に残されている記述によれば、実際に寄贈されたのは官有洋書65冊、膠州図書館洋書292冊、計357冊であったと思われる。『鹵獲書籍及図面目録』には「送付書籍二八其ノ番号二赤ノ傍線ヲ附シタリ」とあり、具体的な寄贈図書名が同定できるので、『鹵獲書籍追加目録』(大正九年三月)および『鹵獲書籍目録訂正表』、『膠州図書館蔵書目録 補遺』を含めると、青島守備軍からの書籍が寄贈されたか、青島守備軍の側から確認することができる。すでに志村の手による蔵書目録が公刊されているが⁴⁰、現存冊数は354冊である。これらの書籍は、1922年(大正11年)7月27日付で青島守備軍から寄贈されている。また、「青島文庫」として集中配架されている。

18. 愛媛大学

愛媛大学の前身の一つである⁴¹旧制松山高等学校の校長由比質は、1920年(大正9年)7月9日付けで陸軍省へ嘆願書を提出している。これは、1919年4月設立の松山高校の図書の充実を図るべく、鹵獲書籍の配分に際しての配慮を要請するために書かれたものであった。その甲斐あってか、松山高等学校には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書71冊、膠州図書館洋書452冊、計523冊の分配が予定された。しかし、2000年に行った事前概要調査に対する回答によると、「旧制松山高等学校の図書原簿には、寄贈者がHeadquarters of Tsingtaoとしての図書が384冊記録されていました。図書の表題紙には『青島守備軍司令部寄贈』と記入があります」ということであった。また、前述の森によると⁴²、「青島から届いたドイツ書籍は、現在愛媛大学図書館の松山高等学校図書書庫に静かに眠っている」が、一部は「文理学部独文研究室へ移った」ので、そのうち何冊が現存しているかは未確認である。

19. 新潟大学

新潟大学の前身の一つである新潟高等学校は⁴³、1918年に改正された高等学校令(第二次高等学校令)

³⁸ 北海道大学百二十五年史編集室『北大百二十五年史 通説編』北海道大学、2003年、64頁以下。

³⁹ 金沢大学50年史編纂委員会『金沢大学50年史 通史編』2001年、7頁以下。

⁴⁰ 志村恵：前掲目録。

⁴¹ http://www.ehime-u.ac.jp/shokai/gaiyou/pdf/p8_9.pdf

⁴² 森孝明：『愛媛における日独関係史 「青島守備軍司令部」寄贈ドイツ図書と旧制松山高等学校(後)』二〇頁以下。

⁴³ http://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/id/2007gaiyo/10_13.pdf

によって 1919 年、松本高等学校、松山高等学校、山口高等学校とともに設立された。「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書 73 冊、膠州図書館洋書 416 冊、計 489 冊が寄贈される予定になっていた。新潟大学附属図書館には、青島守備軍によって添付された『鹵獲書籍及図面目録』(新潟高等学校宛)が残っており、その表紙には、「官有洋書四六冊、膠州洋書三〇一冊、合計三四七冊」と記載されている。事前概要調査に対する回答によると、「旧制新潟高等学校の『図書受入簿』によると、328 冊(大正 12. 9 月)新潟大学人文学部『図書原簿』によると 326 冊(保管転換記録、昭 31.12.21)現物確認したところ 328 冊でした」という。また、「書籍は一般図書と一緒に配架してありますが、請求記号を同一にしてあるため、1ヶ所にまとまっています」とのことであった。これに基づいて、本科研による調査に先立つ 2001 年秋に志村が鹵獲書籍の存在の確認をおこなっている。ただし、現存冊数等の最終確認には至っていない。

20. 信州大学

信州大学の前身の一つである旧制松本高等学校(1919 年 4 月、改正高等学校令によって設立)⁴⁴には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書 80 冊、膠州図書館洋書 347 冊、計 427 冊が配布される予定になっていた。事前概要調査に対しては、「受け入れの記録として旧制松本高等学校の原簿に当たる『図書分類目録』(冊子体)の備考欄に『青島守備軍司令部寄贈』と記載されているものが、該当する書籍と思われる」と回答があった。これに基づき 2001 年 10 月 22 日に志村が『図書分類目録』と鹵獲書籍の現存を確認したが、書誌情報等の点検・調査には至らなかった。一方、これらの書籍は「旧制松本校図書洋書」として集中配架され、井出万秀・須田明日香(編)『旧制松本高等学校ドイツ語図書目録』の中に蔵書目録がまとめて掲載されている(245 冊)⁴⁵。「図書原簿」によれば、寄贈受け入れは 1922 年(大正 11 年)7 月 25 日付けである。

21. 山口大学

山口大学の前身の一つである旧制山口高等学校(1886 年の中学校令によって山口高等中学校、1894 年の高等学校令により山口高等学校)⁴⁶には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書 153 冊、膠州図書館洋書 380 冊、計 533 冊が分配される予定であった。しかし、現存しているのは 223 冊である。これらの書籍は、「山口高等学校 大正八年以降物品出納簿 洋書 8」によると、1922 年(大正 11 年)7 月 20 日、1923 年(大正 12 年)3 月 21 日および 1926 年(大正 15 年)1 月 11 日の三回に分かれて受け入れ登録がなされたものである。

調査は、志村が 2006 年 2 月 21 日・22 日に行ったが、山口大学附属図書館が「物品出納簿」に基づいてあらかじめ収集した現物を点検・調査するというかたちで行った。

22. 東京外国語大学

東京外国語大学の前身である東京外国語学校(1897 年に高等商業学校附属外国語学校として設立。1899 年に東京外国語学校)⁴⁷および同学校ゲルマニア図書館には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書 335 冊、膠州図書館洋書 331 冊、計 666 冊が配布される計画になっていた。2000 年の事前概要調査に対する回答によれば、「大正 12 年初めに青島守備軍陸軍参謀本部より寄贈の旨、登記原簿に記載はありますが、合計 221 冊分の記載しか発見できませんでした。うち合計 6 冊が火事により消失しています」とのことであった。志村が 2005 年 8 月 3 日に「図書出納簿」と鹵獲書籍現存の確認をなし、2006 年 3 月 7 日・8 日に出納簿に基づいて調査・確認を行ったところ、「図書出納簿」には 1923 年(大正 12 年)3 月 18 日付けで 221 冊が青島守備軍陸軍参謀本部より寄贈との記録があった(漢書 2 冊、ドイツ書 213 冊)。記録上はそのうちの 6 冊が火災で焼失したことになっているが、現在 243 冊が確認さ

⁴⁴ 旧制高等学校資料保存会(編)：前掲書、166 頁。

⁴⁵ 井出万秀・須田明日香(編)『旧制松本高等学校ドイツ語図書目録』「旧松本高等学校ドイツ語図書Ⅲー青島守備軍司令部寄贈図書ー」旧制高等学校記念館、2001 年。

⁴⁶ <http://www.yamaguchi-u.ac.jp/youran/youran/history.pdf>

⁴⁷ <http://www.tufs.ac.jp/abouttufs/history01.html>

れている(混配)⁴⁸。

23. 茨城大学

茨城大学の前身の一つである旧制水戸高等学校は⁴⁹、1918年に改正された高等学校令(第二次高等学校令)によって1920年(大正9年)4月に設立された。当初の「鹵獲書籍寄贈分配表」には分配計画がなかったが、「同修正案」(1920年7月23日)において、「一、水戸高等学校ニ対シ他ノ高等学校ト同一程度ノ配分ノコト」と指示されている⁵⁰。具体的に何冊が配布予定であったのかは不明であるが、『膠州図書館目録 補遺』には、11点12冊(1点重複本)のタイトルが記されている。これは補遺なので、分配された書籍のほんの一部のデータでしかない。現在21冊が確認されているが(混配)、受け入れ簿等は現存していない。書籍自体に記載されている登録年月日は、1922年(大正11年)8月30日および1927年(昭和2年)1月26日である。

2005年8月3日に志村が書庫を現物点検して調査した。

24. 山形大学

山形大学の前身である旧制山形高等学校は、1918年に改正された高等学校令(第二次高等学校令)によって1920年4月に設置された⁵¹。設置間もない山形高等学校には、「鹵獲書籍寄贈分配表第二修正案」において、水戸高等学校や佐賀高等学校同様「他ノ高等学校ト同一程度ノ配分」をするよう指示されているが⁵²、具体的に何冊分配される予定だったかは不明である。『膠州図書館目録 補遺』⁵³には、具体的な分配書籍の書誌データが11冊分記載されているが、これは補遺なので、分配された書籍のほんの一部のデータでしかない。しかし、2005年6月3日付けの山形大学附属図書館のメールによる回答によれば、「寄贈図書受け入れ簿や蔵書印などを見たところ、1947年の6月から1948年の12月にかけて、合計172冊の図書が青島守備軍より寄贈されているのが確認できました。そのうち166冊についてはすべて現物が確認できます。また、残り6冊についても、配架のミスなどにより見つけにくいだけと思われるので、上記172冊に関してはほとんどが当館書庫にあると考えられます」とあり、172冊が旧制山形高等学校に分配されたと思われる。他方、奥村によれば、山形大学図書館に2005年10月1日の時点で収蔵されているものは108冊であるとのことである⁵⁴。また、「寄贈書籍台帳」、「洋書登録台帳」、「洋書分類台帳」、「(洋書)図書出納簿」も残っており⁵⁵、受け入れの年月日等も確認できる状況のようである。一番早い登録は1947年(昭和22年)6月23日、一番遅い登録は1948年(昭和23年)3月20日という。これは奥村が推察しているように大学設置基準を満たすための「国立大学化の一環」⁵⁶で図書の登録を行ったからだと思われる。山形大学附属図書館には「鹵獲書籍及図面目録」が残っている⁵⁷。

いずれにせよ奥村による108冊分の書籍一覧はあるものの、現存数が食い違っているので、寄贈図書受け入れ簿等に基づく調査がなお必要であろう。また、『膠州図書館目録 補遺』で挙げられていた11冊のうちの3冊が現在「福島図書研究所」に所蔵されている。これについては、次項を参照されたい。

25. 福島図書館研究所

⁴⁸ 報告者は図書出納簿を頼りに、その他に6冊の中国書を見つけているが、青島守備軍の寄贈印やドイツ側のスタンプ印等の証拠がないため、青島鹵獲書籍と言い切れるか難しいところである。

⁴⁹ <http://www.ibaraki.ac.jp/all/history.htm>

⁵⁰ 森孝明『愛媛における日独関係史「青島守備軍司令部」寄贈ドイツ図書と旧制松山高等学校(前)』一九頁参照。

⁵¹ 旧制高等学校資料保存会(編)：前掲書、193頁。

⁵² 森孝明：前掲論文、二〇頁以下。

⁵³ 青島守備軍参謀部『膠州図書館目録 補遺』

⁵⁴ 奥村淳『山形大学図書館に存する青島鹵獲書籍について — 其比較文化的考察 —』「山形大学紀要(人文科学)」第16巻第1号(2006年)115頁。

⁵⁵ 奥村淳：同論文、127頁以下。

⁵⁶ 奥村淳：前掲論文、132頁。

⁵⁷ 同論文、123頁

2000年に開設された福島図書館には、現在、15冊の青島鹵獲書籍が所蔵されている。そのうちの12冊の書誌データは、渡邊武房によって『鹵獲図書12冊』の中で報告されている⁵⁸。また、その12冊のうちの3冊は、前述の山形大学の項で示した通り、『膠州図書館目録 補遺』において旧制山形高等学校に配布予定として記載されていた旧膠州図書館所蔵の書籍である。もし、これらの15冊が全て山形高等学校の旧蔵書であるなら、山形高等学校に分配され、なおかつ現存している鹵獲書籍の総計は123冊ということになる。

尚、福島図書館研究所が所蔵している書籍の確認は、同研究所より送付の電子複写によるものである。

26. 佐賀大学

佐賀大学の前身の一つである佐賀高等学校は、山形高等学校および水戸高等学校と同様に、1920年(大正9年)4月に設立されたが⁵⁹、両校と同様に、「鹵獲書籍寄贈分配表修正案」において、「他ノ高等学校ト同一程度ノ配分」するよう示されている⁶⁰。しかし、具体的に何冊配分される予定だったかは不明である。ただし、青島守備軍参謀部編纂の『膠州図書館目録 補遺』には、配分予定の13冊のタイトルが記載されている。現在のところ佐賀大学附属図書館には48冊の鹵獲書籍が確認されているが、これらは1925年(大正14年)3月5日付けで登録されたものである。

調査は、2006年2月7日・8日に書庫を点検するかたちで行った。なお、図書館の移転に伴い、未開封のダンボールが多数あるので、さらに所蔵数が増える可能性がある。

表2. 現在所蔵している機関と確認されている冊数

掲載順	現在の所蔵機関	確認冊数
1	外務省図書館	3
2	法務省図書館	121
3	海上自衛隊第一術科学校	10
4	海上保安大学校	54
5	昭和館図書館	3
6	埼玉大学	51
7	埼玉県立浦和図書館	140
8	埼玉県立熊谷図書館	95
9	防衛大学校	144
10	一橋大学	6
11	陸上自衛隊衛生学校	15
12	東京大学	?
13	京都大学	2026

掲載順	現在の所蔵機関	確認冊数
14	東北大学	?
15	九州大学	107
16	北海道大学	?
17	金沢大学	354
18	愛媛大学	384?
19	新潟大学	328?
20	信州大学	245?
21	山口大学	223
22	東京外国語大学	243
23	茨木大学	21
24	山形大学	166?
25	福島図書館研究所	15?
26	佐賀大学	48

<本研究で鹵獲書籍が確認できなかった機関>

配布の計画があつたにもかかわらず⁶¹、現在、所蔵が確認できていない機関もある。熊本大学(第五高等学校)、岡山大学(第六高等学校)、鹿児島大学(第七高等学校)、名古屋大学(第八高等学校)、総務省(拓殖省など)、国土交通省⁶²、国立国会図書館(帝国図書館)などがそれである。熊本大学(第五高等学校)と

⁵⁸ 渡邊武房『鹵獲図書12冊』(福島図書館研究所所蔵資料紹介シリーズ その1)2004年、1頁以下。

⁵⁹ 旧制高等学校資料保存会(編)：前掲書、198頁。

⁶⁰ 森孝明：前掲論文、二〇頁以下。

⁶¹ 分配計画には修正が加えられたが、その修正案がどの程度忠実に実行されたか、あるいはその修正案との関係で「鹵獲書籍寄贈分配表」がどの程度実行されたのかなどについては論を改めたい。

⁶² 国土交通省図書館の2005年6月6日付のメールでの回答。「平成13年1月に、運輸省図書館を含め、4省庁の図書館が統合され、国土交通省図書館になったわけですが、その時点においては、旧鉄道院所蔵の洋書等は、引き継がれませんでした。引き継ぐとすれば、旧運輸省図書館になると思いますが、当時の様子を知るものもいませんし記述したのものもなく、分からないのが現状です。また、旧拓殖局、内務省が所蔵していた図書についても手がかりがなく、分からない状態です。」

岡山大学(第六高等学校)に関しては、それぞれ「五校文庫」、「六校文庫」として、旧制高等学校の蔵書をそのまま引継いで保管しているが、報告者の調査によれば、他の洋書類は現存するものの青島鹵獲書籍は発見することはできなかった。第七高等学校(鹿児島大学)および第八高等学校(名古屋大学)の図書は、や第二次世界大戦後の火災や第二次世界大戦中の空襲によって消失したと言われている。また、旧軍関係の諸機関に関しては、戦後承継組織がなかったりして、調査不能なものも多い。それらに関しては、今後の調査に期したい。

また、2006年9月に、それぞれ旧制高校を前身としてもつ弘前大学(弘前高等学校：1920年11月設立)⁶³、島根大学(松江高等学校：1920年11月設立)⁶⁴、静岡大学(静岡高等学校：1922年8月設立)⁶⁵、高知大学(高知高等学校：1922年8月設立)⁶⁶、神戸大学(姫路高等学校：1922年11月設立)⁶⁷、広島大学(広島高等学校：1922年12月設立)⁶⁸、の各大学附属図書館に対して、メールにて、鹵獲書籍の有無に関して照会を行った。弘前大学、島根大学、静岡大学、神戸大学から回答が寄せられたが、いずれも鹵獲書籍の所蔵はないとの回答であった。鹵獲書籍の分配は、1920年4月に設立された水戸、山形、佐賀の各高等学校までであり、それ以降設立された教育機関には、おそらく分配はなかったと思われる⁶⁹。

1. 熊本大学

熊本大学の全身の一つである旧制第五高等学校(1886年の中学校令によって、1887年第五高等中学校、1894年の高等学校令により第五高等学校)⁷⁰には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書63冊、膠州図書館書218冊、計281冊が分配される予定であった。しかし、2000年の事前概要調査に対して、同大学附属図書館は該当する書籍はないと回答を寄せてきた。同年、『膠州図書館目録 補遺』に掲載されている配布予定の9冊について、書誌データとともに再調査を依頼したが、ふたたび該当する書籍の所蔵はないとの回答であった。しかし、同大学は「五校文庫」として旧制第五高等学校の旧蔵書を収蔵しているの、2006年2月6日に志村が、「五校文庫」を目視で点検調査したが、他の洋書類は現存しているものの青島鹵獲書籍の所蔵は確認できなかった。

2. 岡山大学

岡山大学の全身の一つである旧制第六高等学校(1886年の中学校令によって、1887年第五高等中学校、1894年の高等学校令により第六高等学校)⁷¹には、「鹵獲書籍寄贈分配表」によれば、公官庁洋書66冊、膠州図書館書234冊、計300冊が分配される予定であった。しかし、2000年の事前概要調査に対して、同大学附属図書館は、該当する書籍はないと回答を寄せてきた。『膠州図書館目録 補遺』に掲載されている配布予定の8冊について、OPAC検索を実施したが、該当する書籍はなかった。しかし、同大学は「六校文庫」として旧制第六高等学校の旧蔵書を収蔵しているの、2005年12月26日に志村が、「六校文庫」を目視で点検・調査したが、他の洋書類は現存しているものの青島鹵獲書籍の所蔵は確認できなかった。

3. 千葉大学

千葉大学は、1949年、千葉医科大学、同附属医学専門部、同附属薬学専門部、千葉師範学校、東京工業専門学校などを包括し、学芸学部、医学部、薬学部、工芸学部、園芸学部の5学部と附属図書館、腐敗研究所の2施設で設置された⁷²。工芸学部(原工学部)の前身であった東京工業専門学校が大空襲の際

⁶³ 旧制高等学校資料保存会(編)：前掲書、202頁以下。

⁶⁴ 同書、208頁。

⁶⁵ 同書、230頁。

⁶⁶ 同書、236頁。

⁶⁷ 同書、243頁。

⁶⁸ 同書、248頁。

⁶⁹ 森孝明：前掲論文、一九頁以下参照。

⁷⁰ http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/daigakugaiyou/enkaku_rekishi/

⁷¹ <http://www.okayama-u.ac.jp/jp/profile02.html>

⁷² <http://www.chiba-u.ac.jp/general/about/history.html>

に、松戸の陸軍工兵学校に移転した関係で、同附属図書館には「陸軍砲工学校図書印」という蔵書印を持つ書籍が所蔵されている。それらの中に陸軍工兵学校及び砲工学校経由の青島鹵獲書籍が含まれている可能性があったので、2007年6月28日・29日に、志村が同附属図書館製作の「陸軍砲工学校図書リスト」をもとに書庫を点検・調査したが、鹵獲図書は確認できなかった。

4. 防衛医科大学校

防衛医科大学校は、1973年11月に、医師である幹部自衛官となるべき者を養成する目的で、防衛庁の施設等機関として開設された⁷³。陸上自衛隊衛生学校と同様に、旧陸軍軍医学校所蔵の書籍が移管されている可能性があったため、調査の対象に加えた。調査は、志村が2007年7月12日に防衛医科大学校図書館の書庫を点検・調査するかたちで行い、鹵獲書籍の未所蔵を確認した。

<まとめ>

以上のように、青島で旧日本軍が鹵獲した書籍は、現在全国26箇所の機関において保存されている。しかし、鹵獲書籍についてはよくわかっていない部分が未だ多く、なおも調査が必要である。特に、旧日本陸海軍関係機関、帝国図書館の後続機関である国立国会図書館、大蔵省を引き継いだ財務省など国の機関の調査を継続する必要があるし、鹵獲書籍の最大の分配先であった東京大学(東京帝国大学および第一高等学校)の本格的な調査も待たれるところである。

<謝辞>

本調査の実施にあたっては、関係機関の職員、特に図書館職員の方々にいろいろと協力していただきました。心からお礼を申し上げます。

⁷³ <http://www.ndmc.ac.jp/about/enkaku.html>

◎ 獨逸租借期青島舊藏書籍在日現藏概況・豫備調查簡報

編 著 者：持井康孝，古市大輔，Sylke U. Scherrmann

臺帳作成者：持井康孝，古市大輔，Sylke U. Scherrmann

概況調查者：持井康孝，志村 恵，古市大輔，Sylke U. Scherrmann

目 次

「凡例」	16-7頁
「作製經緯簡介」	17-20頁
「所用略號一覽」	21-2頁
「引用文獻目錄」	22-3頁
「獨逸租借期青島舊藏書籍在日現藏概況・豫備調查簡報」	25-554頁
1. [Paul Doenitz編・青島守備軍參謀部訂]: “Bücher-Verzeichnis der Kiautschou-Bibliothek August 1911.”	25-285頁
2. 青島守備軍陸軍參謀部: “大正九年二月鹵獲書籍及圖面目録”	286-498頁
3. 青島守備軍參謀部: “大正九年三月鹵獲書籍追加目錄”	499-521頁
4. 青島守備軍參謀部: “膠州圖書館藏書目錄補遺”	522-54頁

「凡例」

- 1: 本稿は、獨逸租借期青島在藏書籍の日本側諸機關(組織)への配布状況、及び日本國內に於る現藏に就ての概況・豫備調査に就ての簡報である。
- 2: “概況調査”とは、何處の機關に何冊程、如何なる経緯の書冊が配布・現藏されているかということを中心とした調査の謂であり、“豫備調査”とは、箇々の書冊の同定に必要な主要書誌情報、及びその青島に於る舊藏機關情報に就ての情報収集を中心とした調査の謂である。
- 3: 概況・豫備調査を今回做し得なかつた機關、及び部分に就ては、今後に豫定している“本格調査”の際に併せ行なう。
- 4: 本稿収録・表示対象書冊は、青島守備軍所製如下4書目登載のものに限り、その順にで列纂した。
- 1.[Paul Doenitz 編・青島守備軍參謀部 訂]: “Bücher-Verzeichnis der Kiautschou-Bibliothek August 1911.” (A5版・全197頁; 簡稱“BVdKB 1920.”)¹
 2. 青島守備軍陸軍參謀部: “大正九年二月鹵獲書籍及圖面目録” (B5版・全1012頁, 油印本; 簡稱“鹵書・圖目1920II.”)²
 3. 青島守備軍參謀部: “大正九年三月鹵獲書籍追加目録”(B5版・全64頁, 油印本; 簡稱“鹵書追目1920III.”)
 4. 青島守備軍參謀部: “膠州圖書館藏書目録補遺” (B5版・全64頁, 油印本; 簡稱“膠圖藏目補1922.”)³
- 5: 現時點に於て、“恐らくは獨逸租借期青島在藏書籍であろう”と推測しつつも、青島守備軍所製書目未登載故に本稿未収録の在日現藏書冊を、都合50點程把握している。孰れも舊軍由來書籍の現藏機關所藏書冊で、このうちには、獨逸本國に於る藏書印を帯びながらも青島に於る痕蹟を缺くもの、或は帝立青島總督府學校舊藏Kaiferliche Gouvernementschule Tjingtau 書冊等々をも含む。斯る本稿未収録書冊に就ては、今後に於る“本格調査”の後に改めて紹介したい。⁴
- 6: 調査結果の表示に際しては、青島守備軍側に於る具體的寄贈計劃、及び現藏機關(組織)に於る當調査・研究事業としての現藏確認の兩項の表示に止めた。青島守備軍所製書目登載書冊の全貌の把握とその提示を當面の目標とした結果であり、斯る提示は今後に於る“本格調査”時に資するためである。
- 7: 具體的には如下舉例の如く、青島守備軍所製書目登載書冊欄下行の左端に「青島守備軍側寄贈機關(組織)」名を表示し、その右端に當調査・研究事業として確認した「現藏機關(組織)」名を表示した。
- | | | | | |
|-----------------------|------|---------------------|------------------------|---|
| “一八一 | □ | 王國山林保安勤務に於ける準備及任用規定 | □ | □ |
| 「京都帝大」* | | | 「京都大附圖」 ⁵ | |
| “一六三一 | ホイツシ | 物理入門 | 一八九二 | □ |
| 「 ^V 東北帝大」* | | | 「東北大附圖本館」 ⁶ | |
- 8: 「青島守備軍側寄贈機關(組織)」及び「現藏機關(組織)」の略號に就ては、後掲「所用略號一覽」を請参照。

¹ 配布機關宛書籍名を明示した□本とその明示を缺く□本とが一括配布されたと想われるものの、今迄にその現藏を確認し得たものは如下: 北海道大學附屬圖書館(2冊: □・□)・新潟大學附屬圖書館(1冊: □)・金澤大學附屬中央圖書館(1冊: □)・防衛省防衛研究所史料閱覽室(1冊: □)。

² 全上: 北海道大學附屬圖書館(2冊: □・□)・京都大學附屬圖書館(2冊: □・□)・全人間・環境學研究科/總合人間學部圖書館(1冊: □)・金澤大學附屬中央圖書館(2冊: □・□)・東北大學附屬圖書館本館(1冊: □)・新潟大學附屬圖書館(1冊: □)・山形大學附屬中央圖書館(1冊: □)・九州大學附屬中央圖書館(1冊: □)・防衛省防衛研究所史料閱覽室(1冊: □)。

³ 全上: 北海道大學附屬圖書館(1冊: □)・金澤大學附屬中央圖書館(1冊: □)。

⁴ このうちの帝立青島總督府學校藏書に就ては、その搜到點數の少なさ、第2次世界大戰後に東京神田の古書店經由で一橋大學が購入した書冊の存在、及び青島守備軍がその接收書目を作製した形蹟の無いこと等々の諸點に據り、或は青島守備軍による正式接收書冊ではないのではとの疑念を懐くものの、未精査故に確言は避けたい。尙、持井・古市・Scherrmann 2008., 21頁, 脚註¹²³を請併照。

⁵ 本稿301頁を請参照。

⁶ 本稿370頁を請参照。

9: 斯る兩項に加え、受贈機關(組織)側に於る受入登録、竝に移管・移轉の次第に就ての経過表示をも行なう可きと考えるものの、これに就ても、今後に於る“本格調査”の後に改めて紹介したい。

10: 調査結果の表示に際し、その豫備調査を完了していない機關の書冊に就ては、その結果を如下4類5項に分けて収録・割愛した(混亂を避ける可く、孰れの場合に於ても、その受贈機關(組織)・現藏機關を單位として、収録・非収録の別を鮮りさせておいた)。

① 既公表の現藏書目に基く現藏機關表示: 金澤大學現藏[第四高等學校受藏]⁷・信州大學現藏[松本高等學校受藏]⁸・山形大學現藏[山形高等學校舊藏]⁹・福島圖書館研究所現藏[山形高等學校舊藏]²書冊¹⁰

②.1 青島守備軍の具體的寄贈計劃に基く受贈機關(組織)表示[膠州圖書館藏書のみ]:
陸軍士官學校宛・陸軍中央幼年學校宛寄贈書冊

②.2 青島守備軍の具體的寄贈計劃に基く受贈機關(組織)表示[“官有書籍”等々をも含む]:
京都帝國大學宛[京都大學現藏]・第三高等學校宛[京都大學現藏]・東北帝國大學理科學大學宛[東北大學現藏]・新潟高等學校宛[新潟大學現藏]・北海道帝國大學宛[北海道大學現藏]寄贈書冊¹¹
陸軍省經理局建築課・空省醫務局醫事課・參謀本部・陸軍教育總監部・空技術本部・空東京砲兵工廠・空被服本廠・空糧秣本廠・空千住製絨所・空工兵學校・空經理學校・空軍醫學校等12機關(組織)宛寄贈書冊¹²

③ 現藏書冊のうちの膠州圖書館舊藏書冊のみを表示: 國立國會圖書館支部法務圖書館現藏[司法省舊藏]・海上保安大學校圖書館現藏[海軍大學校舊藏]書冊)

④ 収録を全て割愛: 東京大學現藏[東京帝國大學・第一高等學校受藏]書冊¹³

11: 箇々の書冊に就ての書名を始めとする具體的書誌情報、竝にその現藏(同定)確認の根據に就ての表示は、敢て避けた。概況・豫備調査中のこととて、現状では所蒐書誌情報が完全とは云えず、その現藏(同定)確認を明示するために必要な箇々の書冊上に遺された諸痕蹟の提示には、情報収集時の煩に加え、その提示準備に多大の勞力を要するが故である(その一端に就ては、持井・古市・Scherrmann 2009., 70-97頁に、京都大學附屬圖書館現藏“Daheim”をその例として提示しておいたので、請参照)。

12: 青島守備軍所製書目(その原簿となった獨逸側所製書目を含む)の表示が當該書冊の題扉と可成り相違する事例を頻見した。藏書印、藏書票、分類整理票、署名、書込等々の痕蹟が遺され、名刺・封筒等々が挟存されている事例をも頻見した。當該諸遺痕は、それ自體が當該書冊の傳世・整理の經緯を如實に物語る貴重な歴史資料であり、これに就ては、今後に於る箇々の書冊に對する“本格調査”を経た後に、その書名を含む具體的な書誌情報と共に公表したい(その一端に就ても、持井・古市・Scherrmann 2009., 5-15頁に簡介しておいたので、請参照)。

《作製經緯簡介》

獨逸租借期青島舊藏書籍調査を開始するに當り、まずその調査段階として、概況・豫備・本格調査の如下3段階を想定した(*1.-*3.)。實際の調査に際しては、概況調査を遂行する過程に於て、結果として豫備

⁷ 志村2000., 全2001.

⁸ 井出・須田2001.

⁹ 奥村2006.

¹⁰ 渡邊2004.

¹¹ 青島守備軍所製書目回本に據り、その配布欄に«京都帝大»*・«三高»*・«東北帝大»*・«新潟高»*・«北海道帝大»*の如く表示。

¹² 陸軍諸機關組織宛の«圖書分配表»1922.に據る。

¹³ その概況調査簡報に就ては、持井・古市・Scherrmann 2008., 68-73頁を請参照。

*₁.: 獨逸租借期青島舊藏書籍の現藏諸機關に對する概況調査: 所藏の有無, 及び現藏書籍數(點・冊)に就ての簡査.

*₂.: 獨逸租借期青島舊藏書籍に對する豫備調査: 現藏書籍名の確認, 及びその來源に就ての簡査.

*₃.: 獨逸租借期青島舊藏書籍に對する本格調査: 箇々の現藏書籍に關する書誌情報(特にその來歴)に就ての精査.

調査を兼ねる(時には本格調査に及ぶ)場合や, 豫備調査中に可成り本格調査に近い調査を行ない得た場合が幾例か有ったこと, 申す迄もない.¹⁴

その現藏概況調査に際しては, 志村研究員が事前に調査していた現藏機關名録・推定藏書數等々に就ての調査結果を基礎とし, これを當調査・研究事業開始後に新得した諸知見に據って確認・増補・訂正することとした. 本來ならば, 首ず當調査・研究組織として, その所藏可能性を推測し得る全機關に對して所藏の有無に就ての問合せを發し, その回答を俟って現藏機關の初次的把握を行なう可きこと, 素り承知してはいるものの, 時間的, 豫算的, 及び重複回答を求められる先方藏書機關の迷惑等々を考慮した結果, 今回は次善の, 然し當調査・研究事業開始時に於て採り得るものうちでは現實的な手法を採用したつもりである. この志村研究員による事前調査は, 青島守備軍の配布豫定機關名録登載諸機關のうちの帝國大學・高等學校に就ての現存後繼(含併合)大學に對する問合せ竝にこれに對する回答(その具體的手法に就ては前掲「**●ドイツ租借期青島旧藏書籍の現藏機關及びその概況**」を請参照), 及び金澤大學・信州大學・山形大學・福島圖書館研究所現藏分に就ての箇別報告に基くもので, かかる經緯を重視した結果, 當概況調査は志村研究員が主擔することとした(東京大學に就ては, 持井・古市・Scherrmann が擔當).

又, 現藏豫備調査は, 所謂「青島守備軍接收書籍」の全貌把握にとって必要不可欠な現藏調査用臺帳(簡稱「臺帳」)の作製と並行して開始した. 既述の如く, 青島守備軍は當該書籍の配布時に如下4書目(①-④)

① BVdKB 1914-20.(前掲「**凡例**」4を請参照)

② 「**函書・圖目**」1920.(空前)

③ 「**函書追目**」1920.(空前)

④ 「**膠圖藏目補**」1920-22.(空前)

を使用している故, 今回の「臺帳」作製作業に際してもこれを重視した. 實際の作業に當っては, 當初, これを首ずスキャナーで入力したうえで數字化ソフトを使って上書き可能な状態とし, 更にこれを校正ソフトにより校正して「臺帳」とする案や, 所謂「表計算ソフト」を使って入力する案等々, 新手法數案に就ても検討してはみたものの, 所用言語が多種に互り, 漢字に就ても, これを單一字種で済ますことが出来ぬが故に, 敢てそのような新手法を採ることは避け, 舊來の目視・手動方式で入力し, これを視査・手動方式で校正して, その「臺帳」とすることにした.

この「臺帳」作製作業の初次入力持井が擔當した. これを受けての視査・入朱作業は, 古市研究員(日語・漢語部分を主持)及びScherrmann 研究員(歐語部分を主持)が擔當した. そのうえで, 個別にその擔當部分に就ての確認・検討・訂正作業を持井と行ない, その結果を持井が最終入力して, 全體の體裁を整えた.

斯くの如く作製した「臺帳」に今回調査した箇々の現藏調査結果を貼付けることとしたが, その際, 時間的・豫算的制約を考慮し, 既に公表されている金澤大學, 信州大學, 山形大學, 及び福島圖書館研究所現藏分に就ては, その成果を借用することにした. 當該借用報告書は, 如下4書目(°₁-°₄)である.

°₁.金澤大學: 志村2000., 全2001.

°₂.信州大學: 井出・須田2001.

°₃.山形大學: 奥村2006.

°₄.福島圖書館研究所: 渡邊2004.

具體的同定作業に於ては, 箇々の報告書に記載された青島在藏機關に於る分類・整理番號, 全編著者・書名中の主要語彙等々を頼りに, 古市或はScherrmann 研究員が當該報告書を讀上げ, 持井がそれを「臺帳」上に搜して, 爾餘の諸事項を共に確認するという手法で, その現藏機關名を貼付けていった.

他の現藏諸機關竝に箇々の現藏書籍に就ては, 今回新に豫備調査を行なうこととしたが, その現藏の可能性を推定しうる全ての機關に對して調査を実施し得た譯ではない.

今回の調査に際しては, 當初, 如下7項目(**1.-**7.)の履行を目指した. だが, 箇々の所藏機關に於る

¹⁴ 例えば, 東京帝國大學宛寄贈書に對する概況調査簡報を請参照(持井・古市・Scherrmann 2008., «追記»).

調査条件の相違に因り、実際の豫備調査(**1.-**4.)に於ては、それが概況調査段階に止まる場合や、幸にして可成り本格調査(**1.-**7.)に近い調査を行ない得た場合等々、その進捗状況は必ずしも一様ではない。だが、孰れの場合に於ても“精査”とは呼び得ぬ故、今回はその箇々の書冊に関する具體的書誌情報の紹介は敢て避けて、その配布・現蔵の状況のみを紹介する“概況・豫備調査簡報”に止め、その将来に於る本格調査に備えることとした。

- **1.: 箇々の書冊に対する青島守備軍の配布準備作業に関する諸情報に就ての記録
- **2.: 受入臺帳への記載の有無及び記載内容の把握(可能な場合は複印入手)
- **3.: 同時配布“目録”の有無及びその種類・冊数の確認(可能な場合は複印入手)
- **4.: 箇々の書冊の記録(可能な場合は複印入手)
- **5.: 箇々の書冊の舊蔵諸情報に就ての記録(可能な場合は關聯藏書/寄贈印・書込等々の複印入手)
- **6.: 箇々の書冊に対する青島守備軍の整理状況に就ての記録(可能な場合は書込等々の複印入手)
- **7.: 箇々の書冊の現蔵諸情報に就ての記録(可能な場合は關聯藏書印・書込等々の複印入手)

調査を行なうに當っては、まず上掲諸項目(**4.-**7.)を含む如下體裁の調査用カード(«插圖»)を作製した。調査時にはこれを携行し、各書籍の觀察結果は、其處に填記した。言葉で表現し難い状態の記録用に、數字式寫眞機乃至スキャナーの使用を考慮・準備したが、藏書機關の書庫内に於る使用は、その殆どの場合禁止故、むしろ當該藏書機關備付けの複印機(特に彩色複印)の活用が大いに役立った。藏書機關が大學である場合、その複印機は圖書館内或は書庫内所設の大学生協機である場合が殆どである。その結果、實質的に當該所要費用を科學研究費から支出することは不可能(3倍程の額を費し、煩瑣、且つ長時間の手續を経れば可能)との由故、當該費用は調査擔當者の日當から醸出した! 調査地に於て多量の複印を必要とする當調査の如き事業例の場合、それを支障無く遂行し得るよう的確な措置を講じる可く、科學研究費の支出に関する規定の明確化が必要と考える。

著者名・書名			調査日: 200 年 月 日 調査者: 志村 持井 吉市
青島ドイツ系機関における所蔵状況	所蔵機関名	備考	
	所蔵番号		
	船型蔵書票 K.B. 藍色印	有 無 (番号)	
青島守備軍による接收・整理状況	整理番号	黒 赤 青	備考
	藍色印	有 無 (年月日)	
	当該書名		
分配後の日本各研究機関における所蔵状況	* 帝大・旧制高校等(被配布機関)		
	被配布機関名	備考	
	登録番号・登録年月日		
	* 大学等(現所蔵機関)		
	現蔵機関名及び機関内所蔵場所		
	登録年月日	備考 番号1: 番号2:	
	図書番号1		
	図書番号2		

«插圖»

藏書機関に於る調査条件は、書庫への入庫の可・否の別、當該書籍の一括配架・分散配架の別等々、各藏書機関ごとに異なる。例えば、京都大學総合圖書館の場合、當該書籍の可成りの部分は一括配架されていたものの、他の膨大な藏書中に混在配架された未統合書籍 100 餘冊を當調査実施時に搜到したという場合もあった。この調査条件の違いに就ては、前掲“**●**ドイツ租借期青島旧藏書籍の現蔵機関及びその概況”を御覽頂きたい。

實際の豫備調査に於ては、持井、志村、及び古市の3研究員がその調査用カードへの記入を擔當すると共に、必要に応じてScherrmann研究員がこれに同行し、當該書冊の搜索、不鮮筆記文字の判讀、關聯資料の調査等々、適宜對應協助した。箇々の調査作業は、調査擔當者の本務校に於る活動が區々故に同一の調査期間を設定することが困難であったため、原則として現藏機關毎に各々“持井・古市・Scherrmann 支班”と“志村支班”とに分けて擔當したが、京都大學及び北海道大學に就ては、兩支班が各々協同・重複してこれに當った。具體的な調査地とその擔當者に就ては、前掲“**■ドイツ租借期青島旧藏書籍の現藏機關及びその概況**”を御覽頂きたい。¹⁵

豫備調査結果の整理、同定作業、竝に本稿の作製は、持井、古市、及びScherrmannの3研究員で行なつた。實際に作業を始めてみると、既述の調査用カードが實は餘り役に立たぬことが判明し(他人の筆記は判讀し難い!)、その殆どは複印に基づく作業となった。具體的には、複印上に撮し出された青島在藏機關に於る分類・整理番號、全編著者・書名中の主要語彙等々を頼りに、「臺帳」所録書冊との同定を行なつた。

最後に、當調査・研究事業竝に本稿作製に際して御教示・御高配を賜つた方々に對し、その所屬機關ごとに御名前を列記し、感謝の意を表したい。尙、これはその御名前を知り得た方々に就てのみのことで、この他にも多くの方々の御教示・御高配を賜つたこと云う迄もない。又、各位の所屬に就ては御世話になつた時點でのものとした。

- ・京都大學: 今井淑子氏・磯谷峰夫氏・山崎千恵氏(全附屬圖書館), 小堀淳子氏(全人間・環境學研究科/總合人間學部圖書館), 岩井茂樹氏(全人文科學研究所).
- ・國際大學: 藤村泰司氏(日本語プログラム).
- ・[日本]電腦辭林會: 久保惠卿氏.
- ・東京大學: 上田春江氏(全大學駒場圖書館), 梶島納山氏・田川ひで氏・原香壽子氏(全總合圖書館), 風卷みどり氏・和田洋一氏(全文學部圖書室), 石川洋氏・朴倍映氏・吉田聰氏(全文學部), 春原由樹(全文學部中國思想文化學研究室), 高橋宗五氏(全大學院總合文化研究科), 村松伸氏(全生産技術研究所).
- ・東北大學: 松井好次氏・菅原透氏(全大學附屬圖書館), 曾根原理氏(全學術資源研究公開センター), 佐竹保子氏(全大學院文學研究科/文學部).
- ・新潟大學: 大石博昭氏・星和夫氏(學術情報部學術情報管理課), 關尾史郎氏(全大學人文社會・教育科學系).
- ・福島圖書館研究所: 渡邊武房氏.
- ・北海道大學: 松尾博羽氏(全大學圖書館事務部情報管理課), 三木聰氏(全大學院文學研究科/文學部).
- ・ユタ系圖協會The Genealogical Society of Utah: 伊丹延二氏・浦野雅子氏・佐藤由美子氏・杉本圭司氏(全協會東京支部圖書館).
- ・金澤大學: 池上佳芳里氏・押見智美氏・野村洋子氏・橋美穂氏・村田勝俊氏(全大學附屬中央圖書館), 岩田禮氏・上田望氏・笠井純一氏・高濱秀氏・能川泰治氏(全文學部), 大川飛鳥氏・佐々木聰氏(全大學院文學研究科修士課程), 神谷健太氏(全大學院人間社會環境研究科博士前期課程).
- ・香港大學圖書館參考係司書.

尙、當序を了えるに當り、金澤大學圖書館を既に退官した梶井重明氏に對し、更めて御禮を申し上げたい。梶井氏は、1989年の冬に、筆者(持井)に對して館藏«青島文庫»の存在を御教示のうえ、その調査の必要なことに就き、注意を喚起して下さつた方である。如し梶井氏の御教示が無かつたならば、當調査・研究事業そのものが組織されることは無かつた。此處にその旨を特記すると共に、上記各位の御厚意に對し、衷心より感謝の意を表したい。

¹⁵ 但、當該報告は豫算執行を伴うものに限つた載録である。又、“持井・古市・Scherrmann 支班”の調査期間に就ては、本務の都合に因り、持井・古市が常に同一行動を取り得た譯ではなく、この點は原稿段階では區別してあつたものの、表示が煩瑣になるのを嫌い、本稿では一括して表示した。

《所用略號一覽》

1: 貸與・寄贈豫定機關[含實施]簡稱

(配列順は簡稱の發音_{音讀}[アイウエオ順]に據ることを基本とし、上海[シャンハイ]・青島[チンタオ]のみ、その慣用發音に據った)

- | | |
|---------------------------|---------------------------------|
| 1. «一高»(← 第一高等學校) | 2. «大藏»(← 大藏省) |
| 3. «海軍軍務»(← 海軍省軍務局) | 4. «海軍大»(← 海軍大學校) |
| 5. «外務»(← 外務省) | 6. «九州帝大»(← 九州工科醫科大學[九州帝國大學]) |
| 7. «京都帝大»(← 京都帝國大學) | 8. «五高»(← 第五高等學校) |
| 9. «佐賀高»(← 佐賀高等學校) | 10. «三高»(← 第三高等學校) |
| 11. «參謀本部»(← 參謀本部) | 12. «參謀陸軍文庫»(← 參謀本部陸軍文庫) |
| 13. «四高»(← 第四高等學校) | 14. «七高»(← 第七高等學校) |
| 15. «司法»(← 司法省) | 16. «上海東亞同文»(← 上海東亞同文書院) |
| 17. «青島官廳殘置»(← 青島官廳殘置書籍) | 18. «青島守備軍»(← 青島守備軍) |
| 19. «青島獨逸協會»(← 青島獨逸協會) | 20. «帝國圖書館»(← 帝國圖書館) |
| 21. «鐵道»(← 內閣鐵道院[鐵道省]) | 22. «東京外語»(← 東京外國語學校ゲルマニア圖書館) |
| 23. «東京帝大»(← 東京帝國大學) | 24. «東北帝大»(← 東北帝國大學理科學校) |
| 25. «內閣拓殖»(← 內閣拓殖局) | 26. «內務»(← 內務省) |
| 27. «新潟高»(← 新潟高等學校) | 28. «二高»(← 第二高等學校) |
| 29. «八高»(← 第八高等學校) | 30. «北海道帝大»(← 北海道農科大學[北海道帝國大學]) |
| 31. «松本高»(← 松本高等學校) | 32. «松山高»(← 松山高等學校) |
| 33. «水戸高»(← 水戸高等學校) | 34. «山形高»(← 山形高等學校) |
| 35. «山口高»(← 山口高等學校) | 36. «陸軍醫校»(← 陸軍軍醫學校) |
| 37. «陸軍醫務醫事»(← 陸軍省醫務局醫事課) | 38. «陸軍醫務»(← 陸軍省醫務局) |
| 39. «陸軍技術本部»(← 陸軍技術本部) | 40. «陸軍教育總監»(← 陸軍教育總監部) |
| 41. «陸軍經理建築»(← 陸軍省經理局建築課) | 42. «陸軍經理校»(← 陸軍經理學校) |
| 43. «陸軍憲兵司令部»(← 陸軍憲兵司令部) | 44. «陸軍工兵校»(← 陸軍工兵學校) |
| 45. «陸軍士官校»(← 陸軍士官學校) | 46. «陸軍千住製絨»(← 陸軍千住製絨所) |
| 47. «陸軍大»(← 陸軍大學校) | 48. «陸軍豫科士官校»(← 陸軍豫科士官學校) |
| 49. «陸軍中央幼年校»(← 陸軍中央幼年學校) | 50. «陸軍東京砲工廠»(← 陸軍東京砲兵工廠) |
| 51. «陸軍被服本廠»(← 陸軍被服本廠) | 52. «陸軍砲工校»(← 陸軍砲工學校) |
| 53. «陸軍糧秣本廠»(← 陸軍糧秣本廠) | 54. «六高»(← 第六高等學校) |

2: 現藏機關簡稱

(配列順は簡稱の發音[アイウエオ順]に據る)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. «茨城大圖»(← 茨城大學圖書館本館) | 2. «愛媛大中圖»(← 愛媛大學附屬中央圖書館) |
| 3. «岡山大中圖»(← 岡山大學附屬中央圖書館) | 4. «海自第一術科校»(← 海上自衛隊第一術科學校) |
| 5. «海保大圖»(← 海上保安大學校圖書館) | 6. «外務圖»(← 國立國會圖書館支部外務省圖書館) |
| 7. «鹿兒島大中圖»(← 鹿兒島大學附屬中央圖書館) | 8. «金澤大中圖»(← 金澤大學附屬中央圖書館) |

- 9.「九州大中圖」(←九州大學附屬中央圖書館) 10.「京都大附圖」(←京都大學附屬圖書館)
- 11.「京都大總人圖」(←京都大學人間・環境學研究科/總合人間學部圖書館)
- 12.「熊本大附圖」(←熊本大學附屬圖書館中央館) 13.「國會圖書館」(←國立國會圖書館)
- 14.「埼玉浦和圖」(←埼玉縣立浦和圖書館) 15.「埼玉熊谷圖」(←埼玉縣立熊谷圖書館)
- 16.「埼玉大圖」(←埼玉大學圖書館) 17.「財務圖」(←國立國會圖書館支部財務省圖書館)
- 18.「佐賀大附圖」(←佐賀大學附屬圖書館本館) 19.「昭和館圖」(←昭和館圖書室)
- 20.「信州大松本圖」(←信州大學附屬松本合同圖書館) 21.「總務圖」(←國立國會圖書館支部總務省圖書館)
- 22.「東京外大附圖」(←東京外國語大學附屬圖書館) 23.「東京大駒場圖」(←東京大學駒場圖書館)
- 24.「東京大總研棟漢籍」(←東京大學總合研究棟漢籍コーナー)
- 25.「東京大總研棟中文研」(←東京大學總合研究棟中國文學研究室)
- 26.「東京大總圖」(←東京大學總合圖書館) 27.「東京大文圖3號」(←東京大學文學部3號館圖書室)
- 28.「東京大文圖2號」(←東京大學文學部2號館圖書室) 29.「東北大附圖分館」(←東北大學附屬圖書館分館)
- 30.「東北大附圖本館」(←東北大學附屬圖書館本館) 31.「名古屋大中圖」(←名古屋大學附屬中央圖書館)
- 32.「新潟大中圖」(←新潟大學附屬中央圖書館) 33.「一橋大附圖」(←一橋大學附屬圖書館)
- 34.「福島圖研」(←福島圖書館研究所) 35.「防衛大圖」(←防衛大學校圖書館)
- 36.「防衛圖」(←國立國會圖書館支部防衛省圖書館) 37.「法務圖」(←國立國會圖書館支部法務圖書館)
- 38.「北海道大附圖」(←北海道大學附屬圖書館本館) 39.「山形大中圖」(←山形大學附屬中央圖書館)
- 40.「山口大總圖」(←山口大學總合圖書館) 41.「陸自衛生校」(←陸上自衛隊衛生學校)
- 42.「陸自幹部校」(←陸上自衛隊幹部學校) 43.「陸自業務校」(←陸上自衛隊業務學校)

「引用文獻目錄」

以下の配列は、引用時使用略號のアルファベット順を基本とし、次に刊年の序に従った。その際、日語論著の場合は、基本として、引用略號發音の所謂ヘボン式(日語)に據るローマ字表記を念頭におき、その然るべき箇處に配列した。

- ・BVdKB1911.; “Bücher-Verzeichnis der Kiautschou-Bibliothek August 1911.”, Deutsch Chinesische Druckerei und Verlagsanstalt Walther Schmidt, 1911., Tsingtau.
- ・BVdKB 1920.; [Paul Doenitz^編・青島守備軍參謀部^訂]: “Bücher-Verzeichnis der Kiautschou-Bibliothek August 1911.”
- ・井出・須田2001.; 井出萬秀・須田明日香(編): “舊制松本高等學校ドイツ語圖書目錄”, 2001 [平成13]年10月, 舊制高等學校記念館[松本]/Manshu Ide, Asuka Suda (hrsg. von): “Verzeichnis der deutschsprachigen Bücher aus der Oberschule Matsumoto (1919-1950) im früheren Schulsystem in Japan”, 2001 Matsumoto, Museum für die Oberschule im früheren japanischen Schulsystem, Matsumoto.
- ・「膠圖藏目補」1922.; 青島守備軍參謀部: “膠州圖書館藏書目錄 補遺”, 1922 [大正11]年以前, 全64頁, 油印本.
- ・金大^文論集(語文); “金澤大學文學部論集: 語學・文學篇”, 第17-第27號, 1997-2007年, 金澤大學文學部.
- ・金大^文論集(史・考・地); “金澤大學文學部論集: 史學・考古學・地理學篇”, 第17-第27號, 1997-2007年, 金澤大學文學部.
- ・金大^{歴言系}論集(史・考); “金澤大學文學部論集: 史學・考古學篇”, 第1號, 2009年, 金澤大學歷史言語文化系.

- 持井・古市・Scherrmann 2007.; 持井康孝・古市大輔・Sylke Scherrmann: 獨逸租借期青島所藏書籍目錄: I, “金澤大學文學部論集 史學・考古學・地理學篇”, 27, 2007, 1-160 頁.
- 持井・古市・Scherrmann 2008.; 持井康孝・古市大輔・Sylke Scherrmann: 獨逸租借期青島所藏書籍目錄: I(結), “金澤大學文學部論集 史學・考古學・地理學篇”, 28, 2008, 21-76 頁.
- 持井・古市・Scherrmann 2009.; 持井康孝・古市大輔・Sylke U. Scherrmann: 獨逸租借期青島所藏書籍目錄: II, III, “金澤大學歷史言語文化學系論集 史學・考古學篇”, 1, 2009, 1-154 頁.
- 奥村2006.; 奥村 淳: “山形大學圖書館に存する青島鹵獲書籍について - その比較文化的考察 -”, 山形大學紀要(人文科學)第16卷第1號, 2006年, 115-52頁.
- OL 徳文新報 ; C. Fink (Hrsg. u. verantwortl. Redakt.[1898.-1917.]): “Der Ostasiatische Lloyd: Organ für die deutschen Interessen im fernen Osten 徳文新報”, 1886.-¹⁶
- 「鹵書目訂表」1922.; “鹵獲書籍目錄訂正表(謄寫目錄及歐文目錄)”, 1922[大正11]年7月以前,¹⁷ 全20頁, 油印本.
- 「鹵書追目」1920.; 青島守備軍參謀部: “大正九年三月鹵獲書籍追加目錄”, 1920[大正9]年3月, 全64頁, 油印本.
- 「鹵書・圖目」1920.; 青島守備軍陸軍參謀部(編): “鹵獲書籍及圖面目錄”, 1920[大正9]年2月, 全1012頁, 油印本.
- 志村2000.; 志村 惠: ‘金澤大學中央圖書館所藏「青島文庫」藏書目錄(1)’, 金大文論集20.(書文)2000., 129-51頁.
- 志村2001.; 志村 惠: ‘金澤大學中央圖書館所藏「青島文庫」藏書目錄(2)’, 金大文論集21.(書文)2001., 115-21頁.
- 志村2007.; 志村 惠: ‘青島鹵獲書籍について - 現在の所蔵を中心に -’, 金大文論集27.(書文)2007., 23-36頁.
- «大正八年以降鹵獲書籍»1919.*; 陸軍省(所綴): “大正八年以降 鹵獲書籍ニ關スル件”, 防衛省防衛研究所史料閱覽室所蔵, 陸軍省/日獨戰役/T8-1/66.
- «圖書分配表»1922.; ‘圖書分配表(鹵獲書籍及圖面目錄ノ分)’・‘圖書分配表(獨文謄[謄膠]州圖書館目錄ノ分)’, «大正八年以降鹵獲書籍»1919.*, MF No. 0111-0203, 0204-0257.
- 渡邊 2004.; 渡邊武房: “鹵獲圖書12冊”, 福島圖書館研究所 所蔵資料紹介シリーズ・その1, 2004年.

¹⁶ “erscheint in Schanghai Sonnabends Morgens”.

¹⁷ 第四高等學校宛添附書類(金澤大學附屬中央圖書館現蔵)の如下表記に據る.

「青參第二五三號」

鹵獲書籍目錄訂正表送付ノ件通牒

大正十一年八月一日 青島守備軍司令部

第四高等學校御中

兼テ通牒致置候鹵獲書籍目錄訂正表一部 別冊ノ通及送付候也”(“陸軍”用11行罫紙[16.5 x 24.5 cm]; 武藤 [天部框柳外第2行, 橢圓形有框朱文]・高波[喉部框柳外下部, 圓形有框朱文]の認印有り)

《獨逸租借期青島舊藏書籍在日現藏概況・豫備調査簡報》

1.: [Paul Doenitz 編・青島守備軍參謀部 訂]:
“Bücher-Verzeichnis der Kiautschou-Bibliothek August 1911.”

[表紙]

“Bücher-Verzeichnis der Kiautschou-Bibliothek August 1911.”¹

Bücher-Verzeichnis
der
Kiautschou-Bibliothek
August 1911.

Preis: 1 Dollar.

Tsingtau 1911.

Deutsch-Chinesische Druckerei und Verlagsanstalt, Walther Schmidt, Tsingtau.

[I]

Bibliothek-Ordnung.

—◇—

§ 1.

Zur Benutzung der Bibliothek sind der Stiftungsurkunde gemäss in erster Linie die in das Schutzgebiet kommandierten Angehörigen des See- und Landheeres aller Rangstufen, sowie die daselbst im Reichsdienst anwesenden Beamten berechtigt.

§ 2.

Für die Benutzung der Bibliothek sind die folgenden Bedingungen massgebend.

§ 3.

An Unteroffiziere und Mannschaften werden die Bücher unentgeltlich verliehen. Für Offiziere, Deckoffiziere, Feldwebel und Beamte des Schutzgebiets beträgt die Leihgebühr 1 Mark monatlich, für Offiziere, Fähnriche und Beamte des Kreuzergeschwaders 1 \$ monatlich, für andere Personen, welche nicht im Reichsdienst stehen, 1 50 \$ monatlich, 6 \$ für ein halbes Jahr. Der Anfang des Monats rechnet vom vorhergehenden 1ten oder 15ten des Kalendermonates. Die Mitgliedkarte berechtigt zugleich zur Benutzung des Lesezimmers.

§ 4.

Bücherausgabe findet statt:

a. für Beitrag zahlende Mitglieder (Offiziere, Beamte, Kaufleute etc):

Dienstags und Freitags 3-5 Uhr nachm.

Mittwochs und Donastags 11-12 Uhr vorm.

b. für Unteroffiziere und Mannschaften:

Sonntag nachmittags von 1-4 Uhr.

§ 5.

Bücher werden nur gegen Ausfüllung der vorgeschriebenen Quittung verliehen. Der Entleiher ist verpflichtet, das betreffende Buch schonend zu behandeln und pünktlich zurückzugeben, sowie für verlorene,

¹ 同一項目内に於ては, 1 行収録語數を稍改.

beschmutzte und beschädigte Werke die Kosten der Neubeschaffung zu tragen. Bis diese erstattet sind, bleibt der Betreffende von der Benutzung der Bibliothek ausgeschlossen.

[II]

§ 6.

Bei der Rückgabe der Bücher erhält der Entleiher die von ihm ausgestellte Quittung. Wer sich die Quittung nicht zurückgeben lässt, setzt sich der Gefahr aus, unter Umständen für das Buch haftbar gemacht zu werden.[5.]

§ 7.

Die Verleihung eines Buches geschieht auf die Dauer von 3 Wochen. Für jedes Werk ist eine besondere Quittung auszustellen. Mehr als 5 Bände dürfen gleichzeitig nicht verabfolgt werden.

§ 8.

Wer innerhalb einer Woche nach erfolgter Mahnung entlehene Bücher nicht zurückgibt, hat pro Band für jede Woche 25 cts. zu bezahlen; nach 3 Wochen wird er ausserdem ersatzpflichtig.

§ 9.

Jährlich findet eine Revision der Bibliothek statt, zu der sämtliche Bücher zurückzugeben sind. Die Bibliothek bleibt dann 2-3 Wochen geschlossen.

§ 10.

In Krankenhäuser dürfen Bücher nicht entleihen oder mitgenommen werden. Nur auf besonderen Antrag an die Bibliothekverwaltung kann eine Ausnahme gemacht werden.

§ 11.

Die in die Heimat zurückkehrenden Mannschaften, sowie alle übrigen das Schutzgebiet für längere Zeit verlassenden Personen haben 14 Tage vor ihrer Abreise sämtliche entlehnen Bücher zurückzugeben. Innerhalb dieser 14 Tage werden Bücher an sie nicht mehr ausgeliehen.

§ 12.

Seltene oder besonders kostbare Bücher, sowie Nachschlagewerke, Wörterbücher, Atlanten, Karten und Kunstwerke werden nur zur Benutzung im Lesezimmer ausgeliehen und dürfen aus demselben nicht entfernt werden.

[III]

§ 13.

Bei viel verlangten und häufig ausgeliehenen Büchern wird empfohlen, sich in einer vom Bücherwart geführten Liste für die Entleihung vormerken zu lassen.

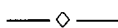
§ 14.

In ein im Lesezimmer ausliegendes Vorschlagbuch können Wünsche und Vorschläge für Neubeschaffung von Büchern und Zeitungen eingetragen werden. Ein andres Buch verzeichnet die Schenkungen an die Bibliothek, die Namen der Spender und die Titel der geschenkten Bücher.



[IV]

Lesezimmer-Ordnung.



§ 1.

Zur Benutzung des Lesezimmers sind alle Beitrag zahlenden Mitglieder berechtigt. (s. § 3 der Bibliothek-Ordnung.) – Um das Lesezimmer kennen zu lernen, kann ein einmaliger Besuch durch den Bibliothekverwalter gestattet werden.

§ 2.

Das Lesezimmer ist geöffnet:
Vormittags von 8-1 Uhr.

Nachmittags von 3–10 Uhr.
An Sonntagen von 10 Uhr Vormittags bis 10 Uhr Abends.

§ 3.

Es ist streng verboten, die im Lesezimmer ausliegenden Zeitschriften und Bücher – sei es auch nur für kurze Zeit – mitzunehmen, Nur in besonderen Fällen, z. B. für eine wissenschaftliche Arbeit, können auf besonderen Antrag hin noch nicht eingebundene Nummern – aber niemals die letzterschienen – für höchstens 8 Tage verliehen werden.



[V]

Im Lesezimmer der Kiautschou-Bibliothek
liegen folgende Zeitungen und Zeitschriften aus:



Alldeutsche Blätter.
Annalen der Hydrographie und maritimen Meteorologie.
Archiv für Post und Telegraphie.
Armeeverordnungsblatt.
Berliner Tageblatt.
Centralblatt der Bauverwaltung.
Daheim.
Das Echo.
Das literarische Echo.
Der Ostasiatische Lloyd.
Der Tag.
Der Weltkourier.
Der Weltverkehr.
Deutsche Erde.
Deutsche Japanpost.
Deutsche Kunst und Dekoration.
Deutsche Kolonialzeitung.
Deutsche Revue.
Deutsche Romanzeitung.
Deutsche Rundschau.
Deutsches Kolonialblatt.
Deutsches Offizierblatt.
Deutsch-Ostafrikanische Zeitung.
Deutsch-Südwestafrikanische Zeitung.
Deutsche Tageszeitung.
Die deutschen Kolonien.
Die Umschau. Uebersicht über die Fortschritte und Bewegungen in Wissenschaft und Technik.
Die Flotte.

[VI]

Die Gartenlaube.

Die Grenzboten.
 Die Kunst. Monatsschrift für freie und angewandte Kunst.
 Die Woche.
 Die Zukunft.
 Fliegende Blätter.
 Frankfurter Zeitung. Wochenausgabe.
 Hamburgischer Correspondent.
 Hansa. Deutsche nautische Zeitschrift.
 Illustrierte Zeitung (Leipzig).
 Innendekoration. Das gesamte Wohnungswesen in Wort und Bild.
 Jugend.
 Kiautschou-Post.
 Kieler Neueste Nachrichten.
 Kladderadatsch.
 Kölnische Zeitung.
 Koloniale Rundschau.
 Koloniale Zeitschrift.
 Kolonie und Heimat in Wort und Bild.
 Kosmos. Handweiser für Naturfreunde.
 Kunstwart.
 Kriegstechnische Zeitschrift.
 Leipziger Neueste Nachrichten.
 März.
 Marine-Rundschau.
 Marine-Verordnungsblatt.
 Meggendorfer-Blätter.
 Militär-Wochenblatt.
 Mitteilungen der Vereinigung von Freunden der Astronomie und Kosmischen Physik.
 Münchner Neueste Nachrichten.
 Nach dem Dienst.
 Nagels Lustige Welt.
 Preussische Jahrbücher.
 Prometheus. Illustrierte Wochenschrift über die Fortschritte in Gewerbe, Industrie und Wissenschaft.
 Samoanische Zeitung.
 Schwäbischer Merkur.
 Sport im Bild.
 Südwest. (Swakopmunder Zeitung).
 Tägliche Rundschau.
 Velhagen und Klasings Monatshefte.

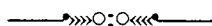
[VII]

Verhandlungen des Vereins zur Förderung des Gewerbefleißes.
 Ueberall. Illustrierte Zeitschrift für Armee und Marine.
 Ueber Land und Meer.
 Universum (Reclam).

Usambara-Post.
 Weserzeitung. Wochenausgabe.
 Westermanns Monatshefte.
 Wilhelmshavener Tageblatt.
 Wild und Hund. Illustrierte Jagdzeitung.
 Zeitschrift des Allgemeinen Deutschen Sprachvereins.
 Zeitschrift für Kolonialpolitik, Kolonialrecht u. Kolonialwirtschaft.



The Illustrated London News.
 The Studio.
 Armée et Marine.
 L'illustration.



Von den europäischen Zeitungen kommen drei: Berliner Tageblatt, Kölnische Zeitung, Tägliche Rundschau über Sibirien, die übrigen über Suez nach Tsingtau.



Einteilung der Bücherei.

[VIII]

	Seite
I. Werke allgemeinen Inhalts	1
A. Encyklopädien, Wissenschaftliche Sammelwerke. B. Zeitschriften mit Ausnahme der Fach- und Kunstzeitschriften.	
II. Religion	12
A. Geschichte der christlichen und ausserchristlichen Religion, Theologie. B. Missionswesen. C. Protestantische Erbauungsschriften. D. Katholische Erbauungsschriften.	
III. A. Philosophie. B. Mathematik. C. Pädagogik	15
IV. A. Sprachwissenschaft. B. Wörterbücher	17
V. Staats- und Rechtswissenschaft	20
A. Staatswissenschaft, Verwaltung, Gesetze. B. Rechtswissenschaft.	
VI. Militärwissenschaften	22
A. Allgemeines. B. Landheer. C. Marine.	
VII. Länder- und Völkerkunde	29
A. Zeitschriften, Allgemeines, Weltreisen, Polarreisen, Atlanten. B. Europa. C. Asien. D. Afrika. E. Amerika. F. Australien und Polynesien.	
VIII. Geschichte	46
A. Allgemeine Weltgeschichte. Kultur- und Sittengeschichte, B. Geschichte des Altertums. C. Geschichte der germanischen Völker. D. Geschichte der romanischen Völker. E. Geschichte der slavischen Völker und der Türkei. F. Geschichte der asiatischen Völker. G. Geschichte auf afrikanischem Boden. H. Geschichte Amerikas.	
IX. Politik. Socialpolitik, Nationalökonomie, Kolonial-Politik, Kolonialwesen	64
A. Politische, Sociale, Nationalökonomische Schriften. B. Kolonialwesen.	
X. Naturwissenschaften	71

A. Zeitschriften, Allgemeines. B. Nautik, Vermessungswesen. C. Geologie, Mineralogie.
D. Astronomie–Meteorologie–Physik–Chemie. E. Botanik–Zoologie–Anthropologie–
Physiologie, Biologie.

XI. Medizin	•	•	•	•	•	•	•	79
XII. Deutsche Literatur	•	•	•	•	•	•	•	82
einschliesslich der nordischen und holländischen in Uebersetzungen.								
[IX]								
A. Literaturgeschichte – Lebensbilder – Erinnerungen – Tagebücher – Briefe – Gespräche und Reden	•	•	•	•	•	•	•	82
B. Werke poetischen Inhalts. Gedichte, Epen, Schauspiele.	•	•	•	•	•	•	•	86
C. Erzählungen, Romane, Novellen, Humoresken, Skizzen.	•	•	•	•	•	•	•	93
1. Sammelwerke. 2. Einzelwerke.								
D. Volksbücher.								
1. Sammelwerke. 2. Einzelwerke. 3. Märchen, Kalender, Jugendschriften.	•	•	•	•	•	•	•	140
XIII. Ausländische Literatur	•	•	•	•	•	•	•	159
A. Englische Literatur	•	•	•	•	•	•	•	159
1. in englischer Sprache. 2. Uebersetzungen aus dem Englischen.								
B. Romanische Literatur	•	•	•	•	•	•	•	167
1. französische – 2. italienische – 3. spanische und portugiesische Literatur.								
C. Slavische Literatur.	•	•	•	•	•	•	•	172
D. Orientalische Literatur	•	•	•	•	•	•	•	174
E. Altklassische Literatur	•	•	•	•	•	•	•	174
XIV. A. Kunst u. Kunstgeschichte. B. Musik	•	•	•	•	•	•	•	175
XV. Bauwesen, Maschinenwesen, Technik, Industrie	•	•	•	•	•	•	•	180
XVI. Handel und Verkehr, Schiffahrt	•	•	•	•	•	•	•	182
XVII. Land, Forst- und Hauswirtschaft, Vieh- und Pferdezzucht	•	•	•	•	•	•	•	184
XVIII. Spiel und Sport	•	•	•	•	•	•	•	185
Nachtrag	•	•	•	•	•	•	•	187
Druckfehler-Berichtigung	•	•	•	•	•	•	•	188

Abkürzungen:

A. N. u. G. = Aus Natur und Geisteswelt. Teubnersche Sammlung wissenschaftlich-gemeinverständlicher Darstellungen aus allen Gebieten des Wissens.

S. Göschen = Sammlung Göschen. Unser heutiges Wissen in kurzen, klaren Einzeldarstellungen.



– [I] –

I. Werke allgemeinen Inhalts.

I. [I] A.

Encyklopädien ~~und~~ Wissenschaftliche Sammelwerke.

1-21	Meyers Grosses Konversationslexikon. 6. Auflage. 21 Bände.
22	do Bd. 22. Jahressupplement 1909/10.
25	Kürschners Universal-Konversationslexikon. 1895. a-b.
«參謀本部*»	
26-42	Brockhaus Grosses Konversationslexikon. 17 Bde. 14. Aufl. 1895 ff.

- 51-59 **Sammlung gemeinverständlicher wissenschaftl. Vorträge.** Herausgegeben von R. Virchow und F. von Holtzendorff:
- 51 Meyer Herm., Ueber Sinnestäuschungen. – Preyer, Ueber Empfindungen. – Hoppe-Seyler, Ueber Spectralanalyse. – Möbius, Das Tierleben am Boden der deutschen Ost- u. Nordsee. – Schmoller, Ueber die Resultate der Bevölkerungs- und Moral-Statistik. – v. Hellwald, Sebastian Cabot. – Wagner, Die Veränderungen der Karte von Europa. – Magnus, Ueber die Gestalt des Gehörorganes bei Tieren und Menschen. – Ebers, Ueber das hieroglyphische Schriftsystem.
- 52 Basel, Die Beweise für die Bewegung der Erde. – Bergan, Das Ordenshauptaus Marienburg in Preussen. – Jensen, Träumen und Denken. – Zirkel, Die Umwandlungsprocesse im Mineralreich. – Diestel, Die Sintflut und die Flutsagen des Altertums. – Hoppe-Seyler, Ueber die Quellen der Lebenskräfte. – Mensinga, Ueber alte u. neuere Astrologie. – Berendt, Geognostische Blicke in Alt-Preussens Urzeit. – Meyer, J. B., Arthur Schopenhauer als Mensch und Denker. – Förster, W., Johann Kepler.
- 53 Stark, Aus dem Reiche des Tantalus und Krösus. Eine Reisestudie. – Doehler, Die Orakel. – Rammelsberg, Ueber die Meteoriten. – v. Seebach, Ueber d. Wellen des Meeres und ihre geologische Bedeutung. – Flemming, Ueber Geistesstörungen und Geistesranke. – Buchenau, Petroleum, seine Naturgeschichte und Gewinnung. – Weger, Der Graphit und seine wichtigsten Anwendungen. – Münter, Ueber Corallentiere. –
- 54 Kohn, Ueber Bakterien. – Wendt, Sinneswahrnehmungen und Sinnestäuschungen. – Fraas, Die alten Höhlenbewohner. – Czermak, Ueber das Ohr u. Hören. – Mayer, P., Ueber Sturmfluten. – Peters, Die Entfernung der Erde von der Sonne. – Ackermann, Ueber die Ursachen epidemischer Krankheiten. – Juse[et]i, Ein Tag aus dem Leben des Königs Darius. – Claus, Der Bienenstaat. – Kugler, Wallenstein. –
- 2 -
- 55 Hochstetter, v., Ueber den Ural. – v. Seebach, Central-Amerika und der interoceanische Kanal. – G. vom Rath, Der Vesuv. Eine geologische Skizze. – v. Lissauer, Haller und seine Bedeutung für die deutsche Kultur. – Gmelin, Christensklaverei und Renegatentum unter den Völkern des Islam. – Geisenheimer, Erdmagnetismus und Nordlicht. – Perty, Ueber die Grenzen der sichtbaren Schöpfung, nach den jetzigen Leistungen der Mikroskope und Fernrohre. – Luerssen, Die Pflanzengruppe der Farne. – Holtzmann, die Ansiedelung des Christentums in Rom. –
- 56 Essellen, Das Varianische Schlachtfeld im Kreise Beckum. – Richter, Die Piccolomini – Möhl, Erdbeben und Vulkane. – Möller, Ueber das Salz in seiner kulturgeschichtlichen und naturwissenschaftlichen Bedeutungen zu dem Kometen. – Boll, Ueber elektrische Fische. – v. Martens, Purpur und Perlen. – Rüdiger, Ueber willkürliche Verunstaltungen des menschlichen Körpers. – Salkowski, Ueber das Fleisch als Nahrungsmittel. –
- 57 Sohncke, Ueber Stürme und Sturmwarnungen. – Winkelmann, Kautschuk und Gutta-Percha. – Stern, Milton und Cromwell. – Frenzel, Ueber Landespferdezucht im Regierungsbezirk Gumbinnen. – Ritterthain, Ritter v., Die Heilkünstler des alten Roms und ihre bürgerliche Stellung. – Kleefeld, Der Diamant. – Kluckhohn, Luise, Königin von Preussen. – Lipschitz, Bedeutung der theoretischen Mechanik. – Hartmann, Die menschenähnlichen Affen. – Horwick, Zur Naturgeschichte der Gefühle. – Buchner, Der Rhein, der Deutschen Lieblingsstrom. –
- 58 Jordan, Die geographischen Resultate der v. G. Rohlfs geführten Expedition in die libysche Wüste. – Dannehl, Ueber niederdeutsche Sprache. – Kuy, Das Pflanzenleben des Meeres. – Dondorff, Die Normannen und ihre Bedeutung für das europäische Culturleben im Mittelalter. – Bastian, Die Vorstellungen von der Seele. – Hirzel, Jeanne d'Arc. – Joseph, Die Tropfsteingrotten in Krain und ihre Tierwelt. – Nöggerath, Der Torf.
- 59 Zittel, Die Kreide. – Möhl, Der Boden und seine Bestimmung – Tollin, Charakteristik Michael Servets. – Schwimmer, Die ersten Anfänge der Heilkunde und die Medizin im alten Aegypten. – Buchholz, Land und Leute in Westafrika. – Sadebeck, Entwicklungsgang der Gradmessungs-Arbeiten und gegenwärtiger Stand der europäischen Gradmessung. – Mehlis, Der Rhein

				do	1905	do	• • • • •	• 156-157ab «京都大附圖»
				do	1906	do	• • • • •	• 158ab-159 «京都大附圖»
Vom Fels zum Meer					1895 (April bis Sptbr.)		• • • • •	• 160
do					1896		• • • • •	• 161
do					1897		• • • • •	• 162
do					1903	2 Bde	• • • • •	• 163-164
do					1904	Bd. 2	• • • • •	• 165
Universum (Reclam)					1897	do	• • • • •	• 166-167
do					1903	do	• • • • •	• 168-169
Illustrierte Zeitung					1905	2 Bde	• • • • •	• 201-202
do					1906	do	• • • • •	• 203-204
do					1907	do	• • • • •	• 205-206 «京都大附圖»
do					1908	do	• • • • •	• 207-208
do					1909	do	• • • • •	• 209ab-210 «京都大附圖»
do					1910	do	• • • • •	• 211-212
do					1911	Bd 1	• • • • •	• 213
Fliegende Blätter					Bd	102	• • • • •	• 251
do						118	• • • • •	• 252
do						119	• • • • •	• 253
do						120	• • • • •	• 254
do						121	• • • • •	• 255
do						122	• • • • •	• 256
do						124	• • • • •	• 257
do						125	• • • • •	• 258 «京都大附圖»
do						126	• • • • •	• 259 «京都大附圖»
do						127	• • • • •	• 260
do						128	• • • • •	• 261 «京都大附圖»
do						129	• • • • •	• 262 «京都大附圖»
do						130	• • • • •	• 263
do						131	• • • • •	• 264
do						132	• • • • •	• 265
								- 4 -
Fliegende Blätter					133		• • • • •	• 266 «京都大附圖»
do					134		• • • • •	• 267 «京都大附圖»

				do	1911	do	• • • • •	• 551	«京都大附圖»
									«京都大附圖»
Gartenlaube				do	1857	• • • • •	• 581		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1858	• • • • •	• 582ab		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1859	• • • • •	• 583		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1860	• • • • •	• 584		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1861	• • • • •	• 585a-b		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1862	• • • • •	• 586		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1863	• • • • •	• 587a-b		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1864	• • • • •	• 588a-b		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1865	• • • • •	• 589		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1866	• • • • •	• 590		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1868	• • • • •	• 592		
				do	1869	• • • • •	• 593		
				do	1870	• • • • •	• 594		
				do	1871	• • • • •	• 595 ^{III.}		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1872	Bd. I. u. II.	• • • • •	• 596 ^{I*}	
				do	1873	• • • • •	• 597		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1874	• • • • •	• 598		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1875	• • • • •	• 599 ^{I*}		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1876	• • • • •	• 600		
				do	1877	• • • • •	• 601		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1878	• • • • •	• 602		
				do	1879	• • • • •	• 603		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1880	• • • • •	• 604		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1881	• • • • •	• 605		«京都大附圖»
									«京都大附圖»
				do	1882	• • • • •	• 606		«京都大附圖»
									«京都大附圖»

Gartenlaube	1883	• 607 《京都大附圖》
do	1884	• 608
do	1885	• 609 《京都大附圖》
do	1886	• 610
do	1887	• 611
do	1888	• 612 《京都大附圖》
do	1889	• 613 《京都大附圖》
do	1890	• 614a-b 《京都大附圖》
do	1891	• 615 《京都大附圖》
do	1892	• 616 《京都大附圖》
do	1893	• 617 《京都大附圖》
do	1894	• 618 《京都大附圖》
do	1895	• 619
do	1896	• 620 《京都大附圖》
do	1897	2 Bde.	• 621 I-II 《京都大附圖》
do	1898	• 622
do	1899	• 623a-b 《京都大附圖》
do	1900	• 624a-b 《京都大附圖》
do	1901	2 Bde.	• 625-26 《京都大附圖》
do	1902	• 627a-b 《京都大附圖》
do	1903	• 628a-b
do	1904	2 Bde.	• 629-630 《京都大附圖》
do	1905	• 631a-e
do	1906	2 Bde.	• 632-633a-b 《京都大附圖》
do	1907	do	• 634-635a-b 《京都大附圖》
do	1908	do	• 636-637a-b 《京都大附圖》

do	1909	Bd. I.	• • • • •	638
do	1909	Bd. II.	• • • • •	639a-b
do	1910	2 Bde.	• • • • •	640-641a-b «京都大附圖»
do	1911	Bd. I.	• • • • •	642a-b «京都大附圖»
Nach dem Dienst	1894		• • • • •	670
do	1896		• • • • •	672 «京都大附圖»
do	1903		• • • • •	675 «京都大附圖»
do	1904		• • • • •	676 «京都大附圖»
do	1905		• • • • •	677 «京都大附圖»
do	1906		• • • • •	678 «京都大附圖»
do	1907		• • • • •	679
do	1908		• • • • •	680 «京都大附圖»
do	1909		• • • • •	681
do	1910		• • • • •	682 «京都大附圖»
Die Woche	1903	Bd. 1-2	• • • • •	740-741
do	1904	do 1-4	• • • • •	743-746
do	1905	do 1-4	• • • • •	747-750
do	1906	do 1-4	• • • • •	751-754
do	1907	do 1-4	• • • • •	755-758
do	1908	do 1-2	• • • • •	759-760
do	1908	do 3-4	• • • • •	761-762
do	1909	do 1-4	• • • • •	763-766
do	1910	do 1-4	• • • • •	767-770
do	1911	do 1-2	• • • • •	771-772
Meggendorfer-Blätter	1906	Bd. 67	• • • • •	811
do	1907	do 68	• • • • •	128 [128812 ²]
do	1907	do 69	• • • • •	813
do	1907	do 70	• • • • •	814
Meggendorfer-Blätter	1907	do 71	• • • • •	815
do	1908	do 72	• • • • •	816 «京都大附圖»
do	1908	do 73	• • • • •	817
do	1908	do 74	• • • • •	818
do	1908	do 75	• • • • •	819
do	1909	do Bd. 76-79	• • • • •	820-823

									«京都大附圖»
	do		1910	do	do	80-83	• • • • •	• • • • •	824-827
	do		1911	do	do	84-85	• • • • •	• • • • •	828-829
Jugend	1896						• • • • •	• • • • •	870
	do	1903	2 Bde.				• • • • •	• • • • •	871-872 [†]
									«京都大附圖»
	do	1904	do				• • • • •	• • • • •	873-874
	do	1905	do				• • • • •	• • • • •	875-876
	do	1906	do				• • • • •	• • • • •	[†] 877-878
									«京都大附圖»
	do	1907	do				• • • • •	• • • • •	879-880
	do	1908	do				• • • • •	• • • • •	881-882 [†]
									«京都大附圖»
	do	1909	do				• • • • •	• • • • •	883-884
	do	1910	do				• • • • •	• • • • •	885-886
	do	1911	Bd. I				• • • • •	• • • • •	887
Ueber Land und Meer	1886						• • • • •	• • • • •	906
	do		1887				• • • • •	• • • • •	907
	do		1888				• • • • •	• • • • •	908
	do		1889				• • • • •	• • • • •	909
	do		1890				• • • • •	• • • • •	910a-b
	do		1891				• • • • •	• • • • •	911
	do		1892	Bd. 1			• • • • •	• • • • •	912
									«京都大附圖»
	do		1895	2 Bde			• • • • •	• • • • •	914-915
	do		1898				• • • • •	• • • • •	916
									«京都大附圖»
	do		1909	2 Bde			• • • • •	• • • • •	917-918
	do		1910	do			• • • • •	• • • • •	919-920
									«京都大附圖»
	do		1911	Bd. 1			• • • • •	• • • • •	921
									«京都大附圖»
Velhagen und Klasings Monatshefte	1889/90	Bd. II.					• • • • •	• • • • •	936a-b
	do		1890/91	2 Bde.			• • • • •	• • • • •	937-938
	do		1891/92	Bd. I.			• • • • •	• • • • •	939
	do		1892/93	2 Bde.			• • • • •	• • • • •	940-941
	do		1895/96	do			• • • • •	• • • • •	942-943
									«京都大附圖»
	do		1896/97	Bd. 1-2			• • • • •	• • • • •	945-46
	do		1897/09	do 1			• • • • •	• • • • •	947
	do		1900/01	do 1-2			• • • • •	• • • • •	948-49
	do		1899/1900	do 2			• • • • •	• • • • •	950
									«京都大附圖»
	do		1902/3	do 1-2			• • • • •	• • • • •	961-62
									«京都大附圖»
	do		1903/04	do 1			• • • • •	• • • • •	964

do	1888	do 1-4	• • • • •	• 1108 do «京都大附圖»
do	1889	do 1-4	• • • • •	• 1109 do «京都大附圖»
do	1890	do 1-4	• • • • •	• 1110 do «京都大附圖»
do	1891	do 1-4	• • • • •	• 1111 do «京都大附圖»
do	1892	do 1-4	• • • • •	• 1112 do «京都大附圖»
do	1893	do 1-4	• • • • •	• 1113 do «京都大附圖»
do	1894	do 1-4	• • • • •	• 1114 do «京都大附圖»
do	1895	do 1-3 (1-2a-b)	• • • • •	• 1115 I-III «京都大附圖»
do	1897	do 1-4	• • • • •	• 1117 I-IV «京都大附圖»
do	1898	do 1-2	• • • • •	• 1118 I-II
do	1884	do 2-4	• • • • •	• 1121 II-IV «京都大附圖»
do	1903	do 1-3	• • • • •	• 1122-24 «京都大附圖»
do	1904	do 4	• • • • •	• 1126-29a-b «京都大附圖»
do	1905	do 4	• • • • •	• 1130-33a-b «京都大附圖»
do	1906	do 4	• • • • •	• 1134-37a-b «京都大附圖»
do	1907	do 4	• • • • •	• 1138-41 ² «京都大附圖»
do	1908	do 4	• • • • •	• 1142-45 «京都大附圖»
do	1909	do 4	• • • • •	• 1146-49 «京都大附圖»
do	1910	do 4	• • • • •	• 1150-4[45]3 «京都大附圖»
do	1911	do 2	• • • • •	• 1154-55 ² «京都大附圖»
Die Grenzboten	1903	Bd. 1-4	• • • • •	• 1200-03 «京都大附圖»
do	1904	do 1-4	• • • • •	• 1204-07 «京都大附圖»
do	1905	do 1-4	• • • • •	• 1208-11 «京都大附圖»

² 1138ab, 1139ab, 1140ab, 1141 (鹵書目訂表1920_{II/III.}, 膠圖1葉).

					«京都大附圖»
do	1911	do 1		1616
					«京都大附圖»
Deutsch-Asiatische Warte	1903			1640
					«京都大附圖»
do	1904			1641 1641
Ostasien, die erste Monatsschrift eines Japaners	1903			1684
	do		1904/5	1685
	do		1905/6	1686
					- 10 -
Ostasien, die erste Monatsschrift eines Japaners	1906/7			1687
	do		1907/8	1688
	do		1908/9	1689
Deutsche Japanpost	1903			1721
do	1904			1722
do	1905			1723
do	1906			1724
do	1907			1725
do	1908			1726
do	1909			1727
do	1910	2 Bde.		1728-1729
Der Ferne Osten	1903	Bd. 2-3		1750-51
					«京都大附圖»
Der Tag	1907	Bd. 1-3		1760-62
					«京都大附圖»
do	1908	do 1-3		1763-65
					«京都大附圖»
do	1909	do 1-3		1766 1767-68
					«京都大附圖»
do	1910	do 1-3		1769-71
					«京都大附圖»
do	1911	do 1		16[6 ⁷]72
					«京都大附圖»
Der Deutsche	1906	7 Bd. 1		1780
					«京都大附圖»
do	April bis September	1907		1781
					«京都大附圖»
do	Oktober	1907 bis März 1908		1782
					«京都大附圖»
do	April bis August	1908		1783
					«京都大附圖»
Journal of the Royal United Service Institution.	1904-7			2018-25
	do	1908	2 Bde.	2026-2027
Country Life	Oktb. 1904 - März 1905.	2 Bde.		2031-32
The Illustrated London News	1863	Bd. 2		2040
do	1889	do 2		2041

	do	1890	do 1	• • • • •	2042
	do	1896	do 1-5	• • • • •	2043-47
	do	1897	do 2-5	• • • • •	2048 2050-51
	do	1903	do 3-4	• • • • •	2060-61
	do	1904	do 1-2	• • • • •	2062 63
	do	1905	do 1-3	• • • • •	2064-665
	do	1906	do 1-3	• • • • •	2067-69
	do	1907	do 1-3	• • • • •	2070-72
	do	1908	do 1-2	• • • • •	2073-74
	do	1909	do 1-2	• • • • •	2075-76
	do	1910	do 1-2	• • • • •	2077-78 «京都大附圖»
	do	1911	Bd. I.	• • • • •	2079 «京都大附圖»
The Review of Reviews	1903	Bd. 3	• • • • •	• • • • •	2101 «京都大附圖»
	do	1904	do 1-2	• • • • •	2102-3 «京都大附圖»
	do	1905	do 1-2	• • • • •	2104-5 «京都大附圖»
	do	1906	• • • • •	• • • • •	2106 «京都大附圖»
	do	1907	Bd. 1-2	• • • • •	2107-08 «京都大附圖»
	do	1908	do 1-2	• • • • •	2109-10 «京都大附圖»
	do	1909	do 1-2	• • • • •	2111-2112 «京都大附圖»
	do	1910	do 1-2	• • • • •	2113-2114 «京都大附圖»
L'Illustration	1903-4	Bd. 1-2	• • • • •	• • • • •	2200 ^{ab} -10[1001]
	do	1905	do 1-2	• • • • •	2202-3
	do	1906	do 1-2	• • • • •	2204-5
	do	1907	do 1-2	• • • • •	2206-7 «京都大附圖»
	do	1908	do 1-2	• • • • •	2208-9
	do	1909	do 1-2	• • • • •	2210-11
	do	1910	do 1-2	• • • • •	2212-13
	do	1911	do 1	• • • • •	2214
- 11 -					
Tsingtauer Neueste Nachrichten	1904	• • • • •	• • • • •	• • • • •	1802
	do	1905 Jan. - Juni	• • • • •	• • • • •	1803
	do	1905 Juli - Dezbr.	• • • • •	• • • • •	1804
	do	1906 Jan. - April	• • • • •	• • • • •	1805
	do	1906 Mai - August	• • • • •	• • • • •	1806
	do	1906 Septb. - Dezbr.	• • • • •	• • • • •	1807

- 2504 **Zittel**, Die Entstehung der Bibel. a-b. «京都大附圖»
- 2505 **Die Bekenntnisse des hlg. Augustinus.** «京都大附圖»
- 2506 **Dvorák**, Confucius und seine Lehre. «陸軍士官校»
- 2507 **Dr. Faber**, A Systematical Digest of the Doctrines of Confucies a-b. «京都大附圖»
- 2508 **v.[d.] Gabelentz**, Confucius und seine Lehre. «參謀本部»
- 2509 **Hardy**, Der Buddhismus nach älteren Pâli-Werken. «京都大附圖»
- 24[45]10 **Buddhas** Leben u. Wirken, s. XIII D.
Der Koran, übersetzt v. Ullmann. «京都大附圖»
- 2511 **Siecke**, Die Liebesgeschichte des Himmels. Untersuchungen zur indogermanischen Sagenkunde. «京都大附圖»
- 2512 **Siecke**, Die Urreligion der Indogermanen. «京都大附圖»
- 2513 **Giesebrecht**, Grundzüge der israelitischen Religionsgeschichte. «京都大附圖»
- 2514 **Rohrbach**, Im Lande Jahwes und Jesu, Wanderungen und Wandlungen. 1901. «京都大附圖»
- 2515 **Riehl**, W. H., Religiöse Studien eines Weltkindes. «京都大附圖»
- 2516 **Vischer**, Der Apostel Paulus und sein Werk. A. N. und G. «京都大附圖»
- 2517 **Kind**, A. Züge aus Jesu Wesen und Leben – Gott und sein Wesen, Schlichte Gedanken – Mancherlei. Plaudereien. «京都大附圖»
- 2518 **Graue**, Votum über das Judentum. «京都大附圖»
- 2520-21 **Köstlin**, Luthers Theologie in ihrer geschichtlichen Entwicklung. «京都大附圖»
- Freytag**, G. Doktor Luther, s. XII A. – **Mathesius**, Luthers Leben, s. II. C.
Rade, **Hausrath**, Luthers Leben, s. bei XII A.
- 2522 **Brasch**, Die religiösen Stimmungen der Gegenwart. A. N. u. G. «京都大附圖»
- 2523 **Delitzsch**, Zur Weiterbildung der Religion. Zwei Vorträge 1908. «京都大附圖»
- 2524 **Rolfus** und **Brändle**, Die Glaubens- und Sittenlehre der katholischen Kirche. «京都大附圖»
- 2525 **Moritz**, Götterlehre der Griechen und Römer (Reclam). «京都大附圖»
- 2526 **Bonus**, A., Religion als Schöpfung. «京都大附圖»
- 2527 **Harnack**, A., Dogmengeschichte. 4. Aufl. 1905. «京都大附圖»

B. Missionswesen.

- 2576 **Lockhart, W.**, The Medical Missionary in China. «京都大附圖»
- 2577 do Der ärztliche Missionar in China.
«^v參謀本部»
- 2580 **Warneck**, Die gegenseitigen Beziehungen zu[zwischen] der modernen Mission und Cultur. «京都大附圖»
- 2581-82 – Die Mission in Bildern aus ihrer Geschichte, Bd. 1-2. «京都大附圖»
- 2584 **Leuschner**, Aus dem Leben und der Arbeit eines China-Missionars.
«^v參謀本部»
- 2585 **Voskamp**, Zerstörende und aufbauende Mächte in China.
«^v參謀本部»
- 2586 – Aus der verbotenen Stadt. «京都大附圖»
- ~~2591~~ **Der Stadtmissionar**, Zeitschrift.
- 2592 **Mirbt**, Mission und Kolonialpolitik in den deutschen Schutzgebieten- 1910.
«^v參謀本部»
- 2593 **Scholze**, Die Wahrheit über [ihre] die Heidenmission und über Gegner. 1905-Vortrag. «京都大附圖»
- 2595 **Schrameier**, Die deutsche Mission in Kiautschou.
«^v參謀本部»
- 2596 **Sauberzweig-Schmidt**, Durch Deutsch-Kiautschou. Berichte von einer Visitation der Missionen in Nordchina. 1909. «京都大附圖»

C. Protestantische Erbauungsschriften.

- 2625 **Bunyan**, The Pilgrims from this World to that which is to come. «京都大附圖»
- Thomas ^vv. Kempis**, Von der Nachfolge Christi, s. Nr. 2677.
- 2626 **Gerhard**, Evangelisches Gesangbuch. «京都大附圖»
- 2627 **Gesangbuch** [zum Gottesdienstlichen Gebrauch] für evangelische Gemeinden. «京都大附圖»
- 14 -
- 2628 **Hofacker**, Predigten. «京都大附圖»
- 2629 **Burggraf**, Schillerpredigten. Jena 1905. «京都大附圖»
- 2631 **Lavater**, Worte des Herzens. «京都大附圖»
- 2633 **Müllensiefen**, Zeugnisse von Christo. «京都大附圖»
- 2634 **Rogge, Bernh.**, Christl. Charakterbilder aus dem Hause Hohenzollern. «京都大附圖»
- 2635 – Melanchthon-Büchlein.

		«京都大附圖»
2636	– Eine Osterreise nach Jerusalem.	«京都大附圖»
2637	Spitta , Psalter und Harfe. (Reclam).	«京都大附圖»
2638	Starks , Tägliches Handbuch in guten und bösen Tagen.	«京都大附圖»
2639	Witschel , Morgen- und Abendopfer. (Reclam).	«京都大附圖»
2641	Behrmann , Die Bergpredigt in Bibelstunden.	«京都大附圖»
2642	Einenkel , Landbrot. Predigten und Skizzen a <i>abc</i> .	«京都大附圖»
2643	Ingraham , Der Fürst aus Davids Hause.	«京都大附圖»
2644	Schädigung und Zerstörung des christlichen Familienlebens.	
2645	Dorenwell , Häusliche Erquickstunden.	«京都大附圖»
2646	Huysen , Häusliche Feierstunden.	«京都大附圖»
2647	– Christlicher Reisebegleiter.	«京都大附圖»
2648	– Lebensmut u. Todesfreudigkeit.	«京都大附圖»
D. Katholische Erbauungsschriften.		
2675	Erbauungs- und Erholungsstunden des Liebfrauenboten. 1897.	«京都大附圖»
2677	Thomas ^{??} v. Kempis , Vier Bücher v. d. Nachfolge Christi.	«京都大附圖»
2680	Kuhn , Roma, Die Denkmale der ewigen Stadt.	«京都大附圖»
2681-83	Liévin de Hamme , Das heil. Land und seine Heiligtümer.	«京都大附圖»
2685-87	Schanz , Apologie des Christentums	«京都大附圖»
2688	Katholische Handpostille.	«京都大附圖»
2689-91	A. F. Im Schatten der Kirche.	«京都大附圖»
2692	A. F. Unser Glaube ist ein vernünftiger Glaube.	«京都大附圖»
2693	Caspar , Auge um Auge oder die Macht der christlichen Liebe.	«京都大附圖»
2694	Dreier , Flores Indiae.	«京都大附圖»
2695	Entenbach , Palästina-reise und Romfahrt.	

2696	Gehet hin in alle Welt.	«京都大附圖»
2697	Hassl , Machen die Kirchenwände den Christen?	«京都大附圖»
2698	Lady Herbert , Heinrich Dorie, ein koreanischer Märtyrer.	«京都大附圖»
2699	Janssen , Vianney, der Pfarrer von Ars.	«京都大附圖»
2700	Lemoyen , Margareta Bosco. Ein Lebensbild.	«京都大附圖»
2701	Neumann , Leo Dupont, sein Leben und Wirken.	«京都大附圖»
2702	Opferleben und Opfertod . Lebensbild berühmter Missionare und Märtyrer.	«京都大附圖»
2703	Thomas Morus , Lordkanzler von England.	«京都大附圖»
2704	Wesselmann , Der heil. Gerlach v. Houthe.	«京都大附圖»
2710	Wetzel , Das Vater[]unser.	«京都大附圖»
2711	do Phrasen.	«京都大附圖»
2712	- Rezept für Heiratslustige.	«京都大附圖»
272[21 ²]3	- Sparen macht reich.	«京都大附圖»
2714	- Bleib gesund!	«京都大附圖»
2715	- Ein Führer auf dem Lebenswege.	«京都大附圖»
2716	- Das Vaterhaus.	«京都大附圖»
2717	- Der Mann.	«京都大附圖»
2719	Höhler , Eli, Erzählung aus dem Leben einer Schwergeduldeten.	«京都大附圖»

St. Michaelskalender, s. XII. D.

- 15 -

III.: Philosophie - Mathematik - C.[G.] Pädagogik.

A. Philosophie.

2785-2796	Fr. Nietzsches Werke . Gesamtausgabe 15 Bde. 1903
2787-89	Bd. I. Die Geburt der Tragödie. III. Menschliches, Allzumenschliches. IV. Morgenröte. V.
2791	Die fröhliche Wissenschaft. VI. Also sprach Zarathustra. VII. Jenseits von Gut und Böse. VIII.
2793-5	Der Fall Wagner, Götzendämmerung Der Wille zur Macht. Dichtungen. IX.-XII. Nachgelassene Werke. XIII.-XIV. Unveröffentlichtes. XV. Nachgelassene Werke.
2796-99(アリ)	

- 2800 **Alexander, Láo-Tsze.** The Great-Thinker.
- 2801 **Büchner,** Kraft und Stoff. Volksausgabe 1902.
- 2803 **Feuchtersleben,** Zur Diätetik der Seele.
- 2805 **Fichte,** Die Bestimmung des Menschen.
- ~~2806~~ – Reden an die deutsche Nation (Hendel).
- 2807 – (Reclam).
- 2810-11 **Michelet,** Die Philosophie der Geschichte Bd. 1-2.
- 2812 **Schwegler,** Geschichte der Philosophie im Umriss (Reclam).
- 2813-14 **Lange,** Geschichte des Materialismus und Kritik seiner Bedeutung. 2. Bde. 1873.
- 2815 **Smiles,** Der Charakter (Reclam)
- 2816 – (Hendel) a-b.
- 2817 – Selbsthilfe a-b. (Reclam).
- 2818 – Die Pflicht (Reclam).
- 2819 **Reinke,** Die Welt als Tat. Umriss einer Weltansicht auf naturwissenschaftlicher Grundlage. 5. Auflage 18[89]08.
- 2820 **Stab,** Weg zum Reichtum
- 2821 **Tyndall,** Religion und Wissenschaft.
- 2822 **Chesterfl[hi]eld,** Lord, Quintessenz der Lebensweisheit und Weltkunst, frei bearbeitet von Munding.
- 2823 **Haushofer,** Lebenskunst und Lebensfragen. Ein Buch fürs Volk
- 2824 **Ellen Key,** Ueber Liebe und Ehe.
- 2825 **Kessler,** Eine Philosophie für das XX. Jahrhundert.
- 2826 **Paulsen,** Einleitung in die Philosophie.
- 2827 do Philosophia militans. Gegen Klerikalismus u. Materialismus 1908.
- ~~2828~~ **Falkenberg,** Geschichte der neueren Philosophie. 6. Aufl. 1908
- 2829 **Lipps,** Grundriss der Psychophysik.
- 2830 **Fechner,** Büchlein vom Leben nach do[ee]m Tode.
- 2831 **Elsenhaus,** Psychologie und Logik. (S. Göschen)
- 2832 **Wundt,** Grundriss der Psychologie.
- 2833 **Nietzsche,** Die Geburt der Tragödie.
- ~~2834~~ do Also sprach Zarathustra.
- 2835-36 do Menschliches-Allzumenschliches Bd. 1-2.
- 2837 **Henne am Rhy,** Anti-Zarathustra.
- 2838 **Lou-Andreas-Salomé,** Friedr. Nietzsche in seinen Werken.
- 2839 **Horneffer,** Nietzsche-Vorträge, 1908.
- 2840 **Richert,** Schopenhauer. Seine Lehre u. Persönlichkeit.
- 2841 **Troels-Lund,** Himmelsbild u. Weltanschauung im Wandel der Zeiten.
- 2842 **Eucken,** Die Lebensanschauungen grosser Denker.

- 16 -

- 2843 **Erdmann,** Wissenschaftliche Hypothesen über Leib und Seele.
- 2845 **von Volney,** Die Ruinen oder Betrachtungen üh[hb]er die Revolutionen der Reiche und das natürliche Gesetz.
- 2846 **Nascher,** Wissenschaftliche Vorträge.
- 2847 **Eisler,** Sociologie (Weber Katechismen)
- 2848 **Drobisch,** Darstellung der Logik. 1887.

«陸軍中央幼年校»

- ~~2849~~ **Schopenhauer**, Einleitung in die Philosophie.
 2850 do Parerga und Paralipomena Bd 1-2 (Cotta)
 2851 do do do Bd 3-4 do
 2852 do do do (Reclam)
 2853 do Farbenlehre.
~~2854~~ do Die Welt als Wille und Vorstellung.
 2855 **Häckel**, Der Monismus als Band zwischen Religion und Wissenschaft 1908.
 2856 do Die Welträtsel. Studien über monistische Philosophie.
 2857 do Die Lebenswunder. Gemeinverständliche Studien über biologische Philosophie (Ergänzung zu den Welträtseln) 1909.
 2858 **Dennert**, Die Wahrheit über E. Haeckel u. seine Welträtsel. 1909.
 2859 do Haeckels Weltanschauung, naturwissenschaftlich-kritisch beleuchtet. 1906
 2860 do Vom Sterbelager des Darwinismus. 1906.
 2861 do Das Weltbild im Wandel der Zeit. 1909.
 2862-63 **Lemcke**, Aesthetik in gemeinverständlichen Vorträgen. 6. Aufl. 2 Bde. 1890.
 «^v陸軍士官校»
 2864 **Achelis**, Ethik (S. Göschen)
 2865 do Sociologie (S. Göschen)
~~2866~~ **Offner**, Ueber die Grundformen der Vorstellungsverbindung
 2867 **Le Bon**, Psychologie der Massen. 12 Aufl.
 2868 **Hilty**, Glück. Bd. I.

B. Mathematik.

- ~~2901~~ **Herrmann**, Das graphische Einmaleins oder die Rechentafel.
 2902 **Holzinger**, Lehrbuch d. politischen Arithmetik für höhere Handelsschulen. a-c.
 «陸軍中央幼年校»
 2903 **Knapp**, Theorie des Bevölkerungswechsels
 «陸軍中央幼年校»
 2904 **Laska**, Sammlung von Formeln der reinen und angewandten Mathematik.
 «陸軍中央幼年校»
 2905 **Bardey**, Methodisch geordnete Aufgabensammlung über alle Teile der Elementar-Arithmetik.
 «陸軍中央幼年校»
 2906 **Bilharz** und **Dannegger**, Metaphysische Anfangsgründe der mathematischen Wissenschaften.
 «陸軍中央幼年校»
 2907 **Treutlein**, Vierstellige logarithmische und goniometrische tafeln a-c.
 «陸軍中央幼年校»
 2908 **Wertheim**, Die Arithmetik des Elia Wisrachi.
 Gauss, sein Leben und Wirken, s. XII. A.
 «陸軍中央幼年校»
 2909 **Ahrens**, Mathematische Unterhaltungen u. -Spiele. Bd. I. 2 Aufl.
 «陸軍中央幼年校»
 2910 **Mehler**, Hauptsätze der Elementar-Mathematik. a-c.
 «陸軍中央幼年校»
 2911 **Schlömilch**, Fünfstellige logarithmische und trigonometrische Tafeln. a-b.
 «陸軍中央幼年校»
 2912 **Schrön**, Siebenstellige gemeine Logarithmen der Zahlen von 1-108000 und der Sinus, Cosinus,

Tangenten und Cotangenten aller Winkel des Quadranten von 10 zu 10 Sekunden. a-c.
 «陸軍中央幼年校»
 2913-14 **Kiepert**, Grundriss der Differential- und Integralrechnung. Tl. I. u. II.
 «陸軍中央幼年校»

- 17 -

~~2915~~ **Ernst**, Abgekürzte Multiplikations-Rechentafeln für sämtliche Zahlen von 2-1000. a-b.
~~2916~~ **Mischke**, Naturgeschichte der Ziffern. Vortrag 1907.
~~2917~~ **Cantor**, Politische Arithmetik oder die Arithmetik des täglichen Lebens 2. Auflage 1903.

C. Pädagogik.

2951 **Waitz**, Allgemeine Pädagogik und kleinere pädagogische Schriften.
 2952 **Wiedemann**, Leitlinien f. die Unterrichtspraxis an höheren Volks-, Bürger- und Lehrerbildungsschulen. Aus O. Willmanns „Didaktik.“
 2953 **Rein**, Pädagogik im Grundriss (S. Göschen)
 «^v陸軍士官校»
 2954 **Ziegler**, Allgemeine Pädagogik (A. N. u. G.)
~~2955-56~~ **Pestalozzis** Ausgewählte Schriften. Herausgegeben von Fr. Mann. Bd. [1²]-2.
 2957-58 **Brettschneider**, Hilfsbuch für den Unterricht in der Geschichte, für die mittleren Klassen. Bd. 2-3.
 2959 – Hilfsbuch für den Unterricht in der Geschichte für die oberen Klassen.
 2960 **Lohmeyer** und **Thomas**, Hilfsbuch für den Unterricht in der Deutschen Geschichte für Untertertia.
~~2961~~ **Hoffmann**, C., Handbuch für den Geschichtsunterricht in preussischen Volksschulen.
 2962 **Rude**, Quellenlesebuch für den Geschichtsunterricht.
 2963 **Martens**, Historisch-politisches Abc-Buch zur Förderung des Geschichtsunterrichts 1907.
 2964 **Ellendt**, Katalog für Schülerbibliotheken.
 2965 **Martin**, Die höhere Mädchenschule in Deutschland. A. N. u. G.
 2966 **Brendicke**, Bilder aus der Geschichte der Leibesübungen.
 2967 **Schmied-Kowarzik** und **Kufahl**, Fechtbüchlein a-b.
 2968 **Vollert**, Leitfaden für das Geräteturnen.
 2969 **Hermann**, Aug. Die Schulspele der deutschen Jugend.
 «陸軍中央幼年校»
 2970 **Knabe**, Geschichte des deutschen Schulwesens. A. N. u. G.
 «^v陸軍士官校»
 2971 **Ackermann**, Die häusliche Erziehung.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
 2972 **Ellen Key**, Das Jahrhundert des Kindes.
 «^v陸軍士官校»
~~2973~~ **Mattias**, Wie erziehen wir unsern Sohn Benjamin? Ein Buch für deutsche Väter und Mütter.
~~2974~~ **Zimmerli**, Wer ist gebildet? Briefe an eine Dame. 1907.
 2975 **Ruff**, Geographie für Militäranwärter.
 2976 **Gersbach**, 130 deutsche Aufsätze aus Vorprüfungsaufgaben für Militäranwärter, 7. Auflage.
 2977 **Oppel**, Das Buch der Eltern. Praktische Anleitung zur häuslichen Erziehung des Kindes. 1877.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
 2978 **Jahresberichte** der Kaiserlichen Gouvernementsschule zu Tsingtau 1904-1911.
Kirchhoff, Erdkunde für Schulen [s.] VII A. 5314.

IV.: A.[A-] Sprachwissenschaft-Wörterbücher.

A. Sprachwissenschaft.

- 3000 **v. Arnim**, Lehrbuch einer internationalen Verkehrssprache, genannt „Veltparl.“
«[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 3001 **Finck**, Die Sprachstämme des Erdkreises. A. N. u. G.
«[∇]陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 18 -
- 3002 **Geissler**, Rhetorik. Richtlinien für die Kunst des Sprechens. A. N. u. G. 1910.
«[∇]陸軍士官校»
- 3003 **Possart**, Ernst von, Die Kunst des Sprechens. 1909.
«[∇]陸軍士官校»
- 3005 **Behagel**, Die deutsche Sprache.
«[∇]陸軍士官校»
- 3006 **Saalfeld**, Lose Blätter zu Nutz und Frommen des allgem. deutschen Sprachvereins.
«[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 3007 **Sanders**, Deutsche Sprachbriefe.
«[∇]陸軍士官校»
- 3008 **Sarrazin**, Beiträge zur Fremdwortfrage.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~3009~~ **Kleinpaul**, Das Fremdwort im Deutschen (S. Göschen),
- 3010 **Andresen**, Sprachgebrauch und Sprachrichtigkeit im Deutschen.
«[∇]陸軍士官校»
- 3011 **Hildebrand**, Vom deutschen Sprachunterricht in der Schule.
«[∇]陸軍士官校»
- 3012 **Der richtige Berliner** in Wörtern und Redensarten.
«[∇]陸軍士官校»
- 3013 **Unsere Kriegskunstsprache**.
«[∇]參謀本部»
- 3014 **Kluge**, Unser Deutsch. Einführung in die Muttersprache. Vorträge. 2. Aufl. 1910.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~3015~~ **Keck**, Deutsches Lesebuch für d. gehobene evangelische Volksschule.
- 3016 **Masius**, Deutsches Lesebuch für höhere Unterrichts-Anstalten.
«[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 3017 **Dunger**, Zur Schärfung des Sprachgefühls. 200 fehlerhafte Sätze mit Verbesserungen u. sprachlichen Bemerkungen. 4. Auf[tl.] 1910.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~3018~~ do Die Engländerei in der deutschen Sprache.
- 3019 do Kaufmannsdeutsch.
«[∇]陸軍士官校»
- 3020 **Koberstein**, Laut- und Flexionslehre der mittelhochdeutschen und neuhochdeutschen Sprache.
«[∇]陸軍士官校»
- 3021 **Pietsch**, Leibnitz u. die deutsche Sprache.
«[∇]陸軍士官校»
- 3022 **Matthias**, Moltke in der Sprache seiner Briefe.
«[∇]陸軍士官校»
- 3023 **J[?]mme**, Eigentümlichkeiten der deutschen Bergmannssprache.

«^v陸軍士官校»

- ~~3024~~ **May**, Sind die fremdartigen Ortsnamen in der Prov. Brandenburg und in Ostdeutschland slavisch od. germanisch? 10 Exemplare.
- 3026 **Heyse**, Leitfaden zum gründlichen Unterricht in der deutschen Sprache.
«^v陸軍士官校»
- ~~3027~~ **Kehr**, Das Wichtigste aus der Rechtschreibung und Sprachlehre. 1903.
- 3030 **Toussaint und Langenscheidt**, Brieflicher Sprach- u. Sprechunterricht für das Selbststudium der französischen Sprache.
«^v陸軍士官校»
- 3031 **Feist**, Lehr- und Lesebuch der französischen Sprache für praktische Ziele.
«^v陸軍士官校»
- 3032 **Voelkel**, Vocabulaire systématique. Method. Anleitung zum Französisch-Sprechen.
«^v陸軍士官校»
- ~~3040~~ **van Dalen-Lloyd-Langenscheidt**, Brieflicher Sprach- und Sprech-Unterricht für das Selbststudium der englischen Sprache. «^v陸軍士官校»
- ~~3044~~ **Rotenbücher u. Deken**, Englischer Militärdolmetscher. Berlin 1900.
- ~~3050~~ **Werblunski**, Handbuch der russischen Umgangssprache.
- ~~3051-52~~ **Alexejew**, Lehrbuch der russischen Sprache. 2 Teils. 8. Auflage 1898.
- 3053 **Potocki**, Handbuch der polnischen Sprache 1897.
«^v陸軍士官校»
- 3061 **Kohl**, Griechisches Uebungsbuch zur Formenlehre.
«^v陸軍士官校»
- 3062 **Waldeck**, Lateinische Schulgrammatik.
«^v陸軍士官校»
- 3063-65 **Ellendt-Seyffert**, Elementarbuch zu der lateinischen Grammatik. Bd. 1-3.
«^v陸軍士官校»
- 3070 **v. Möllendorff**, Praktische Anleitung zur Erlernung der hochchinesischen Sprache.
«^v陸軍士官校»
- 3071 – Classification des dialects Chinois.
«^v陸軍士官校»
- 3072 – A Manchu Grammar with analysed Texts.
«^v陸軍士官校»
- ~~3073~~ – Mezzofantis Sprachkenntnisse.
- 3074 **Möllendorf**, On the limitation of comparative philology.
«^v陸軍士官校»

– 19 –

- ~~3075~~ **Hesser**, Chinesische Grammatik für Deutsche.
- ~~3076~~ **Forke**, Yamen und Presse. Handbuch der neuchinesischen Schriftsprache. 1911.
- ~~3077~~ **Wilhelm**, Die wichtigsten chinesischen Zeichen nach Radikalen geordnet und mit Aussprachebezeichnung und Uebersetzung versehen. 1909.
- 3078 **Haas**, Deutsch-Chinesisches Conversationsbuch.
«^v陸軍士官校»
- ~~3081~~ **Fujisawa**, Japanisch zum Selbstunterricht (Methode Toussaint-Langenscheidt (Reiseführer, Konversationsbuch, Grammatik[])). 1910. a-b. «^v陸軍士官校»
- ~~3082~~ **Moryo Kuno**, Deutsch-japanische Gespräche, 1906.
- 3085-87 **Busse**, Internationale französ.-engl.-span.-italien, Grammatik für Deutsche Bd. 1-3.
«^v陸軍士官校»

- 3090 Beilage zur Deutschen **Stenographen-Zeitung**.
 «[∨]陸軍士官校»
- 3095 **Zeitschrift des Allgemeinen Deutschen Sprachvereins** 1903.
 «[∨]陸軍士官校»
- 3096 do 1904.
 «[∨]陸軍士官校»
- 3097 do 1905.
 «[∨]陸軍士官校»
- 3098 do 1906.
 «[∨]陸軍士官校»
- 3099 do 1907.
 «[∨]陸軍士官校»
- 3100 do 1908.
 «[∨]陸軍士官校»
- 3101 do 1909.
 «[∨]陸軍士官校»
- 3102 do 1910.
 «[∨]陸軍士官校»

B. Wörterbücher.

- 3200-01 **Booch-Arkossy**, Spanisch-Deutsches und Deutsch-Spanisches Handwörterbuch Bd. 1-2.
 «[∨]參謀本部»
- 3002-03 **Langenscheidt**, Notwörterbuch der französischen und deutschen Sprache. Bd. 1 a-b. Bd. 2.
 «[∨]參謀本部»
- ~~3205~~ **Muret-Sanders**, Encyclopädisches Wörterbuch der englischen und deutschen Sprache. Bd. 1.
- 3210 **Kwong-Chin**, An English and Chinese Dictionary.
- ~~3211~~ **Kürschners**, Welt-Sprachen-Lexicon.
- 3214 **Sachs-Villate**, Encyclopädisches Wörterbuch der französischen und deutschen Sprache.
- ~~3216~~ **Thieme**, Neues und vollständiges Handwörterbuch der englischen und deutschen Sprache.
- 3220 **Steputat**, Deutsches Reimlexikon.
 «[∨]陸軍士官校»
- 3225-26 **Eger**, Technologisches Wörterbuch in englischer und deutscher Sprache Bd. 1-2 a-c.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉大圖»•«埼玉浦和圖»
- 3227 **Davies**, A compendious and complete Hebrew and Chaldee Lexikon. London 1885.
 «陸軍士官校»
- 3228 **Todt**, Griechisches Vocabularium.
 «陸軍士官校»
- 3229 **Duden**, Orthographisches Wörterbuch der deutschen Sprache 1903.
 «陸軍士官校»
- 3230 **Sanders**, Handwörterbuch der deutschen Sprache.
 «陸軍士官校» «東京外大附圖»
- 3231 **Kluge**, Etymologisches Wörterbuch der deutschen Sprache.
 «[∨]陸軍士官校»
- 3232 **Sanders**, Wörterbuch der Hauptschwierigkeiten der deutschen Sprache 1887.
 «[∨]參謀本部»•«陸軍士官校»

V.: Rechts[RechtsStaats]- und Staats[StaatsRechts]wissenschaft.

A. Staatswissenschaft, Verwaltung, Gesetze.

- 3323 **Guttentagsche** Sammlung deutscher Reichsgesetze. Textausgabe mit Anmerkungen.
Sydow, Cizilprozessordnung mit Gerichtsverfassungsgesetz.
- 3324 do Gerichtskostengesetz.
- 3325 do Rechtsanwaltsordnung.
- 3326 **Gebührenordnung** für Rechtsanwälte.
- 3327 **v. Rönne** Verfassung des Deutschen Reichs.
- 3328 **Rüdorff** Strafgesetzbuch für das Deutsche Reich, nebst den gebräuchlichen Reichstrafgesetzen.
- 3329 **Solms**, Militär-Strafgesetzbuch für das Deutsche Reich.
- 3330 **Baal**, Allgem. Deutsche Wechselordnung.
- 3331 **Fischer, P. D.**, Die Deutsche Post- u. Telegraphen-Gesetzgebung.
- 3332 **Krech**, Die Reichsgesetze über Unterstützungswohnsitz, die Freizügigkeit, den Erwerb und Verlust der Bundes- und Staatsangehörigkeit, nebst d. landesgesetzlichen Bestimmungen.
- 3333 **Pieper**, Das Reichsbeamten-gesetz v. 31. 3. 1873 und seine Ergänzungen.
- 3334 **Hellweg, A.**, Strafprozessordnung nebst Gerichtsverfassungsgesetz.
- 3335 **Sydow, R.**, Konkursordnung.
- 3336 **Knitschky**, Die Seegesetzgebung des Deutschen Reiches.
- 3337 **Woedtke**, Krankenversicherungs-Gesetz v. 15. 6. 1883.
- 3338 **Stephan**, Patentgesetz.
- 3339 – Gesetz zum Schutz der Warenbezeichnungen.
- 3340 **Woedtke**, Unfallversicherungsgesetz v. 15. 6. 1883.
- 3341 **Keyssner**, Reichsgesetz, betr. d. Kommanditgesellschaften auf Aktien und die Aktiengesellschaften.
- 3342 **Parisius**, Das Reichsgesetz betr. die Erwerbs- und Wirtschaftsgenossenschaften.
- 3343 **Woedtke**, Das Reichsgesetz betr. d. Invaliditäts- und □[≡A]³ltersversicherung vom 22. 6. 1889.
- 3344 **Parisius**, Das Reichsgesetz betr. die Gesellschaften mit beschränkter Haftung.
- 3345 **Brendel**, Börsengesetz nebst den dazu erlassenen Ausführungs-Anweisungen.
- 3346 **Fischer**, Grundbuchordnung für das Deutsche Reich v. 23. 3. 1897.
- 3347 **Krech**, Das Reichsgesetz über die Zwangsversteigerung und die Zwangsverwaltung.
- 3348 **Pannier**, Das Pressgesetz nebst den Gesetzen über das Urheberrecht und d. Musterschutz sowie der Berner-Literaturkonvention (Reclam).
- 3349 **Bürgerliches Gesetzbuch**, mit ausführlichem Sachregister. *ab*
- 3350 **Cohn, Georg**, Das neue deutsche Bürgerliche Recht in Sprüchen. Bd. 1-4.
- 3351 **Handels-Gesetzbuch**.
- ~~3352~~ **Bürgerliches Gesetzbuch**, nebst Einführungsgesetz (herausgegeben von Achilles. u. Greiff) 5. Auflage 1906.
- ~~3353~~ **Deutsche Kolonialgesetzgebung**, herausgegeben von Zorn 1901.
- 3354 **See-Unfallversicherungsgesetz**, herausgegeben von Mittelstein 1901.
- 3355 Gesetz vom 24. April 1854 betr. die aussereheliche Schwängerung.
- 3356 **Schultzenstein**, Vormundschaftsordnung v. 5. 7. 1875.

– 21 –

³ “□”: “A”字を轉倒印字.

- 3357 **Fischer**, Die preussische Grundbuchgesetzgebung.
- 3358 **Meitzen**, Einkommensteuergesetz (für Preussen).
- 3359 **Fernow**, Gewerbesteuer-Gesetz.
- 3360 **Engels**, Allgem. Berggesetz für die preussischen Staaten.
- 3361 **Fernow**, Ergänzungssteuergesetz.
- 3362 **Kommunalabgabengesetz** und Gesetz wegen Aufhebung direkter Staatssteuern.
- 3363 **Kolisch**, Die Kreisordnungen für den preussischen Staat.
- 3364 **Loeck**, Das Gesetz betr. die Erbschaftssteuer mit ausführlichen Erläuterungen.
- 3365 **Lusensky**, F., Gesetz über die Handelskammern.
- 3366 **Pannier**, Die Verfassung des Deutschen Reichs, nebst d. Wahlgesetz. Wahlreglement, Einführungsgesetz für Elsass-Lothringen und Gesetzen verwandten Inhalts a-b.
- 3367 **Zeyss**, Die Bundesverfassung der Schweizerischen Eidgenossenschaft.
- 3370 **Martens**, Charles de, Le guide Diplomatique.
- 3371 **Perthes**, Justus, Almanach de Gotha.
- 3372 **Meissner**, Preussische Verwaltungskunde.
- 3373 **Gerstmeyer**, Schutzgebietsgesetz u. ergänzende Vorschriften. 1910.
- 3374 **Hoffmann-Groth**, Deutsche Bürgerkunde. Kleines Handbuch des politisch Wissenswertes. 1902. ab
- 3375 **Bornhak**, Allgemeine Staatslehre 1896.
- ~~3376-77~~ **Gebhard u. Lutz**, Neues deutsches Rechtsbuch, enthaltend die preisgekrönten volkstümlichen Erläuterungen zum Bürgerlichen Gesetzbuch, Wegweiser u. Ratgeber über alle wichtigen Reichsgesetze, Nachschlage- und Formelbuch. 2 Bde. 1904.
- 3378 **Reichshaftpflichtgesetz**, herausgegeben von Eger 1903.
- 3379 **Zorn**, Die deutsche Reichsverfassung. 1907.
- ~~3380-81~~ **Zeller**, Das deutsche Reich. Ein Unterrichtsbuch in den Grundsätzen des deutschen Staatsrechts, der Verfassung und Gesetzgebung des deutschen Reiches. 3 Aufl. 1909. 2 Bde.
- 35[53²]82 **Laband**, Staatsrecht des Deutschen Reichs. 5 Aufl. 1911. Bd. I.
- 3403 **Gareis**, Deutsches Kolonialrecht. Giessen 1902.
- 3404 **Hue de Grais**, Handbuch der Verfassung u. Verwaltung in Preussen und dem deutschen Reiche. 16 Auflage. 1904.
- ~~3405~~ **Tesch**, Die Laufbahn der deutschen Kolonialbeamten, ihre Pflichten und Rechte. a-b. (5 Aufl. 1910).
- 3406 **Albrecht**, Rangverhältnisse, Tagegelder, Reise- und Umzugskosten der Reichs- und preussischen Beamten. 5. Aufl. 1906.
- 3419 **Romberg**, Kolonialbeamtenengesetz vom 8. VI. 1910. mit Erläuterungen. a-b.
- 3420 **Dörr**, Kolonialbeamtenengesetz
- ~~3421~~ **Urlaubsordnung für die Beamten des Schutzgebiets Kiautschou** vom 15. VI. 1910.
- 3422 **Dreger**, Die Berufswahl im Staatsdienste. 10. Aufl. 1910.
- ~~3423~~ **Mohr**, Handbuch für das Schutzgebiet Kiautschou. 1911. a-b.

B. Rechtswissenschaft.

- ~~3501~~ **Hals- od. Peinliche Gerichtsordnung** Kaiser Karls V.

«法務圖»

- 22 -

- 3502 **Meitzendorff**, Formularbuch für die untersuchungsführenden Offiziere der preussischen Armee.

«京都大附圖»

3503	Die Verordnungen über die Ehrengerichte im preussischen Heere 1865.	《京都大附圖》
3505	v. Möllendorff , P. G. The family Law of the Chinese.	《京都大附圖》
3506	v. Liszt , Das Völkerrecht, systematisch dargestellt. a-b (6 Aufl. 1910.)	《京都大附圖》
3507	Loening , Grundzüge der Verfassung des deutschen Reiches (A. N. u. G.)	《京都大附圖》
3508	Frank, Roscher, Schmidt , Der Pitaval der Gegenwart. Almanach interessanter Strafrech[t]sfälle. Leipzig 1904.	《法務圖》
3509	Wahrmund , Ehe und Eherecht. A. N. u. G.	《法務圖》
3510	Delius , Die Haftpflicht der Beamten. 1901.	《京都大附圖》
3511	Hesselbach , Mieter und Vermieter. 3 Auflage.	《京都大附圖》
3512	Strauss , Die Miete nach dem Bürgerlichen Gesetzbuch. A. N. u. G.	《京都大附圖》
3513	– Zivilprozessrecht. A. N. u. G. 1910.	《法務圖》
3514	von Hoffmann , Deutsches Kolonialrecht (S. Göschen)	《京都大附圖》
3515	Bezille und Köstlin , Unser Heimatsrecht.	《京都大附圖》
3516	Jhering , Die Jurisprudenz des täglichen Lebens. 1903.	《京都大附圖》
3517	do Scherz und Ernst in der Jurisprudenz. 1904.	《法務圖》
3518	Kohler , Moderne Rechtsprobleme. A. N. u. G.	
3519	Sutor , Die Konitzer Prozesse.	《法務圖》
3520	Aschaffenburg , Das Verbrechen und seine Bekämpfung. Kriminalpsychologie. 1903.	《法務圖》
3521	Leuss , Aus dem Zuchthause. Verbrecher und Strafrechtspflege.	《法務圖》
3522	Fried , Das internationale Leben der Gegenwart.	
3523–24	Bienengräber , Die Jurisprudenz des täglichen Lebens (Familie und Haushalt) 2 Bde. A. N. u. G.	《法務圖》
3525	Neuberg , Der internationale gewerbliche Rechtsschutz (S. Göschen) 1905.	《京都大附圖》
3526–28	Mendheim , Berühmte Kriminalfälle 3 Bde. (K. L. Sand, der Mörder Kotzebues – Drei Berliner Betrügerinnen – Marquise von Brinvilliers etc.[])	《法務圖》
3529	Tolksdorf , Der gewerbliche Rechtsschutz in Deutschland A. N. u. G.	《京都大附圖》
3530	Pollitz , Die Psychologie des Verbrechers. A. N. u. G.	
3531	Hellwig , Verbrechen und Aberglaube. A. N. u. G.	

3532	Stengel , Weltstaat und Friedensproblem 1909.	«京都大附圖»
3533	Wulffen , Gauner und Verbrechertypen	«法務圖»
3534	Manolescu , Ein Fürst der Diebe-(Memoiren)	«京都大附圖»
3535	Goetz , Sträfling 788. Ein Kapitel Berufsleiden	«京都大附圖»
3536	van der Borght , Das Recht der Handlungsgehilfen	«京都大附圖»
3537	Kisch , Unsere Gerichte und ihre Reform.	
3538	Fehr , Der Zweikampf. 1908.	«京都大附圖»

VI.: Militärwissenschaften.

A. Allgemeines.

3601	Kriegstechnische Zeitschrift	1903	
3602	do	1904	
3603	do	1905	
3604	do	1906	
3605	do	1907	
			- 23 -
3606	Kriegstechnische Zeitschrift	1908	
3607	do	1909	
3608	do	1910	
3621	Armée et Marine 1903.		
3622	do 1904.		
33 [36 ²] 23	do 1905.(unvollständig).		
3624	do 1906.		
3625	do 1907.		
3626	do 1908.		
3627	do 1909.		
3628	do 1910.		
3641	Army-Navy Gazette 1903.		
3642-43	Ueberall . Illustrierte Zeitschrift für Armee und Marine	1907 I. II	
3644	do do	1908	
2[23 ²] 645	do do	1909	
3646	do do	1910	
3655	Journal of the Royal United Service Institution . 1903. Bd. 2.		
3656	Deutsches Offizierblatt	1903	
3657	do	1904	
3658-59	do	1905	2 Bde.
3660-61	do	1906	2 Bde.
3662-63	do	1907	2 Bde.

- 3664 do 1908
- 3665-66 do 1909 2 Bde.
- 3667-68 do 1910 2 Bde.
- 3690-92 **v. Löbells** Jahresberichte über die Veränderungen und Fortschritte im Militärwesen 1893-95.
- 3720-27 **Internationale Revue** über die gesammten Armeen und Flotten 1895-97.
- 3730-32 **Die Heere und Flotten der Gegenwart**, herausgeb. von Pflugk, Harttung u. E. v. Zepelin. Bd. 1-3.
- 3740 **Neuste Armee-Einteilung** (Reichsheer und Marine) 1897.
- 3750 **v. Boguslawski**, Der Ehrbegriff des Offizierstandes.
«^v參謀本部»
- 3751 – Die Ehre und das Duell.
- 3752 – Der Krieg in seiner wahren Bedeutung für Staat und Volk. a-b.
«^v參謀本部»
- 3753 **Steinmetz**, Die Philosophie des Krieges. 1907.
«^v參謀本部»
- 3754 **Demmin**, Die Kriegswaffen in ihren geschichtlichen Entwicklungen bis zur Gegenwart. 4 Aufl. 1893.
- 3756 **v. Reichenau**, Einfluss der Kultur auf Krieg und Kriegsrüstung.
- 3760 **v. Kretschmann**, Rekrutenbriefe des deutschen Soldatenhort.
- 3761 **Schroetter**, Leitfaden für den Unterricht in der Geschichte und Geographie für Unteroffizier- und Kapitulant-Schulen. a-b.
- 3762 **Hahn**, Das Heer und das Vaterland. a-c.
- 3763 **Huyssen**, Die Poesie des Krieges und die Kriegs-Poesie.
- 3764 – Der Militärdienst eine Schule für das Leben.
- 3765 Aus der Militärischen Gesellschaft Berlins a-b.
- 3768 **Moltkes** Taktische Aufgaben aus den Jahren 1858-1882. Herausgegeben vom Grossen Generalstabe.
- 3769-70 **Schlichting**, Taktische und strategische Grundsätze der Gegenwart. 3. Auflage 1908.
- 3771-73 **Delbrück**, Geschichte der Kriegakunst im Rahmen der politischen Geschichte. 3. Bde. 2. Auflage. 1907-08.
«^v參謀本部»

– 24 –

Unteroffizier-Bibliothek.

- 3791 Bd. **I-III. Müller**, Das Wesen des Unteroffizierberufes. – **Spohn**, Der Unteroffizier als Lehrer und Erzieher –. **Heitz**, Was muss der Unteroffizier von den verschiedenen Waffengattungen wissen?
- 3792 Bd. **IV-VI. Hilbrand**, Was muss der Unteroffizier von der Marine wissen? – **v. B.**, Von fremden Heeren und Marinen. – **Spohn**, Berufs- und Standespflichten des Unteroffiziers.
- 3793 Bd. **VII-IX. Trepte**, In der Lebensschule bei grossen deutschen Männern. – **Bärensprung**, Kurzer Abriss der Weltgeschichte (I Teil: Altertum) – **Trepte**, Deutsche Heldensagen.
- 3794 Bd. **X-XII. Epstein**, Was muss der Unteroffizier von der Literatur wissen? – **Albert**, Die Ehe des deutschen Unteroffiziers. – **v. B.**, Umgangsformen.
- 3795 Bd. **XIII-XV. v. B.**, Sport u. Unterhaltungsspiele. – **Stöwsand**, Erdkunde (I Teil: Deutschland). – **Holborn**, Von der Reichs- und Staatsverfassung.

B. Landheer.

- ~~3807~~ **Armee-Verordnungsblatt** 1903

- 3808 do 1904 ungbd.
- 3809 do 199[90]5 do
- 3810 do 1906 do
- 3811 do 1907 do
- ~~3812~~ do 1908 do
- 3820 **Litzmann**, Beiträge zur taktischen Ausbildung unserer Offiziere.
- 3821 **Hoppenstedt**, Sind wir kriegsfertig? 1910.
- 3822 v. **Winterfeld**, Der wissenschaftliche Unterricht des Soldaten.
- 3823 v. **Gizyeki**, Strategische-taktische Aufgaben nebst Lösungen.
- 3824 **Hoening**, Beispiele zu Dispositionen für kleinere felddienstliche Uebungen.
- 3825 v. **König**, Winke für Stellung und Lösung der Aufgaben für Offizier-Patrouillen.
- 3826 **Meckel**, Grundriss der Taktik.
- 3827-29 **Reglement** sur l'exercice et les manoeuvres de l'infanterie.
- 3830 **Décret** du 26. 10. 1882 sur le Service des Armées en Campagne. 1895.
- 3831 **Frobenius**, Befestige Stellungen. 1899.
- 3832 v. **Reitzenstein**, Der Patrouillenführer. Für den jungen Offizier und Unteroffizier
- 3833 v. **Verdy du Vernois**, Ueber praktische Felddienstaufgaben.
- 3834 – Studien über Felddienst. Neubearbeitet auf Grund der Felddienstordnung vom 20. Juli 1894.
- 3835 v. **Widdern**, Das Gefecht an Flussübergängen und der Kampf an Flusslinien.
- 3836 – Das Nachtgefecht im Feld- und Festungskrieg.
- «^v參謀本部»
- 3837 **Woide**, Die Selbständigkeit der Unterführer im Kriege. Aus d. Russischen.
- 3838 **Liebert**, Ueber Verfolgung.
- 3839 **Schwabe**, Dienst und Kriegführung in den Kolonien und auf überseeischen Expedition. Berlin 1903 a. b.
- «^v參謀本部»
- 25 –
- 3840 **Griepenkerl**, taktische Unterrichtsbriefe zur Vorbereitung für das Kriegsakademie-Examen, taktische Uebungsritte, Kriegsspiel und Manöver.
- 3841 **Meyer**, Der Krieg im Zeitalter des Verkehrs und der Technik. A. N. u. G.
- 3843 v. **Boguslawski**, Das Fahrrad im bürgerl. und militärischen Leben.
- 3844 v. **Widdern**, Handbuch für Truppenführung und Stabsdienst.
- 3845 **Unsere Unteroffiziere** im Kriege a-b.
- 3846 **Wir Unteroffiziere**. 3 Exemplare.
- 3847-48 **Lesebuch f. d. Kapitulantenschulen** herausgegeben vom Kgl. Preuss. Kriegsministerium. Bd. 1-2 a-b.
- 3849-50 – für Unteroffiziere und Soldaten von E. v. Deker Bd. 1-2. a-b.
- 3851-58 **Eisenschmidts** Büchersammlung für Unteroffiziere und Mannschaften der Armee und Marine. 8. Hefte.
- 3859 **Entwurf** einer Schiessvorschrift für die Infanterie 1905.
- 3860 Praktische Anleitung zum Unterricht im **Stossfechten**.
- 3861 v. **Boguslawski**. Unterweisung für das Verhalten des Infanteristen im Gefecht.
- 3862 v. **Estorff**, Unser Infanteriedienst. a. b. c.
- 3863 **Hoppenstedt**, Schützenaufgaben.
- 3864 v. **Klass**, Der gute Kamerad. Ein Lern- und Lesebuch für den Dienst-Unterricht des deutschen

Infanteristen. a-b.

- 3865 **Transfeldt**, Dienst-Unterricht für d. Infanteristen des Deutschen Heeres a-b.
- 3866 **Wir deutschen Soldaten!** 4 Exempare.
- 3867 **v. Wucherer**, Studie über den Aufklärungsdienst und die diesfällige Verwendung von Fusstruppen.
- 3868 **Feldbefestigungs-Vorschrift.** (F. V.) 1893.
- 3869 **Kriegsbrauch im Landkriege** Berlin 1902 (Schriften des Grossen Generalstabes, Hft. 31.)
- 3870-71 **Jähns** Handbuch der Geschichte des Kriegswesens von der Urzeit bis zur Renaissance. Technischer Teil: Bewaffnung, Kampfweise, Befestigung, Seewesen. Nebst Atlas von 100 Tafeln. Leipzig 1880.
- 3872 **Vogt**, d[⁴D⁷]ie europäischen Heere der Gegenwart 1888.
- 3873 **Stuckrad**, Die Cernirungen von Metz, Paris u. Plewna.
- 3875 **v. Arnim**, Die systematische Bearbeitung des Remonte-Pferdes.
- 3876 Auch ein Wort über die Ausbildung der Cavallerie von S. v. C. 1862.
- 3878 **Bonie**, Die französische Cavallerie.
- 3879 **v. Troschke**, Der Gang der Dressur des Remontepferdes.
- 3880 **Instruktionen** des Generalmajors Carl v. Schmidt. betr. die Erziehung, Ausbildung, Verwendung und Führung der Reiterei.
- 3881 **Instruktion** für den theoretischen Unterricht im Reiten.
- 3882 – für die Waffenübungen der Cavallerie.
- 3883 **v. Krane**, Anleitung zur Ausbildung der Cavallerie-Remonte.
- 3884 **Bilderheft** zu des Obersten v. Krane Anleitung zur Ausbildung der Cavallerie-Remonte.
- 3885 **v. Willisen**, Ueber cavalleristisches Reiten.
- 3886 **Lütgendorf**, Ueber Tätigkeit der Kavallerie im Zukunftskriege 1900.
- 3887 **Driant**, Einem neuen Sedan entgegen?
- 3888 **Trotha**, Thilo von, Der Kampf um Plewa. Taktische Studien 1896.
- 3893 **Löffler**, Der russisch-japanische Krieg in seinen taktischen und strategischen Lehren Bd. I. 1905
- 3890 **Wille**, Ueber die Bewaffnung d. Feld-Artillerie.
- 26 –
- 3891-92 **Heydenreich**, Das moderne Feldgeschütz. 2 Bde. (S. Göschen).
- 3900 **Einteilung** und Quartierliste des deutschen Heeres. 1898.
- 3902 **v. Bülow**, Das Militär der 5 Weltteile.
- 3903 **Witte**, Fortschritte und Veränderungen im Gebiet des Waffenwesens.
- 3904 Nachtrag zu 1895.
- 3905 **v. Malachowski**, Scharfe Taktik und Revuetaktik im 18. u. 19. Jahrhd., a-b.
- 3906 **Pätel**, Die Organisation des hessischen Heeres unter Philipp d. Grossmütigen. a-c.
- 3907 **Bleibtren**, Zur Geschichte der Taktik und Strategie.
- 3909 do Strategische taktik der Schlachten 1900.
- 3910 **Bülow**, Mecklenburgs Wehrmacht.
- 3911 **Das Manöver** des XIV. Armeecorps. 1894.
- 3912 **Rössel**, Oesterreichische Truppen in den Herbstmanövern 1894 im Lager bei Bruch und Landskron.
- 3913 **Friedrich der Grosse**, Militärische Werke Bd. 1-2. ~~a-b~~AB.
- 3914 **Napoleon I.**, Militärische Schriften.
- ~~3915~~ **v. Clausewitz**, Vom Kriege; erläutert durch W. v. Scherff.
- 3916 **Erzherzog Karl**, Militärische Schriften. Bd. 1-2.
- 3917 **Jomini**, Abriss der Kriegskunst.

- 3918 **Scharnhorst**, Militärische Schriften.
 3919 **Freytag-Löringhoven**, Aufklärung und Armeeführung (Schlesische Armee 1813)
 3920 do Krieg und Politik in der Neuzeit. 1911. *ab*
 3921-26 **Der Soldatenfreund**. Zeitschrift für fassliche Belehrung und Unterhaltung des preuss. Soldaten.
 – 1872/73; 1876/77; 1878/79; [18]82-83; [18]88/89/ 1889/90.
 3930 **Mittlers Almanach** 1911. Jahrbuch für Freunde des deutschen Heerwesens.

C. Marine.

- 4001 **Rangliste der Beamten der Kaiserlichen Marine** für 1907.
 4002 **Rangliste der Kaiserlich Deutschen Marine** für 1908.
 4003 **Foss**, Marinekunde. Eine Darstellung des Wissenschaften auf dem Gebiete des Seewesens. 8. Aufl.
 1909.
 4004 **Marine-Taschenbuch**. VIII. Jahrgang. 1910.
 4005 do IX. do 1911.
 4020 **Marine-Album des deutschen Flottenvereins**. a. b. c.
 4040 **Marine-Rundschau**. 1898. Hft. 1-6 Inhaltsverzeichnis. Hft. 7-12 Text.
 4041-42 – 1899 Bd. 1-2.
 4043-44 – 1900 Bd. 1-2.
 4045-46 – 1901 Bd. 1-2.
 4047-48 – 1902 Bd. 1-2. (a-b).
 4049-50 – 1903 Bd. 1-2. (a-b).
 4051-52 – 1904 Bd. 1-2.
 4053-54 – 1905 Bd. 1-2. a-b.
 4055-56 – 1906 Bd. 1. 2.
 4057-58 – 1907 Bd. 1. 2.
 4059-60 – 1908 Bd. 1. (a-b) 2.
 4061-62 – 1909 Bd. 1. u. 2.
 4063-64 – 1910 Bd. 1. u. 2.
 4065 – 1911 Bd. 1.
 4070 Mitteilungen aus dem Gebiete des Seewesens 1903.

– 27 –

- 4080 **Hansa**. Deutsche Nautische Zeitschrift 1903.
 4081 do 1904.
 4082 do 1905.
 4083 do 1906.
 4084-85 do 1907. Bd. 1-2
 4086 do 1908.
 4087 do 1909.
 4088 do 1910.
 4098-99 **Der Pilote** 1902 Bd. 1-2.
 4100-1 do 1903-04.
 4102 do 1905.
 4110 **Der Pilote**, Beiträge zur Küstenkunde. 1903.
 4111 **Nauticus**, Neue Beiträge zur Flottenfrage a-b.

- 4112 – Beiträge zur Flottennovelle 1900. a-b.
- 4113 – Altes und Neues zur Flottenfrage a-b.
- 4114 **Nauticus** Jahrbuch für Deutschlands Seeinteressen. 1899.
- 4115 do do 1900.
- 4116 do do 1901.
- 4117 do do 1902.
- 4118 do do 1903.
- 4119 do do 1904.
- 4120 do do 1905.
- 4121 do do 1906.
- 4122 do do 1907.
- 4123 do do 1908.
- 4124 do do 1909.
- 4125 do do 1910.
- 4126 do do 1911.
- ~~4131-32~~ **Mahan**, Der Einfluss der Seemacht auf die Geschichte 2 Bde. Berlin 1899.
- 4133 **Scheel**, Deutschland's Seegelung. Zur Einführung in die Kenntniss der Flotte und ihrer Bedeutung. 1895.
- 4134 **Neudeck und Schröder**, Das kleine Buch von der Marine 1906.
- 4135 **Werner**, Bilder aus der deutschen Seekriegsgeschichte von Germanicus bis auf Wilhelm II. München 1899.
- ~~4136~~ **Holleben**, Seehelden und Seeschlachten in neuerer und neuester Zeit. 1907.
- 4137 **Valois**, Deutschland als Seemacht und Betrachtungen marinepolitischen Inhalts. 1908.
- 4138 do Aus den Erlebnissen eines alten Seeoffiziers.
- 4139 **Meereskunde**, Gesammelte Vorträge (Segelschiffahrt – Torpedowaffe – Kiel und Wilhelmshaven – Entwicklung der Schiffsmaschine – Eine Ozeanfahrt [-] Das Eis des Meeres).
- 4140 **Langhaus**, Justus Perthes Deutscher Seeatlas.
- ~~4141~~ **Labrès**, Politik und Seekrieg.
- 4142 **Kleines**, Unterrichtsbuch über die Seemanns-Kunde a-b.
- 4143 **Koch**, Geschichte der deutschen Marine 1902. ~~a-b.~~
- 4145 **Laverrenz**, Deutschlands Kriegsflotte. 1906.
- ~~4146~~ **Weyl**, La flotte de guerre et les arsenaux 1894.
- ~~4147~~ **Stavenhagen**, Die Küstenbefestigungen der ausserdeutschen Seemächte. 1909.
- «^v參謀本部»
- 4146-47 **Stenzel**, Seekriegsgeschichte in ihren wichtigsten Abschnitten mit Berücksichtigung der Seetaktik. Bd. 1. u. 2. (bis 1600). 1907-09.
- 4151 – Die Flotte der Nords[s]staaten im Secessionskrieg.
- 28 –
- 4152 – Ueber Kriegsführung zur See. (engl. Flottenmanöver 1888).
- 4154 **R. v. Werner**, Deutsches Kriegsschiffsleben und Seefahrtkunst a-b.
- 4155 **Bernstorff**, Unsere blauen Jungen.
- 4156 **v. Janson**, Das strategische und taktische Zusammenwirken von Heer und Flotte. Hft. 1-2.
- «^v參謀本部»
- 4157 **Plüddemann**, Modernes Seekriegswesen.
- 4158 **von Maltzahn**, Der Seekrieg. 1906 (A. N. u. G.)

- 4159-60 **Rittmeyer**, Seekriege und Seekriegswesen in ihrer weltgeschichtlichen Entwicklung
Bd. 1. (bis 1740) Berlin 1907.
Bd. 2. (bis 1793) Berlin 1911.
- 4161 **Admiralstab**, Die Tätigkeit der Marine während des Aufstandes in Ostafrika 1905-06 a-b.
- 4162 **Paschen**, Aus der Werdezeit zweier Marinen. Erinnerungen aus meiner Dienstzeit in der österreichischen und deutschen Marine. 1908
- 4163 **Werner**, R. von. Deutschlands Ehr im Weltenmeer (Entwicklung der deutschen Flotte), neubearbeitet von Holzhauer 1908.
- 4200 **Bruno Meyer**, Deutschlands Seegefahren.
- 4201 **Die Seeinteressen des Deutschen Reiches**; zusammengestellt auf Veranlassung des Reichsmarineamtes a. b.
- 4203 **Eine starke Flotte** eine Lebensbedingung für Deutschland, (aus d. Nordd. Allgem. Ztg.) a-d
- 4204 **Stenzel**, Helgoland und die deutsche Flotte.
- 4205 **v. Wenckstern**, Theologische Begründung der Notwendigkeit einer starken deutschen Flotte.
- 4206 **Weyer**, Der Niedergang deutscher, der Aufschwung fremder Seemacht.
- 4207 **Zur Flottenfrage**, Darlegungen der Nordd. Allgem. Ztg. 1899/1900 Tl. 1-10
- 4208 **Zum Flottengesetz**. Entgegnung der Nordd. Allgem. Ztg. auf die Angriffe gegen d. Marinevorlage 1898.
- 4209 **Stenograph. Berichte des Deutschen Reichstages** (Novelle zum Gesetz betr. die deutsche Flotte) 1899-1900.
- 4210 **v. Wenckstern**, Heimatpolitik durch Weltpolitik. Reden zur Flottenver[er]l[er]age 1900.
- 4211 **Ratzel**, F., Das Meer als Quelle der Völkergrösse. Eine politisch-geographische Studie.
- 4213 **Ein Beitrag zur Beleuchtung der Flottenfrage**.
- 4214 **Du Bois**, Deutsches Seeinteressen und Seemacht. – **Englert**, Das Flottenproblem im Lichte der Sozialpolitik. – **Rodenberg**, Seemacht in der Geschichte. – **v. Mayr**, Flotte und Finanzen – **Bürger**, Soziale Tatsachen und sozialdemokratische Lehren. – **Oberwinder**, Weltmachtspolitik und Sozialpolitik. a-b.
- 43[32⁷]15 **Erdmann**, Deutschlands Seeherrschaft im XX. Jahrhundert. – **Ratzel**, Das Meer als Quelle der Völkergrösse.
- 4216 **Schäfer**, Weltlage und Flottenverstärkung. Deutsche Stimmen Nr. 16. – **Schäfer**, Was lehrt uns die Geschichte über die Bedeutung der Seemacht für Deutschlands Gegenwart? – **Verdy du Vernois**, Heer und Flotte (Preuss. Jahrb.). – Die Blockade der nordamerikanischen Südstaaten. – **Lehr**, Warum die deutsche Flotte vergrößert werden muss (Jahrb. d. Deutschen Seeintr.). – **Richter**, Zur Flottenfrage.
- 4217 **Du Moulin - Eckart**, Der deutsche Süden und die Flotte. – **v. Paschen**, Weltwirtschaft und Flotte. – **Bonamico**, Die Lehre von der Seemacht. – **Ericksen**, Deutschlands wirtschaftliche Existenz und seine Flotte.
- 29 –
- 4218 **Erdmann**, Wehrlos zur See. Eine Flottenphantasie an der Jahrhundertwende. – **Erdmann**, Wehrhaft zur See. Die Hauptpunkte der deutschen Flottenfrage. a. b.
- 4221 **Naumann Fr.**, Flotte und Reaktion. – **Weber**, Die Bedeutung der deutschen Kriegsflotte für unsere Gegenwart und Zukunft. – **Eisenhut**, Die Abrechnung mit England.
- 4222 **v. Stengel**, Deutsche Kolonial-Politik. – Für Deutschlands Kraft zur See. – **Kirchhoff**, Arth., Deutsche Universitätslehrer über die Bedeutung der Flottenvorlage.
- 4223 **v. Weckstern**, Auf Scholle und Welle. – Das Flottengesetz. Ein Rückblick. – Bitter not ist uns eine starke Flotte.
- 4224 **Fokke**, Volldampf voraus! Eine zeitgemässe Betrachtung zur Flottenvorlage. – **Das Doppelgeschwader**, Die Gefechtseinheit der deutschen Flotte. – **v. [der] Goltz**, Seemacht und Landkrieg.

- 4225 **Hartmann**, Warum hat jedermann im Volk ein Interesse an einer starken deutschen Flotte? – v. **Wenckstern**, Die Notwendigkeit einer starken Deutschen Flotte. – Heimatpolitik durch Welt-politik. – Zur Flottenfrage. Die Reden der Bevollmächtigten zum Bundesrat. – **Colomb**, Die Zukunft des Torpedos.
- 4226 v. **Wenckstern**, Ad. Smith, K. Marx und Seemacht des Reiches.
- 4227 Entwurf einer **Novelle zum Gesetz betr. die deutsche Flotte** vom 10. April 1898.
Die Marine bei den Kämpfen 1900 1901 s. bei VIII F.
Schriften über Flottenpolitik s. bei IX A.
- 4228 **Schweckendieck**, Festschrift zur Eröffnung des neuen Emden Seehafens 1901.
- 4229 **Jahresbericht des Seemannshauses** zu Tsingtau 1904 a-b.
- 4230 **Seestern**, 1906, Der Zusammenbruch der alten Welt. ~~a-e~~
- 4231 **Werner**, Das Buch von der deutschen Flotte. Leipzig 1902.
- 4232 **von Holleben**, Deutsches Flottenbuch.
- 4234 **Das Marine-Expeditionscorps** während des Hereroaufstandes. Berlin 1905.
- 4235 **L. v. Krohn**, Vierzig Jahre in einem deutschen Kriegshafen (Wilhelmshaven).
- 4236-40 **Bobrik**, Handbuch der praktischen Seefahrtskunde. Leipzig 1848. 3 Bde. und 2 Bde. Tabellen.
- ~~4241~~ **Weyher**, Taschenbuch der Kriegsflotten 1910.

VII.: Länder- und Völkerkunde.

A. Zeitschriften, Allgemeines, Weltreisen, Polarreisen, Atlanten.

- 5001 **Globus**, Illustr. Zeitschrift für Länder- u. Völkerkunde Bd. 64. a-b.
«^v陸軍士官校» «**埼玉浦和圖**»
- 5004-12 – Bd. 75-83. a-b.
«^v陸軍士官校»
- 5015-37 **Verhandlungen** der gesellschaft für Erdkunde. 1874-1896.
«^v陸軍士官校»
- 5051-60 **Petermanns Mitteilungen** aus Perthes Geographischer Anstalt 1882-91 Herausgegeben von E. Behm.
«^v陸軍士官校» «**埼玉大圖**»
- ~~5081~~ Inhaltsverzeichnis zu **Petermanns Geographischen Mitteilungen** 1875-1884.
- 5098-5100 **Grothe**, Beiträge zur Kenntnis des Orients Bd. II-IV: Aussätze über Marokko-Indien-Arabien-Japan-Peking.
«^v陸軍士官校» «**陸軍豫科士官校**»*«**陸軍中央幼年校**» «**埼玉浦和圖**»*«**埼玉熊谷圖**»
- 30 –
- 5111 **Geographenkalender** 1904-05.
«^v陸軍士官校»
- 5141[-]62 **Zeitschrift der Gesellschaft für Erdkunde zu Berlin**. Bd. 10-31_[1]
5154 ケツ
«^v陸軍士官校» «**埼玉浦和圖**»
- ~~5201-02~~ **Lampert**, Kurt, Die Völker der Erde. Bd. 1-2.
- 5203 **Weule**, Die Kultur der Kulturlosen.
«^v陸軍士官校»
- 5205 **Gütsfeldt**, Grundzüge der Astronomisch-Geographischen Ortsbestimmung.
«^v陸軍士官校»
- 5207 v. **Lendenfeld**, Die Hochgebirge der Erde. Illustrierte Bibliothek der Länder- u. Völkerkunde.
«^v陸軍士官校» «**埼玉熊谷圖**»
- 5208-9 **Ratzel**, Die Erde und das Leben. 2 Bde.

- «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 5210 **Lenschau**, Das Weltkabelnetz. Halle 1903.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
 5211 **Dove**, Das britische Weltreich. Eine wirtschaftsgeographische Untersuchung. 1906.
 «[∇]陸軍士官校»
 5212 **A. E. Brehm**, Vom Nordpol zum Aequator. Populäre Vorträge 1890.
 «[∇]陸軍士官校»
 5304 **Daniel**, Lehrbuch d. Geographie für höhere Unterrichtsanstalten. 1885[57].
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
 5306-08 – Handbuch der Geographie Lehrbuch d. Geographie Bd. 1-3. 1894.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
 5314 **Kirchhoff**, Erdkunde für Schulen. 2. Teil. 15 Aufl. 1909.
 «[∇]陸軍士官校»
 5315 **Klein**, Lehrbuch der Erdkunde. a-c. 1898.
 «[∇]陸軍士官校»
~~5316~~ **Seydlitz**, Handbuch der Geographie. 25. Aufl. Jubiläumsausgabe, herausgegeben von Oehlmann. Breslau 1908.
 5324 **Jakob**, Unsere Erde.
 «[∇]陸軍士官校»
 5325 **Peschel**, [Geschichte des] Zeitalter der Entdeckungen. 1877.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
 5326 **Ritter**, Das Buch der Entdeckungen. 1902.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
 5328 **Zimmermann**, Malerische Länder und Völkerkunde.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 5330 – Der Erdball und seine Naturwunder.
 «[∇]陸軍士官校»
~~5331~~ **Das grosse Weltpanorama der Reisen**, Abenteuer, Wunder Entdeckungen. Ein Jahrbuch Bd. 8.
 5332 **Das grosse Weltpanorama der Reisen**, Abenteuer, Wunder, Entdeckungen. Ein Jahrbuch Bd. 10.
 «[∇]陸軍士官校»
 5335 **Andree, R.**, Die Flutsageu[un]. a-b.
 «[∇]陸軍士官校»
~~5336~~ do Wirkliche und wahrhafte Robinsonaden, Fahrten und Reiseerlebnisse.
 5403 **Embacher**, Die wichtigeren Forschungsreisen des 19. Jahrhunderts. a-c
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
 5404 **Bisland, Elisabeth**, Eine Blitzfahrt rund um die Welt.
 «[∇]陸軍士官校»
 5410 **Hirschberg**, Um die Erde.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
~~5411~~ **Tanera**, Eine Weltreise. Berlin 1903.
~~5412~~ **Meyer, Hans**, Eine Weltreise.
 5413 **Meissner, Otto**, Eine Reise um die Welt in 144 Tagen. a-b.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
 5414 **Neudeck**, Um die Erde in Kriegs- und Friedenszeiten. Kiel 1904.
 «[∇]陸軍士官校»
 5415-16 **v. Scherzer**, Reise der österreichischen Fregatte „Novara“ um die Erde.
 «[∇]陸軍士官校»
 5417 **von Wartensleben**, Veränderte Zeiten. Eindrücke von Weltreisen. Berlin 1904.
 «[∇]陸軍士官校»
 5418-20 **Schmarda**, Reise um die Erde in d. jahren 1853-1857 a-b.

«^v陸軍士官校»

- 5424 **Weber**, Vom Ganges zum Amazonenstrom. Bilder aus einer Weltreise 1903.
5422 **Meyers Reisebücher: Weltreise 1907** (Indien, Java, China, Japan, Sibir. Bahn, Amerika), a. b. c.
«^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
5423 **Toselowski**, Eine Reise um die Erde mit zweijährigem Aufenthalt in Japan a-b.
«^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
5424 **Thomas**, Buch denkwürdiger Entdeckungen. Leipzig 1904.
«^v陸軍士官校»
5425 **Carnegie**, Meine Reise um die Welt.
«^v陸軍士官校»
5426 **Mark Twain**, Meine Reise um die Welt.
5430 **Korff**, Weltreise. Tagebuch 1893-94. Bd. 2. (Japan-China).
«^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»

- 31 -

- 5432-39 do Weltreise. Bd. 1-8.
«^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
5450 **Kunhardt, E.**, Wanderjahre eines j[J]ungen Hamburger Kaufmanns; Eine Reise um die Erde in 1[±7]77 Tagen. a. b. c.
«^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»•«防衛大圖»
5452 **Kunhardt, O.**, Wanderjahre eines jungen Hamburger Kaufmanns. Eine Reise um die Erde in 1000 Tagen.
«^v陸軍士官校» «防衛大圖»
5453 **Niedieck**, Mit der Büchse in fünf Weltteilen. 1905.
«^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
5465 **Friedrich**, Am stillen Ocean.
«^v陸軍士官校»
5467-68 **Brassey**, A voyage in the Sunbeam. Bd. 1-2.
«^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
5469 **Craemer**, Curt, Aus meiner Wanderzeit. Reiseeindrücke eines jungen Kaufmanns. 100 000 Kilometer zu Wasser und zu Lande.
«^v陸軍士官校» «防衛大圖»
5470-71 ~~Gerstäcker, Fr., Reisen. Bd. 1-2.~~ **Dr. Robert Heindl**, Meine Reise nach den Strafkolonien.
«^v陸軍士官校» «防衛大圖»
5475 – Neue Reisen durch die Vereinigten Staaten, Mexiko, Ecuador, Westindien und Venezuela.
5476-77 **Ziegler**, Hinaus in die Welt (Erlebnisse und Studien eines weltreisenden Kaufmanns).
«^v陸軍士官校»
Bibliothek denkwürdiger Reisen, aus der Feder von Teilnehmern.
5480 – Bd. I. Die Weltumseglungsfahrten des Kapitäns Cook.
«^v陸軍士官校»
5481 – Bd. II. Die Erschliessung Japans. Erinnerungen des amerikan. Admirals Perry 1853.
«^v陸軍士官校»
5482 – Bd. III. Aus dem Lande der lebenden Buddhas (Reisen von Boyle u. Manning in Tibet).
«^v陸軍士官校» «防衛大圖»
5603 **Franklin**, Der Held des nördlichen Eismeeers, Franklins Nordfahrten und ihre Folgen.
«^v陸軍士官校»
5604 **Schott**, Deutschlands Anteil an der Erforschung der Meere. Reise des[sr] „Planet“ 1906. a. b.
«^v陸軍士官校»
5605-07 **v. Heuglins** Reisen nach dem Nordpolarmeer in d. Jahren 1870-71 Bd. 1-3.

- 5608 **Nansen**, Eskimoleben. Berlin 1903.
- 5609-10 do In Nacht und Eis. Bd. 1. a-b 2.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 5611 **Fricke**, Antarktis, Bibliothek der Länderkunde, a-b.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»*«防衛大圖»
- 5612-13 **Nordenskiöld**, Die Umsegelung Asiens und Europas auf der Vega Bd. 1-2.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 5614-15 do Antarktis. Zwei Jahre am Südpol. Berlin 1904. 2 Bde.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 5616 **Dufferins**, Briefe aus hohen Breitegraden. a-b.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 5617 **Hassert**, Die Polarforschung. A. N. u. G.
 «^v陸軍士官校»
- 5618 **Wegener**, Zum ewigen Eise. Eine Sommerfahrt ins nördliche Polarmeer. 1897,
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 5619 **Amundsen**, Die Nordwestpassage. Meine Polarfahrt 1903-7.
 «^v陸軍士官校»
- 5620 **F. v. Richthofen** Ergebnisse und Ziele der Südpolarforschung. 1905.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 5621 **Peary**, Dem Nordpol am nächsten. 1907.
 «^v陸軍士官校»
- 5622-23 **Shackleton**, 21 Meilen vom Südpol (Britische Expedition 1907-09) 2 Bde.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 5624 **Drygalski**, Zum Kontinent des eisigen Südens. Deutsche Südpolarexpedition 1901-03.
 «^v陸軍士官校»
- ~~5625~~ **Friis**, Im Grönlandeis mit Mylius – [—]Erichsen. Die Dänemark-Expedition 1906-08. Aus dem
 Dänischen übersetzt.
- 5626 **von Hellwald**, J[?]m ewigen Eis.
 «^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- ~~5627-28~~ **Nansen**, Auf Schneeschuhen durch Grönland. 2. Aufl. 1898.
- 5629 **Peary**, Die Entdeckung des Nordpols. Mit Geleitwort von Th. Roosevelt. 1910.
 «^v陸軍士官校»
- ~~5630~~ **Filchner und Seelheim**, Quer durch Spitzbergen. Eine deutsche Uebungsexpedition. 1911.
- ~~5703~~ **Lange**, Volksschul-Atlas über alle Teile der Erde a-b.
- 32 -
- 5704 **Lichtenstern und Lange**, Schul-Atlas zum Unterricht in der Erdkunde in 49 Karten. a. b. 1891.
 «^v陸軍士官校»
- ~~5706~~ **Debes**, Neuer Handatlas in 56 Haupt- und 120 Nebenkarten.
- ~~5707~~ **Stielers Handatlas**, 100 Karten in Kupferstich. 9. Auflage 1906.
- ~~5720~~ **Weltkarte**. Nautische Abteilung des Reichsmarineamts.
- ~~5726-43~~ **Seekarten** (17) verschiedener Meere und Häfen.
- ~~5750~~ – Kiautschou und Hinterland 1:20 000.
- ~~5751~~ – Deutsches Schutzgebiet, Tsingtau mit Umgebung 1:10 000.
- ~~5752~~ – Deutsches Schutzgebiet, Kiautschou 1:50 000.
- ~~5753~~ – Uebersichts-Karte von Tsingtau und Umgebung. Masstab 1:6250. Januar 1910.

5761	- Hankau	}	Königl. Preussische Landesaufnahme.
5762	- Nanking		
5763	- Tsinanfu		
5764	- Mukden		
5765	- Tsingtau		
5771	- Peking (Stadtplan)		
5772	- Gesandtschaftsviertel in Peking		
5773	- Tientsin, aufgenommen von Hasse		
5774	Karte von Tsingtau und Umgebung.		
5775	Plan von Tsingtau.		

B. Europa.

6001	Sievers-Phillipson , Europa. Eine Landeskunde. 2. Aufl. 1906. « ^v 陸軍士官校»	
6002	v. Schweiger-Lerchenfeld , Das Mittelmeer. « ^v 陸軍士官校»	«埼玉熊谷圖»
6003	Kollbach , Europäische Wanderungen. Halle 1889. « ^v 陸軍士官校»	
6004	Wilbrandt , Rund ums Mittelmeer. Reisebriefe an einen Freund. 1909. « ^v 陸軍士官校»	
6005	Brepohl , Aus dem Wanderleben der Zigeuner. « ^v 陸軍士官校»	
6006	Bädeko[øe]r , Das Mittelmeer. Hafenplätze und Seewege in Europa, Marokko, Algier, Tunis, Aegypten, Syrien etc. Handbuch für Reisende 1911. « ^v 陸軍士官校»	
6007	Linde , Alte Kulturstätten. Bilder aus Aegypten, Palästina und Griechenland. 1911.	
6102	Reishauer , Die Alpen. A. N. u. G. « ^v 陸軍士官校»	«防衛大圖»
6103	Ratzel , Deutschland, Einführung in die Heimatkunde. a-b. « ^v 陸軍士官校»	
6104	Scobel , Thüringen (Monographien zur Erdkunde).	
6105-07	Trinius , Alldeutschland in Wort und Bild. « ^v 陸軍士官校»	
6108	Bericht über die neuere Litteratur zur deutschen Landeskunde . Bd. 1. 1896-99. « ^v 陸軍士官校»	
6109	Allmers , Marschenbuch. 1891. « ^v 陸軍士官校»	«埼玉熊谷圖»
6110	Meyer , Hugo Elard. Deutsche Volkskunde. « ^v 陸軍士官校»	
6111	Falke , Hamburg. Eine Schilderung. « ^v 陸軍士官校»	«埼玉大圖»
6117	Meyer , Hans, Das Deutsche Volkstum. « ^v 陸軍士官校»	
6201	Brohm , Helgoland in Geschichte und Sage, 1907.	
6204	Meyer , Johannes, Die Provinz Hannover. « ^v 陸軍士官校»	«埼玉熊谷圖»
6205	Günther , Der Harz in Geschichts-, Kultur- und Landschaftsbildern. « ^v 陸軍士官校»	«埼玉熊谷圖»

- 6210 **Paulus und Stieler**, Aus Schwaben.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 6221 **Schultze, H.**, Heimatkunde der Provinz Sachsen und Geographie von Deutschland.
 «[∇]陸軍士官校»
- 6550 **Grube, A. W.**, Aus der Alpenwelt der Schweiz.
 «[∇]陸軍士官校»
- 6551 **Tyndall, John.**, In den Alpen.
 «[∇]陸軍士官校»
- 6552 – Die Gletscher der Alpen.
 «[∇]陸軍士官校»
- 6553 **Stieler**, Natur- und Lebensbilder aus den Alpen.
 «[∇]陸軍士官校»
- 33 –
- 6554 **Haushofer**, Tirol und Vorarlberg. 3 Aufl. 1909. (Monographien)[?] zur Erdkunde).
- 6555 **Heer**, Die Schweiz. 3 Aufl. 1907. (Monog. z. Erdkde).
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 6556 **Osenbrüggen**, Die Schweizer, daheim und in der Fremde. 1874.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 6601 **Steffen**, England als Weltmacht und Kulturstaat.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 6602 **v. Ompteda**, Aus England.
 «[∇]陸軍士官校»
- 6603 **Peters**, England und die Engländer. Halle 1905.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 6604-05 **England in deutscher Beleuchtung**, von verschiedenen Verfassern (Englische Kolonialpolitik, Handelsschiffahrt, Wirtschaftsgebiet, Landheer, Seemacht, Schulwesen, Nationalcharakter, Presse, Grösserbritannien.)
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 6702 **Berges**, Nordlandfahrt der „Auguste Victoria.“
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 6703 **Gütsfeldt**, Kaiser Wilhelm’s II. Reisen nach Norwegen 1889 und 1890.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 6704 **Fries-Schwenzen**, Aus Fridtjof Nansen’s Heimatland.
 «[∇]陸軍士官校»
- 6705 **Grumbkow, J[~~ü~~]safold**. Reisebilder aus J[~~ü~~]sland. Berlin 1909.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 6706 **Winkler**, Island. a-b.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 6707 **Linden**, Eine Nachtfahrt nach Nordwegen.
 «[∇]陸軍士官校»
- 6708 **Bertolini**, Die Seele des Nordens. Studien und Reisen durch Norwegen, Schweden und Dänemark. Aus dem Italienischen übersetzt 1908.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 6802 **Stern**, An der Wolga. a-b. 1897.
 «[∇]陸軍士官校»
- 6803 – Aus dem modernen Russland. a-b. 1893.
 «[∇]陸軍士官校»
- 6804 **Tottleben**, Eindrücke meiner Reise in Russland im August und September 1891.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 6805 **von Erckert**, Der Kaukasus und seine Völker. 1888.

- «▽陸軍士官校»
6806 **Bädeker**, Russland (mit Teheran, Sibirischer Bahn und Peking) 6. Aufl. 1904.
«▽陸軍士官校»
- 6807-8 **Wallace**, Russland, 2 Bde. 4 Aufl. 1906.
«▽陸軍士官校»
- 6809 **Franzos**, Vom Don zur Donau. Kulturbilder aus Halbasien.
«▽陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 6810 do Aus der grossen Ebene.
«▽陸軍士官校»
- 6811 **Sembratowycz**, Polonia irredenta (Ruthenen und Polen in Galizien.)
«▽陸軍士官校»
- 6901 **Deecke**, Italien. (Bibliothek der Länderkunde. Bd. 3-4.) 1898
«▽陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 6904 **Kaemmel**, Rom und die Campagna (Monographien zur Erdkunde) 1902.
«▽陸軍士官校»
- 6905 **Allmers**, Römische Schlendertage.
«▽陸軍士官校»
- 6906 **Haas**, Neapel, seine Umgebung und Sizilien. (Monogr. z. Erdkde.)
«▽陸軍士官校»
- 6907 **Bädeker**, Italien von den Alpen bis Neapel. Kurzes Reisehandbuch. 5. Auflage. 1903.
«▽陸軍士官校»
- 6908 **V. Hehn**, Italien. Ansichten und Streiflichter. 9. Auflage 1905.
«▽陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 7003 **Lindenberg**, Aus dem Paris der dritten Republik.
«▽陸軍士官校» «防衛大圖»
- 7012 **Ottmann**, Streifzüge in Toscana, an der Riviera und in der Provence.
«▽陸軍士官校»
- 7101 **Parlow**, Bilder und Träume aus Spanien.
«▽陸軍士官校»
- 7102 do Kultur und Gesellschaft im heutigen Spanien.
«▽陸軍士官校»
- 7103 **Wegener**, Herbsttage in Andalusien. 4. Auflage 1908.
«▽陸軍士官校»
- 7104 **Diercks**, Das moderne Spanien. 1908.
«▽陸軍士官校» «防衛大圖»
- 7201 **Lux**, Die Balkanhalbinsel.
«▽陸軍士官校»
- 7202 **Bädeker**, Konstantinopel und das westliche Kleinasien. Reisehandbuch 1905.
«▽陸軍士官校»
- 7203 **Hauptmann**, (Gerhart), Griechischer Frühling. 1908.
«▽陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 7204 **Renner**, Durch Bosnien und die Herzegowina kreuz u. quer. 1896 a-c.
Siehe auch XIV: Berühmte Kunststätten: Moskau, Konstantinopel, Athen, Genua, Florenz,
«▽陸軍士官校»

- 7205 **Dukas-Theodassos**, Im Zeichen des Halbmonds. Schilderungen aus der türkischen Hauptstadt.
«▽陸軍士官校» «防衛大圖»
- 7206 **Grothe**, Auf türkischer Erde. Reisebilder und Studien aus 3 Weltteilen. 1903.

«^V陸軍士官校»

7207 **Escherich**, Jagdreisen in Norwegen, Bosnien und Abessynien. 1910.

«^V陸軍士官校»

7208 **von Oettingen**, Unter der Sonne Homers. griechische Reisebilder eines Dilettanten. 1897.

«^V陸軍士官校»

«埼玉浦和圖»

7212 **v. Goltz-Pascha**, Karte der Umgegend von Constantinopel. 1895.

«^V陸軍士官校»

C. Asien.

7418 **Bockenheimer**, Rund um Asien. 1909.

«^V陸軍士官校»

7419 **Plate**, Der ferne Osten. Ein Reisehandbuch. 1907.

«^V陸軍士官校»

7420 **Winter**, Reisehandbuch für Ostasien. Kiel 1901.

«^V陸軍士官校»

7421 **Sievers**, Asien. Eine allgemeine Landeskunde. a. b (2. Aufl. 1904).

«^V陸軍士官校»

«埼玉熊谷圖»

7422 **Volz**, Geographische Charakterbilder aus Asien.

«^V陸軍士官校»

7423-24 **Uchtomsky**, Orientreise des Grossfürsten Thronfolgers Nikolaus Alexandrowitsch 1890-91. Bd. 1. a. b. Bd. 2.

«^V陸軍士官校»

7425-27 **von Brandt**, 33[~~33~~Dreiunddreissig] Jahre in Ostasien Bd. 1-3.

«^V陸軍士官校»

«防衛大圖»

7428 do Die Zukunft Ostasiens 1903.

«^V陸軍士官校»

7429 do Die Entwicklung Ostasiens in jüngster Zeit. Vortrag 1898.

«^V陸軍士官校»

7430 do Aus dem Lande des Zopfes.

«^V陸軍士官校»

7432 do Die chinesische Philosophie und der Staats-Confucianismus.

«^V陸軍士官校»

«防衛大圖»

7433 do Drei Jahre Ostasiatischer Politik 1894-97

«^V陸軍士官校»

7434 do Mädchen und Frauen, Sittenbilder aus China. 1900

«^V陸軍士官校»

7435-38 **Die preussische Expedition** nach Ostasien 1860-62: nach amtlichen Quellen Bd. 1-4.

«^V陸軍士官校»

~~7439-40~~ **R. Werner**, Die preussische Expedition nach Ostasien. Reisebriefe. Bd. 1-2.

~~7441~~ **Little**, The far East (China, Japan, Korea) Oxford 1905.

7442 **Oppert**, Ostasiatische Wanderungen 1898.

«^V陸軍士官校»

7443 **Lorenz**, Geologie und Paläontologie von Ostasien,. I.

«^V陸軍士官校»

7444 do Beiträge zur Geologie und Palä[öä]ontologie Ostasiens,. II. 1906.

«^V陸軍士官校»

7445 **Vay de Vaya**, Erinnerungen an die ostasiatischen Kaiserreiche und Kaiser. 1906.

«^V陸軍士官校»

- 7446 **Ruprecht, Prinz von Bayern**, Reiseerinnerungen aus Ostasien.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 7447 **Doflein**, Ostasiatischenfahrt. 1906.
 «[∇]陸軍士官校»
- 7448 **Brass**, Die nutzbaren Tiere Ostasiens. 1904.
 «[∇]參謀本部»
- 7449 **Martin**, Meine letzte Ostasienfahrt. 1911. a=b.
 «[∇]陸軍士官校»
- 7450 **Lowell**, Die Seele des fernen Ostens.
 «[∇]陸軍士官校»
- 7451 **Kurz**, Vom Nil zum Fujijama. 1910.
 «[∇]陸軍士官校»
- 7452 **A. L.**, 4000 Kilometer mit dem Oesterreichischen Lloyd nach Ostasien.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 7471 **Eulenburg**, Ostasien 1860-1862. (Briefe von der preussischen Expedition).
 «[∇]陸軍士官校»
- 7509 **Asien**, Zeitschrift der Deutsch-Asiatischen Gesellschaft 1902.
 «[∇]陸軍士官校»
- | | | | |
|------|-----------------------|----|-------|
| 7510 | do | do | 1903. |
| | « [∇] 陸軍士官校» | | |
| 7511 | do | do | 1904. |
| | « [∇] 陸軍士官校» | | |
| 7512 | do | do | 1905. |
| | « [∇] 陸軍士官校» | | |
| 7513 | do | do | 1906. |
| | « [∇] 陸軍士官校» | | |
| 7514 | do | do | 1907. |
| | « [∇] 陸軍士官校» | | |
| 7515 | do | do | 1908. |
| | « [∇] 陸軍士官校» | | |
| 7516 | do | do | 1909. |
| | « [∇] 陸軍士官校» | | |

siehe auch Zeitschrift: **Ostasien** I. B. 1684 etc.

- 35 -

- 7604 **Lemke**, Die Reisen des Venetianers Marco Polo. Neue Bearbeitung. 1907.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 7605 **The Travels of Marco Polo**.
 «[∇]陸軍士官校»
- 7606 **Smith, A. H.**, Chinese Characteristics.
 «[∇]參謀本部»
- 7607 **Selby, T. G.**, Chinamen at home.
 «[∇]陸軍士官校»
- 7608-11 **Joh. Baptista du Halde**, Ausführliche Beschreibung des chinesischen Reichs und der grossen Tartarey.
 «[∇]陸軍士官校»
- 7612 **Kirchere, S. J.**, La Chine. Amsterdam 1667.
 «[∇]陸軍士官校»

- 7664 **Grube**, Religion und Cultus der Chinesen. 1910.
 «^v陸軍士官校» «*埼玉浦和圖*»
- 7665 **von Möllendorf**, Die grosse Mauer Chinas.
 «^v參謀本部»
- 77[76²]68 **von Richthofen**, Ferdinand, Freiherr, China-Ergebnisse eigener Reisen.
 Bd I: Einleitung 1877.
 «^v陸軍士官校»
- 77[76²]69 – Bd. II: Das nördliche China. 1882.
 «^v陸軍士官校»
- 77[76²]71 – Bd. IV: Paläontologischer Theil. 1883.
 «^v陸軍士官校»
- 7672 – Atlas v. China. 1. Abteilung, das nördliche China.
 «^v陸軍士官校»
- 7673-74 – Tagebücher aus China. (1868-72). 2 Bde.
 «^v陸軍士官校»
- 7675-76 **Navarra**, China und die Chinesen Bd. 1-2. a. b.
 «^v參謀本部»
- 36 –
- 7677 **Hesse-Wartegg**, China und Japan. Erlebnisse, Studien und Beobachtungen. 2. Auflage 1900.
 «^v陸軍士官校» «*埼玉熊谷圖*»
- 7678 **Klein**, Nordamerika u. Ostasien. Reiseerinnerungen Bd. II: China. 1910.
 «^v參謀本部»
- 7679 **Bluth**, Wandervögel, Bilder und Gedanken aus Amerika und China 1910.
 «^v陸軍士官校» «*防衛大圖*»
- 7680 **Tscheng-Ki-Tong**, China und die Chinesen. Aus d. Französischen.
 «^v陸軍士官校»
Ku Hung Ming, Papers from a Viceroy's Yamen.
Bethge, Die chinesische Flöte, Grube, Chinesische Literatur etc.
 siehe XIII. D.
- 7682 **Tiessen**, China, das Reich der 18 Provinzen Tl. 1: Die allgemeine Geographie des Landes.
 «^v陸軍士官校» «*埼玉熊谷圖*»
- ~~7683~~-84 **Williams**, The middle kingdom. A survey of geography, government literature, social life and
 history of the Chinese empire. 2 Bde. New York. 1904.
 «^v陸軍士官校»
- 7686 **v. Richthofen**, Wilhelm, Chrysanthemum und Drache.
 «^v陸軍士官校» «*防衛大圖*»
- ~~7687~~ **Salzmann**, Im Sattel durch Centralasien. Berlin 1904.
- ~~7688~~ **Zugmeyer**, Eine Reise durch Centralasien im Jahre 1906.
- ~~7689~~ **Ehlers**, Im Osten Asiens. 1900.
- 7690-91 do Otto, Im Sattel durch Indo-China Bd. 1-2 1896.
 «^v陸軍士官校»
- 7692-94 **Culquhoun**, Quer durch Chryse. Bd. 1-3. a-b. 1-2.
 «^v陸軍士官校» «*防衛大圖*»
- 7696 **Cooper, T. T.** Reise zur Auffindung eines Ueberlandweges von China nach Indien. Aus d. Engli-
 schen. a-b.
 «^v陸軍士官校»
- 7697 **Wolf**, Eugen, Meine Wanderungen. I. Im Inneren Chinas. 1901.
 «^v陸軍士官校» «*防衛大圖*»
- 7698 **Franke**, Beschreibung des Jeholgebietes in der Provinz Tschili 1902.

- «[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
 7699 do Die Rechtsverhältnisse am Grundeigentum in China. 1904.
 «[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
 7700 **Zabel**, Auf der sibirischen Bahn nach China. 1904.
 «[∨]參謀本部»
 7701 **Franke**, Geistige Strömungen im heutigen China. Vortrag.
 «[∨]陸軍士官校»
 7702 do Was lehrt die Geschichte Ostasiens der letzten 50 Jahre? Vortrag 1905.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
 7703 **Forke**, Von Peking nach Changan und Loyang (Mitteilungen des Orientalischen Seminars Berlin. 1898).
 «[∨]陸軍士官校»
 7704 **Hackmann**, An den Grenzen von China und Tibet. Halle 1904.
 «[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
 7705 **Samson-Himmelstjerna**, Westöstliche Kontraste.
 «[∨]陸軍士官校»
~~7706~~ **Haffter**, Briefe aus dem fernen Osten. 1903.
~~7707~~ **Perthes**, Briefe aus China. Gotha 1903.
 7708 **Genschow**, Unter Chinesen und Tibetanern. 1905.
 «[∨]陸軍士官校»
 7709 **Giehrl**, Chinafahrt 1900-01.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 7710 **Wilda**, Von Hongkong nach Moskau. 1902.
 «[∨]陸軍士官校»
 7711 **Lindau**, (Rudolf), Aus China und Japan. 1903. a-b.
 «[∨]參謀本部»
~~7712~~ **Weig**, Chinesisch Neujahr. – Verlobung und Heirat in China. 2 Vorträge.
 7713 **Cordes**, Handelsstrassen und Wasserverbindungen von Hankau nach dem Innern Chinas. 1899.
 «[∨]陸軍士官校»
 7714 **Bretschneider**, Die Pekinger Ebene und das benachbarte Gebirgsland.
 «[∨]陸軍士官校»
 7715 **Minnigerode**, Ueber chinesische Theater.
 «[∨]陸軍士官校»
 7716 **von Büllow**, Chinas handelspolitische Stellung zur Aussenwelt. 1904.
 «[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
 7717 **Leroy-Beaulieu**, Die chinesische Frage.
 «[∨]陸軍士官校»
 7718 **Chevalier**, Le Haut Yangtse. 1899.
 «[∨]陸軍士官校»
 7719 **Jobst**, Geschichte des Tempels Tjä Taitze bei Peking. Mit Photographien. Tientsin 1906.
 «[∨]陸軍士官校»
 7720 **Bishop**, The Yangtse valley and beyond. London. 1899.
 «[∨]陸軍士官校»
 7721 **Pène-Siefert**, Blancs et Jaunes en Chine. Paris. 1902.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉大圖»
~~7722~~ **Brass**, Sturm und Drang in Tientsin. Erlebnisse. 1906.
 7723 **Hildebrand**, Der Tempel Ta-chüen-sy bei Peking. Berlin. 1897.
 «[∨]陸軍士官校»

- ~~7724~~ **Lignitz**, Deutschlands Interessen in Ostasien und die gelbe Gefahr. 1907.
- 7725 **Forke**, Die Völker Chinas. 2 Vorträge. 1907.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~7726~~ **Weig**, Vier Vorträge (Tugenden der Chinesen – Wie die Chinesen sterben – Confucius – Ende der Ming Dynastie.)
- 7727 **Ruhstrat**, Aus dem Lande der Mitte. Schilderungen der Sitten und Gebräuche der Chinesen.
«[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 7728 – Sittenbilder aus China.
«[∇]陸軍士官校»
- 7729 **Barzini**, Peking - Paris im Automobil. 1905 a-b.
«[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 7730 **Conrady**, Chinas Kultur und Literatur. 6 Vorträge. 1903.
«[∇]陸軍士官校»
- 7731 **Clavery**, Hongkong le passé et le présent. 1905.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~7732~~ **Morse**, The trade and administration of the Chinese Empire. New York 1908.
- ~~7733~~ **Little, A.**, Round about my Peking garden. London 1900.
- 7734 **Hoffmeister**, Aus Ost und Süd. Wanderungen und Stimmungen aus China und dem Orient 1907.
«[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 7735 **Kenelly**, A list of the cities, towns and open ports of China and dependencies. 1908.
«[∇]陸軍士官校»
- 7736 **Prahl**, Ueber Selbstmorde bei den Chinesen.
«[∇]參謀本部»
- 7737 **Wassiljew**, Die Erschliessung Chinas. Kulturhistorische und wirtschaftspolitische Aufsätze zur Geschichte Ostasiens. 1909.
«[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 7738 **Egan Mew**, Old Chinese Porcelain.
«[∇]陸軍士官校»
- 7739 **Boy-Ed**, Peking und Umgegend, nebst einer kurzen Geschichte der Belagerung der Gesandtschaften 1900. – Wolfenbüttel 1908.
«[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 7740 – Peking und Umgebung. Tientsin 1906.
«[∇]陸軍士官校»
- 7741 **Jobst**, In und ausser Dienst in der Mongolei 1910. a-b.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~7742~~ **Cooks Tourist Handbook** to Peking, Tientsin, Mukden, Dalny, Port Arthur and Seoul. 1910.
- 7743 **Geil**, A Yankee on the Yangtse.
«[∇]陸軍士官校»
- 7744 **Wade**, With boat and gun in the Yangtse valley. Second Edition. 1910.
«[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 7745 **Conrady**, Acht Monate in Peking. Eindrücke und Studien aus der Zeit nach den Wirren. Vortrag. Münsterberg, Chinesische Kunstgeschichte siehe XIV.
«[∇]陸軍士官校»
- 7765 **Behme u. Krieger**, Führer durch Tsingtau 2. Aufl.
«[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- ~~7766~~ do 3. Aufl.
- 7767 **Weicker**, Kiautschou, das deutsche Schutzgebiet in Ostasien. 1908. a. b.
«[∇]參謀本部»•«[∇]陸軍士官校»
- 7802 **Koch**, Die Industrialisierung Chinas, 1910.

- «[∇]參謀本部»
- 7803 **Junghann**, Berg- und Hüttenwesen in China. 1911.
- «[∇]參謀本部»
- ~~7901~~ **v. Richthofen**, Ferdinand, Schantung und seine Eingangspforte Kiautschou. (mit kartenbeilage 7801 A.) 1898.
- ~~7902~~ **v. Hesse-Wartegg**, Schantung und Deutsch-China. 1898. a. b.
- ~~7903~~ **Stenz**, In der Heimat des Confucius.
- ~~7904~~ do Der Bauer in Schantung. a. b.
- 7905 do Erlebnisse eines Missionars in China.
- «[∇]陸軍士官校»
- 7906 **Sc[e]hantung**. A general outline of the geography and history of the province.
- «[∇]陸軍士官校»
- 7907 **Tschepe**, Der Taischan u. seine Kultstätten. 1906.
- «[∇]陸軍士官校»
- 7908 do Heiligtümer des Konfuzianismus in Küfu und Tschouhsien.
- «[∇]陸軍士官校»
- ~~7909~~ **Stenz**, Beiträge zur Volkskunde Südschantungs. Herausgegeben von Conrady. 1907.
- ~~7910~~ **Betz**, Die wirtschaftliche Entwicklung der Provinz Schantung seit der Eröffnung Tsingtaus (1898-1910. Veröffentlicht von der Handelskammer zu Tsingtau.) a. b.
- «防衛大圖»
- 38 -
- 7945 **Kolshorn**, Die wirtschaftliche Bedeutung und Entwicklung des Kiautschougebiets.
- «[∇]參謀本部»
- 7946 **Knapp**, Deutsche Kulturbestrebung in China. Vortrag 1906.
- «[∇]參謀本部»
- ~~7947~~ **Album von Tsingtau**. 50 Ansichten.
- ~~7950~~ **Hessler**, Deutsch-Kiautschou. Kurze Beschreibung von Land und Leuten.
- ~~7951~~ **Franzius**, Georg, Kiautschou, Deutschlands Erwerbung in Ostasien.
- Michaelis**, Was ist Kiautschou wert? s. IX A.
- «[∇]參謀本部»
- 7952 **Rinne**, Beitrag zur Gesteinskunde des Kiautschou-Schutzgebiets. 1904.
- «[∇]陸軍士官校»
- ~~7953~~ **Die Aushilfsmarken von Tsingtau** und ihre Fälschungen. 1903.
- 7954 **Lutschewitz**, Die religiösen Sekten in Nordchina, besonders in Schantn[au]ng.
- «[∇]陸軍士官校»
- 7955 **Secker**, Streiflichter auf die wirtschaftlichen Verhältnisse in Schantung. Vortrag 1910.
- «[∇]陸軍士官校»
- 7956 **Längs der Schantungbahn**. Sonderabdruck aus den „Tsingtauer Neuesten Nachrichten.“
- «[∇]陸軍士官校»
- 7957 **Rohrbach**, Deutsch-Chinesische-Studien. 1909.
- «[∇]陸軍士官校»
- ~~7958~~ do Deutsche Kulturaufgaben in China. Vier Vorträge.
- «佐賀大附圖»
- ~~7960-71~~ **Denkschriften betr.** die Entwicklung des Kiautschougebiets in den Jahren 1898-1909.
- «[∇]參謀本部»
- 8001 **v. Hesse-Wartegg**, Korea, Eine Sommerreise nach dem Lande der Morgenruhe.
- «[∇]陸軍士官校»
- 8003 **Wolter**, Korea, einst und jetzt.
- «[∇]陸軍士官校»

- 8066 **Heco**, Erinnerungen eines Japaners. Uebersetzt von Oppert.
«^v陸軍士官校»
- 8067 **Nippold**, Die Entwicklung Japans in den letzten 50 Jahren. Vortrag. 1904.
«^v陸軍士官校»
- 8068 **Lafcadio Hearn**, Kokoro (Herz). Novellen u. Skizzen. 1905.
«^v陸軍士官校»
- 8069 **Takaishi**, Japans Frauen n[au]nd Frauenmoral. 1900.
«^v陸軍士官校»
- Münsterberg**, Japanische Kunstgeschichte siehe XIV.
- ~~8070-71~~ **Siebold, Nippon**, Archiv zur Beschreibung von Japan. 2. Auflage 2 Bde. 1897.
- 8072 **Chamberlain**^[j] Things Japanese. For the use of travellers. 1905.
«^v陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 8073 **Hancock**, Dschiu Dschitsu. (Japanische Ringkunst)
«^v陸軍士官校»
- 8074 **Nippold**, Ein Blick ins europafreie Japan. 1905.
«^v陸軍士官校»
- ~~8075~~ **Netto und Wagener**, Japanischer Humor. Illustriert. 1901.
- ~~8076~~ **Egan Mew**, Japanese Porcelain.
- 8077 **Paalzow**, Das Kaiserreich Japan. 1908.
«^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- ~~8078~~ **Baumann**, Japaner Mädcl.
- ~~8079~~ **Kellermann**, Ein Spaziergang in Japan 1911.
- 8201-02 **Lansdell, Henry**, Durch Sibirien. 1882.
«^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 8203 **Ulrich**, Die Mandschurei. Aus dem Russischen übersetzt. 1904.
«^v陸軍士官校»
- 8204 **Elisée Reclus**, Nouvelle Geographie Universelle VI.-L'Asie russe.
«^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 8205 Wegweiser auf der grossen **Sibirischen Eisenbahn**. Herausgegeben vom Ministerium der Wegekommunikationen. Aus dem Russischen übersetzt. Petersburg 1901.
«^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8206 **Roskoschny**, Russland, Land und Leute.
«^v陸軍士官校»
- Russland in Asien.** 6 Bde:
«陸軍士官校»
- 8207 **Heyfelder**, Transkaspien und seine Eisenbahn.
«^v陸軍士官校»
- 8208 **Krahmer**, Russland in Mittelasien.
«^v陸軍士官校»
- 8209 do Sibirien und die sibirische Eisenbahn.
«^v陸軍士官校»
- 8210 do Russland in Ostasien.
«^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 8211 do Das nordöstliche Küstengebiet.
«^v陸軍士官校»
- 8212 do Die Beziehungen Russlands zu Persien.
«^v陸軍士官校»
- 8213 **Zabel**, Durch die Mandschurei und Sibirien. 1902.
«^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- ~~8214~~ **Hawes**, Im äussersten Osten: Von Korea über Wladiwostok nach Sachalin. Berlin 1905.

- 8215 **de Windt**, From Peking to Calais by Land. 1902.
«[∨]陸軍士官校»
- ~~8216~~ **Schwarz**, Quer durch Sibirien.
- 8217 **Fischer**, Over Land from the East to Europe; the route transsibirian. 1908.
«[∨]陸軍士官校»
- 8218 **Friederichsen**, Reisebriefe aus Russisch-Centralasien. 1902.
«[∨]陸軍士官校»
- 8219-21 **Russland in Asien VII-IX: Der ferne Osten von C. von Zepelin.**
Bd. VII: Mandschurei, Port Arthur bis 1906.
VIII[:] Amurgebiet
IX[:] Wladiwostok u. Küstengebiet.
«[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»⁴
- 8301 **Prschewalski**, Von Kuldscha über den Tianschan und an den Lob-nor. a-e.
«[∨]陸軍士官校»
- ~~8302~~ **Hartmann**, Chinesisch-Turkestan. 1908.
- 8303 **Stern**, Vom Kaukasus zum Hindukusch.
«[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8304 **Ujfalvy**, Aus dem westlichen Himalaja. a-b.
«[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8305 **von Bayern**, Prinzessin Therese, Des Prinzen Arnulf von Bayern Jagdexpedition in den Tien-schan-1910.
«[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 40 -
- 8306 **Geiger**, Die Pamir-Gebiete.
«[∨]陸軍士官校»
- 8307 **Futterer**, Durch Asien. Bd. 1. Geographische Charakter-Bilder.
«[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- ~~8308~~ **Wegener**, Tibet und die englische Expedition. 1904.
- 8309 **Filchner**, Das Rätsel des Matschu (Hoangho). Meine Tibetexpedition. Berlin 1907.
«[∨]陸軍士官校»
- ~~8311-12~~ **Sven Hedin**, Durch Asiens Wüsten. Bd. 1-2.
«陸軍士官校»
- ~~8313-14~~ do Im Herzen von Asien. 2 Bde 1903.
«陸軍士官校»
- ~~8315-16~~ do Transhimalaja. Entdeckungen und Abenteuer in Tibet. 2 Bde. Leipzig 1909.
«陸軍士官校»
- ~~85[53²]~~¹⁷ **von Dungern-Oberau**, Tian-Schan-Jagd- und Reisebriefe. 1911.
- 8401 **Prinz Waldemar v. Preussen**, Reise nach Indien.
«[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8402 **Deussen**, Erinnerungen an Indien. Kiel 1904.
«[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8403 **J[~~J~~Y]uss[s]uf Ali**, Life and labour of the people of India. London 1907.
«[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8404-5 **Dahlmann**, Indische Fahrten. 2 Bde. 1908.
«[∨]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»•«埼玉熊谷圖»
- 8406 **Hengstenberg**, Hindustan. Indische Reiseeindrücke. 1908.
«[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»

⁴ “RUSSLAND IN ASIEN Band XI / Der Ferne Osten ...”(«防衛大圖»現藏本扉; «K-B *T.* | 822i»).

- 8407 **Schmidt**, Fakire und Fakirtum im alten und neuen Indien. 1908.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8408 **Bongard**, Reise des deutschen Kronprinzen durch Indien. 1911.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 8410 **Schmidt**, Emil, Ceylon. 1897.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8411 **Boeck**, Kurt, Indische Gletscherfahrten. Reisen und Erlebnisse im Himalaja.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 8412 **Eberhardt**, Von indischen Tagen und Nächten. 1905.
 «[∇]陸軍士官校»
- 8413-14 **Gehring**, Indien, das alte Wunderland und seine Bauten. 2. Bde. 1907.
 «[∇]陸軍士官校»
- 8415 **Boeck**, Durch Indien ins verschlossene Land Nepal. 1903.
 «陸軍士官校*»
- 8416 **Noti**, Land und Volk des Königlichen Astronomen Dschaisingh II., Maharadscha von Dschaipur.
 1911.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- ~~8417~~ **Nettil**, Ins Sonnenland. Indische Reiseerinnerungen. 1911.
- 8501-02 **Wallace**, Alfred Russel, Der Malayische Archipel.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- ~~8503~~ **Ernst Haeckel**, Aus Insulinde. Malaysche Reisebriefe.
- 8504 **Häckel**, Indische Reisebriefe (Ceylon). 4. Aufl. 1903.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8505 **Ortwein**, Von den Tagebaren zu den Malebaren. 1905.
 «[∇]陸軍士官校»
- 8506 **Borrmann**, Im Lande der Schwarzflaggen (Tonking).
 «[∇]陸軍士官校»
- 8507 **Zitelmann**, Indien. Ein Buch für Reisende und Nichtreisende. 1905.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 8508 **Bode**, Reiseerinnerungen und Erlebnisse in Siam. 1904.
 «[∇]參謀本部»
- 8509 **Giesenhagen**, Auf Java und Sumatra. Leipzig 1902.
 «[∇]參謀本部»
- 8510 **Garbe**, Indische Reiseskizzen. 1889.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 8511 **von Bockelmann**, Wirtschaftsgeographie von Niederländisch-Indien.
 «[∇]參謀本部»
- 8512 **Hesse-Wartegg**, Indien und seine Fürstehöfe. 1906.
 «[∇]陸軍士官校»
- ~~8513~~ do Siam, das Reich des weissen Elefanten. 1899.
 «陸軍士官校»
- 8514 **Preyer**, Indo-Malayische Streifzüge. 1903.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8515 **Indien in Moll (Java)** von einem Bewunderer. 1908.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- ~~8516~~ **Selenka**, Sonnige Welten. Reiseskizzen aus Borneo, Java, Sumatra, Japan. 2. Aufl. 1905.
- ~~8517~~ **Wolff**, Im malayischen Urwald und Zinngebirge. 1909.
- 8518 **Morin**, Unter der Tropensonne. Streifzüge auf Java, Sumatra und Ceylon.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 8519 **Pedersen**, Durch den indischen Archipel.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»

- 8520 **Tornow**, Die wirtschaftliche Entwicklung der Philippinen. 1901.
 «^v參謀本部»
- 89[96]01 **von der Goltz**, Anatolische Ausflüge. 1896.
 «防衛大圖»
- 8602 **Naumann**, (Friedrich). Asia. 4. Aufl. 1901.
 «^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 8603 do **Edmund**, Vom goldenen Horn bis zu den Quellen des Euphrat. 1893.
 «^v陸軍士官校»
- 8604-5 **von Oppenheim**, Vom Mittelmeer zum p[PP]ersischen Golf. 2 Bde. 1899.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»•«埼玉熊谷圖»
- 8606 **Lindau, Paul**, An der Westküste Kleinasiens. Eine Sommerfahrt durchs Aegäische Meer.
 «^v陸軍士官校»
- 41 -
- 8607-8 **Brassey**, Sunshine and storm in east or cruises to Cyprus and Constantinople. 2 Bde.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 8609 **Zugmeyer**, Eine Reise durch Vorderasien. 1904.
 «^v陸軍士官校»
- 8610 **Hoffmeister**, Kairo-Bagdad-Konstantinopel, Wanderungen und Stimmungen. 1910.
 «^v陸軍士官校»
- 8611 **Rohrbach**, Paul, Im v[*V]orderen Asien. 1901.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 8612 – In Turan und Armenien auf Pfaden russischer Weltpolitik. 1898.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8613 – Die wirtschaftliche Bedeutung Westasiens 1902.
 «^v陸軍士官校»
- 8614 – Vom Kaukasus zum Mittelmeer. Eine Hochzeits- und Studienreise durch Armenien. 1903.
 «^v陸軍士官校»
- 8615 **Banse**, Der arische Orient. A. N. u. G.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8616 **Müller-Simonis**, Vom Kaukasus zum Persischen Meerbusen durch Armenien, Kurdistan und Mesopotamien.
 «^v陸軍士官校»
- 8701 **Ruete, Said**, Meine Reisen in Syrien und Palästina.
 «^v陸軍士官校»
- 8702 **v. Mirbach**, Die Reise des Kaisers und der Kaiserin nach Palästina. 1898.
 «^v陸軍士官校»
- 8703 **Bädeker**, Palästina und Syrien. Reisehandbuch. 6. Auflage 1904.
 «^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- ~~8704~~ **Guthe**, Palästina, (Monographien zur Erdkunde.) 1908.
- 8705 **v. Soden**, Palästina und seine Geschichte. A. N. u. G. Bd. 6.
 «^v陸軍士官校»
- 8752 **Nolde**, Baron E., Reise nach Inner-Arabien, Kurdistan und Armenien. a-b.
 «^v陸軍士官校»
- 8756 **von Maltzan**, Reise nach Süd-Arabien u. geograph. Forschungen. a-b
 «^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 8757 **von Wrede's** Reise in Hadhramant. (Südarabien). Herausgeg. von Maltzan. a-b. c
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8758-60 **Burton**, Personal Narrative of a Pilgrimage to Mecca and Medina. (Tauchnitz).
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»

- 8761 **Banse**, Der arabische Orient. A. N. u. G.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8762-63 **Hartmann**, Der islamische Orient. Berichte und Forschungen. 2 Bde. 1905.
 «[∇]陸軍士官校»
- 8797-98 **Sven Hedin**, Zu Land nach Judien durch Persien, Seistan und Belutschistan. 2 Bde. 1910.
 «[∇]陸軍士官校»
- 8799 **Holdich**, The Gates of J[HI]ndia, being an historical narrative. (Afghanisten and Beluchistan.) 1910.
 «[∇]陸軍士官校»
- 8800 **Grothe**, Wanderungen in Persien. Erlebtes und Erschautes. 1910.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 8801 **Bleibtreu**, Persien, Das Land der Sonne und des Löwen.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8802 **Brugsch**, Im Lande der Sonne. Wanderungen durch Persien.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 8803 **Rohrbach**, Um Bagdad und Babylon. Vom Schauplaz deutscher Arbeit u. Zukunft. 1909.
 «[∇]陸軍士官校»
- 8804 **Rohrbach**, Die Bagdadbahn. 1902. a. b.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 8805 **Schneider**, Die deutsche Bagdadbahn und die projektierte Brücke über den Bosphorus. 1900. a-b.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 8806 **Mygind**, Syrien und die türkische Mekkapilgerbahn.
 «[∇]陸軍士官校»

D. Afrika.

- 9001 **Sievers**, Afrika. (Allgemeine Länderkunde) 2. Aufl. 1901.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 9002 **Seidel**, Geschichten und Lieder der Afrikaner.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 9008-09 **Cameron**, Lovett Verney, Across Afrik[~~ka~~]a (Tauchnitz).
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 9010 **Wissmann (H. von)**, In den Wildnissen Afrikas und Asiens. Jagderlebnisse. 2. Auflage 1908.
 «[∇]陸軍士官校»
- 9011 **v. Freeden, W.**, Reise- und Jagdbilder aus Afrika.
 «[∇]陸軍士官校»
- 9012-15 **Ruhle**, Friedrich, Deutsche Afrikareisende der Gegenwart.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 9016 **Berger**, In Afrikas Wildkammern als Forscher und Jäger. 2. Aufl. 1908.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»

- 42 -

- 9017 **Hirschberg**, Neunzehn Monate Kommandant S. M. Kreuzer „Schwalbe“ a-b.
 «[∇]陸軍士官校»
- 9100-01 **Edwards**, Amella; A thousand miles up the n[~~n~~]ile. Bd. 1-2. (Tauchnitz).
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 9102 **Kayser**, Friedrich, Aegypten einst und jetzt.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 9103 **Sabersky**, Ein Winter in Aegypten.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 9104-05 **v. Fircks**, Aegypten 1894. Staatsrechtliche Verhältnisse, wirtschaftlicher Zustand, Verwaltung.
 Bd. 1-2.

- «[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
 9106 **Schanz**, Aegypten und der ägyptische Sudan. 1904.
 «[∨]陸軍士官校»
 9107 **Voss**, Der Suezkanal. 1907.
 «[∨]陸軍士官校»
 9108 **Götz**, Eine Orientreise (Aegypten, Syrien, Palästina).
 «[∨]陸軍士官校»
 9109 **Bädeker**, Aegypten und der Sudan. Reisehandbuch. 6. Auflage 1906.
 «[∨]陸軍士官校»
 9110 **Oppel**, Das alte Wunderland der Pyramiden, 5. Auflage 1906.
 «[∨]陸軍士官校»
 9112 **Cromer (Earl of)**, Das heutige Aegypten. Aus dem Englischen übersetzt. 2 Bde. 1906.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 9113 **Miethe**, Unter der Sonne Oberägyptens. Mit farbigen Photographien. 1909.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 9154-55 **Baker**, Samuel W., Die Nilzuflüsse in Abe[ey]ssinien. Bd. 1-2 a-b.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»•«埼玉熊谷圖»
 9156 **Vollbrecht**, Im Reiche des Negus Negesti Menelik. Eine Gesandtschaftsreise nach Abessinien.
 Berlin 1906.
 «[∨]陸軍士官校»
 9157 **Kulmer**, Fr. Freiherr von, Im Reiche Kaiser Meneliks. Tagebuch einer abessynischen Reise. 1910.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 9201 **v. Schabelsky**, Elsa, Harem und Moschee. Reiseskizzen aus Marokko.
 «[∨]陸軍士官校»
 9202 **Kampffmeyer**, Marokko, 1903.
 «[∨]陸軍士官校»
 9203 **Genthe**, Marokko, Reiseschilderungen. Herausgegeben v. Wegener. 1909[96].
 «[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
 9204 **Karow**, Neun Jahre in marokkanischen Diensten. 1909.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 9205 **Banse**, Die Atlasländer. A. N. u. G.
 «[∨]陸軍士官校»
 9206 **Artbauer**, Kreuz und quer durch Marokko. Kultur- und Sittenbilder. 1911.
 «[∨]陸軍士官校»
 9251 **Frobenius**, Auf dem Wege nach Atlantis. Bericht über den Verlauf der 2. Reiseperiode der Deutschen J[HI]nnerafrikanischen Forschungsexpedition. 1908-10.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 9252 – Der schwarze Dekameron. Liebe, Witz und Heldentum in J[HI]nnerafrika. 1910.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 9301-02 **v. Heuglin**, M. Th., Reise in Nordost-Afrika. a-b.
 «[∨]陸軍士官校»
 9351 **Nachtigals** Reisen in der Sahara und im Sudan. a-b.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 9354 **Baumann**, Oscar, Durch Massailand zur Nilquelle.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 9355 **Pauli[t]schke**, Philipp, Die Suda[ã]nländer nach dem jetzigen Stande der Kenntnis. 1885.
 «[∨]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 9356 **v. Götzen**, Durch Afrika von Ost nach West.
 «[∨]陸軍士官校» «防衛大圖»
 9357 **Adolf Friedrich, Herzog von Mecklenburg**, Ins innerste Afrika 1908.

- 9358 **Roosevelt**, Afrikanische Wanderungen eines Naturforschers und Jägers. 1910. a-b.
«^v陸軍士官校»
- 9361 **Staley**, Henry M, Wie ich Livingstone fand (Brockhaus) a-b.
«^v陸軍士官校»
- 9362 – Wie ich Livingstone fand. (Reclam.)
«^v陸軍士官校»
- 9364-65 – Im dunkelsten Afrika. Bd. 1-2 a-b.
«^v陸軍士官校»
- 9366-67 – Durch den dunklen Weltteil Bd. 1-2. a-b.
«^v陸軍士官校»
- 92[23]68-69 – Der Kongo und die Gründung des Kongostaates. a-k.
«^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 9370 **Schlagintweit**, Die Reformen im Kongostaat.
«^v陸軍士官校»
- 9373 **Peters** (Dr. Carl), Die Gründung von Deutsch-Ostafrika. 1906.
«^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- ~~9374~~ **Tiedemann**, Aus Busch und Steppe. Afrikan. Expeditionsgeschichten 1889/90.
- 43 –
- 9375 **Kandt**, Caput Nili. Eine empfindsame Reise zu den Quellen des Nil. 1905.
- 9376 **Stuhlmann**, Franz., Mit Emin Pascha ins Herz von Afrika. a-b.
«^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 9377 **Thomson**, Joseph, Expedition nach den Seen von Central-Afrika in den Jahren 1878-1880.
«^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 9378 **Hildebrandt**, Eine deutsche Militärstation im Innern Afrikas (Muanza), 1905.
«^v陸軍士官校»
- 9379 **Tiedemann**, Tana-Baringo-Nil, Mit Karl Peters zu Emin Pascha. Berlin 1907.
«^v陸軍士官校»
- 9380 **Perbandt, Richelmann u. Schmidt**, Herrmann von Wissmann, sein Leben und Wirken. Berlin 1906.
«^v陸軍士官校»
- 9381 **v. Wissmann, Hermann, Wolf. Ludwig, v. Francois, Curt, Müller, Hans**, Im Innern Afrikas.
«^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 9382 **Peters**, (Dr. Carl) Im Goldland des Altertums. Forschungen zwischen Sambesi und Sabi. München 1902.
«^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 9383 **Schillings**, Mit Blitzlicht und Büchse (Jagden in Deutsch-Ostafrika).
«^v陸軍士官校»
- ~~9384~~ – Der Zauber des Elelescho. 1906.
- 9385 **Külz**, Bilder und Briefe eines Arztes aus dem tropischen Ostafrika. Berlin 1906.
«^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 9386 **Paasche**, Deutsch-Ostafrika. Wirtschaftliche Studien. 1906.
«^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 9387 **Leue**, Die Besiedlungsfähigkeit Deutsch-Ostafrika. 1904.
«^v陸軍士官校»
- 9388 **Stentzler**, Deutsch-Ostafrika. Kriegs- und Friedensbilder. 1906.
«^v陸軍士官校»
- 9389 **Baumann**, Usambara und seine Nachbargebiete. Berlin 1891.
«^v陸軍士官校» «防衛大圖»

- 9390 **Paasche**, Im Morgenlicht. Kriegs-, Jagd- und Reiseerlebnisse in Ostafrika. 2. Auflage. Berlin 1907.
«^v陸軍士官校» «*埼玉熊谷圖*»
- 9391 **Weule**, Wissenschaftliche Ergebnisse einer ethnographischen Forschungsreise im Süden Deutsch-Ostafrikas. 1908.
«^v陸軍士官校» «*埼玉熊谷圖*»
- ~~9392~~ **Meyer**, Zum Schneedom des Kilimandscharo, 40 Photographien. 1888.
- 9393 **Prince**, Eine deutsche Frau in J[~~J~~]nnern Ostafrikas.
«^v陸軍士官校»
- 9394 **Schwarze**, Deutsch-Ostafrika. 1907.
«^v陸軍士官校» «*埼玉浦和圖*»
- 9451 **Jorissen**, E. J. P., Erinnerungen an Transvaal. 1876-1896. a-b.
«^v陸軍士官校» «*防衛大圖*»
- 9452 **Kreuz und quer durch Transvaal**, Erlebnisse eines deutschen Bergbeamten.
«^v陸軍士官校»
- 9453 **Mörschell**, An der Grenze der C[~~E~~Z]ivilisation. Südafrikanische Skizzen. 1910.
«^v陸軍士官校» «*埼玉浦和圖*»
- 9454 **Graetz**, Im Auto quer durch Afrika. 1910.
«^v陸軍士官校» «*埼玉熊谷圖*»
- ~~9455~~ **Passarge**, Südafrika. Eine Landes-, Volks- und Wirtschaftskunde. 1908.
- 9601 **Morgen**, C., Durch Kamerun von Süd nach Nord. a-b.
«^v陸軍士官校» «*埼玉熊谷圖*»
- 9602 **Schkopp**, Kameruner Bananen. Skizzen und Geschichten. Berlin 1903.
«^v陸軍士官校» «*埼玉熊谷圖*»
- 9603 **Passarge**, Siegfried, Adamaua. Bericht über die Expedition des deutschen Kamerun-Komitees. 1893-94. a-b.
«^v陸軍士官校» «*埼玉熊谷圖*»
- 9604 **Zintgraff**, Eugen, Nord-Kamerun.
«^v陸軍士官校» «*埼玉熊谷圖*»
- 9605 **Dominik**, Kamerun. Sechs Kriegs- und Friedensjahre in deutschen Tropen.
«^v陸軍士官校»
- 9606 **Seidel**, Deutsch-Kamerun, wie es ist und was es verspricht. 1906.
«^v陸軍士官校» «*埼玉熊谷圖*»
- 9607 **Klose**, Heinrich, Togo unter deutscher Flagge.
«^v陸軍士官校» «*防衛大圖*»
- 9608 **Hutter**, Wanderungen u. Forschungen im Hinterland von Kamerun.
«^v陸軍士官校» «*埼玉熊谷圖*»
- 9609 **René**, Kamerun und die deutsche Tschadsee-Eisenbahn. 1905.
«^v陸軍士官校» «*防衛大圖*»
- 9610 **Togo und Kamerun**, Eindrücke eines deutschen Abgeordneten. 1905.
«^v陸軍士官校» «*防衛大圖*»
- ~~9611~~ **Dominik**, Vom Atlantik zum Tschadsee. Kriegs- u. Friedensfahrten in Kamerun. Berlin 1908.
- 9612 **Dove**, Die deutschen Kolonien Bd. 1: Togo und Kamerun. S. Göschen 1909.
«^v陸軍士官校» «*防衛大圖*»
- ~~9620~~ Eine Reise durch die deutschen Kolonien. Herausgegeben von „**Kolonie und Heimat**“. Bd. III. Togo. Deutsche Kolonien Afrikas siehe auch unter IX. B.
- 9651 **Volkens**, Georg, Der Kilimandscharo.
«^v陸軍士官校» «*防衛大圖*»
- ~~9652~~ **Meyer**, Hans, Der Kilimandscharo. Reisen und Studien.
- 9701 **Keller**, Die Ostafrikanischen Inseln.
«^v陸軍士官校» «*埼玉浦和圖*»

- 9702 **Schöller, Max**, Meine Aequatorial-Ostafrika- und Uganda-Expedition von 1896-97.
 «[∇]陸軍士官校»
- 9801 **v. Büllow**, Deutsch-Südwestafrika. Drei Jahre im Lande Hedrick Witbois.
 «[∇]陸軍士官校»
- 9802-04 **Zöller, Hugo**, Die deutschen Besitzungen an der westafrikanischen Küste.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 9805 **Schwabe, B.**, Mit Schwert und Pflug in Deutsch-Südwestafrika.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 9806 **Musste es sein?** Deutsch-Südwestafrika in Briefen 1903.
 «[∇]陸軍士官校»
- 9807 **Rehbock**, Deutsch-Südwest-Afrika.
 «[∇]陸軍士官校»
- Rohrbach, Deutsch-Südwestafrika s. IX 23350.
- 9811 **Südwest-Afrikanische Reisebriefe** des Lohgerbermeisters Kulike aus Berlin.
- 9812 **Leutwein**, Deutsch-Süd-West-Afrika.
 «[∇]陸軍士官校»
- 9813 **von Falkenhausen**, Ansiedlerschicksale 1893-1904. Berlin 1905. a.b.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 9814 **Kuhn**, Das Eingebornenproblem in Deutsch-Südwest-Afrika.
 «[∇]陸軍士官校»
- 9815 **von Sonnenberg**, Wie es am Waterberg zuing.
 «[∇]陸軍士官校»
- 9816 **Eckenbrecher** (Margarete von) Was mir Afrika gab und nahm.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 9817 **Karow** (Marie), Wo sonst der Fuss des Kriegers trat. Farmerleben in Südwest nach dem Kriege
 1909.
 «[∇]陸軍士官校»
- 9818 **Schwabe**, Im deutschen Diamantenlande. Südwestafrika 1884-1910.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 9819 **Bayer**, Die Nation der Bastards.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»

E. Amerika.

- 10001 **Sievers-Deckert**, Amerika. Eine allgemeine Landeskunde. 2 Auflage 1904.
 «[∇]參謀本部»
- 10201 **Laicus, Philipp**, Amerikanisches Wanderbuch.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 10202 **Baedeker**, Nordamerika. 2. Auflage 1904.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10203 **Deckert, E.**, Die n[~~n~~]eue Welt. Reiseskizzen aus Nord- und Central-Amerika. a-b.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 10204 **Unruh**, Amerika noch nicht am Ziele. Transgermanische Reisestudien.
 «[∇]參謀本部»
- 10205 **Berges**, Amerikana. Humoristische Skizzen aus dem amerikanischen Leben.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10206 **Berges**, Bunte Bilder aus dem New Yorker Leben.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10207-9 **Wilda**, Amerikawanderungen eines Deutschen. 3 Bde. 1906. (I. In der Mitte des Kontinents. II. Zwischen Alaska und Peru. III. Im Süden des Kontinents der Mitte.).
 «[∇]參謀本部»

- 10210 **Lamprecht**, Amerikana. Reiseeindrücke u. Betrachtungen. 1906.
 «[∇]參謀本部»
- 10301 **von Hesse-Wartegg**, Kanada und Neu-Fundland.
 «[∇]參謀本部»
- 10302 **Baedeker**, The Dominion of Canada with Newfoundland and Alaska. 1907.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10305 **Whymper**, Frederick, Alaska. Reisen u. Erlebnisse im hohen Norden.
 «[∇]參謀本部»
- 10306 **Körner**, Friedr., Grönländisch-normannische Geschichten nach isländischen Sagen und neuere Grönlandsfahrten.
 «[∇]陸軍士官校»
- ~~10401-02~~ **Picturesque America** or the land we live in. 2 Bde.
- 10404 **Schueller**, M., In den Südstaaten Nordamerikas.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10405 **Niagara**, the falls of.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10406 **Häcker**, Ludwig, Amerikanische Reise-Skizzen aus dem Gebiete der Technik, Landwirtschaft und des socialen Lebens.
 «[∇]陸軍士官校»
- 45 -
- 10407 **Schmidt**, Emil, Vorgeschichte Nord-Amerikas im Gebiet der Vereinigten Staaten.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10408-09 **Lyell**, Zweite Reise nach den Vereinigten Staaten von Nordamerika; deutsch v. Dieffenbach. Bd. 1-2. a-b.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»•«防衛大圖»
- 10410 **Kirchhoff**, Allerhand Heiters aus Kalifornien.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10411 **Goldberger**, Das Land der unbegrenzten Möglichkeiten (Vereinigte Staaten) Berlin 1903.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 10412 **von Polenz**, Das Land der Zukunft 1903.
 «[∇]陸軍士官校»
- ~~10413~~ **Pajcken**, Aus dem wilden Westen Nordamerikas.
- 10414 **Roosevert** (Theodor), Jagden in amerikanischer Wildnis.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10415 do Als Cowboy unter Cowboys. 1909. a. b.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10416 **Doflein**, Von den Antillen zum fernen Westen. Reiseskizzen eines Naturforschers 1900.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10417 **Dove**, Die Vereinigen Staaten von Nordamerika. Eine wirtschafts geographische Untersuchung. 1907.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10601 **Oswald**, Felix, Streifzüge in den Urwäldern von Mexico und Central-Amerika. a. b.
 «[∇]陸軍士官校»
- 10602 **Lemcke**, Mexico, das Land u. seine Leute; mitbes. Berücksichtigung der gegenwärtigen wirtschaftlichen Verhältnisse. 1900.
 «[∇]參謀本部»
- 10603 **Scherzer**, Wanderungen durch die mittel-amerikanischen Freistaaten Nicaragua, Honduras und

- 12101 **Ferguson, Dugald, Vicissitudes of Bush Life in Australia and New-Zealand.**
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 12102 **v. Lendenfeld, Neuseeland (B. d. Länderkunde. 9).**
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 12103-04 **Bolderwood, Robbery under arms. Bd 1-2 (Tauchnitz).**
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 12105 **Manes, Ins Land der socialen Wunder. Eine Studienfahrt durch Japan und die Südsee nach Australien und Neuseeland. 1911.**
 «^v陸軍士官校»
- 12201 **Krieger, Maximilian, Neu-Guinea.**
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 12210 **Wegener, Deutschland im Stillen Ozean 1903.**
 «^v參謀本部»
- 12211 **Parkinson, R., Im Bismarck-Archipel. a-b.**
 «^v陸軍士官校»
- ~~12213~~ **do**, Dreissig Jahre in der Südsee (Bismarck-Archipel). 1907.
- 12219 **Genthe, Samoa, Reiseschilderungen, herausgegeben v. Wegener. 1908.**
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 12220 **Wœrl, Samoa, Land und Leute.**
 «^v參謀本部»
- 12221 **v. Hesse-Wartegg, Samoa, Bismarckarchipel und Neuguinea.**
 «^v參謀本部»
- 12222 **Ehlers, Otto, Samoa, die Perle der Südsee.**
 «^v陸軍士官校»
- 12223 **Hagen, B., Unter den Papuas. Beobachtungen und Studien über Land u. Leute, Tier- u. Pflanzenwelt in Kaiser-Wilhelmsland.**
 «^v陸軍士官校»
- 12224 **Graf Pfeil, Studien und Beobachtungen aus der Südsee. a-b.**
 «^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 12228 **Schnee, Bilder aus der Südsee (Bismarck-Archipel) 1904.**
 «^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- ~~12229-30~~ **Krämer, (Augustin), Die Samoainseln. Entwurf einer Monographie. 2 Bde. Stuttgart 1902.**
- 12231 **do** Hawaii, Ostmikronesien und Samoa. 1906.
 «^v參謀本部»
- 12232 **Wilda, Reise auf S. M. S. „Möwe“ in der Südsee und Ostasien 1903.**
 «^v陸軍士官校»
- 12233 **Werner, Ein deutsches Kriegsschiff in der Südsee („Ariadne“ 1878-79).**
 «^v參謀本部»
- 12401 **Achelis, Ths., Ueber Mythologie und Kultus von Hawai.**
 «^v陸軍士官校»
- 12403 **Pflüger, Smaragd-Inseln der Südsee, Reiseeindrücke u. Plaudereien.**
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 12404 **Indra, Südseefahrten 1903.**
 «^v陸軍士官校»

VIII.: Geschichte.*)

A. Allgemeine Weltgeschichte. – Kultur- und Sittengeschichte.

*) Geschichtliche Literatur in Erzählung und in populärer Darstellung ist auch bei XII. C. zu finden. Lebensbilder, Denkwürdigkeiten, Erinnerungen, auch bei XII. A.

- 13101-04 **Annegarns**, Weltgeschichte. Bd. 1-8.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13106 **Helmolt**, Weltgeschichte. Bd. 2.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13108 **Wirth**, Aus Uebersee und Europa. Aufsätze zur Zeitgeschvichte. 1902.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 13109 **Heigel**, Geschichtliche Bilder und Skizzen.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 13110-28 **Schlossers**, Weltgeschichte für das deutsche Volk. 19 Bde.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13129 **Wirth**, Weltgeschichte der Gegenwart (1870-1903) Berlin 1904.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13130 **Grube**, Geschichtsbilder.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13131-34 **Jäger**, (Oscar), Weltgeschichte in 4 Bänden. (I. Altertum, II. Mittelalter, III. Neuere Zeit, IV. Neueste Zeit seit 1789).
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 13135 **York von Wartenburg**, Weltgeschichte in Umrissen.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13136 **Wirth**, Volkstum und Weltmacht in der Geschichte.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 13137 **Egelhaaf**, Geschichte der neuesten Zeit von 1871 bis 1908. Stuttgart 1908.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13138 **Ziegler**, Die geistigen und socialen Strömung des 19. Jahrhunderts 3. Aufl. 1910.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 13139 **Herre**, Der Kampf um die Herrschaft im Mittelmeer 1909.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13140 **Meisner**, Alfred, Historien. Bilder und Geschichten.
 «[∇]陸軍士官校»

- 47 -

Bibliothek wertvoller Memorien. Lebensdokumente, hervorragender Menschen aller Zeiten und Völker, herausgegeben von E. Schultze.

- 13151 Bd. I. Reisen des Venetianers Marco Polo.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13152 do II. Deutsches Bürgertum und deutscher Adel im XVI. Jahrhundert (Rifer Hans von Schweinichen u. Bürgermeister Sastrow.)
 «[∇]陸軍士官校»
- 13153 Bd. III. Aus der russischen Dekabristenzeit (Revolution von 1815.)
 «[∇]陸軍士官校»
- 13154 do IV. Die Eroberung von Mexiko. Cortez Berichte an Karl V.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13155 do V. Philipp, Graf von Segur, Kriegserlebnisse unter Napoleon I.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13156 do VI. Inglis u. Mitchell, Erinnerungen aus dem indischen Aufstand 1857.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13157 do VII. Erinnerungen aus dem apanischen Freiheitskriege 1807-11.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13158 Bd. VIII. Briefe und Tagebuchblätter des Generals Gorden von Chartum
 «[∇]陸軍士官校»

- 13159 do IX. Garibaldi's Memoiren.
«^v陸軍士官校»
- 13160 do X. Feldzugserinnerungen aus dem österreichischen Kriege von 1809. a-b.
«^v陸軍士官校»
- 13161 do XI. Der Tiroler Aufstand von 1809 nach den Erinnerungen des Priesters Daney.
«^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 13201 v. **Hellwald**, Culturgeschichte in ihrer natürlichen Entwicklung bis zur Gegenwart.
«^v陸軍士官校»
- Monographien** zur deutschen Kulturgeschichte.
- 13202 Bd. 1. **Liebe**, Der Soldat in der deutschen Vergangenheit.
«^v陸軍士官校»
- 13203 Bd. 2. **Steinhausen**, Georg, Der Kaufmann in der deutschen Vergangenheit.
«^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
- 13205 Schauspieleranedoten.
«^v陸軍士官校»
- 13206 **Boesch**, Hans, Kinderleben in der deutschen Vergangenheit.
«^v陸軍士官校»
- 13207 **Hermann**, Die deutsche Karrikatur im XIX. Jahrhundert. 1901.
«^v陸軍士官校»
- 13208 **Nordau**, Die conventionellen Lügen der Kulturmenschheit.
«^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 13209 **Stork**, Der Tanz (Monographien zur Kulturgeschichte).
«^v陸軍士官校»
- 13210 **Zobelitz**, Der Wein do
«^v陸軍士官校»
- 13211 **Buss**, Das Kostüm in Vergangenheit und Gegenwart 1906.
«^v陸軍士官校»
- 13230 **Richter**, Die deutschen Landsknechte.
«^v陸軍士官校»
- 13236 **Kowalewski**, Wahnsinnige als Herrscher und Führer der Völker. Psychiatrische Studeien aus der
Geschichte. I Teil.
«^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 13238-39 **Bülau**, Geheime Geschichten und rätselhafte Menschen. 2 Bde. 1904.
«^v陸軍士官校»
- 13240 **Müller**, Curt, Hexenaberglaube und Hexenprozesse in Deutschland.
«^v陸軍士官校»
- 13245 **Freytag**, Bilder aus der deutschen Vergangenheit. Bd. I a-b.
«^v陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 13246 - do II 1. a-b.
«^v陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 13247 - do II 2 a-b.
«^v陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 13248 - do III a-b.
«^v陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 13249 - do IV a-b.
«^v陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 13250 **Schurtz**, Urgeschichte der Kultur.
«^v陸軍士官校» «防衛大圖»
- 13251 **Riehl**, W. H., Kulturstudien aus drei Jahrhunderten.
«^v陸軍士官校»

- 13252 **Weise**, Schrift- u. Buchwesen in alter u. neuer Zeit.
 «[∇]陸軍士官校»
- ~~13255-58~~ **Scherr**, Menschliche Tragikomödie. 12 Teile in 4 Bdn. Gesammelte Studien, Skizzen und Bilder aus der Geschichte.
- 13259 **Busch**, Wunderliche Heilige. Religiöse und politische Geheimbünde u. Sekten. 1879.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 13260 **Negelein**, Germanische Mythologie. A. n. u. G.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13261 **Otto**, Das deutsche Handwerk. A. n. u. G.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13262 do **Deutsches Frauenleben im Wandel der Zeiten.** A. n. u. G.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13263 **Boehmer-Rohmundt**, Die Jesuiten. A. n. u. G.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13264 **Lindenberg**, Berliner Polizei und Verbrechen. A. n. u. G.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13265 **Weise**, Die deutschen Volksstämme und ihre Landschaften. A. n. u. G.
 «[∇]陸軍士官校»

- 48 -

- 13266 **Luschan von Ebengreuth**, Die Münze als historisches Denkmal.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13267 **Paulsen**, Das deutsche Bildungswesen in seiner geschichtlichen Entwicklung. A. N. u. G.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13268 **Schnabels** Universitätsjahre oder der deutsche Student. Ein Beitrag zur Sittengeschichte des XII. Jahrhunderts von A. v. S., herausgegeben von Bierbaum.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13269 **Bruchmüller**, Der Leipziger Student 1409-1909. A. N. u. G.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13270 **Richter**, Geistesströmungen. Kulturgeschichtliche Bilder aus Oesterreich.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 13271-72 **Kolb**, Kulturgeschichte der Menschheit. 2 Bde. 1872.
 «[∇]陸軍士官校»

B. Geschichte des Altertums.

- 13501 **Steindorff**, Die Blütezeit des Pharaonenreiches. 1900.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 13502 **Meyer**, (Eduard) Aegypten zur Zeit der Pyramidenbauer. Vortrag. 1908.
 «[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 13503-08 **Meyer**, (Eduard) Geschichte des Altertums. I. Band I. Hälfte: Einleitung. I. 2: Die ältesten geschichtlichen Völker und Kulturen. II. Geschichte des Abendlandes bis auf die Perserkriege. – III. und IV: das Perserreich und die Griechen. – V. Der Ausgang der griechischen Geschichte. – 2. Aufl: 1893-1909.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13521 **Hoyns**, Die alte Welt in ihrem Bildungsgange als Grundlage der Kultur der Gegenwart 1876.
 «[∇]陸軍士官校»
- 13522 **Brugsch.[-]Pascha**, Aus dem Morgenlande. Altes und Neues aus Aegypten. a-b.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 7[713]601 **Bezold**, Ninive und Babylon (Monographien zur Weltgeschichte).

- «^v陸軍士官校»
 13602 **Delitzsch**, Im Lande des einstigen Paradieses. 1903.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
 13603 do Babel und Bibel. Drei Vorträge. 1905. a-c.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
 13604 do Handel und Wandel in Altbabylonien.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
 13605 **Winckler**, Die babylonische Geisteskultur.
 «^v陸軍士官校»
 13704-07 **Plutarchs**, Lebensbeschreibungen. Bd. 1-12.
 «^v陸軍士官校»
 13715 **Stoll**, Geschichte der Griechen bis zur Unterwerfung n[au]nter Rom. a-b.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
 12[23]716 **Ziebarth**, Kulturbilder aus griechischen Städten. A. N. u. G.
 «^v陸軍士官校»
 13717-18 **Bässler**, Hellenischer Heldensaal Bd. 1-2.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
 13719 **Duhn**, Pompeji, eine hellenische Stadt in Italien. A. N. u. G.
 «^v陸軍士官校»
 13720 **Schwab**, Die schönsten Sagen des klassischen Altertums.
 «^v陸軍士官校»
 13721 **Stoll**, Sagen des klassischen Altertums.
 «^v陸軍士官校»
 13722 **Borckenhagen**.,[r.] Salamis. Eine seekriegsgeschichtliche Studie. 1910. a-b.
 «^v陸軍士官校»
 13801-04 **Livius**, Römische Geschichte.
 «^v陸軍士官校»
 13806 **Caesar**, Julius, Der Gallische Krieg.
 «^v陸軍士官校»
 13807 – Der Bürgerkrieg.
 «^v陸軍士官校»
 13811 **Tacitus**, Die Annalen.
 «^v陸軍士官校»
 13814 **Birt**, Zur Kulturgeschichte Roms. Gesammelte Skizzen 1909.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
 13815 **Stahr**, Römische Kaiserfrauen.
 «^v陸軍士官校»
 13816 **Jung**, Leben und Sitten der Römer in der Kaiserzeit.
 «^v陸軍士官校»
 13817-20 **Mommsen**, Römische Geschichte. Bd. I.-III und V. 10. Auflage 1907.
 «^v陸軍士官校»

– 49 –

C. Geschichte der germanischen Völker.

Deutsche Geschichte.

- 14001 **Prô[ô]hle**, Unser Vaterland in Bildern deutscher Grösse, deutscher Sitte u. deutscher Natur.
 «^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 14002 – Germania, neue Bilder deutscher Grösse, Sitte und Natur.
 «^v陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»

- 14005 **Duller**, Die Geschichte des deutschen Volkes (1845).
- 14010-11 **Löschin**, Geschichte Danzigs von der ältesten bis zur neuesten Zeit.
- 14012-14 **Heyck**, Deutsche Geschichte. (Volk, Staat, Kultur und geistiges Leben) 3 Bde. 1905.
- 14015-16 **Jäger**, (Oskar) Deutsche Geschichte. 2 Bde. 1909.
- 14020 **Müller**, David, Leitfaden zur Geschichte des deutschen Volkes.
- 14021 – Geschichte des deutschen Volkes in kurzgefasster übersichtlicher Darstellung. a-b.
«[∨]參謀本部»
- 14023 **Neubauer**, Lehrbuch der deutschen Geschichte. 1904.
- 14024-25 **Zimmermann**, Illustr. Geschichte des deutschen Volkes Bd. 1-2.
«[∨]陸軍士官校»
- 14051 **Lamprecht**, Deutsche Geschichte Bd. I.
«[∨]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 14052 – do II.
«[∨]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- ~~14053~~ – do III.
- ~~14054~~ – do IV.
- 14055 – do V. 1. Teil
«[∨]陸軍士官校»
- 14056 – do V. 2. do
«[∨]陸軍士官校»
- 14057 – do VI.
«[∨]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 14058 – do VII. 1. do
«[∨]陸軍士官校»
- 14059 – do VII. 2. do
«[∨]陸軍士官校»
- 14060 – do VIII. 1. do
«[∨]陸軍士官校»
- 14061 – do VIII. 2. do
«[∨]陸軍士官校»
- 14062 – do IX.
«[∨]陸軍士官校»
- 14063 – do X.
«[∨]陸軍士官校»
- 14064 – do XI. 1. do
«[∨]陸軍士官校»
- 14065 – do XI. 2. do
«[∨]陸軍士官校»
- 14066 – do XII.
«[∨]陸軍士官校»
- 14067-69 – **Zur jüngsten deutschen Vergangenheit.** 3 Bde.
- 14201 **Amerlan**, Frieda, Aus Urväter Tagen.
- 14202 **Colshorn**, Deutsche Mythologie fürs deutsche Volks. a-b.
«[∨]陸軍士官校»
- 14205 **Klee**, Die deutschen Heldensagen.
«[∨]陸軍士官校»
- 14206 **Böckel**, Die deutsche Volkssage. A. N. u. G.
«[∨]陸軍士官校»

- 14207 — ~~Die~~ **Klee**, d[~~e~~D]ie alten Deutschen während der Urzeit und Völkerwanderung.
«^v陸軍士官校»
- 14209 **Kurs**, Rheinlands Sagen und Legenden.
- 14210 **Pröhle**, Rheinlands schönste Sagen und Geschichten.
«^v陸軍士官校»
- 14401 **Langenbeck**, Geschichte des deutschen Handels. A. N. u. G.
- 14402 **Rehm**, Deutsche Volksfeste und Volkssitten. A. N. u. G.
«^v陸軍士官校»
- 14403 **Vedel**, Heldenleben als mittelalterliches Kulturideal. A. N. u. G.
- ~~14407~~ **Bähnisch**, Die deutschen Personennamen. A. N. u. G.
- 14408 **Erbe**, Historische Städtebilder aus Holland und Niederdeutschland A. N. u. G.
- 14409 **Gerdes**, Geschichte des deutschen Bauernstandes. A. N. u. G.
- 14410 **Fischer**, Deutsche Altertumskunde. 1908.
- 14411 **Götzinger**, Reallexikon der deutschen Altertümer.
- 14501-08 **von Giesebrecht**, Geschichte der deutschen Kaiserzeit.
- ~~14509~~ **Heyck**, Die Kreuzzüge und das heilige Land.
- 14510-13 **Günther**, Aus der Geschichte des Harzlandes. 4 Bde. 1890.
- 50 –
- 14517^A-19^B **v. Klöden**, Die Quitzows und ihre Zeit. ~~a-b~~ 18^B
- 14520 **Siegmey**, Gereimte Deutsche Kaiser-Chronik. a-b.
- 14521 **Schäfer**, Die deutsche Hansa. 1903.
- ~~14701~~ **Förster**, Neuere Preussische und Deutsche Geschichte für die Unteroffizierschulen.
- 14711 Geschichte **Brandenburg-Preussens**. Für den Unterricht auf den Unteroffizierschulen. a-b.
- 14712 **v. Loebell**, Kurzer Abriss der Geschichte des preussischen Staates. *ab*
- 14715 **Berner**, Geschichte des Preussischen Staates.
- 14716 **Pierson**, Leitfaden der preussischen Geschichte.
- 14717 **Hohnstein**, Geschichte des Herzogtums Braunschweig.
- 14730 **Henne am Rhy**, Die nationale Einigung der Deutschen und die Entwicklung des Reiches.
- 14731 **Hubrich**, Deutsches Fürstentum und deutsches Verfassungswesen.
- 14732 **Hirsch**, Geschichte des deutschen Volkes. Für die deutsche Familie erzählt. 1875.
- 14733 **Landwehr**, Charaktere aus der neuen deutschen Geschichte.
- 14734 **Wiermann**, Heinrich, Politische Intriganten. (Aus Preussen s neuerer und neuester Geschichte).
- ~~14736-37~~ **Weber**, Von Luther zu Bismarck. Zwölf Charakterbilder aus deutscher Geschichte. 2 Bde. A. N. u. G.
Deutschlands Kriege von Fehrbellin bis Königgrätz.
- 14741 **Tanera**, Deutschlands Misshandlung durch Ludwig XIV.
- 14742-43 – Die Kriege Friedrichs des Grossen. 2 Bde.
- 14744-45 – Die Revolutions- und Napoleonischen Kriege. 2 Bde.
- 14746-47 – Die Befreiungskriege. 2 Bde.
- 14748-49 – Die deutschen Einigungskriege. 2 Bde.
- ~~14751~~ **v. Ranke**, Leopold, Die römischen Päpste in den letzten vier Jahrhunderten.
- 14901-02 **Bresler**, Die Geschichte der deutschen Reformation. Bd. 1-2.
- 14903 **v. Schiller**, Friedrich, Geschichte des Abfalls der vereinigten Niederlande von der spanischen Regierung.
- 14908 **Freytag**, Gustav, Doktor Luther.

Luther etc. siehe auch XII. A. u. II.

- ~~14909~~ **Ullsteins** Weltgeschichte, Bd. III. Das religiöse Zeitalter 1500-1650.
14910 **v. Ledderhose**, Wilhelm von Oranien und der Abfall d. Niederlande.
14911 **Löher**, F. von, Der Kampf um Paderborn 1597-1601.
14920-26 **Janssen**, Johannes, Geschichte des deutschen Volks seit dem Ausgang des Mittelalters. Bd. 2-6.
Bd. 8. a-b.
15101 **Fischer-Treuenfels**, Die Rückeroberung Freiburgs durch die Kulrbaierische Reichsarmee in Sommer 1614.
15102 **Frommel**, Emil, Frauenspiegel. Aus dem 17.-18. Jahrhundert.
~~15110~~ **Heyck**, Der grosse Kurfürst (Monogr. z. Weltgesch.)
15112 **v. Schiller**, Friedrich, Geschichte des dreissigjährigen Krieges a-b.
15114 **v. Unger**, Feldmarschall Derfflinger.
15116 **Freytag**, Gustav, Aus dem Jahrhundert des grossen Krieges.
15117 **Seraphim**, Luise Charlotte, Markgräfin von Brandenburg.
15118 **Spannagel**, Konrad von Burgsdorff.
15301 **Archenholz**, Geschichte des Siebenjährigen Krieges in Deutschland (Hendel) a-b.
~~15302~~ – Geschichte des Siebenjährigen Krieges in Deutschland (Reclam).
15308 **Varnhagen von Ense**, Fürst Leopold von Anhalt-Dessau.
15311 **Heinke**, F., Prinz Louis Ferdinand von Preussen.
15319 **Meissner**, Rococobilder.

– 51 –

- 15321 **Kugler**, Franz, Geschichte Friedrichs des Grossen. Mit 400 Illustrationen von A. Menzel.
«^v參謀本部»
~~15322~~ **Mamlock**, Friedrich der Grosse.
15323 **Berner**, Briefwechsel König Friedrichs I.
15324 **Höckendorf**, Sanssouci.
15325 **Kranel**, Prinz Heinrich von Preussen als Politiker.
15326 do Briefwechsel zwischen Prinz Heinrich von Preussen und Katharina II von Russland.
15327 **Volz**, Erinnerungen der Prinzessin Wilhelmine von Oranien.
15328¹⁻²⁸ **Friedrich der Grosse**, Politische Correspondenz. 28 Bde. ungebd.
15329 **Preuss**, Staatsschriften aus der Regierungszeit Friedrichs des Grossen. Bd. I. II. III.
15330 **Bleibtreu**, Preussen gegen Europa: Friedrich der Grosse 1757.
15401-02 **Chamberlain**, Houston Stewart, Die Grundlagen des neunzehnten Jahrhunderts. Bd. 1-2.
15445 **Spielmann**, Aufgang aus Niedergang (1805-1815). 1906.
15446 **Grube**, General Gneisenau.
15447 **Bleibtreu**, Die Völkerschlacht bei Leipzig. 4. Aufl. 1907.
15448-50 **Scherr**, Blücher, Seine Zeit und sein Leben. 3 Bde.
15501 **Batsch**, Deutsch See-Gras. Ein Stück Reichsgeschichte.
15502 – Nautische Rückblicke.
15503 – Admiral Prinz Adalbert von Preussen.
15504 **Weber**, 1848 (A. N. u. G.)
15505 **Arenhold**, Vor 50 Jahren: Die deutsche Reichsflotte 1848-52.
15506 **Heigel**, Politische Hauptströmungen in Europa im XIX. Jahrhundert.
15507 **Schwemer**, Restauration und Revolution (1815-1852). A. N. u. G.
15508 do Die Reaktion und die neue Aera (1852-1864). A. N. u. G.

- 15509 do Vom Bund zum Reich (1866-1871). A. N. u. G.
- 15512 **Das Deutsche Reich** 1871-95 a-b.
- ~~15520~~ **Mauernbrecher**, Gründung des Deutschen Reiches 1859-1871.
- 15521 v. **Stockmar**, Denkwürdigkeiten aus den Papieren des Freihr. Christian Friedr. v. Stockmar.
- 15522 **Freytag**, Gustav, Karl Mathy. Geschichte seines Lebens.
- 15523 **Preussen und Deutschland** seit 1806. Für Kriegsschüler.
- ~~15524~~ **Kaufmann**, Politische Geschichte Deutschlands im XIX. Jahrhundert.
- 15525-28 Am Ende des Jahrhunderts a-b.
 Bd. 1 **Gebhardt**, Deutsche Geschichte im 19. Jahrhrd[redr]t.
 do 2 **Cauer**, Minna, Die Frau im 19. Jahrhrd[redr]t.
 do 3 **Bernfeld**, Juden und Judentum im 19. Jahrhrd[redr]t.
 do 4 **Steinhausen**, Häusliches und gesellschaftliches Leben.
- ~~15530~~ **Ranke** (L. von), Die Erhebung Preussens im Jahre 1813.
- 15531-35 v. **Ranke**, Leopold, Denkwürdigkeiten des Staatskanzlers Fürsten von Hardenberg.
- 15536 **von Bolguslawski**, Aus der preussischen Hof- und diplomatischen Gesellschaft 1822-58.
 «^v參謀本部»
- ~~15537~~ **von der Goltz**, Von Rossbach bis Jena. Ein Beitrag zur Geschichte des deutschen Heeres.
- 15538 **Meinecke**, Das Zeitalter der deutschen Erhebung 1795-1813.
- 15539 – Weltbürgertum und Nationalstaat. Studien zur Genesis des deutschen Nationalgefühls. 1908.
- 15540 v. **Borke**, Kriegerleben 1806-1815. a-b.
- 15541 **Heigel**, Andreas Hofer.
- 15542 v. **Waldenfels**, Erlebnisse eines Gefangenen von Jena.
- 15543 **Förster**, Scharnhorsts Leben u. Wirken.
 «^v陸軍士官校»
- 52 –
- 15544 do Sechs Jahre Preussische Geschichte 1807-1812.
- 15545 **von der Goltz**, Kriegsgeschichte Deutschlands im XIX. Jahrhundert. I. Teil. Im Zeitalter Napoleons. 1910.
 «^v參謀本部»
- 15548 **Neubauer**, Preussens Fall und Erhebung. 1806-1815. Berlin 1908.
- 15550-51 **Schulze**, Die Franzosenzeit in deutschen Landen 1806-1815 in Wort und Bild der Mitlebenden. 1908. 2 Bde.
- 15553 **Exener**, Die Anteilnahme der Kgl. Sächs. Armee am Feldzug gegen Oesterreich u. die kriegerischen Ereignisse in Sachsen 1809.
- 15554 v. **Widdern**, Die Streifcorps im Deutschen Befreiungskriege 1803.
- 15555 **Lüders**, Kriegsfahrten von Jena bis Bell Alliance. Erinnerungen eines Soldaten der engl.-deutschen Legion. Mit 125 Abbildungen v. H. Lüders.
- 15556 v. **Müller**, Friedrich, Erinnerungen aus den Kriegszeiten von 1806-1813, a-b.
- ~~15557-61~~ **von Treitschke**, Deutsche Geschichte im XIX. Jahrhundert (1800-48) 5 Bde.
- 15562-63 **von Treitschke**, Ausgewählte Schriften. 2 Bde.
 «^v陸軍士官校»
- 15564 **Friedjung**, Der Krimkrieg und die österreichische Politik. 1907.
- 15565-66 **Charmatz**, Oesterreichs innere Geschichte von 1848-97. 2 Bde. A. N. u. G. 1909.
- 15567 **Samassa**, Der Völkerstreit im Habsburgerstaat.
- Vaterländisches Ehrenbuch:**
- 15570 – Bd. 1: **Grosse und Otto**, Grosse Tage aus der Zeit der Befreiungskriege.

- 15571 – Bd. 2: **Otto**, Fünfzig Jahre aus Preussens und Deutschlands Geschichte.
- 15572 – Bd. 3: **O. Höcker**, Der Nationalkrieg gegen Frankreich.
- 15573 – Hundert Jahre in Wort und Bild.
- 15601-02 Der **Feldzug von 1866**, in deutschland. Redigiert vorder kriegsgeschichtlichen Abteilung des Grossen Generalstabes. Bd. 1-2.
- 15604 **Scheibert**, Die Kriege von 1864 und 1866.
- 15605 **Hoening**, Die Entscheidungskämpfe des Mainfeldzuges an der Fränkischen Saale.
- 15606-7 **Friedjung**, Der Kampf um die Vorherrschaft in Deutschland. 1859- 66. 6. Auflage 1904.
- 15608 **Beihefte zum Militärwochenblatt**, Vom althannoverschen Heere. – Napoleon bei Bautzen. – Beaune la Rolande 1870. – Friedrich II. bei Mollwitz und Leuthen. – Die Gaudy-Handschriften.
- 15609 **Regensburg**, Von Dresden nach Münchengrätz 1866.
- 15631 **Arke**, Im Felde. Kriegserinnerungen 1870/71.
- 15632 **Dinkelberg**, Hugo. Kriegs-Erlebnisse eines Kaiser-Alexander-Garde Grenadiers im Feld und im Lazareth 1870/71.
- 15633 **v. Dinklage-Campe**, Frhr. Kriegs-Erinnerungen: Wie wir unser Eisern Kreuz erwarben.
- 15634-35 **Forbes**, Archibald, My Experiences of the War between France and Germany.
- 156367-43 Der **deutsch-französische Krieg**, von 1870-71. Redigiert von der kriegsgeschichtlichen Abteilung des Grossen Generalstabes. Bd. 1-5. und 3 Bde. Karten.
- 15644 **Guembel**, Theodor, Erinnerungeu[en] eines freiwilligen Krankenpflegers vom Kriegsschauplatz 1870.
- 15645 **Kachler**, Die Reiterei in der Schlacht bei Vionville und Mars la Tour am 16. August 1870.
- 53 –
- 15646 **Kriegserinnerungen**, eines sanitäts-Offiziers der Landwehr. 1870/71. von W. v. St.
- 15647 **Kürschner**, Joseph, Der grosse Krieg 1870/71 in Zeitberichten a-b.
- 15648 **Leese**, A., Von Sedan nach Paris.
- 15649 **Busch**, Die Kämpfe um Reichsverfassung und Kaisertum 1870-71. Tübingen 1906.
- ~~15650~~ **v. Meyerink**, Hubert, Allerlei heitere und erste Erlebnisse der Offiziere, Unteroffiziere und Husaren des Garde-Husaren-Regiments während des Feldzuges 1870/71.
- 15651 **Quade**, Mecklenburgs Anteil am Kriege 1870-71.
- 15652 **Rangabé**, Emil Rhisos, Erinnerungen aus dem deutsch-französischen Kriege 1870-71 von einem Griechen in preussischen Diensten.
- 15653 **Rogge**, Bernhard, Bei der Garde. 1870/71.
- 15654 **Ribbentrop**, Mit den Schwarzen nach Frankreich hinein. Erinnerungen eines braunschweigischen Offiziers von 1870-71.
- 15655 **Wiegand**, Die Thüringer im Kriege von 1870/71.
- 15660 **Scherr**, Johannes, Das rote Quartal (März-Mai 1871.)
- 15661 **Steinberg**, 8[8S], Aus der grossen Zeit. Geschichte des 2. Hanseatischen Inftr. Regiments Nr. 76. a-b.
- 15662 **Stieler**, Karl, Durch Krieg zum Frieden. Stimmungsbilder aus den Jahren 1870/71. a-b.
- 15663 **Vormeng**, K., Erlebnisse eines Arztes aus der französischen Kriegs- und Occupationszeit. a-b.
- 15664 **v. Winterfeld**, C., Geschichte der drei glorreichen Kriege von 1864, 1866 1870/71.
- 15665 **Berger**, Max, Deutsche Unteroffiziere in Frankreich.
- 15666 **Borck**, Deutschlands grosse Jahre in Lied und Bild.
- 15667 Illustr. Geschichte des Krieges 1870/71.
- 15668 **Geyer**, Karl, Erlebnisse eines württembergischen Feldsoldaten 1870/71.

- 15669 **Hähnel, C. L.**, Bei den Fahnen des XII. Armeekorps. 1870/71.
 15671 Illustr. Geschichte des Krieges vom Jahre 1870/71.
 15672 Illustr. Kriegs-Chronik 1870. 3 Exemplare.
 15673 **Kayser, Ad.**, Erlebnisse eines rheinischen Dragoners im Feldzuge 1870/71.
 15674 **Klein, Karl**, Fröschweiler-Chronik.
 15675 **Klein, Katharina**, Ergänzungsblätter zu Klein's Fröschweiler-Chronik.
 15676 **Koch-Breuberg, Friedr.**, Drei Jahre in Frankreich 1870/73.
 15677 **Koch, Georg**, Bei den Fahnen des III. Armeekorps von Metz bis le Mans.
 15678 Krieg und Sieg 1870/71. Kulturgeschichte.
 15679 Krieg und Sieg 1870/71. Ein Gedenkbuch herausgegeben von Pflugk-Harttung.
 15680 **von Kretschmann**, Kriegsbriefe aus den Jahren 1870-1871, herausgegeben von Lily Braun 1904.
 15682 Kriegserinnerungsfeiern der Kriegsvereinsverbände Berlin 1895. (19. August.)
 15683 **Lang**, Aus den Erinnerungen eines Schlachtenbummlers. 1870/71 a-b.
 15684 **Leibig**, Erlebnisse eines freiwilligen Jägers im Feldzuge 1870/71.
 15685 **Pfleiderer**, Erlebnisse eines Feldgeistlichen im Kriege 1870/71.
 15686 **Scheibert**, Der Krieg zwischen Frankreich und Deutschland in d. J. 1870/71. a-b.
 15687 **Stier, Ernst**, Unter Prinz Friedrich Carl. Erlebnisse eines Musketiers vom II. Armeekorps im Feldzuge 1870/71. Bd. 1-2.
- 54 –
- ~~15688-89~~ **Tanera, Carl**, Ernste u. heitere Erinnerungen eines Ordonnanzoffiziers im Feldzuge 1870/71 Bd. 1-2.
 15691 **Varnhagen, Herm.**, Werder gegen Bourbaki.
 15692 **Grosser Generalstab**, Heft 17, enth. Truppenfahrzeuge, Kolonnen und Trains bei den Bewegungen I. und II. Deutschen Armee bis zu den Schlachten westlich von Metz. a-c.
 15693 – Heft 28. Das Generalkommando des III. Armeekorps bei Spichern und Vionville.
 15694 – Tl. II, Heft 17 a-b, Die Ereignisse bei der I. Armee von Beginn s. J. 1871 bis zum Waffenstillstande.
 15702-03 – Der Volkskrieg an der Loire im Herbst 1870. Nach amtlichen Quellen u. handschriftlichen Aufzeichnungen von Mitkämpfern dargestellt Bd. I. u. II.
 15704 – Bd. III. Die entscheidenden Tage von Orleans im Herbst 1870 Teil I.
 15705 **Kunz**, Zu Hoening's Volkskrieg an der Loire.
 15706 – Konnte Marschall Bazaine im Jahre 1870 Frankreich retten?
 15708-09 **Woide**, Die Ursachen der Siege und Niederlagen im Kriege 1870, Aus dem Russischen übersetzt von Klingender. Bd. I. u. II.
 15710 **Hoening**, 24 Std. Moltkescher Strategie (Gravelotte u. St. Privat.)
 15711 **v. Scherff**, Kriegslehren in kriegsgeschichtlichen Beispielen der Neuzeit. Heft 3. Betrachtungen über die Schlachten von Gravelotte und St. Privat.
 15712 **Hoffmann, Theodor**, Von Weissenburg bis Sedan. Kriegs-Erinnerungen eines freiwilligen Sanitäters.
 15713 **Dittrich**, Tages-Chronik des deutsch-französischen Krieges 1870-71 sowie der Kämpfe mit der Pariser Kommune. (Reclam).
Der Krieg von 1870/71, dargestellt von Mitkämpfern.
 15715 Bd. 1 **Tanera**, Weissenburg, Wörth, Spichern.
 15716 Bd. 2 – Um u. Metz 1870 a-b.
 15717 Bd. 3 – Die Schlachten v. Beaumont u. Sedan a-b.
 15718 Bd. 4 **v. Pressentin**, Strassburg unser! – Bis ans Meer a-b.

- 15719 Bd. 5 **Tanera**, An der Loire u. Sarthe a-b.
 15720 Bd. 6 **Steinbeck**, Belfort, Dijon, Ponterlier a-b.
 15721 Bd. 7 **Tanera**, Die Belagerung v. Paris a-b.
 15725 **Huysen**, Bilder aus dem Kriegsleben eines Militärgeistlichen.
 15727 **Bürck**, Das Füselierbataillon des 12. Grenadierregiments am 16. August 1870.
 15728 **Fabricius**, Auxerre-Chatillon. Kriegsereignisse bei der Süarmee im Januar 1871.
 15729 **Mackensen u. Astfeld**, Braunschweiger Husaren in Feindesland, Erinnerungen.
Bleibtreu, Illustrierte Schlachtenschilderungen.
~~15730~~ do Wörth
~~15731~~ do Spichern
~~15732~~ do Colombey
~~15733~~ do St. Privat
~~15734~~ do Beaumont
~~15735~~ do Orléans
~~15736~~ do Paris
~~15737~~ do Königgrätz
 15801 Geschichte des Infanterie-Regiments Kaiser Friedrich, König von Preussen No. 125.
 15802 Geschichte des Westfälischen Jäger-Bataillons No. 7.

- 55 -

- 15803 Geschichte des Königl. Preuss. Thüringischen Feldartillerie-Regiments No. 19.
 15804 Geschichte des Hessischen Pionier-Bataillons. No. 11.
 15805 **Heye, A.**, Das See-Bataillon 1852-1886. a-b.
 15849 **Bismarckreden**, Auswahl in einem Bande von Horst Kohl.
 15850 **Fürst Bismarck**, Gesammelte Reden. a-b.
 15852-54 **Bismarck**, Reden des Fürsten aus den Jahren 1847-94. Bd. 1-2. a-b.
 15855-62 **Fürst Bismarck Reden**, Mit verbindender geschichtlicher Darstellung. 8 Bde. (Reclam).
 «^v陸軍士官校» «^v埼玉大圖»
 15868 **Blum, Hans**, Bismarcks Mahnworte an das deutsche Volk.
 15869 **Schröder, Wilhelm**, De plattdütische Bismarck. a-b.
 15870 **Evers**, Bismarck und Moltke.
 «^v陸軍士官校»
 15871 **Lenz**, Geschichte Bismarcks. 2 Auflage 1902. a-b.
 «^v陸軍士官校» «^v防衛大圖»
 15872 **Müller, W.** Fürst Bismarck 1815-90.
 «^v陸軍士官校»
 Andere Literatur über Bismarck, Moltke u. a., siehe auch XII A.
 15875 **Liman**, Zu Bismarcks Gedächtnis. Ein Gedenkblatt auf sein Grab. 1908.
 15876 **Gildemeister**, Aus den Tagen Bismarcks. Politische Essays 1909.
 15877 **Tiedemann**, Sechs Jahre Chef der Reichskanzlei unter dem Fürsten Bismarck. Erinnerungen.
 15902 **Krämer, Hans**, Deutsche Helden aus der Zeit Kaiser Wilhelms des Grossen ~~a-b~~.
 15903 **Kugler, Bernhard**, Kaiser Wilhelm der Grosse und seine Zeit.
 15904 **Kürschner**, Heil Kaiser Dir! ~~a-b~~ abc.
 15905 **Müller, Wilhelm**, Kaiser Wilhelm 1797-1877. a-b.
~~15906~~ **Pfister**, Kaiser Wilhelm und seine Zeit.
 15907 **Huysen**, Preussens und Deutschlands Kriegsherr Kaiser Wilhelm I. und sein Kriegsheer.

- 15912-18 v. **Sybel**, Heinrich, Die Begründung des Deutschen Reiches durch Wilhelm I. 7 Bde.
15919 **Berner**, Regierungsanfänge des Prinzregenten von Preussen.
15920 Aus dem Tagebuch Kaiser Wilhelm I.
«^v陸軍士官校»
- 15921 **Wiermann**, Anekdoten aus dem Leben Kaiser Wilhelm I.
15922 v. **Winterfeld**, C. Lebensbild Sr. Hochseligen Majestät des Kaisers Wilhelm. a-b. (Döring).
15923 **Wolter**, A., Kaiser Wilhelm der Grosse als Herrscher, Mensch und Christ. a-b.
15924 **De Grahl**, Kaiser Wilhelm der Grosse. a-b.
15925 **Müller**, W., Kaiser Wilhelm. Sein Leben und seine Zeit 1797-1888.
15927 **Onken**, W., Unser Heldenkaiser. a-b.
15928 Zur jubelfeier des 100. Geburtstages Wilhelms I. 153 Expl.
15931 Achtzig Dienstjahre Seiner Majestät des Kaisers und Königs Wilhelm. a-b.
15981 **Hohenzollernjahrbuch**, herausgegeben von Seidel 1897
15982 do do 1898
15983 do do 1899
15984 do do 1900
15985 do do 1901
15986 do do 1902
15987 do do 1903
15988 do do 1904
15989 do do 1905
15990 do do 1906
- 56 -
- 15991 **Hohenzollernjahrbuch**, herausgegeben von Seidel 1907
15982 do do 1908
15983 do do 1909
15984 do do 1910
16001 **Kluckhohn**, August, Louise Königin von Preussen. a-b.
«^v參謀本部»
- 16002 **Stein**, Armin, Königin Louise.
16003 Blätter der Erinnerung an unseren Kaiser Friedrich. a-b.
16004 **Lindenberg**, Paul, Kaiser Friedrich als Student.
16006 **Richter**, Kaiser Friedrich III.
16015 v. **Roon**, Albrecht Graf, General-Feldmarschall.
16016 **Gossler**, Graf Albrecht von Roon.
16018-20 **Garlepp**, Bruno, Die Paladine Kaiser Wilhelm I. 3 Bde. a-b.
16021 **Dittrich**, General-Feldmarschall Prinz Georg.
16022 **Zander**, Fürst Karl Anton von Hohenzollern.
16023 **Schmidt**, Ferdinand, Dorothea Sibylla, Herzogin von Liegnitz und Brieg. a-b.
16024 v. **Natzmer**, Aus dem Leben des Generals Oldwig v. Natzmer. a-b.
16025-26 **Brandt**, Aus dem Leben des Generals der Infanterie z. D. Heinrich von Brandt. Bd. 1-2. 3. a-b.
16027 **Kiepert**, Rückblick auf das Leben eines Parlamentariers (Bennigsen).
16103 v. **Hendrichs**, W., Prinz Wilhelm von Preussen. a-b.
~~16104~~ Was der Kaiser sagt! (Worte Wilhelms)

- 16105 **Morré**, Zwanzig Jahre S. M. (Deutsche Carrikaturen 1888-1908).
 16106 **Maraun**, An einem Kaiserwort soll man nicht drehen noch deuten.
 16107 **Die Reden Kaiser Wilhelm II.** in d. J. 1888-95.
 «^v陸軍士官校» «防衛大圖»
 16108 **Kaiser Wilhelm II.** a-f.
 16109 **Hengst**, Unser Kaiser Wilhelm 25 Jahre Soldat. a-b.
~~16110~~ **Grand-Carteret**, „Er“ (Wilhelm II) im Spiege der Carricatur. Wien 1906.
 16111 **Liman**, Der Kaiser (Wilhelm II). Ein Charakterbild 1904.
 16112 do Hohenzollern. 1905.
~~16113~~ **von Reventlow**, Kaiser Wilhelm II. und die Byzantiner.
 16114 **Grotthuss**, (J. E. von) Aus deutscher Dämmerung. Schattenbilder einer Uebergangskultur. Gesammelte Aufsätze. 1909.
 16201 **Hof und Gesellschaft**, in deutschen Residenzen.
 16202 Am Hofe der Kaiserin Augusta Victoria a-b.
 16203 Unsere Kaiserin Auguste Victoria.
 16204 **Hengst**, Die Ritter des schwarzen Adlerordens.

Englische Geschichte.

- 16601^A-602^{AB} **Green**, John Richard, Geschichte des englischen Volkes. a-b.
 «京都大附圖»
 16603 **Macaulay**, History of England, Bd. 3. (England im Jahre 1685).
 «京都大附圖»
~~16604-5~~ **Boulger**, The life of Gordon. London 1896.
 16606 **Fremantle** (Admiral), Fünfzig Jahre zur See 1849-1899. Aus dem Englischen. 1906.
 «京都大附圖»
~~16607~~ **Plehn**, Nach dem englisch-japanischen Bündnis. 1907.
 16608 **Langenbeck**, Englands Weltmacht in ihrer Entwicklung 1907. A. N. u. G.
 «京都大附圖»
~~16609~~ **Wood**, Vom Seekadetten zum Feldmarschall 1852-1903. Aus dem Englischen übersetzt von Plüddemann. 1910.
 16611 **v. Boguslawski**, A., Der Zug der Engländer gegen Kopenhagen im Frühjahr 1801.
 - 57 -
 16612 **Sir Joseph Crowe**, Lebenserinnerungen eines Journalisten, Staatsmanns und Kunstforschers. a-b.
 «京都大附圖»
 16613 **How** Britains goe[s] to war in South Afrika. 1903.
 «京都大附圖»
 16614 **Marcks**, Deutschland und England in den grossen Krisen seit der Reformation. Vortrag.
 «京都大附圖»
 16615 do Die imperialistische J[H]dee der Gegenwart. Vortrag 1903.
 «京都大附圖»
 16616 do Die Einheitlichkeit der englischen Auslandspolitik von 1500 bis zur Gegenwart. 2. Aufl. Vortrag.
 «京都大附圖»
Lord Roberts, Einundvierzig Jahre in Indien, s. 19802-03.
 Geschichte des Burenkriegs. s. VIII. G.
 England in Indien u. China. s. VIII. F.

D. Geschichte der romanischen Völker.

- 17201 **Laurentie, M.**, Histoire de France. a-b.
- 17202 **Sternfeld**, Französische Geschichte. (S. Göschen) 2. Auflage 1908.
- 17301 **Arnaud**, Die Rückkehr der Waldenser.
- 17401 **Mignet**, Francois, Geschichte der französischen Revolution.
- 17402-04 **Arnd**, Geschichte der französischen Revolution von 1789-1799, 3 Bde.
- 17405 **Tschudi**, Clara, Maria Antoinettes Jugend.
- 17406 – Maria Antoinette und die Revolution.
- 17407 **D’Hauterive**, L’armée sous la revolution 1789-94.
- 17408-17 **von Sybel**, Geschichte der Revolutionszeit 1789-1800. Bd. 1-10 (1-8 b.)
- 17419-20 **Carlyle**, The French Revolution. Bd. 2-3.
- 17501 **Bourgoing**, Souvenirs militaires du Baron de Bourgoing 1791-1850.
- 17502 **Ségur**, Comte de Histoire de Napoleon et la Grande Armée.
- 17503 **Lindenau**, Der Beresina-Uebergang des Kaisers Napoleon.
- 17504-05 **Wartenburg**, York v., Napoleon als Feldherr. 2 Bde.
- 17506 **Gouillon, E.**, Les Complots Militaires sons le consulate et l’empire.
- 17507 **Pflugk-Harttung**, Napoleon I., Revolution und Kaiserreich.
- 17508 – Napoleon I. Das Erwachen der Völker.
- 17509 **Roloff**, Napoleon I. Eine Biographie.
- 17510 **Linguets**, Denkwürdigkeiten über die Bastille.
- 17511-13 **Fournier**, Napoleon I. Eine Biographie. 2. Auflage. 1904. 3 Bde.
- ~~17514~~ **Masson**, Napoleon I. und die Frauen. 1905.
- 17515-16 **Kielland**, Rings um Napoleon. 2 Bde. 1805.
- ~~17517~~ **Bitterauf**, Napoleon I. A. N. u. G.
- 17518 **Bleibtreu**, Marschälle, Generale und Soldaten Napoleon I. 2. Aufl.
- 17701 **Herbert**, Louis Napoleon III. Roman und Geschichte.
- ~~17702~~ **Sheppard**, Nathem, Shut up in Paris. (Tauchnitz).
- 17703 **Tschudi**, Clara, Eugenie, Kaiserin der Franzosen. a-b.
- ~~17704~~ **Sarcey**, Die Belagerung von Paris.
- ~~17705~~ **Seiler**, Auf alten Kriegspfaden vor Paris. 1901.
- 17706 **Bleibtreu**, Der Verrat von Metz.
- 17707 do Die Commune von Paris 1871.
- 17708 do Dies irae. Erinnerungen eines französischen Offiziers an Sedan. a-b.
- ~~17709~~ **Dreyfus**, Fünf Jahre meines Lebens. 1901.
- 17710 **Tableau**, de l’année fragile (1870-71) Anthologie s’après les récits des historiens, orateurs, hommes le guerre etc. 1901.
- 17711 **Bourgeois**, L’éducation de la democratie française. Discours prononcés de 1890-96.
- 58 –
- 17712 **Hérisson**, Comte d’, Journal d’un officier d’ordonnance-Juillet 1870 - Fevrier 1871.
- 18153-54 **Settembrini**, Luigi, Erinnerungen aus meinem Leben. Aus dem Italienischen. Bd. 1-2. a-b.
- 18155 **Abba**, Vom Quarto zum Volturmo, (Garibaldi’s Feldzug 1860.)
- 18156 **Krüger**, Das Papsttum, seine Idee und seine Träger. 1907.
- 18301 **Diercks**, Spanische Geschichte. (S. Göschen).

- 18302 **Doenitz**, Covadonga, die Wiege der spanischen Monarchie.
 18451 **Memoid dos Festejos em Schanghai**, (Centenarfeier der Entdeckung des Seeweges nach Indien).
 1899.

E. Geschichte der slavischen Völker und der Türkei.

- 18600 **Reeb**, Russische Geschichte. (S. Göschen). 1903.
 18601 **Geffcken**, Zur Geschichte des Orientalischen Krieges 1853-56. a-b.
 18602 **Drygalski**, Subdetul-Chakaik. Sammlung ausgewählter Dokumente aus den türkischen Staats-Archiven. Zur Geschichte des russ.-türkisch. Krieges 1877-78.
 18603 **Aperu critique**, des passages du Danube pendant les guerres turco-russes depuis 1828 par un officier supérieur Turc.
 18604 **Étude critique**, des opérations en Turquie d'Asie pendant la guerre. Turco-Russe 1877-78 par un officier supérieur Turc.
 18605 **v. Hartmann**, Kritische Versuche. 3. Bd. Der russ.-türkische Krieg, von seinem Beginn bis zur Einnahme von Kars.
 18606 **Hinze**, Gurko u. Suleiman Pascha. Die russ.-türk. Operationen in Bulgarien u. Rumelien 1877-78. Kritische Studie über moderne Kriegführung.
 18607 **Lurion**, Faust, Guerre Turco-Russe 1877-78. Suleiman-Pascha et son procès.
 18608 **Pantenius**, Geschichte Russlands bis zur Gegenwart 1908.
 18610-16 **Springer**, Der Russisch-Türkische Krieg 1877-78. Bd. 1-7.
 18617 **Russlands nächster Krieg**, Eine strategische Studie.
 18618 **v. Trotha**, Thilo, Die Operationen im Etropol-Balkan. Zur Ge[s]chichte des russ.-türk. Krieges 1877-78.
 18619 **Streckér Pascha**, Bemerkungen über den Russ.-Türk. Krieg 1877-78.
~~18620-21~~ **Fürst Krapo[apeopa²]tkin**, Memoiren eines Revolutionärs. 2 Bde. Stuttgart 1903.
 18622 **Tanera**, Zur Kriegszeit auf der sibirischen Bahn und durch Russland. 1905.
~~18623~~ **Lieven**, Hurra-Bansai! Erlebnisse eines Arztes im russisch-japanischen Kriege.
~~18624-26~~ **R[RG]raf E. Reventlow**, Der russische-japanische Krieg. 3 Bde. II. III. a. b. 1906.
 18627 **von Oettingen**, Unter dem roten Kreuz im russisch-japanischen Kriege. 1903.
 18628 **Clarke**, Russias sea power past and present.
~~18629~~ **Baumgarten**, Wie Port Arthur fiel.
 18630 **Sydacoff**, Will Russland die orientalische Frage lösen? 1900.
 18631 **Drygalski**, Die russischen Offiziere des Beurlaubtenstandes. 1900.
~~18632-33~~ **von Tettau**, Achtzehn Monate mit Russlands Heeren in der Mandschurei. 2 Bde.
~~18634-35~~ **Port Arthur**, Kriegsgeschichtliche Einzelschriften des Grosse Generalstabes 1906. Mit 1 Band Karten. a-b.
 18636 **Cleinow**, Aus Russlands Not und Hoffen 1903.

- 59 -

- 18637 **Klado**, Die Kämpfe zur See im russisch-japanischen Kriege. Berlin, 1907.
~~18638~~ **Martin**, Die Zukunft Russlands 1906.
 18639 **Polly**, Zu Russlands Revolution und Neugeburt 1908.
~~18640~~ **Weressajew**, Meine Erlebnisse im russisch-japanischen Kriege. 2. Auflage 1908.
 18641 **Fürst Urussow**, Memoiren eines russischen Gouverneurs 1903-04.
~~18642~~ **Ssemenow**, Rassplata. Kriegstagebuch über die Blockade von Port Arthur und Ausreise der baltischen Flotte. Berlin 1908.
 18643 do Die Schlacht bei Tschuschima. 1907.

- ~~18644~~-45 **Mc. Cormick**, The tragedy of Russia in Eastern Asia. New York. 1907.
- ~~18646~~ **Kuropatkin**, (General) Memoiren. Die Lehren des russisch-japanischen Krieger. 1909.
- ~~18647~~ **Ulrich**, Die Feuerprobe der russischen Armee. Tagebuchblätter. aus dem russisch-japanischen Kriege. 1904/6- Berlin 1910.
- ~~18648~~-49 **Schwarz u. Romanowski**, Die Verteidigung von Port Arthur. Aus dem Russischen übersetzt von Ullrich - 2 Bde. 1910.
- 18650 **Zilliacus**, Das revolutionäre Russland. Ursprung u. Entwicklung der revolutionären Bewegung. 1905.
- 18651 **Ssemenow**, Unser Lohn (Fortsetzung von Rassplata u. Tsuschima). 1910.
- 1865~~23~~-5~~34~~ **von Lignitz**, Der russisch-japanische Krieg. 4 Bände. 8.
- 18657-65 **Der russisch-japanische Krieg**. Amtliche Darstellung des Russischen generalstabes. Deutsche Ausgabe von Frhr. von Tettau. Bd. I. 1. 2. 3. Teil. Bd. II. 1. 2. Teil. Bd. III. 1. 2. Teil. Bd. V. 18658-60, 62-64(缺)
- 18668 **Wereschtschagin**, Russische Truppen und Offiziere in China. 1901-2.
- 18669 **Ursyn-Pruszyński**, Japanische Berichte über die Kämpfe bei Port Arthur. 1909.
- ~~18670~~ – Der Port Arthur-Process. Nach russischen Berichten übersetzt. 2 Aufl. 1908.
- 18701 **Farkas**, Staatsstreich und Gegenrevolution in der Türkei 1909.
- Moltke**, Briefe aus Russland u. der Türkei, siehe XII. A. 31297-98.

E[EF]. Geschichte der asiatischen Völker.

- 18801 **Gützlaff**, Geschichte des Chinesischen Reiches.
- 18802 **Faber**, Ernst, Chronological Handbook of the History of China.
- 18803 – China in historischer Beleuchtung.
- 18804 **Conrady**, Beziehungen der chinesischen Kultur zur abendländischen. Vortrag.
«陸軍士官校»
- 18805 **Heigl**, Züge aus der chinesischen Geschichte.
- 18806 **Wirth**, Ostasien in der Weltgeschichte 1901.
- 18807 **Hawks Pott**, A sketch of Chinese History 1902.
- 18808 **Filchner**, Das Kloster Kumbum in Tibet. Berlin 1906.
- 18809 **Spielmann**, Arier und Mongolen. Halle 1905. *ab*
- 18810 **Parker**, Ancient China simplified. London 1908.
- ~~18811~~ **v. d. Goltz**, Die gelbe Gefahr im Lichte der geschichte. 1907.
- ~~18812~~ **Macgowen**, Imperial History of China. 1. Edition. 1906.
- 18813 **Montalto de Jesus**, Historic Schanghai 1909.
- ~~18814~~ **Bredon**, Sir Robert Hart. The romance of a great Career 1909.
- 18815 **Reckendorf**, Mahammed und die Seinen. 1907.
- 60 –
- ~~18816~~ **Ullstein**, Weltgeschichte. III. Bd. (Bezold, Kulturwelt des alten Orients – Conrady, China und Japan von den ältesten Zeiten bis zur Gegenwart – Brockelmann, Der Islam – Stübe, Centralasien bis zur Jetztzeit).
- 18901 **Otto**, Reinhard, Der Aufstand in China von seiner Entstehung bis zur Einnahme von Nanking.
- 19101 **Loch**, G. G., Closing Events of the Campain in China.
- 19102 **Mackenzie**, Narrative of the Second Campain in China.
- ~~19103~~ **Eitel**, History of Hongkong from the beginning to 1882. London 1895.
- 19104 **Herisson**, Comte de, Journal d'un interprete en Chine. 1886.

- 19303 **Loch, H. B.**, Personal Narrative of Occurrences during Lord Elgin's Second Embassy to China 1860.
Die preussische Expedition nach Ostasien 1860-62 s. VII. C. 7435-40.
- ~~19304~~ **Neumann**, Ostasiatische Geschichte 1840-1860. Leipzig 1861.
- ~~19305~~ **von Brandt**, Ostasiatische Fragen. Berlin 1897.
- ~~19306~~ **Spielmann**, Die Taipingrebellion 1850-64. Halle 1900.
- 19307 **Heigl**, Die Religion und Cultur Chinas. 1900.
- 19308-10 **Cordier**, Histoire des Relations de la Chine avec les Puissances occidentales 1860-1902. Paris 1902. 3 Bde.
- 19311 **Wirth**, Geschichte Asiens und Osteuropas.
- ~~19312~~ **Mosse**, The international relations of the Chinese empire. The period of conflict 1834-60. Shanghai 1910.
- 19313 **Bland and Blackstone**, China under the empress dowager being the history of life and times of Tsu hse. London 1910.
- 19314 **Franke**, Ostasiatische Neubildungen. Beiträge zum Verständnis der politischen und kulturellen Entwicklungsvorgänge im fernen Osten. 1911.
- ~~19401~~ **Deutschland in China**. 1900-1901.
- 19402 **Löffler**, Die China-Expedition 1900-01.
- 19403 Die Beteiligung der Deutschen Marine an den Kämpfen in China im Sommer 1900. Sonderabdruck aus der „Marine-Rundschau,“ 1909.
- 19404 **v. Müller**, A. Unsere Marine in China. a-b.
- 19405 **Herrings**, Taku, Die deutsche Reichsmarine in Kampf und Sieg. *ab*
- 19406 **Schlieper**, Meine Kriegs-Erlebnisse in China. Die Expedition Seymour.
- 19407 **Reinhard**, Mit d. II. Seebataillon nach China! 1900-01.
- 19408 **Günther**, Gefreiter beim Marine-Detachement „Graf von Soden.“ Die Schreckenstage v. Peking.
- 19409 **von Hoffmeister**, Meine Erlebnisse in China und andere Feldzugserinnerungen. Berlin 1904.
- 19411 **v. Winterhalder**, Kämpfe in China. Eine Darstellung der Wirren und der Beteiligung von Oesterreich-Ungarns Seemacht an ihrer Niederwerfung 1900-01.
- 19412 Die Erlebnisse des **II. Bataillons I. Ostasiat. Infanterie-Regiments** in China. Sept. 1900-Juni 1901.
- ~~19413~~ **v. Richthofen**, Ferdinand, Karte der weiteren Umgebungen von Peking und Tientsin. Kriegskarte I.
- ~~19414~~ **Putnam Weale**, Indiscret letters from Peking or the real story of the siege in 1900. 8. Edition. 1901.
- 19415 **von C. M.**, Die Kämpfe der russischen Truppen in der Mandschurei. 1900.
- 61 -
- ~~19416~~ **Wegener**, Zur Kriegszeit durch China 1900-01.
- 19417 **Nippold**, Bischof von Anzer, die Berliner amtliche Politik und die evangelische Mission. Berlin 1905.
- 19418-19 **Smith**, China in Convulsion (1900-01). 2 Bde. New York 1901.
- 19420 **Hart** (Sir Robert), These from the Land of Sinim, Essays on the Chinese question 1903.
- 19421 **Die Kaiserliche Marine**, während der Wirren in China 1900-1901. Herausgegeben vom Admiralstab der Marine 1903.
- 19422 **Maus**, Die Ursache der chinesischen Wirren und die evangelische Mission 1900.
- 19423 **Rauch**, Mit Graf Walderse in China 1907 a. b. c.
- 19424 **Asiaticus**, Die Kämpfe in China.
- 19425 **Pfeiffer**, Ein deutscher Reiterposten in Schantung. Berlin 1909 a-b.
- 19426 **Wrochem**, Erinnerungen eines „Chinesen“. 1910. a-b.

- 19427 **Hooker**, Behind the scenes of Peking being experiences during the siege of the legations 1900.
- 19501 **Putjata**, Chinas Wehrmacht. Aus dem Russischen von Ursyn-Pruszynski.
- 19502 **Paquet**, Asiatische Reibungen. Politische Studien aus Ostasien 1909.
- 19503 do Südsibirien u. die Nordwestmongolei. Politisch-geographische Studie 1909.
- 19551 **Hilbert**, The passing of Korea. 1906. a-b.
- ~~19602~~ **von Müller**, Der Krieg zwischen China und Japan 1894/95
- 19603 **Wirth**, Geschichte Formosas bis 1898.
- 19604 **Nirutako**, Der „Aka[ai]zuki“ von Port Arthur 1904.
- 19605 **von Gottberg**, Mit den japanern über den Jalu 1904.
- 19606 **Palmer**, With Kuroki in Manchuria.
- 19607 **Der russisch-japanische Krieg**. Beihefte zur Marine-Rundschau. a. b.
- 19609 **Bronart von Schellendorff**, Sechs Monate beim japanischen Feldheer. 1904/05.
- ~~19610-11~~ **Putnam-Weale**, The Reshaping of the Far East. London 1905. 2 Bde.
- 19612 **Nörregaard**, Die Belagerung von Port Arthur a. b.
- 19613 **Galster**, Kampf der Hauptgeschwader bei Tsushima 1905.
- 19614 **Wirth**, Geschichte Sibiriens und der Mandschurei. Bonn 1899.
- 19615 **Tschepe**, Japans Beziehungen zu China seit den ältesten Zeiten bis 1600. Yentschoufu 1907.
- 19617 **Barzini, Mukden**, Aus dem Italienischen übersetzt. 1905.
- 19618-19 **Die Schlacht am Schaho**, Beiheft zum Militärwochenblatt. Mit einem Beiheft.
- ~~19620~~ **Gaedke**, Japans Krieg und Sieg. Politische und militärische Beschreibung des Krieges von 1904-1905. 3. Auflage.
- 19621 **Gertsch**, Vom russisch-japanischen Kriege. Teil I. 1907.
- 19622 **Putnam Weale**, The truce in the East and its aftermath. 1907.
- ~~19623~~ do The coming struggle in Eastern Asia. 1908.
- 19624 **Hamilton**, Tagebuch eines Generalstabsoffiziers während des russisch-japanischen Krieges. – Deutsche Bearbeitung. 1910.
- 19625 **J[日]tchikawa**, Die Kultur Japans. 1907.
- 19626-27 **Der russisch-japanische Seekrieg**, Amtliche Darstellung des japanischen Admiralstabes. 2 Bde.
- 19630 **Wertheimer**, Die japanische Kolonialpolitik 1910.
«^v參謀本部»
- 19631 **Barkhausen**, Die japanische Verwaltung in Korea.
«^v參謀本部»
- 19632 **Larsen**, Japan im Kampf. 1911.
- 19679 **Naudeau**, Le Japon moderne. Son évolution. Paris 1908.
- 19680 **Nachod**, Geschichte Japans. Bd. I. (Bis 625 nach Chr.).
- 62 –
- 19801 **Hanna**, J[日]ndian Problems I. Can Russia invade J[日]ndia?
- ~~19802-3~~ **Lord Roberts**, Einundvierzig Jahre in Indien, vom Subalternoffizier bis zum Oberbefehlshaber. 2 Bde. Berlin 1904.
- 19804 **Candler**, The unveiling of Lhasa. London 1905.
- 19806 **Grulew**, Das Ringen Russland und Englands in Mittelasien. 1909.
- 19807 **Malesson, Akbar** (Rulers of India 1.)
- 19808 do **Dupleix** (do 2.)
- 19808 **Trotter, Warren Hastings** (do 3.)
- 19810 **Hunter, Marques of Dalehousie** (do 4.)

- 19811 **Ottley**, Tibet. Mit der bewaffneten britischen Gesandtschaft bis Lhasa 1904.
 19901 **Thomsen**, Palästina und seine Kultur in fünf Jahrtausenden. Nach den neuesten Ausgrabungen und Forschungen. A. n. u. G.

G. Geschichte auf afrikanischem Boden.

- ~~20201~~ **Behr**, H. F. v. Kriegsbilder aus dem Araberaufstand in Deutsch-Ostafrika. a-b.
~~20202~~ **Götzen (Graf von)**, Deutschostafrika im Aufstand 1905-6.
 20204-05 **Hake**, Egmont A, Journals of Major-General Gordon at Kartoum (Tauchnitz.)
~~20206~~ **Slating Pascha**, Rudolf. Feuer und Schwert im Sudan. a-b.
 20207-09 – Fire and Sword in the Sudan. (Tauchnitz)
 20210 **Tiedemann**, Mit Lord Kitchener gegen den Mahdi. 1906.
 20211 **Kühnel**, Algerien (Stätten der Kultur. Bd. 18).
 20212 **Pensa**, L’Egypte et le soudan égyptien 1895.
 20214 **Wirth**, Geschichte Südafrikas 1897.
 20215 **Wills and Collingridge**, The Downfall of Lobengula: The cause, history and effect of the Matabeli war.
 20319 **Lenk**, Die Geschichte Transvaals. Die Wanderungen der Buren 1902.
 20320 **Paul Krüger**, Lebenserinnerungen des Präsidenten, von ihm selbst erzählt; herausgegeben von Schowalter.
 20321 **De Wet, v. Doornik, du Plessis**, Die Buren in der Kapkolonie im Kriege mit England; übersetzt und herausgegeben v. Schowalter.
 20322 **Metz**, Max Müller und sein Brief über Transvaal.
 20323 **Peinlich**, Der Kaiser und die südafrikanische Frage. 1900.
 20325 **Rompel**, Präsident Steijn. Ein Lebensbild; herausgegeben von Schowalter.
 20327 **De Wet**, Der Kampf zwischen Bur und Drite.
 20328 **Schiel**, Adolf, 23 Jahre Sturm und Sonnenschein in Südafrika.
 20329 **Samassa**, Das neue Südafrika. Berlin 1905.
 20330 **Viljoen**, General Ben, Die Transvaaler im Krieg mit England.
 20331-33 **Müller**, Der Krieg in Südafrika 1899-1900 und seine Vorgeschichte.
 20334 **Kunowski u. Fretzdorff**, Der Krieg in Südafrika Tl. II.
 20335 **Schlettwein**, Der Hereroaufstand.
 20350 **Zimmermann**, Durch Busch und Steppe in Kamerun 1892-1902. Ein Beitrag zur Geschichte der Schütztruppe.
 20351 **Preil**, Deutsch-französische Waffenbrüderschaft im Hinterlande von Togo und Dahomey. Tagebuchblätter 1909.
 20356 **von Salzmänn**, Im kampfe gegen die Herero.
 20357 **Stevens**, With Kitchener to Kartum 1898.
- 63 –
- 20358-59 **Die Kämpfe** der deutschen Truppen in Südwestafrika. Von der kriegsgeschichtlichen Abteilung des Grossen Generalstabs 1908. 2 Bde.
 20360 **Leutwein**, Elf Jahre Gouverneur in Südwestafrika 1907.
 20361 **Süwestafrika**, deutsch oder englisch? Von einem alten Afrikaner 1907.
 20362 **Das Marine-Expeditionskorps** in Südwestafrika während des Hereroaufstandes. Vom Admiralstab der Marine 1905.
 20363 **Schmidt**, Aus unserm Kriegsleben in Deutsch-Südwestafrika. Erlebnisse und Erfahrungen. 1907.
 20364 **Liliencron**, Reiterbriefe aus Südwest. Briefe aus dem Feldzuge von 1904/05 gesammelt. a-b.

- ~~20365~~ **Rohrbach**, Aus Südwestafrikas schweren Tagen. 1908.
 20366 **Külz**, Deutsch-Südwestafrika im 25. Jahre deutscher Schutzherrschaft 1909.
 20367 **Beyer**, Mit dem Hauptquartier in Südwestafrika. 1909.
~~20368~~ **Dincklage-Campe**, Deutsche Reiter in Südwest. Selbsterlebnisse aus den Kämpfen gesammelt.
 20369 **Schwabe**, Der Krieg in Deutsch-Südwestafrika 1904-6.
 20370 **Alverdes**, Mein Tagebuch aus Südwest. Erinnerungen aus dem Feldzug gegen die Hottentotten. 1906.
 20371 **Estorff, L. von**, Kriegerlebnisse in Südwestafrika. Vortrag-Andes, Hauptmann Friedrich von Erckert. Ein Lebensbild.

H. Geschichte Amerikas.

- 21201 **Campe, F. H.**, Die Entdeckung von Amerika. a. b.
 21202 **Friederici**, Indianer und Anglo-Amerikaner. a-b.
 21401-02 **v. Borcke**, Zwei Jahre im Sattel und am Feinde. Bd. 1-2. Erinnerungen aus dem Unabhängigkeitskriege der Konföderirten. Aus dem Englischen.
 21403 **Force, M. F.**, From Fort Henry to Corinth.
 21404 **Greene**, The Mississippi, Campaigns of the Civil war. Bd. 8.
 21405 **Nicolay, John**, The Outbreak of Rebellion. (Campaigns of the Civil war. Bd. 1.)
 21406 **Russel, Soley**, The Blockade u[na]nd the Cruisers. (The Navy in the Civil war. Bd. 1.)
 21420 **Schmidt, Emil**, Vorgeschichte Nordamerikas im Gebiete der vereinigten Staaten. a-b.
«埼玉浦和圖»
- ~~21421~~ **Hötzsch**, Die Vereinigten Staaten von Amerika (Monographien zur Weltgeschichte.)
 21422 **Daenell**, Geschichte der Vereinigten Staaten von Amerika. A. N. u. G.
 21423 **Parabellum-Banzai**, (Amerikanisch-japanischer Zukunftskrieg) a-b.
~~21424~~ **White**, Aus meinem Diplomatenleben. 1906.
 21425 **Darmstädter**, Die Vereinigten Staaten von Amerika, ihre politische, wirtschaftliche und soziale Entwicklung. 1909.
 21426 **Roosevelt**, Amerikanismus, Reden und Schriften.
~~21427~~ do **Im Reiche der Hinterwäldler** (Geschichte des Westens).
 21701 **Wells**, Walker's Expedition nach Nicaragua und der centralamerikanische Krieg nebst der vollständigen diplomatischen Korrespondenz. a-b.
 21801 **Condor**, Im Kampf um Süd-Amerika. Ein Zukunftsbild von 1920.

- 64 -

IX.: Politik, Socialpolitik, Nationalökonomie, Kolonialpolitik, Kolonialwesen.

A. Politische, Sociale, Nationalökonomische Schriften.

- ~~22300~~ **Rathenau**, Reflexionen (wirtschaftliche, ethische etc.) 1908.
 22301 Die Behandlung der Nationalen Minderheiten und die Lage des Deutschtums in Böhmen.
Der Kampf um das Deutschtum:
 22302 Heft 1. Die Weltstellung des Deutschtums.
 22303 – 2. Deutschnationales Vereinswesen.
 22304 – 6. Böhmen, Mähren und Schlesien.
 22304 – 9. **Guntram-Schultheiss**, Deutschtum und Magyarisierung in Ungarn und Siebenbürgen.
 22306 – 11. **Bley, Fritz**, Der Kampf um das Deutschtum.
~~22307-8~~ **Treitschke**, Politik. 2. Aufl. 2 Bde. Leipzig 1899.

- 22309 **Naumann**, Demokratie und Kaisertum. Ein Handbuch für innere Politik. Berlin 1904.
- 22310 **Rohrbach**, Deutschland unter den Weltvölkern: Materialien zur auswärtigen Politik. Berlin 1903. a-b (2. Aufl).
- 22311 **Heyk**, Die geschichtliche Berechtigung des deutschen Nationalbewusstseins.
- 22312 **Die deutsche Ostmark**, Actenstücke und Beiträge zur Polenfrage.
- 22313 **Jahn**, F. L. Deutsches Volkstum.
- 22314 **Massow**, Die Polennot im deutschen Osten.
- 22315 **Knortz**, Das Deutschtum der Vereinigten Staaten.
- 22316 **Wastian**, Ungarns Tausendjähung in deutschem Lichte.
- 22317 – Ein Buch von Deutscher Art.
- 22318 **von Müller**, Deutsche und Polen in den Ostmarken.
- 22319 **Neubauer**, Was ist deutsch? Eine Kaisergeburtstagsrede.
- ~~22321~~ **Arjuna**, Harald, Die zehn Gebote des Germanen.
- 22322 **Flöckher**, Was muss der Deutsche von auswärtiger Politik wissen? 1908.
- 22401 **Dierks**, Marokko. Materialien zur Kenntnis und Beurteilung des Scherifenreichs und der Marokko-Frage. a-b.
- 22402 **Hasse**, Ernst, Deutsche Weltpolitik.
- «^v參謀本部»
- 22403 **Betrachtungen über die Transvaalfrage** und die Verstimmung zwischen Deutschland und England. a-b.
- 22404 **Deutschlands Ansprüche** an das türkische Erbe.
- 22405 **Genügt Deutschlands Wehrkraft zur See?** Ein Mahnruf, herausgeb. vom All-Deutschen Verband.
- 22406-7 **Handels und Machtpolitik**. Reden und Aufsätze. Herausgeb. v. Schmoller, Sering, Ad. Wagner. Bd. 1-2. a-b.
- 22408 **Reventlow**, Holder Friede, süsse Eintracht. Eine politische Satire.
- 22409 do **Weltfrieden oder Weltkrieg? Wohin geht Deutschlands Weg?** Politisch-militärrische Brachtungen vor der Haager Friedenkonferenz.
- 65 -
- 22410 **Fried**, Die internationale Friedensbewegung. A. N. n[au]. G.
- ~~22411~~ **Putnam Weale**, The Conflict of colour being a detailed examination of racial problems throughout the world with special reference to english speaking peoples 1910.
- 22501 **Frobenius**, Wismar. Eine brennende Frage.
- 22651 **Bellamy**, Edward. Ein Rückblick aus dem Jahre 2000 auf 1887.
- 22652 **Blum**, Hans. Die Lügen unser Sozialdemokratie.
- 22653 **Wilbrandt**, Erlebnisse in der Welt Bellamy's.
- 22654 **v. Leixner**, Sociale Briefe aus Berlin. a-b.
- 22655 **Papst Leo XIII.** Feldmarschall Graf **Moltke** uu[un]d ihre Bekämpfung der Sozialdemokratie. a. b.
- «^v參謀本部»
- 22656 **Fawcett**, Volkswirtschaftslehre für Anfänger a-b.
- 22657 **Mahraun**, Volkswirtschaftliches Lesebuch. ab
- 22658 **Die Wirtschafts-Finanz und Socialreform**, im Deutschen Reiche. Reden des Reichs-Kanzlers Fürsten v. Bismarck 1879-82. mit ein- und überleitenden Bemerkungen von F. Schmitz. aB-c.
- ~~22659~~ **Kolb**, Als Arbeiter in Amerika. 1905.
- 22660 **v. Brentano**, Cobdens Argumente gegen Flottenvermehrungen. („Nation“ 1900).
- 22661 **Hubers**, Ausgewählte Schriften über Socialreform u. Genossenschaftswesen.

- 22662 **Die deutschen Kapitalanlagen**, in überseeischen Ländern, zusammengestellt im Reichsmarineamt.
- ~~22663~~ **Mayr**, Die Gesetzmässigkeit im Gesellschaftsleben.
- 22664 **v. Mosch**, Materialien zu einem Katechismus der Socialreform.
- 22665 **Salings**, Börsen-Jahrbuch für 1900-1901.
- 22666 **Neurath**, Gemeinverständliche nationalo[ö]k[ö]n[ö]mische Vorträge. a-b.
- 22667 **Die Entwicklung der deutschen Seeinteressen** im letzten Jahrzehnt. Herausgegeben vom Reichsmarineamt. Berlin 1905.
- 22668 **Tille**, Der Wettbewerb weisser und gelber Arbeit in der industriellen Produktion. 1904.
- 22669 **Pohle**, Deutschland am Scheidewege. Betrachtungen über seine gegenwärtige volkswirtschaftliche Verfassung.
- 22670 **Obst**, Grundzüge der Nationalökonomie. 1908.
- 22671 – Scheck, Scheckverkehr und Scheckgesetz. 1908.
- 22672 – Wechsel- u. Scheckkunde. 1908.
- 22673 – Geld-, Bank- und Börsenwesen. Ein Handbuch 1908.
- ~~22674~~ **Stammler**, Die Theorie des Anarchismus. 1894.
- 22675 **Maier**, Sociale Bewegungen und Theorien bis zur modernen Arbeiterbewegung.
- 22676 **Riehl, W. H.**, Die Naturgeschichte des Volkes. Land und Leute.
- 22677 – – Die bürgerliche Gesellschaft.
- 22678 – – Die Familie.
- 22679 **Schirmacher**, (Käte). Die moderne Frauenbewegung. (A. N. u. G.)
- 22680 **Schulze-Grossborstel**, Streifzüge durch das nördl. amerikanische Wirtschaftsleben 1910.
- 22681 **Hunter**, Das Elend der neuen Welt. 1908.
- ~~22682~~ **Shadwell**, England, Deutschland und Amerika. Eine vergleichende Studie ihrer industriellen Leistungsfähigkeit. 1908.
- ~~22683~~ **Oppel**, Natur und Arbeit. Eine allgemeine Wirtschaftskunde. 1904.
- 22685 **Carlyle, Thomas**, Socialpolitische Schriften. Einst und Jetzt.
- ~~22687~~ **Schell**, Die deutsche Volkswirtschaft am Schluss des 19. Jahrhunderts.
- 22688 **Dehn**, Weltpolitische Neubildungen 1905.
- ~~22689~~ do Weltwirtschaftliche Neubildungen.
- 66 –
- 22690 **Fuchs, C. F.**, Volks-Wirtschaftslehre. a-b. (aft. 1909).
- 22691 **v. Halle**, Weltwirtschaftliche Aufgaben und weltpolitische Ziele.
- 22692 – Die deutsche Volkswirtschaft an der Jahrhundertwende.
- 22693 **Sombart**, Sozialismus u. soziale Bewegung im 19. Jahrhundert.
- 22694 do Der moderne Kapitalismus. 1. Die Genesis des Kapitalismus.
- 22695 – Bd. 2. Die Theorie der Kapitalistischen Entwicklung.
- 22696 **Conrad_[,]** Leitfaden der Nationalökonomie. Jena 1902.
- 22697 do Leitfaden der Volkswirtschaftspolitik. Jena 1905.
- 22698 **Haushofer**, Bevölkerungslehre (L[EA]. N. u. G.)
- 22699 **Lutz**, Die Verkehrsentwicklung in Deutschland. 1800-1900 (A. N. u. G.)
- 22700 **Pohle**, Die Entwicklung des deutschen Wirtschaftslebens im XIX. Jahrhundert (A. N. u. G.)
- 22701 **Damaschke, Adolf**. Die Bodenreform.
- ~~22702-3~~ **Ehrenberg**, Grosse Vermögen (Fugger, Rotschild, Krupp etc.) 2 Bde. 1905.
- 22705 **Ehrenberg**, Die Unternehmungen der Brüder Siemens. Bd. I. Jena. 1906.

- 22706 do Handelspolitik. 1900.
- 22707 **Eichholtz**, Entwicklung der Landpolitik. 1905.
- 22707 **Sombart**, Die deutsche Volkswirtschaft im XIX. Jahrhundert.
- 22708 **Manes**, Grundzüge der Versicherungspolitik. A. N. u. G.
- 22709 **Langhein**, Aus dem Wirtschaftsleben Amerikas 1903, A. N. u. G.
- ~~22710~~ **Gruber**, Wirtschaftliche Erdkunde. A. N. u. G.
- 22711-12 **von der Borcht**, Finanzwissenschaft. 2 Bde. (S. Göschen 1908).
- 22713 **Sieveking**, Auswärtige Handelspolitik. S. (Göschen.)
- 22715 **Standinger**, Die Konsumgenossenschaft A. N. u. G.
- 22716 **Arenning**, Innere Kolonisation A. N. u. G.
- 22717 **Mielke**, Das deutsche Dorf. A. N. u. G.
- 22718 **Wolff**, Grundriss der preussisch-deutschen socialpolitischen und Volkswirtschaftsgeschichte. a-b. 2. Aufl. 1910.
- 22719 **Junge**, Amerikanische Wirtschaftspolitik. 1910.
- 22720 **Simmel**, Die Philosophie des Geldes. 1900.
- 22721 **Altmann**, Finanzwissenschaft A. N. u. G.
- 22722 **Hauser**, Die deutschen Ueberseebanken. 1906.
- 22723 **Troeltsch**, Die neuesten Veränderungen im deutschen Wirtschaftsleben. Vorträge 1898.
- 22724 **Damaschke**, Aufgaben der Gemeindepolitik 5. Aufl.
- 22725 do Geschichte der Nationalökonomie 4. Aufl. 1910.
- ~~22726~~ **Jentsch**, Grundbegriffe und Grundsätze der Volkswirtschaft. Eine populäre Volkswirtschaftslehre. 2 Aufl. 1906.
- 22730-31 **Deutsche Volksstimme**, (Zeitschrift für Bodenreform) 1906. 2 Bde.
- 22732 do 1907.
- 22733 do 1908.
- 22734 do oder Bodenreform. 1909.
- 22735 do 1910.
- Bebel**, Aus meinem Leben. I Siee XII. 30867.
- Göhre**, Lebensgeschichte eines modernen Fabrikarbeiters, siehe XII A, 30829.
- 27[72]760-61 **Muckle**, Geschichte der socialistischen J[HI]deen im 19. Jahrhundert. 3 Bde. A. N. u. G.
- 22762 **Harms**, Lasalle und seine Bedeutung für die deutsche Socialdemokratie.
- 22763 **Diehl**, Ueber Sozialismus. Kommunismus und Anarchismus. Vorträge 1906.
- 67 -
- ~~22764~~ **Sombart**, Warum gibt es in den Vereinigten Staaten keinen Socialismus? Tübingen 1906.
- Die Gesellschaft**, Sammlung socialpsychologischer Monographien.
- 22765 **Bernstein**, Der Streik.
- 22766 **David**, Die Zeitung.
- 22767 **Calwer**, Der Handel.
- 22768 **Glaser**, Die Börse.
- 22769 **Göhre**, Das Warenhaus.
- 22770 **Hessen**, Der Sport.
- 22771 **Platzhoff-Lejeune**, Die Reklame.
- 22772 **Sombart**, Das Proletariat.
- 22780 **Dietz**, Das Zeitungswesen. A. N. u. G.

- ~~22801~~ 22781 **Die allgemeine Christliche Weltpflicht.** Cathrein, Der Sozialismus Zur Lösung der Judenfrage von einem alten Offizier.
- 22802 **Klopfer**, Zur Judenfrage.
- ~~22803~~ v. **Langen**, Das jüdische Geheimgesetz. Ein Handbüchlein für Politiker.
- 22806 **Rohling**, Talmud-Jude.
- 22807 **Wyking**, Die Juden Berlins.
- 22808 **Pohlmann**, Das Judentum.
- 22809 **Fritsch**, Antisemiten-Katechismus. Eine Zusammenstellung des wichtigsten Materials zum Verständnis der Judenfrage.
- 22821 **Sepp**, Deutschland einst und jetzt.
- Ratzel**, Das Meer als Quelle der Völkergrösse. Eine politisch-geographische Studie s. VII. A.
- 22822 **Unold**, Johannes, Ein neuer Reichstag, Deutschlands Rettung.
- 22823 **Arendt**, Herr Reichsbankpräsident Dr. Koch und die Währungsfrage.
- 22824 v. **Schellbach**, Konventionelle Lügen in der Politik. a-b.
- 22825 **Vogel**, R., Herr Minister Buchenberger.
- 22826 **Reuling**, Distichen. Politisches und Unpolitisches.
- 22827 **Geffcken**, Politische Federzeichnungen.
- 22828 **Poensgen**, Das Wahlrecht. A. N. u. G.
- 22829 **Naumann**, Friedrich, Die politischen Parteien.

B. Kolonialwesn.

- 23009-12 **Koloniales Jahrbuch.** 1888-1895. Herausgegeben von Meinecke. a-b.
- 23020 **Halle, E. von**, Die grossen Epochen der Kolonialgeschichte. Vortrag 1906.
- 23025 **Deutsches Kolonialblatt** 1903.
- 23026 do 1904.
- 23027 do 1905.
- 23028-29 do 1906. 2 Bde.
- 23030-31 do 1907. 2 do
- 23032 do 1908.
- 23033 do 1909.
- 23034 do 1910.
- 23055 **Koloniale Zeitschrift** 1903.
- 23056 do 1904.
- 23057 do 1905.
- 23058 do 1906.
- 23059 do 1907.
- 23060 do 1908.
- 68 -
- 23061 **Koloniale Zeitschrift**, 1909.
- 23062 do 1910.
- 23083 **Aus fernen Landen.** Geographische und geschichtliche Unterhaltungsblätter mit besonderer Berücksichtigung der Kolonien. 1903.
- 23084 **Aus fernen Landen** 1904.
- 23089 **Deutsche Kolonialzeitung** 1889.

23090	do	1890.
23091	do	1891. a-b.
23092	do	1893-94.
23093	do	1895.
23094	do	1896.
23095	do	1897.
23096	do	1898.
23097	do	1899.
23098	do	1900.
23101	do	1903.
23102	do	1904.
23103	do	1905.
23104	do	1906.
23105	do	1907.
23106	do	1908.
23107	do	1909.
23108	do	1910.
23130	Koloniale Rundschau 1909.	
23131-32	do	1910. 2 Bde.
	Die deutschen Kolonien (herausgegeben von Forster).	
23151	do	1905.
23152	do	1906.
23153	do	1907.
23154	do	1908.
23155	do	1909.
23156	do	1910.
23198-99	Meyer , Das deutsche Kolonialreich. Eine Länderkunde der deutschen Kolonien. I. Teil: Ostafrika und Kamerun. 1909. II. – Togo. Südwestafrika, Südsee, Kiautschou.	
23201	Deutschland und seine Kolonien im Jahre 1896.	
23202	Frenzel , Deutschlands Kolonien.	
23203	Volz , Unsere Kolonien.	
23204-05	Schmidt, Rochs , Deutschlands Kolonien. Bd. 1-2.	
23206	Koloniales Handels- und Adressbuch 1903.	
23207	do	1904.
23208	do	1905.
23209	do	1906.
23210	do	1907.
23211	do	1908.
23213	do	1910.
23214	do	1911.
23220	Sander , Die deutschen Kolonien in Wort und Bild. 1906.	
23221	Jahresbericht über die Entwicklung der deutschen Schutzgebiete in Afrika und der Südsee im Jahre 1901-02.	
23222	Anlagen zu No. 23221.	
23223	Jahresbericht über die Entwicklung der deutschen Schutzgebiete in Afrika und der Südsee.	

		1903-4	
23224	do	1904-5	
			- 69 -
23225	Jahresbericht über die Entwicklung der deutschen Schutzgebiete 1905-6 in Afrika und der Südsee. Mit Anlagen.		
23226	do	1906-7. 8 Bändchen A-G.	
23227	do	1907-8. do	
23231	Zeitschrift für Kolonialpolitik , Kolonialrecht u. Kolonialwirtschaft	1905. Heft 7-12.	
23232	do	1905.	
23233	do	1906.	
23234	do	1907.	
			«外務圖»
23235	do	1908.	
23236	do	1909.	
23237	do	1910.	
23251	Mitteilungen , von Forschungsreisenden und Gelehrten aus den Deutschen Schutzgebieten, herausgeb. von Dankelmann, ungebunden, in einzelnen Heften. Bd. XVI.		
23252	do	XVII.	
23253	do	XVIII.	
23254	do	XIX.	
23255	do	XX.	
23256	do	XXI.	
23257	do	XXII.	
23258	do	XXIII.	
23298	Herrfurth , Bismark und die Kolonialpolitik. 1909.		
23299	Barth , Unsere Schutzgebiete nach ihren wirtschaftlichen Verhältnissen A. N. u. G.		
23300	Dehn , Von deutscher Kolonial- und Weltpolitik. 2. Aufl. 1907.		
23301	v. Brandt , Kolonien und Flottenfrage. a-b.		
23302	Friese , Eugen. Braucht Deutschland eine Kolonial-Armee? a-b.		
23303	Michaelis , Was ist Kiautschou wert?		
23304	Vosberg-Rekow , Der Grundgedanke der deutschen Kolonialpolitik. 1903.		
23305	Hübbe-Schleiden , Warum Weltmacht? Der Sinn unserer Kolonialpolitik 1906.		
23306	Deutschlands koloniale Wehrmacht , in ihrer gegenwärtigen Organisation. Von einem Offizier,		
23307	Scharlach , Koloniale und politische Aufsätze und Reden.		
23308	Helfferrich , Zur Reform der Kolonialen Verwaltungsorganisation. 1905.		
23309	Oloff , Zwanzig Jahre deutscher Kolonialpolitik. 1905.		
23310	Staatsstreich oder Reformen? Politisches Reformbuch von einem Ausland-Deutschen. Teil II: Kolonialreform.		
23311	Roscher-Jannasch , Kolonien, Kolonialpolitik und Auswanderung.		
23312	Zimmermann , Alfred, Weltpolitisches. Beiträge und Studien zur neueren Kolonialbewegung.		
23313	Kranel , Deutsche Interessen in Brasilien.		
23314	Seitz , Grundsätze über Aufstellung und Bewirtschaftung des Etats der deutschen Schutzgebiete. 1905.		
23315	Wagner , Falsche Propheten (Gouverneur Liebert und seine Presse). 1900.		
23316	Heilborn , Die deutschen Kolonien. A. N. u. G.		

- 23317 **Die letzten Kolonialdebatten**, im aufgelösten Reichstag (Dezember 1906.)
- 23318 **Schmidt**, Gegen Roeren. Unter dem caudinischen Joch. Ein Kampf um Recht und Ehre. 1907.
- 70 -
- 23319 **Kardoff**, Bebel oder Peters? Die Amtstätigkeit Peters am Kilimadscharo, 1891/92.
- 23320 **Peters**, (Dr. Carl), Deutsch-National. Kolonialpolitische Aufsätze, 1887.
- 23321 do Weitherzige Kolonialpolitik. 1898.
- 23322 do Missbrauch der Amtsgewalt. 1899.
- 23323 **Dernburg**, Koloniale Finanzprobleme. Vortrag. a-b.
- 23324 do Lehrjahre do a-b.
- 23325 do Erziehung do a-b.
- 23326 – Zielpunkte des deutschen Kolonialwesens. 2 Vorträge. a-b.
- 23327 **Köbner**, Einführung in die Kolonialpolitik. 1908.
- ~~23328~~ **Grotewold**, Unser Kolonialwesen und seine wirtschaftliche Bedeutung. 1908.
- 23329 **Rohrbach**, Wie machen wir unsere Kolonien rentabel? 1907.
- 23330 – Die Kolonie.
- 23340 **Schneider**, Jahrnuch über die deutschen Kolonien. Bd. I. 1908.
- 23341 – do II. 1909.
- 23342 – do III. 1910.
- 23343 – do IV. 1911.
- ~~23349~~ **Rohrbach**, Deutsche Kolonialwirtschaft: Kulturpolitische Grundsätze für die Rassen- und Missionsfragen. Berlin 1907.
- 23350 – Deutsche Kolonialwirtschaft. Bd. I: Südwestafrika. 1907.
- 23360 **Kuhn**, Zum Eingebornenproblem in Südwestafrika. Ein Ruf an Deutschlands Frauen. 1905.
- 23361 **Der Aussenhandel Deutsch-Ostafrikas** 1905. Beilage zum Kolonialblatt.
- ~~23362~~ **Dernburg**, Südwestafrikanische Eindrücke. Industrielle Fortschritte in den Kolonien. Zwei Vorträge. 1909.
- ~~23363~~ **Die deutschen Schutzgebiete in Afrika und der Südsee**. 1909-11 Ausführliche Jahresbe-
- ~~23375~~ **Dove**, Die deutschen Kolonien. Bd. II: Südsee und Kiautschou. S. Göschen
- ~~23376-77~~ **Hutter**, etc; Das überseeische Deutschland. 2 Bde. 1911.
- 23378-79 **Schwabe**, Die deutschen Kolonien. Prachtwerk mit vielen farbigen Photographien Bd I: Togo, Kamerun, Südwest. Bd II: Deutsch-Ost-Afrika, Südsee, Kiautschou.
- 23380 **Kolonie und Heimat in Wort und Bild** 1907-8.
- ~~23381~~ do 1908-9.
- ~~23382~~ do 1909-10.
- 23401 **Jannasch**, R., Die Deutsche Handelsexpedition 1886. a-b.
- 23402 **Zapp**, Aus Kleindeutschland. (Aus d. deutsch-amerikan. Leben) a-b.
- 23403 **Brandenburg-Preussen**, auf der Westküste von Afrika. 1681-1721. Verfasst v. Grossen Generalstab. a-eb.
- ~~23416-20~~ **Zimmermann**, Die Europäischen Kolonien. Ihre Entstehung, Entwicklung, Erfolge, Aussichten. 5 Bde. (1. Portugal und Spanien 2. 3. Grossbritannien 4. Frankreich 5. Holland).
- 23421 **Japan**, Die territoriale Entwicklung der europäischen Kolonien. Mit einem kolonialgeschichtlichen Atlas. Gotha 1906.
- 23422 **Lucas**, A historical geography of the British Colonies. Vol. I: Mediterranean and Eastern Colonies. Oxford. 1906.
- 23460 **Mertens**, Kolonialpraxis. Handbuch für Kaufleute, Industrielle, Banken und Behörden. 1911.
- 23491 Kleiner deutscher **Kolonialatlas** mit Jahrbuch. 1911.

Werke über die Kolonien im Einzeinen sind bei den betreffenden Abschnitten von VII, Länder und Völkerkunde, zu finden.

- 71 -

23501	Süsserorts Illustrierter Kolonialkalender	1909
23502	do	1910
23503	do	1911

X.: Naturwissenschaften.

A. Zeitschriften, Allgemeines.

24049-50	Annalen der Hydrographie	1899-1900. <i>ab</i>	
			«東北大附圖本館»
24051-53 ⁵	do	1901. Bd. 1-3.	
			«東北大附圖本館»
24054	do	1902.	
24055	do	1903 ungbd. <i>ab</i>	
			«東北大附圖本館»
24056	do	1904 do	
24057	do	1905 do	
24058	do	1906	
24059	do	1907 <i>ab</i>	
			«東北大附圖本館»
24060	do	1908 a-b.	
			«東北大附圖本館»
24061	do	1909 do	
24062	do	1910 do	
24084	Jahresberichte der deutschen Seewarte für	1900.	
24085	do	1906. <i>ab</i>	
24101	Kosmos, Zeitschrift für Naturfreunde. Jahrgang	1907	
			«東北大附圖本館»
24102	do	1908	
			«東北大附圖本館»
24103	do	1909	
			«東北大附圖本館»
24104	do	1910	
			«東北大附圖本館»
24131	Prometheus. VIII. Jahrgang	1897	
24132	do IX.	do 1898	
24133	do XI.	do 1900	
			«東北大附圖本館»
24134	do XIV.	do 1903	
			«九州大中圖»
24135	do XVII.	do 1906	
			«東北大附圖本館»

⁵ 24051*ab*, 24052*ab*, 24053 (鹵書目訂表1920_{IV/III}., 膠圖2葉).

- 24136 do XVIII. do 1907 «東北大附圖本館»
- 24137 do XIX. do 1908 «東北大附圖本館»
- 24138 do XX. do 1909 «東北大附圖本館»
- 24139 do XXI. do 1910 «東北大附圖本館»
- 24299 **Ostwald**, Grundriss der Naturphilosophie. «東北大附圖本館»
- 24300 **Günther**, Geschichte der Naturwissenschaften. 1909. a-b. «東北大附圖本館»
- 24301-04 **Bernstein**, A., Naturwissenschaftliche Volksbücher. Bd. 1-4. «東北大附圖本館»
- 24306-07 **Busemann**, Naturkundliche Volksbücher. Bd. 1-2. a-b. «東北大附圖本館»
- 24308 **Du Bois-Reymand**, Ueber die Grenzen des Naturerkennens. 2 Vorträge. 1908. «東北大附圖本館»
- 24309 **Förster**, Wilh., Sammlung wissenschaftlicher Vorträge. «東北大附圖本館»
- 24311 – Wissenschaftliche Erkenntnis und sittliche Freiheit. a-b. «東北大附圖本館»
- ~~24312~~ **Jütting**, Wanderungen im Reiche der Natur.
- 24313 **München** in naturwissenschaftlicher und medizinischer Bedeutung. «東北大附圖本館»
- 24314 **Schäffer**, Naturparadoxe. Eine Erklärung von Erscheinungen, welche mit der täglichen Erfahrung in Widerspruch stehen. 1908.
- 24315 **Ruskin**, Das Adlernest. 5. Vorlesungen über die Beziehungen zwischen Kunst und Wissenschaft. «東北大附圖本館»
- ~~24316~~ **Pettenkofer**, Populäre Vorträge.
v. **Virchow u. Holtzendorff**, Sammlung gemeinverständlicher wissenschaftlicher Vorträge. s. a. I. A.
- 72 -
- 24318-19 **Reinke**, Naturwissenschaftliche Vorträge für die gebildeten aller Stände. 2 Bde. 1907. «東北大附圖本館»
- 24320 **Sattler**, Kleine Naturlehre und Chemie mit Berücksichtigung der Mineralogie und der Lehre vom Menschen. a-b. «東北大附圖本館»
- 24321-22 **Schödler**, Friedrich. Des Buch der Natur, die Lehren der Physik, Astronomie, Chemie, Mineralogie, Botanik, Zoologie und Physiologie umfassend. a-b. Bd. 1-2. «東北大附圖本館»
- 24323 **Weitz**, Naturwissenschaftliches im täglichen Leben. «東北大附圖本館»
- 24324 **Wolf-Harnier**, Naturgeschichtliche Charakterbilder. 1892. «東北大附圖本館»
- 24325 **Grove**, Die Verwandtschaft der Naturkräfte. «東北大附圖本館»
- 24326-27 v. **Helmholtz**, Vorträge und Reden. Bd. 1-2.

- 24328 **Ladenburg**, Naturwissenschaftliche Vorträge in gemeinverständlicher Darstellung. 1908.
«東北大附圖本館»
- 24329 **Jänsch**, Aus Urdas Born. Schilderungen und Betrachtungen im Lichte der heutigen Lebenserforschung.
«東北大附圖本館»
- 24330 **Orschiedt**, Aus der Werkstätte der Natur.
«東北大附圖本館»
- 24331 **Chun**, Aus den Tiefen des Weltmeeres. 1903.
«東北大附圖本館»
- 24332 **Tyndall**, Fragmente aus den Naturwissenschaften.
«東北大附圖本館»
- 24333 – Fragmente. Neue Folge.
«東北大附圖本館»
- 24334 **Stein**, Die Lehre von der Energie. A. N. u. G.
«東北大附圖本館»
- 24335 **Hellmuths** Elementar – Naturlehre, bearbeitet von Reichert.
«東北大附圖本館»
- 24336 **Rosenberger**, Ueber die Genesis wissenschaftlicher Erfindungen und Entdeckungen.
«東北大附圖本館»
- 24337 **Bongardt**, Die Naturwissenschaften im Haushalt. A. N. u. G.
«東北大附圖本館»
- 24338-39 **Forbes**, Henry, Wanderungen eines Naturforschers im Malayischen Archipel 1878-83. a-b.
«東北大附圖本館»
- 24340 **Schneider**, Typen-Atlas. a-b.
«東北大附圖本館»
- 24341 **Das grosse Völker- und Naturleben**. Physiognomische Züge aus fernen Weltteilen.
«東北大附圖本館»
- 24342 **Weinstein**, Entstehung der Welt und Erde nach Sage und Wissenschaft. A. N. u. G.
«東北大附圖本館»
- 24343-44 **Carus Sterne**, Werden und Vergehen. 1901.
«東北大附圖本館»
- 24345-46 **Bölsche**, Entwicklungsgeschichte der Natur. 2 Bde. 1896.
«東北大附圖本館»
- ~~24347~~ do Die Schöpfungstage. Umrisse zu einer Entwicklungsgeschichte der Natur. 1906.
- 24348-50 do Das Liebesleben in der Natur. 3 Bde. Jena 1907.
«東北大附圖本館»
- 24351-2-53 **Weltall und Menschheit**, herausgegeben von Hans Kraemer. Bd. 1-3.
«東北大附圖本館»
- 24354 **M. W. Meyer**, Vom Himmel und von der Erde. Ein Weltgemälde in Einzeldarstellungen. 1908.
«東北大附圖本館»
- 24355 do Weltschöpfung. Wie die Welt entstanden ist.
«東北大附圖本館»
- 24356 do Vom Weltuntergange.
«東北大附圖本館»
- 24357 do Mussestunden eines Naturforschers. Skizzen und Studien über himmlische Dinge.
1891.

- 24360 **Humboldt**, Ansichten der Natur mit wissenschaftlichen Erläuterungen. «東北大附圖本館»
- 24364 **Ule**, Aus der Natur. Essays. 1873. «東北大附圖本館»
- 24365 **Wallace**, Die Tropenwelt nebst Abhandlungen verwandten Inhalts. a-b. «東北大附圖本館»
- 24370 **Kräpelin**, Karl, Naturstudien im Hause. «東北大附圖本館»
- 24371 **Bölsche**, Wilhelm, Vom Bazillus zum Affenmenschen. «東北大附圖本館»
- 24372 – Von Sonnen u. Sonnenstäubchen. Kosmische wanderungen. a-b. «東北大附圖本館»
- 24373 – Weltblick, Gedanken über Natur und Kunst. 1904. «東北大附圖本館»
- 24374 – Auf dem Menschenstern 1909. «東北大附圖本館»
- ~~24375~~ – Stunden im All. Naturwissenschaftliche Plaudereien 1910. a-b. «東北大附圖本館»

- 73 -

B. Nautik, Vermessungswesen.

- 24501 **Schulze**, Nautik. Kurzer Abriss des täglich an Bord von Handelsschiffen angewandten Teils der Schifffahrtskunde (S. Göschen) 1904.
- 24502 **Möller**, Nautik. A. N. u. G.
- 24701 **Bolte**, Die Praxis der Sumnerschen Standlinien an Bord.
- 24702 **Breitebestimmungen** zur See.
- 24703 **Handbuch** der nautischen Instrumente. 1890.
- 24704 do der Navigation. 1891.
- 24705 **Der Kompass an Bord**. Ein Handbuch für Führer von eisernen Schiffen: herausgegeben von der Direktion der deutschen Seewarte.
- 24706 **Instruktion** der Seewarte über die Behandlung des Kompasses an Bord eiserner Schiffe.
- 24707 **Instruktion** für die Prüfung von Schiffspositions-Laternen. 1895.
- 24708 **Das Marine-Chronometer** und seine Verwendung in der nautischen Praxis. 1894.
«陸軍中央幼年校»
- 24709 Die Methoden der Chronometer-Kontrolle an Bord zum Zwecke der Längenbestimmung.
«陸軍中央幼年校»
- 24710 **Rottok**, Die Deviationstheorie und ihre Anwendung in der Praxis. a-b.
- 24711 **Untersuchungen** über Sichtweite und Helligkeit der Schiffspositionslaternen mit besonderer Rücksicht auf die richtige Färbung der Gläser. 1894.
- 24715 **Segelhandbuch** für den stillen Ozean mit einem Atlas.
- 24716 – für den indischen Ozean mit einem Atlas.
- 24721 **Vogler**, Graphische Barometertafeln zur Bestimmung von Höhenunterschieden.
- 24725 **Koppe**, Photogrammetrie und internationale Wolkenmessung. a-b.
- 24901-02 **Vogler**, Lehrbuch der praktischen Geometrie. Bd. 1-2.
«陸軍中央幼年校»
- 24903 **v. Hiltor**, Kurze praktische Anleitung zum feldmässigen Darstellen des Terrains für jüngere Offi-

ziere und Offiziersaspiranten.

《東北大附圖本館》

24904 **Leitfaden** für den Unterricht der Feldkunde auf den Königlichen Kriegsschulen.

《東北大附圖本館》

24905 **Musterblätter** für topographische Arbeiten.

《東北大附圖本館》

Der Pilote, Beiträge zur Küstenkunde, s. VI. C.

C. Geologie, Mineralogie.

25001 **Berghaus**, Physikalischer Atlas der Geologie.

《陸軍中央幼年校》

25101 **Daubrie**, Synthetische Studien zur Experimental-Geologie.

《東北大附圖本館》

25102-03 **Haas**, Sturm- u. Drangperiode der Erde. Bd. 1-2 a-b.

25104-05 **Vogt**, Lehrbuch der Geologie und Petrefaktenkunde. Bd. 1-2.

25106 **Frech**, Aus der Vorzeit der Erde. Bd. 1-2. a. b.

25501 **Groth**, Tabellarische Uebersicht der Mineralien.

25502 **Haushofer**, Die Konstitution der natürlichen Silikate.

25503 – Leitfaden für die Mineralbestimmung.

25502 **Scheid**, Die Metalle. A. N. u. G.

25505 **Martius-Matzdorff**, Die Elemente der Krystallographie.

25506 **Müller**, Johannes, Grundzüge der Krystallographie.

25508 **Engel**, Theodor. Die wichtigsten Gesteinsarten der Erde.

《陸軍中央幼年校》⁶

Schlosser, Die fossilen Säugetiere Chinas. s. 28548.

《陸軍中央幼年校》⁷

– 74 –

25509 **M. W. Meyer**, Erdbeben und Vulkane.

《陸軍中央幼年校》

25510 – Im Bannkreis der Vulkane. Ihre Entwicklungsgeschichte in Reisebildern dargestellt. 1907.

25511 **Zacher**, Im Lande des Erdbebens (Vesuv u. Aetna 1905-8)

25549 **Doflein**, Ostasistische Dekapoden.

《陸軍中央幼年校》

25550 **Moroff**, Studien über Octocorallien (Zoologische Jahrbücher Bd. 17. Hft. 3.)

《陸軍中央幼年校》

D. Astronomie=Meteorologie=Physik=Chemie.

26001 **Arrhenius**, Des Werden der Welten. 1908.

《陸軍中央幼年校》

26002 – Die Vorstellung vom Weltgebäude im Wandel der Zeiten. 1909.

《東北大附圖本館》

26005 **Mitteilungen**, der Vereinigung von Freunden der Astronomie und kosmischen Physik 1905.

⁶ 行頭に“?”を手書す.

26006	do	1906.
26007	do	1907.
26008	do	1908.
26009	do	1909.
26010	do	1910.
26201	Breitung , mathematische Geographie. «陸軍中央幼年校»	
26202	Klein , Anleitung zur Durchmusterung des Himmels.	«東北大附圖本館»
26207	Giberne , Agnes, Sonne, Mond und Stern. a-b.	«東北大附圖本館»
26208	– Strahlende Sonnen. a-b.	«東北大附圖本館»
26209	Peter , Die Planeten. A. N. u. G.	«東北大附圖本館»
26210	Meyer, M. W. Der Mond. A. N. u. G.	«東北大附圖本館»
26211	– Kometen und Meteore.	«東北大附圖本館»
26212	– Auf der Sternwarte. Wie der Astronom zu den Resultaten seiner Forschung gelangt.	«東北大附圖本館»
26213	– Die Welt der Planeten.	«東北大附圖本館»
26214	Littrow , Wunder des Himmels. 8. Auflage. v. Weiss. 1897. «陸軍中央幼年校»	
26215	Lockyer , Die Beobachtung der Sterne, sonst und jetzt.	«東北大附圖本館»
26216-17	Müllers , Joh. Lehrbuch der Kosmischen Physik. 1894.	«東北大附圖本館»
26218	Müller , H., Die Keplerschen Gesetze.	«東北大附圖本館»
26219-20	Nel[li]son , Der Mond und Beschaffenheit und Gestaltung seiner Oberfläche. Dazu ein Atlas.	«東北大附圖本館»
26221	Schorr , Der Venusmond und die Untersuchungen über die früheren Beobachtungen dieses Mondes.	«東北大附圖本館»
26222	– Der Vorübergang der Venus vor der Sonnenscheibe am 9. Dez. 1874 u.d. Bestimmung der Entfernung der Sonne.	«東北大附圖本館»
26223	Franz , Der Mond. A. N. u. G.	«東北大附圖本館»
26224	Schott , Physische Meereskunde (S. Göschen).	«東北大附圖本館»
26225	Titus , Das Sternenzelt. <i>ab</i>	«東北大附圖本館»
26226	Neumayr , Die Erde im Weltraume. (Reclam).	
26227	Bölsche , Komet und Weltuntergang.	«東北大附圖本館»

- 26228 **Messerschmitt**, Der Sternenhommel. «東北大附圖本館»
- 26229 **Klein**, Handbuch der Allgemeinen Himmelsbeschreibung nach dem Standpunkte der astronomischen Wissenschaft am Schlusse des 19. Jahrhunderts. a-b. «東北大附圖本館»
- 26233 **Meyer**, M. W., Das Weltgebäude. «東北大附圖本館»
- 26234 **Wislicenus**, Der Kalender. A. N. u. G.
«陸軍中央幼年校»
- 75 -
- 26701 **Kopp**, Einiges über Witterungsangaben. a-c.
- 26702 **Bergholz**, Die Orkane des fernen Ostens. «東北大附圖本館»
- 26703 **Trabert**, Meteorologie (S. Göschen). «東北大附圖本館»
- 26704 **Die moderne Meteorologie**. 6 Vorlesungen, gehalten auf Veranlassung der Meteorologischen Gesellschaft zu London. 1882. «東北大附圖本館»
- 26705 **Die Orkane des Nordatlantischen Ozeans** in der letzten Woche des Januars und den ersten Wochen des Februars. 1899; hrsgeg. v. d. Direktion der deutschen Seewarte – **Knipping**, Sturmtabellen für den Atlantischen Ozean. «東北大附圖本館»
- 26706 **Abercromby**, Ralph, Das Weyyer. «東北大附圖本館»
- 26707 **Weber**, Wind und Wetter. A. N. u. G. «東北大附圖本館»
- 26708 **Giberne**, Agnes, Das Lufmeer. a-b.
«陸軍中央幼年校»
- 26709 **Köppen**, Allgemeine Klimalehre (S. Göschen). 1906. «東北大附圖本館»
- 26710 **Mohn**, H., Grundzüge der Meteorologie a-b. «東北大附圖本館»
- 26711-14 **Müller-Pouillets**, Lehrbuch der Physik u. Meteorologie.
«陸軍中央幼年校»
- 26715 **Börnstein**, Leitfaden der Wetterkunde. a-b. «東北大附圖本館»
- 26716 **van Bebbber**, Anleitung zur Aufstellung von Wettervorhersagen. «東北大附圖本館»
- 26717 **Denkschrift über die meteorologischen Beobachtungen** in Tsingtau 1905. «東北大附圖本館»
- 26719 **Alt**, Die Kälte, ihr Wesen, ihre Erzeugung. A. N. u. G. «東北大附圖本館»
- 26720 **Kassner**, Das Wetter u. seine Bedeutung. 1908.
«陸軍中央幼年校»
- 26721 **Gockel**, Das Gewitter. 2 Aufl. 1905. «東北大附圖本館»
- 26750 **Hann**, Julius, Atlas der Meteorologie. a-b.

- «陸軍中央幼年校»
 27201 **Bothe**, Physikalische Repetitorium. «東北大附圖本館»
- 27202 **Budde**, Physikalische Aufgaben für die oberen Klassen höherer Lehranstalten. «東北大附圖本館»
 «陸軍中央幼年校»
- 27203 **Blochmann**, Luft, Wasser, Licht und Wärme. Vorträge. A. N. u. G. «東北大附圖本館»
- 27204 **Fliedner**, Aufgaben aus der Physik.
 «陸軍中央幼年校»
- 27205 – Auflösungen zu den Aufgaben aus der Physik.
 «陸軍中央幼年校»
- 27206 – Lehrbuch der Physik.
 «陸軍中央幼年校»
- 27207 **Frick**, Anleitung zu Physikalischen Versuchen in der Volksschule.
 «陸軍中央幼年校»
- 27208-09 – Physikalische Technik. «東北大附圖本館»
- 27210 **Doeller**, Das Radium und die Farben. 1910.
- 27211 **Scheffer**, Das Mikroskop. A. N. u. G.
- 27212 **Landauer**, Die Spectralanalyse.
- 27213 **Graetz**, Das Licht und die Farben. A. N. u. G.
 «陸軍中央幼年校»
- 27214 **Maxwell**, Theorie der Wärme.
 «陸軍中央幼年校»
- 27215 **Mach**, Populärwissenschaftliche Vorlesungen. 3. Aufl. 1903.
 «陸軍中央幼年校»
- 27216 **Mayn**, Die absoluten mechanischen, calorischen, magnetischen, elektrodynamischen und Licht-Mass-Einheiten.
 «陸軍中央幼年校»
- 27217 **Pfaundler**, Die Physik des täglichen Lebens. 1904.
 «陸軍中央幼年校»
- 27218 **Pscheidl**, Einleitung in die praktische Physik.
 «陸軍中央幼年校»
- 27219 **Roscoe**, Die Spectralanalyse in einer Reihe von 6 Vorlesungen.
- 27220 **Börnstein-Marckwald**, Sichtbare u. unsichtbare Strahlen. A. N. u. G.
- 27221-22 **Rosenberger**, Die Geschichte der Physik.
 «陸軍中央幼年校»
- 27223 **Righi**, Die moderne Theorie der physikalischen Erscheinungen. (Radioaktivität, Ionen etc.) 2. Aufl. 1908.
 «陸軍中央幼年校»
- 27224 **Rohr**, Die optischen Instrumente. A. N. u. G.
 «陸軍中央幼年校»
- 27225 **Tyndall**, Das Licht. 6 Vorlesungen.
 «陸軍中央幼年校»
- 27226 – Der Schall
 «陸軍中央幼年校»
- 27227 – Die Wärme, betrachtet als eine Art der Bewegung.
 «陸軍中央幼年校»

- 27228 **Waltenhofen**, Die internationalen absoluten Masse, insbesondere die elektrischen Masse.
«東北大附圖本館»
- 27229 **Geigel**, Licht und Farbe.
- 76 -
- 27230 **Wiebe**, Tafeln über die Spannkraft des Wasserdampfes zwischen 76. und 101,5 Grad.
- 27231 **Wiedmann u. Ebert**, Physikalisches Praktikum.
«東北大附圖本館»
- 27232 **Zickler**, Die elektrische Minenzündung.
«東北大附圖本館»
- 27233 **Neesen**, Die Physik in gemeinfasslicher Darstellung. a-b.
«東北大附圖本館»
- 27234 **Bolte**, Leitfaden für den Unterricht in der Physik. Zum Gebrauch an Navigationsschulen. a-b.
«東北大附圖本館»
- 27235 **Donath**, Physikalisches Spielbuch für die Jugent. a-b.
«陸軍中央幼年校»
- 27236 **Richarz**, F., Neuere Fortschritte auf dem Gebiete der Elektrizität.
«東北大附圖本館»
- 27237 **Bugge**, Strahlungserscheinungen und Radioaktivität.
«陸軍中央幼年校»
- 27238 **Berghaus**, Atlas der Hydrographie. a-b.
«東北大附圖本館»
- 27240 – Atlas des Erdmagnetismus.
«陸軍中央幼年校»
- 27241 **Graetz**, Die Elektrizität und ihre Anwendungen. 10. Auflage. 1903.
«東北大附圖本館»
- 27242 **Slaby**, Glückliche Stunden. Gemeinverständliche Vorträge über Elektrizität. 1908.
«陸軍中央幼年校»
- 27243 **Nippoldt**, Erdmagnetismus, Erdstrom und Polarlicht (S. Göschen) 1903.
«陸軍中央幼年校»
- Elektrotechnik** s. bei XV.
- 27701-02 Aus **Justus Liebig**s und **Friedr. Wöhlers** Griefwechsel in den Jahren 1829-1873.
- 27703 **Pettenkofer**, Zum Gedächtnis des Dr. Justus Frhrn. von Kiebig.
- 27704 **Berzelius** und **Liebig**, Ihre Briefe von 1831-1845.
- 27705 **Klein**, Chemie, Anorganischer Teil. (S. Göschen) 1907.
«陸軍中央幼年校»
- 27706 **Rudolphi**, Allgemeine und physikalische Chemie. (S. Göschen) 1907.
«陸軍中央幼年校»
- 27707 **Löb**, Einführung in die chemische Wissenschaft. A. N. u. G.
«陸軍中央幼年校»
- 27710 **Bernthsen**, Kurzes Lehrbuch der organischen Chemie. 1896.
«陸軍中央幼年校»
- 27713 **Erdmann**, Lehrbuch der anorganischen Chemie. 1898.
«陸軍中央幼年校»
- 27714 **Fischer**, Das Studium der technischen Chemie an den Universitäten und technischen Hochschulen Deutschlands und das Chemiker-Examen.

- 27717 **Frühling**, Anleitung zur Ausführung der wichtigsten Bestimmungen bei der Bodenuntersuchung.
27718 **Heumann**, Anleitung zum Experimentieren bei Vorlesungen über anorganische Chemie.
«陸軍中央幼年校»
- 27721-23 **Hoffmann**, Zur Erinnerung an vorangegangene Freunde. 3 bde.
27724 **Ladenburg**, Vorträge über die Entwicklungsgeschichte der Chemie in den letzten hundert Jahren.
«陸軍中央幼年校»
- 27725 **Michaelis**, Einführung in die allgemeine Physik und die physikalisch-chemischen Operationen.
27726 **Mohrs**, Lehrbuch der chemisch-analytischen Titrimethode von Prof. Dr. Classen.
27728 **Naumann**, Lehr- und Handbuch der Thermochemie. 1882.
27729 **Lassar-Cohn**, Die Chemie im täglichen Leben. 5. Auflage 1905.
«陸軍中央幼年校»
- 27730 **Kümmell**, Photochemie. A. N. und G.
«陸軍中央幼年校»
- 27731 **Rau**, Die Theorien der modernen Chemie.
«陸軍中央幼年校»
- 27732 **Schorlemmers** Lehrbuch der Kohlenstoffverbindungen.
«陸軍中央幼年校»
- 27733 – Der Ursprung und die Entwicklung der organischen Chemie.
«陸軍中央幼年校»
- 27735 **Schwanert**, Hilfsbuch zur Ausführung chemischer Arbeiten.
«陸軍中央幼年校»
- 27736-37 – Lehrbuch der pharmaceutischen Chemie. Bd. 1-2. 1880.
27739 **Tiemann-Gärtner**, Handbuch der Untersuchung und Beurteilung des Wassers. 1895.
27740 **Wichelhaus**, Wirtschaftliche Bedeutung chemischer Arbeit. a-b.
27742 **Rüdorff**, Grundriss der Chemie. Für den Unterricht an höheren Lehranstalten.
«陸軍中央幼年校»

- 77 -

- ~~27743~~ **Kauffmann**, Das Radium u. die radioaktivität.
27744 **Regnault und Strecker**, Kurzes Lehrbuch der Chemie.
«陸軍中央幼年校»
- 27745 **Haushofer**, Mikroskopische reactionen.
«陸軍中央幼年校»
- 27748 **Stöckhardt**, Schule der Chemie. a-b.
«陸軍中央幼年校»
- 27749 **Abel**, Chemie in Küche und Haus. A. N. u. G.
«陸軍中央幼年校»
- 27750 **Müller**, Bilder aus der chemischen Technik.
«陸軍中央幼年校»

E. Botanik-Zoologie-Anthropologie-Physiologie, Biologie.

- 28201 **Schumann und Gilg**, Das Pflanzenreich. Ein Hand- und Nachschlagebuch. 1897.
«東北大附圖本館»
- 28202 **Francé**, Das Sinnesleben der Pflanzen.
«陸軍中央幼年校»
- 28203 do Das Liebesleben der Pflanzen.
«陸軍中央幼年校»

- 28204 do Bilder aus dem Leben des Waldes.
«陸軍中央幼年校»
- 28205 **Saporta**, Die Pflanzenwelt vor dem Erscheinen des Menschen a-b.
«陸軍中央幼年校»
- 28206 **Gisevius**, Das Werden und Vergehen der Pflanzen. A. N. u. G.
«東北大附圖本館»
- 28207 **Thomé**, Lehrbuch der Botanik.
«陸軍中央幼年校»
- 28208 **Tobler**, Kolonialbotanik. A. N. u. G.
«陸軍中央幼年校»
- 28209 **Gräbner**, Pflanzengeographie. 1909.
«陸軍中央幼年校»
- 28210 **Zippel**, Ausländische Handels- und Nährpflanzen.
«東北大附圖本館»
- 28211 **Drude**, Atlas der Pflanzenverbreitung.
«陸軍中央幼年校»
- 28212 **Jaensch**, Aus Urdas Born. Physiologische Schilderungen aus Botanik und Zoologie. 1892.
«陸軍中央幼年校»
- 28213 **Oels**, Pflanzenphysiologische Versuche, für die Schule zusammengestellt.
«東北大附圖本館»
- 28214 **Koelsch**, Von Pflanzen zwischen Dorf und Trift. Ein Buch für Schönheitssucher.
«東北大附圖本館»
- 28215 **Martens**, Die preussische Expedition nach Ostasien. Botanischer Teil.
«東北大附圖本館»
- 28216-17 **Reinhardt**, Kulturgeschichte der Nutzpflanzen der Erde. 2 Bde. 1911.
«陸軍中央幼年校»
- 28218 **Sehrwald**, Das Obst der Tropen.
«陸軍中央幼年校»
- 28221-22 **Hugo de Vries**, Die Mutationstheorie. Versuche und Beobachtungen über die Entstehung von Arten im Pflanzenreich. Bd. 1-2.
«東北大附圖本館»
- 28225 **Dodel-Port**, Illustriertes Pflanzenleben.
«陸軍中央幼年校»
- 28227 **Giesenhagen**, Unsere wichtigsten Kulturpflanzen. A. N. u. G. Bd. 10.
«東北大附圖本館»
- 28228 **Wieler**, Kaffee, Tee, Kakao und die übrigen narkotischen Aufgussgetränke. A. N. u. G.
«陸軍中央幼年校»
- 28229 **Koelsch**, Durch Heide u. Moor. (Kosmos).
«東北大附圖本館»
- 28501 **Teichmann**, Die Vererbung als erhaltende Macht.
«東北大附圖本館»
- 28503 **v. Baer**, Lebensgeschichte Cuviers.
«東北大附圖本館»
- 28504 – Nachrichten über Leben u. Schriften des Herrn Geheimrats v. Baer.
«東北大附圖本館»
- 28505 **Stieda**, Karl Ernst v. Baer. Eine biographische Skizze.
«東北大附圖本館»

- 28506 **Goldschmidt**, Die Fortpflanzung der Tiere. A. N. u. G.
«陸軍中央幼年校»
- 28507 **Keller**, Die Stammesgeschichte unserer Haustiere, A. N. u. G.
«陸軍中央幼年校»
- 28508 **Voigt**, Deutsches Vogelleben. A. N. u. G.
«東北大附圖本館»
- 28509 **Ploericke**, Die Säugetiere des deutschen Waldes.
«陸軍中央幼年校»
- 28510 do Säugetiere fremder Länder.
«陸軍中央幼年校»
- 28511 do Vögel fremder Länder.
«陸軍中央幼年校»
- 28512 do Die Vögel des deutschen Waldes.
«陸軍中央幼年校»
- 28521 **Espinas**, Die tierischen Gesellschaften.
«陸軍中央幼年校»
- 78 -
- 28522 ~~Zell, Straussenpolitik. Neue Tierfabeln~~ **Eckstein**, Der Kampf zwischen Menschen u. Tier.
- 28523 **Fleischer**, Lehrbuch der Zoologie für Landwirtschaftsschulen.
«東北大附圖本館»
- 28524 **Heller**, Die Schmarotzer.
«東北大附圖本館»
- 28525 ~~Eckstein, Der Kampf zwischen Mensch und Tier. A. N. u. G.~~ **Zell**, Straussenpolitik. Neue Tierfabeln
«陸軍中央幼年校»? «東北大附圖本館»
- 28526 **Thome**, Lehrbuch der Zoologie.
«陸軍中央幼年校»
- 28527-28 **Heck und Matschie**, Das Tierreich. 2 Bde. 1904.
«陸軍中央幼年校»
- 28530 **Knauer**, Die Ameisen. A. N. u. G.
«陸軍中央幼年校»
- 28531 **Bernhardt**, Die Schmetterlinge.
- 28532 - Die Käfer.
- 28533 **Marschall**, Atlas der Tierverbreitung.
«陸軍中央幼年校»
- 28534 **Werner**, Ueber Reptilien und Batrachier aus Guatemala und China. 1903.
«陸軍中央幼年校»
- 28535 **Rosevelt**, Robert Barnwell, Florida and the Game, Water-Birds of the Atlantic coast and the lakes of the United States.
«東北大附圖本館»
- 28536-37 **Wächter**, Methodischer Leitfaden für den Unterricht in der Tierkunde.
«東北大附圖本館»
- Brehms Tierleben:**
- 28538-40 - Vögel.
«陸軍中央幼年校»
- 28541 - Kriechtiere und Lurche.
«陸軍中央幼年校»
- 28542 - Fische

- «陸軍中央幼年校»
 28543 – Insekten.
 «陸軍中央幼年校»
 28544 – Niedere Tiere.
 «陸軍中央幼年校»
 28545-47 – Säugetiere Bd. 1-3.
 «陸軍中央幼年校»
 28548 **Schlosser, Max**, Die fossilen Säugetiere Chinas nebst einer Odontographie der recenten Antilopen.
 «東北大附圖本館»
 28549 **Haacke**, Bau und Leben des Tiere. A. N. u. G. Bd. 3.
 «陸軍中央幼年校»
 28550 **Janson**, Meeresforschung und Meeresleben. A. N. u. G.
 «陸軍中央幼年校»
 28551 **Maeterlinck**, Das Leben der Bienen.
 «陸軍中央幼年校»
 28552 **Kellen**, Bienenbuch.
 «陸軍中央幼年校»
 28553 **Francé**, Streifzüge im Wassertropfen.
 «東北大附圖本館»
 28554-55 **v. Martens**, Die preussische Expedition nach Ostasien. Zoologischer Teil. Bd. 1-2.
 «東北大附圖本館»
 28556 **Teichmann**, Fortpflanzung und Zeugung.
 «東北大附圖本館»
 28557 **Sajo**, Krieg und Frieden im Ameisenstaat. a-b.
 «東北大附圖本館»
 28558-60 **Marschall**, Spaziergänge eines Naturforschers. 4. Auflage. 3 Bde.
 «陸軍中央幼年校»
 28561 **Hagenbeck**, Von Tieren und Menschen. Erlebnisse und Erfahrungen. 1908.
 «陸軍中央幼年校»
 28562 **Leonhardt und Schwarze**, Das Sammeln, Erhalten und Aufstellen der Säugetiere und Vögel.
 «東北大附圖本館»
 28564 **Sajo**, Unsere Honigbiene.
 «東北大附圖本館»
 28565 **Floericke**, Kriechtiere und Lurche Deutschlands.
 «東北大附圖本館»
 28566 **Eggebrecht**, Untersuchungen über die Rinderpest in Ostasien. 1909.
 «東北大附圖本館»
 28567 **Gutzeit**, Die Bakterien in der Natur und im Haushalt des Menschen. A. N. u. G.
 «陸軍中央幼年校»
 28568 **Bach**, Wunder der Insektenwelt. 5. Aufl. Neu bearbeitet von Brockhausen. 1907.
 «陸軍中央幼年校»
 28800 **Bentivegni**, Anthropologische Formeln für das Verbrechertum.
 28801 **Reich**, Beiträge zur Anthropologie u. Physiologie.
 «陸軍中央幼年校»
 28802 **Kreibig**, Die fünf Sinne des Menschen.
 «陸軍中央幼年校»
 28803 **Tylor**, Einleitung in das Studium der Anthropologie u. Civilisation.

- «[∇]陸軍士官校»•«陸軍中央幼年校» «埼玉熊谷圖»
 28804 **Zander**, Vom Nervensystem. A. N. u. G.
 «陸軍士官校»
 28805 **Cladd**, Edward, Die Kindheit der Welt.
 «[∇]陸軍士官校»
 28806 **Mantegazza**, Physiologie der Lieben.
 «[∇]陸軍士官校»
 28807 **Gerland**, Atlas der Völkerkunde. a-b.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉熊谷圖»
 28808 **Flammarion**, Die Rätsel des Seelenlebens.
 «[∇]陸軍士官校»

- 79 -
 28809 **Hennig**, Der moderne Spuk- und Geistglaube. 1906.
 «[∇]陸軍士官校»
 28810-12 **Ratzel**, F., Völkerkunde.
 «[∇]陸軍士官校»
 28816-17 **Ranke**, Johannes, Der Mensch. Bd. 1-2.
 «陸軍中央幼年校»
 28818 **Heilborn**, Der Mensch (Anthropologie). A. N. u. G.
 «[∇]陸軍士官校»
 28819 **Haberer**, Schädel und Skeletteile aus Peking. Bd. 1.
 «[∇]陸軍士官校»
 28820 **Brankenhoft**, Beisetzung der Aschenüberreste Feuerbestatteter.
 «[∇]陸軍士官校»
 28821 **Bölsche**, Die Menschen der Vorzeit. Teil I: Der Mensch in der Tertiärzeit und im Diluvium.
 «陸軍中央幼年校»
 28825 **Dekkert**, Naturgeschichte des Kindes.
 «[∇]陸軍士官校»
 28826 **Gaupp**, Psychologie des Kindes. A. N. u. G.
 «[∇]陸軍士官校»
 29203 **Huxley**, Ueber unsere Kenntnis von den Ursachen der Erscheinungen in der organischen Natur.
 «[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
 29204 - In Amerika gehaltene wissenschaftliche Vorträge nebst einer Vorlesung über das Studium der
 Biologie.
 «[∇]陸軍士官校»
 29205 - Zeugnisse für die Stellung des Menschen in der Natur.
 «[∇]陸軍士官校»
 29206-7 **Häckel**, Natürliche Schöpfungsgeschichte. 2 Bde. 1902.
 «[∇]陸軍士官校»
 29208 **Dekker**, Auf Vorposten im Lebenskampf. Biologie der Sinnesorgane. Bd. I. Fühlen und Hören.
 «[∇]陸軍士官校»
 29211 **Kräpelin**, Einführung in die Biologie. 2. Aufl. 1909.
 «陸軍中央幼年校»
 29212 **Parker**, Vorlesungen über elementare Biologie.
 «陸軍中央幼年校»
 29214 **Crepieur-Jamir**, Die Graphologie und ihre praktische Anwendung.
 «[∇]陸軍士官校»

- 29215 **Ranke**, Das Blut.
 «陸軍士官校»
- 29220-21 **Darwin**, Charles, Die Abstammung des Menschen und die geschlechtliche Zuchtwahl a-b (Ausgabe in einem Bande; Reclam).
 «陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 29222 – Die Entstehung der Arten durch natürliche Zuchtwahl,
 «陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 29223 **Fischer**, J. G., Das Prinzip des Wechsels im Bildungsgange der Organismen.
 «陸軍士官校»
- 29224 **Hesse**, Abstammungslehre und Darwinismus. A. N. u. G.
 «陸軍士官校»
- 29225 **Bernstein**, A., Naturkraft und Geisteswalten.
 «陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 29226 **Lombroso**, Genie und Irrsinn in ihren Beziehungen zum Gesetz, zur Kritik und zur Geschichte.
 a-b.
 «陸軍士官校»
- 29227 **Du Prel**, Der Spiritismus.
 «陸軍士官校»
- 29228 **Preyer**, W., Ueber die Ursache des Schlafes.
 «陸軍士官校»
- 29230 **Brillat-Savarin**, Physiologie des Geschmacks oder physiologische Anleitung zum Studium der Tafelgenüsse. a-b.
 «陸軍士官校»

XI.: Medizin.

- 29501 **Gerhardt**, Edward Jenner und die Kuhpockenimpfung.
- 29502 **Biernatzki**, Die moderne Heilwissenschaft, ihr Wesen und ihre Grenzen. A. N. u. G.
- 29503 **Bartels**, Max, Die Medizin der Naturvölker. Ethnologische Beiträge zur Urgeschichte der Medizin.
- 29504 **Fürst**, Der Arzt. Seine Stellung und seine Aufgaben im Kulturleben der Gegenwart. A. N. u. G. 1909.
- 29505 **Engel**, Klima und Gesundheit. Vortrag.
 «陸軍被服本廠»
- 29550 **Bock**, Das Buch vom gesunden und kranken Menschen. 17. Auflage. Neu bearbeitet von Camerer. 1904.
- 29551 **Fiedler**, und **Blochwitz**, Der Bau des menschlichen Körpers nebst Hinweisungen auf die Gesundheitspflege.
 «陸軍被服本廠»

– 80 –

- 29552 **Thomé**, Der Mensch, sein Bau und sein Leben.
 «陸軍中央幼年校»
- 29553 **Karpinski**, Studien über künstliche Glieder.
- 29554 – Atlas zun den Studien über künstliche Glieder.
- 29555 **Effertz**, Studien über Hysterie, Hypnotismus und Suggestion. 1894.
- ~~29556~~ **Maack**, Zur Einführung in das Studium des Hypnotismus. 1888.
- 29601 **Baginsky**, Die hygienischen Grundzüge der mosaischen Gesetzgebung.
- 29602 **Berger**, Die Infektionskrankheiten. Ihre Abwehr und Unterdrückung.
- 29603 **Dornblüth**, Gesundheitspflege in Haus und familie.

«陸軍被服本廠»

29604 **Fodor**, Das gesunde Haus und die gesunde Wohnung.

«陸軍被服本廠»

29605-06 – Hygienische Untersuchungen über Luft, Boden und Wasser auf ihre Beziehung zu epidemischen Krankheiten.

«陸軍被服本廠»

29607 **Gebhardt und Hampe**, Die Erbauung von Heilstätten für Lungenkranke.

29608 **Frentzel**, Ernährung und Volksnahrungsmittel. A. N. u. G.

29609 **Hornemann**, Hygienische Abhandlungen.

~~29610~~ **J. P. Müller**, Mein System (15 Minuten tägliche Arbeit für die Gesundheit.)

29611 **Niemeyer**, Gesundheitslehre des menschlichen Körpers.

29612 **Roechling**, Technische Einrichtungen für Wasserversorgung und Kanalisation in Wohnhäusern.

29613 **Wollny**, Ueber die Tätigkeit niederer Organismen im Boden.

29614 **Lehmann-felskowski**, Die hohe See als Luftkurort.

29615 **Russ**, Das Malariafieber.

29616 **Däubler**, Karl, Die Grundzüge der Tropenhygiene. 1895.

«陸軍被服本廠»

~~29617~~ **Eydam**, W., Gesundheitslehre für Haus und Schule. a-b.

~~29618~~ **Prausnitz**, W., Grundzüge der Hygiene.

29619 **v. Kerschensteiner**, Krankenhäuser für kleinere Städte und ländliche Kreise. a-b.

29620 **Meyer**, F. Andreas, Die städtische Verbrennungsanstalt für Abfallstoffe am Bullerdeich in Hamburg. a-b.

29621 **Buchher**, Acht Vorträge aus der Gesundheitslehre A. N. u. G. Bd. 1.

29622 **Parreidt**, Die Zähne und ihre Pflege.

29623 **Gerber**, Die menschliche Stimme und ihre Hygiene. A. N. u. G.

29624 **Hansemann**, Der Aberglaube in der Medizin und seine Gefahr für Gesundheit und Leben. A. N. u. G.

29625 **Abelsdorff**, Das Auge des Menschen und seine Gesundheitspflege.

29626 **Koch**, (Prof. Dr. Robert), Ueber meine Schlafkrankenheitsexpedition in Ostafrika. Vortrag. 1908.

29627 **Kohlstock**, Ratgeber für die Tropen. 2. Aufl. 1905.

~~29628~~ **Schumburg**, Die Geschlechtskrankheiten. A. N. u. G.

29629 **Jäger**, Das menschliche Gebiss, seine Erkrankung und Pflege. A. N. u. G.

29630 **Trömner**, Hypnotismus und Suggestion. A. N. u. G.

29631 **Mayer**, Heizung und Lüftung. A. N. u. G.

29632 **Rosin**, Herz, Blutgefäße und Blut und deren Erkrankungen. A. N. u. G.

29633 **Loehlein**, Die Krankheit erregenden Bakterien. A. N. u. G.

29634 **David**, Körperliche Verbildungen im Kindesalter u. ihre Verhütung. A. N. u. G.

«陸軍被服本廠»

29701 **Liebig**, Die Bergkrankheit.

29702 **Murchison**, Die typhoiden Krankheiten.

– 81 –

29703 **Wichmann**, Der Wert der Symptome der sogenannten traumatischen Neurose und Anleitung zur Beurteilung der Simulation von Unfall – Nervenkrankheiten.

29706 **Möbius**, Paul F., Das Nervensystem des Menschen und seine Erkrankungen.

29707 **Sachs**, Willy, Die Kohlenoxyd-Vergiftung in ihrer klinischen hygienischen und gerichtsarztlichen Bedeutung. a-b.

«陸軍被服本廠»

- 29708 **Holtz**, Der Tisch für Gicht- und Rheumatismuskranken einschliesslich der Ebsteinschen und Schwennigerschen Entfettungstheorie.
- 29751 **Caningham**, Die Cholera. was kann der Staat tun, sie zu unterdrücken?
- 29752 **Pettenkofer**, Verbreitungsart der Chilera in Indien.
- 29761 **Heller**, Verhütung der Tuberkulose.
- 29762 **Schumburg**, Die Tuberkulose. A. N. u. G.
- 29771 **Breudel**, Der Alkohol, ein Völkergift.
- 29772 **Bode**, Wilhelm, Kurze Geschichte der Trinksitten und Mässigkeitbestrebungen in Deutschland.
- 29773 **Herkner**, Alkohlismus und Arbeiterfrage.

«陸軍被服本廠»

- 29780 **Tuczeck**, Aertzliches zur Trunksuchtsfrage.
- 29781 **Wieselgren**, Der Branntwein im Programm der Arbeiterringe.
- 29801 **Roth**, Das Militär- und Marine-Sanitätswesen. a-b.
- 29802 – Die Aufgaben des Armeegesundheitsdienstes.
- 29803 – Das Militär- und Marine-sanitätswesen auf der Allgemeinen Deutschen Ausstellung für Hygiene und Rettungswesen zu Berlin 1883.
- 29805 **Uthemann und Fürth**, Tsingtau. Ein kolonialhygienischer Rückblick auf die Entwicklung des deutschen Kiautschougebietes. 1911.
- 29807 **Roth**, Wilhelm, Die Aufgaben des Armeegesundheitsdienstes. a-b.
- 29851 **Pettenkofer**, Populäre Vorträge. *ab*
- 29852 **Sperling**, Medizinische Streiflichter.
- 29853 **Strantz**, Das internationale Rote Kreuz
- 29854 **Leick**, Krankenpflege. A. N. u. G.
- ~~29861~~ **Alberts**, C., Die erste Hilfe bei Unfällen vor Ankunft des Arztes.
- 29862 **Greven**, Die erste Hilfe bei plötzlichen Unglücksfällen. a-b.
- 29869 **Ebstein**, Die Kunst, das menschliche Leben zu verlängern. 1891.
- 29870 **Hufeland**, Makrobiotik oder die Kunst, das menschliche Leben zu verlängern.
- 29871 **Koch**, Robert, Aertzliche Beobachtungen in den Tropen, Vortrag. ~~a-b~~.
- 29872 **Medicus**, Dr., Was sich in einem Menschenmagen bei Tage und bei Nacht zugetragen.
- 29874 **Vormeng**, K., Wie Fritz Mediziner ward. ~~a-b~~ *abcd*.
- 29875 **Meyer**, Sanitäre Einrichtungen in London, mit besonderer Berücksichtigung des Rettungs- und Kranken-Transportwesens. a-b.
- 29876 **v. Liebig**, Der Luftdruck in den pneumatischen Kammern und auf Höhen. a-b. 1898.
- 29877 **Rumpe**, R., Wie das Volk denkt. Allerlei Anschauungen über Gesundheit und Kranksein.
- 29901 **Müller**, Robert, Uebersichtstafeln zur Krankenpflege a-b.

– 82 –

XII.: Deutsche Literatur einschliesslich der nordischen und holländischen Übersetzungen.

A. Literaturgeschichte-Lebensbilder-Erinnerungen-Tagebücher-Briefe-Gespräche und Reden.

- 30001 **Schönbach**, Ueber Lesen und Bildung. 7. Auflage. 1905.
- 30002 **Schultz**, Vom Meisterbuch. Eine grundlegende Literaturbetrachtung. 1905.
- 30003-4 **Hauser**, Weltgeschichte der Literatur. 2 Bde. 1910.

«^v陸軍士官校»

- 30011 **Bötticher und Kinzel**, Geschichte der deutschen Literatur.
 «^Y陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 30012-17 **Hettner**, Literaturgeschichte des 18. Jahrhunderts. Bd. 1-6. a-c
 «陸軍士官校»
- 30018 do **Kleine Schriften zur Literatur und Kunst.**
 «陸軍士官校»
- 30019-21 **Sonnenburg**, Die Heroen der deutschen Literatur. Bd. 1-3. a-b.
- 30022 **R. Meyer**, Die deutsche Literatur des XIX. Jahrhunderts. 1906.
 «^Y陸軍士官校»
- 30023-24 **Stern**, Studien zur Literatur der Gegenwart Biographische Essays. 2 Bde. 1905.
 «^Y陸軍士官校»
- ~~30025-26~~ **Engel**, Geschichte der deutschen Literatur. 2. Bde. 4. Auflage 1908.
- 30027 **Busse**, Das Drama. A. N. u. G. Bd. I. Von der Antike bis zum französ. Klassicismus.
- 30031 **Boyesen**, Ein Kommentar zu Goethes Faust.
 «^Y陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 30032 **Brümmer**, Lexikon der deutschen Dichter und Prosaisten von den ältesten Zeiten bis zum Ende
 des 18. Jahrhunderts.
 «^Y陸軍士官校»
- 30033-34 – **Lexikon der deutschen Dichter und Prosaisten des 19. Jahrhunderts B. 1-2.**
 «^Y陸軍士官校»
- 30035 **Siecke**, Ernst, Ueber die Bedeutung der Grimmschen Märchen für unser Volkstum.
 «^Y陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 30036 **Mensch**, Literarisches Konversationslexikon für jedermann. a-b.
 «^Y陸軍士官校»
- ~~30037~~ **Wurzbach**, G. A. Bürger. Sein Leben und seine Werke. 1900.
- 30038 **Stern**, Fünfzig Jahre deutsche Prosa.
 «陸軍士官校»
- 3003- **– Dichtung.**
- 30040 **Bartels**, Adolf, Klaus Groth. Zu seinem 80. Geburtstage.
- 30041 **Schlau**, Frenssen's Roman: Jörn Uhl, seine Wirkung und sein Wert.
- 30042 **Jähns**, Der Vaterlandsgedanke und die Deutsche Dichtung. a-b.
- 30043 **Borinski**, Das Theater, sein Wesen und seine Geschichte A. N. u. G.
- 30044 **G. Freitag**, Die Technik des Dramas.
«東京外大附圖»
- ~~30045~~6-47 **Saint-Victor**, Die beiden Masken: Tragödie und Komödie, übersetzt von Carmen Sylva. 3 Bde.
 1900.
- 30048 **Burggraf**, Goethe und Schiller im Werden der Kraft. 1902.
- 30049 **Stein**, Goethe und Schiller. Beiträge zur Aesthetik ihrer Werke.
- 30050 **W. v. Humboldt**, Aesthetische Versuche über Hermann und Dorothea.
- ~~30051-52~~ **Bartels**, Adolf, Geschichte der deutschen Literatur. Bd. 1-2.
- 30053-54 **Vogt und Koch**, Geschichte der deutschen Literatur. 2. Aufl. 2 Bde. 1904.
 «^Y陸軍士官校»
- 30055 **Harnack**, Otto, Essays und Studien zur Literaturgeschichte. a-b.
- 30056 **Witkowski**, Das deutsche Drama im XIX. Jahrhundert A. N. u. G.
 «^Y陸軍士官校»
- 30057 **Litzmann**, Das deutsche Drama der Gegenwart. Hamburg 1897.

- «^V陸軍士官校»
- 30058 do Goethes Lyrik. Erläuterungen nach künstlerischen Gesichtspunkten. Berlin 1903.
- 30059 **Lublinski**, Der Ausgang der Moderne. 1909.
- 30060 **Strindberg**, Das rote Zimmer. Aus dem schwedischen Schriftstellerleben.
- 30061 **Kahle**, Jbsen, Björnson und ihre Zeitgenossen. A. N. u. G.
- 30062 **Harden**, Maximilian, Köpfe (Zeitgenössische Charakteristiken) 1910.
- 30380 **Göring**, Lessings Leben.
- «^V陸軍士官校»
- 30381-82 **Schmidt**, Erich, Lessing. Geschichte seines Lebens und seiner Schriften. 3. Aufl. 2 Bde. 1909.
- «^V陸軍士官校»
- 30390-91 **Bielschowsky**, Goethe, Sein Leben und seine Werke. 2 Bde.
- «^V陸軍士官校»
- 30392-93 **Grimm**, (Hermann). Goethe, Vorlesungen an der Berliner Universität. 2 Bde. 8. Auflage 1903.
- «^V陸軍士官校»
- 30397-98 **Berger**, Schiller. Sein Leben und seine Werke. 5. Aufl. 2 Bde. 1910.
- «^V陸軍士官校»
- 30399 **Kühnemann**, Schiller. München 1905.
- «^V陸軍士官校»
- 30400 **von Wolzogen**, Schillers Leben.
- «^V陸軍士官校»
- 30401 **Baas**, Schiller¹⁾s Jugendjahre.
- «^V陸軍士官校»
- 30402 **Auberlen**, Schleiermacher.
- «^V新潟高»*
- 30403-04 **Palleske**, Schillers Leben und Werke. Bd. 1-2.
- «^V陸軍士官校»
- 30405 **Marbacher Schillerbuch**, Zur 100. Wiederkehr von Schillers Todestag. Herausgegeben vom Schwäbischen Schillerverein. Stuttgart 1905.
- 30406 **Sulger-Gebing**, Gerhart Hauptmann. A. N. u. G.
- «^V新潟高»*
- 30407 **Woerner**, Gerhart Hauptmann.
- «^V新潟高»*
- 30408 **v. Embden**, Heinrich Heines Familienleben.
- «^V新潟高»*
- 30409 **Bartels**, Heinrich Heine. Auch ein Denkmal, 1906.
- «^V新潟高»*
- 30410 **Krickeberg**, Heinrich von Stephan. a-b.
- «^V新潟高»*
- 30411 **von der Trenck**, Merkwürdige Lebensgeschichte. a-b.
- «^V新潟高»*
- 30412 **Phillippi**, Charlotte, Die Familie Schönberg-Cotta. Ein Charakter- und Sittengemälde.
- «^V新潟高»*
- 30413 **Remer**, Detlev von Liliencron.
- «^V新潟高»*
- 30415-17 **Perthes**, Clemens Theodor, Friedrich Perthes Leben. Bd. 1-3.
- «^V新潟高»*
- 30418 **v. Varnhagen**, Fürst Leopold von Anhalt-Dessau.
- «^V新潟高»

«埼玉大圖»

- 30419 **Enzberg**, Fridtjof Nansen. a-b.
 «[∨]新潟高»*
- 30421 **Frobenius**, Alfred Krupp. a-b.
Perbandt, Richelmann und Schmidt, Hermann von Wissmann. ein Leben und Wirken, siehe VII. 9381.
 «[∨]新潟高»*
- 30425 **v. Schubert**, Heinrich Barth der Bahnbrecher der deutschen Afrikaforschung. a-b.
 «[∨]新潟高»*
- 30427 **Zernin**, Das Leben des Kgl. Preuss. Generals der Infanterie von Goeben.
 «[∨]新潟高»*
- 30428 **Grün**, Nikolaus Lenau. Lebensgeschichtliche Umriss.
 «[∨]新潟高»*
- 30430 **v. Natzmer**, Kaiser Wilhelm I., die Prinzess Elise Radziwill und Augusta. a-b.
 «[∨]新潟高»*
- 30431 **Hirschberg**, Ein deutscher Seeoffizier.
 «[∨]新潟高»*
- 30432-33 **Leyser**, Joachim Heinrich Campe. Bd. 1-2.
 «[∨]新潟高»*
- 30434 **Gauss**, Ein Umriss seines Lebens u. Wirkens.
 «[∨]新潟高»*
- 30435 **Storck**, Otto von Leixner.
 «[∨]新潟高»*
- 30436 **Merkel**, Jacob Henle. Ein deutsches Gelehrtenleben.
 «[∨]新潟高»*
- 30437 **Mathesius**, Luthers Leben.
 «[∨]新潟高»*
- ~~30438~~ **Heyck**, Luther (Monogr. z. Weltgeschichte).
 30439-40 **Hausrath**, Luthers Leben. 2 Bde. 1905. (s. a. II. VII. c).
 «[∨]新潟高»*
- 30441 **Freitag**, G. Doktor Luther.
 «[∨]新潟高»*
- 84 -
- 30442-44 **Rade**, M., Luthers Leben.
 «[∨]新潟高»*
- 30445 **Boehmer**, Luther im Lichte neuerer Forschung. A. N. u. G.
 «信州大松本圖»[?]
- 30446 **Schmoller**, Gustav, **Lenz**, Max, **Marcks**, Erich, Zu Bismarcks Gedächtnis.
 «信州大松本圖»
- 30447 **Sonnenburg**, Fürst Bismarck.
 «信州大松本圖»[?]
- 30448 **Heyck**, Bismarck. Eine Biographie.
 «信州大松本圖»
- 30448 **Heyck**, Bismarck. Eine Biographie.
- 30449 **Marcks**, Bismarck. Eine Biographie. Bd. I. (Jugendzeit bis 1848) 1909.

⁷ “Kiautschou Bibliothek XII A 30833”(井出・須田2001., 138頁).

- «東京外大附圖»
- 30456 **Auerbach**, Spinoza. Ein Denkerleben.
- 30457 **v. Wagner**, Johann von Schwarzenberg. Ein Lebens- und Geschichtsbild aus dem 15. und 16. Jahrhundert. a-b. «信州大松本圖»
- 30459 **Gensichen**, Das Haidenröslein von Sesenheim. *ab* «信州大松本圖»
- 30460 **Düringsfeld**, Jda von, das Buch denkwürdiger Frauen. Lebensbilder u. Zeitschilderungen. 1906.
- 30470 **Marcks**, Erich, Kaiser Wilhelm I. «信州大松本圖»
- 30475 **Münz**, Moderne Staatsmänner. Biographien und Begegnungen. «信州大松本圖»
- 30476 **Neumann** (Angelo), Erinnerungen an Richard Wagner. «信州大松本圖»
- 30478 **Seuron**, Anna, Graf Leo Tolstoi. a-b. «信州大松本圖»
- 30800 **Jung-Stilling**, Lebensgeschichte, von ihm selbst erzählt. «信州大松本圖»
- 30801 **v. Kügelgen**, Jugenderinnerungen eines alten Mannes. a-b. «信州大松本圖»
- 30802 **Haase**, (Friedrich), Was ich erlebte. 1846-96. 2. Auflage. «信州大松本圖»
- 30803 **v. Siemens**, Werner. Lebenserinnerungen. «信州大松本圖»
- 30804 **Moleschott**, Georg Forster, der Naturforscher des Volkes. a-b. «信州大松本圖»
- 30805 **Lübke**, W., Lebenserinnerungen.
- 30806 **Richter**, (Ludwig), Lebenserinnerungen eines deutschen Malers.
- 30807 **Bülow**, Der arme Mann im Tockenburg. «信州大松本圖»
- 30808 **Arndt**, Ernst Moritz, Erinnerungen aus dem äusseren Leben. a-b. «信州大松本圖»
- 30809 **Freytag**, Gustav, Erinnerungen aus meinem Leben. «信州大松本圖»
- 30810 **Schurz** (Karl) Lebenserinnerungen Bd. I. (Bis 1852.) Berlin 1906. «信州大松本圖»
- 30813-14 **Nolte**, 50 Jahre in beiden Hemisphären. Bd. 1-2. «信州大松本圖»
- 30815 **v Renonard**, Erinnerungen eines alten Rosslebens aus den Jahren 1838-1842. «信州大松本圖»
- 30816 **Loe** (F. von, Generalfeldmarschall), Erinnerungen aus meinem Berufsleben 1849-67. «信州大松本圖»
- 30817 **Isenbeck**, Wandlungen. Aus den Papieren eines preussischen Offiziers. a-b.
- 30818-19 **Dürckheim**, Graf Ferdinand, Erinnerungen aus alter und neuer Zeit. «信州大松本圖»
- 30820 **von Hülsen**, Unter Friedrich dem Grossen. «信州大松本圖»
- 30821 **do** Unter zwei Königen, Erinnerungen an Botho von Hülsen 1851-1886.

- «信州大松本圖»
- 30822 **K. G. M.** Aus Osterreichs Kadetten- und Leutnantszeit. 2 Bde.
«信州大松本圖»
- 30823-24 **Magister Laukhards Leben und Schicksale** (1758-1822), von ihm selbst beschrieben. Bearbeitet von Petersen. 2 Bde. 1908. *ab*
«信州大松本圖»
- 30825-26 **v. Bismarck, Otto**, Gedanken und Erinnerungen. Bd. I. a-b. Bd. 2.
«信州大松本圖»
- 30827 **Stosch**, (A. von) Denkwürdigkeiten. 1904.
«信州大松本圖»
- ~~30828~~ **Rosen**, In der Fremdenlegion. Erinnerungen u. Einfrücke. 5. Aufl.
30829 **Göhre**, Lebensgeschichte eines modernen Fabrikarbeiters.
30830-33 **Hohenlohe-Ingelfingen** (Prinz Kraft zu), Aus meinem Leben 1848-1871. 4 Bände. Berlin 1897.
«信州大松本圖»
- 30834 **von Mittnacht**, Erinnerungen an Bismarck. 1904.
«信州大松本圖»
- von Moltke**, Gesammelte Schriften.
30835 – Bd. I. Zur Lebensgeschichte.
«信州大松本圖»
- 30836 – Bd. II. Vermischte Schriften.
«信州大松本圖»
- 30837 – Bd. III. Geschichte des deutsch-französischen Krieges von 1870-71. a-b.
«信州大松本圖»
- 85 –
- 30838 – Bd. IV. Briefe; erste Sammlung, an seine Mutter u. an seine Brüder Adolf u. Ludwig.
«信州大松本圖»
- 30839 – Bd. V. Briefe; zweite Sammlung und Erinnerungen an ihn.
«信州大松本圖»
- 30840 – Bd. VI. Briefe; dritte Sammlung an seine Braut und Frau.
«信州大松本圖»
- 30841 – Bd. VII. Reden (Nebst einem Sachregister zu Band I bis VII).
«信州大松本圖»
- 30853-54 **Hohenlohe-Schillingsfürst**, Fürst Chlodwig zu, Denkwürdigkeiten. 2 Bde. 1907. a. b.
«山口大總圖»
- 30855 **Haym**, Rudolf, Aus meinem Leben. Erinnerungen.
30856 **Pietsch**, Aus Heimat und Fremde. Erlebtes und Gesehenes.
30857-58 **Eyth**, Der Kampf um die Cheopsyramide. Geschichten aus dem Leben eines Ingenieurs. 2 Bde.
«山口大總圖»
- 30859-61 do Im Strom unserer Zeit. Aus Briefen eines Ingenieurs. 3 Bde.
«山口大總圖»
- 30862 **Bamberger**, (Ludwig), Erinnerungen. 1899.
30863 **Simson**, (Eduard von), Erinnerungen aus seinem Leben. 1900.
30864 **Blumenthal**, (G. von Generalfeldmarschall), Tagebücher von 1866 und 1870.
«山口大總圖»
- 30865 **Catharine, Prinzessin Radziwill**, Meine Erinnerungen (1858-1905) 4. Auflage.
30866 **Racowitza** (Helene von Doenniges), Von andern und mir. Erinnerungen aller Art. 2. Aufl. Berlin.

- 1909.
- 30867 **Bebel** (August) Aus meinem Leben. Teil I. «山口大總圖»
- 30870-71 **Wagner**, Richard, Mein Leben. Erinnerungen. 2 Bde. 1911.
- 30872-73 **Lang**, K. H., Ritter von, Aus der bösen alten Zeit. Lebens Erinnerungen. 2 Bde. «山口大總圖»
- 30874 **Bismarck**, Hedwig von, Erinnerungen aus dem Leben einer Fünfundneunzigjährigen. 11. Aufl. 1910.
- 30875 **Clefeld**, Der philosophierende Vagabund. a-b. «山口大總圖»
- 31201 **Schiller** und **Goethe**, Briefwechsel in den Jahren 1804-0805.
- 31202 **Goethe**, Briefe von seiner Mutter.
- 31208 **Voss**, Heinrich der Jüngere, Goethe und Schiller in Briefen.
- 31209 v. **Arnim**, Bettina, Goethes Briefwechsel mit einem Kinde. a-b.
- 31210-11 **Goethe**, Briefe. Bd. 1-2. Herausgegeben von Eduard v. Hellen.
- 31220 **Geiger**, Briefe der Elisabeth Charlotte von Orleans.
- 31221 **Fürst Bismarcks** Briefe an seine Braut und Gattin. Herausgeb. v. Herbert v. Bismarck. «山口大總圖»
- 31222 **Bismarckbriefe**. a-b. «山口大總圖»
- 31223 Aus **Bismarcks** politischem Briefwechsel. «山口大總圖»
- 31224 **Schmidt-Hennigker**, Bismarck-Aneckdoten. «山口大總圖»
- 31225 **Lasalle's** Briefe an Georg Herwegh. 1896. «山口大總圖»
- 31226 **Bismarcks** Briefe an seine Gattin aus dem Kriege von 1870-71. «山口大總圖»
- Liebesbriefe berühmter Männer und Frauen.**
- 31236 do I. Napoleon an Josefine.
- 31237 do II. Schiller an Lotte.
- 31238 do III. George Sand an Alfred de Mussel.
- 31239 do IV. Kleist an seine Braut.
- 31240 Aus bewegter Zeit! Briefe aus dem Nachlass des General **von Dittfurth**, 1810-15. a-b. «山口大總圖»
- ~~31245~~ Briefe eines Frauenzimmers aus dem 15. Jahrhundert.
- 31247 **Hettner**, Georg Forsters Briefwechsel mit G. Th. Sommerring. «東京外大附圖»
- 31249 **Rindfleisch**, Heinrich, Feldbriefe. 1890-91. «東京外大附圖»
- 31250-51 **Anzengrubers Briefe**, herausgegeben von Bettelheim. 2 Bde. 1902. «東京外大附圖»
- 31296 **Moltke** in seinen Briefen. Mit einem Lebens- und Charakterbild[e] des Verewigten. «東京外大附圖»
- 31297 v. **Moltke**, Briefe aus Russland. «東京外大附圖»

- 31298 **v. Moltke**, Briefe über Zustände und Begebenheiten in der Türkei aus den Jahren 1835-39. a-b.
«東京外大附圖»
- 31299 **Richard Wagner an Mathilde Wesendonk**, Tagebuchblätter und Briefe 1853-1871. Berlin 1904.
«東京外大附圖»
- 31310 **Luther**, Martin, Sendbrief vom Dolmetschen und drei andere Schriften weltlichen Inhalts.
«東京外大附圖»
- 31601 **Dr. Martin Luthers** Tischreden.
«東京外大附圖»
- 31602 **Kernworte**, unsers Alt-Kanzlers.
«東京外大附圖»
- 31605 **v. Leixner**, Otto, Aus meinem Zettelkasten. Spruch aus dem Leben für das Leben.
«東京外大附圖»
- 31610 **Rieck-Gerolding**, Gelehrter Zecher goldenes Alphabet.
«東京外大附圖»
- 31615 **v. Schönthan**, Kindermund. Aussprüche und Szenen aus dem Kinderleben.
«東京外大附圖»
- 31620 **Eckermann**, Gespräche mit Goethe in den letzten Jahren seines Lebens. (Reclam).
«東京外大附圖»
- 31621-23 – Gespräche mit Goethe in den letzten Jahren seines Lebens. (Brockhaus).
«東京外大附圖»
- 31624 **Goethes Unterhaltungen** mit dem Kanzler von Müller.
«東京外大附圖»
- ~~31630~~ **Voneisen**, Franz, Liebesbrevier. Gesammelte Aphorismen über Frauen, Liebe und Ehe.
- ~~31635~~ **Freund**, Rätselschatz.
- 31636 **Räuber**, R., Litterarische Salzkörner.
«東京外大附圖»
- 31637 **Fried**, Lexikon deutscher Citate.
«東京外大附圖»
- Fürst Bismarck**, Reden s. VIII. C. 15849. ff.
Kaiser Wilhelm II. Reden s. VIII. C. 16107.
- 31638 **Helling**, Taschenlexikon des Witzes.
«東京外大附圖»

B. Werke poetischen Inhalts.

Gedichte, Epen, Schauspiele. *)

- 32001 **Basedow**, Friedr., Germania, Zweitausend Jahre vaterländischer Geschichte in deutscher Dichtung. a-b.
- 32002 **Bern**, Deutsche Lyrik seit Goethes Tode. a-b.
- 32003 **Boehm**, Das deutsche Volk in Liedern. a-b.
- 32004 **Balladenbuch**, Neuere deutsche Dichter.
- 32005 **Brust**, Der Festgruss, Auserlesene Festdichtungen. a-b.
- 32006 **Bern**, Deklamatorium. a-b.
- 32007 **Goltschall**, Deutsche Lyrik des 19. Jahrhunderts.
- 32008 **Von Deutscher Art**; herausgegeben von Ohorn.

*) Sofern zu dieser Rubrik Gehöriges in „Gesammelten Werken“ enthalten ist, welche auch Stücke nichtpoetischer Form enthalten, ist es bei XII. C. zu suchen. –

- 32009 **Arnim u. Brentano**, Des Knaben Wunderhorn. Alte deutsche Lieder.
- 32010 **Dichterklänge**, aus Deutschlands grosser Zeit; zur Feier der nationalen Gedenktage.
- 32011 **Draheim und Kawerau**, Deutsches Liederbuch für höhere Schulen. a-b.
- 32012 **Echtermeyer**, Auswahl deutscher Gedichte.
- 32013 **Fontanes** Sammlung deklamatorischer Vorträge.
- 32014 **Keller**, Mustersammlung deutscher Gedichte. a-b.
- 32015 **Kinzel**, Gedichte des 19. Jahrhunderts, litterargeschichtlich geordnet.
- 87 -
- 32017 **Der kleine Kamerad**, Lieder- und Handbuch für alte und junge Soldaten. a-b.
- 32018 **Kohl, Horst**, Bismarck-Gedichte des Kladderadatsch. a-b.
- 32020 **Korff, Luise**, Was willst Du vortragen?
- 32021 **Knauth**, Sieben Bücher deutscher Dichtungen von den ältesten Zeiten bis auf die Gegenwart. a-b.
- 32022 **Koss**, Gesammelte humoristische Vorträge.
- 32023 **Lieder zu Schutz und Trutz**. Gesammelt und herausgegeben von Franz Lipperheide.
- 32024 – zu Schutz und Trutz. Auswahl für Schule, Volk und Heer. a-b. «東北大附圖分館»
- 32025 **Liederbuch** der Getruen von Jever. a-b. «東北大附圖分館»
- 32026 **Mixius**, Das Marinejahr in humoristischen Versen. «東北大附圖分館»
- 32027-28 **v. Meerheimb**, Psychodramen. Material für den rethorisch-deklamatorischen Vortrag. Bd. 1-2. «東北大附圖分館»
- 32029 **v. Mirbach, Ernst**, Lieder für Soldaten. «東北大附圖分館»
- 32030 **Raabe**, Allgemeines plattdeutsches Volksbuch. «東北大附圖分館»
- 32032 Sang und Klang im Sachsenland. «東北大附圖分館»
- 32033 **Schrutz**, Perlen für den Vortrag. a-b. «東北大附圖分館»
- 32034 **Soldaten-Liederbuch**, (Reclam.)
- ~~32035~~ – und deutsche Kriegslieder. Aus 5 Jahrhunderten a-b.
- ~~32037~~ **Tetzner, A.**, Deutsche Geschichte in Liedern deutscher Dichter. a-b. «東北大附圖分館»
- 32038 **Voneisen**, Das Mutterherz im Spiegel der Dichtung. (Reclam.) «東北大附圖分館»
- ~~32039~~ **Wedel**, Festklänge für das Deutsche Haus.
- 32040 **Wohlbrück, Olga**, Vortragsmappe, a-b. «東北大附圖分館»
- 32041 **Wolter**, Vaterländische Helden- und Ehrentage im Spiegel deutscher Dichtung a-b. «東北大附圖分館»
- 32044 **Börker**, Flotte und Kolonie im Spiegel deutscher Dichtung. «東北大附圖分館»
- 32045 **Trojan und Lohmeyet**, Ein Kriegsgedenkbuch aus dem Kladderadatsch in Ernst und Humor aus den Jahren 1870-71. a-b. «東北大附圖分館»

32046	Sturm , August, Deutscher Humor in Wort und Bild. a-b.	
32047	Reymond , W., Neuer freier Parnass.	«東北大附圖分館»
32048	Gundlach , Tausend Schnadahüpfln.	«東北大附圖分館»
32401	Walter von der Vogelweide , Sämtliche Gedichte.	«京都大總人圖»
32409	Rückert . Liebesfrühling.	«京都大總人圖»
31[42]451	Klopstock , Oden und Epigramme.	«京都大總人圖»
32455	Herder , Stimmen der Völker in Liedern. a. b. c.	«京都大總人圖»
32458	Goethes a[A]usgewählte Gedichte in chrologischer Folge mit Anmerlungen von Otto Harnack. a-b.	«京都大總人圖»
32460	Goethe , Gedichte. (Reclam).	«京都大總人圖»
32461-62	do (Krabbe). Bd. 1-2. a-b.	«京都大總人圖»
32463	Schiller , Gedichte. a-b.	«京都大總人圖»
32464	do (Krabbe) a-b.	«京都大總人圖»
32465	do (Reclam).	«京都大總人圖»
32466	Hölty , Gedichte. do	«京都大總人圖»
32467	Bürger , Gedichte.	«京都大總人圖»
32468	Droste-Hülshoff , Lyrische Gedichte.	«京都大總人圖»
32470	Dehmel , Richard, Gedichte, s. 36554. ff. Seume , Gedichte.	«京都大總人圖»
32473	Hölderlin , Friedr., Gedichte. ab	«京都大總人圖»
32474	Hoffmann von Fallersleben , Gedichte.	«京都大總人圖»
32478	Kleist , Ewald Christian, Sämtliche Werke. a-b. (Reclam).	«京都大總人圖»
32485	Körner , Theodor, Leyer und Schwert. (Reclam).	«京都大總人圖»
32486	- (Hendel).	«京都大總人圖»
32487-88	Körners , Werke. Bd. 1-2. Bd. 3-4.	«金澤大 中圖»

- 32489 **v. Schenkendorf**, Max, Gedichte. (Reclam). «金澤大中國»
- 32490 **Baumbach**, Rudolf, Mein Frühjahr, Gedichte. «金澤大中國»
- 32491 – Abenteuer u. Schwänke. Gedichte. «金澤大中國»
- 32493 **Arndt**, Ernst Moritz, Gedichte. «金澤大中國»
- ~~32494~~ **Bodenstedt**, Die Lieder des Mirza-Schaffy.
- 32495 **Chamisso**, Gedichte. (Reclam). «金澤大中國»
- 32496 – (Hendel). «金澤大中國»
- 324978-99 **Freiligrath**, Gesammelte Gedichtungen. 3 Bde. «金澤大中國»
- 32500 **Greifs** Gedichte, Auswahl für die Jugend.
- 32501 **Uhland**, Ludwig, Gedichte. (Reclam). «金澤大中國»
- 32502 – (Krabbe). «金澤大中國»
- 32503 **Rustige**, H. Reime und Träume im Dunkelarrest. «金澤大中國»
- 32504 **Pröel**, Halt! Wer da? «金澤大中國»
- 32505 **Braunn-Steinmann**, Natur und Leben. a-b. «金澤大中國»
- ~~32506~~ **Rückert**, Gedichte. «金澤大中國»
- 32507 **v. Gilm**, Gedichte. «金澤大中國»
- 32508 **Gloede**, Zutemoos. Sammlung plattdeutscher Gedichte. a-b. «金澤大中國»
- 32509 **Saphir**, Album ernster und heiterer Deklamationsgedichte. «金澤大中國»
- 32510 **Scheffel**, Gaudeamus. (Andre Gedichte s. 43224. 25.) «金澤大中國»
- 32511 **Lenau**, Gedichte. a-b.
- 32512 **Brandenberger**, Heitere Stunden eines Fabrikarbeiters.
- 32513 **Brust**, G., Der Glückwunsch. a-b.
- ~~32514~~ **Heine**, Heinrich, Das Buch der Lieder. a-b.
- ~~32515~~ **Dahn** (Felix), Gedichte. Auswahl.
- 32516 **Waiblinger**, Lieder des römischen Karnevals und andere gedichte aus Latium und den Sabinergeben.
- 32517 **Paoli** (Betty), Ausgewählte Gedichte.
- 32518 **Nusko**, Aus der Seele zum Herzen. a-b.
- 32519 **Fontane**, Gedichte.

- 32520 **Meyer** (Conrad Ferdinand), Gedichte.
- 32521 **Strauss und Torney**, Lulu von, Balladen.
- 32522 – Lulu von, Lieder u. Balladen 1909
- ~~32523~~ **Grisbach**, Der neue Tannhäuser. 22. Auflage.
- Liliencron** (Detlev von) Gedichte, siehe 40677-82. Dramen 40684.
- 32525 **Sturm**, Nachgelassene Gedichte und Uebersetzungen in Auswahl.
- 32526 **Ernst**, Gedichte.
- 32527 **Falke** (Gustav), Tanz und Andacht. Gedichte.
- 32528 **Rothwitsch**, Lieder, a-b.
- 32530 **Reuling**, Distichen. Deutsche Juristen des 19. Jahrhunderts a-b.
- 32531 **von Redwitz**, Ein deutsches hausbuch. Gedichte.
- 32532 **Richter**, Gottfried von Hohenhoeven. Ein Ritterleben in Liedern. a-b.
- 32533 **Seeliger**, Hamburg, Ein Buch Balladen.
- 32534 **Schrader**, Einst und heut.
- 32535 **Schüler** (Gustav), Balladen 1909.
- 32536 **Schücking**, Levin, Lieder und Balladen.
- Storm**, Theodor, Gedichte s. 43584.
- Stern**, Adolf Gedichte u Epen, siehe 43541.
- Schonaich-Carolath**, Gedichte s. 43355.
- 32537 **Werder**, Gedichte.
- 32538 **v. Württemberg**, Sämtliche Gedichte.
- 32539 **Brandes**, Balladen. 3. Aufl.
- 32540 **Nadler**, Fröhlich Pfalz; Gott erhalt's!
- 32541 **Titus**, Dichtungen a-b.
- 32542 **Müller**, (Wilhelm), Gedichte.
- 89 –
- ~~32543~~ **Münchhausen**, Börries von, Balladen. 2. Auflage.
- 32544 **Hammer**, Schau um Dich und schau in Dich! (Reclam) a. b. c.
- ~~32545~~ **Trojan**, Scherzgedichte.
- 32547 **Marie Madeleine**, Auf Kypros. Gedichte.
- 32548 **Lennig**, Etwas zum Lachen.
- 32549 **Kellermann**, Lieder für das deutsche Volk. a-b.
- 32550 **Bormann**, s'Buch vom Klapperstorche.
- 32551 **Frederking**, Jedem Etwas. Gedichte.
- ~~32552~~ **Abel**, Harzlieder. Mit Zeichnungen von Fahlberg. a-b.
- 32553 **Vierordt**, Lieder und Balladen.
- 32554 **v. Wildenbruch**, Lieder und Gesänge.
- 32555 – Letzte Gedichte. 1909.
- 32556-59 **Geibel**, Gesammelte Werke. 4 Bde. (1-2 Gedichte, 3 Dramen, 4 Uebersetzungen.)
- 32560 **Deye**, Richard, Zu Deutschlands Ehr. Vaterländische Gedichte.
- 32564 **Flaischlen**, Cäser, Aus den Lehr- und Wanderjahren des Lebens. Gesammelte Gedichte, Brief- und Tagebuchblätter.
- 32570 **Telmann**, Konrad, Aus der Fremde, Gedichte.
- 32571 **Hamel**, Zander der Ehe.

- 32572 **Carmen Sylva**, Meine Ruh. Gedichte.
- 32801 Das **Nibelungenlied**, übersetzt von Simrock.
- 32805 **Gudrun**, übersetzt von Junghaus. (Reclam).
- 32806-07 **Wolfam von Eschenbach**, Parzival. Bd. 1-2.
- 32808 **Die Edda**, Götterlieder, Heldenlieder. Hrsgegeb. v. Wolzogen.
- 32809 **Heliand**, Nach dem Altsächsischen von T. Herrmann.
- 32811 **Das Rolandslied**, des Pfaffen Konrad.
- 32821 **Brant**, Sebastian. Das Narrenschiff.
- 32823 **Wieland**, Oberon.
- 32851 **Klopstock**, Der Messias.
- 32855 **Herder**, Der Cid. (Hendel) a-b.
- 32856 **Hamerling**, Ahasver in Rom. Dichtung.
- 32857 – Der König von Sion. Dichtung.
- 32860 **Tegner**, Esaias, Die Fritjofsage und Gedichte in Auswahl. a-c.
- 32861 – Die Abendmahlskinder.
- 32862 – Axel.
- 32870 **Baumbach**, Zlatorog. Eine Alpensage.
- 32871 **Genée**, Die Bismarckiade fürs Deutsche Volk. a-b.
- 32872 **Hoffmeister**, Der eiserne Siegfried. a-d.
- 32873 **Lohengrin**, der Ritter mit dem Schwane.
- 32874 **Hertz**, Gesammelte Dichtungen.
- 32875 **Jensen**, Ein Skizzenbuch.
- 32876 **von Schack**, Die Plejaden. Ein Epos in 10 Gesängen.
- ~~32877~~ **Nöldechen**, Das Reichsfest zu Mainz. Dichtung.
- ~~32878~~ – Ausstand-Aufstand. Dichtung.
- ~~32880~~ **Voss**, Luise, Idylle, (Cotta) a-c.
- ~~32881~~ – (Reclam).
- ~~32883~~ **Bleibtreu**, Gunnlaug Schlangenzunge. Eine Inselmär.
- ~~32884~~ **Runeberg**, Fähnrich Stahls Erzählungen. Aus dem Schwedischen.
- ~~32886~~ **Bernard**, Isidore von Lohma. a-b.
- ~~32887~~ – Magnus. a-b.
- ~~32888~~ **Geissler**, Hinnerk Brodersen. a-b.
- ~~32889~~ **Bender**, Wilhelm von Heidegg. a-b.
- ~~32890~~ **Weise**, Die deutsche Handwerker-Braut.
- 32891 **Redwitz**, Odilo. a-b.
- ~~32892~~ **Roquette**, Waldmeisters Brautfahrt.
- ~~32893~~ – Rebenkranz zu Waldmeisters Silberner Hochzeit.
- 32895 **Scheffel**, Der Trompeter von Säckingen. s. a. 43224.
- 32896 **Württemberg**, Elsbeth von Küssaberg, das Gotteli von St. Agnesen.
- ~~32899~~ **Wolff** (Julius), Der fahrende Schüler.
- 32900 – Der fliegende Holländer. Eine Seemannssage.
- 32901 – Der Rattenfänger von Hameln.
- 32902 – Der wilde Jäger.

- 32903 **v. Wildenbruch**, Vionville.
- 32904 – Sedan.
- 32905 **Weber** (F. W.), Dreizehnlinden.
- ~~32906~~ **Wilhelm Busch-Album**, Humoristischer Hausschatz. Mit 1500 Bildern.
- 32907 – Hernach! Aus dem Nachlass.
- ~~32908~~ – Lustige Bildergeschichten.
- 32910 **Kortum**, Die Jobsiade. (Hendel) ~~a-b~~
- ~~32911~~ – (Reclam)
- 32912 **Holz**, Der geschundene Pegasus.
- 32921 **Eberhard**, Hannchen und die Küchlein.
- 32922 **Schefer**, Laienbrevier (Reclam.)
- 32923 – (Hendel) a-b.
- 32925 **Telmann**, In Reichenhall.
- 32930 **Sachs**, Hans, Ausgewählte poetische Werke. (Reclam).
- 32935 **Gellert**, Christian Fürchtegott, Fabeln und Erzählungen (Hendel) a-b.
- 32937 **Kinzel**, Hans Sachs.
- 32938 – Walter von der Vogelweide und des Minnesangs Frühling.
- 32939 **Bötticher-Kinzel**, Das Nibelungenlied im Auszug nach dem Urtext mit den entsprechenden Abschnitten der Wölsungensage.
- 32945 **Kirchhoff**, Th., Hermann. Ein Auswandererleben.
- 32947 **Eckhardt**, Fritz, Bruder Studio. Ein urkomischer Sang in sechs Semestern nebst Vorgesang, Zwischensang und Nachklang. a-b.
- 32948 **Avenarius**, Ferdinand, Lebe!
- 32949 **Gensichen**, Pfarrhaussegen.
- 32950 – Unter dem Zollernaar.
- 33201 **Brachvogel**, Narciss. Trauerspiel. 8. Aufl.
- «^v新潟高»*
- 33221 **Lessing**, Minna von Barnhelm. a-b.
- «^v新潟高»*
- 33222 – Emilia Galotti.
- «^v新潟高»*
- 33230 **Goethe**, Götz von Berlichingen mit der eisernen Hand. (Hendel.) a-b.
- «^v新潟高»*
- ~~33231~~ – (Cotta).
- 33232 – Faust. (Reclam).
- «^v新潟高»*
- 33402 **v. Kleist**, Heinrich, Das Käthchen von Heilbronn.
- «^v新潟高»*
- 33411 **Uhland**, Herzog Ernst von Schwaben. a-b.
- «^v新潟高»*
- ~~33412-13~~ – Gedichte und Dramen. Bd. 1-2, a-b.
- ~~33414~~ **Strindberg**, Der Vater.
- ~~33415-16~~ **Raimund**, Sämtliche Werke. Bd. 1-2, a-b.
- ~~33417~~ **Grillparzer**, Die Ahnfrau. Sappho.
- ~~33418~~ – Das goldene Vliess. a-b.
- ~~33419-21~~ – Sämtliche Werke. 3 Bde.

- 33422 **Dreyer, Der Probekandidat.** Schauspiel.
 «^v新潟高»*
- 33424 **Laube, Graf Essex.** Schauspiel.
 «^v新潟高»*
- 33425 – Prinz Friedrich. do
 «^v新潟高»*
- 33426 – Die Karlsschüler. do
 «^v新潟高»*
- 33427 **Gutzkow, Meisterdramen** (Zopf und Schwert. – Der Königsleutnant-Uriel Acosta. – Das Urbild des tartüffe).
 «^v新潟高»*

– 91 –

- 33428 **Freytag, G., Die Journalisten.** Lustspiel.
 «^v新潟高»*
- 33429 – Die Fabier. Trauerspiel.
 «^v新潟高»*
- 33430 – Dramatische Werke.
 «^v新潟高»*
- 33431 **Fulda, Robinsons Eiland.** Komödie. a-b.
 «^v新潟高»*
- 33432 – Der Sohn des Kalifen. Dramatisches Märchen.
 «信州大松本圖»
- 33433 – Die Sklavin. Schauspiel.
 «信州大松本圖»
- 33434 – Der Talisman. Dramatisches Märchen.
 «信州大松本圖»
- 33435 – Jugendfreunde. Lustspiel.
 «信州大松本圖»
- 33436 – Das verlorene Paradies. Schauspiel.
 «信州大松本圖»
- 33437 – Herostrat. Tragödie.
 «信州大松本圖»
- 33438 **O. Ernst, Jugend von Heute.** Lustspiel in 4 Akten.
 «信州大松本圖»
- 33439 **Kotzebue, Die beiden Klingsberg.** Lustspiel.
 «信州大松本圖»
- 33440 **Beyerlein, Der Zapfenstreich.**
- 33441 **von Wildenbruch, Der Mennonite** Trauerspiel.
 «信州大松本圖»
- 33442 – Opfer um Opfer.
- 33443 – Theorie und Praxis.
 «信州大松本圖»
- 33444 – Die Herrin ihrer Hand.
 «信州大松本圖»
- 33445 – Väter und Söhne.
 «信州大松本圖»
- 33446 – Christoph Marlow.

33447	- Der Generalfeldoberst.	«信州大松本圖»
33448	- Die Quitzows.	«信州大松本圖»
33449	- Die Haubenlerche.	«信州大松本圖»
33450	- Der neue Herr. a-b.	
33451	- Meister Balzer.	
33452	- Der Junge von Hennersdorf.	
33453	- Jungfer Immergrün.	
33454	- Heinrich und Heinrichs Geschlecht.	
33455	- Willehalm.	
33456	- Das heilige Lachen.	
33457	- Die Karolinger.	
33458	- König Laurin.	
33459	- Die Rabensteinerin. Schauspiel.	«信州大松本圖»
33460	- Der deutsche König. do	
33461	Hauptmann , Gerhart, Griselda. Schauspiel.	
33462	- Schluck und Jau. Lustspiel.	«信州大松本圖»
33463	- Kaisr Karls geisel. Legendenspiel.	«信州大松本圖»
33464	- Der rote Hahn. Tragikömedie.	
33465	- Florian Geyer. <i>ab</i>	
33466	- Die versunkene Glocke.	
33467	- Einsame Menschen. a-b.	
33468	- Das Friedensfest.	
33469	- College Crampton.	
33470	- Der Biberpelz.	
33471	- Die Weber.	
33472	- Hanneles Himmelfahrt.	
33473	- Vor Sonnenaufgang.	
33474	- Fuhrmann Henschel. a-b	
33475	- Der arme Heinrich.	
33476	- Rose Bernd.	
33477	- Und Pippa tanzt.	
33478	- Die Jungfern vom Bischofsberg. Lustspiel.	
33479	- Die Ratten.	
33481	Sudermann , Hermann, Johannes. Tragödie.	
33482	- Die drei Reiherfedern.	
33483	Sudermann , Morituri: Teja. – Fritzchen. – Das Ewig-Männliche.	
33484	- Die Ehre. Schauspiel.	

- 33485 – Heimat.
~~33486~~ – Das Glück in Winkel. «信州大松本圖»
- 33487 – Johannisfeuer.
 33488 – Sodoms Ende.
 33489 – Es lebe das Leben! «東京外大附圖»
- 33490 – Der Sturmgesele Sokrates. «東京外大附圖»
- ~~33491~~ – Das Blumenboot. Schauspiel.
 33492 – Stein unter Steinen. «東京外大附圖»
- ~~33493~~ – Rosen. Vier Einakter.
 33494 – Strandkinder. Schauspiel. «東京外大附圖»
- 33501 **Schnitzler**, Der grüne Kakadu – Paracelsus – Die Gefährtin. 3 Einakter. – Liebelei. Schauspiel. «東京外大附圖»
- 33502 – Der Schleier der Beatrice. Schauspiel. «東京外大附圖»
- ~~33503~~ – Anatol. 10. Auflage.
 33504 – Freiwild. Schauspiel. «東京外大附圖»
- 33508 **Thoma**, Die Lokalbahn. Lustspiel. «東京外大附圖»
- ~~33509-13~~ **Jbsen, Henrik**, Sämtliche Werke. Volksausgabe in 5 Bänden. Herausgegeben von Elias und
 33510 (アリ) Schlenther. 1910. Bd. I: Gedichte. Catilina. Frau Inger auf Oestrot. Das Fest auf Solhaug. Die Helden auf helgoland. (Nordische Heerfahrt). – II: Komödie der Liebe. Die Kronprätendenten. Brand. Peter Gynt. – III: Bund der Jugend. Kaiser und Galiläer. Stützen der Gesellschaft. – IV: Ein Puppenheim. Gespenster. Der Volksfeind. Die Wildente. Rosmersholm. – V: Die Frau vom Meere. Hedda Gabler. Baumeister Solness. Klein Eyolf. John Gabriel Borkmann. Wenn wir Toten erwachen.
- ~~33514-17~~ **Jbsen**, gesammelte Werke (Reclam). 4 Bde.
 33518 **Pröll**, Afrikanische Abenteuer. (Volksliederspiel). «東京外大附圖»
- 33519 **Woas**, Ueber den Handschuh. Schauspiel aus dem fernen Osten. *ab* «東京外大附圖»
- 33520 **Wacht**, Der Ehrenmann a-b. Origibaldrama. «東京外大附圖»
- 33521 – Hermann der Cherusker. a-d. «東京外大附圖»
- 33523 **Hohenzollern**, Festspiel zur Zweijahrhundertfeier des Königreiches Preussen. a-b.
 33524 **Halbe**, (Max), Mutter Erde. «東京外大附圖»
- 33525 – Haus Rosenhagen.
~~33526~~ – Jugend.
 33531 **Schiller**, Wallenstein. (Krabbe). a-b.
 33532 – (Hendel.)

- 33533 – Wallensteins Lager. Die Piccolomini.
 33534 – do Tod.
 33535 – Wilhelm Tell.
 33536 – Die Jungfrau von Orleans.
 33537 – Maria Stuart.
 33544 **Schönherr**, Glaube und Heimat. Schauspiel.
 33545 **Sachs**, Hans, Dramatische Werke.
 33546 **Hebbel**, Die Nibelungen.
~~33548~~ **Leuenberg**, Berliner-Humor.
 33549 **Kreutzer**, Plattdeutsche Schwänke.
 33550 **Reuter**, Fritz, Die drei Langhäuse.
 33551 **Heyse** (Paul) Dramen. Bd. I.

– 93 –

- 33552 **Hofmannsthal**, (Hugo von), Elektra. Tragödie.
 33553 – Oedipus und die Sphinx. Tragödie.
 33560 **Wilbrandt**, Der Meister von Palmyra. Drama.
 33561 **Hartleben**, Rosenmontag. Eine Offizierstragödie.
 33562 **Bendix**, Lustspiele (Das bemooste Haupt – Doctor Wespe – Die relegierten Studenten – Die Dienstboten – Der Vetter.)
 33563 **Fulda**, Die wilde Jagd – Henle; Durch die Intendanz – Justinus, Griechisches Feuer.
 33564 **Schaufer**, Schach dem König! Histor. Lustspiel.
 33565 **Wichert**, Lustspiele, (Der Freund des Fürsten. – Ein Schritt vom Wege. – Die Realisten.)
 33566 **Bauernfeld**, Lustspiele. (Das Tagebuch. – Das Liebesprotokoll).
 33567 **Moser**, Lustspiele. (Die Leibrente. – Der Nimrod – Most).
 33568 **Lindau**, Die Venus von Milo. Schauspiel.

C. Erzählungen, Romane, Novellen, Humoresken, Skizzen.

[1. Sammelwerke.]

- Deutscher Novellenschatz**, herausgegeben von P. Heyse und H. Kurz. 24. Bände.
~~33941~~ Bd 1. Die neue Melusine von Göthe. – Die Verlobung in St. Domingo von Kleist – Geschichte vom braven Kasperl und dem schönen Annerl von Brentano. – Der tolle Invalide von Arnim. – Das Fräulein von Scudery von E. Th. A. Hoffmann.
 33942 Bd 2. Die Gemälde von Tieck – Der letzte savello von Rumohr. – Brigitta v. A. Stifter. – Der Stern der Schönheit v. A. Wolf.
«京都大附圖»
~~33943~~ Bd 3. Des Lebens Ueberfluss von Tieck – Die Grücksritter von Eichendorff. – Die Katholische Mühle von Widmann. – Romeo und Julie auf dem Dorfe von G. Keller.
 33944 Bd 4. Irrwisch-Fritze von Berthold. – Phantasien im Bremer Ratskeller von Hauff. – Margret von G. Kinkel. – Mozart auf der Reise nach Prag von E. Mörike.
«京都大附圖»
 33945 Bd 5. Ein Karnevalsfest auf Ischia von Kopisch. – Die Entscheidung bei Hochkirch von F. Lohmann. – Der Karneval und die Sonnambüle von K. Immermann. – Der arme Spielman von Grillparzer.
«京都大附圖»
 33946 Bd 6. Nordische Freundschaft von L. Kruse. – Eine fromme Lüge von L. v. Gall. – Der Müller von Höft von A. Meissner. – Das Kind von H. Grimm.

«京都大附圖»

- 33947 Bd 7. Der Notar in der Falle von J. Gotthelf. – Die Geschichte des Diethelm von Buchenberg von B. Auerbach. – Johann Ohlerich von A. Wilbrandt.
«京都大附圖»
- ~~33948~~ Bd 8. Die Engelehe von C. Spindler. – Jörg Mückenhuber von W. H. Riehl. – Eine Verlorne von L. Kömpert.
- ~~33949~~ Bd 9. Mammon im Gebirge von M. Reich. – Der Sieg des Schwachen von M. Meyr. – Eine Malerarbeit von Th. Storm.
- 33950 Bd 10. Samuel Brink's letzte Liebesgeschichte von Schreyvogel. – Herr von Sacken von W. Alexis. – Es ist nicht gut, dass der Mensch allein sei von R. Waldmüller.
«京都大附圖»

– 94 –

- ~~33951~~ Bd 11. Die drei Schwestern von L. Kähler – Der tote Gast von Zschokke – Das Schloss im Gebirge von Hartmann. – Der Drache von F. Kürmberger.
- 33952 Bd 12. Kurt von Koppingen von J. Gotthelf. – 's Muhme Lieutenant – Saloppel von K. von Holtei. – Rolof der Rekrut von E. Höfer.
«京都大附圖»
- 33953 Bd 13. Der Malanger Fjord von Th. Mügge. – Der graue John von F. von Heyden. – Der Flüchtling von A. Pichler. a-b.
«京都大附圖»
- 33954 Bd 14. Der Träumer von A. Kopisch. – Die Tante von F. Lewald. – Ansa und Grita von E. Wichert. *ab*
«京都大附圖»
- 33955 Bd 15. Reiz und Liebe von Varnhagen von Ense. – Die Incantada von F. Kugler. – Der arme Josy von F. Wallner. – Die Schwester von L. Schücking.
«京都大附圖»
- 33956 Bd 16. Gemüt und Selbstsucht von F. v. W. – Mohrenfranzel von H. v. Schmid. – Der Striethast von Dincklage. – Die Schlangenkönigin von O. Roquette. *ab*
«京都大附圖»
- 33957 Bd 17. Peter Schlemihl's wundersame Geschichte v. A. v. Chamisso. – Musikalische Orthodoxie von J. Kinkel. – Der Weinhüter von Meran von P. Heyse.
«京都大附圖»
- 33958 Bd 18. Debora von W. Müller. – Die beiden Tubus von H. Kurz.
«京都大附圖»
- ~~33959~~ Bd 19. Die Düwecke oder die Leiden einer Königin von L. Scheter. – Der Entenpiet von W. Tesche. – Hugideo von J. V. Scheffel. – Reich zu reich und arm zu zrm von C. von Glümer.
- ~~33960~~ Bd 20. Scholastika von A. von Sternberg. – Vetter Isidor von J. Grosse. – Das Gericht im Walde von J. Ludwig.
- ~~33961~~ Bd 21. Die Marzipanlise von F. Halm. – Germalshausen von F. Gerstäcker. – Der Gebirgspfarrer von J. von der Traun. – Hochzeitanacht von L. Goldammer. – Das letzte Recht von W. Raabe.
- 33962 Bd 22. Eure Wege sind nicht meine Wege von H. Wild. – Eine Nacht von E. Andolt.
«京都大附圖»
- ~~33963~~ Bd 23. Das erfüllte Versprechen von J. Frey. – Zwei Nächte von F. W. Hackländer. – Streit in der Liebe und Liebe im Streit von O. Wildermuth. – Der Säugling von H. Horner.
- ~~33964~~ Bd 24. Ein adeliges Fräulein von H. Lorm. – Die Judenbuche von A. von Droste-Hülshoff. – Staat und Ernte von F. W. Ziegler. – Don Juan von Kolomea von Sacher-Masoch.
- 33965 Bd I **Neuer deutscher Novellenschatz**, herausgegeben von P. Heyse und L. Laistner. 24. Bde.
Sirene von L. Starklof. – Die Freiherren von Gemperlein von M. von Ebner-Eschenbach.
«京都大附圖»
- 33966 Bd II Jephthas Tochter von S. H. Mosenthal. – Münchhausen im Vogelsberg von O. Müller. – Saläthus

von Hans Marbach.

«京都大附圖»

- 33967 Bd III Wer? von Düringsfeld. – Die Flut des Lebens von A. Stern. – Der blaue Schleier von A. Schöne. – Maria im Elend von P. Rosegger.
«京都大附圖»
- 33968 Bd IV Reden oder Schweigen? von Ludwig. – Bezauberte Welt von L. Laistner.
«京都大附圖»
- ~~33969~~ Bd V Die Schule der Welt v. Dingelstedt. – Grete Minde v. Fontane. a-b.
- ~~33970~~ Bd VI Die Prairie am Jacinto von Sealsfield. – Der Gerhab von A. Silberstein.
- 33971 Bd VII Aus dem Tagebuche eines wandernden Schneidergesellen von Gaudy. – Marianne von F. von Saar. – Die kleine Welt von P. Lindau.
«京都大附圖»

– 95 –

- 33972 Bd VIII Das Feuerschiff von Heinrich Smidt. – Der Uhrmacher vom Lac de Joux von R. Schweichel.
«京都大附圖»
- ~~33973~~ Bd IX Der Wettermacher von Frankfurt von F. Trautmann. – Die Dame mit den Hirschzähnen von G. zu Putlitz. – Lyeaena Silene von W. Jensen.
- ~~33974~~ Bd X Mendel Gibbor von Bernstein. – Manuele von R. Artaria.
- ~~33975~~ Bd XI Woans ik tau'ne Fru kam von Fritz Reuter. – Das Sündkind von L. Anzengruber. – Der Hamlet von Tusculum von R. Voss. – Die Geschichte eines Genies von O. Schubin.
- ~~33976~~ Bd XII Diebsgelüste von F. Lentner. – Der Schmuck des Inka von K. Frenzel. – Nach dem höheren Gesetz von K. E. Franzos.
- 33977 Bd XIII Herr im Hause von M. von Bülow. – Gustav Adolfs Page von Conrad F. Meyer.
«京都大附圖»
- ~~33978~~ Bd XIV Ein Doppelleben von J. V. Widmann. – Eine schwarze Kugel von A. Godin. – Die Danaide von E. Wildenbruch.
- 33979 Bd XV Rosi Zurflüh von J. Scherr. – Trudels Ball von H. Hopfen.
«京都大附圖»
- ~~33980~~ Bd XVI Frau Antje von A. Meinhardt. – Elysium in Leipzig von W. Kirchbach. – Die Stadtjompfere von R. Weitbrecht. – Infolge einer Wette von Lindau.
- 33981 Bd XVII Was wird sie tun? von Zitelmann – Die Dorfkokette von F. Spielhagen.
«京都大附圖»
- ~~33982~~ Bd XVIII Die Volskerin von G. Flörke. – Aquis submersus von Th. Storm.
- ~~33983~~ Bd XIX Verzaubert von Arnold. – Der Herrgottschnitzer von L. Ganghofer. – Cezar Grawinsky von Weber.
- ~~33984~~ Bd XX Das Brod der Engel von Vacano. – Der alte Randolph von J. Boy-Ed.
- ~~33985~~ Bd XXI Der Kunstenmacher von E. Kulke. – Der Fächermalers von Nagasaki v. Rosenthal-Bonin. – Emmy Genze v. H. Heiberg. – Kirchenraub von A. Friedmann.
- ~~33986~~ Bd XXII Um ein Ei von Th. H. Pantenius. – Peerke von Helgoland von H. Hoffmann. – Die Last von J. Frapan.
- ~~33987~~ Bd XXIII Ein Grab an der Kirchhofsmauer von J. Burow. – Salin Kaliske von H. Böhlau. – Krambambuli von M. von Ebner-Eschenbach. – Der verlorene Sohn von P. Heyse.
- ~~33988~~ Bd XXIV Der Verbrecher aus verlorener Ehre von Schiller. – Das Erdbeben in Chile von Kleist – Die italienische Novelle von J. Mosen. – Die Curstauben von K. Gutzkow. – Aus dem Regen in die Traufe von O. Ludwig.
- Novellenschatz des Auslandes**, herausgegeben von P. Heyse und H. Kurz. 14 Bde.
- 33989 Bd 1. Colomba von Prosper Mérimée. – Faust von J. Turgenjeff.
«京都大附圖»

33990 Bd 2. Eine abenteuerliche Nacht von Barrili. – Das Schönplästerchen von A. de Musset. – Schweigen im Leben, im Sterben vergeben von F. Caballero. – Ein Schuss von A. Puschkin. – Das Heimchen am Herde von Ch. Dickens.

«京都大附圖»

~~33991~~ Bd 3. Wolffert-Webber von W. Irving. – Utballa von H. Hahn. – Der Teufelssumpf von Georges Sand.
33992 Bd 4. Advocat Loubet von H. E. F. Armand. – Pique Dame von A. Puschkin. – Die Tauben des heiligen Marcus von dall'Ongaro. – Das Klappenhorn von Alarcon. – Deadly Dash von Ouida.

«京都大附圖»

– 96 –

33993 Bd 5. Das Regimentsalbum von About. – Servil und Liberal von F. Caballero – Tante Franzisca von C. Bernhard. – Die blauäugige Jungfrau.

«京都大附圖»

~~33994~~ Bd 6. Das Fräulein von Malpeire von Arnaud – Erste Liebe von F. Turgenjeff.

~~33995~~ Bd 7. Die Montenegrinerin von dall'Ongaro. – Vierklee von Wetterbergh. – Kapitän Paz von H. de Balzac. – Standhaft und treu von Korzeniowski.

33996 Bd 8. Die Blutrache von H. de Balzac – Eine Abendseene von Chr. Winther. – Der Vetter vom Lande von Crewer. – Die Gattin des Gefallenen von M. Jokai. – Die kleinen Schuhe von Moreau.

«京都大附圖»

33997 Bd 9. Samuel Titmarsh von Thackeray. – Julie von Trècoeur von O. Feuillet. *ab*

«京都大附圖»

33998 Bd 10. Synnöve Solbakken von Björnson. – Marie von St. Blicher. – Theobald von Reyband. – Das Alibi von Mascheroni.

«京都大附圖»

~~33999~~ Bd 11. Die beiden Ärzte von L. Ulbach. – Karla von B. Nemeč. – Masser von M. Goldschmidt. – Emilie von G. de Nerval.

~~34000~~ Bd 12. Kunde von Wasser und Land von Bret Harte. – Der Mord in der Rue Morgue von E. A. Poe. – Franciscus Columna von Ch. Nodier. – Die Unterhaltung wider Willen von M. Jokai. – Eine gefährliche Unschuld von L. Ulbach. – Zwei Striche von Carit Etlar.

~~34001~~ Bd 13. Eheglück von L. Tolstoi. – San rancesco a Ripa von H. Beyhle. – Das Glück von Roaring Camp von Bret Harte. – Lokis von Pr. Merimée.

~~34002~~ Bd 14. Das rote Tuch von Graf von Gobineau. – Der Waldteufel von Pissemiski. – Ein salomonisches Urteil von A. de Vigny. – Der arme, hübsche Bobby von R. Broughton. – Vanina Vanini von Stendhal. a-b.

Deutsche Romanbibliothek.

~~34012~~ Bd VI. **Rodenberg**, Die Grendidiers. – **Helix**, Hohenlinden; – **Van Dewall**, Erlösung – **Pongracz**, Anna, Verspätet.

~~34016~~ Bd VIII. **Byr**, Nob., Sesam. – **Römer**, Still und bewegt. – **Helm**, Elementare Gewalten. – **Warring**, Im Forsthause. – **Van Dewall**, Nadine. – **Michael**, Lios Alfa. – **Erhard**, Im Spiegel. – **Wirth**, Bettina, Zwei Funde aus den Trümmern Pompejis. – **Vely**, Julia, Pietas.

~~34017~~ Bd IX. Bd. 1. **v. Dincklage**, Im Tramontan. – **Kayserling**, Die Sturmhexe. – **v. Bischoffshausen**, Die Rache ist süß. – **Van Deva**, Der alte Hans (Forts. Bd. 2.)

34018 Bd IX. – Bd. 2. **Lorm**, Ein Schatten aus vergangenen Tagen. – **Samarow**, Die Grossfürstin. –

«京都大附圖»

34019 X. **v. Stengel**, Das Mädchen von Kapri. – **Wachenhusen**, Der Schweden Schatz. – **Helix**, Lady Quendolen. – **Römer**, Frühling und Hochsommer. – **Gräfin Keyseling**, Ein Karneval in Rom.

全部ナシ – 97 –

~~34027~~ XIV. Bd. 1. **v. Suttner**, Der Battono. – **v. Geyern**, Ein Feenschloss. – **v. Zobeltitz**, Karadi-nisa. – **Horn**, Der Mohr von Berlin. – **Heller**, Do ut des. – **Erhard**, Die Lehnsjungfel (Forts. Bd. 2.)

- 34028 - Bd. 2. **Klein**, Blinde Liebe. – **Lörm**, Auf dem einsamen Schlosse. – **Warren**, Die Jagd des Todes. – **Widmann**, Die Löwen in Weidling. – **Mark**, Ein Liebestraum.
- 34030 XV. v. **Perfall**, Der Trudenstein. – **Wallace**, Ben Hur. – v. **Klinkowström**, Das Leutringens. – v. **Zobeltitz**, Das Nessusgewand. – **Abt**, Ein Weib aus dem Volke. – **Warren**, Der wunde Punkt. – **Feilmann**, Caritas. – v. **Wolzogen**, Mein erstes Abenteuer.
- 34035 XVIII. **Heilberg**, Die Spinne. – **Morgan**, Honni soit qui mal y pense. – **Voss**, Juliane. – **Collins**, Blinde Liebe (Forts. Bd. 2) – **Zingeier**, Der Reichskanzler. (Forts. Bd 2).
- 34038 XIX. **Baierlein**, Von Feldkirch bis Gäeta. – **Ida v. Brun-Barnow** Starke Herzen. – v. **Perfall**, Unterwühlter Grund. – **Meding**, Hangen und bängen. – **Bauer**, Gerdas Heirat. – **Merk**, Emma, Was ein Jahr bringt. – v. **Roberts**, Fräulein.
- 34040 XX. **Jacobsen**, Die Geächteten. – **Byr**, Rutschpeter. – **Meding**, An den Ufern des ganges. – **Dunker**, Dora, Unheilbar. – **Brennecke**, Unter den Taunusbuchen. – **E. Klopfer**, Das Haus der Schatten. – **Vacano**, Ein galizisches Garnisonsnest.
- 34041 XXI. v. **Wald-Zedtwitz**, Misericordia. – **Jensen**, Auf der Feuerstätte. (Forts. Bd. 2) – **Bender**, Augusta, Die Reiterkätze. (Forts. Bd. 2.) – **Samarow**, Rahn. – **Schmidt-Weissenfels**, Der gute Genius. – **Gerbrandt**, Marie, In engen Schranken. – **Keyser**, Stefanie, Ungeschriebenes Recht.
- 34044 XXII. v. **Zobeltitz**, Die Johanniter. – **Sturkow**, Alice, Der Herr von Zalaur, – v. **Gerstorff** Tausend Thaler. – v. **Amyntor** Naevus muriformis. – **Jacobsen**, Ueber der Tiefe. – **Leist**, Nino Waripanidse. – **Peschkau**, Doktor Leo. – **Niemann**, Backfisch Nummer Eins.
- ~~34083-34193~~ **Kürschners Bücherschatz**. 116 Bände. Romane und Novellen.
- 34083 – **Renz**, Am Ibenstein. – **Rohmann**, Weltflüchtig – v. **Kampff-Essenther**, Die graue Mauer.
- 34084 v. **Reichenbach**, Gnädige Frau. – **Ahlgreen**, Frau Marianne. – **Niemann**, Ein Günstling des Volkes. – **Fischer-Sallstein**, An Bord der Königin Elsbeth.
- 34087 **Keyser**, Neuer Kurs. – **Schmidt**, Die Blinde von Kunterweg. – **Etlar**, Eine Ballnacht. – **Klinck-Lütetsburg**, Die Sonnentochter.
- 34088 v. **Dedenroth**, Aus sturmbewegter Zeit. – **Groller**, Schuldig? – **Lermina**, A. V. – Ein falscher Zeuge. – **Blüthgen**, Ein Friedenstörer.
- 34089 **Bret Harte**, Die Höhle am Hügel. – **Schmidt**, Die Wildbraut – **Ring**, Irrwege. – Ein Staatsgeheimnis. – **Misch**, Aus dem Geleise.
- 34090 **Crawford**, Die Kinder des Königs. – **Winterfeld**, Ein Versprechen. – **Baierlein**, Auf dem Kriegsfusse. – v. **Suttner**, Sein Verhängnis.
- 34091 **Andrea**, Das Mädchenheim. – **Twain**, Die Million-Pfundbanknote. – **Telmann**, Der Wahn ist kurz. – **Gottschall**, Schulröschen.
- 34092 **Klinick-Lütetsburg**, Die Dennhardtsbrüder. – **Land**, Schlagende Wetter. – **Schmidt**, Der Herrgottsmantel. – **Jokai**, Weibertücke.
- 34093 **Loti**, Islandfischer. – **Schweichel**, Dunkle Mächte. – v. **Schlicht**, Türke und Stachelschwein. – v. **Perfall**, Jach. – **Der weisse Gamsbock**.
- 全部ナシ – 98 –
- 34094 **Möller**, Uebermenschen. – **Hermstein**, Ruth Leuschner – **Daudet**, Der kleine Dingsda. – v. **Gerhardt**, Pension Streitleben.
- 34095 **Eysell-Kilburger**, gute Kameraden. – **Gottschall**, Der steinerne Gast. – v. **Eschstruth**, Unter den Tannen. – **Schmidt**, Der Zuggeist. –
- 34096 **Peschkau**, Die Aermstern. – v. **Kapff-Essenther**, Der Wert des Lebens wachenhusen, In der Nilbarke. – **Strahl**, Neue Zeiten.
- 34097 **Schreibershofen**, David Veronski. – v. **Perfall**, Das Glück von Tennexton. – **Berger**, Schuld. – **Cobb**, Gesühnte Schuld. –
- 34099 **Möllhausen**, Der alte Korpsbursche. – **Hungerford**, Die wilde Hummel. – **Heiberg**, Höchste Liebe schweigt. – **Herczeg**, Die Ehe des Herrn von Szaboles.
- 34100 **Zola**, Therese Raquin. – **Fischer**, Der Thunichtgut. – v. **Beniczky**, Ein Ehrenwort, – **Hardt**, Frau Talina.

- 34101 Bosse, Alles schief. – Lay, Dom Pedros Brautfahrt. – v. Baudissin, Auf der Grenze. – Verga, Eros. –
- 34103 Köhler, Allein in der Welt. – Hofmann, Garry. – Gopcevic, Beata. – Schuhmacher, Die von Lennep.
- 34104 Bock, Die Tote – Robert. – Baierlein, Am Seil. Sylvio Spreti. – Teschner, Die Junker von Landstein. – Lang, Fohleneck.
- 34105 v. Reichenbach, Josefa. – Isenbeck, Der gute Doktor. – Read, Len Ganfett. – v. Suttner, Gebrandmarkt.
- 34106 v. Schlicht, Point d'honneur. – Broniner, Im Banne der Leidenschaft. – Schneidt, Freundvoll u. leidvoll. – Wohlbrück, Aus eigener Kraft.
- 34107 Edler, Die Lindenbühler. – Paulsen, Die Frau eines Dichters. – Gerlach, Nur ein Künstler. – Harte, Eingeschneit
- 34108 Ortmann, Die Fehde des Besiegten. – Renz, Nach vierzig Jahren. – Valera, Juanita la Larga. – Zöller – Lionheart, Geister unserer Zeit.
- 34109 Lie, Susamel und andere Novellen. – Potapenko, Gesunde Ansichten. – v. Riesenthal, Zugvögel. – Theuriet, Raymonde.
- 34110 Brunner, „Ich sterbe freiwillig!“ – Rodziewicz, Animavilis. – Lubliner, Der Roman eines anständigen Mädchens. – Klopfer, Fegefeuer.
- 34111 Robida, Das elektrische Jahrhundert. – Hermstein, Der Gespensterhund. – Wegener, Job von Treuenfels. – Farina, „Was wird die Welt sagen?“
- 34112 Groner, Warum sie das Licht verlöschte. – Aho, Gutsbesitzer Hellmann.-Fischer – Sallstein, Das Liebespaar der Zarin! – Dilling, Begabt.
- 34113 Teschner, Rafael. – Fischer, Vier Blüten und eine Frucht. – Romer, Gerettet. – Peschkau, Allerlei Menschen.
- 34114 v. Baudissin, Liebeskämpfe: – Hedenstjerna, Die Badereise der Famiele. Hellvik, – Klinick-Lütetsburg, Die Erbin von Abbot-Castle. – Pasqué, Eine Visitenkarte Bismarcks. –
- 34116 Halbicht. Widersprüche. – Hoffmann, Silvia Baglione. – Herold, Nixenblumen. – Baierlein, Der Bilwitzschneider.
- 34117 Pekar, Die Dame in Weiss. – Haidheim, Unversöhnlich. – Jensen, Pastor Dahlberg. – Wichmann, Der Minne[fs²]inger.
- 34118 Kipling, Indische Erzählungen. – Björson, Absaloms Haar. – Klodwig, Annete. – Tantalus. – Zola, Die Ueberschwemmung.
- 34119 Gardener, Fräulein Kieselherz. – Weck, Haus Hoheneck. – Chesney, Der gläserne Dolch. – Ortmann, Die Gewalten der Tiefe.
- 34120 Vibe, Ein Testament. – Böttcher, Juchhei, am Rhein! – Farina, Stempelpapier. – Reid, Die Auswanderer des Transvaal.
- 34121 Paulsen, Frau Cäcilie. – Rüttenauer, Walpurgisnächte. – Telmann, Mit der Glückskappe. – Astl – Leonhard, Neros Fackeln.
- 全部ナシ 三四—四八イキ - 99 -
- 34122 Tolstoi, Auferstehung.
- 34124 Wolmar, Daheim und im Felde. – Lemmermayer, Das öde Haus. [-] Isenbeck, Der Brinkenhof. – Greinz, Assurdilili.
- 34125 Thieme, Ein Millionendiebstahl. – Schmidt, Sachsen in Tirol. – Fischer, Eine denkwürdige Vorladung. – Kapff-Essenther. Ins Bodenlose.
- 34127 Achleitner, Im Gebiet des Grossglockners. – Verne, Reise um die Erde. – Mordtmann, Das Albulblatt. –
- 34128 Lorenzen, Aus dem Journalistenleben. – Klopfer, Der Selge. – Thal, Chinesische Novellen. – Roland, Das Glück der Hammerfelds.
- 34129 Schlicht, Um Ehre. – Muschi, Der Marmorfuss. – Schjörning, Verwandte Seelen. – Daudet, Tar-

- tarin in den Alpen.
- ~~34131~~ Pötting, Um ein Buch. – Hervery, Dartmoor. – v. Zell, Detta. – Wer war's? – Behrend, Haus Gerling.
- ~~34133~~ v. Schoeler, Hans im Glück. – Foley, Mama. – Orzeszko, Der Verehrer der Macht. –
- ~~34134~~ Bazin, Landluft. – Moel, Orgelpfeifen. – Björnson, Der Mutter Hände – Pollaczek, Der zweite Doktor.
- ~~34135~~ Rhenstaedt, Margarethe. – Grosse, Terka Wissyleni. – Kapff-Essenther, Dienstboten-Geschichten. – Münchgesang, Runen.
- ~~34136~~ Stuckenberg, Der holden Worte süßer Klang. – v. Reichenbach, Sie liebten sich. – Schmidt, Der Latschenhof. – Artope, Der Strandgeist.
- ~~34137~~ Castelnovo, An venetianischen Fenstern. – Milbach, Rivalen. – Kapff-Essenther, Kleineleuts-Geschichten. – Harte, Der Grubenmillionär.
- ~~34138~~ Potapenko, Zwei Wege. – Edler, Auf dem Turme. – Johannsen, Aus Heide und Moor. – Leffler, Aus dem Leben. –
- ~~34139~~ Heims, Eine seltene Ehre. – Kapff-Essenther, Vergangenheit. – Walter, Der rote Dolman.
- ~~34140~~ Baierlein, Hui und Pfui. – Lincke u. Duchow, Jochebeth. – Gorki, Jschelkasch. – Malva. – v. Gottschal, Das Häuschen mit den Jalousieen. –
- ~~34141~~ Groner, Nach zwanzig Jahren. – Berger, Das Jungfernstift. – Potapenko, Eine Familiengeschichte. – Egge, Der Schiffsjunge.
- ~~34142~~ Pasqué, Haus Kleberg. – Zeihe, Wer das Geld hat. – Daudet. Im Banne der Liebe. – Ouida, Ruffino.
- ~~34143~~ Friedmann, Wahnsinn! – Simson, Der Hungertum. – Verne, Von der Erde zum Mond. – Brunner, Im Schnitterglück!
- ~~34145~~ Ohnet, Die Dame in Grau. – Grosse, Versäumte Jugend. – Herczeg Die Tochter des Obersten. –
- ~~34146~~ Schwartzkoppen, Frau Holles Brautschleier. – Lermine, Das Drama der Rue St. Anna. – Habicht, Besondere Kennzeichen. – Peschkau, Leidenschaft.
- ~~34147~~ Wundtke, Der Glückspudel. – Buss, Kinder des Ostens. – Dahl, Der Löwe. – Schmidt, Mutter.
- ~~34148~~ Verne, Fünf Wochen im Reich der Lüfte. – Pontoppidan, Der Eisbär. – Eine Liebesgeschichte. – Baierlein, Ein gutes Werk, Ein Schicksal.
- «京都大附圖»
- ~~34149~~ Höcker's Zeller Trautl. – Bütow, Schuldig. – Möllhausen, Der Postreiter. – Klinick-Lütetsburg, Fest im Sturm.
- ~~34150~~ Blüthgen, Die Stiefschwester. – Yates, Der stille Zeuge. – v. Brun – Barnow, Hatty.
- ~~34151~~ Davis, Gallegher und andere Geschichten. – Frhr. Dincklage-Campe, Tänzerin und Fürstin. – Harte, Eine vornehme Familie.. – v. Rehren, Reinheit. – Die Freunde.
- 全部ナシ – 100 –
- ~~34152~~ Lay, Zu Strassburg auf der Schanz. – Mikszath, Ungarische Novellen. – v. Oertzen, Herzfeuer und Herzschnee. – Mordtmann, Sonnige Tge.
- ~~34153~~ Selonsky, Daraajans Testament. – Rubiner, Geheime Mächte. – Hornung, Aus dem Busch. – Thieme, Der Offizialverteidiger.
- ~~34154~~ Bleibtreu, Aus Norwegens Hochlanden. – Blüthgen, Der Rezensent. – Hopfen, Zwei Dorfgeschichten. – Noel, Aus Laune. – Durch die Zeitung.
- ~~34155~~ v. Barfus, Ein rätselshfter Mord. – Schnitzler, Humoresken. – Stern, In Venedig. – Fischer, Bekos.
- ~~34156~~ Merk, Die junge Generation. – Heims, Auf feuchten Pfaden. – Dostojewski, Raskolnikoff. –
- ~~34157~~ Stahr, In fremden Landen. – Groner, Das Geheimnis des Apothekerhauses. – Theuriet, Der Pate des Marquis. – Liliencron, Greggert Meinstorff.
- ~~34158~~ v. Brun-Barnow, Gräfin Ruth oder die Rivalin. – Okonkowski, Ein Liebesdienst. – Goldschmidt, Fremdes Blut. – Heidl, Hoch vom Dachstein.
- ~~34159~~ v. Bergen, Kleinstädtische Herzen. – Bauer, Der Blitz. – Eschricht, Josephines Schicksale. – Beet-

schen, Aus dunkeln Welten.

- ~~34161~~ Gyp, Der Wildfang. – Nur keine Fremde. – Pollaczek, Geläutert. – Pekar, Die Romanze eines blinden Mädchens. – Friedmann, Ernte ohne Saat.
- ~~34162~~ v. Scheve, O diese Leutnants! – Hochfeldt, Narren. – Wohlbrück, Extreme. – Lay, Nomaden.
- ~~34163~~ Bliss, Aus hartem Holz. – Neera, Letzte Liebe. – Clausius, Jeder seines Glückes Schmied. – Berger, Elementare Gewalten.
- ~~34164~~ v. Dinklage-Campe, Im Tramontan. – v. Zobeltitz, Unter der Dornenkrone. – Thieme, Der einzige Zeuge.
- ~~34165~~ Zöller-Lionheart, Böse Zungen. – Lee, Rosen – Rosel. – v. Oertzen, Ein tönendes Erz. – Spielmann, Am Bagno vorbei.
- ~~34166~~ Vely, Bocca della verità. – Bourget_[J] Der Talisman. – Delpit, Die Witwe Sorbier. – v. Dorman, Unfrei.
- ~~34167~~ Herczeg, Mutamur. – Sirius. – Kandler, Irrleben. – Pemberton, Durch Nacht zum Eis. – Renz, Die polnische Gefahr.
- ~~34168~~ v. Rehren, Drei aus einem Nest. – Ender, Im Knotenpunkt. – Seeger, Präexistenz? – Bonhomme, Villa Tournesol.
- ~~34169~~ Grabein, Frau Lurley. – Stieber, Nimbus. – Mairet, Meeresblume. – Elbe, Eine Lebenssünde.
- ~~34170~~ Möllhausen, Sankt Elmsfeuer. – Seeliger, Ueber den Watten. – v. Oertzen, Nordlandsgeschichten. – Thiems, Die Flucht des Kassierers.
- ~~34171~~ Bittrich, Sonnenschein. – Ulrich, Heimkehr. – Berges, Die Auswanderer. – Ott, Der Schürzenbauer.
- ~~34172~~ Lohde, Strumflut. – Zeitler, Wald- und Jagdgeschichten. – Ronai, Lebenskünstler. – Sartorius, Verirrt. – Dornröschen.
- ~~34173~~ v. Waldow, Der gläserne Pantoffel. – Courths-Mahler, Scheinehe. – Ortmann, Ein Rezept. – Schnitzler, Der kleine Peter Willaschek.
- ~~34174~~ Hochstetter, Eine „fromme“ Lüge. – Barfus, Der schwarze. Diamant. – Brachvogel, Ihr Dichter. – Ortmann, Die Madonna des Botticelli.
- ~~34175~~ v. Landskron, Elemente Baldi. – v. Schlägel, Böser Leumund. – Astl-Leonhard, Caligula im Hafen. – Gnade, Kleinstädtische Geschichten.
- ~~34176~~ v. Zobeltitz, Zwischen zwei Meeren. – Trahdorff, Im Verdacht. – Merk, Frauengestalten.
- ~~34177~~ Sims, Die verschwundene Braut. – Vely, Gustel. – Lay, Seemannslicbe. – Ott, Wildfeuer.
- 三四二〇一イキ - 101 -
- ~~34180~~ Hirschberg-Jura, Zwei Hundertmarkscheine. – Nast, Ein falscher Märtyrer. – Theden, Herzgold. – Zöldi, Bauern und Diebsgeschichten.
- ~~34181~~ Jobst, Der Puoenjunge. – Kleinecke, Ohne Liebe leben – Hancke, Russische Hofkabalcn. – Ouida, Santa Rosalia.
- ~~34182~~ Zapp, Die Frau Leutnant. – Pollaczek, Glatteis. – Busse-Palma, Don Juan von Bank. – Hungerford, Prinzessschulen.
- ~~34183~~ Schumacher, Villa „Eigenheim“. – Janitschek, Ueberm Tal. – Elco, Liebeszauber.
- ~~34184~~ Peschkau, Das Rätsel einer Nacht. – Stahr, Wahre Liebe. – Klitscher, Von Weibes Herzen. – v. Waldow, In eigener Schlinge.
- ~~34185~~ v. Gottschall, omeo und Julie am Pregel. – Groller, Das Rätsel des Blutes – Zöller-Lionhart, Ohne Liebe vermählt. – Voss, Bacchanten.
- ~~34186~~ Grad, Der Heigirgl, – Ganske, Nachbarskinder. – Ortmann, In den wilden Wassern. – Clausius, In Himmelreich.
- ~~34187~~ Falke, Heitere Geschichten. – Rohmann, Prometheus. – Hindermann, Glücksflüchtig. – Htan, Der Millionenschwindler.
- ~~34188~~ Marriot, Ein schwerer Verdacht. – Skowronnek, Mein Freund Boruch Hellmuth, Ihre beste Idee. – Kretzer, Im Sturmwind des Sozialismus.

- 34190 Riedberg, wandlung, – Lindner, Gib mir einen Menschen! – Kühl, Margaret Wendt. – Herczeg, Sprechen Sie mit Mama
- 34191 Horst, Der Erbe. – Brandy, Der Kaffee-Croner, – Andrea-Carel, Jugendstürme. – v. Stenglin, Die Landpomeranze.
- 34193 Horn, Wie Gottlieb wieder zu sich kam. – Zankwill, Das Geheimnis der Bowstr. – Nathusius, Erika. – Grabein, Irrlicht.
- 34194 Friedmann, Tantalus. – Thieme, Der Einäugige, – Klemperer, Aus härteren und weicheren Tagen.
- 34195 Nast, In der Sumpfkate. – Zobeltitz, In der Welt verloren. – Gottschall, Die Madonna von Fiesole.
- 34196 Oertzen, Lore Freyeisen. – Wolters, Ach, wenn du wärst mein eigen. – Daudet, Die Spionin. – Mordtmann, Jásillü Tasch.
- 34197 Treu, Das Gastmahl des Marschalls von Sachsen. – Revel, Der Brandstifter. – Rex, Stille Schicksale.
- 34198 Wohlbrück, Herr Jvenhang. – Bethusy – Hue, Glückskinder. – Pauli, Der Schleier der Naiven.
- 34199 Diers, Fräulein Doktor. – Uxküll, Eisgang. – Byisse, Holländische Dorfgeschichten, – Musmann, Matadora.
- 34200 Ohnet, Verjährt Groll. – Roberts, Aus Mitleid – Vely, Serenissima.
- † 34201 Rohmann, Weltflüchtig. – Heiberg, Zwischen zwei Feuern.
- «京都大附圖»
- 34202 Köhler, In schwerer Stunde. – Eyre, Sie soll ihn erziehen. – Courths-Mahler, Im Waldhof. – Podewils, Zweifelhafte Charaktere.
- 34203 Fleischer, Leute vom Dorf. – Vely, Alles wohl an Bord. – Bliss, Bauernblut. – Roberts, Faschingzauber.
- 34204 Gersdorff, Des Vaters Schuld. – Sell, Erfolg. – Stern, Die Totenmaske.
- 34205 Goetz, Der Meister. – Klitscher, Ueber und unter den Wolken. – Ferno, das Glück der Schwestern Halbenhorst. – Puschkin, Menschen und Mächte.
- 34206 Stangen, Hinter der Frühlingsgrenze. – Brügge, Der Gemäldediebstahl. – Reinling, Götze Gold. – Tanner, ... denn das Glück ist immer da.
- 34207 Urban, Agna, – Pauli, Masken, – Boy Ed, Die Kadettenmutter. – Schnitzer, Der Knopf.
- 34208 Morisson, Der rote Triangel. – Dorn, Auf der Flucht. – Katt, Affäre Bodasse.
- 102 –
- 34209 Heldt, Konflikte. – Jaeger, Erbkönig. – Herold, Die Hauptprobe. – Zahn, Sein Modell.
- 34210 Schumacher, Der Ruhm. – Skowronnek, Im Schutz der Sippe. – Milbach, Ohne Spuren.
- 34211 Krobath, Lawinen. – Lee, Die Frau aus Japan. – Heymann, Um die Ehre gespielt. – Gerbrandt, Verlorner Posten.
- «京都大附圖»
- 34212 Sinclair, Herr Fokus als Hypnotiseur. – Ganske, Königstöchter. – Stinde, Zigeunerkönigs Sohn. – Jobst, Er liquidiert.
- 34213 Ertle, Der tote Punkt. – Teschner, Ungleiche Seelen. – Gorkis, Boles-Lynch, Im Wirbel der Welt.
- 34312 **Jensen**, Alt-florentinische Tage. – **Stidel**, Die silberne Verlobung. – **Stindle**, Martinhagen.
- 34320/1-23 Das Siebengestirn. Meisterwerke deutscher Novellistik. 4 Bde.
- «京都大附圖»
- 34320/46-28 Meisternovellen neuerer Erzähler. 5 Bde. 27 ケツ
- 34340 **Neuland**, Ein sammelbuch moderner Prosadichtung, herausgegeben von **Cäsar Fleischlen**.
- «京都大附圖»
- 34341 **Stakmann**, Aus deutschen Dichtern. Eine Prosa-Anthologie.
- «京都大附圖»
- 34343 **Velhagen und Klasings Romanbibliothek** Bd. 3.: Elliot, Ferry. – v. Stockmans, Geheime Magie.

- Schulze-Smidt, L'omicida.
- ~~34344~~ **Velhagen Klasings Romanbibliothek** 1903. A. Harder, Thönerne Füße – F. Rosen, Erlösches Licht. – Müllenbach, Brumaire.
- ~~34345~~ – Bd. XV. (Diers, Die liebe Not – Zobeltitz, Eine Welle von drüben).
- 34346 – Bd. XVI. (F. v. Bülow, Die Tochter – Ch. Niese, Am Sandberghof. – Rosenberger, Dwars in den Weg).
«京都大附圖»
- 34347 – Bd. XVII. (Glas, Der panische Schrecken etc.)
«京都大附圖»
- 34348 **Zimmermann**, Fürstliche Schriftsteller des XIX. Jahrhunderts.
- 34372 **Falk**, Meisterbuch des Humors: Eine Auswahl bester Humoresken u. Bruchstücke aus der Literatur der europäischen Völker.
«京都大附圖»
- ~~34373-3786~~ **Eckstein**, Humoristischer Hausschatz für das deutsche Volk. Heitere Erzählungen u. Novellen verschiedener Autoren. 6 Bände.
«京都大附圖»
- ~~34379~~ **Hessen**, Mutterwirtz in Alltagsleben und Weltgeschichte.
- 34380 **Bibliothek des Humors**, herausgegeben von O. Hopp:
– Bd. 1. Medizinischer Humor. a-b.
«京都大附圖»
- 34381 – Bd. 2. Brandenburgisch-preussische Geschichte mit einem Anhang Berliner Witze und Redensarten. a-b.
«京都大附圖»
- 34382 – Bd. 3. Geistlicher Humor. a-b.
«京都大附圖»
- 34383 – Bd. 4. Lehrer und Schüler.
«京都大附圖»
- 34384 – Bd. 5. Juristischer Humor a-b.
«京都大附圖»
- 34386 – Bd. 7. Anekdoten und Episoden aus der deutschen Geschichte. a-b.
«京都大附圖»
- 34387 – Bd. 8. Anekdoten und Episoden aus der neuesten deutschen Geschichte.
«京都大附圖»
- 34389 **Der Student**, Culturbilder aus dem „Simplizissimus“. a-b.
«京都大附圖»
- ~~343890~~ **Der Soldat** do
- ~~343891~~ **Der Künstler** do
- ~~343892~~ **Sport** do
- ~~343893~~ **Fasching** do
- 34401 **Bonaventura**, Nachtwachen (Bibliothek deutscher Curiosa.) a-b.
«京都大附圖»
- 344201-26 **Kolping**, Ausgewählte Volkserzählungen 7. Bde.
«京都大附圖»
- 34501-4 **Deutsche Romanzeitung**. 1907. 4 Bde.
«京都大附圖»
- ~~34505-8~~ – 1908. 4 Bde.
- 34509-12 – 1909. do
«京都大附圖»

~~34513-16~~ - 1910. do

- 103 -

2. Einzelwerke. *)

- | | | |
|------------------|--|---------|
| 35002 | Achleitner , Geschichten aus den Bergen | «京都大附圖» |
| 35003 | - Bergrichters Erdenwallen | «京都大附圖» |
| 35004 | - Fröhlich Gejaid.-Jagdgeschichten a-b. | «京都大附圖» |
| 35005 | - Im grünen Tann. Schwarzwaldnovellen. | «京都大附圖» |
| 35006 | - Angela. Tiroler Novelle. | «京都大附圖» |
| 35007 | - Der Finanzer. | |
| 35008 | - Geschichten aus den deutschen Alpen. | |
| 35009 | - Mein Herz ist im Hochland. Alpenerzählungen. | «京都大附圖» |
| 35010 | - Das Hennendirndl. Roman vom Chiemsee. | «京都大附圖» |
| 35011 | - Der Stier von salzburg a-b. | «京都大附圖» |
| 35014 | - Die Herzogskerze. | «京都大附圖» |
| 35015 | - Der Hirsch von Esslingen. | «京都大附圖» |
| 35016 | Adlersfeld-Ballestrem , Unheimliche Geschichten. | «京都大附圖» |
| 35017 | - Die Fürstäbtissin | «京都大附圖» |
| 35018 | - Komtesse Käthe in der Ehe. | «京都大附圖» |
| 35019 | - Die Dame in Gelb. Eine sonderbare Geschichte. | «京都大附圖» |
| 35020 | - Komtesse Käthe. Humoresken. | |
| 35021 | - Pension Malepartus. | |
| 35022 | - Hallali, Der Fall Stachelberg. Kriminalnovellen. | |
| 35023 | - Datura Sanguinea a-b. | «京都大附圖» |
| 35024 | - Um eine Königskrone und andere Novellen a-b. | |
| 35025 | - Sol und andere Novellen a-b. | «京都大附圖» |
| 35026 | - Aus der Rumpelkammer der Weltgeschichte. Skizzen u. Studien. | «京都大附圖» |

*) Die Anordnung in dieser Rubrik (XII C. 2) ist alphabetisch, jedoch nur dem Anfangsbuchstaben der Verfasser nach.

35027	- Lanzen gefällt zur Attaque. a-b.	
35028	Amyntor , Gewissensqualen. a-b.	«京都大附圖»
35029	Alexis , Willibald, Der Roland von Berlin a-b.	«京都大附圖»
35030	- Der Werwolf Tl. 1-2. a-b.	«京都大附圖»
35031- 32	- Der falsche Waldemar. 2 Bde. a-b. (Ausgabe in einem Bande)	«京都大附圖»
35033	- Die Hosen des Herrn von Bredow. a-b.	«京都大附圖»
35034- 36	- Dorothee. Historischer Roman. 3 Bde.	«京都大附圖»
35037	- Jsegrim. Historischer Roman.	
35038	- Ruhe ist die erste Bürgerpflicht.	
35039	- Cabanis. Vaterländischer Roman aus der Zeit Friedrichs des Grossen.	
35041	Anders , Mode. a-b.	«京都大附圖»
35042	Andersen , Hans Christian, Eines Dichters Bazar. ab	«京都大附圖»
35043	- Bilderbuch ohne Bilder.	«京都大附圖»
35044	- Nur ein Geiger.	«京都大附圖»
35045	- Der Improvisator. (Wartig)	«京都大附圖»
35046	- Der Improvisator. (Reclam)	«京都大附圖»
35047	- O. Z. (Reclam.)	«京都大附圖»
35048	- O. Z. (Wartig.) a-b.	«京都大附圖»
35049	- Sein oder Nichtsein. a-c.	«京都大附圖»
35050	- Gesammelte Historien. a-b.	«京都大附圖»
35051	- Das Märchen meines Lebens a-b.	«京都大附圖»
35052	- Der Glückspeter. a-b.	«京都大附圖»
35053	- Geschichten u. Erzählungen.	«京都大附圖»
		- 104 -
35055-57	Anders , F, Skizzen aus unserm heutigen Volksleben. 3 Bde.	«京都大附圖»
35059	Allgenstädt , Von Amtswegen.	

- 359[90]60 – Frei zum Dienst. Eine Diakonissengeschichte. «京都大附圖»
- 35062 **Arnold, H.** Novellen. «京都大附圖»
- 35063 – Neue Novellen. «京都大附圖»
- 35064 – Lustige Geschichten. «京都大附圖»
- 35069 **Anders, Hans,** Hans Jedermanns Lebensphilosophie. «京都大附圖»
- 35070 **Arnim,** Die Kronenwächter. «京都大附圖»
- ~~35071~~ **Arnold, E.,** Aus allerlei Garnisonen. Skizzen und Sittenbilder.
- 35074-75 **Arminius,** Stietz-Kandidat. Roman aus grauer Vorzeit des Oberlehrerlebens. 2 Bde. «京都大附圖»
- ~~35076~~ – Yorks Offiziere. Histor. Roman.
- 35077 – Wartburgkronen. Roman aus der Minnesingerzeit. «京都大附圖»
- 35079 **Anzengruber,** Der Sterusteinhof. Eine Dirfgeschichte. «京都大附圖»
- ~~35080~~ – Wolken und Sunnschein.
- 35081-90 **L. Anzengrubers Werke.** 10 Bde.
82 83 84 Bd. 1. Der Sternsteinhof. – Bd. 2. Der Schandfleck. – Bd. 3-5. Dorfgeschichten. – Bd. 6. Der Pfar-
85(ケツ) rer von Kirchfeld. – Bd. 7. Der G'wissenswurm. – Der Doppelselbstmord. – Der ledige Hof.
– Bd. 8.'s Jungferngift. – Stahl und Stein. – Die Trutzige. – Bd. 9. Der Fleck auf der Ehr. –
Elfriede. – Bertha von Frankreich. – Hand aufs Herz – Bd. 10. Das vierte Gebot. – Alte Wien-
er. – Heimgefunden. «京都大附圖»
- ~~35091~~ **Austerlitz** Café Grössenwahn.
- 35092 **Aide,** Ein dunkles Geheimnis. «京都大附圖»
- 35095 **Apel und Laun,** Gespensterbuch. «京都大附圖»
- 35096-99 **Auerbach,** Berthold, Auf der Höhe. Roman. 4 Bde a-b. «京都大附圖»
- 35100-101 – Das Landhaus am Rhein. 2 Bde. a-c. «京都大附圖»
- 351023-106 – Schwarzwälder Dorfgeschichten. 10 Teile in 5 Bänden (Die Frau Professorin, Diethelm von
Buchenberg, Barfüssele, Joseph im Schnee, Edelweiss etc. etc.) a-b. «京都大附圖»
- 35107 – Neues Leben. Roman «京都大附圖»
- 35108 – Spinoza. Dichter und Kaufmann. Romane a-b. «京都大附圖»
- 35397 **Bang,** Die vier Tufel. «京都大附圖»
- ~~35398~~ – Die Tänzerin u. andre Erzählungen.
- ~~35399~~ – Ludwigshöhe. Roman einer Krankenpflegerin.

- 35400 – Exzentrische Novellen.
- ~~35401~~ **Baudissin**, Im engen Kreise.
- 35402 **Bandlow**, Naturdoktor Stremel. Eine Fürsten- und Bürgergeschichte aus Pommern. «京都大附圖»
- 35404 **Beck**, Allerhand kleine Geschichten. a-b. «京都大附圖»
- 35405 **Becker**, Das alte Bild. «京都大附圖»
- 35406 **Benary**, Hans Besenried. «京都大附圖»
- ~~35407~~ **v. Berge**, Lustige Fahrten des Grafen von und zu Datenberg. a-b. «京都大附圖»
- ~~35408~~ **Böhlau**, (Helene) Jsebies.
- ~~35409~~ – Das Haus zur Flamm. a-b.
- ~~35410~~ – Das Recht der Mutter.
- ~~35411~~ – In frischem Wasser.
- 35413 **Björnson**, Arne. «京都大附圖»
- 35414 – Ein fröhlicher Bursch. «京都大附圖»
- 35415 **Beyer**, Lebrecht, Mary Goldneys Tagebuch, Aus der Zeit des Aufstandes in Indien. a-b. «京都大附圖»
- 35416 **Biernatzki**, Die Hallig oder die Schiffbrüchigen auf dem Eiland der Nordsee. (Reclam und Spe-
mann). «京都大附圖»
- 105 -
- ~~35417~~ **Buchhorn**, Die Hohenstaufen. Ein Tübinger Studentenroman.
- 35418 **Björnson**, Bauern-Novellen. Aus dem Norwegischen. «京都大附圖»
- 35419 – Der Brautmarsch und andere Erzählungen. «京都大附圖»
- 35420 **Bliss**, Am Wege gepflückt. «京都大附圖»
- 35421 – 100 Mark Belohnung und Anderes. a-b. «京都大附圖»
- 35422 **Blüthgen**, Ein ehrlicher Markler. «京都大附圖»
- 35423 – Die schwarze Kaschka. «京都大附圖»
- 35424 – Aus gährender Zeit. (s. a. Gartenlaube 1877). «京都大附圖»
- ~~35426~~ **Bartels**, Doietrich Sebrandt. Roman aus Schleswig-Holsteins Erhebung.
- ~~35427~~ – Die Dithmarscher. Histor. Roman.
- 35428-30 **Börne**, Ludwig. Gesammelte Schriften. a-b. «京都大附圖»
- 35431 – Ausgewählte Skizzen und Erzählungen. (Reclam).

		«京都大附圖»
35432	Böhlau , Altweimarische Liebes- und Ehegeschichten. a-b.	
		«京都大附圖»
35433	– Die Kristallkugel. <i>ab</i>	
		«京都大附圖»
35434	– Verspielte Leute. <i>ab</i>	
		«京都大附圖»
35435	– Ratsmädelgeschichten.	
		«京都大附圖»
35436	Bogler , Die alte Mühle.	
		«京都大附圖»
35437	Böhme , Tagebuch einer Verlorenen.	
35438	Bötticher , Allotria. a-b.	
		«京都大附圖»
35439	v. Boguslawski , Aus bewegten Zeiten. Novellen u. Skizzen.	
		«京都大附圖»
35440	Brachvogel , Der fliegende Holländer. Historischer Roman.	
		«京都大附圖»
35441	– Der deutsche Michael. Histor. Roman.	
35442	– Friedmann Bach. a-b.	
		«京都大附圖»
35443	– Maria Stuart, Histor. Roman.	
		«京都大附圖»
35444	– Ludwig der Vierzehnte. <i>do</i>	
35445	– Der Fels von Erz. Vaterländischer Roman.	
35446	– Simon Spira und sein Sohn	
35447	– Malcom Sinclair.	
		«京都大附圖»
35448	Breidbrücker , Kein Sommer ohne Wetter.	
		«京都大附圖»
35449	v. Breidenbach , Bunte Ranken. <i>a-b</i> .	
		«京都大附圖»
35450	Buch , Um Ehre und Ruhm.	
		«京都大附圖»
35451	v. Bartels , Wanda, Aus dem Sonnenflimmern.	
		«京都大附圖»
35452	Brinckmann , Kasper Ohm und ick.	
		«京都大附圖»
35453	von Bülow , Frauentreue.	
35454	– Der Konsul.	
		«京都大附圖»
35455	– Deutsch-Ostafrikanische Novellen.	
		«京都大附圖»
35456	– Kara.	
35457	– Margarete und Ludwig.	
		«京都大附圖»
35458-59	Beyerlein , Jena oder Sedan? <i>a-eB</i> .	

- 35460-63 **Becker**, Das Johannisweib. I. Meine Schwester. Bd 1-4. (1-3: a-b). 63^A ケツ «京都大附圖»
- 35464 **Braun**, Jsabella, Lieb und Treu. a-b. «京都大附圖»
- 35465-66 **Birch-Pfeiffer**, Charlotte, Gesammelte Novellen und Erzählungen Bd. 1 u. 2. «京都大附圖»
- ~~35469~~ **Böttcher**, Der Nabob auf Capri.
- 35470 **Berges**, Philipp, Amerikana. Humoristische Skizzen aus d. amerikanischen Leben. (Reclam) a-b. «京都大附圖»
- 35471 **Blumenthal**, Allerhand Ungezogenheiten. «京都大附圖»
- 35472 **Berliner-Gesellschaft**, Aus der – unter Kaiser Wilhelm II. «京都大附圖»
- 35473 **Budde**, An stillen Wassern. «京都大附圖»
- ~~35476~~ **Beyer**, C. Um pflicht und Recht. Roman aus der Zeit der Vitakienbrüder.
35477 do Die alte Herzogin. «京都大附圖»
- 35478-80 **Breusing**, Ein Westfale. Bd. 1-3. «京都大附圖»
- 35481 **Briefe, die ihn nicht erreichten.** a. b. «京都大附圖»
- 106 -
- 35482 **von Bülow**, Hüter der Schwelle. «京都大附圖»
- 35483 – Tropenkoller. «京都大附圖»
- ~~35484~~ – Im Lande der Verheissung.
- 35485 – Im Hexenring.
- 35487 **Brandenfels**, Prinzessin ohne Land und Krone. «京都大附圖»
- ~~35488~~ **Bilse**, „Lieb Vaterland ...“. Roman.
- 35489 **Behrend**, Der Bildhauer. Künstlerroman aus Pompeji. «京都大附圖»
- 35490 **Bartsch**, Bob, der Sonderling. «京都大附圖»
- 35491 – Die Geschwister a-b. «京都大附圖»
- ~~35492~~ – Die Haindlkinder.
- 35493 – Elisabeth Kött. «京都大附圖»
- ~~35494~~ – Zwölf aus der Steiermark.
- 35497 **Bethusy-Hue**, Hans der Pole. «京都大附圖»
- ~~35498~~ **Berkow**, Um seinetwillen. Roman aus der französischen Revolution.

- 35499 – Frau Ilse. «京都大附圖»
- 35500 – Der Schatten. «京都大附圖»
- ~~35501~~ **Braun, (Lily),** Memoiren einer Socialistin. Roman.
- ~~35502~~ **Bittermann,** Der verirrte Vogel. Eine Vorstadtgeschichte.
- ~~35504~~ **Bahr,** Die Rahl.
- 35505 – Stimmen des Blutes. Novellen. «京都大附圖»
- [35506 – O Mensch!] «京都大附圖»
- ~~35508~~ **von Binder-Kriegelstein,** Aus dem Lande der Verdammnis. (Erzählungen aus der Mandchurei).
- 35509 – Zwischen Weiss und Gelb. Neue Erzählungen aus der Mandchurei. «京都大附圖»
- ~~35510~~ **Bierbaum,** Der weiberfeindliche Herr Pankrazius Graunzer.
- ~~35511~~ – Stilpe. Roman aus der Froschperspektive.
- 35512 **Boy-Ed,** Die säende Hand.
- ~~35513~~ – Geschichten aus der Hansestadt.
- 35514 – Die Schwestern. a-c.B ケツ «京都大附圖»
- 35515 – Zwei Männer.
- 35516 **Baumbach, (Rudolf),** Truggold. Erzählung aus dem 17. Jahrhundert. «京都大附圖»
- 35517 **Busse,** Im polnischen Wind. Ostmärkische Geschichten.
- 35518 – Jugendstürme. «京都大附圖»
- ~~35519~~ **Bonsels-Hahn,** Aimée. Die Abenteuer einer Tänzerin.
- ~~35520~~ **Becker,** Die Nonnensusel. Ein Bauernroman aus der Pfalz.
- ~~35521~~ **Bulcke,** Jrmelin Rose.
- ~~35522~~ **Brinkmann,** Eroberer. Amerikanische Skizzen.
- ~~35523~~ **Boy-Ed,** Aus Tantalus Geschichte.
- ~~35524~~ – Nur ein Mensch. (s. a. Gartenlaube 1899).
- ~~35525~~ – Werde zum Weib.
- ~~35526~~ – Um ein Weib.
- ~~35527~~ – Heimkehrfieber
- ~~35528~~ – Die holde Törin
- 35529 – „Ich“. a. b. «京都大附圖»
- ~~35530~~ – Nur wer die Sehnsucht kennt ...
- Ein Königlicher Kaufmann s. Gartenlaube 1910.
- Die Lampe der Psyche do do 1895.
- Um Helena do do 1900.
- ~~35532~~ **Bloem,** Der krasse Fuchs.
- ~~35533~~ – Das eiserne Jahr (1870/71).
- 35536 **Bergsoe,** Die waffenklirrende Schlucht. Aus dem Dänischen. «京都大附圖»

- 35537 - Delila.-Gespenstergeschichten. «京都大附圖»
- ~~35538~~ - Der starke Jürgen. Kriminalgeschichte.
- 35539 - Der geraubte Arm. Schimmelmanns Pferd. «京都大附圖»
- 107 -
- ~~35540~~ **Busse**, Das Gymnasium zu Lengowo.
- ~~35541~~ - Röschen Rhode.
- ~~35542~~ - Lena Küppers.
- 35546 **Berger**, Baron Alfred von, Semmelweis und andere Geschichten. «京都大附圖»
- 35547 **Bremer**, Die Nachbarn. Aus dem Schwedischen. «京都大附圖»
- 35548 **Bleibtreu**, Bei Jena und andere Novellen. «京都大附圖»
- 35549 **Böhmer**, Inkorrekt.
- ~~35550~~ **Bahr** (und elf andere Verfasser) Der Roman der Zwölf.
- 35551 **Beyerlein**, Ein Winterlager a-c.
- ~~35552~~ - Stirb und werde.
- 35555 **v. Brakel**, Ferdinande. daniella.
- ~~35556~~ - Die Tochter des Kunstreiters.
- 35557 **Bernhard**, die Glücklichen.
- 35558 **Brentano**, Fritz, Humoresken.
- 35559 **Böttcher**, Max, Frau Pastor. Novellen und Skizzen.
- 36202 **Cabanis**, Die Mär vom Jordansee auf Wollin a-b.
- 36203-06 **Chamisso**, Adalbert, Gesammelte Werke. (Cotta) Bd. 1-4. (a-b).
- Conscience**, Heinrich, Sammlung ausgewählter Schriften:
- ~~36208~~ - Der Löwe von Flandern.
- ~~36209~~ - Abendstunden. Siska van Roosemael. Was eine Mutter leiden kann. Wie man Maler wird. Lambert Hensmanns. Der Rekrut.
- ~~36210~~ - Der arme Edelmann. Der Bauernkrieg. Der Geizhals.
- ~~36211~~ - Bass gansendoeck. Chlodwig und Chlotilde.
- ~~36214~~ - Das eiserne Grab. Belle Stock.
- ~~36216~~ - Der Bürgermeister von Lüttig. Valentin.
- 36217 - Die Einbildungskrankheit. Lebenslust a-b.
- 36221 - Die Dolfplage. Barr und Lieschen. Der Minnesänger.
- ~~36225~~ **Conrad**, Majestät. Ein Königsroman (Ludwig II. von Bayern.)
- ~~36226~~ - Der Herrgott am Grenzstein. Fränkischer Dorfroman.
- ~~36227~~ **Cals**, Photinissa Chrysopulos. Novelle.
- 36228 **Caries**, Briefe an ihren Freund aus einer preussischen Garnisonstadt.
- ~~36229~~ **Conrad** (Marie), Landluft.
- ~~36230-31~~ **Couperus**, Novellen. Aus dem Holländischen a-b.
- ~~36232~~ **Cremer**, J. J., Holländische Novellen.
- ~~36233~~ **Mac. Clown**, Assessor Kranichs Briefe aus dem Jenseits. a-b.
- ~~36234~~ **Cremer**, Das grosse Tor. Auswandererroman.

- 36235 – Das Tagebuch eines Fräulein Doktor.
36236 **Carlssen**, Aus den Lehrjahren eines Strebers.
~~36238~~ **Coster**, Tyll Ulenspiegel u. Lamm Goedzak. Legende von ihren heroischen, lustigen u. ruhmreichen Abenteuern im Lande Flandern. Deutsch von Oppeln-Bronikowski. 1910.
~~36481~~ **Dahlmann**, Imme. Roman.
~~36484~~ **Dahn**, Felix, Herzog Ernst von Schwaben.
~~36485~~ – Väter und Söhne.
~~36486~~ – Weltuntergang. Erzählung aus dem Jahre 1000.
~~36487~~ – Vom Chiemgan. Novellen.
~~36488-90~~ – Julian der Abtrünnige. Geschichtlicher Roman.
~~36491~~ – Felicitas.
~~36492~~ – Die Kreuzfahrer.
~~36493~~ – Fredigundis.
~~36494~~ – Am Hofe Herrn Karls.
~~36495~~ – Stilicho.
~~36496~~ – Ebroin.
~~36497~~ – Die Bataver.
- 108 -
- ~~36498~~ **Dahn**, Gelimer.
~~36499~~ – Chlodovech.
~~36500-03~~ – Felix, Ein Kampf um Rom. Bd. 1-4. a (b. Ausgabe in 3 Bdn).
~~36504~~ – Bis zum Tode getreu.
~~36505~~ – Kämpfende Herzen.
~~36506~~ – Bissula.
~~36507~~ – Odhins Trost.
~~36508~~ – Attila.
~~36509~~ – Die schlimmen Nonnen von Roitiers.
~~36510~~ – Odhins Rache.
~~36511~~ **Degen**, Aus dem Militärleben.
- «京都大附圖»
- ~~36512~~ – In der Kaserne.
~~36513~~ – Adjutantenerinnerungen.
~~36514~~ **Dingelstedt**, Franz, Wanderbuch a-b.
~~36515~~ **Diers**, Die Kinder von Heckendamm.
~~36516~~ – Die Tragödie Mama.
~~36518~~ – Die liebe Not. Geschichte eines Frauenherzeus.
~~36519~~ – Der alte Timm und seine Nachbarn.
~~36520~~ – Im Herrenhaus von Luckmühlen.
~~36521~~ **Dunker**, Dora, Die Modistin.
~~36522~~ – Die grosse Lüge.
~~36523~~ – Die heilige Frau. Berliner Theaterroman.
~~36524~~ – Jugend. Novellen.
~~36525-27~~ **von Droste-Hülshoff**, Annette, Gesammelte Schriften (Cotta) a-b.
~~36528~~ **Drachmann**, Holger, See- und Strandgeschichten.

- 36529 **v. Dankelmann**, Freiherr Abbasah.
36530 – Die Verratenen.
36531 **v. Dunheim**, Wie ich Schriftsteller wurde und was ich dann schrieb. Humoresken.
36533 **Droz**, Gustav, das Kind. Ein Festgeschenk für junge Väter und Mütter. a-b.
36534 **Drachmann**, Hamborger Schippergeschichten.
36535 **Dewall**, Der tolle Baron. a-b.
~~36536~~ – Madame Pauline.
36537 – Das Geheimnis.
~~36538~~ **Dose**, Der Muttersohn. Roman eines Agrariers.
36539 – Vor der Sündflut. Erzählung von Rungholts Ende.
~~36540~~ – Die Sieger von Bornhöved. Histor. Roman.
~~36541~~ – Edeline.
~~36542~~ – Frau Treue. Geschichten aus der Geschichte. 4 Auflage.
~~36543~~ **Dahlman**, Lüttjendorp. Eine niedersächsische Dorfgeschichte.
36544 **Dincklage**, Blutjung und andere Erzählungen.
~~36546-47~~ **Dove**, Caracosa, 2 Bde. Histor. Roman.
~~36548~~ **Dill, L.** Eine von zu vielen.
36549 – Die kleine Stadt. Tragödie eines Mannes von Geschmack.
~~36550~~ **Dreyer**, Ohm Peter.
36551 – Lautes und Leises. Ein Geschichtenbuch.
~~36553~~ **Dornau**, Gäste auf Oberfriebach. Humoristischer Roman.
Dehmel, (Richard) Gesammelte Werke in 10 Bänden.
36554 – I Erlösungen. Gedichte u. Sprüche.
36555 – II Aber die Liebe. Gedichte.
36556 – III Weib und Welt. Gedichte.
36557 – IV Die Verwandlungen der Venus. Erotische Rhapsodie.
36558 – V Zwei Menschen. Roman in Romanzen.
- 109 –
- 36559 **Dehmel**, VI Der Kindergarten. Gedichte u. Geschichten für Kinder.
36560 – II[~~H~~]V[II] Lebensblätter. Novellen in Prosa.
36561 – III[~~H~~]V[III] Betrachtungen über Kunst, Gott und Welt.
36562 – IX Der Mitmensch, Tragikomödie.
36563 – X Lucifer. Pantomimisches Drama.
36566 **Dessauer**, Götzendienst.
36567 **Droop**, Reife Früchte von Bierbaum (Auswall aus Bierbaums Schriften).
~~36568~~ **Duimchen**, Kopf und Herz.
36569 – Bruch.
36571 **Dauthendey**, Lingam, Asiatische Novellen.
36572 – Die acht Gesichter am Biwasee. Japanische Liebesgeschichten.
37101-3 **Ebers** (Georg), Uarda 3 Bde.
37104 – Homo sum.
~~37105~~ – Ein Wort.
37106-8 – Eine ägyptische Königstochter. 3 Bde.
37109 – Die Schwestern.

- 37110 – Die Frau Bürgermeisterin.
- 37111-12 – Kleopatra. 2 Bde.
- ~~37115~~ – Serapis.
- 37116 – Im blauen Hecht.
- ~~37117~~ – Josua.
- 37118-19 – Die Gred. 2 Bde.
- ~~37120-21~~ – Im Schmiedefeuer. 2 Bde.
- ~~37122~~ – Arachne.
- 37123-25 – Die Nilbraut. Historischer Roman. 3 Bde. «東北大附圖分館»
- 37126-28 – Per aspera do do «東北大附圖分館»
- 37129-31 – Der Kaiser. do do «東北大附圖分館»
- 37180 **von Ebner-Eschenbach**, Agave. «東北大附圖分館»
- 37181 – Ein Spätgeborener. «東北大附圖分館»
- ~~37196~~ **Eckstein**, Willibald Menz. Novellen.
- ~~37197~~ – Das Kind. Novelle.
- Die Hexe von Glaustädt. s. Gartenlanbe 1909.
- 37198 – Vielliebchen. Heitere Geschichten. «東北大附圖分館»
- ~~37199~~ – Nero. 8. Aufl.
- ~~37200~~ – Prusias. Histor. Roman.
- ~~37201~~ – Die Claudier.
- ~~37202~~ – Aphrodite.
- ~~37203~~ – Der Pfarrer von Alsberg.
- 37204-05 **Eckhardt**, Ludwig Niclaus Manuel. Roman aus der Zeit der schweizerischen Glaubenskämpfe. Bd. 1-2. «東北大附圖分館»
- ~~37206~~ **Eckardt-Volmar**, Ernestine, Helene. a-b.
- 37207 **Echstein**, Der Besuch im Career. «東北大附圖分館»
- 37208 – Schulhumor. a-b. «東北大附圖分館»
- 37209 – Humoresken. «東北大附圖分館»
- 37210-11 – Dombrowsky. 2 Bde. «東北大附圖分館»
- 37212 – Die Märchenprinzessin. «東北大附圖分館»
- ~~37213~~ **Edler**, Karl. Duino-Novellen. a-b.
- 37215-16 **v. Eichendorff**, Joseph, Ausgewählte Werke. (Cotta) Bd. 1-2. a-b. «東北大附圖分館»
- 37217 – Aus dem Leben eines Taugenichts. «東北大附圖分館»

- 37218 – Das Marmorbild. Das Schloss Dürande. (Reclam).
 «東北大附圖分館»
- 37222 **Eicke**, Auf falscher Fährte.
 «東北大附圖分館»
- 37223 – Theodor, Pico[øð]tin. a-c.
 «東北大附圖分館»
- 110 -
- ~~37226~~ **Elbe**, A. v. d., Die jüngeren Prinzen.
 37227 – Brausejahre. Bilder aus Weimars Blütezeit. (s-a Gartenlaube 1884.)
 «東北大附圖分館»
- 37228 – Der Bürgermeisterturm.
 «東北大附圖分館»
- 37229 – Nemesis.
 «東北大附圖分館»
- ~~37230~~ – Der lange Kerl.
 37232 **Elster**, Ein Opfer.
 37233 – Der Pförtnersohn von St. Veit.
 «東北大附圖分館»
- ~~37234~~ – Der Erbe von Petershagen.
 37235 **Eschengrung**, Friedrich, Siebenzig Semester. a-b.
 «東北大附圖分館»
- 37236 **Eschricht**, E., Unter dunklen Menschen.
 «東北大附圖分館»
- 37237 – Pfarrer Streccius. a-b.
 «東北大附圖分館»
- 37238 **v. Essen**, Max, Die Verleumdung.
 «東北大附圖分館»
- 37239 – Vergangenes aus dem Leben eines Diplomaten a-b.
 «東北大附圖分館»
- 37240 **Ernst**, O_[1] Vom geruhigen Leben. Humoristische Plauderein.
 37241 – Gesund und frohen Muts_[1] Eine Auswahl aus seinen Werken.
 37242 – Asmus Sempers Jugendland.
 «東北大附圖分館»
- ~~37243~~ – Semper, der Jüngling.
 37244 – Lasst Sonne herein!
- 37245-53 **von Ebner[=]Eschenbach**, Gesammelte Schriften. 9. Bände. – I: Aphorismen. a-b. – II: Dorf und
 51, 52. ケツ Schlossgeschichten a-b. – III u. IV: Erzählungen. – V: Das Gemeindegeld – VI: Unsühnbar. –
 VII-IX: Erzählungen. a-b.
 «東北大附圖分館»
- 37254 – Altweibersommer.
 «東北大附圖分館»
- ~~37255-56~~ – Aus Spätherbsttagen. Erzählungen. 2 Bde.
 37257 **Enking**, Wie Truges seine Mutter suchte.
 37258 – Das Sofa auf Nr. 6. Ein Kleinstädtidyll.
 37259 – Die Familie P. C. Behm.
 37260 **Engel**, G. Die Last. Novelle.

- 37262 – Der Reiter auf dem Regenbogen.
37263 – Hann Klüth.
37264 **Eschstruth**, Nataly v., Der Mühlenprinz.
37265-66 – Hofluft. 2 Bde. «**東北大附圖分館**»
- 37267 – Aus vollem Leben.
37268-69 – Gänseliesel. 2 Bde.
37270-71 – Polnisch Blut. 2 Bde.
37272-73 – Die Bären von Hohensp. 2 Bde.
37274-75 – Jedem das Seine. 2 Bde.
37276 – Von Gottes Gnaden. «**東北大附圖分館**»
- 37277 – Die Regimentstante.
37278-79 – Im Schellenhemd. 2 Bde. «**東北大附圖分館**»
- 37280 – Die Erbkönigin.
37281 – Sonnenfunken. «**東北大附圖分館**»
- 37282 – Wolfsburg.
37283 – Am Ende der Welt. «**東北大附圖分館**»
- 37284-85 – Der verlorene Sohn 2 Bde.
37286 – Der Irrgeist des Schlosses. «**東北大附圖分館**»
- 37287-88 – Frühlingsstürme. 2 Bde.
37289-90 – Der Majoratsherr. 2 Bde.
37291-92 – Jung gefreit. 2 Bde.
37293-94 – Comödie. 2 Bde. «**東北大附圖分館**»
- 37295-96 – Der Stern des Glücks. 2 Bde. «**東北大附圖分館**»
- 37297 – Johannisfeuer.
37298 – Am See.
37299 – Spukgeschichten.
- 111 -
- 37300-1 **Eschstruth**, In Ungnade. 2 Bde. «**東北大附圖分館**»
- 37302-3 – Am Ziel. 2 Bde.
37306-7 – Hazard. 2 Bde.
37313 **Erlr**, Aus dem Schwarzbuche eines Polizeibeamten. «**東北大附圖分館**»
- 37314 **Edert**, Der Schuster von Tondern. «**東北大附圖分館**»
- 37315 **Eyth**, Der Schneider von Ulm. Geschichte eines 200 Jahre zu früh Gebornen.
37316 **[Till] Eulenspiegel**, Das Volksbuch von. Nach der Ausgabe von 1519.

- 37601 **Fliess**, Der Proboščx. «東北大附圖分館»
- 37602 – Miasmen. «東北大附圖分館»
- 37603 **Fouqué**, Baron Friedrich dela Motte, Undine.
- 37604 **von Francois**, Die letzte Reckenburgerin.
- 37605 – Luise v., Phosphorus Hollunder. Zu Füßen des Monarchen. a-b.
- 37607⁴-08⁴ – Stufenjahre eines Glücklichen. Bd. 1-2. a-b. «東北大附圖分館»
- 37609 **Frapan**, Zwischen Elbe und Alster. Hamburger Novellen.
- 37610 – Querköpfe. a-b. «東北大附圖分館»
- 37611 – Novellen und Skizzen. Schreie. «東北大附圖分館»
- 37612 **Franzos**, Der Pojaz. Eine Geschichte aus dem Osten a-b.
- 37613 – Ein Opfer.
- 37614 – Die Juden von Barnow. «東北大附圖分館»
- 37615 **Frenzel**, Karl, Das Abenteuer.
- 37616 – Der Hausfreund.
- 37617 – Die Uhr. «東北大附圖分館»
- 37618 **Frederking**, Schlangenminni.
- 37619 **Fahrow**, Schwarzrotgold.
- 37620 **Ferschke**, Papa Wrangel. Heitere Geschichten aus seinem Leben a-b.
- 37623 **Flood**, Unter der Kaparflagge. Aus dem Norwegischen.
- 37625 **Fontane**, Theod. Unwiederbringlich. (s. a. Deutsche Rundschau 1891.) «東北大附圖分館»
- 37626 – Grete Minde. Nach einer altmärkischen Chronik. a-b.
- 37627 – Kriegsgefangen. Erlebtes. 1870.
- 37628 – Vor dem Sturm.
- 37629 – Ellernklipp. «東北大附圖分館»
- 37630 – Irrungen. Wirungen. Berliner Roman.
- 37631 – Schach von Wuthenow.
- 37632 – Der Stechlin.
- 37633 – Effi Briest. (s. a. Deutsche Rundschau 1894.)
- 37634 – L'a[**a**]dultera. a-b. «東北大附圖分館»
- 37635 – Frau Jenny Treibel. Die Poggenpuhls. Roman.
– Gesammelte Werke s. 37687-98.
- 37636 **Frank**, Adlig. Roman. «東北大附圖分館»
- 37637 **Franke-Schievelbein**, Ni! «東北大附圖分館»
- 37638 – Der Damenfeind. Novellen.

- 37640 **Frey**, Erzählungen aus der Schweiz. «東北大附圖分館»
- 37641 **Friedmann**, A., Gallier und Hellenin und andere Novellen. «東北大附圖分館»
- ~~37642~~ **Frenssen**, Jörn Uhl. a-b. «東北大附圖分館»
- 37643 – Die drei Getreuen. a-b. «東北大附圖分館»
- 37644 – Die Sandgräfin. «東北大附圖分館»
- 37645 – Hilligenlei. a-b. «東北大附圖分館»
- 37646 – Peter Moors Fahrt nach Südwest a-c. «東北大附圖分館»
- ~~37648~~ – Klaus Hinrich Baas. a-b. «東北大附圖分館»
- 112 -
- ~~37652-53~~ **Freytag**, Gustav, Die verlorene Handschrift. a-b. «京都大總人圖»
- ~~37654~~ – Ingo und Ingraban. «京都大總人圖»
- 37655 – Das Nest der Zaunkönige. «京都大總人圖»
- 37656 – Die Brüder vom deutschen Hause. a-b. «京都大總人圖»
- 37657 – Marcus König. a-b. «京都大總人圖»
- 37658 – Geschwister. ab «京都大總人圖»
- 37659 – Aus einer kleinen Stadt. «京都大總人圖»
- ~~37663-64~~ – Soll und Haben a-b. «京都大總人圖»
- ~~37665~~ **Freydorf**, A. von, Die Liebesquelle von Spangenberg. «京都大總人圖»
- 37670 **Frommel**, Emil, In des Königs Rock. Geschichten aus Krieg und Frieden. a-b. «京都大總人圖»
- 37671-72 – Erzählungen. Bd. 1. Aus der Chronik eines geistlichen Herrn. Bd. 2. Nach des Tages Last und Hitze. «京都大總人圖»
- Frommel's** Schriften siehe auch XII D.
- 37679 **Friedmann**, Novellen ([Der] Letzter Schuss – Todesring etc.). «京都大總人圖»
- 37680 – (Gallier und Hellenin – Jnez de Castro – Russische Rache etc.). «京都大總人圖»
- 37681 **Fischer**, T. D., Betrachtungen eines in Deutschland reisenden Deutschen. a-b. «京都大總人圖»
- 37683 **Federn**, Karl, Neun Essays. «京都大總人圖»
- 37684 **Frapan**, Arbeit. Roman.

- 37685 **Funcke**, Afrikanischer Lorbeer. Kolonialroman aus Ostafrika a-b. «京都大總人圖»
- 37686 – Unter deutschen Palmen. Afrikanischer Roman.
- ~~37687~~ **Fontane**, Theodor, Gesammelte Romane und Novellen: «京都大總人圖»
- ~~37688~~ – Bd. 1. L'Adultera, Ellemklipp.
- ~~37689~~ – Bd. 2. Ellemklipp. (Fortsetzung). Graf Petöfy.
- ~~37690~~ – Bd. 3. Graf Petöfy. (Fortsetzung). Unterm Birnbaum.
- ~~37691~~ – Bd. 4. Unterm Birnbaum. Schlach von Wuthenow. Cecilie.
- ~~37692~~ – Bd. 5. Cecilie. (Fortsetzung). Grete Minde.
- ~~37693~~ – Bd. 6. Grete Minde. do Vor dem Sturm.
- ~~37694~~ – Bd. 7. Vor dem Sturm. (Fortsetzung).
- ~~37695~~ – Bd. 8. do do
- ~~37696~~ – Bd. 9. do do
- ~~37697~~ – Bd. 10. do do Irrungen, Wirrungen.
- ~~37698~~ – Bd. 11. Irrungen, Wirrungen. (Fortsetzung). Stine.
- ~~37699~~ – Bd. 12. Stine. (Fortsetzung). Kriegsgefangen.
- 37700 **Falke**, Die Kinder aus Ohlsens gang. «京都大總人圖»
- 37700 – Der Mann im Nebel. «京都大總人圖»
- 37702 **Franzos**, Judith Trachtenberg. «京都大總人圖»
- ~~37703~~ – Ein Kampf ums Recht.
- 37704 **Faber**, Alt-Japan. Skizzen u. Geschichten. «京都大總人圖»
- 38188 **Gagern**, B. von, Unter gekrönten Häuptern. «京都大總人圖»
- ~~38189~~ **Gersdorff**, A. von. Rache des Herzens.
- 38190 – Ein schlechter Mensch. a-c. «京都大總人圖»
- ~~38191~~ **Gerhard** (Adele), Die Familie Vanderhouten.
- ~~38192~~ **Galen**, Der Irre von St. James.
- ~~38193-94~~ – Der Löwe von Luzern. 2 Bde.
- ~~38195-96~~ – Der Strandvogt von Jasmund. Historischer Roman. 2 Bde.
- ~~38198~~ **Geissler**, Tom der Reimer. Eine romantische Geschichte aus alter Zeit.
- ~~38199~~ – Hütten im Hochland.
- ~~38200~~ – Das Moordorf. Roman. (s-a. Woche 1904.)
- ~~38201~~ **Gerstäcker**, Friedrich. Aus zwei Weltteilen. Aus Nord und Südamerika. a-b.
- ~~38202~~ – Unter Palmen.
- ~~38203~~ **Gerstäcker**, Die Missionäre.
- ~~38204~~ – Im Eckfenster.
- ~~38206~~ – Die Regulatoren in Arkansas.
- ~~38207~~ – Die Flusspiraten des Mississippi. a-c.

- ~~38208~~ – Gold! Ein Kalifornisches Lebensbild.
~~38209~~ – Unter dem Aequator. Javanisches Sittenbild.
 38210 – Die Flucht über die Kordilleren. «京都大總人圖»
 38211 – Der Wilddieb. «京都大總人圖»
~~38212~~ – Unheimliche Geschichten.
 38214 **Glümer, (C. von) Zerlinen.**
~~38215~~ – Keine Illusionen.
 38216 – Frau Domina. – Dönninghausen. Novellen. «京都大總人圖»
Goethe, Wolfgang v., Sämtliche Werke (Dümmler).
~~38218-2019~~ – Gedichte.
 «^v陸軍士官校»
~~38221~~ – do Reinecke Fuchs. Achilleis. Hermann und Dorothea.
~~38222~~ – Goetz von Berlichingen. Clavigo. Die Geschwister. Egmont. Iphigenie. Tasso.
 38223 – Die Laune des Verliebten. Stella. Neueröffnetes Puppenspiel. Künstlers Apotheose. Das Neueste von Plundersweilern. Satyros. Hanswursts Hochzeit. Dr. Karl Friedr. bahrdt. Götter, Helden u. Wieland. Prometheus. Proserpina. Der Triumph der Empfindsamkeit. Die Vögel. Elpenor. Erwin und Elmire. Klaudine von Villa Bella. Lila. Jery und Bätely. Die Fischerin. Scherz, List und Rache. Die ungleichen Hausgenossen. Die zauberflöte. Die Wette.
 «^v陸軍士官校»
 38224 – Die natürliche Tochter. Der Grosskophta. Der Bürgergeneral. Die Aufgeregten. Pandora. Mahomet. Tankred. Scene aus Corneilles Lügner. Anekdote zu Werthers Freuden. Nausikaa. Trauerspiel in der Christenheit. Chor zu Romeo und Julia.
 «^v陸軍士官校»
~~38225~~ – Pälaphron und Neoterpe. Was wir bringen. 1802 Vorspiel zur Eröffnung des Weimarischen Theaters. Des Epimenides Erwachen. Theaterscenen. Theaterreden. Maskenzüge. Was wir bringen. 1814. Nachspiel zu den „Hagestolzen“.
~~38226~~ – Faust I und II.
~~38227~~ – Leiden des jungen Werther. Die wahlverwandschaften. Unterhaltung deutscher Ausgewanderter. Novelle. Die guten Weiber. Reise der Söhne Megaprazons. Briefe aus der Schweiz. Der römische Karneval.
~~38228~~ – Wilhelm Meisters Lehrjahre.
~~38229~~ – Wilhelm Meisters Wanderjahre. Sprüche in Prosa.
~~38230-41~~ – Ausgewählte Werke. (Cottasche Volksbibliothek). Bd. 1-12. a-b.
~~38242-46~~ – Werke. Auswahl. (Hendel.([f]) a-b. «京都大總人圖»
~~38248-51~~ – Auswahl-Werke. (Reclam.) Bd. 1-4, 5-7, 8-12, 13-16. ab. «京都大總人圖»
 38253 **Gottschall, (R. von) Parasiten.** «京都大總人圖»
 38254 – Der Verräter. a-b. «京都大總人圖»
~~38255~~ **Godin, Eine Katastrophe.**
~~38256-57~~ **Grabbe, Chr. Dietrich, Sämtliche Werke a-b.**
~~3825860-61~~ **Grabowski, Graf Stanislaus, Militärische Humoresken. Bd. 1. 3. 4a-b.** «京都大總人圖»
 38262 **Grimmelshausen, Der abenteuerliche Simplicissimus. a-b.**

~~38263~~ **Gutzkow**, Ausgewählten Novellen.

~~38264~~ **Groller**, Balduin, aus der weltlichen Komödie.

38265 - Töte sie!

«京都大總人圖»

~~38266~~ - Detektive Dagoberts Fahrten und Abenteuer. 2. Bde.

38267 - Der olle ehrliche Lehmann. Novellen.

«京都大總人圖»

~~38268~~ - Ganz zufällig.

~~38269~~ **Ganghofer**, Aus Heimat und Fremde. Novellen.

~~38270~~ - Fliegender Sommer. Novellen.

~~38272~~ - Bergluft.

~~38274~~ - Das Gotteslehen. Illustr.

~~38275~~ - Edelweisskönig.

~~38276~~ - Der Unfried.

~~38277~~ - Das Schweigen im Walde.

~~38283-86~~ **Groth**, Klaus, Gesammelte Werke. Bd. 1-4.

~~38287~~ **Glass**, Der Schatten von Altramsdorf.

~~38290~~ **v. Glaser**, Marie, Vergelt's Gott. Skizzen und Stimmungen. a-b.

38291 **v. Gaudy**, Aus dem Tagebuche eines wandernden Schneidergesellen.

«京都大總人圖»

38292 - Venetianische Novellen. a-b.

«京都大總人圖»

38293 **Glehn**, Heiratsstifter. a-b.

«京都大總人圖»

~~38294~~ **Gregorow** (Samar), Die Saxo-Saxoben.

~~38295~~ **Gross**, Ferdinand, Blätter im Winde. Neue Skizzen.

38296 **Glaser**, Wulfhilde. Roman aus dem XIII. Jahrhundert.

«京都大總人圖»

38297 - Niederländische Novellen a-b.

«京都大總人圖»

38298 **Georgy**, Aus den Memoiren einer Berliner Range a-b.

«京都大總人圖»

38301 **Gerst:acker**, Im Busch. Australische Erzählung.

38302 - Blau Wasser. Skizzen aus dem Seeleben. a-b. イキ

38303 - Unter den Pehuenchen. Chilenischer Roman. a-b.

«京都大總人圖»

38304 - Streif- und Jagdzüge durch die Vereinigten Staaten. a-b.

«京都大總人圖»

38305 - Amerikanisches Sklavenleben.

38306-7 - Hinterwäldler Geschichten. 2 Bde.

«京都大總人圖»

38308 - Der Kunstreiter.

«京都大總人圖»

- 38309-10 – Achtzehn Monate in Südamerika. 2 Bde. «京都大總人圖»
- ~~38311~~ – Nach Amerika!
- ~~38312~~ – In Amerika (II. Teil von: Nach Amerika).
- 38315-176 **Grosse, (Julius)**, Ausgewählte Werke. 3 Bde. (I: Gedichte, Epen: II: Epen, Dramen. ~~III: Novellen~~
~~u. Romane~~).
- 38318 – Aus den Novellen des Architekten. «京都大總人圖»
- 38319 **Grabein**, O alte Burschenherrlichkeit! Bilder aus dem deutschen Studentenleben.
- 38320 – Vivat Academia[!] I O du mein Jena! a-b. «京都大總人圖»
- 38321 – II In der Philister Land. a-b. «京都大總人圖»
- 38322 – III Im Wechsel der Zeit. a-b. «京都大總人圖»
- ~~38323~~ **Greinz**, Lustige Tiroler Geschichten. «埼玉浦和圖»
- ~~38324~~ – Die Steingruberschen. Tiroler bauerngeschichten.
- ~~38325~~ **Georgy**, Gross Berlin I Frau Schlitze.
- 38326 – II Das vergnügte Hinterhaus. «京都大總人圖»
- Die Berliner Range. 12 Bände.
- 38327 – I Neue Bekenntnisse. «京都大總人圖»
- ~~38328~~ – II Ueber die Berliner Dienstboten a-b.
- ~~38329~~ – III Paris und die Weltausstellung.
- 38330 – IV Lotte Bach's Brausejahre. «京都大總人圖»
- 38331 – V Lotte Bach als Braut.
- 38332 – VI Berlin, wie es isst und trinkt. «京都大總人圖»
- ~~38333~~ – VII Prosit Brautpaar!
- 115 -
- ~~38334~~ **Georgy**, VIII Berlin, wie es lebt und liebt.
- ~~38335~~ – IX Hochzeitsvorbereitungen.
- ~~38336~~ – X Lotte Bachs Hochzeitsreise.
- ~~38337~~ – XI Frau Lotte in Russland.
- ~~38338~~ – XII Lotte als Mutter.
- 38339-40 **Gerstäcker**, Reisen. 2 Bde. (I: Südamerika, Südsee, Californien. II: Australien, Java.) «京都大總人圖»
- 38341 – Neue Reisen (Nordamerika, Westindien, Venezuela, Ecuador.) ab «京都大總人圖»
- ~~38342~~ – Kreuz u. Quer. Erzählungen.
- ~~38343~~ – Missisippibilder.
- ~~38344~~ – Buntes Treiben.

- 38345 – Einheimisches u. Fremdes.
- 38346 – Hell und dunkel. Gesammelte Erzählungen.
- 38347 – Inselwelt
- 38348 – Skizzen aus Kalifornien und Südamerika.
- 38349 – Eine Mutter. Roman.
- 38350 – General Franco. Lebensbild aus Ecuador.
- Ganghofer**, Gesammelte Schriften. Volksausgabe I. u. II. Serie.
- ~~38351~~ – Schloss Hubertus.
- 38352 – Der Jäger von Fall. Der Herrgottsschunitzer von Ammergau.
- 38353 – Der Unfried. Der laufende Berg.
- ~~38354~~ – Die Martinsklause.
- 38355 – Das Gottesleben. Der Klosterjäger.
- ~~38356-57~~ – Der hohe Schein. 2 Bde.
- ~~38358~~ – Das Schweigen im Walde.
- 38359 – Gewitter im Mai. Der Besondere.
- 38360 – Der Dorfapostel.
- ~~38361~~ – Hochlandsgeschichten.
- 38362 – Hochlandsmärchen.
- 38363 – Das neue Wesen. «京都大總人圖»
- ~~38364-65~~ – Der Mann im Salz. 2 Bde. «京都大總人圖»
- ~~38366-67~~ – Waldrausch. 2 Bde. «京都大總人圖»
- ~~38368-69~~ – Die Sünden der Väter. 2 Bde.
- 38381 **Gajjerstam**, Die Komödie der Ehe. Aus dem Schwedischen. «京都大總人圖»
- 38382 – Das Buch vom Brüderchen.
- 38383 – Wald und See.
- 38385 **Grazie**, M. E. delle, Heilige und Menschen. Römischer Roman. «京都大總人圖»
- 38386 **Glümer**. Lutin und Lutine. «京都大總人圖»
- 38387 – Gesühnt. Novelle. «京都大總人圖»
- 38388 **Grabein**, Die Herren der Erde. Roman aus dem Bergmannsleben. «京都大總人圖»
- ~~38389~~ – Das neue Geschlecht.
- ~~38390~~ – Das stille Leuchten.
- 38392 **Gleichen-Russwurm**, A. von, Auf verlornem Posten. Deutsches Leben zwischen 1880-91. Roman. «京都大總人圖»
- 38393 **Günther**, Schäfers Goldhaarige. «京都大總人圖»
- ~~38394~~ **Georgy**, Jenseits der Ehe.
- ~~38900~~ **Haase**, Raggys Fahrt nach Südwest. a-b.
- ~~38901~~ **Haidheim**, L., Pflicht und Wusch. a-b.
- 38902-03 **Hardt**, Leon, Im Vaterhause. Bd. 1-2 a-b.

- 38904-13 **Hartmann** (Moritz). Gesammelte Werke. 10 Bde. 1-2: Gedichte. – 3: Tagebuch aus Provence und Languedoc. – 4: Der Krieg um den Wald. – 5-7: Novellen, Märchen. Erzählungen. – 8: Drei Novellen. (Der Gefangene von Chillon – Die letzten Tage eines König. – Von Frühling zu Frühling). – 9: Das Andenken der Mutter und andere Erzählungen. – 10: Feuilletons.

- 116 -

- †# 38914 **Hartmann**, Der Krieg um den Wald.

«金澤大中國»

Hauff, Sämtliche Werke (Cotta) a-b.

- 38915 Bd. 1. Gedichte. Novellen I. Vertrauliches Schreiben an Herrn W. A. Spöttlich. Othello. Die Bettlerin von Pont des Arts. Jud Süß. a-b.

«[∨]陸軍士官校»

- 38916 Bd. 2. Novellen II. Das Bild des Kaisers. Die letzten Ritter von Marienburg. Die Sängerin. Phantasien im Bremer Ratskeller.

«[∨]陸軍士官校»

- 38917 – 3. Lichtenstein. a. b.

«[∨]陸軍士官校»

- 38918 – 4. Memoiren des Satans. a-b.

«[∨]陸軍士官校»

- 38919 – 5. Der Mann im Monde-Kontroverspredigt. Skizzen. a-b.

«[∨]陸軍士官校»

- 38920 – 6. Märchen a-b.

«[∨]陸軍士官校»

- 38921 – Mitteilungen aus den Memoiren des Satans. a-b.

«[∨]陸軍士官校»

«埼玉浦和圖»

- 38922 – Die letzten Ritter vor Marienburg.

«[∨]陸軍士官校»

- 38923 – Das Bild des Kaisers.

«[∨]陸軍士官校»

- 38927 **Hart** (Hans), Das heilige Feuer. Ein Hochschulroman.

«金澤大中國»

- 38928 **Hartleben**, Die Serenyi. Zwei Novellen.

«金澤大中國»

- 38929 **Hartner**, Ohne Gewissen.

«金澤大中國»

- 38930 **Hartenstein**, Aus dem Bürgerhause a-b.

«金澤大中國»

- 38931 **Hebbel**, Friedrich, Auswahl-Werke. a-b.

«金澤大中國»

- 38932-36 **Hansjakob**, Ausgewählte Erzählungen. Volksausgabe. 5 Bde. B. I: Waldleute- II: Erzbauern.- III: Der steinerne Mann.- IV: Meine Madonna.- V: Erinnerungen einer alten Schwarzwälderin, vgl. auch 39056-57.

- 38937-38 **Haarhaus**, Unter dem Krummstab. Rheinische Novellen. 2 Bde.

«金澤大中國»

- 38939 **Hamerling**, Aspasia. Ein Künstler- u. Liebesroman aus Alt-Hellas.

- 38940 **Hauser, 1848**. Roman.

«金澤大中國»

- 38941 – Ethnographische Novellen.

38942	Heine , Anselm, Unterwegs. a-b.	«金澤大中國»
38943-46	– Heinrich, Sämtliche Werke. (Hendel) Bd. 1-4.	«金澤大中國»
38947-58	– Sämtliche Werke. (Cotta.) a-b. Bd. 1-12.	«金澤大中國»
38960-63	– Sämtliche Werke. (Reclam.) a-b.	«金澤大中國»
38964-66	– Sämtliche Werke. (Hoffmann u. Campe.) Bd. 4-6, 7-9, 10-12.	«金澤大中國»
38967	Helms , Chaos. Roman.	
38968	Helmer , Ed., (Ernst Koch.) Prinz Rosa-Stramin.	«金澤大中國»
38969	Hillebrand , Und Raben flogen um Doha. n a-d.	
38970	Hellenbach , Die Insel Mellonta.	
38972	Herder , Johann Gottfried, Sämtliche Werke. (Hempel): – Gedichte.	«金澤大中國»
38973	– Legenden. Dramatische Stücke. Nenzen. Prosaische Dichtung.	«金澤大中國»
38974	– Der Cid.	«金澤大中國»
38975	– Morgenländische Literatur.	«金澤大中國»
38976	– Ideen zur Philosophie der Geschichte der Menschheit.	«金澤大中國»
38977	– Briefe zur Beförderung der Humanität.	«金澤大中國»
38978	– Adrastea.	«金澤大中國»
38980-82	– Ausgewählte Werke. (Reclam.)	«金澤大中國»
38983	Hiller , Olga, ich habe verstanden. a-e.B	«金澤大中國»
38985	Hirondo , Jutta. Der Staatsanwalt.	«金澤大中國»
38986	Hoefler , Edmund, Allerhand Geister.	«金澤大中國»
38988-89	– Erzählungen aus der Heimat. Bd. 1-2.	«金澤大中國»
38991-96	Hoffmann , E. T. A., Ausgewählte Werke. Cotta. a-b.	«金澤大中國»
38999	– Die Elixire des Teufels. (Reclam.)	«金澤大中國»
39001	– Lebensansichten des Kater Murr. (Reclam.)	«金澤大中國»
39002	– Klein Zaches, genannt Zinnober. (Reclam.)	«金澤大中國»

«金澤大中國»

39003 **Haas**, Hipolyt, Der Berhmeister von Grund.

«金澤大中國»

39004 **Hartner**, Im Schloss zu Heidelberg. Historischer Roman.

«金澤大中國»

- 117 -

39005 **Hackländer**, Humoristische Schriften.

~~39006~~ - Der Augenblick des Glücks.

~~39007-08~~ - Der letzte Bombardier. a-b. 2 Bde.

~~39009~~ - Soldatenleben im Frieden.

~~39010~~ - Handel und Wandel.

~~39011~~ - Namenlose Geschichten.

~~39012~~ - Wachtstubenabenteuer. a-b.

~~39013~~ - Feuerwerker Wortmann.

~~39014-16~~ - Das Geheimnis der Stadt. 3 Bde.

39017^A-19^B - Europäisches Sklavenleben. 3 Bde. ~~a-b~~. 18^A

«金澤大中國»

39020 **Hauptmann**, G., Der Apostel. Bahnwärter Thiel.

«金澤大中國»

~~39021~~ - Der Narr in Christo, Emanuel Quint.

39022 **Heiberg**, Das Schicksal auf Moorheide.

39024 - Der Landvogt von Pellworm.

«金澤大中國»

~~39025~~ - Todsünden.

~~39026~~ - Apotheker Heinrich.

~~39027~~ - Auch eine.

~~39029~~ - Im Hafenwinkel.

39030 - Die Andere. Einmal im Himmel. a-b.

39031 **v. Heigel**, Der Herr Stationschef.

39032 - Walpurg.

39033 - Novellen (Das ewige Licht etc.)

39034 **von Hillern**, Die Geier-Wally.

39035 - Ein Arzt der Seele. *ab*

~~39036~~ - Aus eigener Kraft.

39037 **Holm**, Pioniere. Ein Kolonialroman aus Deutsch-Südwest-Afrika.

39038 **Hopfen**, Der letzte Hieb. Eine Studentengeschichte.

~~39039~~ - Der alte Praktikant. Eine bayrische Dorfgeschichte.

39040 - Robert Leichtfuss.

39042 - Mein erstes Abenteuer.

39043 **Holzamer**, Der arme Lukas.

~~39044~~ **Houmark**, Peter Lund. Eine Kleinstadtgeschichte.

39045 **Van Horst**, Henning, Die Apostelfürsten.

39046-47 **Holtei**, Christian Lammfell.

39048 - Der letzte Komödiant.

- 39049 – Die Vagabunden.
- ~~39050~~ **Huch**, Ricarda, Peter Michel. Ein komischer Roman.
- ~~39051~~ – Erinnerungen von Ludolf Ursleu dem Jüngeren. a-b.
- 39052 – Aus der Triumphgasse. Lebensskizzen.
- 39053 **Hilditch**, Fräulein England. Novelle.
- ~~39054~~ **Hugin**, Durch den Nebel.
- ~~39055~~ **Huch** (Rudolf), Hans der Träumer.
- ~~39056~~ **Hansjakob**, Heinrich, Meine Madonna.
- ~~39057~~ – Aus meiner Jugendzeit.
- ~~39058~~ **Hesse**, Peter Camenzind.
- ~~39059~~ – Gertrud.
- ~~39062~~ **Heyse** (Gustav) Schuld und Sühne.
- ~~39063~~ **Heyne**, Frühlingsstürme. Ein Offizierstroman. a-b.
- ~~39064~~ **Heer**, Da träumen sie von Lieb und Glück.
- ~~39065~~ – An heiligen Wassern.
- 39066 – Laubgewind. *ab*
- ~~39067~~ – Der König der Bernina.
- ~~39068~~ – Felix Notvest.
- 39069 – Joggeli.
-
- 39071 **Hegeler**, Flammen.
- 39072 – Pastor Klinghamer.
- 39073 – Ingenieur Horstmann.
- 39074 – Frohe Botschaft.
- 39076 **Holländer**, Der Weg des Thomas Truck.
- 39078 **Hopfen**, Verdorben zu Paris.
- 39079 – Mein Onkel Don Juan.
- 39080 – Der Böswirt.
- 39081 – Zehn oder elf? a-b.
- 39082 – Der Genius und sein Erbe.
- 39083 – Der Väter zweie.
- 39084 – Die ganze Hand.
- 39085 **Holm**, Schloss Uebermut.
- 39086 – Thomas Kerkhoven.
- 39087 **Hoffmann**, Das Gymnasium zu Stolpenburg. Novellen.
- 39088 – Der Hexenprediger.
- 39089-91 – Wider den Kurfürsten. Histor. Roman. 3 Bde.
- 39092-93 – Der eiserne Rittmeister. do do
- 39094 – Brigitte von Wisby. Histor. Erzählung.
- 39095 – Geschichten aus Hinterpommern.
- 39096 – Im Lande der Phäaken.
- 39099 **Heyse**, (Paul), Zwei Gefangene.
- 39100 – Crone Stäudlin.
- 39101 – Verratenes Glück. Emerenz. 2 Novellen.

39102	- Gesammelte Novellen (Cotta)	I	Italienische Novellen.
39103	- do	II	do do
39104	- do	III	Moralishce do
39105	- do	IV	Neue moralishce do
39106	- do	V	Troubadour-Novellen. <i>ab</i>
39107	- do	VI	Buch der Freundschaft. <i>ab</i>
39108	- do	VII	Frau v. F. u. anderes.
39109	- do	VIII.	Neue Novellen.
39110	- do	IX.	Geteiltes Herz und andere Novellen.
39111	- do	X.	Kleopatra do do Novellen.
39112	- do	XI.	Geschichten aus Italien.
39113	- do	XII.	Meraner Novellen.
39114	- do	XIII.	Novellen vom Gardasee.
39115	- do	XIV.	Tragische Novellen 1.
39116	- do	XV.	do do 2. <i>ab</i>
39117	- do	XVI.	Novellen vom Gardasee.
39118	- do	XVII.	Moralische Unmöglichkeiten u. a. Novellen.
39119	- do	XVIII.	Victoria regina Novellen.
39120	- do	XIX:	Heitere Geschichten.
39121	- do	XX:	Märchen und Spukgeschichten.
39122	- do	XXI:	Originale.
39123	- do	XXII:	Auf Tod und Leben und andere Novellen.
39124	- do	XXIII:	Menschen u. Schicksale a-b.
39125	- do	XXIV:	Helldunkles Leben.
39126	- Novellen (Ausgabe Herz). Bd. V.		

- 119 -

39127	Heyse , Die Geburt der Venus. Roman.
39129-30	- Die Kinder der Welt, 2. Bde.
39131-32	- Im Paradiese. 2 Bde.
39133	- Der Roman der Stiftsdame.
39134-35	- Merlin. 2 Bde.
39136	- Ueber allen Wipfeln.
39142	Herzog , Der Abenteurer.
39143	- Die Wiskottens. a-b.
	«東京外大附圖»
39144	- Der Graf von Gleichen.
39145	- Die vom Niederrhein. 7. Aufl.
39146	- Der Adjutant.
39147	- Das Lebenslied.
39148	- Hanseaten.
39149	Holm , Ovita Episode aus dem Hereroland.
39150	Henningsen , Soldatenschicksal: Meisterzählungen deutscher und fremder Erzähler.
39151	von Handel-Mazetti , Die arme Margaret. Ein Volksroman aus dem alten Steyr. (s-a. Deutsche Rundschau 1909.)

- 39152-53 – Jesse und Maria. Histor. Roman.
- 39154 – Meinrad Helmpergors denkwürdiges Jahr.
- 39155 **Höcker**, Das goldene Schiff.
- 39156 – Die Sonne von St. Moritz.
- 39157 – Don Juans Frau.
- 39158 – Sommernachtstraum.
- 39159 – Frühlingsstürme.
- 39163 **Herzog**, Zum weissen Schwan.
- 39164 – Das goldene Zeitalter a-b.
- 39165 – Nur eine Schauspielerin.
- 39167 **Hesekiel** (Ludovica), Unterm Sparrenschild. Histor.-Roman.
- 39168 – Deutsche Träumer. do
- 39169 **Harder**, Erdische und himmlische Liebe.
- 39170 – Unter goldenem Joch.
- 39171 **Heyking**, Der Tag anderer.
- 39173 **Heimburg**, Lumpenmüllers Lieschen.
- 39174 – Kloster Wendhusen. Ursula.
- 39175 – Ein armes Mädchen. Das Fräulein Pate.
- 39181 **Hambun**, Kämpfende Kräfte. Aus dem Norwegischen.
- 39182 – Hunger do
- 39183 – Die Königin von Saba. a-b. do
- 39187 **Hornung**, Kein Held.
- 39188 – Ein Einbrecher aus Passion.
- 39603 **Immermann**, Karl, Der Oberhof. Illustr.
- 39604 **Johannsen**, Die Amazone.
- 39605 **Jacobsen**, J. P., Niels Lyhne. a-b.
- 39606 **Jensen**, (Wilhelm), Karin von Schweden. *ab*
- 39607 – Am Ausgang des Reichs.
- 39608-9 – Nirwana (Roman aus der französ. Revolution) 2 Bde.
- 39610 – Hunnenblut. a-b.
- 39611 – Die Erbin von Helmstede. a-b.
- 39612-14 – Aus den Tagen der Hansa. Bd. 1-3. a-b. (39614. nur a.)
- 39615 – Die Juden zu Köln.
- 39616 – Brandenburg'scher Pavillon hoch!
- 39617 – Der Teufel in Schiltach.
- 39618 – Die Pfeifer vom Dusenbach a-b.
- 39619 – Die Rosen von Hildesheim. Histor. Roman.
- 39620 – Die fränkische Leuchte.
- 39621 **Jensen**, Eddystone.
- ~~39622~~ – In Zwing und Bann.
- 39623 – Vor drei Menschenaltern.
- 39624 – Die braune Erica.
- 39625-26 **Jordan**, Wilhelm, Zwei Wiegen. 2 Bde. (Bd. II. a-b.)

- 39627-28 – Die Sebalds. 2 Bde. a-b. (Bd. I. c.)
- 39629 **Jensen, Wilhelm**, Aus schwerer Vergangenheit – Ein Geschichtencyclus.
- ~~39630~~ – In majorem Dreijohanniam. Roman aus dem XVII. Jahrhundert.
- ~~39631~~ – Der Hohenstaufen Ausgang.
- ~~39632~~ – Um den Kaiserstuhl.
- ~~39633~~ – Runensteine. Ein Inselroman.
- 39634 – Westwardhome.
- 39635 – Ein Ton. Novelle.
- ~~39636~~ – Unter heisserer Sonne.
- ~~39637~~ – Vor der Elbmündung.
- ~~39638-39~~ – Versunkene Welten. 2 Bde.
- ~~39640-41~~ – Unter der Tarnkappe. Ein schleswig-holsteinischer Roman von 1848-50. 2 Bde.
- 39642-44 – König Friedrich. Histor. Roman. 3 Bde.
- 39645 – Aus den Banden.
- ~~39646~~ – Deutsche Männer. Historischer Roman von 1809.
- ~~39647~~ – Die Wunder auf Schloss Gottorp.
- ~~39648-49~~ – Nach Sonnenuntergang. 2 Bde.
- ~~39650~~ – Die Nachfahren. Historischer Roman.
- 39651 **Jacobsen, Fr.** Die Lore am Tore.
- ~~39652~~ – Die Sünden der Väter.
- ~~39653~~ **Jürgensen, Fieber.** Afrikan. Novellen.
- ~~39654~~ – Christian Svarres Kongofahrt. Eine Geschichte aus dem Urwald.
- 39655 **Junghaus, Wisel.** Das Gelübde. Zwei Novellen.
- 39656 – Unter der Ehrenpforte. Novellen.
- ~~39657~~ – Schwertlilie. a-b.
- ~~39658~~ – Junge Leiden.
- 39659 **Johannisberg, Frau Vestalin.**
- ~~39660~~ **Jensen, Johannes,** Exotische Novellen.
- ~~39661~~ – Madame d’Ora.
- 40001 **v. Kapff-Essenther, F.** Don Juan-Phantasie.
- 40003 **Karillon,** Die Mühle zu Husterloh.
- ~~40004~~ **Keller, Als** „Greenhorn“ im Westen von Nord-Amerika. a-b.
- 40005 **Keyserling, Beate und Mareile.** Eine Schlossgeschichte.
- 40006 **Klinkowström,** Die Fremde.
- 40008 **Kielland,** Novellen und Noveletten, deutsch von Lange.
- 40010 – Schiffer Worse. Aus dem Norwegischen.
- 40012-15 **von Kleist, Heinrich,** Sämtliche Werke (Cotta.) Bd. 1-4. a-b.
- 40016 – Michael Kohlhaas.
- 40017 **Keller, Paul,** Heimat.
- ~~40018~~ – Waldwinter.
- ~~40019~~ – Die alte Krone. Roman aus dem Wendenland.
- 40020-22 **Klopstock, Friedrich Gottlieb,** Sämtliche Werke. Bd. 1: Der Messias. Bd. 2: Oden, Epigramme.
Bd. 3: Schauspiele.
- 40024 **Kloth,** Slipperlischen.
- 40025 **Knortz,** Amerikanische Skizzen. a-b.

- ~~40026~~ **Kohn, S.**, Prager Ghetto Bilder.
- 40027-30 **Körner, Theodor**, Sämtliche Werke. (Cotta). Bd. 1-4. a-b. 27^A ケツ
- 121 -
- 40031 **Körner**, Sämtliche Werke. (Reclam.)
- 40032 **Kröger (Timm)**, Aus alter Truhe. Novellen.
- 40033 - Das Buch der guten Leute. Novellen.
- ~~40034~~ - Der Einzige und seine Liebe.
- ~~40035~~ - Um den Wegzoll.
- ~~40036~~ **Kürnberger, Ferd.**, Der Amerikamüde. a-b.
- 40037 **Kaisenberg**, Erlebnisse des Husarenleutnants Baron Gerdau in Japan.
- 40038-40 **Keller, Gottfr.**, Der grüne Heinrich. Bd. 1-4. (1-2. a-b.)
- 40041-42 - Die Leute von Seldwyla. Bd. 1-2.
- ~~40043~~ - Züricher Novellen.
- 40044 - Die drei gerechten Kammacher.
- 40045 - Das Singgedicht. Sieben Legenden.
- 40046 - Martin Salander. (s. a. Deutsche Rundschau 1886.][[?)
- 40048 **Kirchbach, Wolfgang**, Das Leben auf der Walze. a-b.
- 40049-50 - Salvator Rosa. Bd. 1-2.
- ~~40051~~ - Der Leiermann von Berlin. a-b.
- 40052 **Katscher u. Hardy**, Die Kunst, Mensch zu sein. a-b.
- ~~40053~~ **Klaussmann**, Aus dem Tagebuche eines Kriegshundes und andere Humoresken.
- 40054 **Kornefeld**, Angeklagt. Kriminalroman.
- ~~40056~~ **Koppel-Ellfeld**, Ein Don Juan-Examen.
- 40057 **Kurz (Jsolde)**, Florentiner Novellen.
- 40058 **Kopisch, August**, Ein Karnevalsfest auf Ischia, Entdeckung der blauen Grotte auf der Insel Capri.
- 40060 **Knigge**, Ueber den Umgang mit Menschen.
- ~~40061~~ **Kremnitz**, Laut Testament.
- 40062 **Kossak**, Krone des Lebens. Nordische Novellen.
- 40063 **Krah**, Die Hegelunds.
- 40064 **Kurz, (Hermann)**, Der Sonnenwirt. Historischer Roman.
- 40065 - Schillers Heimatjahre. Histor. Roman.
- 40066 **Kröger**, Leute eigener Art. Novellen.
- 40067 - Die Wohnung des Glücks. Novellen.
- 40068 **Kahlenberg, (H. von)** Die sieben Geschichten der Prinzessin Kolibri.
- 40069 - Der König.
- ~~40070~~ - Die Familie von Barchwitz.
- ~~40071~~ - Die unechten Randows.
- 40072 - Ediths Karriere. Ein Salonroman.
- ~~40073~~ - Spielzeug.
- ~~40074~~ - Die Sembritzkys.
- ~~40075~~ - Eva. Sehring. a-b.
- 40079 **Kniest**, Von der Wasserkante. Bilder aus dem Seeleben.
- 40080 **Kraze**, Neuland. Ein Roman von der Wasserkante.
- ~~40082~~ **von Kotze**, Das Gift des Vergesseus. Roman aus der Südsee.

- 40083 – Die Antipoden. Austral. Skizzen.
40084 – Das erste Gesicht.
~~40085~~ – Schwarz in Schwarz. Kriminalroman.
40086 **Kompert**, Aus dem Ghetto. Erzählungen.
40087 – Böhmisches Juden.
40088 **Krickeberg**, Der Schwester Vermächtnis.
~~40089~~ **Krüger**, Ernas Fehltritt.
~~40091~~ **Kretzer**, Max, Meister Timpe.
40092 – Das Gesicht Christi.
~~40093~~ – Familiensclaven.
40094 – Der Millionenbauer.
- 122 -
- ~~40095~~ **Kretzer**, Söhne ihrer Väter.
~~40096~~ – Die Buchhalterin.
~~40097~~ – Die Verkommenen a-b.
~~40098~~ – Der Mann ohne Gewissen.
40099 – Ein Unberühmter.
40100 – Grossstadtmenschen.
~~40101~~ – Treinende Kräfte.
~~40104~~ **Klitscher**, Das Königsliebchen. Histor. Roman.
~~40105~~ **Küas**, Vom Baume der Erkenntnis. Kolonialroman.
~~40596-99~~ **Laube**, Heinrich, Der deutsche Krieg. Histor. Roman. 4 Bde.
40600 **Landsberger**, Wie Hilde Simon mit Gott und dem Teufel kämpfte. Roman einer Berliner.
40601 **Lang**, Paul, Im Nonnenämtlein.
40602 – Der Bildhauer von Kos.
40603 – Maulbronner Geschichtenbuch. a-b.
40604 – Neue Erzählungen. a-b.
40605 – Paul, Bündner und Schwaben. Aus Schillers Jugendzeit. a-b.
40606-08 **Lenau**, Nicolaus. Sämtliche Werke. (G[~~EC~~]otta).
40610 **Lenz**, Philipp, Militärische Humoresken. 1, 2, 5 u. 7.
40612 **Lagerlöf**, Eine Guts-geschichte. Aus dem Schwedischen.
40613 – Gösta Berling.
40614-19 **Lessing**, Gotthold Ephraim, Ausgewählte Werke. (Cotta.) Bd. 1-6. a-b. 19^B ケツ
40620-21 – Werke (Reclam.) Bd. 1-3, 4-6. a-b.
40622 **Lie**, Im Märchenland.
40623 – Die Töchter des Kommandeurs. Aus dem Norwegischen.
~~40624~~ – Der Lotse und sein Weib. do
40625 **Lilla**, Felix, Geplauder. a-b.
40626 **Lindau**, Paul, Helene Jung.
~~40627~~ – Vorspiele auf dem Theater.
40628 **Lössel**, Gustav, Diesseits und jenseits des Oceans.
~~40629~~ **van der Lans**, Kreuz und Adler.
40630 **Laverrenz**, Die Denkmäler Berlins u. das Volk. a-b.
40631 **Leffler**, Sonja Kovalevsky. Aus d. Schwedischen.

- ~~40632~~ **Lindau, (Paul),** Der Zug nach dem Westen. (Berlin I)
~~40633~~ – Arme Mädchen. (do II)
40634 – Spitzen. (do III)
~~40635-36~~ – Die Gehilfin. Berliner Roman.
40637 **Liliencron, A. von,** Aus dem Leben, für das Leben.
40638 – Wera Paulowna.
40639 – Bis an die Grenze.
~~40640~~ – Irrungen.
~~40641~~ – Duell und Ehre.
~~40643~~ **Lichtenow, W. v.,** Nach dem Tode. Mitteilungen aus dem Jenseits.
40644 – Im Himmel.
40645 **Lorm, Gabriel Solmar.** Roman.
40646 **Lingg, Herm.,** Byzantinische Novellen.
40647 **Ludwig, Otto,** Ausgewählte Werke. a-b. (Dramen. Die Heitheretei etc).
40648 – Zwischen Himmel und Erde. a-c.
~~40650-51~~ **Lasswitz,** Auf zwei Planeten. Roman. 2 Bde.
40652 **v. Leixner, Otto,** Laien-Predigten für das deutsche Haus. a-b.
~~40653~~ **Lynn,** Die Tochter des Piratenkapitäns.
40654 **Lechleitner, Franz,** Bergsonnenschein.

– 123 –

- ~~40656~~ **Lauff, Josef,** Kevelaer. Roman.
~~40657~~ – Die Hauptmannsfrau. (Roman aus dem XVI. Jahrhundert.)
40658 – Pittje Pittjewit a-b.
40659 – Regina coeli.
40660 – Kärrekiek.
~~40661~~ – Frau Aleit.
~~40662~~ – Im Rosenhag, Roman aus dem alten Köln.
~~40663~~ – Die Hexe. Roman aus dem alten Regensburg.
~~40664~~ – Sankt Anne.
40665 – Die Tanzmamsell.
40666 **Lie,** Novellen. Aus dem Norwegischen (Dreimaster Zukunft, – Der Hellscher etc.)
~~40667~~ – Auf Irrwegen. Aus dem Norwegischen.
~~40668~~ – Rutland. Eine Seegeschichte. Aus dem Norwegischen.
~~40669~~ **Lee,** Ein Pistolenschuss. Kriminalroman.
Liliencron, (Detlev von) Sämtliche Werke.
~~40671~~ – do I Kriegsnovellen.
~~40672~~ – do II Aus Marsch und Geest a-b.
~~40673~~ – do III Könige und Bauern.
~~40674~~ – do IV Roggen und Weizen.
~~40675~~ – do V Der Mäcen.
~~40676~~ – do VI Breide Hummelsbüttel. Roman.
40677 – do VII Kampf und Spiele. Gedichte.
40678 – do VIII Kämpfe und Ziele. do
40679 – do IX Nebel und Sonne. do

- 40680 – do X Bunte Beute. do
~~40681~~ – do XI Poggfred. Kunterbuntes Epos. 1.
40682 – do XII do 2.
40683 – do XIII Mit dem linken Ellenbogen. Roman.
40684 – do XIV Dramen.
~~40685~~ – Gute Nacht. Hinterlassene Gedichte.
~~40686~~ – Letzte Ernte. Hinterlassene Novellen.
~~40687~~ – Leben und Lüge. Biographischer Roman.
~~40688~~ **Lux**, Die Vision der lieben Frau. Münchner Roman.
~~40689~~ **Lienhard**, Oberlin. Roman aus der Revolutionszeit im Elsass.
40690 **Leuschner**, Der Reischrist.
40691 **Lindau**, Rudolf, Der lange Holländer.
40898 **Mann, Thomas**, Tristan. Sechs Novellen.
~~40899-900~~ – Die Buddenbrooks. 2 Bde.
40901 – Der kleine Herr Friedemann. Novellen.
~~40902~~ – Königliche Hoheit. 4. Aufl.
40905 **Mann, Heinrich**, Stürmische Morgen. Novellen.
~~40906~~ – Die kleine Stadt.
~~40910~~ **Mereschkowski**, Leonardo da Vinci. Biographischer Roman.
40911 **Meerheimb**, Henriette v., Allerseelen und der erste Patient. a-b.
40912 **Meissner**, A. G., Skizzen. a-b.
40914 **Mit der Feder** für das **Schwert**. Novellen und Erzählungen. a-b.
40915 **Meinhold**, Maria Schweidler, die Bernsteinhexe.
~~40918~~ **Münchhausen**, Frhr. v., Wunderbare Reisen und Abenteuer zu Wasser und zu Lande.
40919 **Michaelis**, Aebelö. Roman aus dem Dänischen.
~~40920~~ – (Karin) Das gefährliche Alter.
40922-24 Für Musse-Stunden, Allerlei aus Welt und Leben.
- 124 -
- 40925 **Mauthner**, Hypatia. Roman aus d. Altertum. a-b.
~~40926~~ **Milbach**, Ohne Spuren. Kriminalroman. a-b.
40927 **Mylius**, Die Opfer des Mammon
~~40928~~ – Die Türken vor Wien 1683.
~~40929~~ – Graveneck. Histor. Erzählung.
40930 – Die Frau Oekonomierat.
40931 **Meister**, Friedr., Klar zum Wenden. Seegeschichten. a-b.
~~40932~~ **Meyer-Förster**, Karl Heinrich („Alt-Heidelberg“).
~~40934~~ **Meyer**, Conrad, Ferd., Der Heilige.
~~40935~~ – Jürg Jenatsch.
~~40936~~ – Das Amulet.
~~40937~~ – Angela Borgia (s. a. Deutsche Rundschau 1891.)
~~40938-39~~ – Novellen. I Bd. a-b. Das Amulet. – Der Schuss von der Kanzel. – Plautus im Nonnenkloster. – Gustav Adolfs Page. – II Bd. Die Hochzeit des Mönchs. – Das Leiden eines Knaben. – Die Richterin.
~~40940~~ – Die Versuchung des Pescar.

- 40941 **Mennel**, Buchholz und Knebbchen auf dem Skatcongress.
- ~~40942~~ **Marriot**, Menschlichkeit.
- 40943 – Der geistliche Tod.
- 40944 **Multatuli** (Dekker) Max Havelaar. Aus dem Holländischen.
- ~~40945-46~~ **Mörike**, Eduard, Maler Nolten. Bd. 1-2.
- 40947 – Gesammelte Erzählungen.
- 40948 – Gedichte.
- 40949 **Montanus**, Die Alpenfahrt der Familie Ekel. Eine wahre Geschichte als Beitrag zum alpinen Knigge. 3 Auflage.
- ~~40950~~ **Müllenbach**, Waldmann und Zampa. Novellen.
- 40951 **Manteuffel** (U. Z. von), Il Romano. Roman.
- ~~40952~~ **Mäser**, Parriotische Phantasien.
- ~~40953~~ **Maartens**, Irost Avelungs Schuld. Eine holländische Geschichte.
- 40954 **Marie Madeleine**, Arme Ritter!
- ~~40955~~ – Die letzte Hürde. Skizzen.
- 40956 – Im Spielerparadies.
- 40957 – Krabben.
- 40958 **Malling**, Mathilde, Der alte Herrenhof a-b. Seebadgeschichten.
- 40959 – Ein Roman vom ersten Konsul.
- 40960 **Zur Megede**, Der Ueberkater, a-b.
- ~~40961~~ – Unter Zigeunern.
- 40962 – Quitt.
- 40963-64 – Von zarter hand. 2 Bde. a-b.
- ~~40965-66~~ **Meyer** (Melchior), Erzählungen aus dem Ries. 2 Bde.
- ~~40967~~ **Möllhausen**, Haus Montague.
- ~~40968~~ – Um Millionen.
- 40969 – Der Fährmann. a-b.
- 40970 – Die beiden Jachten. ab
- ~~40971~~ – Der alte Korpsbursche.
- ~~40972~~ – Der Piratenleutnant a-b.
- 40974 **Meinhardt**, Heinz Kirchner.
- 40976 **Müller** (G. A.][3]) Ecce homo! Eine Erzählung aus Christi tagen.
- ~~40978~~ **Madelung**, Jagd auf Menschen und Tiere. Russische Skizzen, aus dem Dänischen übersetzt.
- Marlitt**, Gesammelte Romane und Novellen. 10 Bände.
- ~~40979~~ – I Das Geheimnis der alten Mamsell. a-b.
- ~~40980~~ – II Das Heideprincesschen. a-b.
- 40981 **Marlitt**, III Reichsgräfin Gisela a-b.
- ~~40982~~ – IV Im Schillingshof a-b.
- ~~40983~~ – V Im Hause des Kommerzienrates.
- ~~40984~~ – VI Die Frau mit den Karfunkelsteinen.
- ~~40985~~ – VII Die zweite Frau.
- 40986 – VIII Goldelse. a-b.
- ~~40987~~ – IX Das Eulenhäus.

- 40988 - X Thüringer Erzählungen.
- 40989 **Martin**, Luftpiraten und andere Fluggeschichten.
- 40990 **Mügge**, Der Vogt von Sylt.
- 40991 - Afraja. Ein nordischer Roman.
- 40992 **Misch**, Ein Adelsmensch.
- 40993 - Kaltenbachs. Ein heiterer Roman aus Berlin W.
- 40994 **Zur Megede**, Modeste.
- 40995 - Das Blinkfeuer von Brüsterort.
- 40996 - Kismet, Novellen.
- 40997 - Trianon. do
- 40998 - Felicie 5. Aufl.
- 40999 **Marie Madeleine**, Aus faulem Holze.
- 41000 - Der rote Champion.
- 41001 **Müller-Guttenbrunn**, Götzendämmerung. Ein Kulturbild aus Ungarn.
- 41002 - Die Glocken der Heimat. Roman aus dem Banat.
- 41400 **Nordhausen**, Die rote Tinktur. a-b.
- 41401 - Urias Weib. Eine Grossstadtgeschichte.
- 41402 - Trumpf. Heitere Geschichten.
- 41403 **Niemann, J.**, Die Kehrseite der medaille.
- 41404 **Noel, A.**, Kleines Volk. Kindergeschichten f. Erwachsene.
- 41408 **v. Neidegg**, Aus bewegter Zeit.
- 41410-11 **Nathusius**, Elisabeth. 2 Bde. (41410 b. Ausgabe in einem Bande.) *ab*
- 41412 **Nötel**, Vom Theater. Humoristische Erzählungen.
- 41413 **Nast**, Litauisch Blut.
- 41414 - Die Sängerin.
- 41415 **Niemann**, Smaragda. Roman aus Konstantinopel.
- 41416 **Neudeck**, Zur See. Der Roman eines Schiffsingenieurs.
- 41417 **Niese**, Die Klabunkerstrasse.
- 41418 - Sommerzeit.
- 41419 - Die braune Marenz und andere Geschichten.
- 41420 - Aus dänischer Zeit. Bilder und geschichten.
- 41421 - Menschenfrühling.
- 41422 - Minette von Söhlenthal.
- 41423 - Licht und Schatten. Eine Hamburger Geschichte.
- 41424 **Nansen (Peter)** Jugend und Liebe. Ausgewählte Novellen.
- 41425 **Nicolai**, Zur Neujaarszeit. Aus dem Dänischen übersetzt.
- 41426 **Neera**, Haus Crevalcore.
- 41600 **Ortmann**, Sklavenketten.
- 41601 - Aus Leidenschaft.
- 41602 - Stumme Verräter. Kriminalroman.
- 41604-05 **von Ompteda**, Sylvester v. Geyer. Bd. 1-2. a-b.
- 41606 - Lust und Leid.
- 41607 - Unser Regiment. Ein Reiterbild.
- 41608 - Der Zeremonienmeister. a-b.
- 41609 - Drohnen. a-b.

- 41610 – Droesigl. (siehe auch Woche 1908 III.)
~~41611~~ – Heimat des Herzens.
- ~~41612~~ **von Ompeda**, Die Sünde. Geschichte eines Offiziers.
~~41613~~ – Monte Carlo.
~~41614~~ – Die sieben Gernopp.
~~41615~~ – Weibliche Menschen.
41616 – Die Radlerin. a-b.
~~41617~~-18 – Eysen, Roman. 2 Bde. a-b.
~~41619~~-20 – Cäcilie von Sarryn. 2 Bde. a-b.
~~41621~~ – Normalmenschen. a-c.
41622 – Aus grossen Höhen.
41623 – Unter uns Junggesellen. a-b.
~~41624~~ – Minne.
~~41626~~ – Denise de Montmidi. a-b.
~~41627~~ – Ein Glücksjunge. a-c.
~~41628~~ – Heimat des Herzens.
~~41629~~ – Excelsior. Ein Bergsteigerleben. a-b.
~~41630~~ – Herzeloide. (siehe auch Gartenlaube 1905.)
~~41631~~ – Nerven. Novellen.
~~41632~~ – Maria da Caza.
~~41633~~ – Benigna, Leben einer Frau.
~~41634~~ – Margret und Osanna.
~~41636~~ **Olden**, Die erste Krawatte u. andere geschichten.
41637 **von Oertzen**, Irrlichter.
41638 – Eine glückliche Hand.
~~41639~~ – Frei für die Ehre!
~~41642~~ **von Oppeln-Bronikowski**, Der Rebell. Roman aus dem Offiziersleben.
41646 **Osten**, Militärfromm.
41800 **Pappritz**, Aus den Bergen Tirols a-b.
~~41801~~ **Pasqué**, Die Glocken von Plurs. a-b.
41802 – Eine Visitkarte Bismarcks. Erzählung.
41803 **Paschwitz**, Th. v., mechthildis. a-b.
41804-05 **Peter**, Fritz, Der Nachtwächter von Elbrich. Bd. 1-2. a-b.
~~41806~~ **Petri**, Julius, Rothe Erde. a-b.
41808 **Pichler**, Helen, Aus der Brandung des Lebens. a-b.
~~41809~~ – Nordstern und Anderes.
~~41810~~ **Presber**, Von Leutchen, die ich lieb gewann. Ein Skizzenbuch.
~~41811~~ **v. Pöschinger**, Margarethe, Ebenbürtig.
41812 **Pötzl**, Ed., Der Herr von Niglerl und andere humoristische Skizzen.
41813 – Kriminal-Humoresken.
41815 **Prölls**, J., Bilderstürmer.
41816 – Das Bild der Königin.
~~41817~~ **Ploetz**, Das Jauchzen der Geigen.

- ~~41818~~ **von Perfall**, Kraft und Liebe.
 41819 – Der Scharffenstein.
 41820 – Die Krone. a-b.
~~41821~~ – Ihr Glück.
 41822 – Das verlorne Paradies.
 41823 – Das Königsliebchen.
~~41824~~ – Münchener Kindeln.
~~41825~~ **Petersen**, Marie, Die Irrlichter.
 41826 **zu Putlitz**, Elly, Sommerfäden Skizzen. a-b.
 41827 **Piening**, Th., Eine Lügengeschichte, Krischan Wehnkes Abenteuer.
 41828 **Peschkau**, Die Prinzessin. Suzons Ende.
~~41829~~ – Am Abgrung.
- 127 –
- 41830 **von Polenz**, Der Büttnerbauer.
 41831 – Der Pfarrer von Breitendorf.
~~41832~~ – Die Grabenhäger.
 41833 – Thekla Lüdekind.
 41834 – Glückliche Menschen. (s. a. Deutsche Rundschau 1904.)
~~41835~~ – Luginsland. Dorfgeschichten.
 41836 **Perfall**, (A. von), Jägerblut. Eine Hochgebirgsgeschichte.
~~41837~~ – Der Kroatersteig. Roman aus dem Hochgebirge.
 41838 – (K. von.), Ritter und Damen.
~~41839~~ **Putkamer**, (Jesco von), Das Duallamädchen. Roman aus Kamerun. a-b.
 41840 **Pistorius**, Tertianerzeit.
 41841 **v. Putlitz**, Gustav Walpurgis.
 41842 **Pfeil**, Richard Graf von, Vom Schipka zum Zarenhofe. Geschichtlicher Roman.
 41844 **Paschwitz**, Versunkenes Eiland.
 41845 **Jean Pauls** (Joh. P. Fr. Richter) Werke. (Hempel): Die unsichtbare Loge. Quintus Fixlein.
 41846 – Auswahl aus des Teufels Papieren. Jean Pauls biographische Belustigungen unter der Gehirnschale einer Riesin. Der Jubelsenior.
 41847 – Hesperus.
 41848 – Blumen-, Frucht- und Dornenstücke des Armenadvokaten Siebenkäs.
 41849 – Titan.
 41850 – Dr Katzenbergers Badereise. a-b.
 41851 – Lebens-Fibel. Freiheits-Büchlein. Friedens-Predigt an Deutschland. Dämmerung für Deutschland. Mar's und Phöbus' Thronwechsel im Jahre 1814. Politische Fastenpredigten während Deutschlands Marterwoche. Jean Pauls Briefe und bevorstehender Lebenslauf.
 41852 – Das Kampaner Thal, Grönländische Prozesse. Fata und Werke vor und in Nürnberg. Museum.
 41853 – Herbst Blumine.
 41854 – Vermischte Aufsätze und Dichtungen aus Zeitschriften und Taschenbüchern.
 41855 – Vorschule der Aesthetik.
 41856 – Ueber die deutschen Doppelwörter.
 41857 – Dr. Katzenbergers Badreise. (Reclam.)
 41858-62 **Plateus**, Gesammelte Werke. 5 Bde (Gedichte. Dramen. Prosa.)
 41863-65 **Paalzw**, Godwie Castle. 3 Bde.

- 41866-68 – Jakob von der Nees. 3 Bde.
41869-71 – Thomas Thyrnau. 3 Bde.
41872-74 – St. Roche. 3 Bde.
41875 **Pollaczeck**, Die Marracher Partie.
~~41876~~ **Poeck**, Nordkaper. Ein fideler Reiseroman.
41877 **Presber**, Das Mädchen vom Nil u. andre Novellen a-b. (andrer Titel: Das Fellahmädchen)
~~41878~~ – Die bunte Kuh. Humoristischer Roman.
41879 – Der Vetter aus Köln, Schwänke.
41881 **Popert**, Helmut Haringa.
41884 **von Perfall**, Hörner trägt der Ziegenbock.
~~41885~~ – Um die Familie.
41886 – König Erfolg.
42691 **Raché**, Die Scham. Geschichte zweier Ehen.
42692 **Raimund**, Mein ist die Rache a-b.
- 128 –
- 42693 **Raimund**, Ein hartes Herz.
42697 **v. Redwitz**, Oskar, Hermann Stark, Deutsches Leben, 6. Bde.
42703-04 **v. Rehfues**, Scipio Cicala. Reclam.
~~42705~~ **Reich**, Adolf, Berlin wie es lacht und lachte. a-b.
42706 – Phantastikon. Märchen, Novellen u. Briefe. a-b.
42707 **Reicke**, das grüne Huhn.
42708 – Im Spinnenwinkel.
42710 **Reichenbach**, Der Bummelzug. Novellen.
42711-12 **Reuter**. Friz. Läuschen und Rimels. Bd. 1-2. a-b.
42713 – De Reis nah Bellingen, und Franzosentid. a-b.
42714 – Twei lustige Geschichten: 1. Woans ick tau ne Fru kamm. 2. Ut de Franzosentid.
42715 – Ut mine Festungstid. ~~a-b~~.
42716 – Schur Murr. wat tausammen is schaft ut de hochdütsche Schöttel, ut den plattdütschen Pott un den missingschen Ketel. a-b-
42717 – Hanne Nüte un de lütte Pudel. Ne Vagel- un Minschengeschicht. a-b. c.
42718 – Ut mine Stromtid.
42719 – Kein Hüsung.
42720 – Dörchläuchting. a-b.
42721 – De meckelnbörgschen Montechi un Capuletti. a-b.
42722 **Roberts**, Um den Namen.
~~42723~~ – Die schöne Helena.
~~42724~~ – Preisgekrönt.
42725 – Schwiegertöchter.
42726 – Satisfaktion.
~~42727~~ – Lou.
42728 **Roberts**, Revanche- ~~a-b~~.
42730 **Reinhardt**, Naturgeschichte der weissen Sklaven. satiren.
42731 **v. Reymand**. Der Reichsfassbinder.
42734 **Rasmussen**, Mafia. Roman aus dem modernen Sicilien.

- 42735 **Riehl, W. H.**, Die vierzehn Nothelfer.
- 42736 – Burg Neideck.
- 42737 – Am Feierabend.
- 42738 – Kulturgeschichtliche Novellen.
- ~~42739~~-40 – Geschichten aus alter Zeit. 2 Bde.
- 42741 **Raabe**, Im alten Eisen. Erzählung.
- ~~42742~~3-454 – Gesammelte Erzählungen. 3. Aufl. 4 Bde.
- 42746 – Halb Mähr, halb mehr!
- 42747 – Die Gänse von Bützow.
- 42748 – Frau Salome.
- 42749 – Altershausen.
- 42759 – Hastenbeck.
- «^v新潟高»*
42760 – Die Chronik der Sperlingsgasse.
- 42761 – Der Schüdderump.
- «^v新潟高»*
42762 – Horacker.
- 42763 – Horn von Wanza. a-b.
- 42765 – Zum wilden Mann. a-b.
- «^v新潟高»*
42766 – Unseres Herrgotts Kanzlei.
- 42767 – Stopfkuchen. Eine See- und Mordgeschichte.
- «^v新潟高»*
42768 – Christoph Pechlin.
- «^v新潟高»*
42769 – Abu Telfan oder die Heimkehr aus dem Mondgebirge.
- «^v新潟高»*
42770 **Radkersberg-Radnicki**, Leidenschaftl. Naturen. Neonila.
- «^v新潟高»*
42771 **Richter, O.**, Thilo v. Wardenberg. Berliner Zeit- und Charaktergemälde aus der 2. Hälfte des 14. Jahrhunderts.
- «^v新潟高»*
- 129 –
- 42772 **Robolsky, Hennigs v. Treffenfeld**, Ein altmärkischer Bauernsohn.
- «^v新潟高»*
42773 **Rosegger**, Dorfsünden. Novellen.
- 42774 – Weltgift.
- «^v新潟高»*
42775 – Der Gottsucher.
- «^v新潟高»*
42776 – Neue Waldgeschichten.
- 42777 – Waldheimat. I. Bd. Kindesjahre.
- «^v新潟高»*
42778 – II. Bd. Lehrjahre.
- «^v新潟高»*
42779 – Als ich jung noch war. Neue Geschichten aus der Waldheimat.

- «^v新潟高»*
 42780 – Allerhand Leute.
 «^v新潟高»*
~~42781~~ – Martin der Mann.
~~42782~~ – Peter Mayr.
~~42783~~ – Die Schriften des Waldschulmeisters. a-b.
~~42784~~ – Jakob der Letzte.
~~42785~~ – Erdsegen. Vertrauliche Sonntagsbriefe eines Bauernknechtes. a-b.
 «^v新潟高»*
 42786-88 – Das Buch der Novellen. Bd. 1-3. (Bd. 3. a-b.)
 «^v新潟高»*
~~42789~~ – Sonnenschein.
 42790 – Das ewige Licht.
 «^v新潟高»*
~~42791~~ – Nixnutzig Volk. Kurze geschichten. a-b.
~~42792~~ – J. N. R. J. Frohe Botschaft eines armen Sünders.
~~42793~~ – Hoch vom Dachstein, Geschichten aus Steiermark.
~~42794~~ – Wildlinge. Novellen.
 42795 – Alpengeschichten.
 «^v新潟高»*
~~42796~~ – Höhenfeuer. Neue Geschichten aus den Alpen.
~~42797-99~~ **Rückert**, Ausgewählte Werke. Bd. 1-6.
 42800 – Weisheit des Brahmanen.
 «^v新潟高»*
 42802 **Runkel**, Raphael Goldschmidt.
 «^v新潟高»*
~~42803~~ **Reuter**, Gabriele, Der Amerikaner a-b.
 42804 – Aus guter Familie.
 «^v新潟高»*
 42805 – Frau Bürgelin und ihre Söhne. a-b.
 «^v新潟高»*
~~42806~~ – Ellen von der Weiden.
~~42807-8~~ – Margaretes Mission. 2 Bde.
~~42809~~ – Liselotte von Reckling. a-b.
 42810 – Das Tränenhaus. Roman.
 «^v新潟高»*
 42811 **Rüderer**, Ein Verrückter. Kampf und Ende eines Lehrers.
 «^v新潟高»*
~~42812~~ – Tragikomödien. Fünf Geschichten.
~~42813~~ **Rosner**, Die silberne Glocke.
 42814 – Sehnsucht.
 «^v新潟高»*
 – Der Herr des Todes. s. gartenraube 1910.
 42815 – Der Fall Versegg.
 «^v新潟高»*
~~42816~~ **Rocco**, Emil, Der Umgang in und mit der Gesellschaft.
F. Rose, Provinz-Mädel. Humoristische Romane. 10 Bde.

- 42817 – I. Kleinstadtluft.
 42818 – II. Kerlchens Lern- und Wanderjahre.
 42819 – III. Kerlchen wird vernünftig.
 42820 – IV. do als Erzieher.
 42821 – V. do als Anstandsdame.
 42822 – VI. do als Sorgen- und Sektbrecher.
 42823 – VII. Liebesgeschichten.
 42824 – VIII. Kerlchens Flitterwochen.
 42825 – IX. do Mutterglück.
 42826 – X. do Ebenbild.
 42827 **Rosegger**, Alpensommer. Geschichten.
 «^v新潟高»*
 42828 – Heidepeters Gabriel.
 42829 – Die Försterbuben.
 «^v新潟高»*

– 130 –

- ~~42830-31~~ **Rosegger**, Der Schelm aus den Alpen. Geschichten, Schwänke und Schnurren. 2 Bde.
 42832 – Lasset uns von Liebe reden! Letzte Geschichten.
 42833 – Der Höllbart.
 «^v新潟高»*
 42838 **Ring**, Die Schützlinge des grossen Kurfürsten.
 «^v新潟高»*
 42839 **Ruppius**, Der Pedlar a-b.
 «^v新潟高»*
 42840 – Das Vermächtnis des Pedlars.
 «^v新潟高»*
Retcliff, (Sir John), Historische Romane. 40 Bde.
 42841-43 – Nena Sahib oder die Empörung in Indien. 3 Bde. a-c.
 42844-47 – Villafranca oder die Kabinette der Revolution. 4 Bde.
 42848-51 – Zehn Jahre (2. Abteilung von Villafranca). 4 Bde.
 42852-554 – Magenta und Solferino (3. Abteilung von Villafranca) 4 Bde. a-b.
 «^v新潟高»*
 42856-58 – Puebla oder der Schatz der Inka. 3 bde. a-b.
 «^v新潟高»*
 42859-62 – Biarritz. 4 Bde.
 42863-66 – Gaeta – Düppel. Fortsetzung von Biarritz. 4 Bde.
 «^v新潟高»*
 42867-71 – Um die Weltherrschaft. 5 Bde. a-b.
 «^v新潟高»*
 42872-76 – Sebastopol. 5 Bde. a-b. 74 ケツ
 «^v新潟高»*
 42877-80 – Das Kreuz von Savoyen. 4 Bde.
 42885 **Reinhart**, Heimwehland. Geschichten aus einsamer Welt.
 42886 **Reichenbach**, Der Roman eines Bauernjungen.
 «^v新潟高»*
 42887 **Rojic-Rachki**, Der Sonne zu!

- 43274 – Seine Hoheit. Humoresken.
 43275 – Leutnant der Reserve. Zeitroman. a-b.
 43276 – Excellenz ist wütend! Militärhumoresken.
 43277 – Das Kasernengespenst. Eine Besichtigung von A. bis Z.
 43278 – Im Kreuzfeuer. Humoristischer Roman. S. a. 34509. a-b.
 43279 – Das Regimentsbaby.
 43280 – Die Regimentswalküren.
 43281-82 – Aus der Schule geplaudert. Humoresken. 2 Bände.
 43283 – Leutnant Krafft.
 43284 – Der Manövergast.
 43285 – Arme Schlucker, Humoresken.
 43286 – Die von Gründigen.
 43287 – Der höfliche Meldereiter. Humoresken.
 43288 – Die Fahnenkompagnie.
 43289 – Ein Ehrenwort. Erzählungen.
 43290 – Zurück, Marsch, marsch! Militärhumoresken.
 43291 – Excellenz lassen bitten! do
 43292 – Vielliebchen. do
 43293 – Excellenz kommt! do

«信州大松本圖»

- 132 -

- 43294 **Schlicht**, Frhr. von, Offiziersehen a-b.
 43295 – Pensionopolis.
 43296 – Ein Adjutantenritt.
 43297 – Die Fürstengondel.
 43298 – Meine kleine Frau und ich.
 43299 – Ehestandshumoresken.
 43300 – Eas ist los? Militärhumoresken.
 43301 – Graf Udo Bodo. Satirischer Roman.
 43302 – Leutnantsleben.
 43311 **Schmeling**, Der falsche Graf. Kriminalroman.
 43312 **Schmidt**, Elise, Die Quadriga auf dem Brandenburger Tore. a-c.
 43313 **Schmidt**, Hermann, Der Kanzler von Tirol. Historischer Roman.
 43318 **Schmidt**, Max von, Die Wildbraut. Hochlandserzählung.
 43319 – Glasmacherleut. a-c.
 43320 – Hancicka. das Chodenmädchen.
 43321 – Der Musikant von Tegernsee.
 43322 – Der Leonhardsritt.
 43323 – Die Jachenauer in Griechenland.

«信州大松本圖»

«信州大松本圖»

«信州大松本圖»

«信州大松本圖»

«信州大松本圖»

«信州大松本圖»

- 43324 – Der Bubenrichter von Mittenwald. «信州大松本圖»
- 43325 – Der Prälatenschatz. «信州大松本圖»
- 43326 – Die Blinde von Kunterweg. «信州大松本圖»
- ~~43327~~ – Der Schutzgeist von Oberammergau.
- ~~43333~~ **Schmitthenner**, Das Deutsche Herz. Roman.
- ~~43337~~ **Schneehage**, Die da Opfer bringen. Kolonialroman aus Südwestafrika.
- ~~43338~~ **Schnitzer**, Käte und ich.
- ~~43339~~ – Käte, ich und die anderen.
- 43340 – Wunderliche Lebensläufe. «信州大松本圖»
- ~~43345~~ **Schnitzler**, Dämmerseelen. Novellen.
- ~~43346~~ – Frau Berta Garlan.
- ~~43347~~ – Der Weg ins Freie.
- 43348 – Die Frau des Weisen. Novellen. «信州大松本圖»
- 43353 **Schobert**, Flecken auf der Ehre. «信州大松本圖»
- 43355-6159 **Schönaich-Carolath**, Prinz E. von, Gesammelte Werke. 7 Bände. (Gedichte, Novellen etc.) «信州大松本圖»
- 43364 **Schönthan**, P. von, Jahreszeiten der Feder. «信州大松本圖»
- 43365 – Der Kuss. Gereimtes und Ungereimtes. «信州大松本圖»
- 43366 – Kleine Humoresken. «信州大松本圖»
- 43368 **Schöpp**, Momentaufnahmen. Bilder aus dem Leben. a-c. «信州大松本圖»
- 43369 **Scholz**, Die Jerichorose. «信州大松本圖»
- ~~43370~~ **Schott**, Die Asgarden. Ein Prager Studentenroman.
- ~~43371~~ – Gottestal. Preisgekrönter Roman.
- 43373 **Schreckenbach**, Der getreue Kleist. «信州大松本圖»
- ~~43374~~ – Der König von Rothenburg.
- ~~43375~~ – Die von Wintzingerode. Historischer Roman.
- ~~43379~~ **Schreiber**, Allerlei Humore.
- 43380-82 **Schröder**, Humoresken, 3 Bände. «信州大松本圖»
- 43384 **Schubert**, Und sie bewegt sich doch. Histor. Erzählung aus der Zeit Galileis. «信州大松本圖»
- 43386 **Schubin**, Ossip, Maximum. «信州大松本圖»
- 43387 – Refugium peccatorum.

- 43388 – Gloria victis! (s. Deutsche Rundschau 1885.)
Boris Lensky (do do 1888.)
- 43389 – Ehre.
- 43390 – Vollmondzauber.
- 43391 **Schubin**, Die Heimkehr.
- 43392-94 – O du mein Oesterreich! 3 Bände.
- 43395 – Bravo rechts! Eine lustige Sommergeschichte.
- 43396 – Der Gnadenschuss.
- 43397 – Zerbrochene Flügel.
- 43398 – J[H]m gewohnten Geleis.
- 43408 **Schücking**, Levin, Eine dunkle Tat.
- 43409 – Die Rheider Burg.
- 43412 **Schuhmacher**, Der Herr im Hause. Humoristischer Roman.
- 43413 – Leben und Liebe der Lady Hamilton. a-b.
- 43415 **Schulze-Schmidt**, Wenn man liebt.
- 43416 – Inge von Rantum. Eine Sylter Novelle.
- 43417 – In Moor und Marsch. Roman aus dem Jahre 1812.
- 43418 – Eiserne Zeit. Roman aus den Freiheitskriegen.
- 43419 – Die Tat. Eine vergessene Geschichte.
- 43420 **Schulte von Brühl**, Die Revolutzer. Ein Roman von 1848.
- 43427 **Schussen**, Vincenz Faulhaber. Ein Schelmenroman.
- 43429 **Schwartzkoppen**, Aquarelle.
- 43431 **Schweichel**, Der Bildschnitzer von Achensee.
- 43432 – Das weisse Kreuz in Ormont.
- 43433 – Camilla. Eine römische Novelle.
- 43436 **Schweriner**, Eine gefahrvolle Verschwörung.
- 43437 **Sealsfield**, Das Kajütenbuch.
- 43438 – Nathan, der Squatterregulator.

- 133 -

«信州大松本圖»

- 43441 **Seeliger, G. E.**, Der Schrecken der Völker. Ein Roman aus der Zukunft.
43442 – Zwischen den Wäldern. Ein heiterer Roman aus Schlesien.
«信州大松本圖»
- 43443 – Auf Tot und Leben. Novellen.
43445 **Seidel, Heinrich**, Weihnachtsgeschichten.
«信州大松本圖»
- 43446-5247 – Erzählende Schriften: 7 Bände. (1. a-b: Leberecht Hühnchen. 2 a-b. und 3: Vorstadtgeschichten. 4. und 5: Heimatgeschichten. 6: Phantasiestücke.-Band 7: Von Berlin nach Perlin.)
«信州大松本圖»
- 43453 **Seume**, Spaziergang nach Syrakus 1802.
43454 **Siegfried, Tino Moralt**, Kampf und Ende eines Künstlers.
43455 **Siklosy**, Eisenbahngeschichten. Radfahrgeschichten.
«信州大松本圖»
- 43458 **Skowronnek**, Der Bruchhof.
43459 – Wie die Heimat stirbt.
43460 – Der rote Kersien.
43461 – Das rote Haus.
43462 – Hans der Sieger.
43463 – Armer Henner,
43464 – Ihr Junge.
«信州大松本圖»
- 43465 – Das Verlobungsschiff.
«信州大松本圖»
- 43471 **Sohnrey**, Friedesinzens Lebenslauf. a-b.
43472 – Im grünen Klee, im weissen Schnee.
«信州大松本圖»
- 43473 – Hütte und Schloss.
43474 – Grete Lenz. Leben und Erlebnisse eines Grosstadtkindes.
43475 – Verschworen-verloren. Eine Dorfgeschichte.
43479 **Speckmann**, Heidjers Heimkehr.
43480 – Herzensheilige.
43485 **Sperl**, So wars!
43486 – Prickelnd. Novellen.
43487 – Richiza. Historischer Roman.
- 134 -
- 43488 – Die Fahrt nach der alten Urkunde. Geschichten und Bilder aus dem Leben eines alten Emigranten-
tengeschichts.
43489 – Die Söhne das Herrn Budiwoj. Historischer Roman.
«信州大松本圖»
- 43495-96 **Spielhagen, Friedrich**, Sturmflut. 2 Bände. a. (b. Ausgabe in einem Bande.)
«信州大松本圖»
- 43497-98 – Hammer und Amboss. a-b. 2 Bände.
43499-500 – Problematische Naturen, 2 Bände (43499. b Ausgabe in einem Bande.)
43501 – Was die Schwalbe sang. a-b.

- ~~43502~~-4 – Was soll das werden? 3 Bände. (43502 b. Ausgabe in einem Bande, s. a. Gartenlaube 1886).
- 43505-6 – In Reih und Glied. 2 Bände a. (b. Ausgabe in einem Bande).
- ~~43507~~ – Die von Hohenstein.
- 43508 – Susi. Eine Hofgeschichte. a. b.c
- ~~43509~~ – Clara Vere.
- 43510 – Alles fließt.
- ~~43511~~ – Selbstgerecht.
- ~~43512~~ – Opfer. Freigeboren.
- 43513 – Sonntagskind. Stimme des Himmels.
- ~~43514~~ – Quisisana. Noblesse oblige.
- ~~43515~~ – Kleine Romane.
- 43521 **Spitteler**, Conrad, der Leutnant.
- ~~43526~~ **Spitz**, Das Teehaus zu den hundert Stufen. Aus dem Tagebuch eines Schiffszarztes.
- ~~43527~~ **Steffen**, Okowi ein Hererospion? Kolonialroman.
- 43530 **Stehr**, Das letzte Kind. Novelle.
- 43534 **Stein**, Armin, Am stillen Herd. «山口大總圖»
- 43537 **Steinhausen**, Jrmela. Eine Geschichte aus alter Zeit. «山口大總圖»
- ~~43541~~-44 **Stern**, Adolf, Ausgewählte Werke. 8 Teile in 4 Bänden. I: Gedichte.- II: Gutenberg Epos.- III, IV: Ohne Ideale, Roman.- V: Die letzten Humanisten, Roman.- VI: Camoens, Histor. Roman.- VII, VIII: Novellen.
- 43549 **Stettenheim**, Wippchen in Chicago. «山口大總圖»
- 43550 **Steub**. Deutsche Träume a-b. «山口大總圖»
- 43551-52 – Kleine Schriften. (Reiseschilderungen, Tirolische Miscellen) 2 Bände. «山口大總圖»
- 43553-54 **Stifter**, Adalbert, Studien. 2 Bände.
- 43555 – Erzählungen.
- ~~43557~~ **Stilgebauer**, Götz Kraft. I. Mit tausend Masten. a-c.
- 43558 – II. Im Storm der Welt. a-b.
- ~~43559~~ – III. Im engen Kreis. a-c.
- 43560 – IV. Des Lebens Krone. a-c.
- ~~43561~~ – Der Eroberer.
- 43568 **Stinde**, Julius, Die Familie Buchholz. «山口大總圖»
- 43569 – Der Familie Buchholz zweiter Teil. «山口大總圖»
- 43570 – Frau Wilhelmine. «山口大總圖»
- 43573 **Stocker**, Die Salpeterer. Schwarzwaldierzählung. «山口大總圖»
- 43574 **Stockhausen**, Friedebert. «山口大總圖»
- 43575 **Storm**, Theodor, Aquis submersus.
- 43576 – Der Schimmelreiter.

435779-840 – Sämtliche Werke (I. Jmmensee-Von Jenseit des Merres etc. – II. Auf der Universität. – In St. Jürgen. etc – III. Viola tricolor. – Aquis submersus. – IV. Pole Poppenspärer. – Waldwinkel. – Psyche. – Ekenhof. – V. Renate – garsten Curator. – Wald- und Wasserfreude. – VI. Hans und Heinz Kirch. – Zur Chronik von Grieshuus. – Ein Fest auf Haderslevhuus. – VII. Der Schimmelreiter. – Die Söhne des Senators. – VII. Gedichte.)

– 135 –

- 43591 **Strasser**, Charlot, Reisenovellen aus Russland und Japan.
- 43592 **Stratz**, Die kleine Elten. a-b. «山口大總圖»
- 43593 – Berliner Höllenfahrt.
- 43594 – Alt Heidelberg, du feine!
- 43595 – Der weisse Tod.
- 43596 – Gib mir die Hand.
- 43597 – Der arme Konrad. Roman aus dem bauernkriege.
- 43598 – Montblanc.
- 43599 – Die Hand der Fatme. (s. a. Gartenlaube. 1905.)
- 43600 – Herzblut.
- 43601 – Dienst! Ein Kasernenroman in 3 Tagen a-b.
- 43602 – Ich harr des Glücks. Novellen.
- 43603 – Du bist die Ruh! (s. a. Woche 1904).
- 43604 – Für dich! «山口大總圖»
- 43605 – Die zw:olfte Stunde. Novellen.
- 43606 – Es war ein Traum. Berliner Novellen.
- 43607 – Friede auf Erden. Erzählung aus dem 30jährigen Kriege.
- 43608 – Arme Thea! a-b. «山口大總圖»
- 43609 – Die Faust des Riesen.
- 43610 – Liebestrank.
- 43611 **Strauss**, Emil, Der Engelwirt. Eine Schwabengeschichte.
- 43612 – Kreuzungen a-c.
- 43616 **Strauss-Torney**, Lulu von, Lucifer. «山口大總圖»
- 43617 – Hinter Schloss und Riegel.
- 43621 **Streckfuss**, Der Oberförster von Margrabowo.
- 43622 – Sliko. Roman. abc «山口大總圖»
- 43624 **Strindberg**, Die Leute auf Hemsö. Aus dem Schwedischen. «山口大總圖»
- 43629 **Stuhlmann**, Erzählungen aus Norddeutschland. «山口大總圖»
- 43631 **Sudermann**, Der Katzensteg.
- 43632 – Jolanthes Hochzeit a-b.
- 43633 – Frau Sorge.
- 43634 – Es war. a-b.
- 43635 – Geschwister.

- 43636 – Im Zwielicht.
- 43637 – Das hohe Lied. a-b.
- 43638 – Die indische Lilie. a-b.
- 43645 **Suttner**, Berta von, Die Waffen nieder!
- 43646 – Im Berghause. «山口大總圖»
- 43651 **Szczepanski**, Eigene Geschichten. Novellen. «山口大總圖»
- 43654 **Storch**, Ludwig, Vörwärts-Häns. a-b.
- 43655-57 – Kunz von Kaufungen. 3 Bände. a-b.
- 43658 – Waldmeister.
- 43659-61 – Die Heideschenke. a-b. «山口大總圖»
- 43662 – Der Stockfischfang. a-b. «山口大總圖»
- 43664-66 – Der Freibeuter. 3 Bände. «山口大總圖»
- 43667 – Madeira. a-b. «山口大總圖»
- 43668-69 – Die Königsbraut. a-b. «山口大總圖»
- 43670-71 – Für atille Abende. 2 Bände a-b. «山口大總圖»
- 43672 – Orestes. Der Galeerensclave. «山口大總圖»
- 43673^A-84 – Ein deutscher Leineweber. 12 Bände a-b, 74^A, 75^B, 78^B, 83^A «山口大總圖»
- 44007 **Trinius**, Hamburger Schlendertage. Bd. 2 a-b. «山口大總圖»
- 136 -
- 44008 **Trützscher**, Monatsbilder aus dem Soldatenleben. «山口大總圖»
- 44009 **Taylor**, George (A, Hausrath), Antinous. Historischer Roman aus der römischen Kaiserzeit.
- 44011 **Telmann**, Unter römischem Himmel.
- 44013 **Tymen**, Hroswitha. «山口大總圖»
- 44014 **Tanera**, Frau Jzuna. Japanischer Roman.
- 44016 **Truth**, Der Apoll von Bellevue. Berliner Roman. a-b. «山口大總圖»
- 44017 **Tebitsch**, Weltuntergang. Novellen. «山口大總圖»
- 44020 **Thieme**, Der Einäugige. Kriminalroman.
- 44024 **Thoresen**, Die Sonne des Siljethales. «山口大總圖»
- 44025 **Torrund**, Erkämpftes Glück. Novelle. «山口大總圖»

- 44026 **Tovote, Heinz, Mutter.** a-b.
44027 – Der letzte Schritt. a-b.
44028 – Frau Agna. «山口大總圖»
- 44029 – Hilde Vangerow. «山口大總圖»
- 44030 – Im Liebesrausch.
44031 – Frühlingssturm.
44032 – Fallobst.
44033 – Lockvögelchen. «山口大總圖»
- 44034 – Nicht doch! «山口大總圖»
- 44041-42 **Torn, Teo von, Offiziersgeschichten.** Humoresken. 2 Bde. «山口大總圖»
- 44043 – Stille wasser. Ein Kleinstadtroman. «山口大總圖»
- 44301-02 **Uhland, Gesammelte Werke.** Bd. 1-2. (Gedichte. Dramen. Prosaschriften).
44303 **Ular, Die gelbe Flut.** Ein Rassenroman aus China. a-b. «東京外大附圖»
- 44498 **Vacano, Frivolitäten.** Boudoirgeschichten.
44499 **Vely, Wolkenteilung.** «東京外大附圖»
- 44500-1 **Vischer, Fr. Th., Auch einer.** 2 Bde.
44502 **Viebig, Vom Müllerhannes.**
44503 – Rheinlandstöchter.
44504 – Gespenster.
44505 – Die heilige Einfalt.
44506 – Das Kreuz im Venn. a-b.
44507 – Naturgewalten.
44508 – Die Rosenkranzjungfer und andres. a-b.
44509 – Kinder der Eifel.
44510-11 – Das tägliche Brot. Bd. 1-2.
44512 – Die Wacht am Rhein.
44513 – Das schlafende Heer. a-c.
44514 – Das Weiberdorf.
44515 – Dilettanten des Lebens.
44516 – Die vor den Toren.
44517 – Absolvo te!
44518 – Einer Mutter Sohn. a-c.
- 44522 **Voss (Richard), Unter den Borgia.** Historischer Roman.
44523 – Villa Falconieri.
44524 – Ein Königsdrama. Roman aus einem deutschen Herrscherhause. a-b.
44525 – Der Mönch von Berchtesgarden. «東京外大附圖»
- 44527 – Amata. Neue römische Novellen.

- 44528 - Juliane.
 44529 - Die neue Circe.
 44530 - Kinder des Südens.
 44531 - Römische Dorfgeschichten.

- 137 -

- 44532-33 **Voss**, Die Reise nach Mentone. 2 Bde. a-b.
 44534 - Der Todesweg auf den Piz Palü.
 44535-36 - Samum. Roman aus dem modernen Rom. 2 Bde.
 44540 **Vo[i]gt-Diederichs**, Regine Vosgerau. Aus dem Schleswiger Volksleben.
 44541 - Drei Viertelstund vor Tag.
 44546 „**Völker Europas ...**“ Der Krieg der Zukunft von * * a-b. «東京外大附圖»
- 44547 **Villinger**, Zenz u. andre Erzählungen.
 44548 - Schwarzwaldgeschichten. a-b. «東京外大附圖»
- 44549 - Aus meiner heimat.
 44701 **Wachenhusen**, Komtesse Helene. «東京外大附圖»
- 44702 - Der Diamantenkönig. «東京外大附圖»
- 44711 **Waldt-Zedtwitz**, Chic! Humoresken. «東京外大附圖»
- 44712 - Aeusserst angenehm! Humoresken.
 44713 - Nichts Trauriges! do
 44714 - Rose und Lorbeer.
 44715 - Sein Mörder. «東京外大附圖»
- 44722 **Walser**, Der Gehülfe.
 44723 **Walter**, Schiffbruch im indischen Ozean. «東京外大附圖»
- 44724 **Warren**, Die Jagd des Todes.
 44727 **Warring**, Der Eine und der a[A]ndere. «東京外大附圖»
- 44728 - Christiane Brüning. «東京外大附圖»
- 44731 **Wassermann**, Der Moloch. a-b.
 44732 - Die Geschichte der jungen Renate Fuchs.
 44733 - Alexander in Babylon. a-b. «東京外大附圖»
- 44734 - Caspar Hauser oder die Trägheit des Herzens.
 44739 **Weber**, F. P., Alte Geschichten. a-b. «東京外大附圖»
- 44740 - Historische Novellen. a-b. «東京外大附圖»
- 44741-2-46 - Karl-Julius, Demokritos oder hinterlassene Papiere eines lachenden Philosophen. 12 Teile in 6

- Bänden.
- 44747-49 – desgleichen. Auswahl in 3 Bänden. a-b. 47^B ケツ
«東京外大附圖»
- 44750 – Max Maria von, Schauen und Schaffen. Skizzen.
«東京外大附圖»
- 44751 – Adelheid, Der grosse Ueberwinder.
«東京外大附圖»
- 44755 **Weigand**, Die Frankenthaler.
- 44758 **Weise**, Der Gelegenheitsdichter. a-b.
«東京外大附圖»
- 44759 – Aus verklungenem Wanderleben. a-b.
«東京外大附圖»
- 44760-62 **Werder**, Der Pommernherzog. 3 Bände.
- 44763 – Im Bergfrieden.
- 44764 – Circe, Novelle.
«東京外大附圖»
- 44765 – Der wilde Reutlingen.
- 44766 – Fee. Novelle.
«東京外大附圖»
- 44780 **Werner**, Elisabeth, Glück auf!
- 44781 – Ein Held der Feder. (s. a. Gartenlaube 1871.)
«東京外大附圖»
- 44782 – Ein Gottesurteil.
«東京外大附圖»
- 44783 – Vineta.
«東京外大附圖»
- 44789 **Werner**, Reinhold, Salzwasser. Erzählungen aus dem Seeleben. a-b.
- 44792 **Westkirch**, Die Basis der Pyramide.
«東京外大附圖»
- 44793 – Niedersächsische Leute. Novellen.
- 44794 – Die Gletschermühle.
«東京外大附圖»
- 44795 – Urschels Fundgut.
«東京外大附圖»
- 44796 – Im deutschen Versailles. Historischer Roman.
«東京外大附圖»
- 44801-3 **Wette**, Krauskopf. Roman. 3 Bände. (Bd. III. a-b.)
- 44807 **Wichert**, Ernst, Am Strande.
- 44808 – Ein Komödiant.
«東京外大附圖»
- 44809 – Für tot erklärt.
- 44810 **Wichert**, Eine Geige. Drei Weihnachten.
«東京外大附圖»
- 44811-12 – Littauische Geschichten. 2 Bände.

44813-15	- Heinrich von Plauen. Historischer Roman. 3 Bände. a-b. ⁸ 14 ^B ケツ	«東京外大附圖»
44816-20	- Der grosse Kurfürst in Preussen. Roman. 5 Bände.	«東京外大附圖»
44821	- Die Thorner Tragödie.	
44823-24	- Tilemann vom Wege. 3 Bände.	«東京外大附圖»
44825-34	Wieland , Sämtliche Werke. 10 Bände (Hempel.)	«東京外大附圖»
44835-37	- Ausgewählte Werke. 3 Bände.	«東京外大附圖»
44838	Wilborn , Fritz Werner. a-b.	«東京外大附圖»
44839	Wilbrandt , Der Wille zum Leben.	«東京外大附圖»
44840	- Die Osterinsel.	
44841	- Novellen aus der Heimat. <i>ab</i>	«東京外大附圖»
44842	- Hermann Ifinger.	
44843	- Fesseln.	«東京外大附圖»
44844	- Der Sänger.	
44845	- Der Dornenweg.	
44846	- Familie Roland.	
44847	- Adams Söhne.	
44848	- Hildegard Mahlmann.	
44849	- Am Strom der Zeit.	
44850	- Dämonen und andere Geschichten.	«東京外大附圖»
44851	- Die Rothenburger.	
44852	- Hiddensee.	
44853	- Sommerfäden.	«東京外大附圖»
44860	Wilda , Marinenovellen.	«東京外大附圖»
44861	- Kriegsflagge und Fischersegel, Novellen.	
44862	- Konsul Godars Kinder.	
44868	Wildenbruch , Ernst von, Das schwarze Holz.	
44869	- Das wandernde Licht.	«東京外大附圖»
44870	- Das edle Blut. (s. a. Deutsche Rundschau 1892.)	
44871	- Unter der Geißel.	
44872	- Franceska von Rimini.	
44874	- Der Zauberer Gyprianus.	

⁸ 44813~~ab~~, 44814~~a~~, 44815~~abc~~ (函書目訂表1920_{II/III}., 膠圖3葉).

- 44875 - Der Astronom.
44876 - Novellen. a-b.
44877 - Neue Novellen.
44878 - Vice-Mama.
44879 - Kindertränen.
44880 - Eifernde Liebe.
44881 - Semiramis.
44882 - Neid.
~~44883~~ - Schwesterseele. a-b.
~~44884~~ - Lucrezia.
~~44885~~ - Die letzte Partie.
44886 - Claudias Garten. (s. Deutsche Rundschau. 1895.)
44890-92 **Wille, E.** Stilleben in bewegter Zeit. 3 Bände.
44893 - Bruno, Die Abendburg. Chronik eines Goldsuchers.
44897 **Winterfeld, Lustige Geschichten a. b.**
44898 - Cäsars Koffer. Die Farben der Natur.
44900 **Wolf-Harnier, Am Quell der Natur a-b.**
44901 **Wolff, Julius, Der Raubgraf.**
44902 - Der Sülfmeister.
~~44903~~ - Das Recht der Hagestolze.
44904 - Das Wildfangrecht. Eine Pfälzische Geschichte.
- 139 -
- 44905 **Wolff, Die Hochkönigsburg. Eine Fehdegeschichte aus dem Wasgan.**
~~44909~~ **Wohlbrück. Carriere.**
- Das goldene Bett. (s. Woch 1909).
44914 **Wolzogen, E. von, Die tolle Komtess. a-b.**
~~44915~~ - Die Entgleisten. Eine Katastrophe in sieben Tagen.
~~44916~~ - Mein erstes Abenteuer.
44917 - Der Thronfolger.
44918 - Die Glorihose.-'s Maikaterl und der Sexach.
44919 - Der Bibelhase.
~~44920~~ - Geschichten von lieben süßen Mädeln.
44921 - Die Kinder der Excellenz. a-b.
44922 - Der Kraftmayr. Humoristischer Musikantenroman a-b.
~~44923-24~~ - Der Erzketzer. 2 Bde.
~~44931~~ **Worms, Thoms friert. Roman aus der Gegenwart.**
45197 **Zapp, Das Ehrenwort.**
45198 - O Maienzeit, o[øO] Liebesträum! Erzählungen.
45199 - „Meine Seele ging einsam ...“ Der Roman einer Künstlerin.
45200 - Die Klugen u. die Schlaun.
45201 - Die Rose von Sesenheim.
45202 - Zwischen Himmel und Hölle.
45203-06 **Zschokke, Heinrich, Ausgewählte Werke. a-b. 05b ケツ**
45207 - Das Goldmacherdorf.

- 45208 – Der tote Gast.
45209 – Adrich im Moos. Historische Novelle.
45210 **Zastrow**, Karl. Des kleinen Hauses Glück und Leid.
~~45211~~ **Zingler**, Augenblicksbilder.
~~45212~~ **von Zobeltitz**, Glückslasten.
~~45214-15~~ – Die Erben. 2 Bde.
45216 – Der Telamone. (Roman aus der Artistenwelt).
~~45217~~ – Die Tierbändigerin.
45218 – Die papierne Macht.
45219 – Die Tante aus Sparta.
45220 – Der Herr Intendant.
45222 – Das Gasthaus zur Ehe.
~~45223~~ – Kreuz, wende dich!
45224 – König Pharaos Tochter. Novellen.
45225 – Der goldene Käfig.
45226 – Arbeit.
45227 – Besiegter Stein. (s.a. Daheim 1901.)
~~45228~~ – Der Backfischkasten.
45229 – Die Rivalin.
~~45230~~ – Das nette Mädcl.
~~45231~~ – Die Generalsgöhre.
~~45232~~ – Eva, wo bist du?
45233 – Trude Alberti.
~~45234~~ **Zahn**, Einsamkeit.
Ernst Zahn, Gesammelte Werke. 10 Bde. I Serie.
45235 – I. Erni Behaim. Roman aus dem 15. Jahrhundert.
~~45236~~ – II. Bergvolk. Novellen.
45237 – III. Kämpfe.
~~45238~~ – IV. Herrgottsfäden. a-b.
~~45239~~ – V. Menschen. Neue Erzählungen.
45240 – VI. Schattenhalb.
45241 – VII. Die Clari-Marie. a-b.
- 140 -
- ~~45242~~ **Ernst**, VIII. Helden des Alltags. Ein Novellenbuch. a-b.
~~45243~~ – IX. Lukas Hochstrassers Haus. a-b.
~~45244~~ – X. Firnwind.
45260 **Zitelmann**, Vor den grossen Mauern.
~~45261~~ **Zweig**, Die Liebe der Erika Ewald.
45266 **von Zobeltitz**, Die Basartante.
~~45267~~ – Unter dem roten Adler.
45271 **Zschokke**, Hans_[s] Dampf in allen Gassen.

D. Volksbücher.

1. Sammelwerke.

Wiesbadener Volksbücher:

- 47001 No. 1-5. Richl, W. H., Der Stadtpfeifer. Hansjakob, Valentin der Nagler. Rosegger, Das zu Grunde gegangene Dorf. Dickens, Ein Weihnachtsabend. Stifter, Der Waldsteg.
- 47002 No. 6-10. Jensen, W., Magister Timotheus. Greinz, Das fünfte Rad am Wagen. Hauff, Die Karawane. Hoffmann, H., Spätglück. Sturmwolken. Heyse, P., Der verlorene Sohn.
- 47003 No. 11-14. Starklof, Sirene. Ebner-Eschenbach, M, von, Kram, bambuli und Der gute Mond. Viebig, Clara, Am Totenmaar. Margrets Wallfahrt. Das Miseräbelchen. Der Osterquell. Francois, Luise von, Fräulein Muthchen und ihr Hausmeier.
- ~~47004~~ No. 15-17. Meyr, Melchior, Der Sieg des Schwachen. Keller, Gottfried, Das Fähnlein der sieben Aufrechten. Storm, Th., Von Jenseits des Meeres.
- ~~47005~~ No. 18-21. Raabe, W., Die schwarze Galeere. Kompert, L., Christian und Lea. Frapan, Ilse, Altmodische Leute. Wilbrand, Adolf, Der Lotsenkommandeur.
- 47006 No. 22-26. Stifter, A., Granit. Almquist, Die Kolonisten auf Grimataham. Gotthelf, Elsi, die seltsame Magd. Villinger, Knöpfehe, Uf' karlsruhe. Er ka's Lebe nit lide. Der Sänger von Denkerbach. Droste-Hülshoff. A. v., Die Judenbuche. *ab*
- 47007 No. 27-30. Tolstoi. Auf Feuer habe acht. Zwei Greise. Horn. W. O. v., Friedel. Muellenbach. G., Johannessegen. Die Silberdistel.
- ~~47008~~ No. 31-35. Stern, Das Weihnachtssoratorium. – Grillparzer, Der arme Spielmann. – Liliencron, Umzingelt. – Hauff, Jud Süß. – Pasquè, Wer hat dich, du schöner Wald?
- 47009 No. 36-39. Kleist, Michael Kohlhaus. – Fischer, Das Licht im Elenhause. – Gerstäcker, Der Schiffszimmermann. – Sohnrey, Der Hunnenkönig.
- ~~47010~~ No. 40-42. Merimée. Colomba. – Fr. Saar, Tambi. – Hebbel, Meine Kindheit.
- 47011 No. 43-47. Heiberg, Peter Brede. – Müllenbach, Franz Friedric Ferdinand – Kompert, Die Gottesannehmerin. – Spindler, Der Hofzwerg. – Ompteda, Der Major.
- «山口大總圖»
- 141 -
- 47012 No. 48-52. M. Meyr, Regine. – Mathy, Aus dem Leben eines Schulmeisters. – Schmitthener, Der Ad'm. – Waltharilied und Arme Heinrich, erzählt von den Brüdern Grimm. [-] Pichler, Der Einsiedler.
- «山口大總圖»
- 47013 No. 53-56. Rietschel, Jugenderinnerungen, – Liliencron, Gedichte. – Mosen, Meines Grossvaters Brautwerbung – M. Schmidt, Der vergangene Auditor. – *ab*
- «山口大總圖»
- 47014 No. 57-59. Björnson, Ein fröhlicher Bursch, – Silberstein, Der Gerhab. – Goethe, Hermann und Dorothea. *ab*
- 47016 No. 62-65. Jacobs, Ein voreiliges Experiment. – Schiller, Ausgewählte Gedichte. – Dreyer, Vater und Sohn. – Vogt-Diederichs, Zwischen Lipp' und Kelchersrand.
- «山口大總圖»
- 47017 No. 66-68. W[.] O. von Horn, Meine erste Braut. – Höfer, Roloff der Rekrut. – von Strauss-Torney, Bauernstolz. *ab*
- «山口大總圖»
- 47018 No. 69-74. Niese, Um die Weihnachtszeit. – O. Müller, Münchhausen im Vogelsberg. Gerstäcker, Germelshausen. – Justus, Geleite die draussen sind! – Frey, Der Alpenwald – Stinde, Die Flaschenbrüder. *ab*
- «山口大總圖»
- ~~47019~~ No. 75-79. Möricke, Mozart auf der Reise nach Prag. – Pfarrius, Das Ende des Hauses Dhaun. – Frey, Die Tochter vom Oberbühl. – Bartels, Wilde Zeiten. Kopisch, Die Entdeckung der Grotte auf Capri. –
- ~~47020~~ No. 81-85. Deledda, Der Alte vom Berge. – Gotthelf, Wie Christen eine Frau gewinnt – Vogt-Diederichs, Die balsaminen. – Jacobs, Keppen Ellerbohm. – Stifter, Die drei Schmiede ihres

- Schicksals. –
- 47021 **Wiesbadener Volksbücher** Nr. 4, 14, 15, 21, 22.
- 47022 – No. 8, 10, 11, 12, 13.
- ~~47023~~ – No. 1, 2, 3, 5, 6, 7, 9.
- 47024 No. 86-91. Lienhard, Der Pandurenstein. – Eichendorffs Gedichte. – Kröger, Im Nebel. – Poeck, Lebendige Bütt. – Schwab, Der gehöente Siegfried. *ab*
«山口大總圖»
- 47025 No. 92-95. Stern, Die Flut des Lebens. – Klöden, Jugenderinnerungen. – Bosshart, Vom Golde. – Hoffmann, Doge und Dogarosse. –
- 47026 No. 96-100. Niese, Der goldene Schmetterling. – Bechtolsheimer, Das Hungerjahr. – Zschokke, Das Abenteuer in der Neujahrsnacht. – Söhle, Eroica. – Hoffmann, Der Teufel vom Sande. – *ab*
«山口大總圖»
- 47027 No. 102-105. Kniest, Die Husheersche. – Nieritz, Der arme Geigenmacher und sein Kind. – Döring, Zertretene Saat. – Kinder und Hausmärchen der Brüder Grimm. *ab*
«山口大總圖»
- 47028 No. 106-110. De Amicis, Von den Apenninen zu den Anden. – Simrock, Ausgewählte Gedichte. – Seidel, Die silberne Verlobung. – Tolstoi, Wodurch leben die Menschen? – Goethe, Götze von Berlichingen. *ab*
«山口大總圖»
- 47029 No. 111-114. Grasberger, Adam und Eva. – Ethlar, Fanö-Leute. – Fouqué, Undine. – Wichert, Der Schaktarp. *ab*
«山口大總圖»
- 47030 No. 115-118. Schönaich-Carolath, Regulus. – Mörike, Jdylle vom Bodensee. – Zahn, Der Lästere. – Ratzel, Bilder aus dem Kriege mit Frankreich. *ab*
«山口大總圖»
- 47031 No. 119-122. E. M. Arndt, Meine Wanderungen und Wandlungen. – David, der Jubilar. – Grimm, Deutsche Sagen I. u. II. Teil. *ab*
- 142 –
- 47032 No. 131-138. Eyth, Blut und Eisen. – Irving, Rip van Winkle. – Schücking, Der Nachrichten. – Heine, Gedichte. – Anzengruber, Der starke Pamkraz und die schwache Eva. – Sealsfield, Die Prärie am Jacinto.
«山口大總圖»
- Vaterländische Geschichts- und Unterhaltungs-Bibliothek:**
- 47120 **Garlepp**, Die Kornblumen von Paretz. *a-b*.
«山口大總圖»
- 47121 **Springer**, Das Volk steht auf, der Sturm bricht los.
«山口大總圖»
- 47122 **Hancke**, Friedrich Werner, des[er] Sohn des Veteranen.
«山口大總圖»
- 47123 **Garlepp**, Luise, Preussens Engel.
«山口大總圖»
- 47124 No 47120-123 in einem Bande. *a-b*.
«信州大松本圖»
- 47125-28 **Hancke**, Des Königs Retter. **Wunschmann**, Joachim Nettelbeck. **Jahnke**, „Up ewig ungedeelt!“ **Wagner**, Johann Gotskowsky, der patriotische Bürger von Berlin.
«信州大松本圖»
- 47129 No. 47125-47128 in einem Bande.
«信州大松本圖»
- 47130-33 **Garlepp**, Kurfürst und Bauernsohn. **Hesekiel**, Ludovica, Jesus, meine Zuversicht! Aus dem Leben

der Kurfürstin Luise Henriette. **Wunschmann**, Ein feste Burg ist unser Gott! a-c. **Hesekiel**, Des Kaisers Gast, aus dem Kriege 1870-71. ab

«信州大松本圖»

47134 Nr. 47130[-]47133 in einem Bande a-b.

«信州大松本圖»

47135-39 **Höcker**, Märkisch Blut. **Wunschmann**, Der Kommandant von Spandau. **Muschi**, Kaiser Wilhelm II. und sein Friedenswerk. **Stöwer**, Hans von Hake. **Muschi**, Die Deutschen in Ostagrika.

«信州大松本圖»

47140 **Höcker**, Märkisch Blut. **Wunschmann**, Der Kommandant von Spandau. **Jahnke**, Kurbrandenburg in Afrika. **Garlepp**, Aus Blüchers jungen Jahren. a-b.

«信州大松本圖»

47142 **Garlepp**, Ein vergessener Held Friedrichs des Grossen. **Stöwer**, Hans von Hake. **Muschi**, Die Deutschen in Ostafrika. Kaiser Wilhelm II. und sein Friedenswerk.

«信州大松本圖»

Aus dem alten deutschen Reiche. Historische Erzählungen in romantischer Form aus dem Mittelalter:

47161-64 **Heyer**, Kaiser Heinrich V. Die Hohenstaufischen Brüder. – Kaiser Friedrich I. – Heinrich VI.

«信州大松本圖»

47166 **Heyer**, Kaiser Konrad II. – Kaiser Heinrich III. – Kaiser Heinrich IV. – Der erste Kreussug a-b.

«信州大松本圖»

47167 – Philipp von Schwaben. – Kaiser Friedrich II. – Landmeister Heinrich Balk. – Die letzten Hohenstaufeb.

«信州大松本圖»

47168-72/ [-] Konrad II. – Heinrich III. – Kaiser Heinrich IV. – Philipp von Schwaben. – Kaiser Friedrich II.

«信州大松本圖»

Kleine Marine Bibliothek:

47192-211 Heft. 1. **Werner**, Seegeschichten. a-b. 2. **Stenglin**, v., Kaiser Wilhelm II. 3. **Werner**, Auf fernen
47193 Meeren. 4. **Bornhak**, Kaiserin Augusta Victoria. 5. **Werner**, Der grosse Kurfürst. 6. Prinz
47201-47210 Heinrich von Preussen. 7. Ein deutscher Seeheld. a-c. 8. Sr. Majestät Torpedoboot S. 25. 9. Das
(ケツ) Rettungswesen zur See. a-c. 10. Deutsches Seewesen vor 1700 Jahren. a-b. 11. Kapitän Lacher.
a-d.

«信州大松本圖»

Kleine Soldaten Bibliothek:

47231-33 **Roor**, Humor im Kriege. a-b. In der Garnison. a-b. Gott mit uns a-c.

«[∇]新潟高»*

47234-36 **Stenglin**, v., Kaiser Wilhelm II. **Roor**, Allerlei aus dem Soldatenleben. a-c. **Bornhak**, Kaiserin Augusta Victoria.

«[∇]新潟高»*

~~47237-39~~ **Werner**, Seegeschichten. – Auf fernen Meeren. – Der Grosse Kurfürst und die brandenburgische Marine, a-d.

«[∇]新潟高»*

47240-42 **Hellen**, v., Hanna. **Werner**, Prinz Heinrich von Preussen. **Roor**, Eine Wacht am Rhein. a-b.

«[∇]新潟高»*

– 143 –

47243-44 **Stenglin**, v. Friedrich, Grossherzog von Baden. – Gustav Adolf.

«[∇]新潟高»*

472456-47 **Trenck**, Freiherr von der, Fürst von Bismarck. **Mülmann** v., Sedan-Büchlein.

«[∇]新潟高»*

Neue Volksbücher.

472612-69 Bd. 1 **Stenglin**, v., Kaiser Wilhelm II. Bd. 2 **Hellen**, v., Hanna. Bd. 3 **Werner**, Seegeschichten. a-b.

Bd. 4 **Bornhak**, Kaiserin Augusta Victoria. a-b. Bd. 5 **Hellen**, v., Der Grenadier. a-b. Bd. 8 Meister Wieberts Tochter. a-b. Bd. 9 Der Kalandsturm. a-b.

«^v新潟高»*

47270-8975 Bd. 10 **Stenglin**, v., Friedrich, Grossherzog von Baden. a-b. Bd. 11 **Hllen**, v., Echtes Gold. Bd. 12 Godolaw. a-b. Bd. 13 **Stenglin**, v., Gustav Adolf, König von Schweden. a-b. Bd. 14 **Werner**, Prinz Heinrich von Preussen. Bd. 15 **Hellen**, v., Hittebarn. a-b. Bd. 16 **Bornhak**, Luise, Grossherzogin von Baden. a-b. Bd. 17 **Trenck**, von der, Fürst von Bismarck. Bd. 18 **Inger**, In Villa Stern. Bd. 19 **Hellen**, v., Freiheit. a-b. Bd. 21 **Westphal**, Dortchen. Bd. 22 **Restorff**, v., Sedan-Büchlein. a-b. Bd. 23 **Westphal**, Die Teichmühle. Bd. 24 Der Erbe. Bd. 25 **Hellen**, v., Zum Licht. Bd. 26 **Westphal**, Der Kapitän. a-c. Bd. 27 **Starkowski**, Kinder der Zeit. Bd. 28 **Melander**, Mariander. Bd. 29 **Petri**, Die Nachbarn.

«^v新潟高»*

47290 Bd. 30 **Titelius**, Der Geigenheimer vom Karwendel.
47292-998 Bd. 32 **Jung**, Am Scheidewege. Bd. 33 **Hellen**, v., Königin Luise von Preussen. Bd. 34 **Reuss**, v., Deutsche Männer. Bd. 35 **Weitbrecht**, Georg. Bd. 36 **Liliencron**, v., Kiaser Wilhelm der Grosse. Bd. 37 **Nebinger**, Im Vorbehalt. Bd. 38 – Schmarrankenkind. Bd. 39 So war es!
473001-04 Bd. 40 **Nebinger**, Die Geschwister. Bd. 41 Nie zu spät. Bd. 42 Schuldbeladen. Bd. 43 Anna von
03 ケツ der Glann. Bd. 44 **Schulter**, Hanfried.
47311-14 Bd. 51 **Kühn**, Lotte. Bd. 52 **Lindau**, Schule des Leben. Bd. 53 **Blomberg**, v., Lea Theodora. a-b.
Bd. 54 **Krause**, v., Er kommt.
47320 Bd. 60 **Hartmann**, Kriegs-Erinnerung.
47324-25 Bd. 64 **Hülle**. Die Könige von Preussen in ihrer Fürsorge für ihr Volk. Bd. 65 **Schmidt**, Unser Bismarck.

Richter, Deutsche Seebücherei. 20 Bde.

47350 Die Dänenherrschaft 1201-77.
47351 Wismar, Rostock und Stralsund im Kampf mit dänischen Königen 1310.
47352 Die Hansa und Waldemar Atterdag.
47353 Vom Schiffsjungen bis zum Kommodore.
47354 Stralsund zur Zeit der Seer:auber. – Ein deutscher Seemann aus der Zeit Friedrichs des Grossen. – S. M. S. Iltis. –
47355 Von Bremen hinaus in die Welt. – Die Stedinger. – Die erste deutsche Flotte und ihr Admiral. –
47356 Prinz Adalbert von Preussen. – Die deutsche Marine in Ostafrika 1888. –
47357 Unsere Marine im Kriege 1870-71. – Die brandenburgische Kolonie Gross-Fridichsburg.

– 144 –

47358 Unsere Marine in der Südsee. – Wie Samoa gewonnen ward.
47359 Die Erwerbung unserer ersten Südseekolonien.. – Die Preussische Expedition in Japan 1860-61.
~~47360~~ Die Preussische Expedition in China und in Siam 1861-61.

Preussische Volksbücher:

47406 Hft. 6 **Lettau**, Friedrich der Grosse.
47409 – 9 **Leyde**, Der Staatsminister von Schön.
47411 – 11 – Der Staatsminister Freiherr vom Stein.
47433 – 33 **Woisky**, v., Friedrich d. Grosse u. d. Mariechen mit d. Goldstück.
47459 – 59 **Jaquet**, Graf Bismarck-Schönhausen.
47460 – 60 **Rautenberg**, Wilhelm I., König von Preussen.
47470 – 70 **O. L.**, Ernst Moritz Arndt.

Familienbibliothek fürs deutsche Volk:

47505 Nr. 4 u. 5 **Stein**, Hass und Liebe. a-b.

«東北大附圖分館»

- 47506 – 6 **Neuhaus**, Thusnelda, Bis zum Abgrund. a-b. «東北大附圖分館»
- 47509 – 9 **Ohly**, Aus der roten Mappe. a-b. «東北大附圖分館»
- 47511 – 11 – Aus dem Leben eines hessischen Pastors. a-b. «東北大附圖分館»
- 47514 – 14 u. 15 **Richter**, Aus allerlei Herzen. a-b. «東北大附圖分館»
- 47519 – 19 **Natorp**, Unter den Sioux-Indianern. «東北大附圖分館»
- 47526 – 26 **Hessel**, Belohnte Negertreue. «東北大附圖分館»
- 47527 – 27 **Brandt**, Eine Schweizerreise. a-b. «東北大附圖分館»
- 47528 – 28 **Dücker**, Edler Adler und Schloss Klüften. a-b. «東北大附圖分館»
- 47529 – 29 u. 30 **Brennekam**, Emilie a-b. «東北大附圖分館»
- 47533 – 33 **Schwarzenbach**, Des Vaters Denkmal. «東北大附圖分館»
- 47535 – 35 **Berge**, Aus dem Leben einer Kleinkinderlehrerin. a-b. «東北大附圖分館»
- ~~47536~~ – 36 **Klein**, Wie der Vetter Hansjocker in Jeisles Wollsack hineinkommt u. was ein Paar silberne Schuhschnallen kosten.
- 47538 – 38 **Detlef**, Aus eigener Kraft. a-b. «東北大附圖分館»
- 47539 – 39 u. 40 **Hesekiel, L.**, Die Exulanten. «東北大附圖分館»
- 47601-725 **Familien-Bibliothek**, Ausgewählte Erzählungen u. Geschichtsbilder 5 Serien à 25 Bändchen.
 47603-05 Davon vorhanden: 70.
 47614 Das Einzelverzeichnis ist in der Bibliothek zu haben.
 47618-19 47622-25 47635 47650-75 47679-90 47696 47700 47710 47713 47716-18 (ケツ)
 47494, 47601, 47602, 47606, 47607, 47608, 47609, 47610, 47611, 47612, 47613, 47615, 47616,
 47617, 47620, 47621, 47626, 47627, 47628, 47629, 47630, 47631, 47632, 47633, 47634, 47636, 47637,
 47638, 47639, 47640, 47641, 47642, 47643, 47644, 47645, 47646, 47647, 47648, 47649, 47676, 47677,
 47678, 47691, 47692, 47693, 47695, 47697, 47698, 47699, 47701, 47702, 47703, 47704, 47705, 47706,
 47707, 47708, 47709, 47711, 47712, 47714, 47715, 47719, 47720, 47721, 47722, 47723, 47724, 47725
 «京都大總人圖»
- Spamers Neue Volksbücher:**
- 47751 Bd. 1. **Habicht**, Quer über oder: Ein Mann, ein Wort. «金澤大中圖»
- 47754 Bd. 4. **Philippi**, Das Rettungsboot oder Die Helden der Käste.
- 47755 Bd. 5. **Habicht**, Er muss studieren und andere Erzählungen. «金澤大中圖»
- 47756 Bd. 7. **Kretzer**, Schwarzkittel. «金澤大中圖»
- 47758 Bd. 8. **Waldow, v.**, Der Erbonkel. «金澤大中圖»
- 47759 Bd. 9. **Körber**, Das grosse Los.

- 47761 Bd. 11. – Faet der Safranhändler. «金澤大中圖»
- 47762 Bd. 12. – Leonhard Tlummet, der brave Bürger. «金澤大中圖»
- 47763 Bd. 13. **Fischer**, Glück auf! «金澤大中圖»
- ~~47765~~ Bd. 15. **Michael**, Die Begebenheiten im „Roten Jgel“ oder die Wirtshauspest. «金澤大中圖»
- 47766 Bd. 16. **Otto**, Der Sohn des Schwarzwaldes. *ab* «金澤大中圖»
- 47768 Bd. 18. – Das Geisterschiff. ~~a-b~~. «金澤大中圖»
- 47769 Bd. 19. **Langenstein** und **Michael**, Wie man's treibt, so geht's. ~~a-b~~. «金澤大中圖»
- 47770 Bd. 20. **Glaser**, Das verschwundene Dokument. ~~a-b~~. «金澤大中圖»
- 47771 Bd. 21. **Theden**, In der Fremde. ~~a-b~~. «金澤大中圖»
- 47772 Bd. 22. **Cüppers**, Hermann der Cherusker. a-b. «金澤大中圖»
- 145 -
- ~~47775~~ Bd. 25. **Lutter**, Jermak, der Eroberer Sibiriens. «金澤大中圖»
- 47781 Bd. 31. **Becker**, Gebrüder Saus und Braus und Hüll und Füll. a-b. «金澤大中圖»
- 47782 Bd. 32. **Opfermann**, Bauernstolz. Der Försteradjunkt. a-b. «金澤大中圖»
- 47785 Bd. 35. **Körber**, Der verlorene Sohn. a-b. «金澤大中圖»
- 47786 Bd. 36. **Habicht**, Zum Schein. «金澤大中圖»
- 47787 Bd. 37. **Schmidt**, Ferd., Der siebenjährige Krieg. a-b. «金澤大中圖»
- 47788 Bd. 38. – Die Freiheitskriege. «金澤大中圖»
- 47793 Bd. 43. **Passow**, Die schwarzen Napoleone in Süd-Afrika. «金澤大中圖»
- 47794 Bd. 44. **Mohl**, Die Boers. Bilder und Schilderungen aus dem Leben der Freiheitskämpfer in Süd-afrika. «金澤大中圖»
- 47795-97 Bd. 45-47. **Schmidt**, Ferd, Volkserzählungen und Schilderungen aus dem Berliner Volksleben. a-b. «金澤大中圖»
96^{AB} ナシ
- 47799 Bd. 49. **Opfermann**, Rhöngeschichten. «金澤大中圖»
- 47851-52 **Deutsche Jugend- und Volksbibliothek:**
Caspari, Alte Geschichten aus dem Spessart. – Zu Strassburg auf der Schanz.

- ~~47861~~ **Grube**, Napoleons Kriegszug 1812.
- 47871-76 **Frommel**, Aus der Familienchronik eines geistlichen Herrn. – Aus vergangenen Tagen. – In zwei
74 ケツ Jahrhunderten. – O Strassburg, du wunderschöne Stadt. – F. A. Strauss. Ein westfälischer Pastororiginal. – Aus dem untersten Stockwerk.
- 47891-963 **Stöber**, Geschichten des Pfarrers Siebentisch. – Von der Altmühl. – Der Mülhlarzt nebst anderen Geschichten. – Möhren. – Das Elmthäli. – Der Schneider von Gastein. Kleinere Erzählungen.
- Christliche Volksbibliothek:**
- 47901-04 **Brennekann**, Werbelow. – Nikolaus von Buch oder das märkische Chillon. – Aus einer Dorfchronik. – Der Heidereiter von Grimnitz.
- 47905 **Berthold**, Helene, Aus vergangenen Tagen.
- 47906 **Claudius**, Die Fahrt nach der Robbeninsel.
- Meinholds Volks- und Jugend-Bibliothek:**
- 47951 Bd. 1. **Rudorff**, E., Unterwegs.
- 47952 Bd. 2. **Messerer**, Kinder der Alpen.- **Kühn**, Ehrenhafte Gesinnung. **Carolus**, Die Stiefmutter.
- 47953 Bd. 3. **Ebeling**, Durch Nacht zum Licht. **Lindemann**, v., Der Silberblick. **Ruhkopf**, Der kleine Indier. **Klee**, Der verlorne Sohn.
- 47954 Bd. 4. **Krug**, (Nach Cooper), Narrmattah, die Tochter des Urwaldes. **Liu[un]demann**, v., Die Missgestalten.
- 47955 Bd. 5. – v., Der Springrunnen. **Gail**, Marggret Berg. Die drei Freundinnen. **Stockl**, Zwei Weihnachtsabende
- 47956 Bd. 6. **Schifkorn**, Aus der Gesellschaft. a-b.
- 47957 Bd. 7. **Lindemann**, v., Die Gouvernante. **Staacke**, Der Mensch denkt, Gott lenkt! **Roth**, Rob., Fulton, der Erfinder des Dampfschiffes. **Rebe**, Die Schwestern. *ab*
- 47958 Bd. 8. **Gail**, Liebe und Pflicht. **Carolus**, Schicksals Walten. **Staacke**, Winona.
- 47959 Bd. 9. **Linemann**, v., Die treue Pathe. **Staacke**, „Die Rache ist mein, spricht der Herr!“ **Carolus**, Der Mutter Vermächtnis. **Staacke**, Die Belohnung.
- 47960 Bd. 10. **F. P.**, Die blaue Blume. **Lindemann**, v., Der Pflegesohn.

– 146 –

Mainzer Volksbücher.

- 47961 **Ferdinands**, Die Pfahlburg.
- 47962 **Kotzde**, Im Schillschen Zug.
- 47963 **Geissler**, Der Douglas.
- ~~47964~~ **König**, Ums heilige Grab.
- ~~47965~~ **Falke**, Drei gute Kameraden.
- 47966 **Ferdinands**, Normannensturm.
- 47967 **Kotzde**, Der Tag von Rathenow.
- 47968 **Niese**, Michel Schneidewind.
- ~~47969~~ **Lobsien**, Pidder Lyng, der Seeräuber von Sylt.
- 47970 **Lauff**, Der Tucher von Köln.
- 47971 **Kotzde**, Die Geschichte des Stabstrompeters Kostmann.
- 47972 **Falke**, Klaus Bärlappe. Wie einer das Fürchten lernte.
- Verein für Verbreitung guter Schriften.** Sektion Basel:
- 48051 Nr. 10. **Schiller**, Wilhelm Tell. Nr. 29. **Auerbach**, Die Frau des Geschworenen. Der Blitzschlosser von Wittenberg.- Nr. 33. **Chamisso**, Peter Schlemihls wundersame Geschichte.- Nr. 34 **Hartmann**, Alfred, Lyrenhaus und seine drei Töchter-. Nr. 35. **Burnett**, Der kleine Lord Fauntleroy. - Nr. 36 **Horn**, W. O. von, Die Trauerkunde. Der Wittwe heimkehr. - Nr. 37. **Frey**, Der Verbrecher in Gedanken. *ab*

«東京外大附圖»

48052 Nr. 38-44. **Rode**, Der Schmiedchristlieb. **Wylus**, Das Bäschenvom Lande. **Pichler**, Karoline. Quintin Wessis. **Frey**, Die feindlichen Dörfer. Die Erbkatze. **Tatarinoff**, Die Schlacht bei Dornach 1849. **Meerheim**, Johannes Gutenberg und Peter Schöffler. **Langfeldt**, Margarethe, Was Patron Jönsson erlebt hat.

«東京外大附圖»

48053 Nr. 45-51. **Claudius**, Ruth; v. **Hora**, Aenneli Engelberg. **Hartmann**, Der Glücksschütze von Glärnisch. Der Heimatlose, **Sommer**, Der Plan des Notars. **Adelung**, Sophie von, Mammon. **Kompert**, Die Prinzessin. **Hedenstjerna**, Frau Westbergs Kostgänger. **Ribaux**, Adolphe, Geborgen.

«東京外大附圖»

48054 Nr. 52-57. **Fries**, S. A., Laijla. **Lindau**, R., Nach der Niederlage. **Erkmann-Chatrian**, Madame Therese. **Ganghofer**, Das Grab der Mutter. **Schaumberger**, Glückliches Unglück. **Ribaux**, Silberhochzeit. Das Testament. Weihnachtsblumen.

«東京外大附圖»

Verein für Verbreitung guter Schriften. Sektion Bern:

~~48101~~ Nr. 1. **Gotthelf**, Jeremias, Der Besenbinder von Rychiswyl. **Sutermeister**, Sprüche. Nr. 2. **Furrer**, Kapital und Dienstbotenschule. No[er]. 3. **Frey**, Zweiterlei Urkunden. Nr. 5. **Nydegger**, Der wilde Hämmel. **Sutermeister**, Zwei Igel, Nr. 6. **Frey**, heimkehr. **Stutz**, Selber Essen macht fett, kann aber auch mager machen. Nr. 9. **Gotthelf**, Barthli der Korber. Nr. 10. **Hansjakob**, Der Der Christian. **Willinger**, Hermine. Mutter Rosin. Nr. 11. **Meyer-Merian**, Th., Dienen und Verdienen. Nr. 12. **Riehl**, W. H., Burg Neideck. **Silberstein**, Die Himmelfahrt eines Sünders. **Hartmann**, Erbvettern auf dem Aspnhof.

- 147 -

~~48102~~ Nr. 14. **Schneider**, Zwei Jahre in Amerika. Nr. 15. **Nydegger**, Hans der Chüjer. **Hänggi**, Zwei kleine Erzählungen. Nr. 16. **Sager**, Erinnerungen an das Maderanertal. **Gaudard**, A, Ein gutes Gewissen ist ein sanftes Ruhekkissen. **Bardewick**, Im Abendfrieden. Nr. 17. **Sutermeister**, Das Anstaltsleben eines Taubstummen. **Sohnrey**, Der alte Schuhmacher von Hübichsdorf. **L. F.**, Aschenbrödel. Nr. 18. **Kachelnafer**, Bilder aus dem Ruisch Türkischen Kriege 1877-78. Nr. 21. **Thiessing**, Drei Erzählungen. Nr. 22. **Bachmann**, A., Aus dem Leben eines Geringen. **Oberholzer**, A., Die Hexe von Steinnachburg. Thora oder die Zerstörung des Kastells „Arbor Felix“.

48103 Nr. 29. Der kleine Herzog. Nr. 20. **Grillparzer**, Der arme Spielmann. Nr. 31. **Altherr**, A., Das fatale Almosen. Nr. 32. **Gotthelf**, Niggi In; Segen und Unsegen. Nr. 33. **Eichendorff**, von, Aus dem Leben eines Taugenichts. Nr. 34. **Walkmeister**, Der kleine Tambur. Nr. 35. **Zübler**, In Kriegsnöten.

«東京外大附圖»

48104 Nr. 24. **Almen**, von, Uli der Schlosser. Nr. 25. Der Küfer zu Bacharach. Nr. 26. **Gotthelf**. Der Sonntag des Grossvaters. Nr. 27. v. **Kleist**, Michael Kohlhaas. Nr. 28. **Kuhn**, G. J., Erzählungen.

«東京外大附圖»

48105 Nr. 36. **Buch**, Vier finnländische Geschichten. Nr. 37. **Horn**, W. O. v., Die Boorenfamilie von Klaarfontein. Nr. 38. **Gotthelf**, Die Wege Gottes und der Menschen Gedanken. **Frey**, Kindersegen. Nr. 39 **Hauff**, Das Bild des Kaisers. Nr. 40. **Niklaus**, Eine Amerikafahrt im Jahre 1834. Nr. 41. **Olivier**, Urbain Raimund der Pflegling.

«東京外大附圖»

48106 Nr. 42. **Eschricht**, E., Unter den Verschickten. **Gotthelf**, Der besuch. **Reinhardt**, J., Mariam das Fraueli. Nr. 44. **Seioberet**, Pierre, Marie die Flechterin. **Brugger**, Aus bernischer Volkssage. Nr. 45. **Gotthelf**, J., Hans Berner und seine Söhne. Die drei Brüder. Nr. 46. **Dickens**, Das Heimchen am Herde. Nr. 47. **Rosegger**, Sein Geld will er haben. **Schmitthener**, Friede auf Erden und andere Geschichten. Nr. 48. **Nybom**, Helena, Ein Jungesellenleben.

«東京外大附圖»

Verein für Verbreitung guter Schriften. Sektion Zürich:

~~48151~~ Nr. 10. **Andolt**, Eine Nacht. Nr. 13. **Assing**, Maria Rosa. Der Schornsteinfeger. **Marti**, Die Perle. Nr. 15. Elly und Oswald oder Die Auswanderung von Stürvis. Friede ernährt, Unfriede verzehrt.

Nr. 16: **Pestalozzi**, Lienhard und Gertrud. Nr. 18. **Hoffmann**, Das Fräulein von Scuderi. Nr. 19. **Kompert**, Der Min. Nr. 21. **Hess**, Salmon Landolt. Nr. 22. **Meyr**, Melchior, Ludwin und Annemarie.

~~48152~~ Nr. 23. **Tieck**, Der 15. November. **Chätelein**, Das Geheimnis des Notars. Nr. 24. **Tieck**, L. Weihnachtsabend. Der Gelehrte. Nr. 26. **Grosse**, Florentine. Nr. 27. **Müller**, A. Erinnerungen aus Griechenland. Nr. 28- **Ludwig**, Otto, Zwischen Himmel und Erde. Nr. 30. **Stifter**, A., Brigitta. Nr. 13. **Hermann** u. **Faller**. Der Flüchtling. Nr. 32. **Frey**, Die Erbschaft. Der Tannenspeicher. Das Huhn des alten Pfarrers. **Gotthelf**, J., Eine alte Geschichte zu neuer Erbauung.

- 148 -

48153 Nr. 33. v. **Droste-Hülshoff**, A., Die Judenbuche. Nr. 34. **Rank** Bartel, das Knechtlein. Nr. 35. v. **Eichendorff**, J., Das Schloss Durande. **Geijerstam**, Schneewinter. Nr. 36. **Schauensee**, Louise. Ein Sturm auf dem Vierwaldstätter See. **Fröhlich**, Der Tüchler. Nr. 37. **Gorthe**, Hermann und Dorothea. Nr. 38. **Heyse**, Paul Lorenz und Lore. Nr. 39. **Spyri**, Johanna, In Leuchtensee. Nr. 40. **Cremer**, Der Vetter aus Geldern. Tante Dina. Nr. 41. **Horn**, W. O. von, Das Mailehen. Aus dem Leben eines Vogelsbergers in Krieg und Frieden.

«東京外大附圖»

48154 Nr. 42. **Grosse**, Vetter Isidor. Nr. 43. **Wüdig**, Geld und Herz, Nr. 44. **Rosen**, Der Geburtstag des alten Schulmeisters. Felsengrab. Nr. 45. **Zahn**, Die Nottaufe. Der Held. **Schmittener**, Der Adam. Nr. 46. **Meyer-Meriam**, Friedli, Im Boden. Das verzauberte Haus. Nr. 47. **Wichert**, Der Schaktarp. Nr. 48. **Stifter**, A., Der Waldsteig. Nr. 49. **Scherr**, Reicher Bursch und armes Mädchen. **Bucher**, J. J. Unsere Vögel.

«東京外大附圖»

48155 **Luther**, Deutsche Volksabende. Ein Handbuch.

«東京外大附圖»

48156 **Schwab**, Die d[e]utschen Volksbücher.

«東京外大附圖»

2. Einzelwerke. *)

50050 **Auer**, In Südwestafrika gegen die Hereros. Nach Tagebüchern eines Obermatrosen.

50051 **Adami**, Luise, Königin von Preussen. a-b.

50070 **Albrecht**, Die Eroberung des Nordpols. Forschungsreisen von 1600-1900.

50071 **Allweg**, Aus der Klause. a-b.

50072 – Umsonst[e] a-b.

50073 **Alberti**, Lang ists her. Erinnerungen aus dreissigjähriger Dienstzeit.

50202 **Bayer**, Der Krieg in Südwestafrika. Vortrag.

~~50203~~ **Baierlein**, Zwischen Paris und Moskau. Historische Erzählung.

50205-06 **Bonnet**, Aus dem Schiffbruch gerettet. a-b. – Die Chinesisenflotte. a-b. – Der Zigeunetub. – Das Grafenschloss in den Sevensen. – Feldscherers Kriegsglück.

50210 **Binder**, Feldmarschall Pappenheim, der Schrammenhans.

50211 **Brunold**, Kaiser Friedrich III. von Deutschland. a-b.

50221 **Berger**, Wilhelm I., Kaiser von Deutschland.

50222 **Bernstorff**, Unsere blauen Jungen. Ernstes und Heiteres aus dem Leben der Matrosen unserer Kriegsmarine. 1903.

50223 – Deutsches Marineleben.

50224 **Blankmeister**, Alte Geschichten aus dem Sachsenlande. a-c.

*) Die Anordnung in dieser Abteilung (XII D 2) ist ebenso wie bei XII C 2 u. XII A alphabetisch, jedoch nur den Anfangsbuchstaben nach. –

50225 **Junge, Junge, kannst du lügen**” Seemannschumoresken.

- 149 -

- 50228-31 **Blaul**, Robert Plank, der verlorene Sohn. a-b. – Das Kreuz. Eine apanische Geschichte. – Aza. Eine Peruaner Geschichte. – Die Rache ist mein, ich will vergelten.
- 50232 **Blümlein**, Saalburgstürme, Erzählung aus den letzten Tagen der Römerherrschaft in Germanien.
- 50236 **Böhm**, Götz von Berlichingen mit der eisernen Hand.
- 50241 **Berthold**, Helene. Drei Weihnachtsabende. a-b.
- 50242 **Brenkendorff**, Ohne Liebe.
- 50245 **Brennekam**, Otto, Am Sonntag. a-b.
- 50250 **Bungener**, Fr., Erinnerungen aus dem Leben Paul Rabants Ein ernstes Blatt aus dem Frankreich des vorigen Jahr[h]underts.
- 50251 **Unser Bismarck**, Kurze Biographie.
- 50601 **Caspari**, Alte Geschichten aus dem Spessart.
- 50602 – Der Schulmeister und sein Sohn.
- 50603-04 **Capelle**, Die Befreiungskriege 1813-15. 2 Bde. «東北大附圖分館»
- 50605 **Colshorn**, Die Befreiungskriege [Befreiungskriege deutschen Freiheitskriege]. «東北大附圖分館»
- 50606 **Caspari**, Christ und Jude. Erzählung aus dem XVI. Jahrhundert. «東北大附圖分館»
- 50620 **Cooper**, Der letzte der Mohikaner. «東北大附圖分館»
- 50621 – Die Prairie, (bearbeitet von Heinrichs)
- ~~50622~~ – Lederstrumpf (do Meister.)
- 50623 – Die Ansiedler (do Heinrichs.) «東北大附圖分館»
- 50631 **Czerwenka**, Der Wildschütz. a-b. «東北大附圖分館»
- 50632 – Der Lumpensammler. «東北大附圖分館»
- 50636 **Cuno**, Die Kapelle zu Steine; aus d. zehnt. Jahrhd. «東北大附圖分館»
- 50700 **Daiber**, Geschichten aus der Südsee. «東北大附圖分館»
- ~~50704~~ **Dorn**, Der Leinwandvogel und sein Sohn.
- 50711 **Drachmann**, See- und Standgeschichten. «東北大附圖分館»
- 50716 **v. Dincklage u. Wilbrandt**, Erich Lennep. Der Lotsenkommandeur. «東北大附圖分館»
- 50721 **Disselhoff**, Kaiser Wilhelms Lehr- und Meisterjahre. «東北大附圖分館»
- 50722 – Der grosse Krieg zwischen Frankreich und Deutschland. «東北大附圖分館»
- 50726 **Düring**, Chr, v., Die Familie Wanstein. a-b. «東北大附圖分館»
- 50727 **Duncker**, Plaudereien [und Skizzen] aus dem [Berliner] z[≠Z]oologischen Garten.

- 50728 **Degen**, Aus dem Militärleben in der Kaserne [Aus dem Militärleben in der Kaserne. In der Kaserne. Aus den Memoiren eines Reservisten].
«東北大附圖分館»
- 51001 **Egelhaaf**, Kaiser Wilhelm I. a-b.
«東北大附圖分館»
- 51002 **Ev. Militär-Geistlichkeit**. Der grosse Kurfürst_[t.] a-b.
«東北大附圖分館»
- 51003 **Erdmann**, Klar Schiff! Marinecilder.
«東北大附圖分館»
- 51011 **Eugen**, Jürgen. Wullenwever.
«東北大附圖分館»
- 51015 **Elm**, Der deutsch-österreichische Krieg 1866.
«東北大附圖分館»
- 51016 – Der eiserne Prinz, Friedrich Karl von Preussen.
«東北大附圖分館»
- 51201 **Frommel**, Emil, In zwei Jahrhunderten.
«東北大附圖分館»
- 51202 – O Strassburg, du wunderschöne Stadt.
«東北大附圖分館»
- 51203 – Aus vergangenen Tagen.
«東北大附圖分館»
- 51204 – Der Heinerle von Lindelbronn.
«東北大附圖分館»
- 51205 – Aus dem untersten Stockwerk.
«東北大附圖分館»
- 51206 – Feldblumen.
«東北大附圖分館»
- 51207 – Unterwegs, Neue Erzählungen.
«東北大附圖分館»
- 51208 – Die Gräfin. a-b.
«東北大附圖分館»
- 51209 – Beim Lichtspan. a-b.
«東北大附圖分館»
- 51210 – Gesammelte Schriften. Erzählungen für das Volk:
– Bd. 1. Händel und Bach.
«東北大附圖分館»
- ~~51211~~ – Bd. 2. Aus der Hausapotheke.
- ~~51212~~ – Bd. 3. Blätter von allerlei Bäumen.
- 51214 – Bd. 5. Von der Kunst im täglichen Leben.
«京都大總人圖»
- ~~51215~~ – Bd. 6. Aus der Sommerfrische.
- 150 -
- ~~51216~~ **Frommel** Bd. 7. Beim Ampelschein.
- ~~51217~~ – Bd. 8. Allerlei Sang und Klang.
- 51218 – Bd. 9. Aus allen vier Winden.
«京都大總人圖»
- ~~51220~~ – Bd. 11. Aehrenlese.

- ~~51225~~ – Nachtschmetterling.
- 51231-33 **Fauth**, Der Kostgänger. a-b. – Der Hirt von Ludolfingen a-b. Der Nothelfer. a-b.
«京都大總人圖»
- 51234 **Felde**, Abdur Rahman, der Muzzlime. Erzählung aus den letzten Tagen von Granada.
«京都大總人圖»
- 51235-443 40 ケツ **Falkenhorst**, Jungdeutschland in Afrika. Kolonialerzählungen. Bd. 1-10.
51239, «京都大總人圖»
- ~~51241-43~~ **Fischer**, Pascha und Posttyrann. - Bunte Bilder. - Du sollst nicht stehlen. - Hand um Hand.
«京都大總人圖»
- 51250 **Frisch**, Lesebuch für Soldaten und solche, die es werden wollen. 1909. a-d. B ケツ
«京都大總人圖»
- 51251-54 **Fries**, N., Weihnacht der Einsamen. a-b. – Lindes Wort. a-b. – In den Schwachen mächtig. a-b. –
Linde Hand.
«京都大總人圖»
- ~~51255~~ – Nachtschmetterlinge.
- 51257 **Felsing**, Sturmvogel. Fahrten und Abenteuer in der Südsee.
«京都大總人圖»
- ~~51502~~ **Garlepp**, Durch Steppen und Tundren.
- 51513 **Glaser**, Savonarola. Erzählung aus der Renaissance in Florenz. ab
«京都大總人圖»
- 51519 **Gercke**, Marine-Humoresken.
«京都大總人圖»
- 51521 **Gerstenberg**, Dem [erhabenen] Begründer des neuen Deutschen Reiches. a-c.
«京都大總人圖»
- ~~51531~~ **Gotthelf**, Jeremias, Dursli, oder: Der heilige Weihnachtsabend.
- ~~51532~~ – Hans Berner und seine Söhne. a-b.
- ~~51533~~ – Das Erdbeeri-Mareili. a-b.
- 51535-38 – Ausgewählte Werke. Bd. 1-4. (Cotta) a-b.
«京都大總人圖»
- 51539 – Ausgewählte Werke. (Springer):
Leiden und Freuden eines Schulmeisters. a-b.
«京都大總人圖»
- 51540 Erzählungen_[1] a-b.
«京都大總人圖»
- 51541 Uli der Knecht, Uli der Pächter. a-b. c
«京都大總人圖»
- 51543 Uli der Knecht (Reclam.)
«京都大總人圖»
- 51581 **Geyer**, Kaiser Wilhelm I.
«京都大總人圖»
- ~~51584~~ **Gasparin**, Gräfin, Camilla. a-b.
- 51588 **Grützmacher**, Do[~~o~~ö]rthe Schmidt, die Arbeiterfrau. a-b.
«京都大總人圖»
- 51589 **Groner**, Neue Kriminalnovellen. ab
«京都大總人圖»
- 51700 **Haak**, Die Eroberung des Nordpols. Schilderung der Fahrten u. Entdeckungsreisen nach den Po-
largebieten bis 1910.
«京都大總人圖»

- ~~51701~~ **Hahn**, Werner, Hans Joachim von Zieten.
~~51706~~ – A. v., Die Sternwirtin.
51710 **Hebel**, Schatzkästlein des Rheinischen Hausfreundes. «京都大總人圖»
51711 **Heinze**, Zehn Fürstinnen auf dem Throne der Hohenzollern. «京都大總人圖»
51712 **Hempfung**, Der schwarze Graf. Erzählung aus dem 30jährigen Kriege. «金澤大中國»
~~51713~~ **Herchenbach**, Der Slavenhändler von Benguela.
51714 – Anderson, der Seeräuber. «金澤大中國»
~~51715~~ – Ewald Moor, der Schiffsjunge.
~~51716~~ – Soldatenfahrten aus dem Dänenkriege. Die Schlüsselburg. Die Austerndsee.
51717 – Der Seilermeister von Frankenstein. Ein Indianerhäuptling in Minnesota. In der Garnison. «金澤大中國»
51718-21 19, 20, ケツ – Die Krystall-Höhle. Der Bannerherr von Luxemburg. Nero. Arnim. «金澤大中國»
51722 – Miralda, das Negermädchen
– 151 –
51723 **Herchenbach**, Die Falschmünzer «金澤大中國»
~~51724~~ – Die Goldgräber
51725 – Die Krienge des grossen Römer Julius Cäsar «金澤大中國»
~~51726~~ – Prinz Eugen von Savoyen.
51727 – Gerhard Leberecht von Blücher «金澤大中國»
51728 – Die heldenmütige Verteidigung von Wien 1683. «金澤大中國»
51729 – Napoleon Bonaparte. «金澤大中國»
~~51730~~ – Der alte Dessauer.
~~51731~~ – Hans Joachim von Zieten.
~~51732~~ – Geschichte Kaiser Karls des Grossen.
51733 – Die Brant aus dem Vollandale. Histor. Erzählung «金澤大中國»
~~51734~~ – Die bayrischen Helden bei Weissenburg.
~~51741~~ **Hesekiel**, Neue Häuser. Der Steinschleifer von Gölling.
~~51751~~ **Hirschfeld**, Die feindlichen Brüder.
51752 **Hittl**, Der alte Derflinger und sein Dragoner. «金澤大中國»
~~51754-55~~ **Höcker**, Russland und Japan im Kampf um die Macht in Ostasien 2 Bde.
51756 – Der Schiffsjunge des grossen Kurfürsten. *abc* «金澤大中國»
51757 – Der Seekadett von Helgoland. *abc* «金澤大中國»

51758	- Lorbeerkranz und Dornenkrone. a-b.		«金澤大中國»
51759	- Spare in der Zeit, so hast du in der Not.		
51761	- Friedrich der Grosse als Feldherr und Herrscher. a-b.		«金澤大中國»
51762	- Schulstube und Schachtfeld.		«金澤大中國»
51763	- Bei den Husaren.		«金澤大中國»
51764	- Der alte Dessauer und der kluge Bäckermeister. a-b.		«金澤大中國»
51765	- Der Erbe des Pfeiferkönigs. <i>abc</i>		«金澤大中國»
51766	- Im heimlichen Bunde. <i>abc</i>		«金澤大中國»
51767	- Zwei Riesen der Garde. <i>abc</i>		«金澤大中國»
51768	- Deutsche Treue, welsche Tücke. <i>ab</i>		«金澤大中國»
51769	- Marschall Vorwärts und sein getreuer Piepenmeister.		«金澤大中國»
51770	- Die Brüder der Hansa. Historische Erzählung. <i>bd</i>		«金澤大中國»
51771	- Auf der wacht im Osten.	do <i>ab</i>	«金澤大中國»
51772	- Stegreif und Städtebund.	do <i>bc</i>	«金澤大中國»
51773	- Im goldenen Augsburg.	do <i>abc</i>	«金澤大中國»
51774	- Im Zeichen des Bären.	do <i>ab</i>	«金澤大中國»
51775	- Kadett und Feldmarschall.	do	«金澤大中國»
51776	- Husarenkönig und Kürassiergeneral. do <i>bc</i>		«金澤大中國»
51777	- Mit Gott für König und Vaterland. do <i>abc</i>		«金澤大中國»
51778	- Im Rock des Königs.	do <i>bc</i>	«金澤大中國»
51779	- Galeere und Circus.		«金澤大中國»
51781-82	Horn, Georg, Bei Friedrich Karl.		«金澤大中國»
51791	- W. O. v., Von dem Manne, der uns den Weg nach Amerika gewiesen hat. a-b.		
51792	- Die Silberflotte oder: Der Herr verlässt die Seinen nicht. a-b.		
51793	- Eine Korsarenjagd im indischen Inselmeere. a-b.		
51794	- Die Eroberung von Mexiko durch Fernando Cortez, a-b.		
51795	- Vier deutsche Heldinnen.		

- 51796 – Während und nach der Zerstörung von Magdeburg.
- 51797 – Der Brand von Moskau.
- 51798 – Der Schiffsjunge und sein Lebensgang.
- 51799 – Der Strand: aufer. a-b.
- 51800 – Ein Ostindiengahrer. a-b.
- 51801 – Eine Meuterei im stillen Meere. a-b.
- 51802 – Das Lebn u. die Taten H. Joachim von Zietens.

– 152 –

- 51803 **Horn**, Blüchers Schützling.
- 51804 – Die Belagerung von Wien.
- 51805 – Der alte Fritz, der Held und Liebling des deutschen Volkes.
- 51806 – Der Admiral de Ruiter.
- 51807 – James Watt, der Erfinder.
- 51808 – Das Büchlein von dem Feldmarschall Blücher.
- 51809 – Von dem frischen und mutigen Seydlitz.
- 51810 – Scharnhorst.
- 51811 **Hoffmann**, Andreas Hofer, der Sandwirt. *ab*
- 51812 **Herzog**, Das alte Lied.
- 51813 **Harms**, Unte Verschwörern.
- 51831 **Hansjacob**, Der närrische Maler.
- 51841 **Heinrich**, Friedrich Friesen und die Lützower.
- 51842 **Hermann**, Kleine Züge aus Kaiser Wilhelm I., Kaiser Friedrich III. und Kaiser Wilhelm II. Leben. a-b.
- 51843 **Helms**, Heinz Treuaug, wie er ein Ritter ward. *ab*
- 51844 **Höcker**, Der rote Freibeuter (nach Cooper bearbeitet).
- 51845 **Hoffmeister**, Der Schmiedehans.
- 51846-47 **Hübner** und **Schwochow**, Vom Kurhut bis zur Kaiserkrone. Ein Lesebuch zur preussischen Geschichte. Bd. 1-2.
- 51848-50 – Im Glanze der Königskrone. Erzählungen und Schilderungen aus dem Leben der preussischen Könige.
- 51851 **Hofer**, Haus an Haus.
- 51856 **Harkort**, Flachsmartha. *ab*
- 51860 **Hermens**, Eltern-Büchlein. a-b.
- 52001-02 **Jahn**, Deutschlands Streben und Ringen nach Einheit. – Die Deutschen Freiheitskriege.
- 52003-4 **Jacobs**, Seemannshumor. Geschichten und Schwänke. 2 Bde.
- 52011-13 **Justus**, Th., Ebbe und Flut. – Aus tiefer Not. Auf schlimmen Wegen. – In Schutt und Asche.
- 52021 **Jahnke**, Kurfürst Albrecht von Brandenburg, der deutsche Achilles.
- 52211 **Kern**, Die Geisel der Südsee. a-b.
- 52214 – Unter der Klaue des Drachen. Eine Geschichte aus Tibet.
- 52221 **Reuper**, Matthias Claudius, der Wandsbecker Bote. Blütenkranz seiner Werke. a-b.
- 52225 **Klinick-Lütetsburg**, Christian de Wet, der Held von Transvaal.
- ~~52226~~ **Kleinschmidt**, Im Lande der Freiheit und des Dollars.
- 52228 **Keinpaul**, Die Eroberung von Mexiko.
- ~~52229~~ **Klaussmann**, Vor und in Port Arthur.
- ~~52230~~ – Auf den Schlachtfeldern der Mandschurei.

- 52236 **v. Köppen**, Helmut von Moltke.
 52241 **Klee**, Schicksale eines armen Simplex.
 52242 – Eines deutschen Volkes Ruhm und Untergang.
 52251-52 **Köhler**, Königin Luise v. Preussen. – Wilhelm I. Deutscher Kaiser.
 52256 **Winfriede**, Erzählung v. d. Verfasserin von Heinrichs Kämpfe. a-b.
 52261 **Köck**, Wie Einer durch eine Redensart zu Grunde gehen kann. a-b.
 52447 **Lohmeyer**, Unter dem Dreizack. Ein Marine- und Kolonialbuch. *ab*
 52448-52 – Auf weiter Fahrt. Selbsterlebnisse zu Wasser und zu Lande. 5 Bde. Bd. 2-5. ~~a-b~~⁹
 52462 **Laverrenz**, Freiweg! Humoresken.
 52465 **Olden**, Aus der Mannschaftsstube.
~~52466~~ **Laverrenz**. Der Afghanenspion.
 52467 – Berliner Volkswitz. Humoristische Studien.
 52501 **Lichtenfeldt**, Der Mutter Segen oder die beiden Waisenkinder.

– 153 –

- 52512-5 **Liliencron**, v., – Im Kampfe. ~~a-b~~. – Die Fahne des 61. Regiments a-c. – Die Ulanenbraut. ~~a-b~~. – In schweren Tagen. ~~a-b~~.
 52531-2 **Lang**, Mechtildis von Hohenburg. ~~a-b~~. – Rusenschloss. a-b.
 52541 **Ledderhose**, Der siebenjährige Krieg.
 52546 **Landenberger**, Albert, Lebensschicksale einer Mark. a-b.
 52547 – Aus den Tagen des Reformators Brenz. a-b.
 52557 **Mauerhof**, Kriegserinnerungen von 1870-71, ~~a-b~~.
 52558 **Marryat**, Der Pirat. Bearbeitet von Schlicht.
 52559 **März**, Cook, der Weltumsegler. *abe*
 52560 – Columbus und die Entdeckung der neuen Welt.
 52562 **May** (Karl), Der Oelprinz.
~~52563~~ – Die Sklavenkarawane.
~~52564~~ – Der blaurote Methusalem.
~~52565~~ – Der Schatz im Silbersee.
~~52566~~ – Der schwarze Mustang.
Karl Mays Reise-Romane. 32 Bände.
~~52571~~ Durch die Wüste. a-b.
 52572 Durchs wilde Kurdistan. a-b.
~~52573~~ von Bagdad nach Stambul. a-b.
 52574 In den Schluchten des Balkan. a-b.
~~52575~~ Das Land der Schkipetaren. a-b.
~~52576~~ Der Schut a-b.
~~52577-79~~ Winnetou, der rote Gentleman. 3 Bde. a-b.
 52580 Orangen und Datteln. ~~a-b~~.
~~52581~~ Am stillen Ozean. a-b.
 52582 Am Rio de la Plata. ~~a-b~~.
 52583 In den Cordilleren. ~~a-b~~.
 52584-86 Old Surehand. 3 Bde. a-b.

⁹ 52448- 52450~~ab~~, 52451~~abc~~, 52452~~ab~~ (函書目訂表1920_{II/III}., 膠圖1葉).

- 52587-89 Im Lande des Mahdi. 3 Bde. a-b.
- 52590/1-92 Satan und Ischariot. 3 Bde. a-b.
- 52593 Auf fremden Pfaden. ~~a-b.~~
- 52594 Weihnacht. a-c. *B* ケツ
- 52595 Am Jenseits. a-b.
- 52596-99 Im Reiche des silbernen Löwen. 4 Bde. a-c. 96^A, 97^{4C}
- 52600 Und Friede auf Erden. a-c.
- 52601-2 Ardistan und Dschinnistan. 2 Bde.
- 52607 **Meister**, Im Kielwasser des Piraten.
- 52608 – Der Seekadett. Abenteuer der Korvette „Scharfschütz“.
- 52609 – Die Schatzsucher im Eismeer.
- 52611 **Mindermann**, Bahel.
- 52612-14 **Messerer**, Treue Herzen. Aus den bayrischen Bergen. Der Wächter-Davidl. Der Schlagring.
- ~~52615~~ **Moszkowski**, Die unsterbliche Kiste. 333 gute Witze.
- 52616 **Moritz**, Der Sturmvogel, Kämpfe und Abenteuer einer Kriegsbrigg an der afrikanischen Ostküste.
- 52617 – Sigismund Rüstig oder Schiffbruch des Pacific. Nach Marryat bearbeitete Erzählung.
- 52621 **Müller**, O., Münchhausen im Vogelsberg.
- ~~52626~~ – K., Cook, der Weltumsegler.
- 52631 – W., Der alte Krieger und sein Sohn. a-b.
- 52632-5 – Die Gefangenen im Kaukasus. – Am Abgrund. – Der Kunstpfeifer. – Edle Rache.
- 52636-9 – Aus der Irre. – Generalfeldmarschall Graf Moltke. a-b. – Kaiser Friedrich a-b. – In des Königs Rock.
- 154 –
- 52640 **Müller-Bohn**, Deutscher Kaiseraar. Ein Lebensbild des Kaiserpaares. 1906.
- 52651 **Meister**, Oesterreichische Kriegserinnerungen.
- 52657-59 **Meisner**, Treu bis in den Tod. a-c. – Im Friedenshafen. a-b. – Durch Klippen. a-b.
- 52660 **Meissner**, Aus den Papieren eines Polizei-Kommissars.
- 52801 **Neubauer**, Blätter der Erinnerung an Deutschlands Grossen Kaiser Wilhelm I. a-b.
- 52806-08 **Neumann-Strela**, Deutschlands Helden in Krieg und Frieden. Bd. 1-3.
- 52809 **Niemann**, Das Flibustierbuch. Erlebnisse unter den Freibeutern.
- 52810 – Das Geheimnis der Mumie.
- 52811 **Nicolai**, Anekdoten von König Friedrich II. von Preussen.
- 52812 – Helmut, der Patrouillenreiter. Erzählung aus Süswestafrika.
- 52814 **Noeldechen**, In Schleswig.
- 52901 **Ohorn**, Der Eisenkönig. *abe*
- 52902 – Die Helden der Küste.
- 52903 – Der Bürgermeister von Lübeck.
- 52904 – Der weisse Falke.
- 52905 – Emin, der weisse Pascha im Sudan.
- 52906 – Lützows wilde, verwegene Jagd.
- 52921-26 **Oertel**, H., Johann Gutenberg. – Friedrich I., Barbarossa. – Karl Theodor Körner. – Karl der Grosse. – Otto I., der Grosse. – Rudolf von Habsburg.
- 52927 – G., Der Müller in Buschdorf. a-b.
- 52935 **Oswald**, Rita Gerrits. Eine ostfriesische Geschichte.

- 52941 **Otto**, Franz, Unser Kaiser Wilhelm I.
52942 – Das Tabakskollegium Fried. Wilhelm I. *ab*
52943 – Der grosse König und sein Rekrut.
~~52944~~ **Otto**, B., Die Sage von Dr. Heinrich Faust.
52945 – Fürst Bismarcks Lebenswerk.
52946 **Ohly**, Emil Johannes Falk und die Ratsherrn von Danzig. a-b.
52951 **Orth**, J., Wunderbare Wege. a-b.
53011 **Petersdorf**, v., Wie das Deutsche Reich geworden ist. a-b.
53012 **Pötzel**, Der Herr von Nigerl. Humoresken aus Wien. a-b.
53015 **Pannwitz**, Grosse Kriegshelden (Friedrich II. – Blücher. – Prinz Eugen.)
53017-19 **Pistorius**, Mit Gott für König und Vaterland, Kriegserlebnisse eines preussischen Jungen. 3 Bde.
(I: Aus der Unglückstagen von 1806. a-b.-II: Preussens Erwachen 1806-9. a-b.-III: Das Volk
steht auf, der Sturm bricht los. 1813.)
53026 **Puttkammer**, Frhr. v., Des Deutschen Reiches Jubeljahr.
53027 **Pajeken**, Der Schatz am Orinoko.
53032 **Pflug**, Der Verurteilte.
53036 **Palm**, Unter deutscher Flagge.
53350 **Reuper**, Helden zur See. Fahrten und Abenteuer.
53351 **Rocholl**, Ein Charakter- und Lebensbild Kaiser Wilhelm I.
53352 **Rehtwisch**, Von der Etsch bis an den Belt. Geschichtsbilder von 1806-1809.
~~53353~~ – Der Gott, der Eisen wachsen liess. Geschichtsbilder von 1813.
53354 – Mit Mann und Ross und Wagen hat sie der Herr geschlagen. Bilder aus dem Jahre 1812.
53360 **Rousselet**, Mali, der Schlangenbändiger.
«^v新潟高»*
53361 **Rogge**, Das Buch von den brandenburgischen Kurfürsten.
«^v新潟高»*
- 155 -
- 53362-64 – Das Buch von den preussischen Königen. – Fürst Bismarck, der erste Reichskanzler Deutsch-
lands. – Die Kaiser-Proklamation a-b.
«^v新潟高»*
~~53365-67~~ **Rosegger**, Als ich noch der Waldbauernbub war. Kleine Geschichten. 3 Bde.
53381-2 **Roth**, Kaiser und Pabst. – D. Burggraf u. sein Schildknappe.
«^v新潟高»*
53383 **Rosegg**, Die Ruhmesbahn.
«^v新潟高»*
53384-85 **Richter**, Deutsche heldensagen des Mittelalters. 2 Bde.
«^v新潟高»*
53390 **Ramdohr**, Friedrich II., der Hohenstaufe.
«^v新潟高»*
53391 **Ruppius**, Die Schlacht bei Leuthen.
«^v新潟高»*
53401 **Rothenburg**, Adelheid v., Die Techows von Gross-Beeren.
«^v新潟高»*
53405 **Rade**, Martin, Ulrich von Hutten und Franz von Sickingen in ihrem Anteil an der Reformation.
«^v新潟高»*
53550 **Schönthan**, Humoresken und Skizzen.

- «^v新潟高»*
 53551 **Scheibler**, Zwölf Geschichten für die Jugend. a-b.
 «^v新潟高»*
 53552 **Schillings**, Mit Blitzlicht und Büchse im Zauber des Elelescho. (Tierwelt u. Jagd in Deutsch-Ostafrika). Kleine Ausgabe.
 «^v新潟高»*
 53560 **Schalk**, Die bunte Kuh von Flandern gegen die Seeräuber. Historische Erzählung.
 «^v新潟高»*
 53561 **Scherenberg**, Kaiser Wilhelm I. a-b.
 «^v新潟高»*
~~53562~~ **Schalk**, Paul Benecke, ein harter, deutscher Seevogel.
 53563 **Schmiedegen**, Nansens Nordpolfahrt.
 «^v新潟高»*
 53564 **Saure**, Erzählungen aus Dramen deutscher Klassiker.
 «^v新潟高»*
 53565 **Sperling**, (Obermaat), Eine Weltreise unter deutscher Flagge. 51000 Seemeilen mit dem deutschen Kreuzergeschwader. 1907.
 «^v新潟高»*
 53566 **Schmid**, Christoph v., Waldomir. Paul Arnold. Die Himbeeren. Der Wasserkrug.
 «^v新潟高»*
 53568-94¹⁰ – Gesammelte Schriften. Bd. 1-28. (Bd. 3 u. 13 fehlt.) Einzelverzeichnis in der Bibliothek zu
 70, 80 ケツ haben.
 «^v新潟高»* «山口大総圖」²
 53595-99 **Schmid**, Ferd, Frei vom Dänenjoch. – Königgrätz. – Wilhelm von Zesen. – Nacht und Morgen.
 – Ein verlorener Sohn. «信州大松本圖」
 53600-05 – Bilder aus den Freiheitskriegen. – Bilder aus der Zeit Friedrich Wilhelm III. u. Luisens. – Der
 Rittmeister. – Otto IV. mit dem Pfeile. – Kriegeruhm und Vaterlandsliebe. – Der Cisterzienser.
 «信州大松本圖」
 53606-09 – Geschichtliche Bilder aus der Zeit des Kurfürsten Friedrich des Eisernen. – Der Hilfsschreiber
 des Königs. – Egilbert. – Die Quitzows. «信州大松本圖」
 53610-14 **Schmidt**, Oswin oder Die Schule des Lebens. Otrik, Ein Zeitbild aus den Wendenkriegen. – Fürst
 Bismarck. – Kaiser Wilhelm I. und seine Zeit. a-b. – Torquato Tassos Befreites Jerusalem a-b.
 – Drei eiserne Männer. a-b – «信州大松本圖」
 53615-17 – Ans Vaterland, ans teure schliess dich an. – Der „falsche Waldemar“. – Die Hohenzollernburg.
 «信州大松本圖」
 53631 **Schmidt-Weissenfels**, Krupp und sein Werk. «信州大松本圖」
 53641 **Schmidt**, P. v., Kurzgelesste Vaterländische Geschichte für den preussischen Soldaten.
 «信州大松本圖」
 53651-53 **Schubert**, v., Der ungleiche Sohn. – Bei Gott ist kein Ding unmöglich. – Vor hundert Jahren.
 «信州大松本圖」
 53676 **Schrader**, Friedrich der Grosse und der siebenjährige Krieg. «信州大松本圖」
 53681 **Seidel**, Goldene Worte der Hohenzollern.

¹⁰ 53568- 53590, 53591^{abc}, 53592- 53594 (函書目訂表1920_{IV/III}., 膠圖5葉).

«信州大松本圖»

53682 – Balthaser Scharfenberg, oder ein Reitersmann aus dem 30jährigen Krieg.

«信州大松本圖»

53691 **Schmidt**, Die Anker-Schenke. Eine Seemannserzahlung.

«信州大松本圖»

– 156 –

53701 **Spieker**, Ein Palmenzweig auf den Sarg unseres in Gott ruhenden Kaisers und Königs Wilhelm.

«信州大松本圖»

53702 **Spindler**, Der Jude. Historischer Roman. a-b. 3 Teile.

«信州大松本圖»

53705 – Der Jesuit –

«山口大總圖»

53711 **Spillman**, In der neuen Welt. Westlinden und Südamerika.

«山口大總圖»

53716-20 **Schupp**, Der Fürst und sein Hofprediger. – Der Fuhrmannsjunge im Krieg. – Luise, Königin von Preussen. – Kaiser Wilhelm I. – Das Nationaldenkmal aus dem Niederwald.

«山口大總圖»

53721-23 – Friedrich Wilhelm, der grosse Kurfürst. – Kirmes. a-b. – Hurdy-Gurdy. a-b.

«山口大總圖»

53724 **Schultze**, Unter dem Kreuze. Erzählung aus dem christlichen Altertume.

«山口大總圖»

53733 **Stein**, Armin, An der Saale hellem Strande.

«山口大總圖»

53734 – Der Salzgraf von Halle.

«山口大總圖»

53735 – Georg Händel u. sein Sohn. *I. II.*

«山口大總圖»

53736-41 – Ein braver Lützower. a-c. – Marlene a-b. – Da hast du Schuld. Gottes Lohn. a-b. – Aus den Jugendjahren Johann Friedrich des Grossmütigen. a-b. – Auf Abwegen. a-b. – In Treue stark. a-b.

«山口大總圖»

~~53744~~ **Stanley**, Kalulu, Prinz, König und Sklave.

53745 **Steinhausen**, H., Markus Zeisleins grosser Tag. a-b.

«山口大總圖»

53746 **Strecker**, Otto von Bismarck. a-b.

«山口大總圖»

53747 **Straaden**, Der Depeschenreiter. (Aus dem Burenkriege.) *ab*

«山口大總圖»

53756 **Schläger**, v., Gementsoni, Dach und Keller.

«山口大總圖»

53757 **Stockhausen**, Friedebert

«山口大總圖»

53761 **Seifart**, Leibeigen. Aus der Zeit Friedrichs des Grossen.

«山口大總圖»

53763 **Schwebel**, Hans Jürgen von der Linde. a-b.

«山口大總圖»

53766-68 **Sonnenburg**, Der Goldschmidt von Elbing. – Der Bannerherr von Danzig. a-b. – Fürst Bismarck.

«山口大總圖»

- 53769 – Der Kapitän von Westerland. «山口大總圖»
- 53770 – Der Hirtenknabe vom Spessart. «山口大總圖»
- 53776-77 **Stöber**, Der Schneider von Gastein. – Geschichten von der Altmühl. «山口大總圖»
- 53783 **Strang**, Der Spion am Yalu. Aus dem russisch-japanischen Kriege. «山口大總圖»
- 53784 **Stratz**, Friede auf Erden.
- 53785 **Schütze**, R., Inschriften und Sinnbilder. a-b. «東京外大附圖»
- 53786 – Hundert Geschichten fürs Volk. a-b «東京外大附圖»
- 53787 **Spiess**, Bis zum Feierabend. «東京外大附圖»
- 53788 **Th. v. S.**, Aus dem Leben der Tante Dore. a-b. «東京外大附圖»
- 53794-8-817 **Stolle**, Ferdinand, ausgewählte Schriften: – Bd 1_[.] Camilien. Novellen und Erzählungen. a-b. –
53793-94 2. Napoleon in Egypten. a-b. – 5. Moosrosen. a-b. – 9. Je länger je lieber. a-b. – 10-12. 1813.
53796-98(ケツ) Historischer Roman. a-b. – 13-15. Elba und Waterloo. a-b. – 16. Moosrosen a-b. – 17-18_[.] Die
Erbschaft in Kabul. a-b – 19. Camilien. Novellen und Erzählungen a-b. – 20. Der neue Cäsar.
Ein Seitenstück zu „1813“ und „Elba und Waterloo.“ a-b. – 21-22_[.] Der neue Cäsar. a-b. – 23.
Je länger je lieber. a-b. – 24. Lieder und Gedichte nebst lebensgeschichtlichen Umrissen. 25.-
27_[.] Deutsche Pickwickier. a-b. «東京外大附圖»
- 53821-26 **Stolle**, Bd. 1-3 Der Weltbürger. a-b. – 4. Moosrosen. a-b. – 5-6. Deutsche Pickwickier auf
Reisen. a-b. «東京外大附圖»
- 53827 **Stretton**, Hesla, Allein in London. a-b. «東京外大附圖»
- 53828 **Schreibershofen**, Antonie. a-b. «東京外大附圖»
- 157 -
- 53951 **Tegtmeyer**, Emilie, Der Schiffer von Sylt. – Eine Perle am Wege. «東京外大附圖»
- 53955 **Treller**, Unter dem Römerhelm. Erzählung aus der Zeit Kaiser Domitians. «東京外大附圖»
- 53956 **Tschache**, Konradin, der Letzte der Hohenstaufen.
- 53958 **Treumund**, Aus dem Leben eines Volksbeglückers. a-c.
- 53962 **Tanera**, Heinz, der Brasilianer. ab
- 53963 – Deutschlands Kämpfe in Ostasien a-b. «茨城大圖»
- 54250 **J. V. Voigts** Leben, Abenteuer und Reisen 1764-1835.
- 54251 **Wellmer**, Kaiser Wilhelm. a-b.
- 54252 **Weinland**, Kuning Hartfest. Erzählung aus der Zeit der alten Deutschen.
- 54253 – Rulaman. Aus der Zeit des Höhlenbären.
- ~~54254~~ **Willigerod**, Der Held vom Schildhof. Historische Erzählung vom Jahre 1809.

- 54271 **Würdig**, König Friedrich Wilhelm I. und Kronprinz Friedrich.
54272 – Hans Joachim von Zieten.
54273 – Schill und seine elf Offiziere.
54274 – Der Schwadronsjunge oder Vivat Fridericius Rex.
54286 **Württemberg**, Alte Geschichten vom Oberrhein.
54287 **Wyss**, Der schweizerische Robinson. Bearbeitet von Bonnet, 6. Aufl. «茨城大圖»
- 54291 **Weitbrecht**, Von Stufe zu Stufe.
54292 – Auf der wanderschaft. – Wodans rache. a-c.
54293 – Ein Kampf um Rom. a-b.
54294 – Deutschlands Kampf gegen Frankreich 1870-71.
54295 – Von der Blockhütte zum Präsidentenpalast. a-b. «山形大圖»[?]
- 54296 – Des Meisters Tochter. Eine Handwerker Geschichte. a-c.
54297 – Der Heidebauer und seine Sohne. a-b. «山形大圖»[?]
- 54298 – Ein Glassplitter. Glänzendes Elend. a-b.
54299 – Der Kopf des Apostels. a-b. «山形大圖»[?]
- 54300 – Der Bauernpfeifer. a-b. «山形大圖»[?]
- 54315 **Wiessner**, Fabrikant oder Meister?
54321 **Wilhelmi**, Ich habe dich je und je geliebt. a-c. «山形大圖»[?]
- 54322 – Der goldene Kelch.
54331-33 **Wolter**, Unser Moltke. – Kaiser Friedrich III. – Lebensbilder und Charakterzüge der Hohenzollerschen Fürsten. «福島圖研»¹¹
- 54338 **Wörrishöffer**, Onnen Visser, der Schmugglersohn von Norderney.
~~54339~~ – Das Buch vom braven Mann.
54340 – Unter Korsaren. *ab*
54341 **Wildermuth**, Otilie. Die Salome weiss rat. a-b.
54346 **Wosapp**, Herzog Christoph von Württemberg a-b.
54347 **Winterfeld**, Humoresken.
54348-55 – Neue humorestische Soldatengeschichten. Bd. IX bis XVI. a-b 48^A ケツ 55^{AB} ノベツナシ «佐賀大附圖»
- 54505 **Ziemssen**, Friedrich, deutscher Kaiser und König von Preussen.
54601 **Unser Kaiserpaar**. a-c.
54602 **Unser Bismark**. a-b.
54604 Kampf und Sieg einer gläubigen Familie aus der Zeit Friedrich Wilhelm I. – Die Hundehütte. a-d.
554607 O du fröhliche, o du selige, gnadenbringende Weihnachtszeit. a-b.

3. M:archen, Kalender, Jugendschriften.*)

¹¹ “⑩Unser Moltke: Ein Lebensbild des großen Schlachtendenkers, für die deutsche Jugend und das deutsche Volk / bearbeitet von A. Wolter. – Leipzig: G. Levien, [n. d.] - 77p.; 19cm.”(渡邊2004., 3 頁).

- 56101 **Andersen**, Sämtliche Märchen a-b.
56102 – Ausgewählte Märchen für die Jugend. ab
56103 – Ausgewählte Märchen. a-b. «茨城大圖»
- 158 -
- 56112 **Bechstein**, Deutsches Märchenbuch. a-b.
56115 **Below**, Hedwig v., Die kleine Pfirsichblüte.
56121 **Dossoff**, Friederike, Märchen für Hans und Grete. a-b.
~~56130~~ **Grimm**, Jakob. u. Wilhelm, Kinder- und Hausmärchen. a-b.
56140 **Musäus**, Volksmärchen der Deutschen. (Meidinger) a-b.
56141 – (Hendel) a-b. «茨城大圖»
- 56142 **Carmen Sylva**, Leidens Erdengang. Märchen. «茨城大圖»
- 56328 Daheimkalender für das Jahr 1911.
56439 **Münchener Fliegende Blätter**, Kalender 1899.
56483 Illustrierter **Deutscher Flottenkalender** 1903.
56484 **Deutscher Flottenkalender** 1904.
56485 – 1905.
56486 – 1906.
56487 – 1907.
56488 – 1908.
56490 – 1910.
56600 **Deutscher Kolonialkalender** 1904.
56601 – 1905.
~~57001~~ **Wagners**. Hausschatz für die deutsche Jugend.
57002 **Stöckert**, Verdientes Glück.
57018 **Verein für Verbreitung guter Schriften**. Basel. Bd. 11. Die Reise des kleinen Marco von den Apeninnen zu den Anen. – Bd. 12. **Brandstätter**, Zur rechten Zeit. – Das Sandpferd. – Der Weihnachtsabend.
Karl **Flemmings** Vaterländische Jugendschriften:
57021-22 **Köppen**, Das alte Ordesland. – Hohenzollern und Brandenburg.
57025-27 **Kühn**, Leuthen. – Barbarossa a-b. 25^{AB} ノベツナシ «山形大中圖»
- 57030 **Schrader**, Friedrich der Grosse.
57032 **Sonnenburg**, Graf Heinrich von Schwerin.
57033 – Unter dem Schwerte der Weissmäntel.
57040-44 **Wüdig**, Die Brüder Magdeburg und Lützen. – Dragoner und Kurfürst oder Brandenburgische Treue. – Gustav Adolf in Deutschland. – Prinz Eugen der edle Ritter. – Graf York v. Wartenburg. «佐賀大附圖»
- 57055-56 **Hermes**, Dr. K. H., Kapitain Ross Entdeckungsreise nach den nordwestlichen Polargegenden. Bd. 1-2. a-b.
57061 **Haase**, M., Die Himmelfahrtsinsel. – Grossvaters Tasse. **Wyss**, R., Unterhaltungs- und Bewe-

*) Jugendschriften auch bei XII D. 1 u. 2.

gungsspiele für die Jugend. v. **Horn**, was aus einem armen Hirtenbüblein werden kann. **Tanner**, H., Johannes Falk. **Johanna Spyri**, Vom This, der noch etwas wird. **Reinick**, Die Waldmühle und Rübezahls Mittagstisch. **Seyfried**, Die Gepressten. **Wildmann**, Schneeweisschen und Rosenrot. Ein Märchen als Kinderdrama. **Reinick**, Spitzenchristel, Des Esels Schatten, Die Nussdiebe, Der Hahn und die Wachtelhündchen, Hans Lustig.

Universalbibliothek für die Jugend:

- 57081 **Campe**, Die Entdeckung von Amerika. a-b,
 57085 **Nathusius**, Marie, Vater, Sohn und Enkel.
 57086 **Roth**, Die Nordpolfahrer. a-b.
 57087 – Die Römer in Deutschland.
 57089 v. **Schubert**, Der neue Robinson. a-b.
~~57301~~ **Kuoni**, Der Nachtwächter Werner.

- 159 -

- 57302 **Schön**, Oswald, das grosse Dorf.
 57303 **Gotthelf**, Jeremias, Der Knabe des Tell.
 57305 **Ehrecke-Hammermann**, Deutsches Lesebuch. Ausgabe B für Fortbildungsschulen. a-b.
 57308 v. **Roskowska**, Emmy, Erzählungen für junge Mädchen.

XIII.: Ausländische Literatur.

A. Englische Literatur.

1. In englischer Sprache.

- 60001 **Alexander**, Her dearest foe. «山口大總圖»
 60148 **Boothby**, A bride from the sea. «山口大總圖»
 60149 – A maker of nations. «山口大總圖»
 60150 **Brown**, Cheerfull words from the writings of G. Macdonald.
 60152 **Barrie**, Margaret Ogilvy.
 60153 **Bangs**, Coffee and repartee.
 60154 **Bellamy**, Looking Backward. (deutsch s. IX. A 22651).
 60155 **Boehm**, China Coast Tales. «山口大總圖»
 60157 **Byron**, Don Juan.
 60554 **Cambridge**, Stairease. «山口大總圖»
~~60555~~ **Christmas-Stories**, by Charles Dickens, Wilkie Collins and Adelaide Procter.
 60557 **Collins**, Wilkie, Jezebels Daughter.
 60559-60 **Conrad**, Joseph, An Outcast of the Island. Bd. 1-2.
 60561 **Cooper**, James Fenimore, The Spy. a-b.
 60562 – The two Admirals. a-b.
~~60563~~ – Marks Riff.
~~60565~~ **Corelli**, Marie, The Mighty Atom.
 60566 – Ziska.
~~60567-68~~ – The Sprrows of Satan. Bd. 1-2.

- 60567-70 – Thelma.
60575 **Crawford**, Marion. D[DM]r. Isaacs. «山口大總圖»
- 60576 – Doctor Claudius. «山口大總圖»
- 60577 – To Leeward. «山口大總圖»
- 60578 – A Roman Singer.
60579 – Zoroaster. «山口大總圖»
- ~~60580~~ – Marzios Crucifix.
60581-82 – Paul Patoff. «山口大總圖»
- 60583 – With the Immortals. «山口大總圖»
- 60584 – The Children of the King. a-b. «山口大總圖»
- 60585 – Khaled. «山口大總圖»
- 60586-87 – The Ralstons. «山口大總圖»
- 60588 – Adam Johnstons Son. «山口大總圖»
- 60589-90 – Corleone. «山口大總圖»
- 60591-92 **Caine**, Hall, The Bondsman.
60593-94 – The Manxman.
60595-96 – The Christian.
60597-98 – The prodigal son.
- 160 –
- 60699 **Dickberry**, The storm of London.
60700-01 **Dickens**, Charles, The Posthumous of the Pickwick Club.
60702 – The Adventures of Oliver Twist.
60703-04 – The Life and Adventures of Nickolas Nickelby.
60705 – Sketches.
60706 – A Christmas Carol in Prose.
60707 – The Battle of Life and the Haunted Man.
60708-10 – The Personal History of David Copperfield.
60711 – Hard Times.
60712 – Hunted Down.
60713 – Somebodys Luggage. Mrs. Lissipers Lodgings. Mrs. Lissipers Legacy.
60716 **Doyle**, A. Conan, The Captain of the Pole-Star and other Tales.
60717 – The adventures of Scherlock Holmes. Bd. 1-2.
60718 – The Exploits of Brigadier Gerard.
60719 – The Tragedy of the Korosko.

- «^v新潟高»*
 61857 - The bell-ringer of Angels. a-b.
 «^v新潟高»*
 61858 - Clarence.
 «^v新潟高»*
 61859 - In a hollow of the hills and the devotion of Enriquez.
 «^v新潟高»*
 61860 - The ancestors of Peter Atherly and other tales.
 «^v新潟高»*
~~61861~~ - The heiress of red day.
 61862 - Thankful Blossom.
 «^v新潟高»*
 61864 **Hobart Pastha**, Sketches from my life.
 «^v新潟高»*
 61865 **Hood**, Thomas, Poems.
 61867 **Hope**, A change of air.
~~61868~~ - The indiscretion of the Duchess.
 61869 - The god in the car.
 61870 - The chronicles of Count Antonio.
- 161 -
- 61871 **Hope**, Comedies of courtship.
 61872-73 - Phroso Bd. 1-2.
 61874 - The heart of Princess Osra.
 61875 **Hormung**, William Ernest, A bride from the bush.
 61876 - Undar two skies.
~~61877~~ **Hewlwt**, Fond adventures.
~~61878-79~~ **Hichens**, The garden of Allah. 2 Bde.
 62200 **Jacobs**, Odd Craft.
 62201 - Many Cargoes.
 62202-3 **Jerome**, Paul Kever. 2 Bde.
 62301 **Kavanagh**, Julia, Daisy Burns.
 62306 **Kipling**, Rudyard, The second jungle book.
 62307 - The seven seas.
 62308 - Plain tales from the hills.
 62309 - Captains Courageous.
 62311 - Eothen.
~~62312-13~~ - From Sea to Sea. 2 Vols.
 62315-16 **Kingsley**, Hypatia.
 62601-02 **Lyll**, Edna, Won by waiting.
 62605 **Lubbock**, The pleasures of life.
~~62606~~ **Leys**, The houseboat mystery.
 62607 **Lorimer**, Old gorgon Graham (Letters from a selfmade merchant to his son.)
 62608 **Lytton** (Bulwar), Ernest Maltravers.
 62609 do Alice or the mysteries.
 62751 **Maclaren**, Jan., Beside the bonnie brier bush.

- 62752 **Marryat, Jacob Captain, Faithful. a-b.**
- 62753 - Percival Keene.
- 62754 - Peter Simple.
- 62755 - Japhet in search of a father.
- 62756 - Narrative of the travels and adventures of monsieur Violet, in california, Sonora and Western Texas. a-b.
- 62757 - The settlers in Canada.
- 62758 - The mission.
- 62759 - The Privateers Man.
- 62760 - The children of the New Forest.
- 62761 - Valerie.
- 62762 - Mr. Midshipman Easy.
- 62763 - The Kings Own.
- 62765-66 **Maurier, George du, Trilby.**
- 62767-68 **Merrimann, Seton Henry, prisoners and captives.**
- 62769-70 - With edged tools. Bd. 1-2.
- 62771-72 - The sowers. Bd. 1-2.
- 62773 - Flotsam the study of a life.
- 62774 - In Kedars tents.
- 62775 - Young Mistley.
- 62776 **Merriman, The slave of the lamp.**
- 62777 **Montgomery, Florence, The fishermans daughter.**
- 62780 **Macaulay, Biographical Essays.**
- 62901 **Norris, Shanghaied.**
- 63101 **Ossian, The Poems of.**
- 63102 **Ouida, A village commune.**
- 63103 **Oppenheim, A monk of Crusta.**
- 63252 **Philips, A full Confession.**
- 162 -
- 63253 **Philips, That Wicked Mad' moiselle.**
- ~~63254~~ **Pemberton, Beatrice of Venice.**
- 63255 - Pro patria.
- 63256-57 **Parr, Adam and Eva. 2 bde.**
- ~~63258~~ **Putnam Weale, The human cobweb. A romancee of old Peking.**
- 63501 **The Royal Readers.**
- 63502 **Reade, Love me little, love me long.**
- 63503-04 **Rusell, Clark W., The „Lady Maud“ Schooner Tacht.**
- 63505-06 - A Sea Queen.
- 63507 **Russell Clark, A sailors sweetheart.**
- 63750 **Savage, In the shadow of the Pyramids.**
- 63751 - My official wife.
- 63752-53 - A modern corsair.
- 63754 - The masked Venus.
- 63755 **Schreiner, Olive, Trooper Peter Halket of Mashonaland.**

- 63756 **Scott, Sir Walter, Jvanhoe.**
- 63757 – Kenilworth.
- 63758 – Quentin Durward.
- ~~63759~~ – Guy Mannering.
- ~~63760~~ – The pirate.
- 63761 – Poetical Works.
- 63762 **Sheridan, Richard Brinsley, The Dramatic Works.**
- 63763 **South Sea Bubbles, by the Earl and the Doctor.**
- 63765 **Stevenson, Robert Louis, Treasure Island.**
- 63766 – Dr. Jekyll and Hyde, and an Island Voyage.
- 63767 – Kidnapped.
- 63768 – The Black Arrow.
- 63769 – The Master of Ballentrae.
- 63770 – The Marry Man and other Tales and Fables.
- 63771 – Islands Nights. a-b.
- 63772 – Catriona.
- 63773 – Weir of Hermiston.
- 63774-75 – St. Ives being the Adventures of a French Prisoner in England.
- ~~63776~~ **Stockers, Maire, Indian Fairy Tales.**
- 63777 **Swift, Jonathan, Gullivers Travels into several remote nations of the World.**
- 63780-81 **Stowe, Harriet Beecher. Uncle Tom's Cabin.**
- 64201 **Tennyson, Alfred, The Poetical Works. a-b.**
- 64203-05 **Thackeray, Makepeace William, Vanity Fair.**
- 64206-07 – The History of Henry Esmond, Esq. Colonel in the Service of her Majesty Q. Anne.
- 64208 – The English Humourists of the Eighteenth Century.
- 64209 – The Four Georges.
- 64211 **Twain, Mark (Samuel L. Clemens), The Adventures of Tom Sawyer.**
- 64212-13 – The Innocents Abroad.
- 64214-15 – Tramp Abroad. Bd. 1-2.
- 64216 – Roughing it.
- 64217 – The Innocents at Home.
- 64218 – Sketches.
- 64219-20 – The Adventures of Hucklberry Finn.
- 64221 – Selections from American Humour.
- 64222 – The American Claimant.
- ~~64223~~ – The P. 1000 000 Bank-Note and other new Stories.
- 64224 **Twain, Tom Sawyer Abroad.**
- 64225 – Pudd'nhead Wilson.
- 64226 – Tom Sawyer.
- 64227-28 – More Tramp Abroad.
- 64551 **Walford, L B., Cousins.**
- 64552-53 **Wallace, Lewis, Ben-Hur.**
- 64554-55 **Ward, Humphry Mrs. Sir George Trssady.**

- 64556 – Eleanor.
 64557 **Weymann, J. Stanley**, The Red Cockade.
 64558-59 – The Story of Francis Cludde.
 64560-61 – A Gentleman of France.
 64562-63 – My Lady Rotha.
 64564 – The House of the Wolf.
 64565 – The Man in Black.
 64566 – Under the Red Robe.
~~64567~~ – The abbess of Vlaye.
 64570 **Sidney Whitman**, Imperial Germany. A. critical study of fact and character.
 64580 **Wintle**, Strange partners.
 64826 **Yonge, Charlotte M.**, The two Sides of the Shield.

2. Uebersetzungen aus dem Englischen.

- 65001 **Aidé**, Hamilton, Vornehme Gesellschaft. «金澤大中國»
 65002 **Arnold**, Die Leuchte Asiens. Erzählung eines indischen Buddhisten. a-b. «金澤大中國»
 65145 **Blätter**, a. d. Tagebuche Ihrer Majestät der Königin Viktoria. a-b. «金澤大中國»
 65146 **Bell**, Jane Eyre, die Waise von Lowood. a-b. «金澤大中國»
 65147 **Bodkin**, Giftmischer. Eine Detektivgeschichte. «金澤大中國»
 65148-50 **Bury**, Lady Charlotte, Memoiren einer Pairin von England zu Fox' Zeiten. Bd. 1-3, a-b. «金澤大中國»
 65151 **Bellamy**, Edward, Alles verstaatlicht. «金澤大中國»
 65153-55 **Byron**, Lord, Sämtliche Werke. a-b. Bd 1-3. «金澤大中國»
 65156 – Ritter Harolds Pilgerfahrt. «金澤大中國»
 65157 – Der Gjaur. «金澤大中國»
 65158 – Der Gefangene von Chillen-Mazeppa. «金澤大中國»
 65159 – Der Korsar. «金澤大中國»
 65160 – Manfred. a-c. «金澤大中國»
~~65161~~ **Braddon**, Stella.
~~65162~~ – In Acht und Bann.
 65163 – Unter der roten Fahne. a-b. «金澤大中國»
 65164 **Burnett**, Der kleine Lord. a-b. «金澤大中國»
 65167 **Hall Caine**, Die ewige Stadt.

		«金澤大中國»
	Bulwer siehe unter Lytton No. 67601. ff.	
65551	Carrall, Lewis , Alices Abenteuer im Wunderland _[1] a-b.	«金澤大中國»
65553	Custer , Dicht am Feinde. a-b.	«金澤大中國»
65557	Carlyle , Helden, Heldenverehrung und das Heldentümliche in der Geschichte.	«金澤大中國»
65558	Cooper , Der letzte Mohikaner.	
65559	– Der Spion. a-b.	«金澤大中國»
		- 164 -
65560	Croker , Die Spinne.	«金澤大中國»
65563	– Eine verhängnisvolle Fahrt. <i>ab</i>	«金澤大中國»
65564	– Angelika. <i>ab</i>	«金澤大中國»
65567	– Die jüngste Miss Mowbray.	«金澤大中國»
65568-69	– P. P. C.	«金澤大中國»
65571-72	Craik , John Halifax, Gentleman. a-b.	
65580	Collins , Ohne Namen.	«京都大總人圖»
65581	– Detektivgeschichten.	«京都大總人圖»
65700	Defoe , Robinson Crusoe.	«京都大總人圖»
65701	– do do (Spamer.)	«京都大總人圖»
65702-03	Dickens , Die Pickwickier. (Hendel.) a-b. Bd. 1-2.	«京都大總人圖»
65704-05	– Die Pickwickier. (Reclam.) Bd. 1-2. a-b.	«京都大總人圖»
65706	– Oliver Twist. (Reclam.)	«京都大總人圖»
65707	– do do (Hendel.) a-b.	«京都大總人圖»
65708 ^{AB} -09	– Nicolas Nickelby (Reclam.) Bd. 2. a-c.	«京都大總人圖»
65710	– Londoner Skizzen.	«京都大總人圖»
65711-12	– Martin Chuzzlewit.	«京都大總人圖»
65713	– Der Weihnachtsabend. (Reclam.)	

65714	- do do a-b.	《京都大總人圖》
65715	- Die Sylvesterglocken. a-b.	《京都大總人圖》
65716	- Das Heimchen am Herde. (Reclam.)	《京都大總人圖》
65717	- do (Hendel.) a-b.	《京都大總人圖》
65718	- do (Gesenius.) a-b.	《京都大總人圖》
65719	- Der Verwünschte.	《京都大總人圖》
65720	- Der Kampf des Lebens.	《京都大總人圖》
65721	- David Copperfield. (Reclam.) Bd. 1-2.	《京都大總人圖》
65723	- Harte Zeiten. (Reclam.)	《京都大總人圖》
65725	- Zwei Städte. a-b.	《京都大總人圖》
65726-33 65727 65730-32 (ケツ)	- Ausgewählte Romane, 8 Bde. a-b. (Bd. 7: a)	《京都大總人圖》
65738	- David Copperfield. a-b.	《東北大附圖分館》
65739-40	- Verkehr mit der Firma Dombey u. Sohn.	《東北大附圖分館》
Connan Doyle, Sherlock Holmes. Gesam. Detektivgeschichten, 8 Bde.		
65742	- I. Späte Rache. a-c.	《東北大附圖分館》
65743	- II. Das Zeichen der Vier. a-b-B	《東北大附圖分館》
65744	- III. Der Bund der Rothhaarigen _[1] a-c.	《東北大附圖分館》
65745	- IV. Das getupfte Band. a-c.	《東北大附圖分館》
65746	- V. Fünf Apfelsinenkerne. a-b.	《東北大附圖分館》
65747	- VI. Der Hund von Baskerville. abc	《東北大附圖分館》
65748	- VII. Als Sherlock Holmes aus Lhasa kam. a-b.	
65749	- VIII. Die tanzenden Männchen _[1] a-b.	
65760	- Napoleon Bonaparte. Aufzeichnungen eines französischen Edelmanns. Roman.	
65761	Donelly, Cäsars Denksäule. a-b.	《東北大附圖分館》
660478-50	Eliot, George. Daniel Deronda. Bd. 1-4.	《東北大附圖分館》

66051-52	- Die Mühle am Floss. Bd. 1-2-	«東北大附圖分館»
66053	- Die Mühle am Floss. Bd. 1 u. 2. a B-c.	«東北大附圖分館»
66054-55	- Adam Bede. Bd. 1-2.	«東北大附圖分館»
66056	- Adam Bede. 1 u. 2. a-b.	«東北大附圖分館»
66058	Emerson , Repräsentanten des Menschengeschichts.	«東北大附圖分館»
66059	- Essays.	«東北大附圖分館»
66251-52	Fielding , Henry, Die Geschichte von Tom Jones.	«東北大附圖分館»
66254	Franklins Leben, von ihm selbst geschrieben. a-b abc.	«東北大附圖分館»
66501	Goldsmith , Oliver, Der Landprediger von Wakefield. (Reclam.) a-c.	«東北大附圖分館»
- 165 -		
66502	Goldsmith , Der Landprediger von Wakefield. (Amelang.) a-b.	«東北大附圖分館»
66503	- do (Bibliogr. Inst.)	«東北大附圖分館»
66505	Glynn , Elisabeths Besuche, a-b.	«東北大附圖分館»
66506	Gerard , Eine vergessene Sünde.	«東北大附圖分館»
66507	Graham , Das goldene Zeitalter.	
66508	Griffits , J[H]m Expresszug Rom – Paris.	«東北大附圖分館»
66510	Günter , Mr. Barnes von New York.	
66850	Habberton , Frau Marburgs Zwillinge.	
66851	- Allerhand Leute.	
66852	- Helenes Kinderchen _{1,1} a-b.	
66853	Harte , Bret, Gabriel Conroy. a-b.	
66854	- Geschichte einer Mine. a-b.	
66855-56 ^B	- Californische Erzählungen. Bd. 1-2. a-b _{1,1}	
66857	- Thankful Blossom. a-b.	
66858	- J[H]n der Prairie verlassen.	
66859	- Pioniere des Westens.	
66860	- Von der Grenze.	
66861	Hunt , Kein Herz.	
66862	Hocking , Im Kampf mit dem Schicksal.	
67201	Irving , Washington, Skizzenbuch.	
67201	- Alhambra.	
67203	Jerrold , Douglas, Frau Kaudels Gardinenpredigten.	

- 67204 **Jerome**, Müssige Gedanken eines Müssigen.
- 67301-03 **Kavanagh**, Julia, Bessy. a-b. 6 Teile in 3 Bänden.
- 67304-06 – Johannes Dorrien. a-b.
- ~~67307-08~~ **Kennan**, George, Sibirien! (Cronbach.) a-b.
- 67309 – Sibirien! (Reclam.) *ab*
- 67311 – Zeltleben in Sibirien und Abenteuer unter den Korjaken und anderen Stämmen in Kamtschatka u. Nordasien. (Cronbach.) a-b.
- 67312 – – (Reclam.)
- 67313 – Russische Gefängnisse.
- 67314 **Kingsley**, Wahre Worte für tapfere Männer.
- ~~67315~~ – Hypatia.
- 67316 – Die kleinen Wasserkinder, a-b.
- ~~67317~~ **Knighton**, Erzählungen eines alten Seefahrers.
- 67318 **Kipling**, Rudyard, Schlichte Geschichten aus Indien.
- 67319 – Kim. Roman aus dem gegenwärtigen Indien.
- 67320 – Im Dschungel (The Dschungle-book).
- 67321 – Das neue Dschungelbuch.
- 67601 **Lytton**, Pelham oder Begegnisse eines Weltmannes. a-b.
- 67602 – Eugen Aram. a-b.
- 67603 – Die letzten Tage von Pompeji. a-e.
- 67604 – Rienzi, der letzte Tribun. a-b.
- 67605 – Nacht und Morgen. a-b.
- ~~67606~~ **Lubbock**, Die Freuden des Lebens.
- 67607 **Locke**, Carlotta.
- 67608 **Little**, Die Dame mit dem Orden. (s. a. Grenzboten 1909).
- 67749 **Marryat**, Die drei Kutter.
- 67751 – Peter Simpel. a-b.
- ~~67752~~ – Japhet, der seinen Vater sucht. a-b.
- 67753 **Milton**, Das verlorene Paradies.
- 67754 **Murray**, Ein Spitzbubengewissen. a-b.
- 67755 **Marshall**, Emma, Eine Lilie unter Dornen.
- 67756 – Geduldig in Hoffnung.
- 67757-58 **Meredith**, Harry Richmonds Abenteuer. 2 Bde.
- 68100 **Ottomeyer**, Sherlock Holmes. Eine Detektiv-Komödie nach Conan Doyle.
- 68101 **Ossian**, Gedichte.
- ~~68102~~ **Quida**, Verfehltete Spekulationen.
- ~~68103~~ – Lady Dorotheas Gäste.
- ~~68104~~ **Ottolengui**, Rodrigues, Der Kameenknopf.
- ~~68105~~ **Poe** (Edgar Allan) Ausgewählte Novellen.
- ~~68500~~ **Riotte**, Soll und Haben in Amerika. Bekenntnisse eines Fälschers.
- 68501 **Rümelin**, Tim. a-b.
- 68502 **Reade**, Ein gefährliches Geheimnis.
- 68503 **Robinson**, Jung-Nin, Roman aus der Artistenwelt,

- 166 -

- 68504 **Rockefellers Memoiren**, Autorisierte Uebersetzung.
Walter Scott, Ausgewählte Romane, Mit Einleitung, Anmerkungen u. Illustrationen. (Grote). 12 Bde.
- ~~68739~~ - I. Quentin Durward.
~~68740~~ - II. J[~~J~~]vanhoe.
~~68741~~ - III. Der Altertümler.
~~68742~~ - IV. Der Talisman.
68743 - V. Der Presbyterianer.
68744 - VI. Guy Mannering.
68745 - VII. Waverley.
68746 - VIII. Kenilworth.
68746 - IX. Das Herz von Midlothian.
~~68748~~ - X. Der Abt.
~~68749~~ - XI. Die Braut von Lammermoor.
~~68750~~ - XII. Das schöne Mädchen von Perth.
68751 - J[~~J~~]vanhoe. (Reclam.) a-b.
68752 - Woodstock oder der Ritter.
68753 - Kenilworth. (Reclam.)
~~68754~~ - Quentin Durward. (Reclam.)
~~68755~~ - Die Braut von Lammermoor.
68756 - Waverley oder: Es ist sechzig Jahr her. a-b.
68757 - Das Kloster.
68758 - Der Abt.
68759 - Guy Mannering.
~~68760-61~~ - Robin der Rote. 2 Bde.
68762 - Der Talisman.
68766-77 **Shakespeare**, Sämtliche dramatische Werke. (Cotta.) ~~a-b~~. 12 Bde.
68778-80 - Dramatische Werke. (Reclam.) a-b. 3 Bde.
68783 **Berger**, Wie das „Wintermärchen“ entstand.
68784 **Savage**, Die Hexe von Harlem. a-c.
68785 **Sterne**, Lawrence, Empfindsame Reise durch Frankreich und Italien. «山形大中圖」?
- 68786 **Stowe**, Onkel Toms Hütte_[1] a-b. «山形大中圖」?
- 68787 **Swift**, Jonathan, Gullivers Reisen. (Reclam.) a-b. «山形大中圖」?
- 68788 **Stevenson**, Die Schatzinsel. «福島圖研」
- 68789 **Sims**, Möblierte Wohnungen. a-b.
68790 **Die Sozialisten**. Deutsch von R. Horn. *ab*
68791 **Sinclair**, Der Sumpf. Roman aus den Schlachthäusern Chicago's. ~~aB~~-c.
68792 **Smiles**, Samuel, Der Charakter.
68795-96 **Stuart**, Der Staatsminister. 2 Bde.
68797 **Stacpoole**, Fanny Lambert.
68798 - Der Bourgeois.

- 68799-800 **Stanley, Henry Morton**, Mein Leben. (Selbstbiographie, Tagebücher und Aufzeichnungen). 2 Bde. 1911.
- 69201 **Tennyson, Alfred, Enoch Arden**. a-b.
- ~~69204~~ **Tagebuch** eines bösen Buben.
- ~~69205~~ **Mark Twain, Tom Sawyers Abenteuer und Streiche**.
- ~~69206~~ – Huckleberry Finns Abenteuer und fahrten.
- 69207 – Ausgewählte Skizzen. a-b.
- 69208 – Skizzenbuch.
- 69209 – Auf dem Mississippi.
- 69210 – Reisebilder.
- Meine reise um die Welt. [s.] VII. A 5426.
- 69221-22 **Thackeray, Der Jahrmarkt des Lebens**. 2 Bde.
- 69223 – Das Snobsbuch.
- 69501 **Yorke, Um des Kindes Willen**.
- 60[09]551 **Wallace, Ben Hur**. a-b. s. a. 34030.
- 69552 **Wilsemann, Fabiola oder Die Kirche der Katakomben**.
- ~~69553~~ **Ward, Geschichten von Drüben**. Aus Amerikanischen Leben.
- ~~69554~~ – Mariella. Roman.
- ~~69555~~ **Wilde (Oscar), Das Bildnis von Dorian Grey**.
- 69556 – Salome. Tragödie.
- 69560 **Walsh, Das Geheimnis des Arztes**. Bekenntnisse eines amerikanischen Einbrechers.
- 69701 **Oliver Goldsmith, von William Black**. a-b.
- 69702 **William M. Thackeray, von Anthony Frollope**. a-b.
- 69703 **Daniel Defoe, von William Minto**. a-b.
- Taine, Histoire de la littérature anglaise** s. XIII B 70758-62.

«佐賀大附圖»

«佐賀大附圖»

«佐賀大附圖»

[B. Romanische Literatur.]

[1.] Französische Literatur.

- 70000 **About, Die Spielhöhle in Baden-Baden**.
- 70004 **Alane, Bal blanc**. Nouvelle.
- 70005 **Augier, Die Unverschämten**. Schauspiel.
- 70006 **Audoux, Marie Claire**, deutsch von O. Wohlbrück.
- 70009 **Auriol, Jai tué ma bonne**.
- 70010 **Balzac, Honoré de, Oberst Chabert**.
- 70011 – Das Chagrinleder. a-b.
- 70012 – Die Frau von 30 Jahren.
- 70013 – Vater Goriot.
- 70014 – Die Chouans.
- 70015 – Die Blutrache. a-b.
- 70021 **Becher, Was der heilige Joseph vermag**.

«金澤大附圖»

- 70022 **Bruhat**, Ein Paria. a-b.
 70023 **Bruno**, Les enfants d'une gneuse.
 70031 **Carette**, Mémoires de Madame de Motteville. (Louis XIII.)
 70032 **Champol**, Goldene Blumen.
 70033 **Chantepleure**, Blütenumrankte Ruinen.
 70034 – Eine Heiratskomödie.
 70037 **Charlemont**, Marines. Nouvelles.
 70038 **Cheneviere**, Frauenehre.
 70039 **Cherbuliez**, Jean Teterols J[?]dee.
 70040 – Reich geworden.
 70045 **Claretie**, Das Auge der Toten.
 70046 – Die Cigarette und anderes_[,] a-b.
 70047 – Jean Mornas.

– 168 –

- 70051 **Combe**, Der arme Marcel.
 70052 – Electrac-Electric.
 70071 **Daudet**, Alphonse, Briefe aus meiner Mühle. a-c.
 70072 – Fromont jun. u. Risler sen. a-(b. Fromont jeune et Risler ainè).
 70073 – Jack. Deutsch von Müllenhoff. a-c.
 70074 – Künstlerfrauen.
 70075 – Die Abenteuer des Herrn Tartarin von Tarrascon.
 70076 – La belle Nivernaise.
 70077 – Souvenirs d'un homme de lettre.
 70081 **Delpit**, Ein Mutterherz.
~~70082~~ **Diderot**, Die Nonne, Sittenroman aus dem 15. Jahrhundert.
 70083 **Dumas**, Alexander, Die drei Musketiere. a-b.

«金澤大中圖»

- ~~70084-85~~ – Zwanzig Jahre später (Fortsetzung von „Die drei Musketiere“).
 70086-87 – Der Graf von Monte Christo. 2 Bände. *ab*
~~70088~~ – Die schwarze Tulpe.
 70089 – Kean. Lustspiel.
 70090 – Die Fräulein von St. Cyr. Lustspiel.
 70091 – Die Cameliendame. Schauspiel.
 70092 – Akte. Historischer Roman aus der Zeit Neros. ~~a-b~~.
 70110 **Eitner**, Töpfers Rosa und Gertrud.
 70111 **Erckmann-Chatrian**, Geschichte eines anno 1813 Conscribierten_[,] a-b.
~~70112~~ – do Rekruten von 1813.
 70113 – Freund Fritz.
 70114 – Madame Therese.
 70115 – Der berühmte Doktor Mattheus.

«山形大中圖»?

- ~~70116~~ **Farrère**, Kulturmenschen.
 70132-33 **Ferry**, Der Waldläufer. 2 Bände.

- 70134 **Feuillet**, Histoire de Sibylle.
 70135 **Feydeau**, Occupe-toi d'Amélie! Pièce en trois actes.
 70136 **Flaubert**, Salambo.

~~70137~~ – Madame Bovary.
 70141 **Floran**, Le mariage de Clement.
~~70142~~ **Foley**, Tragödien hinter den Coulissen.
~~70143~~ **Formont**, Die Entnervte.
 70161 **Gallet**, Kapitän Satan oder Abenteurer des Cyrano de Bergerac.
 70162 **Gobineau**, Die Renaissance. Historische Scenen.
~~70163~~ – Asiatische Novellen.
 70166 **Guilbert**, Yvette, Die Halbalten (Les demi-vieilles) a-b.
 70169 **Gyp**, Autour du mariage.
 70170 – Autour du divorce.
 70171 – Les Cayenne de Rio.
 70185 **Halevy**, Criquette.

~~70186-87~~ **Hugo**, Victor, Der Glöckner von Notre Dame in Paris. 2 Bände.
 70201 **Kaminsky**, Ame d'un enfant.
 70211 **Lamartine, A. de**. Ausgewählte Dichtungen.
 70212 **Lesage**, Geschichte des Gil Blas von Santillana.

 70213 – Der hinkende Teufel. a-b.
 70214 **Loti, pierre**, Le Roman d'un enfant.
 70225 – Die J[?]slandfischer. a-b.
 70226 – Ramuntcho.
 70227 – Madame Chrysantheme.
 70230 **Lonys**, Sanguines.
 70241 **Mad**, Pilleurs d'épaves. Moeurs maritimes.

「山形大中圖」[?]

「山形大中圖」[?]

「山形大中圖」[?]

- 169 -

- 70243 **Malot**, Daheim. a-b.
 70244 – Heimatlos. a-b.
 70245 – Baccarat.

 70246 – Zita.
 70247 **Makowski**, Madame du titre-**Pailleron**, Die Welt, in der man sich langweilt.
 70250 **Margueritte**, Simple Histoire.
 70251 **Marni**, Stille Existenzen.
~~70252~~ **Mäterlinck**, Monna Vanna. Schauspiel.

「佐賀大附圖」

¹² “⑩タイトル・ページ破損につき記述不可 - 232p.; 15cm”(渡邊 2004., 3 頁), “⑪藏書票 KIAUTSCHOU BIBLIOTHEK 藏書票の下部に Abt: VIII Gr: cA? Ord Nr: 70133 背部に張紙があり, そこには VIII 70133 八九四七 6843? 表紙左上部分と最初のページに雑 1262”(全, 4 頁).

- 70253 – L'oiseau bleu. Féerie en trois actes.
- 70257 **Maupassant**, Une vie. a-b.
- 70258 – Mont Oriol.
- 70259 – Ausgewählte Novellen.
- 70260 – Zwei Brüder.
- ~~70261~~ – Der Tugendgreis.
- 70262 – Stark wie der Tod.
- ~~70263~~ – Monsieur Parent (Deutsch).
- 70270 **Mendes**, Novellen.
- 70271 **Merrimée**, Lettres à une inconnue.
- 70272 – Carmen. Colomba. Zwei Novellen.
- 70274 **Mirbeau**, Die Badereise eines Neurasthenikers.
- 70275 – Der Abbé.
- ~~70276~~ – Sebastien Roch.
- 70277 **Molière**, L'avare. a-b.
- 70278 – Le Misanthrope. Les femmes savantes.
- 70279 – Le Tartuffe_[.] a-b.
- 70280-81 **Molière**, Sämtliche Werke. 2 Bände_[.] a-b. (Reclam).
- 70287 **Monnier**, Neapolitanische Novellen.
- 70288 **Montesquieu**, Persische Briefe.
- 70291 **Murger**, Zigeunerleben.
- ~~70311~~ **Ohnet**, Schwarz und Rosig.
- 70312 – Die Seele Pierres. a-b.
- 70313 – Der Pfarrer von Favières. a-b.
- 70314 – Der rote Kurs.
- 70315 – Sergius Panin.
- 70316 – Letzte Liebe.
- 70317 – Das Recht des Kindes.
- 70318 – Dr. Romeau.
- ~~70319~~ – Die lichtscheue Dame.
- 70320 – Gräfin Sarah. a. Roman b. Schauspiel.
- 70321 – Der Hüttenbesitzer.
- 70322 – Der Steinbruch.
- 70323 – Die Damen von Croix-Mort.
- ~~70324~~ – In der Tiefe des Abgrundes.
- 70325 – Im Schuldbuch des Hasses.
- 70340 **Pascal**, Gedanken.
- 70343 **Picard**, La fugitive-Comédie-Guitry, Le veilleur de nuit Comédie-Flers, Papa, Comédie.
- 70344 **St. Pierre**. Paul und Virginie. a-b.
- 70345 **Portoriche**, Le vielle homme. Pièce en 3 actes.
- 70346 **Posadowska**, Eine romantische Heirat.
- 70361 **Rameau**, Die letzten aus dem Hause Montberthier.
- 70362 **Revillon** L'exilé.
- 70363 **Rostand**, Cyrano de Bergerac. Deutsch von L. Fulda. Komödie.

- 70364-65 **Rousseau, Jean Jacques**, Bekenntnisse. 2 Bände.
 70366-67 – Emil oder über die Erziehung. 2 Bände.
~~70381~~ **Sand, George**, Die Grille. Dorfgeschichte.
 70386 **Sardou, Cyprienne**. Lustspiel.
 70391 **Scribe, Feenhände**. Lustspiel.
 70395 **Ségur, Comte de**, Napoleon à Moscou et le passage de la Beresina 1812
~~70396~~ **Simont, La donceur de vivre**.
 70397-98 **Stael, Frau von**. Ueber Deutschland. 2 Bde.
 70399-400 **Stendhal, Henry Beyle**, Rot und schwarz. Eine Chronik des 19. Jahrhunderts. 2 Bände.
 «東北大附圖分館»
~~70401-02~~ – Die Kartause von Parma. 2 Bände.
 «東北大附圖分館»
 70403 **Sousa, Madame de**, Oeuvres.
 «東北大附圖分館»
~~70404~~ **Sue, Die Geheimnisse von Paris**.
 70430 **Theuriet, Der Process Froideville**.
 «東北大附圖分館»
 70431 **Tillier, Mein Onkel Benjamin**.
 «東北大附圖分館»
 70432 **Tinseau, Eine Sirene**.
 «東北大附圖分館»
 70433 – Das beste Teil.
 «東北大附圖分館»
 70436 **Vast [-]Ricouard. Le chef de gare**.
 «東北大附圖分館»
 70437 **Veber, La Gamine. Comédie-Wolff, Les marionettes. Comédie-Capus, L'aventurier Comédie**.
 «東北大附圖分館»
 70438 **Verhaeren, Le cloitre.-Tragédie**.
 «東北大附圖分館»
 70439 **Verne, Jules**, Reise um die Erde in 80 Tagen. ~~a-b~~abcd.
 «東北大附圖分館»
 70440 – Reise nach dem Mittelpunkt der Erde.
 «東北大附圖分館»
 70441 – Reise um den Mond.
 «東北大附圖分館»
~~70442~~ – Das Karpathenschloss.
 70443 – Die 500[~~500~~fünfhundert] Millionen der Begum.
 «東北大附圖分館»
 70444-45^{AC} – Der Courier des Czaren. 2 Bände. ~~a-e~~
 «東北大附圖分館»
 70446-48 – Die Kinder des Kapitän Grant. 3 Bände. a-c.
 «東北大附圖分館»
 70449-51 – Die geheimnisvolle Insel. 3 Bände. ab
 «東北大附圖分館»
 70452 – Von der Erde zum Mond.
 «東北大附圖分館»

- 70501 – Die Erdbeeren. «京都大總人圖»
- 70601 **Le livre d'[Or de l']exposition de 1900.** «京都大總人圖»
- 70602 **Huret, Ein Allemagne. I. Rhin et Westphalie.** «京都大總人圖»
- 70603 – II. De Hambourg aux marches de Pologne. «京都大總人圖»
- ~~70604~~ – III. Berlin.
- 70753-54 **Geruzez, Eugène_[1], Histoire de la littérature française depuis ses origines à la revolution. Bd. 1-2.** «京都大總人圖»
- 70755 – Histoire de la littérature française pendant la révolution. «金澤大中國»
- 70756-57 **Schmidt, Julian, Geschichte der Französischen Literatur. Bd. 1-2.** «金澤大中國»
- 70758-62 **Taine, H., Histoire de la littérature anglaise. Bd. 1-5.** «金澤大中國»
- ~~70801-13~~ 7020-535 – Revue des deux mondes. ↓Janvier 1881. fehlt)
Jahrgänge 1873-1886. Teilweise ungebunden in Heften. 335 Hefte. (70392. R. d. d. m. 1^{er}
70200-217 «金澤大中國»
- ~~70815-62~~ 70536-55 – 1889-1892. gebunden in 18 Bänden.

2. Italienische Literatur.

- 72101-02 **Ariosto, Ludovico. Rasender Roland. Bd. 1-2. a-b.** «京都大附圖»
- 72103 **E. de. Amicis, Eine Schultragödie. a-b.** «京都大附圖»
- 72104 **d'Annunzio, Die tote Stadt. Tragödie.** «京都大附圖»
- 72112-13 **Bojardo, Verliebter Roland.** «京都大附圖»
- 72115 **Colombi, Marchesa, Ein Ideal.** «京都大附圖»
- 72118 **Dante, Göttliche Komödie. a-b.** «京都大附圖»
- 72120 – Das neue Leben und die gesamten lyrischen Gedichte. «京都大附圖»
- 72121 **Deledda, Elias Portolu. Roman.** «京都大附圖»
- 72125 **Formà, Mein Sohn.**
- 72131 **Grossi, Tommaso, Marco Visconti.** «京都大附圖»
- 72135-36 **Manzoni, Alexander, Die Verlobten. Bd. 1-2.** «京都大附圖»
- 72143 **Tasso, Torquato, Befreites Jerusalem.** «京都大附圖»
- 72147 **Memini, Marchese d'Arcello.**

72148	Pierantoni-Mancini, Lydia.	«京都大附圖»
72150	Verga, G., Ihr Gatte. a-b.	«京都大附圖»
72152-53	Nievo, Erinnerungen eines Achtzigjährigen. Bd. 1-2.	«京都大附圖»
72154	Grundlach, Italienische Lyrik.	«京都大附圖»
72156	Ada negri, Schicksal.	«京都大附圖»
72157	– Stürme.	«京都大附圖»
72158	Giusti, Gedichte, deutsch von Paul Heyse.	«京都大附圖»

3. Spanische u. portugiesische Literatur.

73102	Calderon, de la Barca, Das Leben ein Traum.	«京都大附圖»
73106	Camo[õ]ens, Louis de, Die Lusiaden.	«京都大附圖»
73112-13	Cervantes-Saavedra, Der scharfsinnige Junker Don Quijote von der Mancha.	«京都大附圖»
73114	Alarcon, Der Dreispitz.	«京都大附圖»
73115	– Kapitän Veneno. a-b.	«京都大附圖»
73116	Valera, Die J[H]llusionen des Doktors Faustino.	
73117	Lous, Gori, der Rebell.	«京都大附圖»
73118	Pardo-Bazan, Adam und Eva.	«京都大附圖»
73120	Das Liederbuch vom Cid , verdeutscht v. Regis.	

– 172 –

C. Slavische und ungarische Literatur.

78000	Polonsky, Geschichte der russischen Literatur. 1902 (S. Göschen).
78001	Dostojewsky, Schuld und Sühne. a-c.
78002	– Memoiren aus einem Totenhaus. a-b.
78003	– Die Unbekannte.
78004	– Der Spieler. Aus den Erinnerungen eines jungen Mannes.
78005	– Tollhaus oder Herrenhaus. a-b.
78006	– Weisse Nächte.
78007	Artzibaschew, Ssanin. Roman.
78009	Gogol, Die toten Seelen.

- 78010 – Taras Bulba, der Kosakenhetman.
78011 – Nikolaus, Phantasien und Geschichten.
78012 **Garschin**, Nadeschda Nikolajewna.
78013 **Danilewski**, Die Nonnenklöster in Russland. Roman.
78014 – Die Pioniere des Ostens.
78015 – Potemkin an der Donau.
78021 **Korolenko**, W., Der blinde Musiker.
78022 – Alt-Savan.
78023 – Sibirische Novellen.
78025 **Kraszewski**, Der Dichter und die Welt.
78031 **Lermontoff**, Michael J., Ein Held unserer Zeit.
78032 – Gedichte.
78033 **Melschin**, Im Reiche der Ausgestossenen. Aus den Memoiren eines sibirischen Sträflings.
78041 **Nemirowitsch-Dantschenko**, Wassily, Die Fürsten der Börse.
~~78050~~ **Orloffsky-Golowin**, Die Nihilistin.
78051 **Puschkin**, Alexander, Ausgewählte Novellen.
78052 – Die Hauptmannstochter.
78054 – Onegin. Roman in Versen. a-b.
~~78055~~ – Gedichte.
78056 – Dubrowsky.
~~78070~~ **Radionow**, Unser Verbrechen. Erlebtes – nicht Erdachtes. Roman aus dem russischen Volksleben.
78071 **Salias**, Leonida. Russische Kriminalnovelle.
78072 **Sollogub**, Vornehme Welt.
78081 **Tolstoi**, Graf Leo, Der Leinwandmesser und andere Geschichten.
78082-83 – Anna Karenina. (Reclam.) Bd. 1 a-b. Bd. 2. «山形大中國»?
78084-86 – Anna Karenina. (Deubner.) Bd. 1-3.
73[38]087 – Die Kosaken. Erzählung aus dem Kaukasus. «山形大中國»?
78088 – Sebastopol.
78089 – Volkserzählungen. «山形大中國»?
78090-91 – Krieg und Frieden. «山形大中國»?
78092 – Volkserzählungen. a-b. «山形大中國»?
78093 – Die Kreuzer-Sonate.
78094 – Auferstehung. «山形大中國»?
~~78095~~ – Iwan der Dummkopf.
78096 – Herr und Knecht.
Seuron, Anna, Graf Tolstoi s. XII_[1] A. 30478.
78118 **Tschechow**, Ein Duell. Novelle.
78119 – Die Hexe und andere Novellen.
78120 **Turgenjew**, Iwan, Vater und Söhne. a-b. «山形大中國»?

78121	- Ein König Lear der Steppe. a-b. – Erste Liebe. Novellen.	«山形大中圖»?
- 173 -		
78122	- Frühlingswogen. a-b.	«山形大中圖»?
78123	- Dunst. a-b.	«山形大中圖»?
78124	- Memoiren eines Jägers.	«山形大中圖»?
78125	- Gedichte in Prosa.	«山形大中圖»?
78126 ^B -27	- Federzeichnungen eines Jägers. a-b.	
78128	- Erzählungen eines alten Mannes.	
78129	- Bunin und Baburin.	«山形大中圖»?
78130	- Leutnant Jergunows Abenteuer.	
78131	- Neuland.	
78132	- Die neue Generation. a-b.	«佐賀大附圖»
78141	Wereschagin, W. W. , Lebenserinnerungen. Meine Jugendjahre. a-b.	
78152	Weschtschersky , Fürst Wladimir, Fürstin Lisa und Gri-Gri.	
78160	Gogol , Der Revisor. Lustspiel.	
78170	Gorki, Maxim , Das Ehepaar Orlow. a-b .	
78171	- Der Pilger.	
78172	- Von der Landstrasse und andere Novellen.	
78173	- Nachtsyl. Drama.	
78174	- Novellen (I: Die alte Iselgil, Konowalow etc).	
78175	- (II: Mein Reisegefährte, der Vagabund etc).	
78176	- Freunde.	
78177	- Geld. Erzählung.	
78178	- Die Geschichte eines Verbrechens u. anderes.	
78179	- Tschelkasch. Melva. Novellen.	
78180	- Ein Vagabund.	
78181	- Russische Soldatengeschichten.	
79001	Mickiewicz , Adam, Balladen und Romanzen. Aus dem Polnischen.	
79002	- Konrad Wallenrod. Polnisches Epos.	
79005	Sienkiewicz , Zersplittert. Aus dem Kiewer Studentenleben.	
79006	- Mit Feuer und Schwert. Historischer Roman _[.] a-b.	
79007	- Die Kreuzritter.	
79008	- Hanna.	
79009	- Strudel. Roman.	
79010	- Die Sturmflut. Histor. Roman.	
79011-12 ^B	- Quo vadis? Roman aus der Zeit des Kaiser Nero. a-b. (ab. je 2 Bände c-e. in einem Bande).	«佐賀大附圖»
79013	- Der kleine Ritter.	

- 79014 - Ums liebe Brod u. andre Novellen.
79202 **Eötvös, Jos. v.**, Der Dorfnotar.
~~79203~~ - Die Müllerstochter.
79212 **Jokai**, Was der Totenkopf erzählt.
79213 - Die Dame mit den Meeraugen. Aus dem Ungarischen.
79214 - Ein ungarischer Nabob.
79215 - Traurige Tage. ~~a-b~~.
~~79216~~ - Ein Goldmensch.
79217 - Die goldene Zeit in Siebenbürgen.
79218 - Zoltan Karpathi, der Sohn des Nabob. a-b. «佐賀大附圖»
- 79219 - Der Gefangene der sieben Türme. a-b.
~~79220~~ - Die letzten Tage der Janitscharen.
79221 - Schwarze Diamanten.
79222 - Das namenlose Schloss. «佐賀大附圖»
- 79224 **Mikszath**, Das Dorf ohne Männer.
79231 **Madach**, Die Tragödie des Menschen. Aus dem Ungarischen.
79232 **Petőfy, Alexander**, Gedichte. Aus dem Ungarischen.
~~79501~~ **Sacher-Masoch, Basyl**, der Schatzgräber und andere seltsame Geschichte.n[=an.] a-b.
- 174 -
- 79505 **Spicer, Mavro**, Blätter und Blüten aus Kroatiens Gauen. a-b.
79508 **Mazuranic**, Schattenbilder. a-b.

D. Orientalische Literatur.

- 80012 **Kin-Ku-Ki-Kuan**, Chinesisches Novellenbuch. Deutsch von Ed. Grisebach.
«[∇]陸軍士官校»
- 80014 **Buddhas** Leben und Wirken. Nach der chinesischen Bearbeitung. In deutsche Verse übertragen von Schulz. a-b. auch II. A.
«[∇]陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 80020 **Schi-king**, Das Kanonische Liederbuch der Chinesen. Uebersetzt und erklärt von Victor von Strauss.
«[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 80021 **Grube, Wilhelm**, Geschichte der chinesischen Literatur.
«[∇]陸軍士官校»
- 80022 **Forke**, Blüten chinesischer Dichtung. 1899.
«[∇]陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 80023 **Bethge**, Die chinesische Flöte. 1907.
«[∇]陸軍士官校»
- 80024 **Grisebach**, Chinesische Novellen verdeutscht.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~80025~~ **Ku Hung Ming**, Papers from a Viceroy's Yamen.
- 80026 **Kungfutse Gespräche**, Aus dem Chinesischen verdeutscht u. erläutert von R. Wilhelm. 1910.
«[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- 80030 **Lao-Tse, Tao-Te-King**, Der Weg zur Tugend.
«[∇]陸軍士官校» «防衛大圖»
- ~~80031~~ - Tao-Te-King. Das Buch des Alten vom Sinnen und Leben, verdeutscht von R. Wilhelm.

- 81501-03 **Langeegg**, Midzuho-Gusa. Segenbringende Reisähren. Nationalroman u. Schilderungen aus Japan.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 81504 **Werner**, In Liebesbanden. Nach Bakins japanischem Roman übersetzt.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 81505 **Schunsui**, T., Treu bis in den Tod. Historischer Roman aus Japan. a-b.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 82001 **Beyer**, (C. Byr), Orientalische Novellen nach den schönsten Sagen aus Indien und Iran. a-b.
 «^v陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 82003 **Cudraka**, Vasantasena oder das irdene Wägelchen. Ein indisches Schauspiel.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 82004 **Hitopadesa**, Die freundliche Belehrung. Eine Sammlung indischer Erzählungen und Sprüche.
 «^v陸軍士官校»
- 82005 **Fritze**, Ludwig, Indische Sprüche.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- Confucius** u. seine Lehre s. II_[1] 2506-02[28²]; 2532 (Nachtrag).
 «陸軍士官校»
- 82006 **von Schack**, Strophen des Omar Chijam.
 «^v陸軍士官校»

E. Altklassische Literatur.

- 84001-02 **Herodots** Geschichten. Bd. 1-2.
 «^v陸軍士官校»
- 84012 **Homers** Werke. Uebersetzt von J. H. Voss. (Reclam.)
 «^v陸軍士官校»
- 84014 – Die Ilias. Uebersetzt von J. H. Voss. (Hendel.) a-b.
 «^v陸軍士官校»
- 84015 – Odyssee. Uebersetzt von J. H. Voss. (Hendel.) a-b.
 «^v陸軍士官校»
- 84021 **Musaeos**, Hero n[au]nd Leander. Epos, übersetzt von Ottmann.
 «^v陸軍士官校»
- 84031 **Aischylos**, Verdeutscht von H. v. Wolzogen.
 «^v陸軍士官校»
- 84042 **Sophokles**, Dramen. Uebersetzt von Georg Thudichum.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 84043 – Oedipus, übersetzt von Wilamowitz-Moellendorff.
 «^v陸軍士官校»
- 84061-64 **Plutarchs** vergleichende Lebensbeschreibungen. Bd. 1-2. 4-7. 8-10. 11-12.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 84071 **Freund**, Präparationen zu Thucydides Werken. I. Kap. 1-41.
 «^v陸軍士官校»
- 84201 **Ovidius**, Verwandlungen.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 84202 – Heroiden.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
- 175 -
- 84221 **Cornelius Nepos**, Biographien ausgezeichneter Feldherren.
 «^v陸軍士官校»
- 84232 **Horaz**, Sämtliche Werke, übersetzt von Joh. Heinr. Voss.
 «^v陸軍士官校» «埼玉浦和圖»

84241 **Seneca**, Ausgewählte Schriften.

«[∇]陸軍士官校»

84249 **Tacitus**, Historien.

«[∇]陸軍士官校»

84250 – Annalen.

«[∇]陸軍士官校»

84251 – Germania.

«[∇]陸軍士官校»

84252 **Vergil**, Aeneide.

«[∇]陸軍士官校»

«埼玉浦和圖»

XIV. A. Kunst u. Kunstgeschichte.

84501 **Deutsche Kunst und Dekoration**. 1898. Bd. II.

«[∇]陸軍士官校»

84502-3 – 1903. 2 Bde.

«[∇]陸軍士官校»

~~84504~~ – 1904. Bd. II.

84505-6 – 1905. 2 Bde.

«[∇]陸軍士官校»

84507-8 – 1906. do

«[∇]陸軍士官校»

~~84509~~-10 – 1907. do

84511-12 – 1908. do

«[∇]陸軍士官校»

84513-14 – 1909. do

«[∇]陸軍士官校»

84515-16 – 1910. do

«[∇]陸軍士官校»

~~84517~~ – 1911. Bd. I.

84521 **Die Kunst für Alle** Jahrgang 1888-1889.

«[∇]陸軍士官校»

84522 – 1902-1903.

«[∇]陸軍士官校»

84523 – 1903-1904.

«[∇]陸軍士官校»

~~84524-25~~ – 1907_[1] 2 Bde.

84526 – Oktober-Dezember 1907.

«[∇]陸軍士官校»

84527 **Die Kunst** 1908_[1] Bd. I. (enthält die Nummern 4-6).

«[∇]陸軍士官校»

84528 – 1908. (Angewandte Kunst). Bd. I. a-b.

«[∇]陸軍士官校»

~~84529~~ – 1909. (Freie Kunst). Bd. I. a-b.

84530 – 1909. Bd. II.

«[∇]陸軍士官校»

84531-32 – 1910. 2 Bde.

«[∇]陸軍士官校»

- 84533 – 1911. Bd. I.
«[∇]陸軍士官校»
- 84540 **Zeitschrift des Kunstgewerbe-Vereins zu Hamburg** 1892-93
«[∇]陸軍士官校»
- 84541 – – 1893-94
«[∇]陸軍士官校»
- 84542 – – 1894-95
«[∇]陸軍士官校»
- 84543 – – 1895-96
«[∇]陸軍士官校»
- 84544 – – 1896-97
«[∇]陸軍士官校»
- 84545 – – 1897-98
«[∇]陸軍士官校»
- 84546 – – 1898-99
«[∇]陸軍士官校»
- 84547 **Kunstgewerbeblatt** 1900
«[∇]陸軍士官校»
- 84548 – 1901
«[∇]陸軍士官校»
- 84550 – 1902-03
«[∇]陸軍士官校»
- 84551 – 1903
«[∇]陸軍士官校»
- 84552 – 1904
«[∇]陸軍士官校»
- 84553 – 1896/97
«[∇]陸軍士官校»
- 84554 – 1897/98
«[∇]陸軍士官校»
- ~~84567~~ **The Studio** Februar–Mai 1908.
84568 – Juni–September 1908.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~84569~~ – Oktober 1908–Januar 1909.
84570 – Februar–Mai 1909.
«[∇]陸軍士官校»
- 84571 – Juli–September 1909.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~84572~~ – Oktober 1909–Januar 1910.
84573 – Februar–Mai 1910.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~84574~~ **The Studio**, Juni–September 1910.
84575 – Oktober–Januar 1910-11.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~84576~~ – Februar–Mai 1911.

- 84600 **Kunstwart** Januar–März. 1903.
 «[∇]陸軍士官校»
- 84601 – April–September 1903.
 «[∇]陸軍士官校»
- 84602 – Oktober–Dezember 1903.
 «[∇]陸軍士官校»
- 84603 – Januar–März 1904.
 «[∇]陸軍士官校»
- 84604 – 2. Aprilheft 1904–1. Juliheft 1904.
 «[∇]陸軍士官校»
- 84605 – 2. Juliheft–September 1904.
 «[∇]陸軍士官校»
- 84606 – Oktober–Dezember 1904.
 «[∇]陸軍士官校»
- 84607-10 – 1905. 4 Bde.
 «[∇]陸軍士官校»
- 84611-14 – 1906. do
 «[∇]陸軍士官校»
- 84615-187 – 1907. do
 «[∇]陸軍士官校»
- 84619-22 – 1908. do
 «[∇]陸軍士官校»
- 84623-26^{25ヶツ} – 1909. do
 «[∇]陸軍士官校»
- 84627-30 – 1910. do
 «[∇]陸軍士官校»
- 84631-32 – 1911. 2 Bde.
 «[∇]陸軍士官校»
- 84681 **Zeitschrift für Bildende Kunst** 1903.
 «[∇]陸軍士官校»
- 84682 – – 1904.
 «[∇]陸軍士官校»
- ~~85003~~ **Moderne Kunst** Bd. XI
- ~~85004~~ – XX 1906.
- ~~85005~~ – IV
- ~~85006~~ – VI
- ~~85007~~ – VII a-b.
- ~~85008~~ – XIX
- ~~85009~~ – VII (Teil 2)
- ~~85010~~ – I (do 1)
- 85011 – IX (do 1-2)
 «[∇]陸軍士官校»
- ~~85012~~ – X (do 1)
- ~~85013~~ – X (do 2)
 «[∇]陸軍士官校»
- ~~85015~~ **Röckling**, Knoetel u. Friedrich, Die Königin Luise in 50 Bildern. a-b.
- 85016 **Rocholl**, Theodor, Skizzenbuch vom Griechisch-Türkischen Kriegsschauplatze. Sommer 1897.

«埼玉浦和圖»

- «^v陸軍士官校»
- ~~85017~~ **Knoetel**, Richard, Der alte Fritz in 50 Bildern.
- 85018 **Jost**, Ueber die beste Art, Kunstwerke zu betrachten.
- «^v陸軍士官校»
- 85019 **Ruskin**, Vorlesungen über Kunst.
- «^v陸軍士官校»
- 85020 **Künstletheim**, 25 Originalzeichnungen in Feder und Blei, Kreide und Kohle.
- «^v陸軍士官校»
- 85021 **Kurzweil**, und **Zeitvertreib**; Bilder aus dem Leben, 12 Bleistiftzeichnungen von B. Dautier.
- «^v陸軍士官校»
- 85022 **Internationales Künstleralbum**, 40 Lichtdrucke nach Handzeichnungen hervorragender Künstler der Neuzeit.
- «^v陸軍士官校»
- ~~85023~~ **Norddeutsche Landschaften**, 11 Handzeichnungen von G. Meissner.
- ~~85024~~ **Internationale Kunstausstellung** zu München 1883, mit 8 Photographien.
- 85028 **Röc[e]hling**, Otto v. Bismarck. a-b.
- «^v陸軍士官校»
- 85031 **Allers**, C. W., Spreeathener, Berliner Bilder.
- «^v陸軍士官校»
- 85035 **Bohrdt**, Hans, Deutsche Flottenbilder.
- «^v陸軍士官校»
- 85036 **Taubert**, Die Schlachtfelder von Metz. Ansichten und Bilder.
- «^v陸軍士官校»
- 85038 **Boeck**, K., Himalaya-Album.
- «^v陸軍士官校»
- 85301-02 **Cohn-Wiener**, Die Entwicklungsgeschichte der Stile in der bildenden Kunst. 2 Bde. A. N. u. G.
- «^v陸軍士官校»
- 85303 **Hach**, Kunstgeschichtliche Wanderungen durch Berlin.
- «^v陸軍士官校»
- 85304 **Wölfflin**, Die Klassische Kunst Einführung in die Italienische Renaissance 1908.
- «^v陸軍士官校»
- 177 -
- 85305 **Müller**, Hans, Wilhelm Kaulbach. 1. Bd.
- «^v陸軍士官校»
- 85306-7 **Grimm**, Hermann, Leben Michel Angelos. 2 Bde.
- «^v陸軍士官校»
- 85308 **Bouffier**, Fr. u. H., Das National-Denkmal auf dem Niederwald.
- Künstler-Monographien**, herausgegeben von Knackfuss.
- «^v陸軍士官校»
- ~~85310~~ **Michel Angelo** von Knackfuss
- ~~85311~~ **van Dyck** do do
- 85312 **Worpswede** do Rilke
- «^v陸軍士官校»
- ~~85313~~ **Leonardo da Vinci** von A. Rosenberg
- ~~85314~~ **Murillo** do Knackfuss
- ~~85315~~ **Raffael** do do
- ~~85316~~ **Tizian** do do

«防衛大圖»

«埼玉大圖»

- 85317 **Goya** do Oertel
- 85318 **A. Hildebrand** do Heilmeyer
- 85319 **Hokusai** do Perzynski
- 85321 **Richter, Ludwig, von V. Paul Mo hn. a-b.**
- 85322 **Defregger, von Adolf Rosenberg.**
 «^v陸軍士官校»
- 85323 **Botticelli, von Ernst Steinmann.**
- 85324 **Schwind, M. von, von Friedrich Haack. a-b.**
 «^v陸軍士官校»
- 85325 **Rethel, von Max Schmid. a-b.**
- 85326 **Klinger, von Max Schmid.**
- 85327 **Stuck, von Otto Julius Bierbaum.**
- 85328 **Liebermann, von Hans Rotenhagen.**
- 85329 **Thoma, von Fritz von Ostini. a-b.**
 «^v陸軍士官校»
- 85330 **Leibl, von Georg Gronau.**
- 85331 **Burne-Jones, von O. von Schleinitz.**
- 85332 **Uhde, von Fritz von Ostini. a-b.**
- 85333 **Wereschtschagin, von E. Zabel.**
 «^v陸軍士官校»
- 85334 **A. von Menzel, von Knackfuss.**
 «^v陸軍士官校»
- 85335 **Lenbach, von A. Rosenberg.**
- 85336 **Böcklin_[j], von F. von Ostini.**
 «^v陸軍士官校»
- 85337 **F. A. von Kaulbach, von A. Rosenberg.**
- 85338 **Cornelius, von Eckert.**
 «^v陸軍士官校»
- 85339 **Thorwaldsen, von A. Rosenberg.**
- 85341-43 **Woermann, Geschichte der Kunst aller Zeiten und Völker. 3 Bde.**
- 85344 **Broecker, Magdalene von, Kunstgeschichte im Grundriss.**
- 85345 **Lübke-Semrau, Die Kunst des Altertums. 1899.**
- 85346 – Die Kunst des Mittelalters. 1901.
- 85347 – Die Kunst der Renaissance in Italien u. im Norden_[j] 1903.
- 85348 – Die Kunst der Barockzeit und das Rococo. 1905.
- 85349 **Lübke-Haack, Die Kunst des XIX Jahrhunderts. 1905.**
- 85350-54 **Muther, Geschichte der Malerei. 5 Bdchn. (S. Göschen).**
 «^v陸軍士官校»
- 85355-57 – Geschichte der Malerei im 19. Jahrhundert. 3 Bände.
 «^v陸軍士官校»
- 85358 **Corinth, (Luis), Ueber das Erlernen der Malerei. Ein Handbuch. 2 Aufl.**
- 85359 **Kurz, (Isolde), Die Stadt des Lebens (Florentinische Renaissance.)**
 «^v陸軍士官校»
- 85360 **Lichtwark, Blumenkultus. 1907.**
 «^v陸軍士官校»
- 85361 **Lichtwark, Alfred, Uebungen in der Betrachtung von Kunstwerken.**

- «^v陸軍士官校»
85362 **Klinger, Max**, Malerei und Zeichnung.
«^v陸軍士官校»
85363 **Buls**, Aesthetik der Städte.
«^v陸軍士官校»
85364 **Matthaei, A.**, Deutsche Baukunst im Mittelalter. a-b. (2. Aufl.).
«^v陸軍士官校»
85365 **Sitte**, Der Städte-Bau nach seinen Künstlerischen Grundsätzen.
«^v陸軍士官校»
85366 **Streiter**, Architektonische Zeitfragen.
«^v陸軍士官校»
~~85367~~ **Scheffler**, Moderne Baukunst.
~~85368~~ **Haendke**, Kunstanalysen aus ff. 19. Jahrhunderten. Ein Handbuch zur Betrachtung von Kunstwerken.
- 178 -
- 85369-70 **Kunsthistorische Bilderbogen** zur Geschichte der Kostüme. 119 Bogen mit 476 Bildern. München. Braun und Schneider.
«^v陸軍士官校»
85371 **Beissel**, Gefälschte Kunstwerke. 1909.
«^v陸軍士官校»
85372 **Schultze-Naumburg**, Studium u. Ziele der Malerei.
«^v陸軍士官校»
85373 – Häusliche Kunstpflege.
«^v陸軍士官校»
85374 – Paul, Kulturarbeiten. Bd: 1: Hausbau.
«^v陸軍士官校»
85375 – – II: Gärten.
«^v陸軍士官校»
85376 – – Bd. IV: Städtebau.
«^v陸軍士官校»
85377 – V: Kleinbürgerhäuser.
«^v陸軍士官校»
85378 **Bürkner**, Kunstpflege in Haus und Heimat. A. N. u. G.
«^v陸軍士官校»
85379 **Volkman**n, Kunstgenuss auf Reisen.
«^v陸軍士官校»
85380 – Naturprodukt und Kunstwerk. Vergleichende Bilder zum Verständnis des künstlerischen Schaffens.
«^v陸軍士官校»
85381 **Woermann, Karl**, was uns die Kunstgeschichte lehrt. a-b. (4. Aufl.)
«^v陸軍士官校»
85382 **Luthmer**, Deutsche Möbel der Vergangenheit.
«^v陸軍士官校»
85384 **Thode, Böcklin und Thoma**. Acht Vorträge über neudeutsche Malerei.
«^v陸軍士官校»
85385 **Floerke, Gustav**, Zehn Jahre mit Böcklin.
«^v陸軍士官校»

- 85386 **Lichtwark**, Der Deutsche der Zukunft u. andre Aufsätze.
- 85390 **Koeppe**n, Die moderne Malerei in Deutschland.
- 85391 **Lehnert**, Das Porzellan.
- 85392 **Fred**, Die Wohnung und ihre Ausstattung.
- 85393 **Warnecke**, Hauptwerke der bildenden Kunst im geschichtlichen Zusammenhange erläutert.
- 85394 **Springer**, Handbuch der Kunstgeschichte. Bd. IV: Das neizehnte Jahrhundert, bearbeitet von Osborn. 3. Auflage.
- 85395 **Graul**, Ostasiatische Kunst und ihr Einfluss auf Europa. A. N. u. G.
«^v陸軍士官校»
- 85396 **Perzynski**, Der japanische Farbenholzschnitt, seine Geschichte, sein Einfluss.
«^v陸軍士官校»
- 85397 **Lux**, Das neue Kunstgewerbe in Deutschland. 1908.
«^v陸軍士官校»
- 85398 **Wustmann**, Albrecht Dürer. A. N. u. G.
«^v陸軍士官校»
- 85399 **Gurlitt**, Die deutsche Kunst des 19. Jahrhunderts. 3. 1907.
«^v陸軍士官校»
- 85400 **Koch**, Wilhelm Steinhausen, ein deutscher Künstler.
«^v陸軍士官校»
- Berühmte Kunststätten**, herausgegeben von Seemann.
- 85401 **Zabel**, Moskau.
«^v陸軍士官校»
- 85402 **Franz Pascha**, Kairo.
«^v陸軍士官校»
- 85403 **Barth**, Konstantinopel.
«^v陸軍士官校»
- 85404 **Weese**, München.
«^v陸軍士官校»
- 85405 **Philippi**, Florenz.
«^v陸軍士官校»
- 85406 **Suida**, Genua.
«^v陸軍士官校»
- 85407 **Engelmann**, Pompeji.
«^v陸軍士官校»
- 85408 **Osborn**, Berlin.
- 85409 **Petersen**, Athen.
«^v陸軍士官校»
- 85413-15 **Münsterberg**, Japanische Kunstgeschichte. 3 Bde. 1908.
«^v陸軍士官校»
- ~~85416~~ - Japans Kunst. Kurzer Abriss. 1908.
- 85417 - Chinesische Kunstgeschichte. Bd. 1. 1910. a-b.
«^v陸軍士官校»
- 85420 **Paléologue**, L'Art chinois. 1887.
- 85421 **Bushell**, Chinese Art. Vol[.] I.
«^v陸軍士官校»
- 85424 **Grünwedel**, Buddhistische Kunst in J[.]I[.]ndien 1900.
«^v陸軍士官校»
- ~~85425~~ **Seydlitz**, Geschichte des japanischen Farbenholzschnittes. 2. Aufl. 1910.

«防衛大圖»

«埼玉浦和圖»

- 85426 **Baltzer**, Die Architektur der Kultbauten Japans. 1907.
 85427 **Brinkmann**, Kunst und Handwerk in Japan.
 «陸軍士官校» «埼玉大圖»
- 179 -
- ~~831351450-51~~ **Heyck**, Moderne Kultur. Ein Handbuch der Lebensbildung und des guten Geschmacks. 2 Bde. (I: Grundbegriffe. Die Häuslichkeit. II: Die Persönlichkeit und ihr Kreis.) 1907.
 85452 **Schmidt**, Moderne weibliche Handarbeiten und verwndte textile Künste.
 «陸軍士官校»
 85453 **Warlich**, Wohnung und Hausrat. Beispiele neuzeitlicher Wohnräume u. ihrer Ausstattung. 1908.
 85454 **Lessing**, Gold und Silber (Handbuch der Kgl. Museen zu Berlin[]).
 «陸軍士官校»
 85455 **Brüning**, Porzellan.
 «陸軍士官校»
 85498 **Gaehde**, Das Theater. Schauspielhaus und Schauspielkunst.
 «陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
 85499 **Herbst und Wittmann**, Die Dilettantenbühne. 5. Aufl.
 «陸軍士官校»
 85500 **Schutz**, Katechismus für Liebhaberbühnen und Anfänger in der Darstellungskunst.
 «陸軍士官校» «埼玉浦和圖»
 85501 **Führer durch die Ohlmer'sche Sammlung** chinesischer Porcellane nebst Bemerkungen über
 chinesisches Porcellan.
 «陸軍士官校»

B. Musik.

- 85601 **Bremer**, Handlexikon der Musik.
 «陸軍士官校»
~~85601~~ **Kommers-Buch** für den deutschen Studenten.
 85603 **Gluck**, Chr., Armide. (Oper).
 «陸軍士官校»
 85604 **Höcker**, O., Sommernachtstraum.
 85605 **Volbach**, Das moderne Orchester in seiner Entwicklung. A. N. u. G.
 «陸軍士官校»
 85606 **Nohl**, Allgemeine Musikgeschichte.
 «陸軍士官校»
 85607 **Neitzel**, Berühmte Musiker.
 «陸軍士官校»
 85608 **Schumann**, Robert, Gesammelte Schriften über Musik und Musiker. a-b.
 «陸軍士官校» «京都大附圖»
 85609 **Riemann**, Katechismus der Musikgeschichte. 2 Aufl. 1901.
 «陸軍士官校»
 85610 **Storck**, Geschichte der Musik. 1904.
 «陸軍士官校»
 85612-13 **Bulthaupt**, Dramaturgie der Oper.
 «陸軍士官校»
 85614 Kritik der Tonwerke Bd. 1: **Fuchs**, Die Komponisten von Bach bis zur Gegenwart.
 «陸軍士官校» «京都大附圖»
 85616 **Hanslick**, Die moderne Oper. Studien u. Kritiken.

- «陸軍士官校» 85617 **Krebs**, Haydn-Mozart-Beethoven. A. N. u. G. «京都大附圖»
 «陸軍士官校» 85618 **Henning**, Einführung in das Wesen der Musik. A. N. u. G. «京都大附圖»
 «陸軍士官校» 85619 **Spiro**, Geschichte der Musik. A. N. u. G. «京都大附圖»
 «陸軍士官校» 85620 **Pochhammer**, Musikalische Elementar-Grammatik. «陸軍士官校»
 85621 **Pordten**, Beethoven. 1907. «京都大附圖»
 «陸軍士官校» 85624 **Pembaur**, Josef, Harmonie- und Melodielehre. «京都大附圖»
 «陸軍士官校» 85625 **Weiss**, Allgemeine Stimmbildungslehre für Gesang und Rede mit anatomisch physiologischer Begründung. a-b. «京都大附圖»
 «陸軍士官校» 85626 **Bruinier**, Das deutsche Volkslied. «陸軍士官校»
 85627 **Seidl**, Arthur, Moderne Dirigenten. «京都大附圖»
 «陸軍士官校» 85628 **Bücher**, Karl, Arbeit und Rhythmus. «京都大附圖»
 85629 **Bie**, Klavier-Orgel-Harmonium, das Wesen der Tasteninstrumente. A. N. u. G. «京都大附圖»
 85634 **Deye**, Richard, Flagge heraus. Preisgekrönte Komposition. a-b.
 85632-33 **Nohl**, Musikerbiographien. Bd. 1. Wagner, Weber, Schubert. – Bd. 2. Mozart, Beethoven, Liszt. «陸軍士官校»
 85634 **Chamberlain**, Richard Wagner. 4. Auflage. 1907. «京都大附圖»
 85635-36 **Chop**, Erläuterungen zu Richard Wagners Tondramen. 2 Bde. «陸軍士官校»
R. Wagner, Mein Leben s. XII. A. 38870-71.

- 180 -

XV. Bau- und Maschinenwesen.

Technik, industrie.

- 86001 **Huber**, Deutschland als Industriestaat. Stuttgart 1901. «九州大中圖»
 86002 **Blondel**, L'essor industriel et commercial du peuple allemand. Paris 1900. «九州大中圖»
 86003-5 **Geitel**, Der Siegeslauf der Technik. 3 Bde. «九州大中圖»
 86008 **Rotth**, Vom Wesen und Werden der Maschine. 1904. «九州大中圖»
 86009 **Wendt**, Die Technik als Kulturmacht in sozialer und geistiger Beziehung. 1906. «九州大中圖»
 86010 **Freytag**, Die Laufbahn des Ingenieurs. 1907.

86017	The engineer 1903. Bd. 2.		«九州大中圖»
86018-19	- 1904. Bd. 1 u. 2.		«九州大中圖»
86020	Das neue Universum . (Erfindungen u. Entdeckungen auf allen Gebieten, Jagden Abenteuer etc). Bd. 31.		
86035	Prometheus , VIII. Jahrgang 1897.		
86036	- IX. Jahrgang 1898.		
86038	- XI. Jahrgang 1900.		
86041	- XIV. Jahrgang 1903.		
86042	- 1906.		
86043	- 1907.		
86044	- 1908.		
86045	- 1909.		
86051-53 52 ケツ	C[€Z]entralblatt der Bauverwaltung . 1901-1903.		«九州大中圖»
86054	--	1904.	«九州大中圖»
86055	--	1905.	
86056	--	1906 ungebungen.	
86057	--	1906 do	
86058	--	1908.	«九州大中圖»
86079	Verhandlungen des Vereins zur Förderung des Gewerbefleißes 1906.		
86080	-	do	1907.
86081	-	do	1908.
86101	Eyth (Max), Lebendige Kräfte. Sieben Vorträge aus dem Gebiete der Technik. 1908.		«九州大中圖»
86102	Bock , Die Uhr. Grundlagen und Technik der Zeitmessung. A. N. u. G. 1908.		«九州大中圖»
86201	Loewe , Geschichte des Nord-Ost-Kanals.		
86202	Merckel , Schöpfungen der Ingenieurtechnik der Neuzeit. A. N. u. G.		«九州大中圖»
86301	Musil , Die Motoren für das Kleingewerbe.		«九州大中圖»
86302	Reuleaux , F., Geschichte der Dampfmaschine. a-b.		
86303	Musil , Motoren für Gewerbe und Industrie. ab		«九州大中圖»
86304	- Wärmemotoren. a-b.		«九州大中圖»
86305	Scha[ao]ll , Führer des Maschinisten. a-b.		«九州大中圖»
86306	Müller , W., Die Schiffsmaschinen.		
86307	Lieckfeld , Die Petroleum- und Benzinmotoren. 3. Auflage. 1908.		
86308	Müller , Schreibmaschinen und Schriftvervielfältigung. 1900.		«九州大中圖»

- 86309 **Vogel**, Der Motorwagen und seine Behandlung. 1906.
86310 **Kammerer**, Die Technik der Lastenführung einst und jetzt. 1907. «九州大中圖»
- 181 -
- 86311 **Blau**, Das Automobil. Einführung in Bau und Betrieb. A. N. u. G.
86312 **Barth**, Die Dampfmaschine. Kurzgefasstes Lehrbuch. (S. Göschen) 1902. «九州大中圖»
- 86313 **Wilda**, Die Dampfturbinen (S. Göschen). 1908.
86314 **Meier**, Wie ein Oc[ez]eandampfer entsteht. «九州大中圖»
- 86315 **Unger**, Wie ein Buch entsteht. A. n. u. G.
86316 **von Ihering**, Die Wasserkraftmaschinen.
86399 **Brick**, Drähte und Kabel. A. N. u. G.
86400 – Die Telegraphie und Fernsprechtechnik. A. N. u. G.
86401 **Grawinkel** und **Strecker**, Hilfsbuch für die Elektrotechnik. 1898.
86402 **Müller**, Johs. J. C., Lehrbuch der Elektrotechnik. a-b. 1903. «九州大中圖»
- 86403 **Neesen**, Die Sicherungen von Schwach- und Starkstrom-Anlagen gegen die Gefahren der atmosphärischen Elektrizität. a-b.
86404 **Righi-Dessau**, Die Telegraphie ohne Draht. a-b. 1903.
86405 **Waltenhofen**, Die Internationalen absoluten Masse, insbesondere die Elektrischen Masse_[1] a-b. «九州大中圖»
- 86406 – Ueber Blitzableiter u. deren Anlage. a-b. «九州大中圖»
- 86408 **Guttman**, Schiess- und Sprengmittel 1900.
«陸軍東京砲工廠»
- 86409 **Kirstein**, Elektrische Hausanlagen, ihr Wesen und ihre Behandlung. 1908. «九州大中圖»
- 86410 **Schnetzler**, Elektrotechnisches Experimentierbuch. 8. Auflage.
«陸軍東京砲工廠»
- 86411 **Partheil**, Die drahtlose Telegraphie und Telephonie. 1907.
«陸軍東京砲工廠»
- 86412 **Arndt**, Die Funkentelegraphie.
«陸軍東京砲工廠»
- 86413 **Schiemann**, Elektrische Fernschnellbahnen der Zukunft. «九州大中圖»
- 86414 **Lindner**, Leitfaden der praktischen Haustelegographie. 1900. «九州大中圖»
- 86415 **Urbanitzky**, Das elektrische Licht und die elektrische Heizung. 1903. «九州大中圖»
- 86416 **Schäfer**, Die Warmwasser[-]versorgung ganzer Häuser und Gasfeuerung. 1906. «九州大中圖»
- 86417 **Haas**, Einführung in die Elektrizitätslehre. 12 Vorträge. 1900. «九州大中圖»
- 86418 **Urbanitzky**, Elektrizität und Magnetismus im Altertume. 1887. «九州大中圖»

- 86419 **Biscan**, Die Bogenlampe, ihre Gesetze, Bau, Konstruktion. 1905. «九州大中圖»
- 86420 **Thurn**, Die Funkentelegraphie. 1907. A. N. u. G. «九州大中圖»
- 86421 **Rellstab**, Die elektrische Telegraphie. (S. Göschen) 1903. «九州大中圖»
- 86422 – Das Fernsprechwesen. (S. Göschen) 1902. «九州大中圖»
- 86423 **Korn**, Elektrische Fernphotographie und ähnliches. 2. Aufl. 1907. «九州大中圖»
- 86424 **Auerbach**, Das Zeisswerk in Jena und die Carl-Zeiss-Stiftung. 3. Aufl.
- 86425 **Hübel**, Theorie und Praxis der Farbenphotographie mit Autochromplatten. 1909.
- ~~86426~~ **Kesler**, Lehrbuch der praktischen Photographie. 6. Aufl. 1906.
- 86427 – Die Photographie. (S. Göschen.)
- 86428 **Talbot**, Die Amateurphotographie.
- 86429 **Vogel**, Photographie. Ein Lehrbuch für Fachmänner und Liebhaber. a-b.
- 86430 – Taschenbuch der praktischen Photographie.
- ~~86431~~ **Auschütz**, Die Photographie im Hause. Lehrbuch für Amateure.
- Kamerasport**, s. a. 89241.
- 86503 **Bücheler**, Leitfaden für landwirtschaften Brennereibetrieb. a-b.
- 86504 **Guttman**, Die Industrie der Explosivstoffe. a-b.
«陸軍東京砲工廠»
- 86505 **Kirsch und Siedler**, Künstliche Mineralwässer. a-b.
- 86506 **Peltz und Habichs**, Praktisches Hand- und Hilfsbuch für Bierbrauer und Mälzer. a-b.
- 86507 **Schubert**, Praktisches Recept-Taschenbuch für Destillation. 859 Recepte. a-b.
- 86508 **Stammer**, Die Branntwein-Industrie. a-b.
- 182 -
- 86509-10 **Stammer**, Zucker-Fabrikation. Bd. 1-2. a-b.
- 86511 – Zucker-Fabrikation. Tafeln. a-b.
- 86512-13 **Thomas**, Buch denkwürdiger Erfindungen. 1900.
- 86514 **Clairemont**, Das Buch der neuesten Erfindungen. 26. Auflage 1909.
- ~~86601~~ **Wedding**, Grundriss der Eisenhüttenkunde.
- 86602 **Guttman**, O., Handbuch der Sprengarbeit. a-c. *B* ケツ «九州大中圖»
- 86603 – Schiess- und Sprengmittel. a-b. «九州大中圖»
- 86604 **Rupcic**, Die Felsensprengungen unter Wasser in der Donaustrecke „Stenka-Eisernes Thor.“ a-b. «九州大中圖»
- 86605 **Biedermann**, Die Sprengstoffe, ihre Chemie und Technologie. A. N. u. G.
«陸軍東京砲工廠»
- ~~86701~~ **Neudeck**, Das kleine Buch der Technik. Ein Handbuch über die Entwicklung und den Stand der Technik. 6. Auflage 1907.
- 86801 **Plessner**, Max, Ein Blick auf die grossen Erfindungen des 20. Jahrhunderts_[1] a-b.
- 86802-06 **Boeck**, Geschichte des Eisens. Bd. 1-5. a-b.
«陸軍東京砲工廠»

- 86807 **Dünkelberg**, Die Technik der Reinigung städtischer u. industrieller Abwässer durch Berieselung und Filtration.
- 86808 **Weber** (M. M. von), Aus der Welt der Arbeit. Gesammelte Schriften.
- 86809 **Haimovici**, Der Eisenbetonbau. A. N. u. G.
Luftschiffahrt und Flugtechnik s. 87801. ff.

XVI. Handel und Verkehr, Schiffahrt.

- 87010 **Bruns**, Das Postwesen, seine Entwicklung u. Bedeutung. A. N. u. G.
- 87014-15 **Archiv für Post und Telegraphie**. 1902-1903.
- 87016 -- 1904.
- 87017 -- 1905.
- 87018 -- 1906.
- 87019 -- 1907.
- 87020 -- 1908.
- 87021 -- 1909.
- 87022 -- 1910.
- 87031 **Wirth**, Der Weltverkehr. 1906.
- 87032 **Geistbeck**, Der Weltverkehr.
- 87033 **Herford**, Ratgeber für die Ausrüstung von Reisenden nach Uebersee u. den Tropen. 1910_[1] a-c.
- 87034 **Andree**, Geographie des Welthandels, vollständig neu bearbeitet von Heiderich u. Sieger Bd. I. 1910.
- 87198 **Wolff**, Vom Ochsenwagen zum Automobil. Geschichte der Wagenfahrzeuge und des Fuhrwesens. 1909.
- ~~87199~~ **Henning**, Bahnen des Weltverkehrs. 1909.
- 87200 **Hahn**, Die Eisenbahnen. A. N. u. G.
- 87201 **Liebmann**, Die Klein- u. Strassenbahnen_[1] A. N. u. G.
von Boguslawski, Das Fahrrad s. VI. 3843
- 87203 **Laverrenz**, Unter deutscher Handelsflagge. Bilder aus Geschichte und Entwicklung der deutschen Handelsflotte.
- 87205 **Erdmann**, Unter der Flagge der Hamburg-Amerika-Linie.
- 183 -
- 87206 **Speck**, Seehandel und Seemacht.
- 87207 **Metterhausen**, Die Oberweserschiffahrt 1892-1902.
- 87208 **Thiess**, Deutsche Schiffahrt und Schiffahrtspolitik. A. N. u. G.
- ~~87209~~ **Die Entwicklung** des Norddeutschen Lloyd. Festschrift. 1911.
- 87210 **Huldermann**, Die Subventionen der ausländischen Handelsflotten. 1909.
- 87211 **Busley**, Die neueren Schnelldampfer der Handels- u. Kriegsmarine. 1892.
- 87212 **Adams**, Speditions- u. Schiffahrtswesen. Ein Handbuch.
- 87301 **Johanning**, Die Organisation der Fabrikbetriebe. a-b. [1²]873.
- 87701 **Dehn**, Deutschland und Orient in ihren wirtschaftspolitischen Beziehungen.
- 87702 **Rotschids** Taschenbuch für Kaufleute. Ein Handbuch für Zöglinge des Handels und ein Nachschlagebuch für jedes Kontor. 51. Auflage. (b. 53. neu bearbeitete Auflage).
- ~~87704~~ **Schmidt**, Geschichte des Welthandels. A. N. u. G.
- ~~87706~~ **Braune**, Lehrbuch der Handelswissenschaften. 1903.
- 87707 **Bödiker**, Familientelegraphenschlüssel. 4. Auflage 1908.
- 87708 **Adressbuch für das deutsche Kiautschou-Schutzgebiet**. 1903-4. a-b.

- 87709 -- 1904-5.
87710 -- 1905-6.
~~87711~~ -- 1906-7.
87712 -- 1907-8.
87713 -- 1908-9.
87714 -- 1910-11.
87715 -- 1911-12.
87721 **Kohut**, Berühmte Kaufleute.
~~87722~~ **Berdrou**, Buch berühmter Kaufleute. 2. Aufl. 1909.
87723 **Kühn**, Der Ausfuhrzwischenhandel im Ueberseeverkehr. 1908.
87724 **Weinberg**, Kleidung und Wäsche in Herstellung und Handel.
~~87725~~ **Cassel**, Amerikanisches Geschäftsleben. 1908_[.]
87726 **Damm-Etienne**, Das Hotelwesen. A. N. u. G.
87727 **Stöpel**, Ueber japanisches bankwesen u. Deutschlands Anteil am Welthandel u. der Industrie Japans.
87728 **Müller**, Die Praxis des englischen Handelsbriefverkehrs. 1909.
~~87729~~ **Schrameier**, Chinas Fremdenhandel und die Verträge.
87730 – Hafenebetrieb und Hafenverwaltung in Tsingtau.
~~87731~~ **Beaux**, Deutsche Handelskorrespondenz (S. Göschen) 1906.
87732 **Witfield**, Englische do
87733 **Stern**, Buchführung in einfachen und doppelten Posten. 1906.
~~87734~~ **Stand und Aufgabe der deutschen Industrie in Ostasien**. Ein Weck- und Mahnruf. 1906.
~~87801~~ **Hildebrandt**, Die Luftschiffahrt nach ihrer geschichtlichen und gegenwärtigen Entwicklung. 1907.
87802 **Graf Zeppelin**, Die Eroberung der Luft. Vortrag.
87803 **Poeschel**, Luftreisen. 1908.
~~87804~~ **Santos-Dumont**, Im Reiche der Lüfte. 1905.
~~87805~~ **Dominik**, Die Eroberung der Luft. Ein Handbuch der Luftschiffahrt und Flugtechnik. 1909.
87806 **Kirchhoff**, Die Erschliessung des Luftmeeres. Luftschiffahrt und Flugtechnik gemeinverständlich dargestellt. 1910.
87807 **Zeppelin**, (F. von), Die Luftschiffahrt, dem heutigen Stande der Luftschiffahrt entsprechend dargestellt. 1909.

– 184 –

XVII.

Land-, Forest und Hauswirtschaft, Vieh- und Pferdezcucht.

- 88001 **Davidius**, Henriette, Der Küchen- und Blumengarten für Hausfrauen 1874.
«^v北海道帝大»
88002 **Fahldieck**, Der Praktische Gartenfreund.
«^v北海道帝大»
88003 **Uslar**, v., Der Gemüsebau. 1898.
«^v北海道帝大»
88004 **Burmester**, Das Gärtnerische Planzeichnen. a-b.
«^v北海道帝大»
88005 **Dünkelberg**, Der Wiesenbau. a-b.
«^v北海道帝大»

«北海道大附圖»

- 88006 **Löffler**, Das Chinesische Zuckerrohr. (Kao lien.) a-b.
 «^v北海道帝大»
- 88007 **Nielsen**, Tafeln zur Bestimmung der Drainröhrenweite für zehn verschiedene Wasserführungen. a-b.
 «^v北海道帝大»
- 88008 **Wredows Gartenfreund**. 18. Auflage.
 «^v北海道帝大»
- 88009 **Voges**, Der Obstbau. 1906. A. N. u. G.
 «^v北海道帝大»
- 88010 **Lange**, Unsere Salatkräuter, ihre Kultur und Zubereitung. 1890.
 «^v北海道帝大»
- 88011 **Claassen**, Die deutsche Landwirtschaft. A. N. u. G.
 «^v北海道帝大»
- 88012 **Ranck**, Geschichte der Gartenkunst. A. N. u. G.
 «^v北海道帝大»
- ~~88013~~ **Dannenberg**, Zimmer- u. Balkonpflanzen.
- 88014 **Schulz**, Häusliche Blumenpflege.
 «^v北海道帝大»
- 88015 **Schmitthenner**, Weinbau u. Weinbereitung.
 «^v北海道帝大» «北海道大附圖»
- 88101 **Fischbach**, Katechismus der Forstbotanik.
 «^v北海道帝大»
- 88102 – Der Wald und dessen Bewirtschaftung. 1898.
 «^v北海道帝大»
- 88103 **Eiben**, Praktische Anweisung zum Austopfen der Vögel.
 «^v北海道帝大»
- 88104 **Schwappach**, Forstwissenschaft. S. Göschen.
 «^v北海道帝大»
- 88105 **Buesgen**, Der deutsche Wald.
 «^v北海道帝大»
- 88201 **Weygandt**, Ein kleiner Beitrag zur Förderung der Bienenzucht.
 «^v北海道帝大»
- 88202 **Fahldieck**, Die Blumenzucht im Zimmer.
 «^v北海道帝大»
- 88203 **Davidis**, Die Hausfrau. Praktische Anleitung zur selbständigen und sparsamen Führung von Haushaltungen. 18. Auflage.
 «^v北海道帝大»
- 88301 **Haubner**, Die inneren und äusseren Krankheiten der landwirtschaftlichen Haussäugetiere.
 «^v北海道帝大»
- 88302 **Freund**, Die Geflügelzucht. 1898.
 «^v北海道帝大»
- ~~88304~~ **Junghaus und Schmid**, Zucht, Haltung, Mästung und Pflege des Schweines.
- 88305 **Sta[ao]hmann**, Milch- und Molkereiprodukte₁ a-b.
 «^v北海道帝大» «北海道大附圖»
- 88306-07⁴ **Beckmann**, Die Rassen des Hundes. Bd. 1-2. a-b.
 «^v北海道帝大» «北海道大附圖»
- ~~88308~~ **Dünkelberg**, Die allgemeine und angewandte Viehzucht.. a-b.
- ~~88309~~ **Sommerfeld**, Milch- und Molkereiprodukte.
- 88401 **Guitard**, Der Huf des Pferdes und dessen fehlerfreie Erhaltung.

- «^v北海道帝大»
 88402 – Der bäuerliche Pferdezüchter.
 «^v北海道帝大»
 88403 [-] Ueber Wartung und Trainirung des Rennpferdes.
 «^v北海道帝大»
 88404 **Schoenbeck**, Die Zäumung des Pferdes in Theorie und Praxis.
 «^v北海道帝大»
 88405 **Spohr**, Die Bein- und Hufleiden der Pferde.
 «^v北海道帝大»
 88406-07 **Gassebner**, Die Pferdezucht in [den im Reichsrathe vertretenen Königreichen und Ländern] der
 österreichisch-ungarischen Monarchie. Bd. 1-2. «^v北海道帝大» «北海道大附圖»
 88408 **Dünkelberg**, Das englische Vollblutpferd und sein Zuchtwahl. a-b. «^v北海道帝大» «北海道大附圖»
 88409 – Die Zuchtwahl des Pferdes. a-b. «^v北海道帝大» «北海道大附圖»
 88410 **Heydebrand**, Die Behandlung des Pferdes. Berlin 1878.
 «^v北海道帝大»
 88411 **Sanden**, Das rohe Pferd. Seine erste Erziehung, Pflege und Anleitung zum Reitgebrauch.
 «^v北海道帝大»

– 185 –

- 88412 **Bauer**, Der Rennsport.
 «^v北海道帝大»
 88430 **Kürchhoff**, Die Viehzucht in Afrika. 1907.
 «^v北海道帝大»
 88431 **Schultz**, Die Schafwolle im Hinblick auf die Schaf- und Ziegenzucht in Deutsch- Südwestafrika.
 1906.
 «^v北海道帝大»

XVIII.

Spiel und Sport.

- 89001 **Silberer**, Handbuch des Traber-Sports.
 «^v陸軍士官校»
 89002 **Reglement** für die Flachrennen und Rennen mit Hindernissen im preussischen Staate.
 «^v陸軍士官校»
 89003 **v. Heydebrand u. der Lasa**, Die Schlepjjagd und ihre Bedeutung für die Armee.
 «^v陸軍士官校»
 89004 **Diezels**, Niederjagd. Prachtausgabe. 1887.
 89005 **Herb**, Totverbellen des Gebrauchshundes. 1899.
 «^v陸軍士官校»
 89006 **Burgass**, Winterliche Leibesübungen in freier Luft. 1908.
 «^v陸軍士官校»
 89007 **Meier**, Beiträge zur Dressur und Führung des Gebrauchshundes.
 «^v陸軍士官校»
 89008 **Oberländer**, Dressur und Führung des Gebrauchshundes.
 «^v陸軍士官校»

- 89009 **Kohlrausch**, Ratgeber zur Einführung der Volks- und Jugendspiele.
«[∇]陸軍士官校*»
- ~~89010~~ **Moller**, Körper und Geist.
- 89011 **Reydt**, Jahrbuch für Volks- und Jugendspiele 1909.
«[∇]陸軍士官校»
- 89012 – Der 9. deutsche Kongress für Volks- und Jugendspiele. 1908.
«[∇]陸軍士官校»
- 89013 – Das Wandern.
«[∇]陸軍士官校»
- 89014 **Schenkendorff**, Wehrkraft durch Erziehung. 1905.
«[∇]陸軍士官校»
- 89015 **Schmidt**, (F. A.), Anleitung zu Wettkämpfen, Spielen und turnerischen Vorführungen bei Jugend- und Volksfesten.
«[∇]陸軍士官校»
- 89016 **Spielregeln** des technischen Ausschusses für Faustball und Raffball, Fussball und Schleuderball, Barlauf.
«[∇]陸軍士官校»
- 89017 **Skworonnek**, Die Jagd. 1901.
«[∇]陸軍士官校»
- 89018 **Eilers**, Handbuch der Schusswaffenkunde für Jäger und Sportschützen.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~89211-13~~ **Jahrbuch des Kaiserlichen Jachtklubs** für 1896-98.
89221-254 – – 1906-10.
«[∇]陸軍士官校»
- 89230 **Schubert**, Der Segelsport. 2. Aufl.
«[∇]陸軍士官校»
- ~~89231~~ **Der Segelsport**, Lust u. Rennfahrten des kaiserl. Jachtklubs u. des Norddeutschen Regattaver eins.
- 89232 **Rathol**, Skizzen aus dem deutschen Seglerleben.
«[∇]陸軍士官校»
- 89233 **Der Radtourist**, Jahrgang 1906.
«[∇]陸軍士官校»
- 89234 **Jahn und Eiselen**, Die deutsche Turnkunst – Geschichte der Leibesübungen.
«[∇]陸軍士官校»
- 89235 **Rühe**, Handbuch der deutschen Turnerschaft. 6. Auflage 1899.
«[∇]陸軍士官校»
- 89236 **Maurer**, Katechismus für Bergsteiger, Gebirgstouristen und Alpenreisende. 1892.
«[∇]陸軍士官校»
- 89237 **Wiese**, Jachten, Boote, Kanoes mit besonderer Berücksichtigung der Modelljachten und Einzelsegelns. 1888.
«[∇]陸軍士官校»
- 89238 **Die Kieler Woche** 1882-1907.
«[∇]陸軍士官校»
- 89239 **Scheibert**, Der Rudersport.
«[∇]陸軍士官校»
- 89240 **Doerry**, Leichte Athletik.
«[∇]陸軍士官校»
- 89241 **Aarland-Naumann**, Der Kamasport.
«[∇]陸軍士官校»

- 89401-03 **Dufresne**, Sammlung leichterer Schachaufgaben. Bd. 1-3.
 «^v陸軍士官校»
- 89404 **Stabenow**, Ausgewählte Kartenspiele.
 «^v陸軍士官校»
- 89405 **Tromholt**, Hundert Schnurpfeifereien, anregende und lehrreiche Unterhaltungen.
 «^v陸軍士官校»

- 186 -

- 89500 ~~Sport im Wort~~ **Sport im Bild** 1904.
 «^v陸軍士官校»
- 89501 **Sport im Bild** 1903.
 «^v陸軍士官校»
- 89502-3 ~~Sport im Wort~~ **Sport im Wort** 1904 Bd. 1-2.
 «^v陸軍士官校»
- ~~89504-5~~ - 1905 do
- ~~89506-7~~ - 1906 2 Bde.
- ~~89508-9~~ - 1907 do
- ~~89511-12~~ - 1908 do
- ~~89513-14~~ - 1909 Bd. I. u. II.
- ~~89515-16~~ - 1910 2 Bde.
- ~~89517~~ - 1911 Bd. I.
- 89521 **Wassersport** 1903.
 «^v陸軍士官校»
- Aus der Geschichte der Leibesübungen s. III_[.] 2966.
Fechtbüchlein s. III_[.] 2967.
Schulspiele der deutschen Jugend s. III_[.] 2969.
- ~~89522~~ **Wassersport** 1904.
- 89523 - 1905.
 «^v陸軍士官校»
- 89524 - 1906.
 «^v陸軍士官校»
- 89525 - 1907.
 «^v陸軍士官校»
- 89526 - 1908.
 «^v陸軍士官校»



- 187 -

Nachtrag.

- | | | |
|---|---------|---------|
| Reclams Universum 1910 Bd. II. | I. A. | 1950 |
| März 1911 Bd. I. | - | 1971 |
| | | «京都大附圖» |
| Stenographische Berichte der Reichstagsverhandlungen über Kiautschou 1907-1910 | V. | 3491 |
| Die Etats für das Schutzgebiet Kiautschou 1907-11 | - | 3492 |
| Arndt , Ernst Moritz, Meine Wanderungen und wandlungen mit dem Freiherrn von Stein | XII. A. | 30811 |

Deutsche Romanzeitung 1911. 2 Bde.

XII. C. 34517-18

Ganghofer, Hubertusland

38370

Lauff, Marie Verwahren

40655

Spitteler, Gerold und Hansli

43522

do Gustav

43523

«山口大總圖»

do Fridli

43524



- 188 -

Druckfehler-Berichtigung.

Seite	8	Zeile	15	von unten	muss die	Signatur	heissen	1150-53
do	9	do	4	do	oben	do		1381-1884
do	10	do	8	do	unten	do		2200-2201
do	13	do	14	do	oben	do		2542-43
do	13	do	19	do	do	do		2552
do	15	do	3	do	do	do		2785-99
do	27	do	3	do	unten	do		4148-49
do	35	do	4-7	do	do	muss die	Signatur der drei Bände von Richthofen China heissen	7668-7669-7671
do	42	do	13	do	oben	muss die	Signatur heissen	9111-9112
do	42	do	5	do	unten	do		9368-69
do	51	do	1	do	do	muss der	Name des Verfassers heissen Grube (statt Förster)	
do	60	do	22	do	oben	muss der	Name des Verfassers heissen Morse (statt Mosse)	
do	66	do	19	do	do	muss die	Signatur heissen	22704
do	71	do	2-3	do	do	do		23502-23503
do	97	do	21	do	unten	do		34083-34213
do	106	do	10-12	do	oben	heisst der	Verfasser für die Romane mit den Signaturen 35492-94 Bartsch (statt Bertsch)	
do	124	do	17	do	oben	muss es	im Titel heissen: Pescara.	
do	128	do	2	do	do	muss die	Signatur heissen	42697-42702
do	134	do	1	do	unten	muss der	letzte Titel heissen: Carsten Curator.	
do	135	do	3	do	oben	muss die	römische Zahl heissen	VIII (statt VII)
do	152	do	17	do	unten	muss der	Verfassernamen heissen: Kleinpaul.	
do	167	do				in der	Mitte der Seite muss stehen als Ueberschrift: B. Romanische Literaturen. 1. Französische Literatur.	
do	174	do				Zeile 16	von unten ist das Wort „nachtrag“ zu streichen.	



[裏表紙]

Deutsch-
Chinesische
Druckerei
Walter Schmidt

2.: 青島守備軍陸軍參謀部: “大正九年二月函獲書籍及圖面目録”

[表紙]

大正九年二月

函獲書籍及圖面目録

青島守備軍陸軍參謀部

[i]

凡例

- 一. 函獲書籍ノ種類及員數 左ノ如シ^[1]
- (一.) 官有書籍(獨逸官廳ノ藏書ヲ集メタルモノ)
 - 洋書 二, 八〇七部 八, 六三四册
 - 漢籍 八一部 一, 四七七册
 - (二.) 德華高等學堂藏書
 - 洋書 六四四部 一, 二九四册
 - 漢籍 一六三部 五, 〇五八册
 - (三.) ウェルヘルム・コーン叢書(コーント稱スル學者ガ獨逸總督ニ寄贈シタル支那)[2]ニ關スル書籍[3]
 - 洋書 二七二部 三二四册
 - (四.) 膠州圖書館藏書

[ii]

洋書 七, 五六三部 九, 四七三册
合計 一一, 五三〇部 二六, 二六〇册

- 二. 又 函獲圖面ノ員數 左ノ如シ^[1]
圖面 五, 一三三葉
- 三. 膠州圖書館藏書目録ハ獨逸印刷ノモノ存在セルヲ以テ 本目録ニハ其ノ追加目録(二一九部 二四三册)ヲ記載スルニ止メタリ.
- 四. 本目録ニ登載セル^[4]支那其他東洋ニ關スル書籍(洋書)「目録」ハ前掲ノ官有洋書中ヨリ支那及東洋ニ關スルモノノミヲ拔萃シテ閱覽ノ便ヲ圖リタルニ過キズ^[1]
- 五. 官有書籍(洋書)目録中四七頁ヨリ五六頁迄及一三三頁一三四頁ヲ闕クハ 頁數ノ記入ヲ誤リタルモノニシテ内容ニ闕漏アルニアラス^[1]

I^[1]

目次

い ^[1] 官有書籍(洋書)目録 目次	頁數
A ^[1] 一般	い 一
(一) 百科辭典	い 一
(二) 普通學	い 一
(三) 普通雜誌	い 一
B ^[1] 政治・經濟・法律	い 五
(一) 政治	い 五
(イ) 政治學, 評論及雜誌	い 五
(1) 政治學・評論	い 五
(2) 雜誌	い 一一
(ロ) 條約・條例・制度規定・豫算・報告	い 一二
(1) 條約	い 一二
(2) 條例	い 一三
(3) 制度類	い 一七

II^[1]

(4) 規定	い	二一
(5) 豫算	い	二三
(6) 報告	い	二八
(ハ) 社會運動	い	三一
(二) 法律	い	三三
(イ) 法律學・法典	い	三三
(1) 法律學	い	三三
(2) 法典	い	三五
(ロ) 評論・雜誌	い	四五
(三) 經濟	い	五八

III_[c]

(イ) 經濟學・評論	い	五八
(1) 經濟學	い	五八
(2) 評論	い	六〇
(ロ) 報告	い	六一
C. 軍事	い	七七
(一) 一般	い	七七
(二) 陸軍	い	八一
(イ) 兵學	い	八一
(ロ) 成規	い	八七
(ハ) 雜書	い	一〇五
(三) 海軍	い	一一一
(イ) 兵學	い	一一一
(ロ) 成規	い	一一四

IV_[c]

(ハ) 雜書	い	一四一
D. 數學・哲學・宗教・教育	い	一五六
(一) 數學	い	一五六
(二) 哲學	い	一五九
(三) 宗教	い	一六一
(四) 教育	い	一七〇
E. 歴史・地理	い	一七三
(一) 歴史	い	一七三
(イ) 世界歴史・各國史	い	一七三
(ロ) 傳記	い	一七九
(ハ) 雜書	い	一八八
(二) 地理	い	一八九
(イ) 世界地理・各國地理	い	一八九

V_[c]

(ロ) 風俗	い	一九五
(ハ) 紀行	い	一八九
F. 言語學・辭典	い	二〇〇
(一) 言語學	い	二〇〇
(二) 辭典	い	二〇八
G. 自然科學	い	二一〇
(一) 一般	い	二一〇
(二) 物理學・化學	い	二一一
(三) 天文・地文	い	二一三
(四) 動物・植物・礦物	い	二一五

(五) 人類學・考古學	い	二一八	
H. 醫學	い	二一九	
[I. 原本缺録]			
J. 工藝	い	二二三	

VI_[c]

(一) 一般	い	二二三
(二) 電氣	い	二二七
(三) 機械・造船	い	二二八
(四) 採礦・冶金	い	二三〇
(五) 土木	い	二三一
(六) 雜	い	二六一
K. 交通	い	二六一
L. 商業	い	二六三
M. 農業・林業・牧畜・漁業	い	二七一
N. 文學・美術・音樂	い	二七七
(一) 文學	い	二七七
(イ) 全集・評論	い	二七七
(1) 全集	い	二七七

VII_[c]

(2) 評論	い	二八五
(ロ) 詩文	い	二八六
(ハ) 戲曲・小説・稗史・物語	い	二八九
(1) 戲曲	い	二九〇
(2) 小説	い	二九二
(3) 稗史	い	三二三
(4) 物語	い	三二五
(ニ) 傳説・偶[偶寓]話・お伽噺	い	三二八
(ホ) 雜	い	三三〇
(二) 美術	い	三三一
(三) 音樂	い	三三二
O. 雜書	い	三三三

[全] 官有書籍(洋書)追加目録 目次	頁數
A. 一般	い 三四三
1. 百科辭典	い 三四三
B _[c] 政治・法律・經濟	い 三四三
1. 政治	い 三四三
2. 法律	い 三四五
3. 經濟	い 三四八
C. 陸軍	い 三四八
D. 歴史	い 三四九
E. 地理	い 三四九
F. 美術	い 三四九

VIII_[c]

[ろ.] 官有書籍(漢書[書籍])目録 目次	頁數
第一 經書・子類(哲學・教育學)	ろ 一
第二 史傳	ろ 二
第三 文學(美術・音樂)	ろ 三

第四	辭典(言語學)	ろ	四
第五	政刑(經濟)	ろ	五
第六	武事	ろ	六
第七	天文[・]地文	ろ	六
第八	博物	ろ	八
第九	數學	ろ	八
第十	醫卜	ろ	八
第十一	農工商	ろ	九

第十二	雜書	ろ	九
-----	----	---	---

VIII_[p]

は. 德華高等學堂藏書(洋書)目錄 目次

		頁數	
A.	政治・法律・經濟	は	一
	(一) 政治	は	一
	(二) 法律	は	二
	(三) 經濟	は	五
B.	軍事	は	六
C.	宗教・哲學・教育	は	六
	(一) 宗教	は	六
	(二) 哲學	は	七

XI.

	(三) 教育	は	一三
	(四) 倫理	は	一五
	(五) 心理學	は	一五
D.	歴史・地理	は	一五
	(一) 歴史	は	一五
	(二) 地理	は	一七
E.	文學・美術・音樂	は	一七
F.	言語學	は	一九
G.	辭典	は	二二
H.	自然科學	は	二三
	(一) 一般	は	二三
	(二) 天文・地文	は	二四

XII.

	(三) 動物・植物・礦物	は	二六
	(四) 物理・化學	は	三二
	(五) 考古學・人類學・進化論	は	三四

I.	原 本 缺 録		
J.	數學・測量	は	三五
	(一) 數學	は	三五
	(二) 測量術	は	三九
K.	醫學	は	四〇
L.	農業	は	四〇
M.	工藝	は	五五
	(一) 一般	は	五五
	(二) 機械	は	五六
	(三) 建築	は	五八

XIII.

(四) 礦山	は	六一
(五) 土木	は	六三
(六) 雜	は	六四
N. 交通・商業	は	六五
O. 雜件	は	六七

に. 德華高等學堂藏書(漢籍)目錄 目次

第一 經書・子類(哲學・教育學)	に	一
第二 史傳	に	一七
第三 文學(美術・音樂)	に	二三
第四 辭典(言語學)	に	三六

第五 政刑(經濟)	に	三七
第六 武事	に	四三
第七 天文[・]地理	に	四四
第八 博物	に	四五
第九 數學	に	四六
第十 醫卜	に	四六
第十一 農工商	に	四七
第十二 雜書	に	四七

XIV.

ほ_口 ウキルヘルム・コーン叢書(洋書)目錄 目次

A. 宗教	ほ	一
B. 哲學・倫理・教育	ほ	二
(一) 哲學	ほ	二
(二) 倫理・教育	ほ	三
C. 言語學・辭典	ほ	五
D. 法律・軍事・政治・經濟	ほ	六
E. 歴史・地理	ほ	八
(一) 歴史	ほ	八
(二) 地理	ほ	一三
F. 自然科學・醫學・農工業	ほ	一九
G. 文學・美術・音樂	ほ	二〇

XV.

H. 雜件・雜誌	ほ	二三
----------	---	----

XVI.

へ_口 支那其他東洋ニ關スル書籍(洋書)目錄 目次

(鹵獲官有書籍抜萃)		
A. 政治・法律・經濟	へ	一
(一) 政治	へ	一
(二) 法律	へ	九
(三) 經濟	へ	一一
B. 軍事	へ	一七
C. 哲學・倫理・宗教・教育	へ	一七
D. 歴史・地理	へ	二三

(一) 歴史	へ	二三
(二) 地理	へ	二六
E. 言語學・辭典	へ	二三[二三三二]

XVII.

(一) 言語學	へ	三二	
(二) 辭典	へ	三三	
F. 自然科學	へ	三五	
G. 醫學	へ	三六	
H. 工藝	へ	三七	
[I. 原本缺録]]
J. 交通	へ	三七	
K. 商業	へ	三八	
L. 農業	へ	三九	
M. 文學・美術・音樂	へ	三九	

XVIII.

N. 雜書	へ	四一
-------	---	----

と[.] 膠州圖書館藏書(洋書)追加目録

自と一 至と二〇

[XIX.]

[ち.] 圖面名目

	頁數
A. 地圖	ち 一
a 保護領及山東省[.]直隸省	ち 一
b 支那各地(山東[.]直隸省)	ち 八〇
c 其ノ他	ち 八一
B. 機械類	ち 八三
C. 軍艦	ち 一一一
D. 總督府建築	ち 一六四
E. 總督邸	ち 一九二
F. 病院	ち 二二〇
G. 兵營	ち 二六一

[XX.]

H. 警察署[.]屠獸場	ち 三〇三
I. 裁判所	ち 三三二
J. 學校及教會	ち 三三九
K. 林務所[.]測候所	ち 三四八
L. 嶗山療養所及將校俱樂部	ち 三五六
M. ヤーメン倉庫[.]官舎[.]洗濯所	ち 三七五
N. 埠頭[.]港灣[.]燈臺	ち 三八八
O. 土本[.]及建築[.]雜	ち 四〇八
P. 追加	ち 四二五

正誤表

頁數	行數	誤	正(又ハ要領)
い一	最終行	□	「一九一二年度」ノ次ニ「及一九一三年度」ヲ插入スル事
い二	三	全上第一卷	全上第一八卷
い三	四	獨逸目錄	獨逸月錄
い五	八	ダヌシユケ	ダマシユケ
い六	九	吾等皇帝	吾等が皇帝
い六頁終-い七頁初	メノ間ニ左ノ二冊ヲ插入スルコト		
四二 ^{ab}	ロールバツハ	世界に於ける獨逸思想	
四三		皇朝經世文新編第十七(支那文)	

い一〇	三		「七七 ^{ab} 」ノ下ニ「フェリング譯. 江木翼著膠州灣に就て. 一九〇七」插入
い一〇	四		「七八 ^{ab} 」ノ下ニ著者名「シユラアマイヤア」ヲ插入スル事

(二)

い一四	一一	圖面分 手續法	圖面分筆手續法
い一七	一一	萬國電信局名	萬國電信局名錄
い一九	七	一九〇三年度・一九一一年度 一九一三年度	一九〇三年度・一九一〇年度 一九一一年度・一九一三年度
い二〇	二	公吏	公使
い二〇	五	同第追加	同第一追加
い二一	一〇	總督府特別及	總督府主金庫, 特別及
い二二	四	一九二(I ^{a-m} -XII ^{a-f})	一九二(I ^{a-m} -XIII ^{a-f})
い二二	皇二〇 三		發行年度□「一九〇六」☑「一九〇七」 「一九〇七」ヲ脱シ□レリ
い二三	四		「一九三 ¹⁻³² 」ヲ抹殺シ「全」ヲ插入シ「XIII ^{a-e} 」ハ「XIII ^{a-f} 」トスベキナリ
い二五	六	南亞弗利加	東亞弗利加
い二九	一	一九一〇 - 〇五年	一九〇一 - 〇五年
い三一	三	一九一二年度迄名	一九一二年度迄各

(三)

い三八	二	普魯西法律 第一卷	普魯西法律 第二卷
い三八	一一	裁判所構成所と	裁判所構成法と
い四二	一一	□	註ノ欄ニ「XXIX」ヲ插入スル事
い四五	二	三六四	三六四 I-II
い五八	一一	敗政	財政
い六一	五	第二項 第三十九卷	第三項 第三十九卷
い六一	一一	一九〇九年度	一九〇七年度
い六五	一〇	第一四九號(// 第一期)	第一四九號(一九〇六年 第一期)

(四)

[原 本 缺 録]

[彩 色 遊 紙]

官有書籍(洋書)目録

A. 一般

(一) 百科辭典

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
一 (I-XX) «參謀本部»	ワーゲナア	國家社會百科辭典 自第一卷至第廿三卷	(二八五九 第二、十八、 二八六七 十九卷缺)	

(二) 普通學

[番 號]	[著 譯 者 名]	[書 名]	[發 行 年 代]	[註]
二 «東北帝大»*	ノイマイヤア	科學研究旅行指針 第二卷	一八九一	□
三 (I-III) ミュルラアバーデン ヒルッ		普通學自修講義錄 第一卷・第三卷・第四卷	II ^{ab} 二冊アリ	□
四 (I ^{ab} -II ^{ab})		雜誌「文官適任下士」 一九〇九年及一九一〇年度	□	□
(III ^{a-f})		全 上 一九一一年度	□	□
(IV ^{ac[e-c? b?]-V^{ab}})		全 上 一九一二年度及一九一三年度	□	□
五 (I-II)		陸海軍下士ニ對スル雜誌「文官任用」 第九卷・第一〇卷	(二九〇四)	□
(III-IV)		全上 第一六・一七卷及第一七卷	(二九一二-一三)	□
(V ^{ab} -VI)		全上 第一八卷及第一九卷第一 - 六號	(二九二四-一九一四)	□
六 (I ^{a-d} -III ^{ab})	ミュルラアバーデン	文官適任下士用自然文庫 第一・卷[・]第二卷[・]第三卷	II ^{abc} 三冊アリ	□

い- 2-

(三) 普通雜誌

七 I	□	常識文庫 第一卷[:]	探偵小説・事後ノ權利・夏ノ夜ノ夢・小姑・波斯國王ノ宮殿ヨリ・ 人體内ノ不用物體・望遠鏡ノ一瞥・婦人ノ侵略・柏林市巡警ノ一日	一八九三	□
II	□	全上 第一號		一九〇一	□
III ^{abc}	□	全上 第四卷[:]	寶ノ行衛[衛方?]・結婚者・生活ノ泥濘・鐵道信號[・] 前世紀ノ冒險小説・氷辻り・雜件	二八八八-一八九二	□
(IV-VII)	□	全上 第五卷(一八一八)[・]第八卷(一九〇九)[・]第九卷(一九一一)[・]第一一卷(一九〇六)			□ □
VIII	□	全上 (寶ノ行衛[衛方?]・前科・流浪ノビスマーク・美容術論・近世氣質繪解)		一八九二	□
八 I		獨逸ルンドシヤウ 第一卷(一〇月 - 一二月)		一八九八	□
II-III	□	全上 第二卷・第三卷		一八九九	□

«東北大附圖分館»

い- 3-

八 (IV-VI)		獨逸ルンドシヤウ 第四卷(一八九九年七月 - 九月)	□	□	«東北大附圖分館»
		第廿七卷(一八八一年四月 - 六月)	□	□	«東北大附圖分館»
		第廿八卷(一八八一年七月 - 九月)	□	□	«東北大附圖分館»
九 (I-II)		ローマイヤア 獨逸日[母]月録 (第三年第五年)及(第九年) - 一九〇五 - 一九〇六	□	□	«京都大總人圖»

«三高»*

一〇	雑誌「園亭」 一八八八年度曆	□ □
«三高»*		«京都大總人圖»
一一	一九一〇年度「交友」第七〇年	□ □
«三高»*		«京都大總人圖»
一二	雑誌「未來」 一九〇三年一〇月, 及一九〇四年二月	□ □
«三高»*		«京都大總人圖»
一三	東亞ロイド附録 膠州報集 一八九九 - 一九〇〇	□ □
«三高»* ¹⁴		
一四	故郷と世界 第三年第一號	一九一三 □
«三高»*		
一五	デルブリユツク主幹 普魯西年誌 七月號(一三三號)	一九〇八 □
«三高»*		
一六	一九一〇年度 キュルシユナア年鑑	□ □
«三高»*		«京都大總人圖»
一七(I-II)	チャムバア雜誌 六月號及三月號 (英文)	一九一二 □
		«金澤大中國»
一八(I-II)	ハーバア月刊雜誌 一月號及五月號 (英文)	一九〇四 □
		一九一〇 □
		«金澤大中國»
		い- 4-
一九	コーンヒル雜誌 第六一號 (英文)	一九一〇 □
		«金澤大中國»
二〇(I-II)	十九世紀以後 第三七六號(六月號) (英文)	一九〇八 □
	全 第四〇六號(一二月號)(全)	一九一〇 □
		«金澤大中國»
二一	ハーウエイ銷夏雜誌 一九一三年 (英文)	□ □
		«金澤大中國»
二二	倫敦雜誌 第三〇卷第三一號 (英文)	一九一三 □
		«金澤大中國»

い- 5-

B. 政治・法律・經濟

(一) 政治

(イ) 政治學, 評論及雜誌

(1) 政治學, 評論

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
二三	ブリンケン	獨逸帝國及普魯西憲法並に行政	□ □	
«京都帝大»*				«京都大附圖»
二四	ローレンツ	獨逸帝國官職官位	□ □	
«京都帝大»*				«京都大附圖»
二五	ダマシユケ	市町村施政 第一卷 土地の課税	一九一三	□
«京都帝大»*				«京都大附圖»
二六 ^{abc}	ネゴマン	獨逸公民學	一九一一	□
«京都帝大»*				«京都大附圖»
二七	リンデナウ譯	ニセフオロ著英刑事警察と補助學	□ □	

¹⁴ “一三 目下所在不明 東亞ロイド附録 膠州報集 一八九九 - 一九〇〇”(書込: 赤鉛筆).

「京都帝大」*				
二八 ^{ab 15}	ウエーバア	植民地敗[敗財]政管理	一九〇九	□
「京都帝大」*			「京都大附圖」	
二九	ザイツ	獨逸保護領豫算:立案と管理の原則	□	□
「京都帝大」*			「京都大附圖」	
			い- 6-	
三十	シュツツ	祖國	一九一二	□
「陸軍教育總監」				
三一	シュツツ	權力	一九一二	□
「陸軍教育總監」				
三二	テイルメーレ	世界列強の反 [?] 跳 [?]	□	□
「陸軍教育總監」				
三三	エルツパツヒヤア	無政府主義	一九〇〇	□
「陸軍教育總監」				
三四	□	ド・セギユール著革命	一八六五	□
「京都帝大」*			「京都大附圖」	
三五	マイヤア	英の海軍(其他政治論)	一九〇二	□
「京都帝大」*			「京都大附圖」	
三六	ゲルスドルフ	バルカン戦争	一九一二	□
「京都帝大」*				
三七	ゾムマアフェルド	一九一〇?年・佛國の末路未來記	□	□
「京都帝大」*			「京都大附圖」	
三八 ^{ab}	一獨逸人	吾等が皇帝(彼が世界觀)	一九〇八	□
「京都帝大」*			「京都大附圖」	
三九	ベルンハルヂ將軍	吾等が將來	一九一二	□
「京都帝大」*			「京都大附圖」	
四〇	ヴァンデアボルグト	帝國敗[敗財]政の發達	一九〇八	□
「京都帝大」*			「京都大附圖」	
四一	ペタアゼン	獨逸主義の奮闘「エルザスロートリンゲン」に於ける獨逸主義	一九〇二	□
「京都帝大」*			「京都大附圖」	
四二 ^{ab}	ロールバツハ	世界に於ける獨逸思想	[□]	[□]
「京都帝大」*			「京都大附圖」	
			い- 7-	
四三		皇朝經世文新編 第十七(支那文)	[□]	[□]
「京都帝大」*				
四四	コエブナア	殖民政策	一九〇八	□
四五		歐洲諸國の殖民政策	□	□
四六(I-IV)	チムマアマン	歐洲諸國の殖民 第一卷 葡萄牙と西班牙の殖民政策	一八九六	□
		全 第二卷 英國の殖民政策 第一編	一八九八	□
		全 第三卷 全 第二編	一八九九	□
		全 第四卷 佛國の殖民政策	一九〇一	□
四七(III)	シュツク	ブランデンブルグ-プロシヤの殖民政策 第一卷(一六四七-一七二一)一八八九	□	
	全	第二卷(一六四七-一七二一)一八八九	□	

¹⁵ 京附圖現藏本では“^{ab}”(消線は赤鉛筆)の如く“^b”を抹消したうえで、“^a”(赤鉛筆)と頭註。

四八	フロラック	植民地の制度と行政	一九〇五	□
四九	イバア	植民地官吏に對する植民地の義務	一九一一	□
五〇	ズイデクム譯	レロイ・ポーリウ著支那問題	一九〇〇	□
い- 8-				
五一	ロールバツハ	支那研究	一九〇九	□
五二	マルマン	極東の住民と政治 (英文)	一八九九	□
五三	コルクハウ	支那の開國 (英文)	□	□
五四	ミュンスタアベルグ	支那の改革	一八九五	□
五五	ザルツマン	革命の支那	一九一三	□
五六	フオスベルグレコウ	支那の革命, 其原因と影響	一九一二	□
五七	ピエール[.]ホワン譯註	支那行政上の混合	一九〇一	(佛文)
五八	スミス	支那義和團事件 第一卷	一九〇一	(英文)
五九	ブランド バツタアハウス共著	西太后治下の支那	一九一〇	(英文)
六〇	ウキール	北清事變通信「北京より」	□	(英文)
六一	ヒルト	新關文件録	一九〇九	(英文)
六二 ^{ab}	ロボルスキ譯	クーヘロン アーモート著下關媾和後の東洋	□	□
い- 9-				
六三	フォン・リヒトホーフエン	東亞戰爭中及前: 菊と龍	一九〇二	□
六四	ブランド	支那に於ける工業及鐵道企業	一八九九	□
六五	ピエール・ホワン	支那の鹽公賣事業[?]情[?]	一八九八	(佛文)
六六	ビュロー	外國に對する支那の商業政策的地位	一九〇四	□
六七	エドキンス	支那帝國の歳入と租稅	一九〇三	(英文)
六八	□	支那に於ける既成鐵道の沿革と青島港	一九一四	(タイプライター本)
六九(I-III)	ブラント	東亞に於ける卅三年 第一卷[.]第二卷[.]第三卷	一九〇一	□
七〇	ブラント	日清戰爭史: 東亞政策の三年	□	□
七一	ダイムリング	膠州殖民地	一九〇〇	□
七二	シュマツヒヤア	膠州と東亞問題	□	□
七三	シユラマイヤア	膠州殖民地の土地政策	一九一一	□
七四	全	膠州殖民地の租稅政策	一九一二	□
い- 10-				
七五	シユラマイヤア	膠州豫算を否決せしは何故ぞや(廻[廻回]答文)	一九一二	□
七六	ヒルト	山東と膠州	一八九八	□
七七 ^{ab}	フェリング譯・江木翼著	膠州灣に就て	一九〇七	□
七 八 ^{ab}	シユラマイヤア	膠州地方令は如何にして成立せしや	□	□
七九	クルーゼン	フライシユマン編獨逸法政辭典中の「膠州」[註]の部 特新版	一九一三	□
八〇	濟南獨逸領事 ホルツハツテ	津浦線が山東及青島獨逸商業に及す影響(報告)	一九一三	□
八一 ^{ab}	ミヒエルゼン	青島發展回顧其他	一九一〇	□
八二	キユルツ	獨領南亞弗利加の自治	一九〇九	□
八三	全	獨領南亞弗利加の管理 第二五年	一九〇九	□

«京都帝大»*			「京都大附圖」
八四	シユルンク	漢堡殖民學校論説 第一八卷 獨逸保護領に於ける土人學校 一九一四	□
«京都帝大»*			「京都大附圖」
八五	ウキーデアン	バグダットとテヘラン 一九一一	□
«京都帝大»*			
八六	デキギユエ大佐	安南及佛領印度支那 一九〇八 (佛文)	
«陸軍經理校»・«陸軍經理校» ¹⁶			«一橋大附圖」

い- 11-

八七		「ボウ」總督報告 一九〇二-一九〇七年間印度支那の形勢 第一卷 「ボウ」總督報告 一九〇八(佛文)	
«陸軍經理校»			
八八	全	全上 第二卷 「ボウ」總督報告附録 一九〇八 (佛文)	
«京都帝大»*			«京都大附圖」
八九	アンドレ・ルウ	政治上及經濟上より見たる英領香港 一九〇三 (佛文)	
«陸軍經理校»			«一橋大附圖」

(2) 雜誌

九〇(I-IV)	シユモルラア	獨逸帝國立法行政經濟年紀 第三四年 自第一卷至第四卷 一九一〇	□
九一	□	外國に於ける獨逸主義 一九一一年度第九號	□ □
九二(I-II)	□	前兵 第二年第一號及第三號 一九一三	□
九三(I-XI)	獨逸殖民協會	殖民政策殖民法及殖民經濟雜誌 第六年第八號 第七年 第八年第五號 (一九〇四)	□
		全 第九年・第一〇年・第一〇年第五號・第一〇年第六號 (一九〇八)	□
		全 第一一年ヨリ[第]一四年迄 (一九〇三)	□
九四	全	一九〇七年度獨逸殖民協會年報 一九〇八	□

い- 12-

九五	□	獨逸世界及殖民政策雜誌「大獨逸主義」 第一年第一號 一九一四	□
九六(I-IX)	フオスベルグレコウ	獨亞協會機關雜誌「亞細亞」 第一年 - 第一號九年迄 (一九〇九)	□
九七(I-II)	張繼主幹	民報 第五號・第六號 明治三十九年 (支那文)	
九八	□	郵便雜誌 第二〇 - 二一年 (一九一三)	□

(ロ) 條約・條件[件例]・制度・規定・豫算・報告

(1) 條約

九九(I-II)	スタウデインガア	獨逸帝國國際條約集 第一・第二卷 一八九五	□
一〇〇	ポシンガア	獨逸貿易及文通條約 一八九二	□
一〇一	□	獨支通商條約理由 一九〇三	□
一〇二	マイヤアス	支那帝國と列國間條約集 一八九七 (英文)	
一〇三(I-II)	支那稅務署	支那外國間條約協商集 第一・第二卷 一九〇八 (英文)	

い- 13-

(2) 條列[冊例]

一〇四	□	海員條列[冊例]其他 一八七四	□
一〇五	□	各國殖民地法規集一九〇一二年一〇月發行(第二卷第一號) 一九一二 (佛文)	

¹⁶ 重出。

一〇六	萬國殖民學院	一九一二年「ブラッセル」會議の日々命令録	一九一二	(佛文)
一〇七	海軍省	保護領法	一九〇一	□
一〇八	□	濟南商埠租建章程	□	(支那文)
一〇九	ブローゼルト, キルナー, フルレット 共著	帝國保險條列[列例]	一九一三	□
	「京都帝大」*			「京都大附圖」
一一〇	ブローゼルト 共著	保險條列[列例] 第一卷 a 疾病保險の實施規則と範例	一九一四	□
		全 第二卷 a	一九一三	□
		全 第二卷 第三 傷害保險	一九一三	□
		全 第三卷 a 廢兵保險の實施規則と範例[列例]	一九一三	□
		全 第三卷 廢兵及遺族保險	一九一四	□
	「京都帝大」*			「京都大附圖」
一一一	伯林市參事會	伯林市法第一〇卷: 瓦斯及電燈事項	一九一三	□
	「陸軍經理建築」			
い- 14-				
一一二(I-III)	□	警察命令集 _附 伯林市警察告示集 自第一卷至第三卷	一九一〇	□
一一三	バルツ	普魯西建築警察法	一九〇〇	□
	「陸軍經理建築」			
一一四	ボルン	普魯西土木警察法	一九〇二	□
	「陸軍經理建築」			
一一五(I ^{ab} -II ^{ab})	□	普魯西地上建築管理部地方建築官吏勤務指令	一八九八	□
	「陸軍經理建築」			
	「陸軍經理建築」	全 附録	全	□
一一六	ボルシユト	ミュンヘン建築條令	一八九六	□
	「陸軍經理建築」			
一一七	スタインハウザア	ミュンヘン市等級建築條列[列例]	一九〇四	□
	「陸軍經理建築」			
一一八	□	公私病院設備建築に關する警察令	一八九八	□
	「陸軍經理建築」			
一一九	□	伯林郊外適用建築警察令	一八九二	□
	「陸軍經理建築」			
一二〇	□	伯林市建築警察令	一九〇〇	□
	「陸軍經理建築」			
一二一	□	地租臺帳及圖面分筆手續法	一八九六	□
一二二	□	地租登記圖面及臺帳改新手續に關する一八八一年十月二十五日の示定	一八九七	□
い- 15-				
一二三(I-II)	□	帝國印刷局勤務令 第一・一般事務 第二・會計制度	一九〇五	□
一二四(I-XIII)	内務省	獨逸帝國中央公報 自第二九年至第四一年	(一九〇一)	□
一二五(I-XI ^{ab})	リーボウ, チムマアマン, コエフナア, ゲルストマイヤア	獨逸殖民地立法集 第一・第二編	□	□
		全 第三編 一八九七 - 一八九八年	一八九九	□
		全 第六編 一九〇一 - 一九〇二年	一九〇三	IV ^{ab} 二册アリ
		全 第七編 一九〇三年	一九〇四	V ^{ab} 二册アリ
		全 第八編 一九〇四年	一九〇五	VI ^{ab} 二册アリ
		全 第九編 一九〇五年	一九〇六	□
		全 自第一〇編 一九〇六年 至第一三編 一九〇九年	(一九〇七)	各 ^{ab} 二册アリ

一二六(I-X)	海軍省	一八九九 - 一九〇五年膠州保護領制令報 一九〇三 - 一九一〇年 全 上 一九〇三年 全 上	□ □ □ □ □ □	
		一九〇四年膠州保護領制令報 一九〇五年 全 上 一九〇六年 全 上 自一九〇七年 全上 至一九一一年 全上	□ □ □ □ □ □ □ □	い-16- ab二冊 ab二冊 一九〇九年 四冊
一二七 ^{ab}	□	膠州總督府一般命令	一九〇一	□
一二八(I ^{a-c} -II ^{a-c})	□	一九〇〇年度青島官報, 一九〇二年度青島官報 一九〇三年度青島官報 一九〇四年度 全 上 一九〇五年度 全 上 自一九〇六年度青島官報至一九〇九年度青島官報 自一九一〇年度 全 上 至一九一三年度 全 上	二九〇〇 二九〇二	各三冊 □ □ □ 各三冊 □ 各二冊 □ 一九一二年度缺
	(III ^{ab}) (IV ^{a-c} -V ^{a-c}) (VI ^{ab} -IX ^{ab}) (X-XII)			
一二九	山東撫署	山東官報 第三五期第六七冊		宣統二年 (支那文)
一三〇 ^{ab}	□	支那礦山條例	一九〇八	□
				い-17-
	(3) 制度類			
一三一	□	國會要覽	一九〇七	□
一三二	國會事務所	一八九八 - 一九〇三年國會摘要	一八九八	□
一三三(I-II)	ヘルフルト	普魯西豫算金櫃計算制度 第四卷 旅費日當轉任手當 全 第五卷 恩給災害扶助料	一九〇五 〃	□ □ □ □
	《陸軍經理校》			
一三四(I-II)	ピストル	普魯西衛生制度 第一・第二編	二八九六	□
	《陸軍醫務醫事》			
一三五	□	臺灣舊慣制度調査一班	一九〇二	(日本文)
一三六	エンゲル	埃匈國の保稅區域	一九〇六	□
一三七	□	一九一三年度(三月迄の分)露西亞帝國年鑑	一九一三	(露文)
一三八	殖民省秘書 官房 編纂	一九〇七年度香港民政部一覽	□	(英文)
一三九	支那稅務署	一九〇六年度大清郵政局名	一九〇七	(英支文)
一四〇	遞信省外事務局	國際通信に宛てられたる萬國電信局名錄	一九〇四	□
一四一 ^{a-f}	モール	青島全書	一九一四	(支那文)
				い-18-
一四二 ^{a-d}	□	官吏旅費算定に關する停車停船場表	□	□
一四三	アルブレヒト編	官吏旅費日當及階級關係(帝國 ₁)普魯西及エルザスロートリンゲン地方官吏)	一九一二	□
	《陸軍經理校》			
一四四 ^{a-f}	大藏省	帝國官吏	一九一二	
一四五		缺番		
一四六(I-IV)	イルツンツ	普魯西行政官吏提要 第一・二・三・四卷	(二九〇五)	II ^{ab} 二冊アリ
一四七	□	普魯西土地官吏勤務指針	一九〇九	□
一四八	シユルツ	普魯西王國土木管理勤務	一八八八	□
	《陸軍經理建築》			

一四九	□	獨逸東亞弗利加總督府 特別及救濟基金事務要覽	□	□
「陸軍技術本部」				
一五〇	□	土地係事務手数料(一九〇九年一月十六日發布)	一九〇九	□
「陸軍技術本部」				
一五一	シユラーマイヤア	青島港務及港灣管理	一九〇四	□
「陸軍技術本部」				
一五二	ワルタア	官吏の俸給と任用關係	一九一〇	□
「陸軍經理校」				
一五三	ワルタア	普魯西地方官衙就任及俸給事情	一九一〇	□
一五四	フエヒナア	給料ポケット辭書	□	□

い-19-

一五五	□	官吏の給料	一九〇三	□
一五六	□	獨逸及普魯西官吏俸給表	一九〇九	□
一五七 ^{ab}	□	獨逸帝國諸官吏俸給	一九〇三	□
一五八(I-II)	□	獨逸帝國及普魯西官吏俸給表 第一編 普魯西直接官吏俸給令 全 上 第二編 帝國官吏	一九〇九 一九〇九	□ □
一五九		缺番		
一六〇(I-IV)	内務省	一九〇二年度・一九一〇年度獨逸帝國職員錄 一九一一年度・一九一三年度	(一九〇三 一九一三)	□
一六一	□	一九一四年度獨逸停年名簿	□	□
一六二	□	一九一一年度普魯西王室並に帝國職員錄	一九一〇	□
一六三	□	一九〇六年度香港職員錄	□	(英文)
一六四(I-III ^{abc})	コエニヒ	獨逸領事制度提要 第一, 第二 及全	(一九〇九 一九〇九)	□
一六五	外務省	獨逸帝國領事錄	一九一一	□

い-20-

一六六(I-III)	外務省	獨逸帝國領事表 (一九〇九年度) (一九一〇年度) (一九一三年五月)	□	□
一六七	□	海の彼方へ 第一編(公使・領事派遣名簿)	一九一三	□
一六八(I-VI)	□	獨逸帝國陸軍及殖民省經理官階級名簿 一九〇九・一九一〇・一九一一・不明・一九一二・一九一三年度	一九一二年度ハ V ^{abc} 三册アリ	□
一六九(I-III)	支那稅務署	支那稅關職員錄 第二七・二九・三八號	(一九〇三 一九一三)	一九〇三(英支文)
一七〇(I-IV)	遞信省	帝國郵便區内郵便小切手口座所有者名簿 一九一一・一九一二・一九一三年及同第一追加	□	□
一七一	□	獨逸殖民協會定款	一九〇二	□
一七二	□	獨逸殖民協會部長名簿	一九〇四	□
一七三	□	獨逸サモア(一般紹介及人名錄)	一九一一	□
一七四	ローレンツ	庶務・記録・官房勤務案内	一八九九	□
一七五	カムマアマイスタア	地方行政勤務實用案内	一九一四	□
一七六 ^{abc}	ツムマツハ	自修文庫 公文書の葉	一九〇五	□
一七七 ^{abc}	□	普魯西官廳用公文書正字表	一九〇三	□

い-21-

(4) 規定				
一七八	□	帝國官吏官舎規定	一九〇三	□

《陸軍經理校》			
一七九	□	帝國中央金庫事務規定	一九〇三 □
《京都帝大》*			《京都大附圖》
一八〇	□	帝國印刷局會計規則	一九〇六 □
《京都帝大》*			《京都大附圖》
一八一	□	王國山林保安勤務に於ける準備及任用規定	□ □
《京都帝大》*			《京都大附圖》
一八二	オツタアマン	家屋建築線規則[?]定?	一九〇七 □
《陸軍經理建築》			
一八三	□	伯林市内足場及軌道設置規定	一九〇八 □
《陸軍經理建築》			
一八四	□	カールスルーエ建築警察規定	一九一〇 □
《陸軍經理建築》			
一八五	□	獨逸商品關稅表	一九一〇 □
一八六 ^{ab}	□	獨逸領東亞弗利加總督府主金庫, 特別及補助金庫一般規定	□ □
一八七	□	獨逸領東亞弗利加總督府[主金庫,]特別及補助金庫勤務規定	□ □
一八八 ^{ab}	海軍省	膠州保護領及東亞弗利加派遣隊豫算中の給料規則	一九一〇 □
い- 22-			
一八九	□	青島港灣規則	一九〇八 (獨支文)
一九〇	□	青島埠頭局諸規定	一九〇八 □
一九一 ^{a-t}	□	膠州灣總督府諸規定・膠州殖民地管理諸規定・ 膠州守備諸規定・膠州官報・ABC目錄	一九〇四 □
一九二(I ^{a-m} -XIII ^{a-f})	海軍省	膠州保護領行政規定集	一九〇三 I ^{a-m}
		全 上 並に追加(一九〇三 - 一九〇九)	□ II ^{a-i}
(I ^{a-m} -XIII ^{a-f})	海軍省	全 一九〇三年度附錄第二編	一九〇四 III ^{a-g}
		全 一九〇四年度追加第一編	一九〇五 IV ^{a-g}
		全 第二編	// V ^{a-c}
		全 一九〇五年度追加第一部	一九〇六 VI ^{a-g}
		全 第二部	□ VII ^{a-j}
		全 一九〇六年度追加第一部	□ VIII ^{a-g}
		全 第二部	□ IX ^{a-f}
い- 23-			
一九二(I ^{a-m} -XIII ^{a-f})	海軍省	膠州保護領行政規定集 一九〇七年度追加第一部	一九〇八 X ^{a-e}
		全 第二部	// XI ^{a-c}
		全 一九〇八及一九〇八年度追加第一部	一九一〇 XII ^{a-c}
全		全 第二部	// XIII ^{a-f}
一九三 ¹⁻³²	□	膠州總督府主要規定集	一九〇四 □
一九四 ^{a-i}	□	膠州總督府一般規定集	一九〇九 □
一九五	香港英國政廳	公共衛生及建築規定	一九〇三 (英文)
《陸軍經理建築》			

(5) 豫算

一九六(I-XXI)	□	一九〇〇年度獨逸帝國豫算 第一, 及第二卷	一八九九 I, II
		一九〇一年度 全 上	一九〇一 III
		一九〇四年度 全 上	一九〇四 IV

い-24-

		一九〇六年度 全 上 第一, 及第二卷	一九〇五	V, VI
		一九〇七年度 全 上 第一, 及第二卷	一九〇六	VII, VIII
		一九〇八年度 全 上 第一, 及第二卷	一九〇七	IX ^{ab} , X ^{ab}
		一九〇九年度 全 上 追補	□	XI
		一九一〇年度 全 上 第一, 及第二卷	一九〇九	XII ^{ab} , XIII ^{ab}
		一九一一年度 全 上 第一, 及第二卷	一九一〇	XIV ^{ab} , XV
		一九一二年度獨逸保護領豫算案	一九一二	XVI
		一九一二年度獨逸帝國豫算案 第一, 及第二卷	一九一二	XVII, XVIII
		一九一三年度 全 上 第一卷	一九一二	XIX
		一九一四年度 全 上 第一, 及第二卷	一九一三	XX, XXI
一九七(I-III)	□	一九〇六年度國家歲計豫算及同附録 第一卷及第二卷	□	□
一九八	□	一九〇七年度帝國內務省豫算	□	□

い-25-

一九九	□	一九〇七年度帝國郵傳信行政豫算	□	□
二〇〇	□	一九〇七年度一般恩給基金豫算	□	□
二〇一	□	一九〇七年度帝國廢兵基金豫算	□	□
二〇二	ヘルフルト	普魯西豫算制	一九〇五	□
二〇三	□	一八九三 - 九四年度「カメルン, ト[-]ゴ」西南亞弗利加豫算	□	□
		一八九七 - 九九年度保護領豫算 一九〇〇年度膠州豫算		
二〇四(I-XVIII)	□	一九〇〇 - 〇一年度獨逸保護領豫算(東亞弗利加 缺)	□	I
		一九〇二 - 〇三年度獨逸保護領豫算	□	II
		一九〇三年度 全 上	一九〇二	III
		一九〇四 - 〇五年度 全 上	□	IV
		一九〇五年度 全 上	一九〇四	V
		一九〇六年度 全 上	一九〇五	VI ^{ab}
		一九〇七年六 - 〇七年度 全上	□	VII

い-26-

		一九〇七年度獨逸保護領豫算	一九〇六	VIII
		一九〇八年度 全 上	一九〇七	IX ^{a-e}
		一九〇八 - 〇九年度 全 上	□	X
		一九〇九年度 全 上 一九一〇年度 全 上	一九〇九	XI ^{ab} , XII ^{abc}
		一九一〇 - 一一年度 全 上 一九一一年度 全 上	一九一〇	XIII, XIV
		一九一二年度 全 上 一九一二 - 一三年度 全 上	一九一二	XV, XVI
		一九一三年度 全 上 一九一四年度 全 上	一九一三	XVII ^{ab} , XVIII
二〇五(I-II)	□	一九一〇 - 一九一一年度獨逸保護領豫算計算書	□	□
		一九一一年度 全 上	□	□
二〇六(I ^{ab} -II ^{abc})	□	一九〇〇年度帝國豫算に依る帝國官吏給料明細表	一九〇〇	□
		一九〇四年度豫算に於ける帝國及殖民地官吏給料表	一九〇四	□
二〇七	□	一九〇二年度香港殖民地豫算	□	(英文)

い-27-

二〇八(I-XIII) 上海市會		一八九六年度報告 一八九七年度豫算	一八九七	(英文)
		一八九八年度 全 一八九九年度 全 (英文)	一八九九	II
		一八九九年度 全 一九〇〇年度 全 //	一九〇〇	III
		一九〇〇年度 全 一九〇一年度 全 //	一九〇一	IV

一九〇一年度 全	一九〇二年度 全	〃	一九〇二	V
一九〇三年度 全	一九〇四年度 全	〃	一九〇四	VI
一九〇四年度 全	一九〇五年度 全	〃	一九〇五	VII ^{ab}
一九〇五年度 全	一九〇六年度 全	〃	一九〇六	VIII ^{ab}
一九〇六年度 全	一九〇七年度 全	〃	一九〇七	IX
一九〇七年度 全	一九〇八年度 全	〃	一九〇八	X
一九一一年度 全	一九一二年度 全	〃	一九一二	XI
一九一二年度 全	一九一三年度 全	〃	一九一三	XII

い-28-

一九一三年度報告	一九一四年度豫算	(英文)	一九一四	XIII
----------	----------	------	------	------

(6) 報告

二〇九 □	第二回ハーグ平和會議結果	一九〇八	□
二一〇(I-XXXVII) □	獨逸帝國議會議事録 皇第三五八卷 (三三卷) 全 第一 - 第三五一 全 第三五二 - 第五三三 全 第五三四 - 第六五二 全 第六五三 - 第九六五	皇一九一〇 皇一九一三 一九一二 〃 (一九一三) 〃	I-[X]XXXIII XXXIV XXXV XXXVI XXXVII
二一一 ^{abc}	帝國議會議事速記録, 一九〇三 - 〇四年度會期	一九〇四	□
二一二(I-III) 帝國統計局	一九一〇年度 獨逸帝國統計年報 第三一年 一九一一年度 全 第三二年 一九一二年度 全 第三三年	一九一〇 一九一一 一九一二	I II III

い-29-

二一三 □	一九〇一 - 〇五年間 帝國郵便電信事項管理報告	一九〇六	□
二一四(I-V) □	獨逸保護領報第二〇・二一・二四・二六・二七卷 {一九〇七, 一九〇八 - 一一, 一九一三 - 一四}		□
二一五(I ^{a-f} -XII) □	一九〇一 - 〇二年度 亞弗利加及南洋獨逸保護領年報 一九〇一年度 全 上 附圖[² 圖録 ²] □ 一九〇二 - 〇三年度 全 上 一九〇四 III 全 上 附錄 □ IV ^{a-f} 一九〇三 - 〇四年度 全 上 一九〇五 V ^{abc} 一九〇四 - 〇五年度 全 上 一九〇六 VI ^{abc} 全 上 附錄 〃 VII 一九〇五 - 〇六年度 全 上 □ VIII ^{abc} 全 上 附錄 一九〇七 IX ^{abc} 一九〇六 - 〇七年度 全 上 一九〇八 X	一九〇三 一九〇三 一九〇四 一九〇五 一九〇六 〃 一九〇七 一九〇八	I ^{a-f} II III IV ^{a-f} V ^{abc} VI ^{abc} VII VIII ^{abc} IX ^{abc} X

い-30-

	一九〇七 - 〇八年度 亞弗利加及南洋獨逸保護領年報	一九〇九	XI
	一九〇八 - 〇九年度 全 上	□	XII
二一六 □	獨逸殖民地協會獨逸保護領寫真帖説明	一九〇五	□
二一七 □	一九一一 - 一二年亞弗利加及南洋に於ける獨逸保護領(帝國殖民省年報)	一九一三	□
二一八(I-II) □	一九〇七 - 〇八年度膠州年報, 一九〇八 - 〇九年度 全	(一九〇九)	□
二一九 ^{ab} □	獨逸膠州領測量圖及統計表	一八九九	□
二二〇 □	一九〇七年度帝國印刷局營業報告	一九〇八	□
二二一 □	一九一〇年獨逸拓殖會議々事録	一九一〇	□
二二二 岡松法學博士	臺灣法律及習俗研究臨時報告	一九〇〇	(英文)

二二三(I ^{ab} -V) □	殖民地年報 第三八八號 威海衛(一九〇二年度) (英文)	一九〇三	I ^{ab}
	全 第四五〇號 全 (一九〇四年度) //	一九〇五 ²	II
	全 第六三七號 全 (一九〇九年度) //	一九一〇	III
			い-31-
	殖民地年報 第□□八號 威海衛(一九一〇年度) (英文)	一九一一	IV
	全 第七五七號 全 (一九一二年度) //	一九一三	V
二二四(I, IV) □	一九〇九年度ヨリ一九一二年度迄各香港政廳報告	(一[一〇] ²) (英文)	
二二五(I-XI) □	自一九〇三年度香港市議會報告書 至一九一三年度全	皇一九〇四 (英文)	
二二六 □	一九〇七年度朝鮮發達年報	一九〇八	(英文)
二二六 ^{ab} □	獨逸殖民協會西南亞弗利加事業概覽(一八八五 - 一九〇六)	一九〇六	□
二二八(I-II) □	一九〇七年五月廿二日獨逸殖民協會部長會議報告	一九〇七	□
	一九〇七年十二月六日 全	□	□
二二九(I ^{a-n} -II ^{a-m}) □	獨逸殖民協會青島部第八年報, 全 第九年報	二九二〇	□

(ハ) 社會運動

二三〇 □	「國民母屋」沿革	一八九〇	□
«京都帝大»*			
二三一 □	ダマシユケ 土地改良	□	□
«京都帝大»*			«京都大附圖»
			い-32-
二三二 □	火葬に對する現代の贊成者	□	□
«京都帝大»*			
二三三 □	一九一二年度獨逸語[國民] ² 協會國民 ² 第二年報	□	同種ノ
«京都帝大»*			«京都大附圖»
二三四 □	獨逸語國民火葬協會第三年報	一九一三	モノナリ
«京都帝大»*			«京都大附圖»
二三五 □	フックス 社會政策協會記事 第一二八編 共同事業 第一卷	一九〇八	□
«京都帝大»*			«京都大附圖»
二三六 □	ワイス 警察學校	一九一〇	□
«京都帝大»*			
二三七 □	ヘン 青島義勇消防隊演習書	一九〇二	□
二三八 □	キール消防隊司令部第四年報	一九〇一	□
«京都帝大»*			
二三九 ^{ab} □	勞働者保護會 徒弟勞働者指針	一八八四	□
«京都帝大»*			«京都大附圖»
二四〇 ^{abc} □	全 既婚勞働者指針	一八八四	□
«京都帝大»*			«京都大附圖»
二四一 □	青年獨逸—覽同盟—覽	□	□
«京都帝大»*			«京都大附圖»
二四二 □	青年獨逸同盟通知第一號	一九一四	□
«京都帝大»*			«京都大附圖»
二四三 ^{ab} □	青年獨逸協會「大伯林」一九一三年度青年獨逸報	一九一二	□
«京都帝大»*			«京都大附圖»

(二) 法律

い-33-

(イ) 法律學, 法典

(1) 法律學

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
二四四	□	フエヒナア法律文庫: 法律辭典	一九〇六	□
二四五	カール・ベルグボーム	法理學と法律哲學 第一卷	一八九二	□
二四六	イエリネク	近代の國法: 第一卷 一般國法	一九〇五	□
二四七 ^{ab}	オツタアマ フエヒナア	フエヒナア法律文庫[:] 立法及國家組織	一九〇四 一九〇九	□
二四八		缺番		
二四九 ^{ab}	フライシユマン	國家法源	一九〇五	□
二五〇	ファギユソン	國際法提要 第二卷	一八八四	□
二五一(I-II)	シユシヒマン	國際的結婚 第一・第二卷	□	□
い-34-				
二五二(I-IV)	ヒエケ エンフェルト	國際交通に於ける權利追[追遂?]行 <small>自第一卷 至第四卷</small>	(二八九五 一九〇五)	□
二五三	サベルスキイ	殖民地の内國及外國觀念	一九〇七	□
二五四	エンゲルハルト	公民の權利義務	一九一三	□
二五五 ^{ab}	ペレルス	現代世界海上法	一九〇三	□
二五六	アイヒハイム	實體的刑法	一九〇四	□
二五七 ^{abc}	ダルケ	刑法と刑事訴訟	一九〇六	□
二五八	シタイン	司法と行政との境界及關係	一九一三	□
二五九	□	徵税に對する訴願	□	□
二六〇	ゼスト	破産判事提要	一九〇〇	□
二六一	アルバヌス	私成遺言及軍人遺言	一九〇一	□

い-35-

(2) 法典

二六二(I-III ^{ab})	グローテフエンド	普魯西普[普魯]に獨逸帝國の法文適用 (二八九五 一八九六 第三卷ハ 二册 及解釋に關する布告 第一卷・第二卷・第三卷)		
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二六三 ^{abc}	リエ[エユ]ドルフ	グツテンターク法律集 第二: 獨逸帝國刑法々典	一九〇三	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二六四 ^{ab}	ヘルウエヒ	全 刑事訴訟法	一九一三	□
				《京都大附圖》
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二六五	ヘルンスト	全 獨逸帝國陸軍刑法	一九〇三	□
《京都帝大》*				
二六六	クルヂユキイ ルドルラ	全 第一九: 海上法	一九一三	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二六七	ツオルン	全 獨逸帝國領事法	一九〇一	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二六八	シメオン	全 普魯西裁判所費用法	一九〇八	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二六九 ^{a-d}	アヒレス ヤッツォフ	全 第三八・第三九: 民法法典	(二八九八 一九〇三)	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二七〇 ^{a-d}	シイドワ ツシユ	グツテンターク法律集 民事訴訟法附裁判所構成法	(一九〇一 一九一三)	□

«京都帝大»* シイドフ 全 第一三[:] 破産法 «京都大附圖»
 二七一 シンシユ 全 一九〇〇 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»

い-36-

二七二 クレンヒ フキツシヤア 全 第四三: 不動産強制執行に関する法律 一九〇〇 □
 «京都帝大»*
 二七三^{ab} ビーパア 全 帝國官吏法 一九〇一 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二七四 デリユス 全 官吏責任義務法 一九〇九 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二七五 ホトランク 全 第五: 手形法と手形印紙税法 一九〇九 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二七六 シイドフ 全 第一七[:] 辯護士手數料規則 一九一〇 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二七七^{ab} ブルクハルト 全 第五六一: 一般危険の疾病豫防に関する法律 一九〇〇 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二七八 フェヒナア フェヒナア法律文庫 獨逸法律集 一九〇〇[四]-〇五 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二七九 □ 全 帝國司法々規 □ □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二八〇 □ 全 帝國裁判所法及普魯西施行法 □ □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二八一 □ 全 普魯西行政法規 第五卷第二部 一九〇五 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二八二^{ab} □ 全 民法及商法々典 一九〇六 - 一九〇四 - 〇五 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二八三 □ 全 官吏法 一九一一 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»

い-37-

二八四 □ フェヒナア法律文庫 官吏法續編 一九一二 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二八五 □ 全 普魯西官吏[史吏]給料法施行法 □ □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二八六 □ 全 社會政策法 □ □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二八七 □ 全 陸海軍新恩給法 一九〇六 □
 «陸軍經理校»
 二八八^{abc} □ 全 租税法施行規則(第六卷: 第二附録第一號) 一九〇七 - 一九〇九 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二八九 □ 全 印紙税法 □ □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二九〇 □ 全 租税法印紙税法施行規則 一九一〇 □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二九一 □ 全 雜法律續 □ □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二九二 □ 全 補遺續々[←編]: 保險[檢險]契約法 □ □
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 二九三^{ab} □ 全 補遺 □ □

「京都帝大」*				「京都大附圖」
二九四	□	全	補遺續編	一九一〇 一九一〇
「京都帝大」*				「京都大附圖」
二九五 ^{abc}	□	全	第一一版第一[:] 補充篇	一九〇七 一九〇七
「京都帝大」*				「京都大附圖」

い-38-

二九六 ^{abc}	□		フエヒナア法律文庫 第二[:] 追補篇	一九〇七 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
二九七	□	全	普魯西法律第一[一二]卷第二補遺	一九一一 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
二九八 ^{ae}	ジエム ジエムッハ	全	普魯西印紙税法	一九一〇 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
二九九 ^{abc}	全	全	追加[加補 ¹]	一九一〇 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三〇〇(I-III)	ラバンド		獨逸帝國々法 第一卷・第二卷・第三卷	一九〇一 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三〇一	アンシユツツ ド・ホウ		普魯西内政機關構成法	一九〇八 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三〇二	スタンデインガア シユミット		刑法々典	一九一一 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三〇三(I-II)	オルスハウゼン		獨逸帝國刑法々典註釋[¹ 釋解 ²] 第一卷・第二卷	一八九七 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三〇四	シテングライン ^{其他}		刑法の附屬法註釋	一九〇三 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三〇五	ゾルム		刑法及刑事訴訟法	□ □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三〇六	オルスハウゼン		帝國刑事立法 第二卷[:] 裁判所構成所[所法]と刑事訴訟法	一九〇五 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三〇七	ロエウエ		獨逸帝國刑事訴訟法	一九〇七 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」

い-39-

三〇八	□		民法々典	一九一〇 □
「京都帝大」*				
三〇九	ゲブホルド ルツツ		獨逸帝國民法々典	□ □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三一〇(I-III)	ノイマン		獨逸民法 第一卷・第二卷・第三卷	一九〇三 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三一	□		民法補充規法	一九一一 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三一	□		獨逸帝國民事訴訟法	□ □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三一三	ベルンイ[←ハ]ルデイ		債務者法律行為の取消請求に関する法律	一九〇三 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三一四	□		身分及結婚登記規則	一九〇三 □
「京都帝大」*				
三一五	ローメン		國籍法	一九一三 □
「京都帝大」*				「京都大附圖」
三一六	デリユス		國籍法	一九一三 □

「京都帝大」*			「京都大附圖」
三一七	ケルラア トラットマン	千九百十三年七月二十二日發布帝國並に聯邦國籍法註釋	一九一四 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三一八	アルフェルド	造形藝術及寫真作物著作権に關する法律	一九〇七 □
「陸軍經理建築」			
三一九	ハーン	獨逸傷害保險法 第一卷	一九〇一 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
い-40-			
三二〇	□	社會政策的法律 第二卷[:] 傷害保險法	□ □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三二一	デュットマン	在官者に對する保險法註解	一九一三 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三二二	フロムヘルツ	責任法	一九一三 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三二三	□	裁判醫檢死手續規定	一九〇五 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三二四	フォルスタア	普魯西免許醫師及齒科醫師手數料規定	一九〇一 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三二五	□	裁判醫勤務規定	一九〇五 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三二六(I-II)	シタウブ	商法註解 第一卷・第二卷	(一九〇七 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三二七	チイバルト	山林法	一八八九 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三二八 ^{ab}	シヤツプス	獨逸海上法	一九〇六 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三二九 ^{ab}	ブロードア[子マ]ン	獨逸帝國海上法	一九一三 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三三〇	クユチユキイ	獨逸帝國海上法	一九一三 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三三一 ^{a-i}	海軍省	獨逸保護領法	一九〇一 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
い-41-			
三三二	ホフマン	獨逸殖民地法	一九一一 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三三三	ゲルストマイヤア	保護領法	一九一〇 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三三四	ホエツプフナア	保護領法註解	一九〇七 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三三五	□	獨逸殖民地立法集 第九卷(一九〇五年度)	一九〇六 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三三六	ザツセン	獨逸殖民地軍事法	一九一一 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三三七	ラインエツケ	獨逸保護領の財政法	一九一二 □
「京都帝大」*			
三三八 ^{abc}	□	一九〇七年五月發布帝國官吏法草案	□ □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三三九	シユルツエ	帝國官吏法	一九〇八 □

「京都帝大」*			「京都大附圖」
三四〇 ^{a-d}	ブランド	獨逸帝國法律第一: 帝國官吏法	(二九〇三 □ 二九〇七 □)
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三四一 ^{abc}	ロムベルグ	殖民地官吏法	□ □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三四二	ヘルフルト	普魯西官吏法	一九〇五 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三四三 ^{abc}	ローレンツ	官吏便覽「官吏法・憲法其他」	(二九〇三 □ 二九〇七 □)
「京都帝大」*			「京都大附圖」

い- 42-

三四四	□	一九一三年度獨逸帝國豫算決定に關する法律案補遺	□ □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三四五	ダルホト	普魯西法律註解附録[:] 第一〇[・]第一一年内容目録	□ □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三四六 ^{ab}	アラバスタア	支那刑法註解船釋	一八九九 (英文)
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三四七 ^{abc}	德華學堂	中德法律彙覽 第九門第三號[:] 中華民國々會組織法[・]衆議院議員選舉法	一九一三 (獨支文)
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三四八 ^{abc}	全	全 第四門第二號[:] 中華民國刑法草案	□ (獨支文)
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三四九	□	帝國(聯邦[聯邦同盟])法令集目録(一八六七 - 一九〇六年)	□ □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三五〇	□	一八七〇年度北獨逸同盟法令集	□ □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三五一(I-XLVI[]) □		自一八七一年度至一八八六年度 帝國法令集	□ I-XVI
		自一八八八年度至一八九六年度 全 上	□ XVII-XXV
		一八九六年度 帝國法令集(第廿一號法令)	□ XXVI
		自一八九七年度至一八九六八年度 全 上	□ XXVII-XXVIII
		一八九八年度 帝國法令集(第廿五號法令)	□ XXIX

い- 43-

		自一八九九年度至一九〇〇年度 帝國法令集	□ XXX-XXXI
		自一九〇一年度至一九〇三年度 全 上	各二冊 XXXII ^{ab} -XX[XIX][XV] ^{ab}
		一九〇四年度 全 上	□ XXXV
		自一九〇五年度至一九〇六年度 全 上	各二冊 XXXVI-XXXVII
		一九〇七年度 全 上	□ XXXVIII
		自一九〇八年度至一九〇九年度 全 上	各二冊 XXXIX ^{ab} -XL ^{ab}
		自一九一〇年度至一九一一年度 全 上	□ XLI-XLII
		自一九一二年度至一九一三年度 全 上	各二冊 XLIII ^{ab} -XLIV ^{ab}
		一九一四年度 全 上	□ XLV
		帝國法令集 第五號特別附録	□ XLVI
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三五二	グローテフエンド	一八〇六 - 一八九九年普魯西及獨逸法令集 内容目録	一九〇〇 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」
三五三(I-IV)	全	一八〇六 - 一八九九年普魯西及獨逸法令集 第一卷・第二卷・第三卷・第四卷	一九〇〇 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」

い- 44-

三五四	グローテフエンド	一八〇六 - 一八九九年普魯西及獨逸法令集 補遺卷	一九〇〇 □
「京都帝大」*			「京都大附圖」

三五五	全	一八〇六 - 一八九五年普魯西及獨逸法文集 索引及條約目錄	一八九六	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
三五六(I-IV)	全	一八〇六 - 一八九五年普魯西及獨逸法文集 第一・第二・第三・第四編	一八九六	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
三五七	全	全	補遺編	一八九九 □
《京都帝大》*				《京都大附圖》
三五八(I-LV)	□	自一八六〇年至一九〇〇年度 普魯西法令集	□ I-XLI, 二八六七年	□
		自一九〇一年至一九一三年度 全 上	□ XII ^{ab} -LV ^{ab}	□
		一九一四 全 上	□ LV	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
三五九(I-III)	キヤリントン	香港の法令 第一卷・第二卷・第三卷 年代及索引	(二九〇三)	(英文)
《京都帝大》*				《京都大附圖》
三六〇	ボウレイ	香港法令集 年代順目録(一九〇二 - 一九〇八)	一九〇九	(英文)
《京都帝大》*				《京都大附圖》
三六一(I-XVII)	□	自一八九一年度至一九〇七年度 香港法令集(一九〇〇年度 X ^{ab} 二册アリ)	□	(英文)
《京都帝大》*				《京都大附圖》
三六二(I-II)	アラバスタア	香港の法律 第一卷[:] 一八四四 - 一九〇〇年の法令	一九一三	(英文)
		全 第二卷[:] 一九〇一 - 一九一二年の法令	〃	〃
《京都帝大》*				《京都大附圖》

い-45-

三六三	アラバスタア	香港の法律 年代表及索引	一九一三	(英文)
《京都帝大》*				《京都大附圖》
三六四 ^{I-II}	リーチ	香港立法議會法令集 第一卷・第二卷	(二六九二)	(英文)
《京都帝大》*				《京都大附圖》

(ロ) 評論, 雑誌

三六五	□	倫敦海戦法會議結果報(一九〇八年)	□	(佛獨文)
三六六	カーン	國籍の得喪に關する帝國法律	一九〇八	□
三六七	□	獨逸保護領に於ける法的關係に關する帝國議會議事録(二八八五)	□	□
三六八	ミュンスタアマン	獨逸殖民地に於ける皇帝の法律上の地位	一九一一	□
三六九	シテングル	獨逸殖民地の法的關係	一九〇一	□
三七〇	フライシユマン	獨逸殖民地法に従ふ引渡と追跡	一九〇六	□
三七一	シユリム	獨逸殖民地に於ける土地所有權	一九〇五	□
三七二	リユーダアス	獨逸殖民地狩獵權	一九一三	□

い-46-

三七三	ハールハウス	獨逸殖民地官吏の權利	一九一二	□
三七四	ゲルラア	獨逸殖民地官吏法論	一九一一	□
三七五	マルマン	獨逸殖民地に於ける權利と義務	一九一三	□
三七六		缺番		
三七七 ^{a-k}	テツシユ	獨逸殖民地官吏の權利義務	(一九〇三)	□
三七八	クロエナア	帝國及聯邦に於ける官吏の責任義務	一九一一	□
三七九	ハウスホーフアア	獨逸國民公生活須知	□	□
三八〇	ピルツ	傭主と被傭人	一八九八	□
三八一	シメオン	獨逸帝國法律及訴訟手續 第二卷[:] 任意及訴訟裁判權	一九一三	□
三八二	ダンデ	軍人の民法關係	一八八七	□

《陸軍經理校》			
三八三	□	日本關稅法と稅率	一九一〇 □
《京都帝大》*			
三八四		プロコウデツク譯アンソンバート著英國契約法の特徴	一九〇八 □
《京都帝大》*			
い-57-			
三八五	ベツツ	伯林比較法學及國民經濟學國際協會年誌「支那の法律」	□ □
《京都帝大》*			
三八六 ^{ab}	フランケ	支那に於ける土地所有權事情	一九〇三 □
三八七	クルーゼン	膠州殖民地に於ける支那人の法律上の地位	一九一三 □
三八八	ピエール[・]ホワン譯註	支那に於ける不動産に関する専門的解釋	一九〇七 □
三八九	ウヰリヤムス	商業鐵道・礦山事業に関する支那新法制	一九〇四 □
三九〇	ランドマン	支那に於ける歐洲商業殖民地	一九一一 □
三九一	ピエール・ホワン(支那人宣教師)譯註	法律上より見たる支那の結婚	一九〇八 (佛文)
三九二	ブルーメ	民法研究雜誌 第一一二號	一九一四 □
三九三	□	大審院民事判決例 第二卷	一九〇八 □

い-58-

(三) 經濟

(イ) 經濟學, 評論

(1) 經濟學

三九四	フツクス	國民經濟學	一九〇一 □
《陸軍教育總監》			
三九五(I-II)	シュモルラア	國民經濟通論 第一編・第二編	(一九〇四) □
三九六		缺番	
三九七	ビューヒヤア	國民經濟の成立	一九一〇 □
《陸軍教育總監》			
三九八(I-V)	ロツシヤア	國民經濟論 第一卷[:] 國民經濟の基礎	一九〇六 I
		全 第二卷[:] 農業經濟	一九〇三 II
		全 第三卷[:] 商工業經濟	一九〇九 III
《陸軍被服本廠》			
		全 第四卷[:] 財政經濟論	一九〇一 IV ^{ab}
《陸軍被服本廠》			
		全 第五卷[:] 救民及貧民政策論	一九〇六 V

い-59-

三九九(I-II)	シュモルラア	第十九世紀に於ける獨逸國民經濟の發達 第一編・第二編	一九〇八 □
四〇〇	デイツエル	理論社會經濟學 第一卷	一八九五 □
四〇一(I-III)	ボエムバワーク	資本と資本利子 第一部[:] 資本利子説の沿革と評論	一九〇〇 □
		全 第二部[:] 積極資本論 前卷・後卷	一九一二 II, III
四〇二	ワグナア	政治經濟學基礎 第二編	一八九四 □
四〇三(I-II)	ブーヘンベルガア	實用國民經濟論 第二編[:] 農業制度と農業政策 第一卷・第二卷	(一九〇三) □
四〇四	シヨエンハイダア	農業收益其他	□ □
《東北大附圖分館》			

四〇五	ヘルフェリヒ	貨幣	一九〇三	□
«°三高»*				«京都大總人圖»
四〇六(I-IV)	ワグナー	財政學 第二編, 第三編[:] 第一卷・第二卷, 第四編[:] 第二卷	(二八九〇-二九二二)	□
				«金澤大中國»
四〇七	ヴァンデアボルグ	商業と商業政策	一九〇七	□
四〇八	ヘルフルト	金櫃及會計制度	一九〇五	□
				«陸軍被服本廠»
四〇九	ゲールケ	國家の財政難と其發展策其他	□	□
				い- 60-
四一〇	クリューガア	獨逸組合制度	一九〇七	□
四一一 ^{abc}	ト [?] ームホルン	小切手(獨逸郵便小切手)	一九一〇	□

(2) 評論

四一二	デー	來る可き經濟政策	一八九八	□
四一三	シヤハナア	佛國貯金制度其他	一九一〇	□
四一四	ヘルビヒ	ザールブリュッケン附近官營炭坑の賃金其他	□	□
四一五	殖民經濟委員會	工業及労働社會に對する吾が殖民經濟	一九〇九	□
四一六	全	吾が殖民經濟	一九一四	□
				«陸軍教育總監»
四一七	ドーフエ	獨逸殖民地 第一: ト[-]ゴとカメルン	一九〇九	□
四一八	バルト	我保護領の經濟	一九一〇	□
四一九	パウル・デー	經濟政策の眼より見たる獨逸國と東洋 第一編[:] 東洋へ	一八八四	□
				い- 61-
四二〇	支那人 ニヨク・チン・ワル	寧波に於ける營業形態	一九〇九	□
四二一	エテイヌネ	支那に於ける獨逸の經濟關係	一九〇四	□
四二二	シユラアマイヤア	膠州灣に於ける獨逸の經濟的發達の基礎	□	□
四二三 ^{a-e}	ベツツ	青島開市以來山東省の經濟的發達(一八九八 - 一九一〇)	一九一一	□
四二四	ヒルデブランド	國民經濟及統計年報 第三項 第三九卷	一九一〇	□

(ロ) 報告

四二五	□	一九〇八年六月於巴里開催第五回萬國綿糸紡績會社代表者會議	□	(英文)
四二六(I ^{ab} -III ^{ab})	□	一九〇七年二月上海萬國鴉片委員會報告 第一編[・]第二編 □ (英文), I・II, 各二册 鴉片に關する萬國會議(一九一一年一月一日 - 一九一二年一月二十三日)(佛文), III ^{ab}		
四二七(I-III)	日本大藏省	日本財政經濟年報 第一一年・第一二年・第一三年	(二九二二-一九一三)	□
四二八	フォン・デア・ハイト	一九一九年度殖民地事業年鑑	□	□
				い- 62-
四二九 ^{abc}	□	殖民經濟委員會幹部會報 一九一三年一月, 第一號	一九一三	□
四三〇(I ^{ab} -III ^{ab})	□	殖民經濟委員會油脂材料部會報	一九一三	□
		全 棉花部會報	一九一〇	II ^{ab}
		全 全 上	一九一三	□
四三一 ^{ab}	英國總領事ホシイ	四川省報告	一九〇四	(英文)

四三二	□	一八九八年東西派遣經濟委員商品見本集録	□	□
四三三	山東鐵道會社	一九〇六年度營業報告 第八年	□	□
四三四	支那稅務署	鴉片: 支那の罌子粟沿革	一八八九	(英支文)
四三五	全	未製及精製鴉片	一八八八	(英文)
四三六	全	漢口及揚子江諸港ヨリ輸出したる藥材表	一九〇九	(英文)
四三七	全	黃河註記	一九〇六	(英文)
四三八	全	鐵道と内地賦稅	□	(英文)

い- 63-

四三九	支那稅務署	廣東諸港輸出手續假規則	一八九七	(英文)
四四〇	全	支那の不完[完換] ² 通貨	一八九七	(英支文)
四四一	全	東南滿洲に於ける天然養蠶法	一九〇八	(英文)
四四二	全	滿洲の大豆	□	(英文)
四四三(I ^{ab} -LXI ^{ab})	全	稅關公報 統計篇第一二〇號(一八九八年第四期) (英文)	一八九九	□
		第一二一號(一八九九年第一期) //	//	II ^{ab}
		第一二二號(// 年第二期) //	//	III ^{ab}
		第一二三號(// 年第三期) //	//	IV ^{ab}
		第一二四號(// 年第四期) //	一九〇〇	V ^{ab}
		第一二五號(一九〇〇年第一期) //	//	VI ^{ab}
		第一二六號(// 年第二期) //	//	VII ^{ab}
		第一二七號(// 年第三期) //	//	VIII ^{ab}

い- 64-

四四三(I ^{ab} -LXI ^{ab})	支那稅務署	稅關公報 統計篇第一二八號(一九〇〇年第四期) (英文)	一九〇一	IX ^{ab}
		第一二九號(一九〇一年第一期) //	//	X ^{ab}
		第一三〇號(// 年第二期) //	//	XI ^{ab}
		第一三一號(// 年第三期) //	//	XII ^{ab}
		第一三二號(// 年第四期) //	一九〇二	XIII ^{ab}
		第一三三號(一九〇二年第一期) //	//	XIV ^{ab}
		第一三四號(// 年第二期) //	//	XV ^{ab}
		第一三五號(// 年第三期) //	一九〇三	XVI ^{ab}
		第一三六號(// 年第四期) //	//	XVII ^{ab}
		第一三七號(一九〇三年第一期) //	//	XVIII ^{ab}
		第一三八號(// 年第二期) //	//	XIX ^{ab}
		第一三九號(// 年第三期) //	//	XX ^{ab}

い- 65-

四四三(I ^{ab} -LXI ^{ab})	支那稅務署	稅關公報 統計篇第一四〇號(一九〇三年第四期) (英文)	一九〇四	XXI ^{ab}
		第一四一號(一九〇四年第一期) //	//	XXII ^{ab}
		第一四二號(// 年第二期) //	//	XXIII ^{ab}
		第一四三號(// 年第三期) //	//	XXIV ^{ab}
		第一四四號(// 年第四期) //	一九〇五	XXV ^{ab}
		第一四五號(一九〇五年第一期) //	//	XXVI ^{ab}
		第一四六號(// 年第二期) //	//	XXVII ^{ab}
		第一四七號(// 年第三期) //	//	XXVIII ^{ab}
		第一四八號(// 年第四期) //	一九〇六	XXIX ^{ab}
		第一四九號(一九〇六年第一期) //	//	XXX ^{ab}
		第一五〇號(// 年第二期) //	//	XXXI ^{ab}

第一五一號(// 年第三期) // // XXXIII^{ab}

い-66-

四四三(I^{ab}-LXI^{ab}) 支那稅務署 稅關公報 統計篇第一五二號(一九〇六年第四期) // 一九〇七 XXXIII^{ab}
第一五三號(一九〇七年第一期) // // XXXIV^{ab}
第一五四號(// 年第二期) // // XXXV^{ab}
第一五五號(// 年第三期) // // XXXVI^{ab}
第一五六號(// 年第四期) // 一九〇八 XXXVII^{ab}
第一五七號(一九〇八年第一期) // // XXXVIII^{ab}
第一五八號(// 年第二期) // // XXXIX^{ab}
第一五九號(// 年第三期) // // XL^{ab}
第一六〇號(// 年第四期) // 一九〇九 XLI^{ab}
第一六一號(一九〇九年第一期) // // XLII^{ab}
第一六二號(// 年第二期) // // XLIII^{ab}
第一六三號(// 年第三期) // 一九一〇 XLIV^{ab}

い-67-

四四三(I^{ab}-LXI^{ab}) 支那稅務署 稅關公報 統計篇第一六四號(一九〇九年第四期) (英文) 一九一〇 XLV^{ab}
第一六五號(一九一〇年第一期) // // XLVI^{ab}
第一六六號(// 年第二期) // // XLVII^{ab}
第一六七號(// 年第三期) // // XLVIII^{ab}
第一六八號(// 年第四期) // // XLIX^{ab}
第一六九號(一九一一年第一期) // 一九一一 L^{ab}
第一七〇號(// 年第二期) // // LI^{ab}
第一七一號(// 年第三期) // // LII^{ab}
第一七二號(// 年第四期) // 一九一二 LIII^{ab}
第一七三號(一九一二年第一期) // // LIV^{ab}
第一七四號(一九一二年第二期) // // LV^{ab}
第一七五號(// 年第一期) // // LVI^{ab}

い-68-

四四三(I^{ab}-LXI^{ab}) 支那稅務署 稅關公報 統計篇第一七六號(一九一二年第四期) (英文) 一九一三 LVII^{ab}
第一七七號(一九一三年第一期) (英文) // // LVIII^{ab}
第一七八號(// 年第二期) // // LIX^{ab}
第一七九號(// 年第三期) // // LX^{ab}
第一八〇號(// 年第四期) // 一九一四 LXI^{ab}

四四四(I^{ab}-II^{ab})全 一八九八年度關稅收入及貿易年報 第一部[:] 支那貿易報告及統計拔萃 一八九九(英文)
全 全 第二部[:] 各港の報告及統計 // (//)
四四五(I^{ab}・II^{ab}・III^{ab})全 一八九九年度 全 第一部[:] 支那貿易報告及統計拔萃 一九〇〇 (//)
全 全 第一・第二部 // (//)
全 全 第二部[:] 各港の報告及統計 // (//)
四四六(I^{ab}-II^{ab})全 一八九九年度 全 第一部[:] 支那貿易報告及統計拔萃 一九〇一 (//)
四四六(I^{ab}-II^{ab})全 全 全 第二部[:] 各港の報告及統計 // (//)II^{ab}

い-69-

四四七(I^{ab}-II^{ab}) 支那稅務署 一九〇一年度關稅收入及貿易年報 第一部[:] 支那貿易報告及統計拔萃 一九〇二(英文)
全 全 第二部[:] 各港の報告及統計 // (//)
四四八(I^{ab}-II^{ab})全 一九〇三年度 全 第一部・第二部 一九〇四(//)I^{ab}・II^{ab}

四四九(I ^{ab} -IV ^{ab})全	一九〇四年度 全 第一部[:] 支那貿易報告及統計拔萃 全 全 第一部[:] 便[郵便] ⁷ 便作業報告 全 全 第二部[:] 各港の報告及統計 第一卷[:] 北方諸港 第二卷[:] 南方諸港	一九〇五(//)II 一冊 // (//) // (//) 二冊 // (//) 二冊
四五〇(I-VIII ^{ab})全	一九〇五年度 全 第一部[:] 統計拔萃 第二部[:] 貿易統計及報告 第一卷[:] 北方諸港 第二卷[:] 揚子江諸港	一九〇六 (//) // (//) II ^{ab} // (//) III ^{ab}

いゝ- 70-

四五〇(I-VIII ^{ab}) 支那稅務署	一九〇五年度關稅收入及貿易年報 第二部[:] 貿易統計及報告 第三卷[:] 中央諸港 第四卷[:] 南方諸港 第五卷[:] 邊境諸港 第三部[:] 外國貿易分類 第一卷[:] 輸入 第二卷[:] 輸出	一九〇六(英文)IV ^{ab} // (//) V ^{ab} // (//) VI ^{ab} □ (//) VII ^{ab} // (//) // // (//) VIII ^{ab}
四五二(I ^{ab} -VIII ^{ab})全	一九〇六年度 全 第一部[:] 統計拔萃 第二部[:] 貿易統計及報告 第一卷[:] 北方諸港 第二卷[:] 揚子江諸港 第三卷[:] 中央諸港 第四卷[:] 南方諸港	一九〇七(//) I ^{ab} // (//) II ^{ab} // (//) III ^{abc} // (//) III[IV] ^{abc} // (//) V ^{ab}

いゝ- 71-

四五二(I ^{ab} -VIII ^{ab}) 支那稅務署	一九〇六年度關稅收入及貿易年報 第二部[:] 貿易統計及報告 第五卷[:] 邊境諸港 第三部[:] 外國貿易分類 第一卷[:] 輸入 第二卷[:] 輸出	一九〇七(英文)VI ^{ab} // (//) VII ^{ab} // (//) VIII ^{abc}
四五二(I ^{ab} -IX ^{ab})全	一九〇七年度全 第一部(A)統計拔萃 第一部(B)郵便作業報告 第二部 第一卷(III ^{ab}) 第二卷(IV ^{ab}) 第三卷(V ^{ab}) 第四卷(VI ^{ab}) 第五卷(VII ^{ab}) 第三部 外國貿易分類 第一卷[:] 輸入 第二卷[:] 輸出	一九〇八 (//) I ^{ab} // (//) II ^{ab} // [(//)] // (//) // (//) VIII ^{ab} // (//) IX ^{ab}
四五三(I ^{ab} -IX ^{ab})全	一九〇八年度全 第一部(A)・第一部(B) 第二部 第一卷(III ^{ab}) 第二卷(IV ^{ab}) 第三卷(V ^{ab}) 第四卷(VI ^{ab}) 第五卷(VII ^{ab}) 第三部 第一卷・第二卷(VIII ^{ab} , IX ^{ab})	一九〇九 (//) I ^{ab} -II ^{ab} // (//) // (//)

いゝ- 72-

四五四(I ^{ab} -IX ^{ab}) 支那稅務署	一九〇九年度關稅收入及貿易年報 第一部(A)・第一部(B) 第二部 第一卷(III ^{ab}) 第二卷(IV ^{ab}) 第三卷(V ^{ab}) 第四卷(VI ^{ab}) 第五卷(VII ^{ab}) 第三部 第一卷・第二卷	一九一〇(英文) I ^{ab} -II ^{ab} // (//) // (//) VIII ^{ab} -IX ^{ab}
四五五(I ^{ab} -VIII ^{ab}) 全	一九一〇年度 全 第一部(A) 第二部 第一卷(II) 第二卷(III ^{ab}) 第三卷(IV ^{ab}) 第四卷(V ^{ab}) 第五卷(VI ^{abc}) 第三部 第一卷(VII ^{ab}) 第二卷(VIII ^{ab})	一九一一 (//) I ^{ab} // (//) // (//)
四五六(I-VIII) 全	一九一一年度 全 第一部: 統計拔萃(I) 第二部 第一卷(II ^{ab}) 第二卷(III ^{ab}) 第三卷(IV ^{ab}) 第四卷(V ^{ab}) 第五卷(VI ^{abc}) 第三部 第一卷(VII) 第二卷(VIII)	一九一二 (//) // (//) // (//)
四五七(I-VIII) 全	一九一二年度 全 第一部(I) 第二部 第一卷(II ^{ab}) 第二卷(III ^{ab}) 第三卷(IV ^{ab}) 第四卷(V ^{ab}) 第五卷(VI ^{abc})	一九一三 (//) // (//)

い-73-

四五八 ^{abc}	支那稅務署	一九一三年度關稅收入及貿易年報 第一部[:] 統計拔萃	一九一四 (英文)
四五九(I ^{ab} -X ^{ab}) 全		光緒廿五年通商各關警船燈[燈]浮標[標]總册 全 廿六年 全 全 廿七年 全 全 廿八年 全 全 廿九年 全 全 卅一年 全 全 卅二年 全 全 卅四年 全 宣統 二年 全 民國 元年 全	一八九九 (支那文) 一九〇〇 (//) II 一九〇一 (//) III 一九〇二 (//) IV 一九〇三 (//) V ^{ab} 一九〇五 (//) VI ^{ab} 一九〇六 (//) VII ^{ab} 一九〇八 (//) VIII ^{ab} 一九一〇 (//) IX ^{ab} 一九一二 (//) X ^{ab}
四六〇	全	中華民國三年第一期通商海關貿易季册	一九一四 (英支文)

い-74-

四六一 ^{ab}	支那稅務署	通商出入款項確實情形考	光緒卅一年 一九〇五 (支那文)
四六二(I ^{ab} -XIV ^{ab}) 全		一八九九年度支那燈臺[•]燈臺船[•]浮標[•]水路標表 一九〇〇年度 全 一九〇一年度 全 一九〇三年度 全 一九〇四年度 全 一九〇五年度 全 一九〇七年度 全 一九〇八年度 全 一九〇九年度 全 一九一〇年度 全 一九一一年度 全	一八九九 (英文) I ^{ab} 一九〇〇 (//) II 一九〇一 (//) III 一九〇三 (//) IV ^{ab} 一九〇四 (//) V 一九〇五 (//) VI ^{ab} 一九〇七 (//) VII ^{ab} 一九〇八 (//) VIII 一九〇九 (//) IX ^{ab} 一九一〇 (//) X ^{ab} 一九一一 (//) XI ^{ab}

い-75-

四六二(I ^{ab} -XIV ^{ab}) 支那稅務署		一九一二年度支那燈臺[•]燈臺船[•]浮標[•]水路標表 一九一三年度 全 一九一四年度 全	一九一二(英文) XII ^{ab} 一九一三 (//) XIII ^{ab} 一九一四 (//) XIV ^{ab}
四六三(I ^{ab} -III ^{ab}) 全		內國貿易關稅年報 第一[:] 福州 光緒廿九年 第二[:] 天津 一九〇二年度 第三[:] 五箇年間の報告及關稅(一九〇二-〇六)	一九〇四 (//) I ^{ab} 一九〇四 (//) II ^{ab} 一九〇七 (//) III ^{ab}
四六四 ^{ab}	全	一九〇五年リエーヂ萬國博覽會支那出品目錄	一九〇五 (佛文)
四六五	全	支那貿易一八五八年一般關稅(輸出)	一九〇九 (英文)
四六六	全	一九〇四年度膠海關貿易報告	一九〇五 □
四六七	全	改訂輸入稅率	一九〇五 □
四六八	全	土產貨物關稅	一八六九 □
四六九	全	商品關稅表(獨逸)一九〇六年三月一日以降	一九〇六 □

い-76-

四七〇(I-II)	ロツクハート	極東の通貨(古代より一八九五年に至る)第一卷[:] グローヴァー集の類別一九〇七(英文) 全(極東貨幣銘案内)第三卷	一八九八 (//)
四七一	グローヴァー	極度[度東]の通貨 第二卷	一九〇九 (英文)

C. 軍事

(一) 一般

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
四七二	テー少佐 ^{其他}	世界各國の陸海軍 ^{其他}	一九〇二	□
四七三	グロース	軍事及科學界に於ける氣球	□	□
四七四	ヘルネス	現代の航空術	一九〇三	□
四七五 ^{abc}	シュツツ	軍人(ウキルヘルム二世治世紀念)	一九一三	□
四七六	□	兵士・官吏・市民(獨逸文官適任下士同盟沿革)	一九一四	□
四七七 ^{ab}	□	軍人協會「カイザアウキルヘルム・ダンク」會報	一九一四	□
四七八	□	支那陸海軍	一九〇〇	□
四七九	支那宣教師 除[除徐]	支那の武術試験	一八九六	(佛文)
四八〇	□	「兵役へ」(八月 - 一二月)	一八九九	□
い-78-				
四八一	金港堂	日露戰爭畫報 第九號	一九〇五	(英文)
四八二(I-VI)	フリーダーグ	一九〇四年度陸海軍案内 第一年	□	□
		一九〇七年度 全 第四年	□	□
		一九〇八年度 全 第五年	□	□
		一九〇九年度 全 第六年	□	□
四八三	ダウデ	軍人の民法的關係	一八八七	□
四八四(I-V ^{ab})	ドイツ編	軍事法録 第一卷自第一號至第六號(第五號缺)	一九〇九 <small>第六號へ 二九一〇 二册</small>	□
四八五 ^{ab}	ズロルウ	獨逸帝國陸海軍刑法	一九〇六	□
四八六 ^{ab}	□	軍事法庭[庭廷]勤務令	一九〇〇	□
四八七 ^{ab}	□	軍事裁判法附施行法及法官懲戒法	一八九八	□
四八八 ^{abc}	□	軍事裁判法	一八九八	□
四八九(I-II)	ズルルム	軍事裁判法 第二	一八九九	□
い-79-				
四九〇 ^{abc}	普露西陸軍省編	軍事法綱要	一九〇〇	□
四九一 ^{a-d}	□	獨逸徵兵令 A・B・C・索引	一九〇四	□
四九二 ^{a-f}	□	獨逸徵兵[令] ⁷ 及陸軍條例ABC目錄	一九〇四	□
四九三 ^{a-j}	□	獨逸徵兵令	一八八八 一九〇四	□
四九四 ^{ab}	グーゲル	獨逸徵兵令	一九〇八	□
四九五	□	陸海軍生命保險局一九〇三年條例	□	□
四九六	ジークマン	一九〇八年度軍吏要覽 第一編	□	□
四九七	デューリング少佐	將校恩給下賜法	一九〇八	□
四九八 ^{ab}	ジバア	陸海軍下級軍人恩給法	(一九〇六)	□
四九九	海軍省	勤務上及勤務以外の陸海軍相互交渉に關する指令	一九〇五	□
五〇〇	□	陸海軍官廳の爆破材料水陸輸送に關する規定	一八九四	□
《陸軍工兵校》				
五〇一	□	一九一三年度陸海軍生命保險局年報	一九一四	□

五〇二 ^{ab}	□	陸海軍官廳經理官遺族扶助金定額 一九〇四年	□	□
《陸軍經理校》				
五〇三	□	獨逸陸海軍衛戍經理部病院被服局官吏節用 一九一三 - 一四年度	□	□
五〇四	ウキトウスキ	普魯西王國地方官衙就任手引(文官適任下士)	□	□
五〇五	□	文官適任下士の地方官廳に於ける任用法	一八九二	□
五〇六	文官任用雜誌社	文官適任下士の地方官廳就任關係	□	□
五〇七	ウエーゼンベルグ	文官適任下士の就任するに適する諸官廳會社錄	一九一三	□
五〇八 ^{ab}	□	文官適任下士 ^並 に就任證所有者のバイエルン軍事官廳に於ける就任位置詳細目錄	一九一三	□
五〇九	□	一九一二年度獨逸階級錄	一九一二	□
五一〇	□	一九〇九年獨逸陸海軍階級錄	□	□
五一一	□	獨逸陸海軍經理官階級錄	一九〇七	□
《陸軍經理校》				
五一二	□	下士雜誌 第廿九年	□	□

(二) 陸軍

(イ) 兵學

五一三 ^{a-u}	□	歩兵操典	(二八八九	□
五一四 ^{a-g}	□	全 上 第四部	一九一一	□
五一五 ^{a-k}	□	全 上 附録	一九〇六	□
五一六 ^{ab}	□	騎兵操典	一九〇九	□
五一七 ^{abc}	□	全 上 附録	一九〇九	□
五一八	□	野砲兵操典	一八九九	□
五一九	□	歩[歩野] ² 砲兵操典補遺「器具取扱法」	一九一〇	□
五二〇	□	機關銃隊操典草案	一九〇四	□
五二一 ^{a-d}	□	機關銃隊操典	一九〇四	□
五二二	□	機關銃隊一九〇八年及一一年式機關銃器操典	一九一二	□

五二三	□	歩兵射撃教案範草案	一九〇五	□
五二四 ^{a-t}	海軍省	歩兵射撃教範	(二九〇五	□
五二五	□	射撃教範附圖	一九一二	□
五二六 ^{a-hh}	□	機關銃射撃教範草案	(二九一四	□
五二七 ^{ab}	□	野砲兵射撃教範草案	一九一四	□
五二八 ^{a-h}	□	歩兵銃劍術教範	一九〇八	□
五二九	□	劍術教範	一九一二	□
五三〇	□	劍術斬撃及撃突教範	一九一二	□
五三一	リツツオウ	歩兵體操及銃劍術教範	(二九〇九	□
五三二 ^{abc}	□	乘馬教範	一九一二	□
五三三	□	歩兵用野戰工兵教範	一九一二	□
《陸軍教育總監》				

五三四 ^{a-e}	□	各兵科用野戦工兵勤務	一九一一	□	
「陸軍工兵校」					
					い-83-
五三五	□	補助架橋教範	一八四四	□	
「陸軍教育總監」					
五三六 ^{ab}	□	野戦築城教範草案	一九〇六	□	
「陸軍教育總監」					
五三七 ^{ab}	□	野戦築城教範	一八九三	□	
「陸軍教育總監」					
五三八	□	築營及道路工事教範草案	一八九四	□	
「陸軍教育總監」					
五三九	□	歩兵電話隊教範草案	一九一〇	□	
「陸軍教育總監」					
五四〇 ^{a-m}	□	陣中要務令	一八九四	□	
五四一	□	手旗信號教範	一九一一	□	
五四二 ¹⁻⁴³	クラス	獨逸歩兵須知	(一九〇八)	□	
五四三	メンツエル	獨逸歩兵教科書	一八八九	□	
五四四	ミルス	獨逸騎兵須知	一九一〇	□	
五四五	フォン・ウンガア	騎兵須知 鞍上三年	一九一二	□	
「陸軍教育總監」					
五四六 ^{abc}	デイルテイ	歩兵一年志願兵教範	(一九〇一)	□	
					い-84-
五四七	メンツエル少佐	歩兵一年志願兵と豫後備將校(参考書)	一九一一	□	
五四八 ¹⁻²⁸	メルカツツ	機關銃隊教範	一九一四	□	
五四九 ^{ab}	ワルダアゼエ	歩兵下士の勤務	一八九五	□	
五五〇	スポーン	下士文庫 第二卷[:] 教師及教育者としての下士		□	□
五五一	□	將校下士教育五十一題	一九〇二	□	
五五二	□	有爲の歩兵小隊長	一九一二	□	
五五三	クライスト少佐	將校斥候	一八九一	□	
「陸軍教育總監」					
五五四	□	戦闘及野外勤務に於ける中隊教育問題集	一九一二	□	
五五五	□	戦闘教練問題集	一九〇八	□	
五五六	ダムボエル	歩兵戦闘及野外勤務の演習と問題		□	□
五五七	ビュロウ	歩兵大部隊戦闘演習と大演習	一九一四	□	
「參謀本部」					
五五八	ブルン	歩兵新兵教育要領	一九〇五	□	
					い-85-
五五九	ブルン	射撃教師	一八九〇	□	
五六〇	ゾーテン少佐	一九世紀の軍政	一九〇四	□	
五六一	イマヌエル少佐	南亞弗利加及東亞戦争が軍統帥の戰略的精神的本體に如何なる教訓を齎したりや	一九〇七	□	

五六二	レーウキツシユロイテン(フリードリヒ大王と一七五七年回顧録)	一九〇七	□
「参謀本部」			
五六三	□ 「一八六四年シユミット少將の陣中日誌」「ザールよりモーゼルに到る第三騎兵師團」	□ □	□ □
「参謀本部」			
五六四	シヤイベル中尉 第一五四號下シレジヤ第五聯隊史(一八九七 - 一九〇七)	□	□
五六五	□ 一八六六年普魯西征戰	一八六六	□
五六六	ウキレ 三〇年前	一八九五	□
五六七	フアブリチユスケーニヒグレッツ會戰に於けるホラ森林の戰鬪	一九〇四	□
五六八	ホツペンシテット 大決戰に於ける獨逸陸軍	□	□
五六九	マチアス 創國戰爭回顧録	□	□
五七〇 ^{ab}	ボツシェン 一八七〇 - 七一年戰爭に於けるオルデンブルグの軍隊(佛國戰史参照)	一九〇八	□

い- 86-

五七一	□ ベゼーラア「一八一四年」ウキツティング「一八七〇年八月一五日晚の狀況」	一九一四	□
五七二	ミュルラア中尉 一八九九 - 一九〇〇年南阿戰爭	一九〇〇	□
五七三	ランゲル騎兵大尉 東亞戰爭の騎兵	一九〇七	□
五七四	ウルリツヒ譯 クロパトキン著シムラタタニエニに於けるスコベレウ遠征史	一九〇四	□
五七五	ウルリツヒ中尉譯 シマフラスキ共著旅順の防禦 第二卷[:] 要塞戰	一九一〇	□
五七六	ブライトコンプフ大佐 ギーンル少尉 日露戰爭 (イ[41'][:] 平原の攻爭 (2)[:] 一九〇四年六月三〇日ユシユリン・ペリンの戰鬪	一九〇八	□
五七七	参謀本部 史編纂部 戰史的記録集 第四一・四二卷: 最近歐洲以外の戰爭 第二: 日露戰爭より	一九〇八	□
五七八 ^{ab}	□ 沙河の對戰	一九〇六	□
五七九	フローベル 陸軍週刊新聞附録沙河の戰	一九〇六	□
五八〇	アジャテイクス 日露戰爭に於ける搜索	一九〇七	□
「陸軍教育總監」			
五八一(HIII)	テツタウ中尉譯 日露戰爭(露國参謀本部記録) 第一卷・第三編 第二卷・第一編	一九一一 〃	□ □

い- 87-

五八一(HIII)	テツタウ中尉譯 日露戰爭(露國参謀本部記録) 第三卷・第一編[:] 沙河	一九一一	□
五八二(HI)	参謀本部 軍事學報 第一年・第二年	(一九〇四 一九〇五)	□
五八三	□ 一九〇二年度陸軍週報附録集	□	□

(ロ) 成規

五八四 ^{a-j}	□ 陸軍條例(獨逸徵兵令追補規定)	(一九〇四 一九〇四)	□
五八五 ^{a-g}	普魯西陸軍省 軍事法綱要	(一九〇〇 一九〇一)	□
五八六 ^{abc}	□ 陸軍々事裁判法	一八九八	□
五八七	□ 軍事裁判法訴訟方式	一九〇〇	□
五八八	□ 獨逸帝國陸軍刑法々典	一九〇六	□
五八九 ^{a-d}	□ 陸軍刑罰執行規定 第一編[:] 刑罰執行令	一九〇六	□
五九〇 ^{a-d}	□ 普魯西陸軍將校軍法會議最高法令	一九一〇	□

い- 88-

五九一	□	戰時陸軍刑法裁判法令及外國人に對する戰時法的特別取扱 竝に俘虜に對する刑事裁判權執行に關する法令	一九〇〇	□
五九二	□	陸軍將校下士卒に對する警察の職務執行關係規定	一八八九	□
五九三 ^{a-j}	□	歩兵體操教範	一八九五	□
「陸軍經理建築」				
五九四 ^{a-s}	□	歩兵體操教範草案	一九一〇	□
「陸軍經理建築」				
五九五 ^{ab}	□	乘馬隊體操教範草案	一九一二	□
「陸軍經理建築」				
五九六 ^{a-d}	□	歩兵標的設置教範	一九〇九	□
「陸軍經理建築」				
五九七	□	野砲及歩砲兵標的設置教範	一九〇八	□
「陸軍經理建築」				
五九八 ^{a-x}	□	機動演習令	一九〇八	□
五九九	□	部隊演習規定	一九〇三	□
六〇〇	□	部隊演習場規定	一九〇三	□
「陸軍經理校」				「防衛大圖」
六〇一(I-II)	□	射撃場令及射撃場令附圖	一八九六	□
「陸軍經理建築」				
六〇二 ^{a-e}	□	M/95 歩兵裝備法	一八九九	□
				い-89-
六〇三 ^{a-f}	□	八八年式銃及彈藥	一八九四	□
「陸軍技術本部」				
六〇四 ^{a-g}	□	八八年式射撃手演習銃竝に彈藥	一八九三	□
「陸軍技術本部」				
六〇五 ^{a-s}	□	九八年式小銃	一九一二	□
「陸軍技術本部」				
六〇六 ^{a-f}	□	九八年式銃及銃劍	(二九〇三)	□
「陸軍技術本部」				
六〇七 ^{abc}	□	九八年式騎□[兵]銃	一九一二	□
「陸軍技術本部」				
六〇八 ^{a-e}	□	徒歩部隊の銃劍	一九〇八	□
「陸軍技術本部」				
六〇九	□	銃器保存手入法	一八九九	□
「陸軍技術本部」				
六一〇 ^{a-e}	□	部隊武器保存規定	(二八九五)	□
「陸軍技術本部」				
六一一	□	陸軍兵器手入規則	一八九五	□
「陸軍技術本部」				
六一二 ^{abc}	□	八八年及九一年式銃器保存法	一九〇二	□
「陸軍技術本部」				
六一三 ^{a-e}	□	九八年式銃器保存法	一九一〇	□
「陸軍技術本部」				
六一四	□	豫備機關銃隊裝具規定(第二草案)	一九〇四	□

「陸軍技術本部」

い-90-

六一五	□	機關銃器具印章番號規則	□	□
「陸軍技術本部」				
六一六	□	機關銃材料(草案)	一九〇四	□
「陸軍技術本部」				
六一七	□	豫備機關銃隊機關銃器具教程草案	一九〇四	□
「陸軍技術本部」				
六一八	□	機關銃隊武器材料保存管理規定案	一九〇五	□
「陸軍技術本部」				
六一九	□	機關銃隊兵器器具保存管理規定	一九〇九	□
「陸軍技術本部」				
六二〇	□	〇八年式及一一年式機關銃器具取扱規程に機關銃隊入門	一九一二	□
「陸軍技術本部」				
六二一	□	〇八年式及一一年式機關銃器具保存法	一九一〇	□
「陸軍技術本部」				
六二二	□	〇八年式機關銃器具保存法	一九一〇	□
「陸軍技術本部」				
六二三	□	照明拳銃及彈藥	一八九四	□
「陸軍技術本部」				
六二四	□	大測遠器(草案)	一九〇一	□
「陸軍技術本部」				
六二五	□	九九年式小測遠器(草案)	一八九九	□
「陸軍技術本部」				
六二六 ^{a-d}	□	〇八年式小測遠器(草案)	一九〇七	□
「陸軍技術本部」				

い-91-

六二七 ^{a-d}	□	步獵狙擊・機關銃・騎・工兵用眼鏡	一九一一	□
「陸軍技術本部」				
六二八 ^{abc}	□	自轉車規定草案	一九〇六	□
六二九	□	教導步兵大隊本部規定	一九〇六	□
六三〇 ^{a-h}	□	平時衛生條例	(二六五八)	□
「陸軍醫務醫事」				
六三一	□	平時衛生條例追加	一八九一	□
「陸軍醫務醫事」				
六三二 ^{abc}	□	戰時衛生勤務令	(二六五八)	□
「陸軍醫務醫事」				
六三三	□	衛生裝備處置	一九一三	□
「陸軍醫務醫事」				
六三四 ^{ab}	□	陸軍醫務報告規則	一九〇五	□
「陸軍醫務醫事」				
六三五 ^{ab}	□	衛戍病院新築一般要項	一九〇四	□
「陸軍經理建築」				

六三六 ^{a-m} □	陸軍々人湯治其他特別療養規定	一九〇五	□
《陸軍醫務醫事》			
六三七 ^{abc} □	陸軍勤務能力検査規定	(二八九四)	□
《陸軍醫務醫事》			
六三八 ^{abc} 陸軍大臣	行軍日射病に関する教示	一九〇四	□
《陸軍醫務醫事》			

い-92-

六三九 □	日射病及凍死に関する教示	一九〇四	□
《陸軍醫務醫事》			
六四〇 ^{a-e} □	陸軍獸醫令草案	一九一〇	□
六四一 ^{a-e} □	陸軍獸醫令第一附録	一九〇六	□
六四二 ^{a-f} □	全 上第二附録	一九一三	□
六四三 ^{a-g} □	新馬補充令	一九一二	□
《陸軍教育總監》			
六四四 ^{abc} □	勤務馬飼草法	(二八九六)	□
《陸軍教育總監》			
六四五 ^{ab} □	馬匹金規定	一九〇二	□
《陸軍教育總監》			
六四六 □	屠獸作業並に獸畜輸送規定	一九〇一	□
《陸軍糧秣本廠》			
六四七 □	給養品受領及獸肉引取の爲に派遣されたる將校の諸規定	一九〇五	□
《陸軍糧秣本廠》			
六四八(I ^{a-k} -II ^{a-g}) □	陸軍鐵道條例 第一編・第二編	(二八九九)	□
《陸軍工兵校》			
六四九 ^{ab} □	集合停車場貨物廠勤務規定	一九〇三	□
《陸軍教育總監》			
六五〇	缺番		

い-93-

六五一 ^{a-e} □	輸送指揮官規定	一九一二	□
六五二 ^{ab} □	行李・彈藥・從[從縱] ² 列・輜重・勤務規則附録	一八九七	□
《陸軍教育總監》			
六五三 ^{ab} □	野戰郵便勤務令	一九〇七	□
《陸軍工兵校》			
六五四 ^{ab} □	野戰郵便勤務令實施規則定	一九〇七	□
《陸軍工兵校》			
六五五(I ^{a-j} -II ^{a-k}) □	築城令 第二編[:] 金櫃事務 第三編[:] 築城部員身分關係	(二九八〇)	□
《陸軍經理建築》			
六五六 □	要塞地帯土地所有制限に関する法律註解	一九一四	□
六五七 ^{a-g} □	要塞築城及砲兵工事々務規則	一八八三	□
《陸軍教育總監》			
六五八 ^{a-k} □	永久築城設備設計及工事々務要領	一九一〇	□
《陸軍工兵校》			
六五九 ^{abc} □	要要塞に於ける築城事務規定	一八八三	□

「陸軍工兵校」				
六六〇	□	缺番		
六六一	□	管區官廳としての要塞[塞塞]司令部の執務法	一八九二	□
「陸軍工兵校」				
六六二 ^{a-j}	□	要塞工事に關する請負要領	一九〇五	□
「陸軍工兵校」				
い-94-				
六五三(I-IV)	□	徒歩砲兵特別規定 T編・U編・N編・H編	(一九一三 一九〇八 一九〇六 一九〇四)	□
六六四	□	〇四年式一〇珊砲積載法	一九〇六	□
六六五	□	武庫主監規定	一九一〇	□
「陸軍技術本部」				
六六六 ^{ab}	□	野砲兵材料監守勤務規定	(二八九九 一九〇六)	□
「陸軍技術本部」				
六六七	□	クルツプ工場鋼鐵鑄管検査假規定	一八八三	□
「陸軍技術本部」				
六六八 ^{ab}	□	九八年式火器修繕法	一九一〇	□
六六九	□	銃器修理要領	一八九九	□
六七〇	□	砲兵技術學校化學實驗所化學的・物理化學的検査料表	一九一〇	□
「陸軍技術本部」				
六七一	□	砲兵技術學校實驗所機械學的試驗料表	一九一一	□
「陸軍技術本部」				
六七二 ^{abc}	□	銃器拂下價格表	一九一二	□
六七三 ^{a-i}	□	携帶火器敗[販]賣價格表	(一九〇三 一九〇三)	□
六七四 ^{ab}	□	「スパンダウ」及「ジグブルグ」火[器] ² 工場製品價格表	一九〇五	□
い-95-				
六七五	□	兵器廠武器及修繕費價[格]表	一八九一	□
六七六	□	火藥工廠價格目錄	一九〇一	□
六七七	□	野砲兵輜重材料・砲兵工廠價格表 第一	一九〇六	□
六七八	□	徒[徒]歩・砲兵器具工廠價格表 第二	一九〇八	□
六七九 ^{a-k}	□	衛戍勤務規定	一九〇二	□
六八〇	□	衛戍經理條例索引	一九一三	□
「陸軍經理校」				
六八一	□	衛戍經理條例	一八九六	□
「陸軍經理校」				
六八二(I-III)	□	衛戍經理條例 第一編・第二編・第三編	一九一三	II ^{ab} 二冊
「陸軍經理校」				
六八三	□	衛戍經理部勤務令(衛戍管理条例)	一八八一	□
「陸軍經理校」				
六八四 ^{ab}	□	部隊金櫃規則	一八九七	□
「陸軍經理校」				
六八五	□	補充助資金規定	一九〇六	□
「陸軍經理校」				

六八六	□	普魯西王國衛戍官衙經理事務規則	一八四三	□
《陸軍經理校》				
い- 96-				
六八七	□	陸軍工事條例	一八九六	□
《陸軍經理建築》				
六八八 ^{a-g}	□	衛戍工事條例	一八九六	□
《陸軍經理建築》				
六八九 ^{a-f}	□	衛戍建物令	一八九九	□
《陸軍經理建築》				
六九〇 ^{abc}	□	衛戍建物令 第一編	一八八九	□
《陸軍經理建築》				
六九一 ^{abc}	□	衛戍建物令 附錄	□	□
《陸軍經理建築》				
六九二	□	陸軍糧厩舍・屋蓋馬場及蹄鐵工場設備規定	一八八七	□
《陸軍經理建築》				
六九三	□	請負規定	一八八九	□
《陸軍經理建築》				
六九四(I ^{ab} -II ^{ab})	□	被服條例 第一編・第二編	(二九〇三)	□
六九五(I ^{ab} -III ^{a-d})	□	被服條例 第二編附錄第一・全第二・全第三	(二九〇五 IIハ一冊ノミ)	□
六九六	□	普魯西陸軍將校及醫官被服規定	一八九九	□
六九七	□	普魯西陸軍將校・醫官・獸醫官被服規定	一九一一	□
六九八	□	普魯西陸軍官吏制服及徽章表	一九〇八	□
い- 97-				
六九九	□	部隊被服經理に關する請負規定	一八八九	□
七〇〇 ^{ab}	□	糧食局條例	一八九七	□
七〇一	□	普魯西陸軍平時給養規定草案	一八九八	□
七〇二 ^{a-u}	□	普魯西陸軍平時給養規定	一九〇二	□
《陸軍經理校》				《防衛大圖》
七〇三	□	軍隊炊事經理規定	一九一三	□
《陸軍糧秣本廠》				
七〇四 ^{abc}	□	野戰給養表	一九一〇	□
《陸軍經理校》				《防衛大圖》
七〇五	□	平時武裝軍隊に對する現品給養法	一九〇一	□
七〇六 ^{a-l}	□	普魯西陸軍手當規定	一八九九	□
七〇七 ^{abc}	□	陸軍官宅料及地方等級別	一九〇四	□
七〇八 ^{abc}	□	手當率と地方等級別	一九〇四	□
七〇九 ^{a-i}	□	普魯西陸軍省 陸軍恩給法	一八九八	□
七一〇 ^{a-j}	□	普魯西陸軍恩給規定	一九一二	□
い- 98-				
七一一	□	普魯西陸軍恩給規定草案	一九〇六	□
七一二 ^{a-e}	□	普魯西陸軍平時給料規定草案	一九一一	□

七一三 ^{abc}	□	普魯西陸軍官宅料規定	一八九九	□
七一四 ^{ab}	□	軍人旅行規則	一九〇四	□
七一五	普魯西陸軍省	各衛戍地間里程表	一八九六	□
七一六 ^{ac}	[全] ²	入營除隊旅費規定	一八八七	□
七一七 ^{ab}	全	將校就任通知	一九一三	□
七一八 ^{abc}	全	將校文官任用令	一九一三	□
七一九 ^{a-g}	全	任用規則	一九〇七	□
七二〇 ^{a-m}	全	文官適任下士及任用證所有者の普魯西陸軍官廳に於て就任し得る地位明細録	一九一一	□
七二一 ^{a-g}	バイエルン陸軍省	文官適任下士及任用證所有者の「バイエルン」陸軍諸官廳に就任し得る地位明細表	一九一三	□
七二二 ^{ab}	ザクセン陸軍省	文官適任下士其他の「ザクセン」陸軍官廳其他に於ける就任位置詳細目録	一九〇九	□

い-99-

七二三 ^{abc}	普魯西陸軍省	文官適任下士官吏任用規則	一九〇七	□
七二四 ^{ab}	全	中級官房, 及下級官吏任用原則	一九〇七	□
七二五	全	地方官廳其他に文官適任下士を判任官又は下級官吏としての任用規定集	一九〇一	□
七二六	□	文官適任下士の地方官衙就任案内	□	□
七二七 ^{ab}	□	陸軍請願表規定	一九〇一	□
七二八 ^{abc}	□	身分登記及結婚に關する規定	一九〇三	□
七二九 ^{ab}	□	普魯西陸軍々人及普魯西憲兵結婚規則	一九〇二	□
七三〇 ^{ab}	□	火工人員身分關係規定	一九一〇	□
七三一 ^{ab}	□	陸軍大學校勤務令	一九〇一	□
《參謀本部》				
七三二 ^{ab}	□	陸軍技術大學勤務規定	一九〇九	□
《陸軍技術本部》				
七三三	□	歩兵學校勤務規定	一九〇三	□
《陸軍教育總監》				
七三四	□	築城學校勤務令	一八九五	□
《陸軍教育總監》				

い-100-

七三五	□	士官學校勤務令	一九〇六	□
《參謀本部》				
七三六	□	陸軍幼年學校生徒教育規定	一九〇六	□
七三七	□	軍用鳩飼養訓育法	一八八九	□
《陸軍工兵校》				
七三八	□	陸軍新教禮拜勤務令	一九〇二	□
七三九	□	軍人の兵器使用と内亂鎮壓動作に關する規定	一九一四	□
七四〇	□	部隊検査規定	一九一一	□
《陸軍經理校》				《防衛大圖》
七四一	□	作業部隊	一九一三	□
七四二	□	陸軍文庫管理規則	一八九〇	□
《陸軍技術本部》				

七四三(I-XX) 陸軍省	陸軍制令報 第二九年 全 第三〇年 全 第三一年 全 第三二年	一八九五 一八九六 一八九七 一八九八	□ II III IV
			い-101-
七四三(I-XX) 陸軍省	陸軍制令報 第三三年 全 第三四年 全 第三五年 全 第三六年 全 第三七年 全 第三八年 全 第三九年 全 第四〇年 全 第四一年 全 第四二年 全 第四三年 全 第四四年	一八九九 一九〇〇 一九〇一 一九〇二 一九〇三 一九〇四 一九〇五 一九〇六 一九〇七 一九〇八 一九〇九 一九一〇	V VI VII VIII ^{ab} IX X ^{ab} XI ^{ab} XII ^{ab} XIII ^{abc} XIV ^{abc} XV ^{abc} XVI ^{abc}
			い-102-
七四三(I-XX) 陸軍省	陸軍制令報 第四五年 全 第四六年 全 第四七年 全 第四八年	一九一一 一九一二 一九一三 一九一四	XVII ^{abc} XVIII ^{abc} XIX ^{abc} XX
七四四(I-XV) 全	陸軍公報 第三二年 全 第三三年 全 第三四年 全 第三五年 全 第三七年 全 第三八年 全 第三九年 全 第四〇年	一八九八 一八九九 一九〇〇 一九〇一 一九〇三 一九〇四 一九〇五 一九〇六	□ II III IV V ^{ab} VI VII VIII
			い-103-
七四四(I-XV[]) 陸軍省	陸軍公報 第四一年 全 第四二年 全 第四三年 全 第四四年 全 第四五年 全 第四六年 全 第四七年	一九〇七 一九〇八 一九〇九 一九一〇 一九一一 一九一二 一九一三	IX X XI XII XIII XIV XV
七四五 ^{a-d} □	亞弗利加殖民地守備隊規則	一八九八	□
七四六 ^{ab} □	亞弗利加守備隊總合規定	一八九八	□
七四七(I ^{ab} -IV ^{ab}) □	一九〇五年度普魯西陸軍及第八軍團停年名簿	□	I ^{ab}
	一九一〇年度 全 上	□	II
	一九一二年度 全 上	一九一二	III ^{ab}
			い-104-
七四七(I ^{ab} -IV ^{ab}) □	一九一四年度普魯西陸軍及第八軍團停年名簿	一九一四	IV ^{ab}

七四八	□	築城人員階級録	一九〇八	□
七四九 ^{ab}	ヘルドルフ大佐	普魯西陸軍勤務規定 第一編 補充法[・] 第一部[:] 陸軍憲法・兵役義務・補充及監督	一八九二	□
七五〇 ^{ab}	全	全 第一編 補充法[・]第三部[:] 陸軍教育制	一八九三	□
七五一 ^{abc}	全	全 第一編 補充法[・]第五部[:] □馬補充・馬匹購買金	一八九六	□
七五二 ^{a-d}	全	全 第二編 内務衛生勤務・官廳事務[・]第三部[:] 衛戍勤務・陸軍禮拜制 (二八九三 一八九五)	二八九三	□
七五三	全	全 第二編第四部	一八九五	□
七五四 ^{ab}	全	全 第二編第五部	(二八九三)	□
七五五 ^{ab}	全	全 第三編 陸軍經理[・]第一部[:] 金櫃	一八九五	□
七五四六 ^{ab}	全	全 第三編第二部[:] 平時給料	一八九五	□
七五七 ^{ab}	全	全 第三編第三部[:] 給養	一九〇〇	□

い-105-

七五八 ^{ab}	ヘルドルフ大佐	普魯西陸軍勤務規定 第三編第四部[:] 被服装具野戦器具	一八九九	□
七五九 ^{a-e}	全	全 第四編第七部	一九〇二	□
七六〇 ^{ab}	全	全 第四編	一九〇一	□
七六一	シュライヤア	陸軍刑法	一九〇四	□
七六二 ^{abc}	ドイツ註	獨逸法律集[:] 陸軍懲罰令	□	□
七六三	□	一九〇七年度獨逸帝國陸軍豫算	□	□
七六四	ノイマン	陸軍恩給法註解	一八七八	□
七六五 ^{a-g}	シュミット少佐	獨逸讀法	一九〇二	□

(ハ) 雜書

七六六 ^{ab}	バイエル大尉	西南亞弗利加遠征軍幕僚に従ひて	一九〇九	□
七六七 ^{abc}	シュミット	西南亞弗利加の戦争生活	一九〇七	□

い-106-

七六八	□	獨逸領西南亞弗利加に於ける戦争参加	一九〇七	□
七六九	□	南亞弗利加の二三年「嵐と日光」	一九〇二	□
七七〇 ^{ab}	プアイファア	山東省に於ける獨逸騎哨	一九〇九	□
七七一 ^{a-i}	□	支那の戦争(一八四〇年)と彼が今日の武力	一九〇〇	□
七七二	ゼーシラルン	皇帝旗の下に	一九一〇	□
七七三	シュライバース ホーフエン少佐	獨逸陸軍	一九一三	□
«參謀本部»				
七七四	ハイン中尉	獨逸陸軍	一九〇一	□
七七五	フォン・クラーツ譯	フンベルト著 吾人の防備は整へりや	□	□
七七六	シエルフ	入營に際し(壯丁教訓)	一九一〇	□
七七七	スポーン少佐	中隊長の懲罰權	一九〇二	□
七七八	コツプマン	獨逸帝國陸軍刑法精義	一九〇三	□
七七九 ^{abc}	ブソルト	陸軍體操游戲指針	一九一一	□

い-107-

七八〇 ^{a-d}	グロナウ	自習文庫[:] 文官適任下士指針	(二九〇五)	□
七八一 ^{a-d}	ウキトウスキ	普魯西地方自治體に[於ける]文官適任下士の任用關係	□	□
七八二	ツムマツハ	文官適任下士自修教科書「文官過程」	一八九九	□
七八三	ローレンツ	文官適任下士職業撰定要覽	一九一三	□
七八四	シタインマイヤア ハニシ	地方行政廳に於ける文官適任下士任用(諸規定)	一九一四	□
七八五	ゲーヤリング	文官適任下士提要 第三卷[:] 鐵道・裁判所・警察・郵便・稅務諸官廳	□	□
七八六	□	下士文庫 第一二卷[:] 交際儀禮	□	□
七八七	ドツソウ	陸軍文書事務案内	一九一四	□
«陸軍技術本部»				
七八八	エルツベルガア	文官適任下士問題[:] 吾人は如何にして援助すべきか	□	□
七八九	ボエツトヒアア	文官適任下士用實用作文法	一九一一	□
七九〇	□	文官適任下士用參考書目錄	一九一三	□
七九一 ^{ab}	普魯西陸軍省	兵卒唱歌集	一八八一	□

い-108-

七九二	ゲルスバツハ	兵卒唱歌集「小戦友」	□	□
七九三(I-XI ^{ab})	ジークマン	一八九七年度ポケット軍屬曆	□	□
		一九〇一年度 全	II	□
		一九〇六年度 全	III	□
		全	IV	□
		一九〇七年度 全	V	□
		全	VI	□
		一九〇八年度 全	VII	□
		一九〇九年度 全	VIII	□
		全	IX	□
		一九一〇年度 全	X	□
		一九一〇年度 全	XI ^{ab}	□

い-109-

七九四(IV)	ジークマン	一九〇□年度陸軍諸官廳官吏必携曆(諸規定) 第二編	□	I
		一九〇六年度 全	□	II
		一九〇八年度 全	□	III ^{ab}
		一九〇九年度 全	□	IV
		一九一〇年度 全	□	V
七九五(I-IV)	フキルクス	一九〇六年度陸軍ポケット曆	□	I
		一九一一年度 全	□	II
		一九一二年度 全	□	III
		一九一三年度 全	□	IV
七九六(I-III)	□	一九一二年度獨逸軍人同盟會年鑑	一九一二	I
		一九一三年度 全	一九一三	II
		一九一四年度 全	一九一四	III

い-110-

七九七(I-IV)	□	一九一〇年度軍吏候補者必携年鑑	□	I
		一九一三年度 全	□	II ^{ab}
		一九一四年度 全	□	III
		一九一四年度 全	□	IV

七九八(I-II)	□	獨逸下士曆 一九一二年度 全	□ □	I II
七九九	ウエーデル	將校便覽手帖	一九〇九	□
八〇〇	□	一九一四年度獨逸軍事カレンダー	□	□
八〇一		缺番		
八〇二 ¹⁻⁷²	普魯西陸軍省	再役下士教育讀本 第一卷	一九〇三	□
八〇三	全	全 第二卷	全	□

い-111-

(三) 海軍

(イ) 兵學

八〇四 ^{a-s}	海軍省	海軍歩兵操典	(二八九九 二九〇七)	□
八〇五 ^{a-d}	全	全 附録第二	一九〇九	□
八〇六	全	歩兵射撃教範草案	一九〇五	□
八〇七 ^{a-o}	全	歩兵射撃教範	(二九〇九 二九一〇)	□
八〇八 ^{a-j}	全	海軍小銃射撃教範	(二八九九 二九〇〇)	□
八〇九 ^{a-f}	全	全 草案	一九〇六	□
八一〇 ^{ab}	航洋艦隊	航洋艦隊勤務教育入門	一九一二	□
八一 ^{a-k}	□	海軍砲兵須知	(二九一一 二九一二)	□
八一二	ツウエル	帝國海軍學校用勤務教育入門	一九一一	□
八一三	海軍省	水雷艦隊並に水雷部歩兵操典	一九一〇	□

い-112-

八一四	□	機關銃砲操典法	一九〇一	□
八一五	□	海軍砲兵砲車長提要	□	□
八一六	海軍省	一九〇四年式拳銃操法	一九〇六	□
八一七	□	獨逸海軍上陸法	一九一一	□
八一八	海軍省	上陸及端艇砲架に於ける八冊L/30端艇砲操法	一八八七	□
八一九	□	一二糎重砲架に於ける一二糎重砲操典	一八九三	□
八二〇	□	一二冊海軍鐵大砲操典	一八九三	□
八二一	海軍省	二八冊C/22榴彈中[有]軸砲架の二八冊L/12榴彈砲操法	一九一一	□
八二二	全	一五冊海岸砲架の一五冊L/35 第八六番及[第]八七番砲操法	一九一一	□
八二三	全	二四冊海岸中有軸砲架の二四冊L/35 第四九番及第一番砲操法	一九一一	□
八二四	全	C/1900前車を有せる端艇及上陸砲架の六冊L/21 速射法[法砲]操法	一九〇九	□
八二五	全	一〇・五冊C/91中有軸砲架の一〇・五冊L/35 速射砲操法	一九〇九	□

い-113-

八二六	海軍省	穹窿に於ける一五冊C/97中有軸砲架の一五冊Z/40 速射砲操法	一九〇九	□
八二七	全	二一及二八冊C/85 海岸砲架の二一冊L/35 砲及二八冊砲Z/35 砲操法	一九一〇	□
八二八	全	C/89中有軸砲架の八・八冊L/30 速射砲操法	一九〇八	□
八二九 ^{abc}	ステンツエル	獨逸海軍辭典	一九〇四	□
八三〇	ハインツ	海軍技術航海辭典(獨・伊・佛・英)	一九〇〇	□

八三一	ダボウキツヒ 全	第一卷 (獨・伊・佛・英)	一八八三	□
八三二	デイトマア大佐	獨逸海軍問答	一八九九	□
八三三	レウエントロウ大尉	獨逸海軍史	□	□
八三四	テスドルフ	獨逸帝國海軍史	一八八九	□
八三五	マルツアーン中尉	海戰史(大陸發見より今日に至る)	□	□
八三六	ハツセ譯	クラド著 日露戰爭海戰)	一九〇七	□
八三七	海軍々令部譯	ウラヂミル・セメノウ著 對馬海戰	一九〇七	□

い-114-

八三八 ^{ab}	海軍々令部	支那義和團事件中の獨逸海軍	一九〇三	□
八三九	ミュルラア中尉	支那動亂 第二卷	一九〇二	□
八四〇	ウキンタアハルダア中尉	支那動亂(壞太利海軍の活動)	一九〇二	□
八四一 ^{ab}	ミュルラア中尉	支那に於ける我が海軍	□	□
八四二 ^{a-g}	□	北清戰場説明(太沽・天津・北京・山海關)	一九〇〇	□
八四三	海軍々令部	ヘレロ暴動中西南亞弗利加海軍遠征隊	一九〇五	□

(ロ) 成規

八四四 ^{a-p}	海軍省	海軍條例(獨逸徵兵令追補規定)	(二九〇九)	□
八四五 ^{a-e}	全	帝國海軍讀法	一九〇三	□
八四六 ^{abc}	全	帝國海軍法庭[庭廷]及法官勤務指令	一九〇四	□
八四七 ^{abc}	□	海軍々事裁判所の外國との通信に關する指令	一九〇三	□

い-115-

八四八 ^{a-i}	海軍省	帝國海軍將校軍法會議最高法令	一九一一	□
八四九	ハインリツヒ・ドイツ註 全	上	一九一一	□
八五〇	□	帝國海軍將校及醫官軍法會議最高法令	一九〇二	□
八五一	□	帝國海軍醫官軍法會議最高法令	一九一一	□
八五二 ^{a-h}	海軍省	海軍刑罰執行令	一九〇八	□
八五三 ^{a-l}	全	海軍懲罰令	{二九〇三・一八九一}	□
八五四 ^{a-f}	フキールリツツ	海軍懲罰令註釋	(二九〇三)	□
八五五		缺番		
八五六	海軍省	陸軍部隊及官廳裁判權の規定に關する明細表(帝國海軍用版)	一九〇一	□
八五七 ^{a-d}	リヒタア スツエヌニイ	帝國海軍公務索引	一九一三	□
八五八		缺番		
八五九 ^{abc}	海軍省	軍艦號令詞	一九〇二	□

い-116-

八六〇	□	帝國海軍編制規定	一八八八	□
八六一	□	帝國海軍陸上官衙編成規定	一八九九	□
八六二 ^{a-l}	海軍省	艦内勤務諸規定集	一九〇九	□
八六三(I-II)	全	全 草案 第一編・第二編	一九〇參[參三]	□
八六四 ^{abc}	全	帝國海軍哨艦勤務令	一九〇七	□
八六五 ^{a-f}	全	海上輸送令	一九〇七	□

八六六(I ^{a-e} -II ^{a-f})全	全	附錄 第一及第二 圖表	一九〇七	□
八六七((I ^{a-d})(II))全	全	海軍平時交代輸送規定(海上輸送令附錄 第二)	一九〇八	□
八六八 ^{a-d} 全	全	帝國海軍々艦郵便勤務規定	一九〇七	□
八六九 □	□	無線電信勤務規定	一九〇八	□
《陸軍工兵校》				
八七〇 海軍省	海軍省	無線電信員	一九一〇	□
《陸軍工兵校》				
八七一 ^{a-h} □	□	海軍端艇勤務規定	一八九九	□

い-117-

八七二 □	□	ウキルヘルムスハーフェン衛戍規定	一九一一	□
八七三 海軍省	海軍省	帝國海軍々艦築造一般規定集	□	□
八七四 ^{a-d} □	□	帝國造船廠勤務令	一八八二	□
八七五 ^{a-f} 海軍省	海軍省	全 上 第一節[:] 編制及一般作業規定	一九一二	□
八七六 ^{abc} 全	全	全上草案 第一編[:] 造船廠編制, 第一節[:] 一般事務及事務分掌規定	一八九八	□
八七七 ^{a-f} 全	全	全上草案 第一編第二節[:] 造船廠人員及其勤務關係	一九〇〇	□
八七八 ^{a-h} 全	全	全上草案 第二編[:] 造船作業, 第三節[:] 造船廠警戒及規律勤務 第四節[:] 軍艦	一八九八	□
八七九 全	全	全上草案 第二編[:] 造船作業, 第四節[:] 軍艦	一八九七	□
八八〇 ^{a-f} 全	全	全上草案 第二編第五節[:] 工場勤務令	一八九九	□
八八一 ^{a-e} 全	全	全上草案 第二編第六節[:] 海陸工務	一八九九	□
八八二 ^{a-i} 全	全	全上草案 第二編第七節[:] 財政	一九〇〇	□

い-118-

八八三 ^{a-i} 海軍省	海軍省	帝國造船廠勤務令草案 第二編第八節[:] 用度事務	一八九四	□
八八四 ^{a-h} 全	全	全 上 草案 第二編第九節[:] 金庫事務	一八九八	□
八八五 ^{a-f} 全	全	全 上 草案 第二編第一〇節[:] 倉庫事務	一八九九	□
八八六 ^{a-f} 全	全	帝國造船廠所藏海圖及航海書籍目錄	(一九二〇)	□
八八七 全	全	帝國造船廠に對する請負一般規定	一九〇七	□
八八八 ^{ab} 全	全	ウキルヘルムスハーフェン帝國造船廠商業簿記規定草案	一九一〇	□
八八九 □	□	帝國海軍兵器廠及水雷廠作業令	一八九八	□
八九〇 ^{a-g} 海軍省	海軍省	海軍兵器廠勤務規定	一九〇五	□
《陸軍技術本部》				
八九一 全	全	膠州兵器廠勤務規定	一九〇五	□
《陸軍技術本部》				
八九二 □	□	海軍兵器廠技工方面檢查事務規定	一八九九	□
《陸軍技術本部》				
八九三 ^{ab} 全	全	砲兵技術員	一九一二	□
《陸軍技術本部》				
八九四 □	□	海軍部隊及軍艦携帶火器管理及維持指令	一八八三	□
《陸軍技術本部》				

い-119-

八九五	□	海軍兵器彈藥取扱及保存規定	一九〇九	□
「陸軍技術本部」				
八九六 ^{a-f}	海軍省	演習彈藥管理規定	一九一三	□
「陸軍技術本部」			一九〇〇	
八九七 ^{a-i}	全	帝國海軍携帶火器管理規定	一九〇一	□
「陸軍技術本部」				
八九八		缺番		
「陸軍技術本部」				
八九九		缺番		
「陸軍技術本部」				
九〇〇 ^{ab}	全	諸砲及彈藥取扱竝に維持規定	一九一二	□
「陸軍技術本部」				
九〇一 ^{abc}	全	火器材料及彈藥取扱保存規定	一九〇九	□
「陸軍技術本部」				
九〇二	全	軍艦砲兵速射砲及彈藥取扱竝に保存規定	一九〇〇	□
「陸軍技術本部」				
九〇三	全	海兵團及海軍砲兵隊砲兵演習材料竝に火砲保存費管理規定	一九〇〇	□
「陸軍技術本部」				
九〇四	全	一五珊砲及彈藥取扱竝に保存規定	一九一二	□
「陸軍技術本部」				
九〇五	全	一九〇六年式二一珊砲及彈藥取扱及保存規定 VI	一九一二	□
「陸軍技術本部」				
九〇六	全	一九〇八年式三〇・五珊砲及彈藥取扱及保存規定	一九一四	□
「陸軍技術本部」				

い-120-

九〇七	海軍省	一九〇八年及一〇年式二八珊砲及彈藥取扱保存規定 X	一九一三	□
「陸軍技術本部」				
九〇八	全	軍艦砲兵速射砲と彈藥	一八九八	□
九〇九		缺番		
九一〇 ^{a-v}	全	一九〇四年式拳銃	(一九〇三)	□
九一一	□	〇六年式小測遠器(草案)	一九〇七	□
九一二 ^{a-d}	全	一九〇八年度獨逸海軍器材規定	一九〇八	□
九一三	□	軍艦器具材料設備規定	一八九九	□
九一四 ^{abc}	全	海軍諸官廳高層建築物避雷針竝に其檢查規定	一九一一	□
「陸軍經理建築」				
九一五 ^{ab}	全	軍艦電氣裝置建設手入修繕法	一九〇一	□
九一六	全	キール測特測候所勤務規定	一九〇一	□
九一七	全	潜水夫勤務規定	一九一〇	□
九一八 ^{ab}	□	帝國海軍全勤務作業に於ける災害豫防一般	一八九八	□

い-121-

九一九	海軍省	水雷艇・潜水艇・測量艇・巡邏艇に於ける災害應急手當法	一九〇八	□
九二〇	□	海兵團及職工隊勤務手びき	一八九六	□

九二一 ^{abc}	全	帝國海軍信號旗敬禮訪問規則	一九〇四	□
九二二 ^{a-l}	全	海軍新教禮拜法	一九〇八	□
九二三 ^{ab}	□	軍艦儀典	一八九八	□
九二四 ^{a-f}	全	陸上海軍官廳及部隊に對する備付海軍省書類定數表	一九〇五	□
九二五	□	帝國海軍所藏書式書籍事務用具目錄	一九〇二	□
九二六	□	一九一四年獨逸海軍々令部海圖索引地圖	□	□
九二七	全	帝國海軍秘密書類取扱規定	一九〇一	□
九二八 ^{a-d}	全	軍艦備付圖書函圖書目錄草案	一九〇五	□
九二九	全	全	一九一四	□
九三〇 ^{a-f}	全	海軍官廳及陸上海軍部隊に對する海軍省印刷物豫算目錄	一九〇五	□

い-122-

九三一	海軍省	帝國海軍體操教範	一九一〇	□
九三二 ^{a-h[? k?]}	全	從來使用外國語補遺辭典草案	一九〇五	□
九三三 ^{a-d}	全	帝國海軍將校語學研究規定	一九一〇	□
九三四 ^{ab}	全	海軍少尉候補生練習艦教育規定	(二九二〇)	□
九三五	全	航海術教育規定草案	一九〇三	□
九三六	全	海軍機關學校及兵曹學校勤務規定	一九一〇	□
九三七	全	海軍砲兵部隊教育計劃	一九〇五	□
九三八 ^{a-f}	全	海軍幼年學校生徒教育規定草案	(二九二四)	□
九三九 ^{a-i}	全	海軍文官適任下士教育規定	一九一三	□
九四〇 ^{ab}	□	軍艦給任[任仕 [?]]教育規定	(二九二二)	□
九四一 ^{a-e}	全	帝國海軍々艦人員定數	一九〇七	□
九四二 ^{a-n}	全	海軍陸上官廳平時人員定數	一九〇八	□

い-123-

九四三 ^{abc}	海軍省	海軍陸上官廳其他に派遣すべき兵員定數表	一九〇二	□
九四四 ^{ab}	全	帝國海軍兵卒人員に關する組織的規定集	一九〇六	□
九四五 ^{a-e}	全	海軍兵器員使用規則草案	一九〇三	□
九四六	全	軍艦兵員使用規則草案	一九〇三	□
九四七 ^{a-e}	全	兵員使用要項草案	一九〇三	□
九四八	全	海兵團・職工隊・水雷隊兵員使用規則草案	一九〇三	□
九四九	全	海軍將校團補充規定及施行規則	一九〇九	□
九五〇	全	帝國海軍兵員諸規定集	一九〇六	□
九五一	全	海兵團・造兵廠・水雷團兵員使用規則草案	一九〇三	□
九五二 ^{a-w}	全	海軍々人旅行條例	二九二三	□
九五三 ^{abc}	□	海軍衛生條例	一八九三	□
九五四(Ⅰ ^{a-e} ・Ⅲ ^{abc})全		海軍衛生條例 第一卷[:] 陸上海軍衛生條例	二九二八	□

い-124-

九五四(Ⅰ ^{a-e} ・Ⅲ ^{abc})海軍省		海軍衛生條例 第二卷[:] 海軍陸上衛生條例附錄 全 第三卷[:] 艦内海軍衛生條例	一八九三 一八九三	□ Ⅱ ^{abc}
---	--	---	--------------	-----------------------

九五五 ^{abc}	全	海軍衛生條例草案第一卷	一九〇八	□
九五六 ^{a-s}	全	全 附録[:] 看護用衛生材料豫算	二九〇三	□
九五七 ^{a-i}	全	海軍定期醫務報告規定	一九〇二	□
九五八 ^{a-h}	全	海軍衛生材料廠勤務規定草案	一九〇二	□
九五九 ^{a-i}	全	海軍服務能力檢查法	一九一三	□
九六〇 ^{ab}	全	海軍擔架卒教育法	一九〇三	□
九六一	全	衛戍病院新築一般規則	一九〇四	□
九六二 ^{a-s}	全	國庫規定	一九〇八	□
九六三 ^{ab}	□	海軍國庫規定	一八八七	□
九六四 ^{a-f}	全	戰時金櫃規定	一九〇九	□

い-125-

九六五 ^{a-g}	海軍省	軍艦金庫規定	一九〇九	□
九六六 ^{a-w}	全	帝國海軍衛戍經理條例	一九〇一	□
九六七 ^{ab}	全	海軍衛戍經理部事務要領	一九一一	□
九六八 ^{abc}	全	軍艦事務に於ける經理規定草案	一八九六	□
九六九 ^{ab}	全	軍艦經理規定	一八九六	□
九七〇 ^{abc}	全	軍艦經理規定草案	二九二六	□
九七一 ^{ab}	全	軍艦經理要領	一八九九	□
九七二	全	海軍諸學校經理事務要領	一九〇二	□
九七三 ^{ab}	□	海軍衛戍管理部器材經理・會計文書事務原則	一九一一	□
九七四	□	海軍官廳經理部事務規定	一八九四	□
九七五	全	陸上學校及練習艦俸給計算及仕[仕支]拂規定	一九〇二	□
九七六 ^{a-d}	全	會計検査院指令其他の規定	一九一四	□

い-126-

九七七 ^{a-p}	海軍省	海軍經理検査執行規定	一八九三	□
九七八 ^{a-l}	全	帝國海軍衛戍工事令	一九〇九	□
《陸軍經理建築》				
九七九 ^{a-q}	全	帝國海軍衛戍建築物令	一九〇九	□
《陸軍經理建築》				
九八〇	全	海軍基地規則	一九一三	□
《陸軍經理建築》				
九八一 ^{ab}	[全]	軍艦維持及作業費	一九一〇	□
九八二 ^{a-j}	全	海軍歩兵演習費管束理規定	一九〇五	□
九八三	全	水雷艇隊及潜水艇隊演習費管[理]規定	一九一三	□
九八四	全	軍艦給仕隊演習費管理規定	一九〇五	□
九八五 ^{ab}	全	海岸[岸軍] ² 砲兵及水雷作業演習費管理規定	一九〇五	□
九八六	全	海軍職工隊演習費管理規定	一九〇五	□
九八七 ^{a-h}	全	海軍給料法	一九〇九	□
九八八 ¹⁻³³	全	帝國海軍平時給料規定	(一九二四)	□

い-127-

九八九 ^{ab}	海軍省	帝國海軍扶助基金總錄	一九一一	□
九九〇 ^{a-l}	全	將校准士官補助金並に兵卒家族扶助料管理規定	一九〇二	□
九九一	全	全 上 草案	一八九九	□
九九二 ^{a-d}	全	帝國海軍恩給規定草案	一九〇八	□
九九三 ^{abc}	全	帝國海軍恩給規定	一九〇八	□
九九四 ^{a-d}	全	海軍將校恩給法並に兵卒給與法	一九〇六	□
九九五 ^{a-j}	全	將校恩給法及兵卒恩給法附實施規則定	一九〇六	□
九九六 ^{a-h}	全	帝國海軍恩給下賜規定草案	一九〇八	□
九九七 ^{a-k}	全	帝國海軍馬匹金規定	一九〇五	□
九九八 ^{a-j}	全	海軍馬匹給養規定	一九一一	□
九九九 ^{a-i}	全	帝國海軍々艦給養規定	一九〇六	□
一〇〇〇 ^{a-p}	[全]	本國陸上海軍部隊給養規定	(一九〇五)	□

い-128-

一〇〇一	□	帝國海軍糧食費管理指令	□	□
一〇〇二	海軍省	戰時徵發法並に施行令	一九〇四	□
一〇〇三 ^{a-e}	全	海軍戰時給養規定	一九一一	□
一〇〇四 ^{a-g}	全	海軍戰時現金給養規定	一九〇八	□
一〇〇五 ^{abc}	全	帝國海軍給養官執務規定	一八八七	□
一〇〇六 ^{a-e}	全	海軍給養官吏任用試験教育其他諸規定	一九一〇	□
一〇〇七 ^{a-l}	全	海軍被服規定	一九〇六	□
「陸軍被服本廠」				
一〇〇八	全	全 上 第一・第二附錄	□	□
「陸軍被服本廠」				
一〇〇九	[全]	帝國海軍諸兵科被服規定	一九〇〇	□
「陸軍被服本廠」				
一〇一〇 ^{a-j}	全	海軍步兵被服規定	一八九六	□
「陸軍被服本廠」				
一〇一一 ^{a-i}	全	海軍將校被服規定	一九〇九	□
「陸軍被服本廠」				
一〇一二 ^{a-i}	[全]	海軍步兵將校被服規定	一九〇〇	□
「陸軍被服本廠」				

い-129-

一〇一三 ^{a-e}	海軍省	海軍被服官吏勤務指令	一九〇九	□
「陸軍被服本廠」				
一〇一四	全	海兵第三大隊及海軍基幹第三大隊特別被服規定	一九〇五	□
一〇一五 ^{a-h}	全	帝國海軍傷害保險實施規定	一九一二	□
一〇一六 ^{a-p}	全	帝國海軍々人身分に關する總合規定集	一九〇六	□
一〇一七	□	帝國海軍上伸[伸申] ² 規則	一八九六	□
一〇一八	□	考料表作成規則	一九〇七	□
一〇一九	□	技倆報告書作成規定	一九〇七	□
一〇二〇 ^{a-f}	全	入國歸還放費規定	一八八七	□

一〇二一 ^{abc}	□	海軍准士官以下貯金規定	一九一二	□
「陸軍經理校」				
一〇二二 ^{ab}	□	帝國海軍准士官以下貯金規定草案	□	□
一〇二三	□	帝國海軍准士官以下貯金並利子に関する規定草案	一九一二	□
一〇二四 ^{a-h}	全	文官適任下士の海軍諸官廳に任用され得る地位明細表	一九〇九	□
い-130-				
一〇二五 ^{a-h}	海軍省	膠州守備及海軍防備本部規定	二九〇三	□
一〇二六 ^{a-k}	全	膠州保護領守備及其海軍幹部隊總合規定	一九一一	□
一〇二七	全	膠州殖民地守備及其幹部中隊規定集	一九〇二	□
一〇二八	□	青島海軍工場勞働令	一九〇二	□
一〇二九 ^{a-d}	全	膠州殖民地及東亞派遣隊豫算・官吏給料規則	一九一〇	□
一〇三〇	□	滑車規定(圖及表)	□	□
「陸軍經理建築」				
一〇三一(I-XLV ^{a-d})	全	海軍制令報 第一年	一八七〇	□
		第二年	一八七一	II
		第三年	一八七二	III ^{abc}
		第四年	一八七三	IV ^{abc}
		第五年	一八七四	V ^{abc}
		第六年	一八七五	VI ^{a-e}
い-131-				
一〇三一(I-XLV ^{a-d})	海軍省	海軍制令報 第七年	一八七六	VII ^{a-d}
		第八年	一八七七	VIII ^{ab}
		第九年	一八七八	IX ^{a-d}
		第一〇年	一八七九	X ^{abc}
		第一一年	一八八〇	XI ^{abc}
		第一二年	一八八一	XII ^{abc}
		第一三年	一八八二	XIII ^{abc}
		第一四年	一八八三	XIV ^{abc}
		第一五年	一八八四	XV ^{abc}
		第一六年	一八八五	XVI ^{ab}
		第一七年	一八八六	XVII ^{a-d}
		第一八年	一八八七	XVIII ^{a-d}
い-132-				
一〇三一(I-XLV ^{a-d})	海軍省	海軍制令報 第一九年	一八八八	XIX ^{abc}
		第二〇年	一八八九	XX ^{abc}
		第二一年	一八九〇	XXI ^{abc}
		第二二年	一八九一	XXII ^{abc}
		第二三年	一八九二	XXIII ^{abc}
		第二四年	一八九三	XXIV ^{a-d}
		第二五年	一八九四	XXV ^{a-d}
		第二六年	一八九五	XXVI ^{a-f}
		第二七年	一八九六	XXVII ^{a-e}
		第二八年	一八九七	XXVIII ^{a-g}
		第二九年	一八九八	XXIX ^{a-g}
		第三〇年	一八九九	XXX ^{a-e}

い-135-

一〇三一(I-XLV ^{a-d})	海軍省	海軍制令報	第三一年	一九〇〇	XXXI ^{a-k}
			第三二年	一九〇一	XXXII ^{a-m}
			第三三年	一九〇二	XXXIII ^{a-l}
			第三四年	一九〇三	XXXIV ^{a-m}
			第三五年	一九〇四	XXXV ^{a-m}
			第三六年	一九〇五	XXXVI ^{a-m}
			第三七年	一九〇六	XXXVII ^{a-n}
			第三八年	一九〇七	XXXVIII ^{a-m}
			第三九年	一九〇八	XXXIX ^{a-o}
			第四〇年	一九〇九	XL ^{a-p}
			第四一年	一九一〇	XLI ^{a-n}
			第四二年	一九一一	XLII ^{a-o}

い-136-

一〇三一(I-XLV ^{a-d})	海軍省	海軍制令報	第四三年	一九一二	XLIII ^{a-q}
			第四四年	一九一三	XLIV ^{a-m}
			第四五年	一九一四	XLV ^{a-d}
一〇三二(I-II ^{a-d})	ホルドルフ	海軍制令報及海軍命令中の指令内容目録		一九〇四	□
		全	上	一九〇〇	□
一〇三三	□	全	上 第一附録	一九〇四	□
一〇三四	□	全	上 第二附録	一九〇六	□
一〇三五	ホルドルフ	海軍諸指令内容目録		一八九四	□
一〇三六	海軍省	海軍制令報附録[:] 膠州制令報		一九一二	□
一〇三七	全	海軍命令 第一年ヨリ第三年迄		(二六九二)	□
一〇三八(I ^{ab} -IX)	□	一八五二 - 六三年度海軍一般命令 第一[號]ヨリ第一〇〇號		□	I ^{ab}
		一八六四年度 全	上	□	II ^{ab}

い-137-

一〇三八(I ^{ab} -IX)	□	一八六五年度海軍一般命令		□	III
		一八六六年度 全	上	□	IV
		一八六七年度 全	上	□	V
		一八六八年度 全	上	□	VI
		一八六九年度 全	上	□	VII
		一八七〇年度 全	上	□	VIII
		一八七一年度 全	上	□	IX
一〇三九 ^{ab}	□	北海鎮守府一般命令集		一九〇七	□
一〇四〇	□	軍港一般命令		一八九三	□
一〇四一 ^{abc}	□	東洋巡洋艦隊一般命令集		一九一四	□
一〇四二	□	第二海兵團一般命令		一九〇二	□
一〇四三	□	一九一二年度海兵第三大隊大隊命令		□	□

い-138-

一〇四四(I-IV)	□	一九〇〇年度帝國海軍豫算		□	I
		一九〇一 - 〇四年度 全		□	II
		一九〇五 - 〇八年度 全		□	III ^{ab}

	一九〇九 - 一二年度	全	□	IV
一〇四五(I-XX ^{a-e}) □	一八九六年度獨逸帝國海軍階級録		□	I
	一八九七年度	全	□	II
	一八九九年度	全	□	III ^{ab}
	一九〇一年度	全	□	IV
	一九〇二年度	全	□	V ^{ab}
	一九〇三年度	全	□	VI ^{ab}
	一九〇四年度	全	□	VII ^{a-d}
	一九〇五年度	全	□	VIII ^{abc}
				い-139-
一〇四五(I-XX ^{a-e}) □	一九〇六年度獨逸帝國海軍階級録		□	IX ^{a-d}
	一九〇七年度	全	□	X ^{abc}
	一九〇八年度	全	□	XI ^{a-d}
	一九〇九年度	全	□	XII ^{a-f}
	一九一〇年度	全	□	XIII ^{ab}
	一九一〇年度	全 追補	□	XIV
	一九一一年度	全	□	XV ^{abc}
	一九一一年度	全 追補	□	XVI
	一九一二年度	全	□	XVII ^{a-f}
	一九一二年度	全 追補	□	XVIII ^{abc}
	一九一三年度	全	□	XIX ^{ab}
	一九一四年度	全	□	XX ^{a-e}
				い-140-
一〇四六(I-XIV ^{a-d}) □	一八九九年度獨逸帝國海軍官吏階級録		□	I
	一九〇一年度	全	□	II
	一九〇三年度	全	□	III
	一九〇四年度	全	□	IV ^{abc}
	一九〇五年度	全	□	V ^{ab}
	一九〇六年度	全	□	VI ^{a-d}
	一九〇七年度	全	□	VII ^{abc}
	一九〇八年度	全	□	VIII ^{a-d}
	一九〇九年度	全	□	IX ^{abc}
	一九一〇年度	全	□	X ^{abc}
	一九一一年度	全	□	XI ^{a-f}
	一九一二年度	全	□	XII ^{abc}
				い-141-
一〇四六(I-XIV ^{a-d}) □	一九一三年度獨逸帝國海軍官吏階級録		□	XIII ^{a-f}
	一九一四年度	全	□	XIV ^{a-d}
一〇四七(I-II) □	一九一一年度海軍補任名簿		一九一一	□
	一九一四年度	全	一九一四	□
一〇四八	ウテマン ヘルムス	海軍衛生將校團名簿	一九〇九	□
一〇四九	ウーテマン	全 第一附録		□

(ハ) 雜書

一〇五〇 ^{a-e}	ノイデンク シユロエダア	獨逸海軍	一九〇七	□
一〇五一 ^{ab}	ウキスリセヌス	獨逸海軍の過去と現在	一九〇九	□

一〇五二	海軍省	海軍ルンドシャウ特別號「最近十年間に於ける獨逸海軍思想の發達」	一九〇五	□
一〇五三	シトエワア	ウキルヘルム二世皇帝と海軍		□ □
い-142-				
一〇五四	ベルンスト[トド]ルフ	獨逸海軍生活	一九〇八	□
一〇五五	エルドアン	巡洋艦問答	一九一二	□
一〇五六	ペレルス	外國領海内に於ける軍艦の權利地位		□ □
一〇五七	ゲルスドルフ	獨逸艦隊は贅物なりや必要なりや	一九一二	□
一〇五八	ワロイス	海軍隨筆		□ □
一〇五九	□	露國東海新軍港リバウ	一八九七	□
一〇六〇	ゲルケ大尉譯	リバウより對馬まで(ポリトウスキ技師の手簡)	一九一一	□
一〇六一	ランゲンベルグ	砲艦「イルチス」の最後[後期]	一九一一	□
一〇六二	ヒルドブランド	下士文庫第四卷[:] 下士は海軍に就き何を知らざる可らざるや		□ □
一〇六三	海軍省	丁抹の港灣	一九〇二	□
一〇六四 ^{abc}	シユラム	第二回ハーグ平和會議海戦法に關する審議及決議	一九一一	□
一〇六五	□	倫敦海戦法會議に於ける議事並に決議	一九一一	□
い-143-				
一〇六六 ¹⁻⁵⁵	フギューニン中尉	海兵第三大隊史	一九一二	□
	《陸軍經理校》			《一橋大附圖》
一〇六七 ¹⁻³⁰	ブンゲ	一八九八年 - 一九〇一年海兵第三大隊生活回顧録	一九一四	□
一〇六八	□	海軍砲兵案内	一九〇五	□
	《陸軍技術本部》			
一〇六九	□	帝國海軍機關士候補生用教科書	一九〇四	□
一〇七〇 ^{ab}	海軍省	帝國海軍衛生部下士卒教程	一九〇六	□
一〇七一	全	海軍兵卒必携手帖書式	一九〇九	□
一〇七二 ^{ab}	伊太利海軍省編	伊太利艦船名簿	一九一二	(伊文)
一〇七三	□	一九一二年度英國海軍船艦表	一九一二	(英文)
一〇七四	□	海兵俱樂部一覽(一八九五 - 一九一二)		□ □
一〇七五	□	帝國海軍補助基金一覽	一九一一	□
一〇七六(I-VI)	ナウテイクス	一九〇一年度獨逸海軍年報	一九〇一	□
		一九〇六年度 全	一九〇六	II
い-144-				
一〇七六(I-VI)	ナウテイクス	一九〇八年度獨逸海軍年報	一九〇八	III ^{ab}
		一九〇九年度 全	一九〇九	IV
		一九一〇年度 全	一九一〇	V
		一九一二年度 全		VI
一〇七七(I ^{ab} -II ^{abc})	獨逸海軍協會	一九一二年度獨逸海軍協會年鑑		□ □
		一九一三年[度] 全		□ □
一〇七八(I ^{ab} -XII ^{abc})	□	一九〇三年度 海軍節用	一九〇三	I ^{ab}
		一九〇四年度 全	一九〇四	II ^{abc}
		一九〇五年度 全	一九〇五	III ^{ab}

	一九〇六年度 [全]	一九〇六	IV ^{a-d}
	一九〇七年度 [全]	□	V ^{ab}
	一九〇八年度 [全]	一九〇八	VI ^{ab}
			い-145-
一〇七八(I ^{ab} -XII ^{abc}) □	一九〇九年度 海軍節用	□	VII ^{abc}
	一九一〇年度 全	□	VIII ^{abc}
	一九一一年度 全	□	IX
	一九一二年度 全	□	X
	一九一三年度 全	□	XI ^{a-d}
	一九一四年度 全	□	XII ^{abc}
一〇七九(I ^{ab} -IX ¹⁻³⁴) □	繪入獨逸海軍曆 第六年	一九〇六	I ^{ab}
	全 第七年	一九〇七	II ^{ab}
	全 第八年	一九〇八	III
	全 第九年	一九〇九	IV ^{abc}
	全 第一〇年	一九一〇	V ^{ab}
	全 第一一年	一九一一	VI ^{a-e}
			い-146-
一〇七九(I ^{ab} -IX ¹⁻³⁴) □	繪入獨逸海軍曆 第一二年	一九一三	VII ^{a-f}
	全 第一三年	一九一四	VIII ^{a-h}
	全 第一四年	一九一四	IX ¹⁻³⁴
一〇八〇 □	海軍 Rundschau 第一八年第一號	一九〇七	□
一〇八一(I-X) □	全 第一九年第一號	一九〇八	I
	[全] 第二號	〃	II
	[全] 第三號	〃	III
	[全] 第四號	〃	IV
	[全] 第五號	〃	V
	[全] 第六號	〃	VI
	[全] 第七號	〃	VII
	[全] 第八・九號	〃	VIII
			い-147-
一〇八一(I-X) □	海軍 Rundschau 第一九年第一號	一九〇八	IX
	[全] 第二號	〃	X
一〇八二(I-XI) □	全 第二〇年第一號	一九〇九	I
	[全] 第二號	〃	II
	[全] 第三號	〃	III
	[全] 第四號	〃	IV
	[全] 第五號	〃	V
	[全] 第六號	〃	VI
	[全] 第七號	〃	VII
	[全] 第八・九號	〃	VIII
	[全] 第一〇號	〃	IX
	[全] 第一一號	〃	X
			い-148-
一〇八二(I-XI) □	海軍 Rundschau 第二〇年第一二號	一九〇九	XI
一〇八三(I-XII) □	全 第二一年第一號	一九一〇	I

[全]	第二號	〃	II
[全]	第三號	〃	III
[全]	第四號	〃	IV
[全]	第五號	〃	V
[全]	第六號	〃	VI
[全]	第七號	〃	VII
[全]	第八號	〃	VIII
[全]	第九號	〃	IX
[全]	第一〇號	〃	X
[全]	第一一號	〃	XI

い-149-

一〇八三(I-XII) □	海軍ルンドシヤウ 第二一年第一二號	一九一〇	XII
一〇八四(I-XI) □	全 第二二年第一號	一九一一	I
	[全] 第二號	〃	II
	[全] 第三號	〃	III
	[全] 第四號	〃	IV
	[全] 第五號	〃	V
	[全] 第七號	〃	VI
	[全] 第八號	〃	VII
	[全] 第九號	〃	VIII
	[全] 第一〇號	〃	IX
	[全] 第一一號	〃	X
	[全] 第一二號	〃	XI

い-150-

一〇八五(I-XI) □	海軍ルンドシヤウ 第二三年第一號	一九一二	I
	[全] 第二號	〃	II
	[全] 第三號	〃	III
	[全] 第四號	〃	IV
	[全] 第六號	〃	V
	[全] 第七號	〃	VI
	[全] 第八號	〃	VII
	[全] 第九號	〃	VIII
	[全] 第一〇號	〃	IX
	[全] 第一一號	〃	X
	[全] 第一二號	〃	IX[X XI]
一〇八六 □	全 第二三年第二編(六月 - 一二月)	一九一二	□

い-151-

一〇八七(I-XI) □	海軍ルンドシヤウ 第二四年第二號	一九一三	I
	[全] 第三號	〃	II
	[全] 第四號	〃	III
	[全] 第五號	〃	IV
	[全] 第六號	〃	V
	[全] 第七號	〃	VI
	[全] 第八號	〃	VII
	[全] 第九號	〃	VIII
	[全] 第一〇號	〃	IX
	[全] 第一一號	〃	X
	[全] 第一二號	〃	XI

一〇八八(I-VI) □	全	第二五年第一號	一九一四	I
い-152-				
一〇八八(I-VI) □	海軍ルンドシヤウ	第二五年第二號	一九一四	II
	[全]	第三號	〃	III
	[全]	第四號	〃	IV
	[全]	第五號	〃	V ^{ab}
	[全]	第六號	〃	VI
一〇八九 ^{ab}	海軍省醫務局	キールウキツク海軍病院	一九〇七	□
一〇九〇(I ^{ab} -IX) 全	海軍衛生制度説明	第一卷	一九一〇	I ^{ab}
	全	第二卷	一九一一	II ^{ab}
	[全]	第三卷	一九一一	III ^{ab}
	[全]	第四卷	一九一三	IV ^{ab}
	[全]	第五卷	〃	V
	[全]	第六卷	〃	VI
い-153-				
一〇九〇(I ^{ab} -IX)	海軍省 醫務局	海軍衛生制度説明 第七卷	一九一三	VII ^{ab}
		[全] 第八卷	一九一四	VIII ^{ab}
		[全] 第九卷	〃	IX
一〇九一(I-IV) □		一九〇三年度ゼーマンスハウス 第九年報	□	I
		一九〇六年度 全 第一一年報	一九〇七	II
		一九〇八年度 全 第一三年報	一九〇九	III
		一九一一年度 全 第一六年報	一九一二	IV
一〇九二(I-XIV)	海軍省 醫務局	一八九五年 - 一八九七年 獨逸帝國海軍醫務報告	一八九九	I
		一八九七年 - 一八九八[共九]年 全	一九〇〇	II ^{ab}
		一八九九年 - 一九〇一年 全	一九〇三	III
		一九〇一年 - 一九〇二年 全	一九〇四	IV ^{ab}
		一九〇二年 - 一九〇三年 全	一九〇五	V ^{abc}
《陸軍被服本廠》				《陸自衛生校》 ¹⁷
い-154-				
一〇九二(I-XIV[^d])	海軍省 醫務局	一九〇三年 - 一九〇四年 獨逸帝國[海軍]醫務報告	一九〇六	VI ^{a-d}
		一九〇四年 - 一九〇五年 全	一九〇七	VII
		一九〇五年 - 一九〇六年 全	一九〇八	VIII ^{ab}
		一九〇六年 - 一九〇七年 全	一九〇九	IX
		一九〇七年 - 一九〇八年 全	一九一〇	X
		一九〇八年 - 一九〇九年 全	一九一一	XI
		一九〇九年 - 一九一〇年 全	一九一二	XII ^{ab}
		一九一〇年 - 一九一一年 全	一九一三	XIII
		一九一一年 - 一九一二年 全	一九一四	XIV
《陸軍被服本廠》				《陸自衛生校》 ¹⁸

¹⁷ 下記の如き書名、及び《陸軍軍醫學校・圖書館・洋書》乃至《陸軍軍醫學校圖書印》の印に據り、暫時同定。
 “Statistischer Sanitätsbericht über die Kaiserlich Deutsche Marine für den Zeitraum vom 1. April 1895 bis 31. März 1897. / Bearbeitet von der Medizinal-Abteilung des Reichs-Marine-Amtes / Berlin 1899. Ernst Siegfried Mittler und Sohn Königliche Hofbuchhandlung Kochstraße 68.71.”

¹⁸ 下記の如き書名、及び《陸軍軍醫學校・圖書館・洋書》乃至《陸軍軍醫學校圖書印》の印に據り、暫時同定。
 “Sanitätsbericht über die Kaiserlich Deutsche Marine für den Zeitraum vom 1. Oktober 1903 bis 30. Sep-

一〇九三 ^{abc}	全	西南亞弗利加(一九〇四 - 〇五年)及東亞弗利加(一九〇五 - 一九〇八 〇六年)海軍衛生隊遠征隊衛生報告		〇
《陸軍被服本廠》				
一〇九四 ^{a-j}	海軍省	帝國海軍航海及領海外防備交代輸送航海證憑記錄	一九〇六	〇
一〇九五 ^{a-d}	〇	獨逸海軍唱歌集「海の息吹」	一八九五	〇
い-155-				
一〇九六 ^{abc}	〇	海兵第三大隊軍樂隊十年間音樂會報	〇	〇

い-156-

D. 數學・哲學・宗教・教育

(一) 數學

番 號	著 譯 者 名	書 名	[發行]年代	註
一〇九四七 ^{ab}	ブレミカア	クレレ氏係數表	一八九九	〇
《陸軍技術本部》				
一〇九八 ^{ab}	グレヴエ	五數字式對數表	一八九七	〇
《陸軍教育總監》				
一〇九九	フアーバア	計數棒使用法	〇	〇
《陸軍技術本部》				
一一〇〇	コールラウシユ	微分積分學 附 微分方程式	一九〇七	〇
《陸軍教育總監》				
一一〇一	ボルテ	商船學校用立體幾何學並に球面三角形	一九一一	〇
《陸軍教育總監》				
一一〇二	アレキサンドロツフ	初等幾何學問題	一九〇三	〇
《陸軍教育總監》				
一一〇三	スプーカア	平面幾何學教科書	一八八四	〇
《陸軍教育總監》				
一一〇四	ブル ゴルトマン	初等及高等數學の法式	一八九九	〇
《陸軍教育總監》				
い-157-				
一一〇五	フランゲンハイム ボニゼルン	遠近畫法針指針・純正數學の解答	一八八七	〇
《陸軍教育總監》				
一一〇六	フラゲンハイム	直線遠近法入門	一八八〇	〇
《陸軍教育總監》				
一一〇七	フォルシユハイマア	平面及曲面容器底面積計算法	一八九四	〇
《陸軍教育總監》				
一一〇八	デイングラア	應用幾何學原理	一九一一	〇
《陸軍教育總監》				
一一〇九	チムマアマン	三角形・方形及多角形分割法	一八九六	〇
《陸軍經理建築》				
一一一〇	ライト	算術代數問題集	一九〇五	〇
《陸軍教育總監》				

tember 1904 / Bearbeitet in der Medizinal-Abteilung des Reichs-Marine-Amtes / Berlin 1906 Ernst Siegfried
Mittler und Sohn Königliche Hofbuchhandlung Kochstraße 68-71”

———	ミュルラア ビーンカア	高等學校用計算法	□	□
《陸軍教育總監》				
———二 ^{ab}	ウルリツヒ	自修教科書 計算法	一九〇七	□
《陸軍教育總監》				
———三 ^{a-z}	シウルツエ	自修教科書 正式計算法 附 商業算術	(一九〇三)	□
《陸軍教育總監》				
———四 ^{a-j}	アルテンドルフ	官吏用 實用計算法	一九一〇 一九一〇	□
《陸軍教育總監》				
———五 ¹⁻³⁹	全	文官適任下士用 實用計算法	一九〇三	□
《陸軍教育總監》				
———六(I ^{a-k} -II ^{a-h})	クリーチュ	文官適任下士及官吏用 計算法 第一編・第二編	二八九三	□
《陸軍教育總監》				

い-158-

———七	コエルチュ	小中學算術書	□	□
《陸軍教育總監》				
———八 ¹⁻⁵²	ハエタース ロエム	獨逸小學校用算術書	一九〇七 一九〇六	□
《陸軍教育總監》				
———九 ^{ab}	□	土地測量法(IX)	一九〇三	□
《陸軍經理建築》				
———二〇	シヨルダン	測量學提要 第三卷	一八九六	□
《陸軍經理建築》				
———二一	□	地形學階梯	一九〇二	□
《陸軍教育總監》				
———二二	ガウス	土地區劃法	一八九六	□
《陸軍經理建築》				
———二三	シウルタア	普魯西地積及測量官吏必携	一九〇一	□
《陸軍工兵校》				
———二四(I-IV)	ヒユルテン	ラインウエストフアリア測量協會雜誌 自第二六年至第二九年(一九〇六)	一九〇六	□
《陸軍教育總監》				
———二五 ^{a-f}	□	獨逸膠州領測量書 一八五[五九]八 - 一九〇〇年	一九〇一	□
《陸軍經理建築》・《東北帝大》* ¹⁹				

《東北帝大附圖本館》²⁰

い-159-

(二) 哲學

———二六	□	人間	□	□
《陸軍教育總監》				
———二七	キユーン	ラスキン著「人間相互」	□	□
《陸軍教育總監》				
———二八	オストワルド	一元的世紀	一九一三	□
《陸軍教育總監》				

¹⁹ “V———二五^{ac-f} 4 Bde”とす.

²⁰ 5冊現蔵.

一一二九	エス・ゼ・ウキガー編 階梯支那研究叢書 支那哲學	一九〇六	(支那文)
「陸軍教育總監」			
一一三〇	アラバスタア 三位一體の力(三才)	□	(英文)
「陸軍教育總監」			
一一三一	ヘンリ・バルフォア 大哲南華の著 莊子	一八八一	(英文)
「陸軍教育總監」			
一一三二	ガイルス譯 莊子	一八八九	(英文)
「陸軍教育總監」			
一一三三	リチャード ウキルヘルム 獨譯列子冲虚直經	一九一一	□
「陸軍教育總監」			
一一三四	ズシツォン一譯 ラ・ルゼン著戦争と人(丁抹戦争)	一九〇五	□
「陸軍教育總監」			
一一三五	フキツシャー ルツソ一著懺悔録	一九一一	□
「陸軍教育總監」			
一一三六	シヨペンハウエル 處世警句	□	□
「陸軍教育總監」			
			い-160-
一一三七	フアイス譯 ラスキン著人世警句集	□	□
「陸軍教育總監」			
一一三八	グムプロウキツツ 社會學初歩	一九〇五	□
「陸軍教育總監」			
一一三九	ウエーベルグ 人生社會主義より見たる土地改良	一九一三	□
「陸軍教育總監」			
一一四〇	チエペ 儒教 第一編[:] 孔子傳	一九一〇	□
「陸軍教育總監」			
一一四一	リチャード ウキルヘルム 獨譯論語	一九一〇	□
「陸軍教育總監」			
一一四二	スタニスラ・ル・ガル譯註 朱熹と其の學説及感化	一八九四	(佛文)
「陸軍教育總監」			
一一四三	河間府天主教堂譯註 支那の道德及習慣	一九〇五	(支那文)
「陸軍教育總監」			
一一四四	ウエーゲナア 吾等若き人達	□	□
「陸軍教育總監」			
一一四五	トレプテ 獨逸男兒の社會學校にて	□	□
「陸軍教育總監」			
一一四六	サツカレイ 俗物篇及倫敦見物	一九〇四	(英文)
「陸軍教育總監」			

い-161-

(三) 宗教

一一四七	獨逸殖民協會青島部コエスターズ 支那人の宗教	一九一一	□
「陸軍教育總監」			
一一四八	シトラウス 古代支那の一神教	一八八五	□
「陸軍教育總監」			
一一四九(I-IV)	ドグルート 支那の宗教制 第一編第一卷[:] 死者の處分	一八九二	(英文)

	第二編第一卷	一八九四	(//)
	第三編第一卷	一八九七	(//)
	第五編第二卷	一九〇七	(//)
《陸軍教育總監》			《埼玉大圖》
一一五〇	アイテル 支那佛語辭典	一八八八	□
《陸軍教育總監》			
一一五一	コープレストン 佛教マガタと錫蘭に於ける今昔	一九〇八	(英文)
《陸軍教育總監》			
一一五二	ビクシュ 佛教問答	一八九八	□
《陸軍教育總監》			
一一五三	アイテン 佛教三講	一八八四	(英文)
《陸軍教育總監》			
一一五四	ワイグ 東亞社會研究 第九號[:] 古代及近代の佛教 第一	一九〇八	□
《陸軍教育總監》			
			い-162-
一一五五	オルデベルヒ 佛陀(彼が生活・彼が教育・彼が教區)	一九〇三	□
《陸軍教育總監》			
一一五六	ワツタース 支那佛寺の十八羅漢	一八九九	(英文)
《陸軍教育總監》			
一一五七	マーゴリオス マホメット教	□	(//)
《陸軍教育總監》			
一一五八 ^{ab}	エメト 猶太教祈禱書	一九〇九	(猶太語)
《陸軍教育總監》			
一一五九	□ 東洋諸國教會史	一八九六	(英文)
《陸軍教育總監》			
一一六〇	ユーシル 支那に於ける教會	一九〇七	(//)
《陸軍教育總監》			
一一六一	ロツス 滿洲に於ける教會制	一九〇三	(//)
《陸軍教育總監》			
一一六二	□ 支那に於ける宣教師	□	(//)
《陸軍教育總監》			
一一六三	ジ・ピ・ピオレ師 第十九世紀に於ける佛國加特利教會の事業(支那及日本)	□	(佛文)
《陸軍教育總監》			
一一六四	□ 支那基[督]教紀念祭演説集	一九〇七	(英文)
《陸軍教育總監》			
一一六五	マクジリヴレイ 支那に於ける新教々會の一世紀(一八〇七 - 一九〇七)	一九〇七	(//)
《陸軍教育總監》			
一一六六	モンタレムベルト カトリック教出版教[教協]會第二年 ラ・モリシエール將軍其他	一八六五	□
《陸軍教育總監》			
			い-163-
一一六七	ハインリツヒ カトリック教出版協會第三年 修道院與其他	一八六六	□
《陸軍教育總監》			
一一六八	□ 全 第四年 文學と基[督]教教育其他	一八六八	□
《陸軍教育總監》			

一一六九	イバツハ	全	第五年 切迫せる宗教會議其他	一八六九	□
«陸軍教育總監»					
一一七〇	克蘭ツ	エルンスト・フアアバア博士		一九〇一	□
«陸軍教育總監»					
一一七一	ゼールバツハ	敬神者と贖[[?] 瀆 [?]]神者の死		一八六五	□
«陸軍教育總監»					
一一七二	北獨逸基[督]教協會譯	エルサレムの最後の日		一八七六	□
«陸軍教育總監»					
一一七三	□	爾等が王國は來るべし		一九一三	□
«陸軍教育總監»					
一一七四	リーズン	耶穌は何を曰ひしか		一九一三	(英文)
«陸軍教育總監»					
一一七五	ベンゲルン	基[督]教の黙示録		一八五五	□
«陸軍教育總監»					
一一七六	ゼグール	修身敬神の道しるべ		一八七三	□
«陸軍教育總監»					
一一七七	バンニヤン	巡禮の旅		□	(獨譯)
«陸軍教育總監»					
一一七八	ホルン	神の指		一八九一	□
«陸軍教育總監»					
い-164-					
一一七九	ヨハン・バプチスト・シヤート	愛の樂園		一九一〇	□
«陸軍教育總監»					
一一八〇	シユプアゲオン	予は信ずべきか?		□	□
«陸軍教育總監»					
一一八一 ^{ab}	ビユツトナア	治癒せず! 治すべからざるか?		□	□
«陸軍教育總監»					
一一八二 ^{a-d}	レーデブール	此の世の闇に日の光		一九〇〇	□
«陸軍教育總監»					
一一八三	全	此の世の闇に永夏の光		一九〇〇	□
«陸軍教育總監»					
一一八四 ^{a-e}	ゴスラア	聖き泉より		一八九七	□
«陸軍教育總監»					
一一八五 ^{a-d}	フキツシヤア	平和と歡喜		一八九七	□
«陸軍教育總監»					
一一八六 ^{a-d}	ブリング	病患の書		一八九九	□
«陸軍教育總監»					
一一八七 ^{a-e}	ベンダア	哀痛		一八九九	□
«陸軍教育總監»					
一一八八 ^{a-e}	□	基[督]教雜誌協會小品集		□	□
«陸軍教育總監»					
一一八九	ロツゲ	希望(説教集)		一九〇五	□
«陸軍教育總監»					
一一九〇	ゴツフキーネ	説教集		一八九一	□
«陸軍教育總監»					

一一九一	□	新教信者用教書 命の木 一九〇八年度	□	□
「陸軍教育總監」				
一一九二	□	聖母マリア勤行書	□	(拉・獨文)
「陸軍教育總監」				
一一九三 ^{ab}	□	軍艦用説教書	一八九八	□
「陸軍教育總監」				
一一九四 ^{ab}	□	フロムホルツ 軍艦用説教集	一八七九	□
「陸軍教育總監」				
一一九五	□	基[督]教寺[事]典	□	□
「陸軍教育總監」				
一一九六	□	エミング アロスシユウ祈禱書	一八九八	□
「陸軍教育總監」				
一一九七	□	海員祈禱書	□	□
「陸軍教育總監」				
一一九八	□	イスラエル人用祈禱書	一九〇九	(ヘブライ文)
「陸軍教育總監」				
一一九九 ^{ab}	□	ルーテル譯 聖書(新舊約全書)	一八八五	□
「陸軍教育總監」				
一二〇〇	□	舊新約全書	□	□
「陸軍教育總監」				
一二〇一 ^{a-d}	□	ルーテル 新約全書	一八四〇・一九〇三 一九〇〇	□
「陸軍教育總監」				
一二〇二 ^{abc}	□	ルーテル譯 繪入新約全書	一九〇四	□
「陸軍教育總監」				

一二〇三	□	新約全書	一九〇五	一八九八 (伊文)
「陸軍教育總監」				
一二〇四	□	全	一八九八	(支那文)
「陸軍教育總監」				
一二〇五	□	新約聖書	□	(支那文)
「陸軍教育總監」				
一二〇六	□	ホフマン 新約教書 第一卷第一部[:] ポウルの書	一九一〇	□
「陸軍教育總監」				
一二〇七	□	讚美歌集 附祈禱書	一八九八	□
「陸軍教育總監」				
一二〇八 ^{abc}	□	サニキイ 讚美歌集	□	(英文)
「陸軍教育總監」				
一二〇九	□	讚美歌集(三〇〇種)	□	(英文)
「陸軍教育總監」				
一二一〇 ¹⁻¹³⁸	□	フオルマル 舊教陸軍祈禱及聖歌集	一九〇六	□
「陸軍教育總監」				
一二一一 ¹⁻²⁷	□	普魯西陸軍舊教祈禱及聖歌集	□	□
「陸軍教育總監」				

一二一二 ^{ab} □	新教陸軍聖歌及祈禱書	一九〇六	□
「陸軍教育總監」			
一二一三 ¹⁻²¹⁹ □	新教海軍聖歌及祈禱書	二九〇七	□
「陸軍教育總監」			
一二一四 □	支那新報 第四五卷 第七號	一九一四	(英文)
「陸軍教育總監」			

い-167-

一二一五(I-III) □	メレンスキイ主幹 教會の友 第五參號ヨリ第五五號	一八九八・一八九九	□
「陸軍教育總監」		一九〇〇	
一二一六 □	「エキスポジタア」一九一四年六月號		□ (英文)
「陸軍教育總監」			
一二一七 □	共濟會雜誌「日光」第七年 第一一號	一九一四	□
「陸軍教育總監」			
一二一八 □	カイザーワエルト 尼衆學校 一八五五年度基[督]教雜誌		□ □
「陸軍教育總監」			
一二一九(I-XIV) □	獨逸カトリック教雜誌 第一年	一八六六	I
	第二年	一八七一 ²	II
	第三年	一八六八	III
	第四年	一八七〇	IV
	第五年	一八七〇	V
	第六年	一八七一	VI
	第七年	一八七二	VII
	第八年	一八七三	VIII
「陸軍教育總監」			

い-168-

一二一九(I-XIV) □	獨逸カトリック教雜誌 第一〇年	一八七五	IX
	第一一年	一八七六	X
	第一二年	一八七七	XI
	第一六年	一八八一	XII
	第一七年	一八八二	XIII
	第一八年	□	XIV
「陸軍教育總監」			
一二二〇(I ^{ab} -II) □	ヒユルスカムプ時折[² 拆節 ²]雜誌 第七卷・第八卷	一八七一・一八七〇	IX
「陸軍教育總監」		一八七三	
一二二一 □	獨逸カトリック教時折[² 拆節 ²]雜誌 第九年第一卷	一八七四	□
「陸軍教育總監」			
一二二二	缺番		
「陸軍教育總監」			
一二二三 □	基[督]教信徒事案報(一九〇九年五・九・一〇月)	一九〇九	(英文)
「陸軍教育總監」			
一二二四 □	一九〇〇年度基[督]教國民曆	□	□
「陸軍教育總監」			
一二二五 □	支那基[督]教紀念發[發登]記錄	一九〇七	(英文)
「陸軍教育總監」			

一二二六(I-VII) □	一八九八年度 伯林新教播布會報告	□	I
	一八九九年度 全	□	II
	一九〇〇年度 全	□	III
	一九〇二年度 全	第七八年	一九〇二 IV
	一九〇四年度 全	第八一年	一九〇五 V
	一九〇五年度 全	第八二年	一九〇六 VI
	一九〇七年度 全	第八四年	一九〇八 VII

《陸軍教育總監》

一二二七(I ^{ab} -IV) □	一九〇八年度 伯林傳道協會年報	一九〇九	モト高種ナルベシ
	一九〇九年度 全	□	II
	一九一〇年度 全	一九一一	III
	一九一一年度 全	一九一二	IV

《陸軍教育總監》

一二二八 □	伯林婦人宗教協會支部報告 一九〇四年度第三期	一九〇四	□
--------	------------------------	------	---

《陸軍教育總監》

一二二九(I-II) □	一九〇四年度 大同新教々會組合 第二〇同年報	一九〇四	□
	一九〇四 - 〇五年度 全	第二一回 全	一九〇五 □

《陸軍教育總監》

一二三〇 □	世界各國に於ける四福音書見本	一九〇四	□
--------	----------------	------	---

《陸軍教育總監》

(四) 教育

一二三一 □	パウルゼン 獨逸教育の發達	一九〇六	□
--------	---------------	------	---

《陸軍教育總監》

一二三二 □	ベルドロウ 國民教育者としてのホーエンツオルレルン家	一八九〇	□
--------	----------------------------	------	---

《陸軍教育總監》

一二三三 □	教育詳論 五月號	一九一二	(英文)
--------	----------	------	------

《陸軍教育總監》

一二三四(I-X) □	極東佛西學校報告 自第二卷至第一一巻	皇一九〇三	(佛文)
-------------	--------------------	-------	------

《陸軍教育總監》

一二三五(I ^{abc} -VII ^{abc}) □	一九〇三 - 〇四年度 青島總督府學校年報	□	□
	一九〇六 - 〇七年度 全	□	II
	一九〇七 - 〇八年度 全	□	III

《陸軍教育總監》

一二三五(I ^{abc} -VII ^{abc}) □	一九〇八 - 〇九年度 [青島]總督府學校年報	□	IV
	一九〇九 - 一〇年度 全	□	V
	一九一〇 - 一一年度 全	□	VI ^{abc}
	一九一三 - 一四年度 全	□	VII ^{abc}

《陸軍教育總監》

一二三六 ^{ab} □	青島德華高等學堂一覽	一九一三	□
----------------------	------------	------	---

《陸軍教育總監》

一二三七 □	青島德華高等學堂規則	一九一三	□
--------	------------	------	---

《陸軍教育總監》

一二三八 □	青島特別高等專門學校簡章	一九一三	(獨支文)
--------	--------------	------	-------

「陸軍教育總監」				
一二三九 □	青島特德華高等學堂下級教案		一九一二	□
「陸軍教育總監」				
一二四〇 □	一九一一年度 山東クリスチャン大學年報		□	(英文)
「陸軍教育總監」				
一二四一 □	漢堡殖民學校 第一年報		一九〇九	□
「陸軍教育總監」				
一二四二 フオエルスタア	漢堡學術獎勵會十年間講演報告(二八九五)		一九〇五	□
「陸軍教育總監」				
一二四三(I-II) 全	漢堡學術獎勵會 一九〇七年度講演報告 全 一九〇九年度 全		一九〇八	□ □
「陸軍教育總監」				
				い-172-
一二四四(I-II)	漢堡殖民學校 一九〇九 - 一〇年度 冬期講演表 一九一二 - 一三年度 全		一九〇九	□ □
「陸軍教育總監」				
一二四五 □	マリオン・レロイ・バートンのスミス大學校長就職式		一九一一	□
「陸軍教育總監」				

い-173-

E. 歴史・地理

(一) 歴史

(イ) 世界歴史, 各國史

番 號	著 譯 者 名	書 名	[發行]年代	註
一二四六	レトワキンシユ シユミニレ	中等歴史年表	一八八四	□
「陸軍教育總監」				
一二四七 ¹⁻⁵⁰	ミュルラア	自修文庫 世界歴史	(二九〇三)	□
「陸軍教育總監」				
一二四八	ドイツトマアル	世界歴史入門	一八七五	□
「陸軍教育總監」				
一二四九	クレエ	民族移住時代	一八九一	□
「陸軍教育總監」				
一二五〇	ウエルタア	世界歴史 第二編	一八八三	□
「陸軍教育總監」				
一二五一	シエーフアア	近世々界史 第一卷	一九一〇	□
「陸軍教育總監」				
一二五二(I-IV)	イエーガア	近世史(維納會議より現代迄) 第一卷(二八一五)	一九〇四	□
		全 第二卷(二八四八)	〃	□
「陸軍教育總監」				
				い-174-
一二五二(I-IV)	イエーガア	近世史(維納會議より現代迄)] 第三卷(二八七二)	一九〇四	□
		全 第四卷(二九〇〇)	〃	□
「陸軍教育總監」				
一二五三(I-II) 全		第十九世紀 第一卷(一八〇〇 - 一八五二)	一九〇九	□

		全	第二卷(一八五二 - 一九〇〇)	〃	□
「陸軍教育總監」					
一二五四	ウオルフ	政治思想涵養「應用歴史」		一九一一	□
「陸軍教育總監」					
一二五五	フキシャーベンツオン	ラルゼン著近世國民の戦争		一九〇七	□
「陸軍教育總監」					
一二五六	フアルケンシタイン	地理的發見旅行史 第四・第五卷		一八二八	□
「陸軍教育總監」					
一二五七 ^{ab}	シエーフアア	殖民史		一九一〇	□
「陸軍教育總監」					
一二五八	ポエルマン	獨逸史年代表		□	□
「陸軍教育總監」					
一二五九 ¹⁻³⁷	ノイバウア	中學校用歴史教科書 第二編[:] 獨逸史		一九一一	□
「陸軍教育總監」				一九一三	□
一二六〇 ^{ab}	アイハルト エフナア	獨逸歴史		一九一〇	□
「陸軍教育總監」				一九〇六	□
一二六一	フランケ	實用獨逸歴史教科書 第二編		一八九二	□
「陸軍教育總監」					
い-175-					
一二六二	ステフアン	獨逸帝國の曙光時代		□	□
「陸軍教育總監」					
一二六三(I-II)	ギルシユナア	獨逸皇帝治世 第一卷・第三卷		□	□
「陸軍教育總監」					
一二六四(I-VII)	ジイベン	ウキルヘルム一世の獨逸帝國創業	第一卷	一八九二	I
			第二卷	一八九六	II
			第三卷	一八九二	III
			第四卷	〃	IV
			第五卷	〃	V
			第六卷	一八九九	VI
			第七卷	〃	VII
「陸軍教育總監」					「防衛大圖」
一二六五	□	ホーエンツオルレルン年鑑 第一卷 - 第一七卷(一八九七 - 一九一三)内容目錄		□	□
「陸軍教育總監」					
一二六六	チングラア	獨逸帝室ホーエンツオルレルン		一八九七	□
「陸軍教育總監」					
一二六七	ゲルハルトマミントール	ホーエンツオルレルン家初代史 神の爭奪		一九〇三	□
「陸軍教育總監」					
い-176-					
一二六八	ベルナア	普魯西王國史		一八九六	□
「陸軍教育總監」					
一二六九	ピユツツ	普魯西歴史教程		一八九五	□
「陸軍教育總監」					
一二七〇	シュミット	普魯西軍人讀本 祖國史		一八八九	□
「陸軍教育總監」					
一二七一	ムント	巴里皇帝叙記 第一編		一八五七	□

「陸軍教育總監」				
一二七二	ゴットヘルフ	西端[西端瑞西 ²]國民生活 第二卷	一八五〇	□
「陸軍教育總監」				
一二七三	ウオルタア・スコット	スコットランド史「祖父の話」	一九〇二	(英文)
「陸軍教育總監」				
一二七四	□	佛蘭西皇帝錄 第二	□	□
「陸軍教育總監」				
一二七五	マスペロ	古埃及	一九一一	□
「陸軍教育總監」				
一二七六	ウキルト	土耳其の歴史	一九一二	□
「陸軍教育總監」				
一二七七	クラウゼ	西[亞 ² 西亞 ²]細亞に於ける露國(一五五八 - 一八九九)	一八九九	(英文)
「陸軍教育總監」				
一二七八	フアーバア	支那歴史年代便覽	一九〇二	□
「陸軍教育總監」				
一二七九	□	中西年歴[歴曆] ² 合攻(一七五一 - 二〇〇〇)	一九〇五	(英支文)
「陸軍教育總監」				

い-177-

一二八〇	ペテル黄	中西歴[歴曆] ² 日合璧	一八八五	(英支文)
「陸軍教育總監」				
一二八一	アチャス・チャン編	極東諸國對照歴史年表	一九〇五	(佛文)
「陸軍教育總監」				
一二八二	フォン・フリース	支那歴史	一八八四	□
「陸軍教育總監」				
一二八三(I-II)	ブルガア	支那歴史 第一編・第二編	一八九八	(英文)
「陸軍教育總監」				
一二八四	全	支那小史	一八九三	(英文)
「陸軍教育總監」				
一二八五	ポット	支那歴史通覽	一九〇三	(英文)
「陸軍教育總監」				
一二八六	フアーバア	歴史より見たる支那	一八九五	□
「陸軍教育總監」				
一二八七 ^{a-i}	□	支那の歴史的發達概覽	一九一二	□
「陸軍教育總監」				
一二八八	マルテイン	支那の歴史哲學及宗教	一八九四	(英文)
「陸軍教育總監」				
一二八九(I-III)	エスピ・ウキガー編	階梯支那研究叢書 第一〇[:] 歴史 第一卷	一九〇三	(支佛文)
		第二卷	一九〇四	(〃)
		第三卷	一九〇五	(〃)
「陸軍教育總監」				「埼玉大圖」

い-178-

一二九〇(I-V)	エヅワール・シヤヴンヌ譯註	司馬遷の歴史的記録 第一卷	一八九五	(佛文)
		第二卷	一八九七	(〃)
		第三卷	一八九八	(〃)
		第四卷	一九〇一	(〃)

「陸軍教育總監」			「埼玉大圖」
一二九一	アルベール・シエツプ	吳朝史	一八九六 (佛文)
「陸軍教育總監」			
一二九二	ロツス	滿洲朝(清朝の統治)	一八八〇 (英文)
「陸軍教育總監」			
一二九三	モンタルトニ シニシニサヌ	上海史	一九〇九 (リ)
「陸軍教育總監」			
一二九四	クラウゼ	中國衰過	一八九八 (リ)
「陸軍教育總監」			
一二九五	チェペ	日支歴史的關係(太古より一六〇〇年代に至る)	一九〇七 □
「陸軍教育總監」			

い-179-

(ロ) 傳記

一二九六	シユミツド	オイスタヒユス(基督前の話)	□ □
一二九七	ベラニ	墨西哥の發見と點[點占]領	一八四七 □
一二九八	ワイトブレヒト	羅馬の戰爭(十六世紀史の一節)	□ □
一二九九	レッダアホーゼ	オラニエンのウキルヘルムと和蘭の叛亂	□ □
一三〇〇	グルニドマン	ハンザの話「伯爵騒動」	□ □
一三〇一	ヘルヒエンバツハ	巴里よりモスカウへ	□ □
			「東北大附圖分館」
一三〇二	デンハルト譯	エルクマン・カトリアン著「ワータアロー」其他	□ □
			「東北大附圖分館」
一三〇三	ゴールドシユミツト譯	エルクマン・カトリアン著「ワータアロー」其他	□ □
「三高」*			「京都大總人圖」
一三〇四	ローレンツ	第十九世紀の政治家と歴史家	一八九六 □
「三高」*			「京都大總人圖」
一三〇五	フォン・ホルレベン	近代海上の英雄と海戦	一九〇七 □
「三高」*			「京都大總人圖」
一三〇六	ツオルリング	巴里人界漫遊 第二卷	□ □
「三高」* ²¹			

い-180-

一三〇七	クルニツク撰	ルーズヴェルト著後部森林人の國にて	一九一〇 □
			「金澤大中圖」
一三〇八	フェルン	練[練鍊]金者(少年歴史物語)	□ □
			「金澤大中圖」
一三〇九	フラチン・パーシャ	スダンに於ける火と劍	一九〇六 □
			「金澤大中圖」
一三一〇	イエンゼン	ブランデンブルク亭萬歳	一九〇二 □
			「金澤大中圖」
一三一〇	クレー	一獨逸國民の名譽と滅亡(五三五 - 五五五 ゴート戰爭)	一八八七 □
			「東京外大附圖」

²¹ “~~一三〇六誤~~”(消去線・“誤”字共に鉛筆).

一三一二	ホルン	維納の包圍(一六八三)	一八九九	□	「東京外大附圖」
一三一三 ^{abc}	シルラア	三十年戦史	□	□	「東京外大附圖」
一三一四(I-II)	アイ[キル]ヒエンホルツ	獨逸に於ける七年戦史 第一編・第二編	□	□	「東京外大附圖」
一三一五	レッダアホーゼ	七年戦争	□	□	「東京外大附圖」
一三一六	シュミット	フリードリヒ・ウキルヘルム三世及ルイゼ時代(一八〇〇 - 一八〇九)	□	□	
一三一七	フォン・カルロウキツツ	歴史物語 我等が祖父の時, 第二七, 新時代の展開(一八一五 - 三一年)	□	□	
一三一八	エルム	獨立戦争(一八一三 - 一八一五)	□	□	
い-181-					
一三一九	ヤーン	獨逸獨立戦争(一八一三 - 一八一五)	一八九三	□	
一三二〇	ツユルレ	獨立戦争(一八一二 - 一八一五) 第一卷	□	□	
一三二一	ブリューメル	一八四八 - 四九年獨立革命史	一八九八	□	
一三二二(I-II)	ビーダアマン	予の生涯と其時代 第一卷 一八一二 - 一八四九 全 第二卷	一八八六	□	〃 □
一三二三	パーペ	舊より新帝國へ	一八八八	□	
一三二四	フォン・ウキンタアフエルド	光榮ある三戦役史	□	□	
一三二五	マイスタアグリイヒエン	普墺戦争回顧・普佛戦争回顧	□	□	
一三二六	ジイベル	普佛戦争の淵源	一九一〇	□	
一三二七	ゲオルギ	一八七〇 - 七一年大戦	一八九五	□	
一三二八	グルーベ	隣人ローマン民族(普佛戦争)	一八九五	□	
一三二九	ドエル	一八七〇 - 七一年獨佛戦争 第三卷	一八七一	□	
一三三〇 ^{ab}	クライン	一八七〇年フロエシユワイラア記録	二九〇四	□	
い-182-					
一三三一	キューン	ロイテン	□	□	
一三三二	フロムメル	お、ストラスブルグ 汝 美しの町よ	一八九八	□	
一三三三	ミュルラア	ストラルズンド包圍	一八八〇	□	
一三三四	フェルヂナンド・シュミット	ケーニヒグレッツ	□	□	
一三三五	ブライプトロイ	譯 セダン回顧録	□	□	
一三三六	レストルフ	セダン	一八九五	□	
一三三七	ルツペルスベルグ	ザールブリュッケン戦争記録	一九一一	□	
一三三八 ^{ab}	フロムメル	王の軍服にて	二八九六	□	
一三三九		缺番			
一三四〇 ^{ab}	ミュルラア	獨帝二十五年祭	一九一三	□	
一三四一	コンラデイ	泰西に於ける支那文明の影響	一八九八	□	
一三四二	バアカア	支那と歐洲との交通	□	□	(英文) 「山口大總圖」

一三四三 ^{ab}	アイテル	支那に於ける歐人(香港史)	一八九五 (〃) 《山口大總圖》
い-183-			
一三四四	アンリイ・コルデキエ	第十九[九 八]世紀の支那に於ける佛蘭西	一八八三 (佛文) 《山口大總圖》
一三四五	<small>獨逸殖民地協會青島部</small> ウキルヘルム	歴史上より見たる外國と支那との關係	一九〇九 □
一三四六	□	一八九一年 支那に於ける反外國騷亂	一八九二 □
一三四七	アレン	北京公使館の包圍	一九〇一 (英文)
一三四八	リンドセ・ブライン	支那「泰平」の亂	一八六二 (〃)
一三四九	スチューベ ^譯	ワシルエフ著 支那の開発	一九〇九 □
一三五〇	フホールコム	明初年代カサイ皇室の兒孫	一九〇六 □
一三五一	フオーシイス	一九〇〇年支那動亂の殉難者	一九〇四 (英文)
一三五二	ドクトル・シユレーゲル	支那娼史	一八八〇 (佛文)
一三五三	ドミス・ガンダール	支那大運河沿革	一八九四 (佛文)
一三五四	シユミット	クキツツオウ(十四世紀末物語)	□ □
一三五五	キューン	バルバロツサ	□ □ 《山形大中國》
い-184-			
一三五六	オエルテル	フリードリヒ一[=]世 バルバロツサ	一八九四 □
一三五七	エルテル	カール大王	一八九四 □
一三五八	オエルテル	オット第一世大王	一八七七 □
一三五九	シユツプ	フリードリヒ・ウイルヘルム大撰[撰選]帝候[候侯]	一八九四 □ 《信州大松本圖》 [?]
一三六〇	フェーゼ	フリードリヒ大王	□ □
一三六一	ニコライ	普魯西王フリード[リヒ]二世の逸話	□ □ 《信州大松本圖》 [?]
一三六二	フォン[・]ホルン	ハンス・ヨアヒム・フォン[・]チーテン傳	□ □ 《信州大松本圖》 [?]
一三六三	シユミット	ヨゼフ二世皇帝	□ □ 《信州大松本圖》 [?]
一三六四	ウエルデイヒ	老デツサウ人(レオポルド一世)の生涯と事蹟	一九〇三 □
一三六五	エンゼ	アンハルト・デツサウのレオポルド公	□ □
一三六六	ハインリツヒ	フリードリヒ・フリーゼンとリュツツオウ旗下の士	一八九〇 □
一三六七	ゾンネンブルグ	ゴットフリード・フォン[・]ストラスブルグ	□ □
い-185-			
一三六八	シユツプ	ウキルヘルム第一世皇帝	一八九九 □
一三六九	コエラア	獨逸皇帝ウキルヘルム一世	一八九〇 □ 《山形大中國》 [?]
一三七〇	オット	吾等が皇帝ウキルヘルム一世	□ □
一三七一	フキツシヤア	獨逸大帝ウキルヘルム一世	一八九七 □
一三七二	オンケン	吾が大帝ウキルヘルム(百年祭紀念誌)	□ □

一三七三	エルム	鐵王子(フリードリヒ・カール親王)	□	□
一三七四	ラングート	普魯[西]親王ハインリツヒ	一八九三	□
一三七五	ホルン	老フリッツ	□	□
一三七六	ラングート	プリンツ・ハインリツヒ・フォン・フ[マ]ロイセン	一八九三	□
一三七七	ガーレツプ	ウキルヘルム一世旗下の傑士 第一卷[:] フリードリヒ・カール親王	一八九〇	□
				《東北大附圖分館》
一三七八	全	右 第五卷[:] アルベルト・フォン・ローン伯	一八九一	□
一三七九	クロエデン	普王フリードリヒ・ウキルヘルム三世	一八四〇	□
				《東北大附圖分館》

い-186-

一三八〇	ロツゲ	演説家ビスマーク	一八九九	□
《°三高》*				《京都大總人圖》
一三八一	シヨミシヨ	ビスマークの逸話	□	□
《參謀本部》				
一三八二	ミュラアボーン	モルトケ伯	□	□
《參謀本部》				
一三八三	ブルンヘーゲン フォン・エシゼ	ブリユツヒヤア公	□	□
				《金澤大中圖》
一三八四	ホルン	シヤルンホルスト	一八九九	□
				《金澤大中圖》
一三八五	ホエツカア	フリードリヒ・ルードウキヒ・シユロエダア	□	□
				《金澤大中圖》
一三八六	チームセン	ゲオルグ・ウエンツエスラウス・フォン・クノーベルスドルフ	□	□
一三八七	ノイマン	ズルツバツハの恩人	一九〇二	□
一三八八	チームセン	ジツキンゲンのフランツ	□	□
一三八九	サルツアア	フリードリツヒ・フォン・アイゼンハルト將軍の回顧録	一九一〇	□
一三九〇	ウエルナア	カピテン・ラ [?] ツヒヤア 第一編	一八九六	□
一三九一	マヌエル博 [?] 傳 [?] 士	アルベルト・ビチュス	□	□

い-187-

一三九二	シユミット・ワイセンフェルス	クルツプと其の事業	□	□
一三九三	ロムペル	スタイン長官と對英戰に於けるドラスヴール人 第一編[:] スタイン長官	□	□
一三九四	ガイザア	鐵石心(宗教家ヨハネスマイヤアの事)	一九〇五	□
一三九五	ホエツカラ[争ア]	諷刺詩人ヨゼフ[・]ハイドウン	□	□
一三九六	ビーデンカツプ	詩人牧師マックス[・]アイト	一九一〇	□
一三九七 ^{I-II}	ハイネ	奈翁 第一卷[・]第二卷	一八四〇	□
一三九八	ウオルフ譯	テイヌ著「奈翁」	一九〇七	□
				《山口大總圖》
一三九九	レンツ	ナポレオン	一九〇五	□
				《山口大總圖》
一四〇〇	ムント	ミラボウ伯 第二卷	一八五八	□
				《山口大總圖》
一四〇一	ウエルデイヒ	シルと十一兄弟	□	□
《新潟高》*				

一四〇二 «新潟高»*	ブリューメル	瑞典王グスタフ・アドルフ	一八九四	□
一四〇三 «新潟高»*	レムケ	マルコ[・]ポロ	一九〇七	□
い-188-				
一四〇四	ボンド譯	プリニユース: フキスク	一八三五	□
一四〇五	キュール	フリースランド人「ハルロ・ハルリング」	一九〇六	□
一四〇六	ジェピ・クラーク	「シャネット・クラーク」傳	□	□
一四〇七	ウキスタア	リン・マツクリーン	□	(英文)
一四〇八	ブルヂヤア	サア・ホリデイマカアトネイの一生	□	(英文)
一四〇九	□	マリイ・ナトウシユス傳	一八九四	□
			«信州大松本圖»?	
一四一〇	プレーン・フォン・デウキツツ	資財の王 第一卷[:] 外國大財産家	□	□
一四一一	モヅラゴシ ² 譯註	法律研究の爲め泰西に赴きし名僧に關する唐朝時代の記録	一八九四	(佛文)
一四一二	カール	清國慈禧皇太后	一九〇六	(英文)
一四一三	ドグラス	現代の公人 李鴻章	一八九五	□

(ハ) 雜書

い-189-				
一四一四 «京都帝大»*	ハイヒエン譯	ネ ² [ネ ² -ウ]エルン著 海の英雄 第一卷	□	□
			«京都大附圖»	
一四一五(I-II)	ヂヤイルス	支那古今姓氏族譜 第一卷 第二卷	一八九四	(英文)
一四一六(I-II)	□	極東雜誌 第二卷 第三卷	(一九〇三 一九〇六)	□
			«京都大附圖»	

(二) 地理

(イ) 世界地理, 各國地理

一四一七 «參謀本部»	□	マイヤナ[≠ア]小地圖	一九〇〇	□
一四一八 ^{ab} «參謀本部»	□	世界地圖	□	□
一四一九 ^{ab} «陸軍教育總監»	デベス	學校用地圖	一九一二	□
一四二〇 «陸軍教育總監»	シドワ ² ア	學校用地圖	一九一〇	□
一四二一 ^{a-d} «陸軍教育總監»	シユミツト	小學地圖	一九一〇	□
一四二二 ¹⁻³⁷ «陸軍教育總監»	ランゲ	小學校用地圖	□	□
い-190-				
一四二三 «陸軍教育總監»	ウテ ² ア テシドルフ	下士用地圖	□	□
一四二四	□	文官適任下士用地理劃圖例	□	□

「陸軍教育總監」				
一四二五	□	ビルツ家庭全書 第四卷[:]	世界地理	□ □
「陸軍教育總監」				
一四二六	スコーパー	地理精録(一般地理・風俗學・經濟地理) 第二卷		一九一〇 □
「陸軍教育總監」				
一四二七(I-IV)	マギストマツ	高等地理學 第二編		一九一二 □
		第三編		一九一一 □
		第四編[:]	獨逸帝國	□ □
		第五編		一九一一 □
「陸軍教育總監」				
一四二八	ゼトリツヒ	地理學		一九〇八 □
「陸軍教育總監」				
一四二九	ヘルワルド	地球と其の國民		□ □
「陸軍教育總監」				
一四三〇 ^{ab}	キルヒホフ	地理教科書		二九〇八 □ 二八八九
「陸軍教育總監」				
一四三一(I-II)	全	學校用地理教科書 第一編・第二編		一九〇九 □ 一九〇五
「陸軍教育總監」				
				い-191-
一四三二 ¹⁻⁴³	ダニエル	地理學入門		(二九〇二 □
「陸軍教育總監」				
一四三三 ^{a-i}	シユルツエ	自修文庫 地理學		(一九〇四 □ 一九一三
「陸軍教育總監」				「埼玉浦和圖」
一四三四	ホ[ホボ]	エツトヒヤア 文官適任下士用地理學		一九一二 □
「陸軍教育總監」				
一四三五 ¹⁻⁸⁶	ゲルブレヒト	文官適任下士用參考書 地理		(二八九八 □ 二九〇九
「陸軍教育總監」				
一四三六(I-III)	マイヤア	獨逸地名辭典 第一卷[:]	A-K	一九一二 □
		全	第二卷[:]	L-Z
		全	第一補遺	一九一三 □
「參謀本部」				
一四三七	ブルンヒヨウ	獨逸帝國內居住地表 第一編[:]	A-K	□ □
「陸軍教育總監」				
一四三八(I-II)	〃	〃	第一編[:]	A-L
			第二編[:]	M-Z
「陸軍教育總監」				一九一七 □ 一九一七 □
一四三九	〃	獨逸帝國內居住地表		一九一七 □
「陸軍教育總監」				
一四四〇	ノイマン	獨逸帝國地名辭典		一九〇五 □
「陸軍教育總監」				
				い-192-
一四四一	レーム	獨逸巡り		一九一一 □
「陸軍教育總監」				

一四四二	スプリガーデ モイゼル	獨逸殖民地々圖附解説	一九一二	□
《陸軍教育總監》				
一四四三 ^{a-k}	□	獨逸殖民地圖附一九一一年度年鑑	□	□
《陸軍教育總監》				
一四四四	ハイルボルン	獨逸殖民地	□	□
《陸軍教育總監》				
一四四五	ドーヴエ	獨逸殖民地 _{第二} 南洋と膠州	一九一一	□
《陸軍教育總監》				
一四四六(I-IV)	シトランツ	一九〇八年度繪入獨逸殖民地曆	□	□
		一九〇九年度 全	□	□
		一九一一年度 全	□	□
		一九一四年度 全	□	□
《陸軍教育總監》				
一四四七	ロスコシュニイ	歐羅巴の殖民地 西部亞弗利加「ゼネガール」より「カメルン」迄	□	□
《陸軍教育總監》				
一四四八	リツタア	大陸發見	一九〇八	□
《陸軍教育總監》				
一四四九	ゲーテ	イングランド、ウエルス及アイルランド	□	□
《陸軍教育總監》				
い-193-				
一四五〇	クエルベルグ	瑞典とコペンハーゲン(旅行案内)	一九一二	□
《陸軍教育總監》				
一四五一	ブリッタア	亞細亞	□	□
《陸軍教育總監》				
一四五二	ハツクマン	東方世界	□	□
《陸軍教育總監》				
一四五三 ^{ab}	フォスベルグレコウ	一九一二年度亞細亞年鑑	一九一二	□
《陸軍教育總監》				
一四五四	ハーン	日本	一九一一	□
《陸軍教育總監》				
一四五五	アルフレッド・ステツド	吾等が祖國 日本	一九〇四	□
《陸軍教育總監》				
一四四六(I-II)	ジーボルド	日本 第一卷[・]第二卷	一八九七	□
《參謀本部》				
一四五七	佛國領事アムボル	臺灣島	一八九三	(佛文)
《陸軍教育總監》				
一四五八	ジロスツエウスキ	朝鮮	□	□
《陸軍教育總監》				
一四五九	クーク	支那	一八五八	(英文)
《陸軍教育總監》				
一四六〇	□	支那一覽	□	□
《陸軍教育總監》				
一四六一(I-II)	ウキリヤムス	中國總論 第一編[・]第二編	一八九五	(英文)
《陸軍教育總監》				

一四六二	テイセン	支那十八省 第一編[:]	支那一般地理	一九〇二	□
「陸軍教育總監」					
一四六三	カルリ	浙江省		一八九九	(伊文)
「陸軍教育總監」					「埼玉浦和圖」
一四六四	アンリイ[・]アーヴル	安徽省		一八九三	(佛文)
「陸軍教育總監」					「防衛大圖」
一四六五	上海案内所	山東		一八九八	(英文)
「陸軍教育總監」					
一四六六 ^{abc}	□	山東省略解		一九〇〇	□
「陸軍教育總監」					
一四六七	ロエルフアア	山東省地質一覽		一九〇一	□
「陸軍教育總監」					
一四六八	モーツ	獨領山東省地名録		□	□
「陸軍教育總監」					
一四六九 ^{ab}	□	山東鐵道と其沿線地方		一九一二	□
「陸軍教育總監」					
一四七〇	ウキンタア	青島		一九一一	□
「陸軍教育總監」					
一四七一 ^{ab}	ペーヌ [?] ・クリーガア	著青島案内記		二九〇五	(獨英文)
「陸軍教育總監」					
一四七二	ヘツツラア	獨領膠州灣		一八九八	□
「陸軍教育總監」					
一四七三	ボイエド	北京		一九〇六	□
「陸軍教育總監」					

一四七四	ルキ・ガイアール	開港場 南京		一九〇一	(佛文)
「陸軍教育總監」					「埼玉熊谷圖」
一四七五	ゼツカア	申(支那繁華都市招[招紹]介)		一九一三	□
「陸軍教育總監」					
一四七六	ケンネリイ	支那及其屬領の市町開港場表		一九〇八	(英支文)
「陸軍教育總監」					
一四七七	アンリイ・アヴル	揚子江を扼せる崇文島		一八九二	(英佛文)
「陸軍教育總監」					「防衛大圖」
一四七八	リヒヤード・ウキルヘルム	嶗山		一九一三	□
「陸軍教育總監」					
一四七九	藍叔玉筆鈔	嶗山誌		一九一二	(支文)
「陸軍教育總監」					
一四八〇	ミンネキニトシニ	共編 一九一二年度支那年鑑		□	□
「陸軍教育總監」					
E(ニ)・(イ) ^{番外-II}	ドイツセン編	リヒトホーフエンの支那日記 第一卷[・]第二卷		一九〇七	□
「陸軍教育總監」					「防衛大圖」

(ロ) 風俗

一四八一	□	北米合衆國よりの書翰 第二卷		□	□
------	---	----------------	--	---	---

一四八二	フアルケンホルスト	亞弗利加の小獨逸 第一[:]	殺木者	□	□
					い-196-
一四八三	ヒツチエンス	埃及の呪文		一九一一	□
一四八四	ガイルス	支那及支那人		一九〇二	(英文)
一四八五(I ^{ab} -II ^{ab})	フランシス[・]	ダヴキス 支那人 第一卷[・]第二卷		二六三六	(英文)
一四八六 ^{ab}	ドウクラス	支那の社會		一八九五	(英文)
一四八七	ポール	支那事情		一九〇四	(英文)
一四八八	パーカア	支那風俗		一八九九	(英文)
一四八九	ステンツ	南部山東風俗論 [?]		一九〇七	□
一四九〇	ルーントラート	中國より(支那風俗)		□	□
一四九一	ヒルト	支那研究 第一卷		一八九〇	□
一四九二 ^{ab}	ブラント	支那國民研究 〇〇小女と夫人		一九〇〇	□
一四九三	河間府天主堂出版	近世支那民俗學		一九〇九	(佛文)
一四九四	マルテイン	支那南北の生活		一八九七	(英文)
					い-197-
一四九五	マクゴワン	側面より見たる支那生活		一九〇七	□
一四九六	ホフマイスタア	支那に於ける予の經驗		□	□
一四九七	ホシイ	西部支那に於ける三年間		一八九七	(英文)
一四九八	ガンドレイ	支那の過去と現在		一八九五	(英文)
一四九九	コーネビイ	サーチライト下の支那		一九〇一	(英文)
一五〇〇	ジョンストン	北支那に於ける獅子と龍		一九一〇	(英文)
一五〇一	シエラート譯	支那人チエン・キ・トン將軍著支那の社會的描寫		一八九〇	(英文)
一五〇二	□	廣東漫錄 第三		一八三一	(英文)
一五〇三	ロ [?] イグ	東亞社會研究 第四[:]	支那人の死と葬儀	一九〇六	□
一五〇四	北京ラザリスト教會 宣教師フアウキエ	北京の由來と案内		一八九七	(佛文)
一五〇五	エチエンヌ・ヂー	支那の文官試験		一八九四	(佛文)
一五〇六	アンリー・アヴル譯註	西安府に於ける基督教徒の碑		一八九五	(佛文)
					い-198-
一五〇七(I-II)	英國亞細亞協會(上海)	英國亞細亞協會北支那支部雜誌 第十六卷第一部		一八八二	(英文[])
		全 一九一四年 第四五卷			
一五〇八(I-II)	□	東亞畫報 第三卷 自第一號至第四號及 第五號より第八號		一九〇五	□

(ハ) 紀行

一五〇九(I-II)	フレー	獨逸國にて(ライン地方とウエストフアーレン)		□	□
		全 第二編(漢堡よりオストマルケンまで)		□	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
一五一〇	ケムメル	伊太利とシシリイの秋		一九〇〇	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
一五一一	ドミニック デュランデキ	伊國の塵(自動車乗の手帳)		□	(佛文)
《參謀本部》					
一五一二	クライパア譯	アムンドセン著西北水道(北極航行)		一九〇八	□

「参謀本部」				
一五一三	ノキルヒナム ゼニルヒナム	北氷洋スピッツベルゲン横断記	一九一一	□
「参謀本部」				
一五一四	グレッツ	南部亞弗利加自動車横断記	一九一〇	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
				い-199-
一五一五	ケーネル譯	ケルストロエム著南亞弗和[和利]加の十八年 ²²	一八九九	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
一五一六	フレーテン譯	トムソン著東亞弗利加研究旅行[:]マサイ地方跋涉	一八八五	□
「京都帝大」*				
一五七[七一]七(I ^{a-d} -VI)	ロマイヤ ロキスリセマヌ	獨逸海軍及殖民文庫 南船北馬 第一卷	一九〇八	□
		第二卷	〃	II ^{a-1}
		第三卷	〃	III ^{a-f}
		第四卷	〃	IV ^{a-d}
		第五卷	〃	V ^{ab}
		第六卷	一九一一	VI
「京都帝大」*				「京都大附圖」
一五一八	ゴルツ	東方旅行記(アラビヤ地方)	□	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
一五一九	シユロエダア シラランツ	東亞旅行	□	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
一五二〇	マルチン	予が最近の東亞旅行	一九一一	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
一五二一	チーグラア	東洋紀行 第二編	一八五五	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
				い-200-
一五二二	ゲルマンズ	東亞漫遊(北支那・朝鮮・日本)	一九一三	□
「参謀本部」				
一五二三	フォン・ヘツセワルテツク	支那と日本	一八九七	□
「京都帝大」*				
一五二四	ステンツ	一宣教師の支那漫遊	一八九九	□
「京都帝大」*				
一五二五	ザルツマン	若き支那より(革命後の旅行記)	一九一二	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
一五二六	ゴールドマン	支那の一と夏 第二卷	一八九九	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
一五二七	ザルツマン中尉	中央亞細亞鞍上横断記	一九〇三	□
「京都帝大」*				
一五二八	ヘデイン	亞細亞沙漠横断記 第二卷	一八九九	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
一五二九	ハツクマン	支那西藏ビルマ國境地方旅行記	一九〇五	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
一五三〇(I-II)	コルクハウ	黄金國跋涉 第一卷[・]第二卷(南支那境界地方&ビルマ)	一八八三	(英文)
「京都帝大」*				「京都大附圖」

²² 原文では“南”・“亞”兩字間に1字分の空欄が有るが、翻刻に際して削除。

F. 言語学[・]辞典

(一) 言語学

					い-201-
一五三一	ドウンガア	鋭敏なる言語感の助長	一九〇七	□	
		《陸軍教育總監》			
一五三二	アントン・フオ	將來の記憶術に關し[て]	一九一二	□	
		《陸軍教育總監》			
一五三三	イブ・アイン モルガシ	譯註 文理と支那思想の典型	一九一二	(英文)	
		《陸軍教育總監》			
一五三四	ルキ[・]ガイヤール	支那に於ける萬字型と類似物の研究	一八九三	(佛文)	
		《陸軍教育總監》			
一五三五	クル	獨逸姓名解	一九〇九	□	
		《參謀本部》			
一五三六	ル	獨逸個人名表	一九一〇	□	
		《參謀本部》			
一五三七(I-XV)	アロヒント ラシゲント	編 伯林大學東洋語學校報告	第一年[:]	東亞研究	一八九八 I
			第二年	全	一八九九 II
			第三年	全	一九〇〇 III
			第四年	全	一九〇一 IV
			第五年	全	一九〇二 V
			第六年	全	一九〇三 VI
			第七年	全	一九〇四 VII
			第八年	全	一九〇五 VIII
			第九年	全	一九〇六 IX
			第十一年	全	一九〇八 X
			第十二年	全	一九〇九 XI
			第十三年	全	一九一〇 XII
			第十四年	全	一九一一 XIII
			第十五年	全	一九一二 XIV
			第十六年	全	一九一三 XV
		《陸軍教育總監》			
一五三八	グリムマア	拉丁字獨逸入門書	□	□	
		《陸軍教育總監》			
一五三九 ^{a-o}	マイヤア	獨逸語教科書	一九一三	□	
		《陸軍教育總監》			
一五四〇	セヴエンソン	獨逸語會話實用教科書	□	(瑞典語)	
		《陸軍教育總監》			
					い-203-
一五四一	ウキルヘルム	華德進階德文本	一九〇三	□	
		《陸軍教育總監》			
一五四二(I-II ^{a-n})	クラント	德文入門 第二卷 第三卷	一八九九	(獨支)	
			一八九九	(ル)	

「陸軍教育總監」				
一五四三 ^{abc}	李周臣	德字變法入門	一九〇九	□
「陸軍教育總監」				
一五四四	トイフェル	德國話規二集 名變法 上卷	一九〇四	(獨支)
「陸軍教育總監」				
一五四五	ローレルベーン ワォニルフロム	兩教授獨逸文典	一八九三	(佛)
「陸軍教育總監」				
一五四六	カト	正しく話せ(獨逸文法)	□	□
「陸軍教育總監」				
一五四七 ¹⁻³⁴	マイヤア	中學校用獨逸文法書	一九一三	□
「陸軍教育總監」				
一五四八 ^{a-k}	ユーベルア[子]アツカア	自修文庫 獨逸文法附正字法	二九一四	□
「陸軍教育總監」				「埼玉浦和圖」
一五四九 ^(I^{a-k}-II^{a-z})	カニシマイヤ シユルシエ	獨逸語練習書 第一・第二・第三卷 全 第五	一九〇三 (二九〇八)	I ^{a-k} II ^{a-z}
「陸軍教育總監」				
一五五〇	□	一年志願兵試驗準備 ルスチン式通信教授「獨逸語」	□	□
「陸軍教育總監」				
				い-204-
一五五一 ¹⁻⁸⁶	□	獨逸正字法附語彙	(二九〇〇 二九一三)	□
「陸軍教育總監」				
一五五二 ¹⁻⁷⁴	ユーベルアツカア	自修文庫 獨逸作文法	(二九〇三 二九一三)	□
「陸軍教育總監」				
一五五三	プリツゲ	獨逸作文形式法	一九〇八	□
「陸軍教育總監」				
一五五四 ^{ab}	ゲムス マルドフエルド	獨逸文章記號用法	□	□
「陸軍教育總監」				
一五五五	デンカア	序詞集	□	□
「陸軍教育總監」				
一五五六	ブツシユ	自修教科書 演説及式辭	一九一〇	□
「陸軍教育總監」				
一五五七	ツムマツハ	自修文庫 公文書作成法	一九一二	□
「陸軍教育總監」				
一五五八	ユーベルアツカア	自修文庫 書翰文範	一九〇二	□
「陸軍教育總監」				
一五五九	アルテンドルフ	獨逸文範	一九一〇	□
「陸軍教育總監」				
一五六〇 ^{ab}	ラウテンハムマア	ガーベルスベルグ速記法教科書	□	□
「陸軍教育總監」				
一五六一	レツチユ	ガーベルスベルグ式速記術階梯	一八九三	□
「陸軍教育總監」				
一五六二 ¹⁻²⁹	ベックラア	ストルツエ[=]シユライ獨逸速記入門	一九〇三・一八九八 二九〇八	□
「陸軍教育總監」				

一五六三 ^{ab}	□	ストルツエ[=]シユライ式獨逸速記術案内	一九〇九 一九〇四	□
「陸軍教育總監」				
一五六四	ゾンタツハ	獨逸速記術實用教科書(ストルツ[エ=]シユライ)	□	□
「陸軍教育總監」				
一五六五	ゾンターク	ストルツ[エ=]シユライ式速記術實用教科書	□	□
「陸軍教育總監」				
一五六六 ^{abc}	ヘル	獨逸速[記]術教科書(ストルツエ=シユライ)	一九一一	□
「陸軍教育總監」				
一五六七	シユライ	チルラア連山旅行記(速記)	一八九八	□
「陸軍教育總監」				
一五六八	ガングホーフアア	ママメルガウの佛像師(速記術)	□	□
「陸軍教育總監」				
一五六九	スピールマン	小説「カウプのエルスライン」ストルツエ=シユライ速記術	□	□
「陸軍教育總監」				
一五七〇(I-IV)	バトケ	速記術協會雜誌 第十七年 第十八年 第十九年 第二十年	一八九九 一九〇〇 一九〇一 一九〇二	□ □ □ □
「陸軍教育總監」				
一五七一	コプリアン	速記術の友 第二期	一九一三	□
「陸軍教育總監」				
				い-206-
一五七二	シユルツエ	速記術滑稽雜誌 第五年	一八九九	□
「陸軍教育總監」				
一五七三	ウキツトケン	獨逸陸軍速記術雜誌「再役下士」第十三年	一九一一	□
「陸軍教育總監」				
一五七四	□	ルスチン式速記術通信教授 第一信	□	□
「陸軍教育總監」				
一五七五	ウオルタア	自修文庫 速記術	一九一一	□
「陸軍教育總監」				
一五七六 ^{ab}	プレツツ	佛語初歩	一九〇八	□
「陸軍教育總監」				
一五七七	ゲオルグ	佛蘭西語初等文法	一九〇九	□
「陸軍教育總監」				
一五七八	グランツ	ノイフェルド語學指南「佛語」	□	□
「陸軍教育總監」				
一五七九	□	佛語其他自習書	□	□
「陸軍教育總監」				
一五八〇	□	一年志願兵試験準備 ルスチン式通信教授「佛蘭西語」	□	□
「陸軍教育總監」				
一五八一 ¹⁻⁶⁴	ゲルブレヒト	文官適任下士用參考書 佛蘭西語	□	□
「陸軍教育總監」				
一五八二 ^{a-t}	グランツ	ノイフェルド語學指南「英語」	□	□
「陸軍教育總監」				
一五八三 ^{ab}	シユウキイガア	英語教科書	一九一〇	□

《陸軍教育總監》

				い-207-
一五八四	クリューガア トレツァイン	英語教科書	一九〇一	□
《陸軍教育總監》				
一五八五	□	ランゲンシャイト英語通信講義 第一信	□	□
《陸軍教育總監》				
一五八六	ブラシユケ	商業用英語	一九一一	□
《陸軍教育總監》				
一五八七	ポエルマン	英語	一九〇九	□
《陸軍教育總監》				
一五八八	コツホ	實用英語	□	□
《陸軍教育總監》				
一五八九	ザウレ	高等女學校英語讀本 第一卷	一八八五	□
《陸軍教育總監》				
一五九〇		缺番		
《陸軍教育總監》				
一五九一	ヘツサア	支那文法	一九〇九	□
《陸軍教育總監》				
一五九二	ハース	支那文件字句入門	一八八八	(英文)
《陸軍教育總監》				
一五九三 ^{abc}	ザイデル	支那語會話文法	一九〇一	□
《陸軍教育總監》				
一五九四 ^{a-h}	ザイデル	支那語入門	一九〇一	□
《陸軍教育總監》				
一五九五	カムメリヒ	伯林東洋語學校教科書 支那時文入門	一九一二	□
《陸軍教育總監》				

い-208-

一五九六 ^{a-i}	モエルレンドルフ	支那官話實用自修書	一九〇一 一九〇〇	□
《陸軍教育總監》				
一五九七(I-II)	ウエート註	文件自□集(支那文書範例) (支那文) 全 (英文)	一九〇五 〃	□ □
《陸軍教育總監》				
一五九八 ^{abc}	ウキルヘルム	蒙學初歩(支那字書讀法)	一九〇六	(支)
《陸軍教育總監》				
一五九九	バルロツク	支那文語果進練習書	一九〇二	(英)
《陸軍教育總監》				
一六〇〇	ガイルス	語學舉隅	一八七三	(英支)
《陸軍教育總監》				
一六〇一	モール	支那語教科書	一九一四	□
《陸軍教育總監》				

(二) 辭典

一六〇二	ドウテン	獨逸正語辭典	一九一一	□
一六〇三 ^{a-d}	フォーゲル	獨逸語文法正語辭典	一九〇三	□

一六〇四	ユーベルアツカア	自修文庫 正語辭典及外國語辭典	一九〇六	□
				い-209-
一六〇五 ¹⁻²⁹	□	普魯西官房用獨逸正字語彙	一九〇三	□
一六〇六	キーゼウエツタア	ポケット外國語辭典	□	□
		《參謀本部》		
一六〇七	ザツハス	佛獨及獨佛辭典	一八九七	□
		《參謀本部》		
一六〇八	ボ一ホ フライ	共著 獨露辭典	□	□
		《參謀本部》		
一六〇九	パウロウスキ	露獨辭典	一九〇〇	□
		《參謀本部》		
一六一〇(I-II)	ボ一ホ アルゴシィ	西獨・獨西辭典 第一卷[:] 西獨辭典 全 第二卷[:] 獨西辭典	一八八七 □	□ □
一六一一	□	西獨袖珍辭典 第一卷	一八九三	□
一六一二	ランゲ	日獨辭典 第一卷	一九一三	□
		《參謀本部》		
一六一三	ガイルス	支英辭典	一八九二	□
一六一四	ガイルス註	極東研究參考語解	一八八六	(英文)
一六一五	レラフラン クニツルニル	編 支佛辭典	一八九〇	□
				い-210-
一六一六	クーヴルール	編 支那語古典の字引	□	(佛文)
一六一七	スーシル	四千字支英ポケット辭典	一九〇四	□
一六一八 ^{a-j}	ザイデル	北支那口語辭典	一九〇一	□
一六一九(I ^{ab} -III)	南山東カトリック組合	德華字典 第一卷・第二卷・第三卷	二九〇六 二九〇七	I ^{ab} ・II・III
		《參謀本部》		
一六二〇	ウキルヘルム	華德常用簡易辭典	一九〇九	□
一六二一	□	支=英辭書 八〇一頁「ミン」以下	□	□
一六二二	□	支那百科辭書(英佛文譯)	□	□

G. 自然科學

(一) 一般

一六二三	ビルツ	編 家庭教育 博物學	□	□
		《陸軍教育總監》		
一六二四	ベタアン キンベルグ	世界萬物と人類は如何に成立せしか	一九〇六	□
		《陸軍教育總監》		
				い-211-
一六二五	キューン	世界的發明界	□	□
		《陸軍教育總監》		
一六二六(I ^{ab} -II)	ノイマイヤア	科學研究旅行指南 第一卷 第二卷	一八九一 二八八八	□
		《參謀本部》		
一六二七	フリードリヒ	公南部亞弗利加へ(一九〇七-〇八年中央亞弗利加學術研究遠征隊記錄)	一九〇九	□

《陸軍教育總監》

一六二八(I-V) ダンケルマン	獨逸保護領研究旅行報告	第十五卷第二 - 四號	一九〇二	□
		第十六卷第一 - 四部	一九〇三	II
		第十七卷第一 - 四部	一九〇四	III
		第十八卷第一 - 四部	一九〇五	IV
		第十九卷第一 - 四部	一九〇六	V

《陸軍教育總監》

一六二九	□	在ギーセン自然科學及醫學上ヘツセン協會報		
		自然科學部 第三卷(一九〇八 - 〇九)	一九一〇	□

《陸軍教育總監》

《埼玉熊谷圖》

(二) 物理學・化學

一六三〇	クリューガア	物理基本	一八〇〇	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	

い-212-

一六三一	ホイッシ	物理入門	一八九二	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六三二	クリスト	物理學初歩	一八九三	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六三三	ズンプフ	物理初歩	一九〇一	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六三四	ホイシ	物理學教科書	一八九四	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六三五	ボルケ[キ テ]	航海學校用物理入門	一九一二	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六三六	クレーマン	機械光 ^[?] 光工 ^[?] 學家 ^[?] 家科 ^[?] 助手試験用參考書	一九〇九	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六三七	□	純正及應用物理學(寫眞模畫)	一八八七	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六三八	□	寫眞模畫	□	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六三九	フキンケルシタインアルヘニユスの「理論化學」		一九〇九	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六四〇	ツアルト	萬有の基礎 原子と分子	□	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六四一	ロエブ	化學入門	一九〇九	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六四二	オルシード	大自然の工場より	□	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	

い-213-

一六四三	ブーフホルツ	重量分析要領	一九一二	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	
一六四四	アレント	化學礦物學一斑[班班]	一九〇四	□
《 [√] 東北帝大》*			《東北大附圖本館》	

一六四五	グツトマン	射撃及爆破材料	一九〇〇	□
«陸軍教育總監»				
一六四六(I-VII)	ベイヤー 其他	リービヒ化學年報 第三八八卷	一九一一	□
		第三九〇卷	一九一二	□
		第三九一卷	〃	□
		第三九四卷	〃	□
		第三九五卷	一九一三	□
		第三九六卷	〃	□
		第三九九卷	□	□
«√東北帝大»*			«東北大附圖本館»	

(三) 天文・地文

い-214-

一六四七	ダンネマン	吾が世界萬有は如何に成立せしか	□	□
«√東北帝大»*				
一六四八	マイヤア	太陽と星	□	□
«√東北帝大»*				
一六四九	レンツ	潮の満干と海面に及す風の作用	一八七九	□
«√東北帝大»*				
一六五〇	ベルグホルツ	極東の颶風	一九〇〇	□
«√東北帝大»*				
一六五一	フライベ	氣象表使用法	一九〇六	□
«√東北帝大»*				
一六五二	フレイフエヤア	一八九二 - 一九一一年 英支カレンダー	一八九六	□
«√東北帝大»*				
一六五三 ^{ab}	□	青島に於ける氣象觀測報告(自一八九八至一九〇八)	□	□
一六五四	マイヤア	地震と火山	□	□
«√東北帝大»*				
一六五五	ハース	水源學	一八九五	□
«陸軍經理建築»				
一六五六	グルーナア	礦物及地質學一班[班班]	一八九六	□
«√東北帝大»*				
一六五七	リュドルフ	礦物及地質學一班[班班]	一九〇六	□
«√東北帝大»*				
一六五八	ペテルス	礦物及地質學教科書	一九〇五	□
«√東北帝大»*				

い-215-

一六五九	テルツア	地質調査製圖法	一九〇六	□
«√東北帝大»*				
一六六〇	ラニツク	西部山東岩石論	一九〇八	□
一六六一	モンケ	山東省地質論 イエン・チ・ヤイに於ける上部寒布利亞層の甲殻類	一九〇二	□

(四) 動物・植物・礦物

一六六二	エングレーダア	博物學入門 第一編[:] 動物	□	□
«√東北帝大»*				
一六六三	マルチン	博物學 第二卷(動物)	一八八二	□

«[√]東北帝大[※]*
 一六六四 全 博物學附圖 第三編[:] 動物 «東北大附圖本館»
 一八七八 □
 «[√]東北帝大[※]*
 一六六五 ブレーム 動物界 第二卷[:] 鳥類 一八七三 □
 «東北大附圖本館»
 一六六六 ウキルヘルム 自然科學に就いて 鳥類 第一卷 一八三四 □
 «東北大附圖本館»
 一六六七 全 全 魚類 第一卷 一八三四 □
 «東北大附圖本館»
 一六六八 アプシタイン 大洋の動物生活 一九〇五 □
 «東北大附圖本館»

い-216-

一六六九 マーシャル 深海と其の社会[異會] 一八八八 □
 «東北大附圖本館»
 一六七〇 メータアリンク 蜜蜂の生活 一九一一 □
 «東北大附圖本館»
 一六七一 白木技師 臺灣の蟋蟀論 一九一一 □
 «東北大附圖本館»
 一六七二 ホフマン 蝶々の友²³ □ □
 «東北大附圖本館»
 一六七三 バーデ 標本蒐集 □ □
 «東北大附圖本館»
 一六七四 エミル・プラス 東亞の有用動物 一九〇四 □
 «東北大附圖本館»
 一六七五^{abc} 伯林動物園 伯林動物園動物蒐集・保藏包裝法案内 一九〇二 □
 «東北大附圖本館»
 一六七六(I-II) ミングラア 原始植物界 第一編第一部の a. b. 一九〇〇 □
 «東北大附圖本館»
 全 第一編第一部 一九〇六年末迄 一九〇七 □
 «東北大附圖本館»
 «[√]東北帝大[※]*
 一六七七 ピリング 植物形態圖使用説明書 一八九五 □
 «東北大附圖本館»
 一六七八 クルトリプス 自然科學に就て: 植物界 第十卷[:] 觀賞植物と其の栽培法 一八二一 □
 «東北大附圖本館»
 一六七九 ウキルヘルム 自然科學に就て: 植物界 第五卷[:] 果實・香料・油・砂糖 一八一三 □
 «東北大附圖本館»

い-217-

一六八〇 ツアング 松葉の解剖とピヌス族の系統的分類に對する其の應用 一九〇四 □
 «東北大附圖本館»
 一六八一 サアヂアント キュベック・モントリオール附近クラテグス集[落]に對する註記 一九〇一 (英文)
 «[√]東北帝大[※]* «東北大附圖本館»
 一六八二 全 東部加奈陀及ニューイングランドに於て新に認められたるクラテグス族

23 “假番號 □ 發行年代 □ 著譯者氏名 ホフマン 圖書名目 蝶々の名”とす。

	第四及第五		一九〇三 (英文)
« ^V 東北帝大»*			«東北大附圖本館»
一六八三 全	ニューヨーク・ローチエスタアに於けるクラテグス		一九〇三 (英文)
			«東北大附圖本館»
一六八四	ギルグ ロエゼナア編	ネーベル=チムマアマン編	膠州及其附近の植物集 追補
« ^V 東北帝大»*			一九〇四 □
			«東北大附圖本館»
一六八五(I-II)	ブレトシユナイダア	支那の植物 第二編[・]第三編	一八九五 (英文)
«陸軍千住製絨»			
一六八六(I-II) 全		支那に於ける歐人植物發見史 第一・第二	一八九八 (英文)
« ^V 東北帝大»*			«東北大附圖本館»
一六八七(I-II)	ゴントリルズ	自然科学に就て 礦物界 第一卷[・]第二卷	二八三六 □
« ^V 東北帝大»*			«東北大附圖本館»
一六八八	リンネ	岩石學	一九〇一 □
«陸軍教育總監»			
一六八九	グルーナア	礦物學と地質學	一八九六 □
«陸軍教育總監»			
一六九〇	バウアー	礦物・地質・考古學年報 第一編第二卷	一九〇九 □
« ^V 東北帝大»*			

い-218-

(五) 人類學・考古學

一六九一	シユラアダア	印度ゲルマニヤ族	一九一一 □
« ^V 東北帝大»*			«東北大附圖本館»
一六九二	ダイバア	生の過程と終焉	一九〇六 □
« ^V 東北帝大»*			«東北大附圖本館»
一六九三(I-II)	ローレンツ	東亞の地質及考古學 第一卷 第二卷 考古學	一九〇五 □ 一九〇六 □
一六九四		缺番	

い-219-

H. 醫學

一六九五	タイヒマン	生と死	□ □
«陸軍醫校»			
一六九六	デツカア	勝ち誇りたる細胞國	□ □
«陸軍醫校»			
一六九七 ^{ab}	アーベル	細菌學提要	一九〇一 □
«陸軍醫校»			
一六九八		缺番	
«陸軍醫校»			
一六九九	クーネ	新治療學	一九〇二 □
«陸軍醫校»			
一七〇〇	ワイル	衛生學提要	一九〇一 □
«陸軍醫校»			
一七〇一	全	コエルン市の衛生	一九〇六 □
«陸軍醫校»			
一七〇二	全	コエベンハーヴン市の衛生	一九〇七 □

「陸軍醫校」					
一七〇三	コリン	先天的色盲診断	一九〇六	□	
「陸軍醫校」					
一七〇四 ^{a-1}	スネーガルト オロフ	色盲診断法	一九一二	□	
「陸軍醫校」					
					い-220-
一七〇五	□	溺死假死に於ける人工呼吸法	□	□	
「陸軍醫校」					
一七〇六	ライス	膽石・腎臓結石・膀胱結石・自然療法	一九〇三	□	
「陸軍醫校」					
一七〇七	ラボウ	臨床家用薬劑處方	一九〇一	□	
「陸軍醫校」					
一七〇八	シユナイダア シヨニダラ 共著	埃太利製薬法註解 第三卷	一八九三	□	
「陸軍醫校」					
一七〇九	スチユアート改訂	ポーター・スミス著支那の薬劑 植物界	一九一一	□	
「陸軍醫校」					
一七一〇	ブライテンシタイン譯	支那の法醫學	一九〇八	□	
「陸軍醫務醫事」・「陸軍醫校」 ²⁴					
一七一一(I-II)	アーベル キユンダア	伯林ダーレム王室 用水衛生試験所報告 第一七號[・]第一八號二九二 ^三		□	
「陸軍醫校」					
一七一二		缺番			
「陸軍醫校」					
一七一三	□	衛生雜誌「健康」第三七年	一九一二	□	
「陸軍醫校」					
一七一四(I-XIX)	メンゼ	船舶及熱帯衛生雜誌 第一七卷第一號	一九一三	I	
		第二號	〃	II	
		第三號	〃	III	
					い-221-
		船舶及熱帯衛生雜誌 第四號	一九一三	IV	
		第六號	〃	V	
		第七號	〃	VI	
		第八號	〃	VII	
		第九號	〃	VIII	
		第一一號	〃	IX	
		第一二號	〃	X	
		第一三號	〃	XI	
		第一四號	〃	XII	
		第一五號	〃	XIII	
		第一六號	〃	XIV	
					い-222-
		第一七號	〃	XV	
		第二〇號	〃	XVI	
		第二一號	〃	XVII	

²⁴ 重出.

《陸軍醫校》				
一七一五(I-II) □	在ギーセン理學[・]醫學上ヘツセン協會報 醫學部 第四卷[・]第五卷	二九〇八 二九〇九	□	
《陸軍醫校》				
一七一六 ^{ab} 上海市會	一八九九年度醫務局年報	一九〇〇	(英文)	
《陸軍醫務醫事》				
一七一七 支那稅務署	衛生報告(一八九八年前半期)	一八九九	(英文)	
《陸軍醫校》				
一七一八(I ^{ab} -II ^{abc}) 全	全 (一八九九年前半期)[・](一八九九年後半期)	二九〇〇	(〃)	
《陸軍醫校》				
一七一九(I ^{ab} -II) 全	全 (一九〇〇年前半期)[・](一九〇〇年後半期)	二九〇三	(〃)	
《陸軍醫校》				
一七二〇 ^{ab} 全	衛生報告(一九〇一年前半期)	一九〇三	(〃)	
《陸軍醫校》				
一七二一 ^{ab} 全	全 (一九〇二年前半期)	〃	(〃)	
《陸軍醫校》				
				い-223-
一七二二 ^{ab} 全	全 (一九〇三年後半期)	一九〇四	(英文)	
《陸軍醫校》				
一七二三 ^{ab} 全	全 (一九〇四年後半期)	一九〇五	(〃)	
《陸軍醫校》				
一七二四 ^{ab} 全	全 (一九〇四 - 一九一〇年度)	一九一一	(〃)	
《陸軍醫務醫事》・《陸軍醫校》 ²⁵				

J. 工藝

(一) 一般

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
一七二五(I-VII)	リユーガア	工藝辭典 自第一卷至第七卷	□	□
《陸軍經理建築》				
一七二六(I[・]) 全		工藝百科辭典 第一卷	□	□
《陸軍經理建築》				
一七二七(I ^{al} -Id-II ^{abc})	伯林大學「ヒユツ」協會	工業家提要 第一卷[・]第二卷	一九〇二	□
《陸軍經理建築》				
一七二八 ^{al} -Id 全		工藝家提要 附錄	一九〇二	□
《陸軍經理建築》				《九州大中國》 ²
				い-224-
一七二九 ジヨリイ		一八九八年度 工業年鑑	□	□
《陸軍千住製絨》				
一七三〇 ^{a-d} 全		一九〇三年度 全上	□	□
《陸軍千住製絨》				
一七三一(I-XVI)	グラーサ[・]ア	工業年報 第五〇卷・第五一卷	一九〇二	I・II

²⁵ 重出.

	全	第五二卷・第五三卷	一九〇三	III・IV
	全	第五四卷・第五五卷	一九〇四	V・VI
	全	第五六卷・第五七卷	一九〇五	VII・VIII
	全	第五八卷・第五九卷	一九〇六	IX・X
	全	第六〇卷・第六一卷	一九〇七	XI・XII
	全	第六二卷・第六三卷	一九〇八	XIII・XIV
	全	第六四卷・第六五卷	一九〇九	XV・XVI
《陸軍經理建築》・《陸軍千住製絨》 ²⁶				
一七三二	□	獨逸工業協會雜誌目錄 一八九四 - 一九〇三年	一九〇四	□
《陸軍千住製絨》				
一七三三(I-VIII)	ペテルス主幹	獨逸工業協會雜誌 第四六卷第一號[・]第二號	一九〇二	I・II
《陸軍經理建築》・《陸軍千住製絨》 ²⁷				
い-225-				
一七三三(I-VIII)	ペテルス主幹	獨逸工業協會雜誌 第四七卷第一號[・]第二號	一九〇三	III・IV
		第四八卷第一號[・]第二號	一九〇四	V・VI
		第四九卷第一號[・]第二號	一九〇五	VII・VIII
一七三四(I-X)	ホツプ主幹	奧太利工業協會雜誌 第五五年	一九〇三	I
		第五六年	一九〇四	II
		第五七年	一九〇五	III
		第五八年	一九〇六	IV
		第五九年	一九〇七	V
		第六〇年	一九〇八	VI
		第六一年	一九〇九	VII
		第六二年	一九一〇	VIII
		第六三年	一九一一	IX
い-226-				
		第六四年	一九一二	X
《陸軍經理建築》・《陸軍千住製絨》 ²⁸				
一七三五(I-VII)	ハンノーバア建築 機械工業家組合	建築及機械工業雜誌 一九〇二年度	一九〇二	I
		一九〇三年度	一九〇三	II
		一九〇四年度	一九〇四	III
		一九〇九年度	一九〇九	IV
		一九一〇年度	一九一〇	V
		一九一一年度	一九一一	VI
		一九一二年度	一九一二	VII
《陸軍經理建築》				
一七三六	□	殖民地經濟委員會殖民地工業部會報	一九一〇	□
《陸軍經理建築》				
一七三七	□	賃金對數表	一八九九	□
《陸軍被服本廠》				
一七三八	ヨルダン	計速[速測 ¹]器對數表	一八九九	□
《陸軍教育總監》				
一七三九	□	一八九四年獨逸工業協會第三五回總會記事	□	□

²⁶ 重出.

²⁷ 重出.

²⁸ 重出.

(二) 電氣

番 號	著 譯 者 名	書 名	発行年代	註
一七四〇	フオエルスタア	ダイナモと蓄電槽 第一卷	一九〇〇	□
《陸軍技術本部》				
一七四一	全	電燈と電氣装置 第二卷	一九〇一	□
《陸軍經理建築》				
一七四二	ミルラア	都市に於ける電燈の説設備 第一・二部	一八九六	□
《陸軍經理建築》				
一七四三	パツソウ	公私經營電燈[・]瓦斯燈並に電車事業	一九一二	□
《陸軍經理建築》				
一七四四	ガイスベルグ	電燈装置要領	一九〇二	□
《陸軍經理建築》				
一七四五	全	電燈及電力装置の建設と維持	一九〇〇	□
《陸軍經理建築》				
一七四六	ミツノス及ゲネスト	會社 私設電信・電話及避雷針案内	一九一四	□
《陸軍工兵校》				
一七四七	□	電信建設令	□	□
《陸軍工兵校》				
一七四八 ^{a-d}	獨逸電氣工業協會	電氣機械及變壓器に関する諸規則	一九〇二	□
《陸軍技術本部》				

一七四八 ^{番外}	全	高壓電氣装置安全規則	一八九八	□
《陸軍技術本部》				
一七四九	全	高壓電流装置安全規則	一八九八	□
《陸軍技術本部》				
一七五〇 ^{a-d}	全	高壓電流装置建設規定 一: 低壓装置	一九〇三	□
《陸軍技術本部》				
一七五一	ウエーバア	高壓電流装置建設安全規定解説	一九〇四	□
《陸軍技術本部》				
一七五二(I-III)	□	電氣工業雜誌 第二四年度	一九〇三	□
		全 第二五年	一九〇四	□
		全 第二六年	一九〇五	□
《陸軍技術本部》				

(三) 機械・造船

一七五三(I-II)	ケツク	機械學講義 第一編[:] 硬體自力學	一九〇〇	□
		第二編[:] 一般機械學	一八九八	□
《陸軍技術本部》				
一七五四(I-III)	フオエツプル	機械學講義 第一卷[:] 機械學一般	一九〇〇	□
《陸軍技術本部》				
一七五四(I-III)	フオエツプル	機械學講義 第三卷[:] 固定論	一九〇〇	□

	第四卷[:] 力學	一九〇一	□
«陸軍技術本部»			
一七五五	メールテイス 機械學(熱力機械學)	一八八七	□
«陸軍技術本部»			
一七五六(I-II)	バツハ 機械要素(計算構造) <small>第一卷圖表 第二卷圖表</small>	一九〇三	□
«陸軍技術本部»			
一七五七	フアータア 吾が熱力機械の進歩	□	□
«陸軍技術本部»			
一七五八	全 最新熱力機關(瓦斯エンジン)	□	□
«陸軍技術本部»			
一七五九	フリユルム 蒸氣機關	□	□
«陸軍經理建築»			
一七六〇	バスレイ 船用機關 第一卷[・]第三卷[・]第三卷附圖	二八八五	□
«陸軍工兵校»			
一七六一	シユールマン 灣港埠頭に於ける大量回轉起立機	一九〇四	□
«陸軍經理建築»			
一七六二	ノイマン 風モートル	一八八一	□
一七六三 ^{a-e}	ザ ² ストホツフ 機械建築に関する經費計算法	一九〇三・一九〇九 一八九七	□
一七六四	□ クルツプ會社鑄鋼鐵管鑑査假規定	一八八三	□
			い-230-
一七六五	□ デユツセルドルフ機械製造株式會社カタログ	□	□
«陸軍經理建築»			
一七六六	ミノフルツン ヲニ六ルン 獨逸造船工業	□	□
«陸軍經理建築»			
一七六七	カンニンガム 造船工業の法則と實施	一九〇四	□
«陸軍經理建築»			
一七六八	フオリヒイハイマア浮船渠計算	一八九二	□
«陸軍經理建築»			
	(四) 採礦・冶金		
一七六九	ゲルケ其他 工業界より(石炭・鐵・造船工業)	□	□
«陸軍經理建築»			
一七七〇	ハールマン 北佛蘭炭坑地方の運河港に於ける石炭の積載	一八九三	□
«陸軍經理建築»			
一七七一	メールチンス 歴史的冶金工藝的關係より見たる鐵及鐵材構造	一八八七	□
«陸軍經理建築»			
一七七二	ブルバツハ製鐵所 ルクセンブルグ及ザールブリユツク製鐵會社鐵材斷面圖表	一八九七	□
«陸軍經理建築»			
一七七三	リード 支那礦山事情	□	□
«陸軍經理建築»			
			い-231-
一七七四	グロツスアン 支那鑛業研究の爲に	一九一三	□
«陸軍經理建築»			
一七七五	モース 支那の冶金	一九〇九	□

«陸軍經理建築»

(五) 土木

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
一七七六(I-II)	シヨエナアマルク ヌメユニバア	地上建築辭典 前篇[・]後篇	□	□
一七七六(I ^{ab} -VIII)	獨逸建築雜誌社	建築學 第一卷第一部[:] 第二部 第二卷第一部 第二部 第三部 第四部 第五部 第六部	一九〇三 二六九五 一八九六 一九〇五 一八九七 一八九九 一九〇〇 // 一九〇二 一九〇四	I ^{ab} II ^{abc} III ^{ab} IV V ^{ab} VI い-232- VII ^{ab} VIII
一七七八	エツセンワイン ^{其他}	建築術提要 第一編[:] 一般地上建築學 第一卷第一節[:]	序論及建築材料 一八八〇	□
一七七九	ランツベルグ	全 第一編[:] 全 第一卷第二節[:]	地上建築構造の靜力學	一八九九 □
一七八〇	ビューレマン	全 第一編[:] 全 第二卷[:]	建築形態論	一九〇一 □
一七八一	ボルマン	全 第一編[:] 全 第四卷[:]	建築製陶術	一八九七 □
一七八二	コツホ	建築術提要 第一編[:] 一般地上建築學 第五卷[:]	建築指導	一九〇一 □
一七八三	ドウルム	全 第二編[:] 建築様式 第一卷[:]	希臘の建築	一八九二 □
一七八四	ホルチンガア	全 第二編第三卷第一部[:]	古基[督]教式及ビザンチオン式	一八九九 □
一七八五	フランツパーシャ	全 第二編第三卷第二部[:]	イスラムの建築術	一八九六 □
一七八六	エツセンワイン	全 第二編第四卷[:]	ローマン式及ゴシック建築術 第二節[:] 住宅	一八九二 □
一七八七	ハサク	全 第二編第四卷第三節[:]	教會建築	一九〇二 □
一七七[七八]八	ハサク	建築術提要 第二編第四卷第四節[:]	教會建築各部分	一九〇三 □
一七七[七八]九	ドウルム	全 第二編第五卷[:]	伊太利レネサンス建築術	一九〇三 □
一七九〇	ガイミユルラ	全 第二編第六卷[:]	佛國レネサンス 第一節[:] 建築様式の變遷	一八九八 □
一七九一	全	全 第二編第六卷第二節[:]	構造的美術様式 教會建築	一九〇一 □

「陸軍經理建築」	一七九二	ベツオールド	全	第二編第七卷[:]	獨逸のレネサンス	一九〇〇	□	
「陸軍經理建築」	一七九三	マルクス其他	全	第三編[:]	地上建築構造 第一卷[:]	石材・鐵材・木材の構造要素其他	一八九一 □	
「陸軍經理建築」	一七九四 ^{ab}	全	全	第三編第二卷[:]	境界構造 第一部[部節?:]	壁及窗	二九〇〇 □	
「陸軍經理建築」	一七九五 ^{ab}	ホ [?] ウルベツク其他	全	第三編第二卷第二節[:]	廊下及露臺其他	一八九九	□	
「陸軍經理建築」	一七九六 ^{ab}	バルクハウフセン其他	全	第三編第二卷第三節[:]	梁蓋其他	二九〇二	□	
「陸軍經理建築」	一七九七 ^{ab}	シユミット其他	全	第三編第二卷第四節[:]	屋蓋及屋根[・]支柱	二九〇三	□	
「陸軍經理建築」	一七九八	コツホ其他	全	第三編第二卷第五節[:]	屋根其他	一八九九	□	
「陸軍經理建築」	一七九九 ^{ab}	シユミット其他	全	第三編第三卷第一節[:]	窗戶其他	二九〇一	□	
「陸軍經理建築」	一八〇〇 ^{ab}	シユミット其他	全	第三編[:]	地上建築構造 第三卷第二節[:]	建物内交通裝置 階段[・]エレベータ其他	二九〇二 □	
「陸軍經理建築」	一八〇一	コツホ	全	第三編第三卷第三節[:]	壁[・]天井	一九〇三	□	
「陸軍經理建築」	一八〇二 ^{ab}	シユミット其他	全	第三編第四卷[:]	證明・換氣・保溫・排水裝置	一八九〇	□	
「陸軍經理建築」	一八〇三			缺番				
「陸軍經理建築」	一八〇四	フォーゲン	全	第三編第五卷第一節[:]	臺所裝置	一九〇七	□	
「陸軍經理建築」	一八〇五	マルクス	全	第三編第五卷[:]	炊事・洗濯・浴場其他	一八九二	□	
「陸軍經理建築」	一八〇六	全	全	第三編第六卷[:]	防水・防火設備其他	一八九一	□	
「陸軍經理建築」	一八〇七	ワイスバツハ	全	第四編[:]	建物設計裝置設備 第一節[:]	住宅 第二卷[:]	住宅商業交通用建物	一九〇二 □
「陸軍經理建築」	一八〇八	ツアール其他	全	第四編第二卷第二節[:]	事務所其他	一九〇二	□	
「陸軍經理建築」	一八〇九 ^{ab}	ノイマン	全	第四編第二卷第三節[:]	郵便電信勤務用建物	□	□	
「陸軍經理建築」	一八一〇	シユーベルト其他	全	第四編第三卷[:]	農事家屋 第一節[:]	厩舎其他	一九〇一 □	
「陸軍經理建築」	一八一 ^{ab}	オストホフ其他	全	第四編第三卷第二節[:]	市場	一八九一	□	

い-234-

一八一二	ワグナア	全	第四編第四卷第一節	一九〇四	□
《陸軍經理建築》					
一八一三	リーブライン	其他全	第四編第四卷第二節	一九〇四	□
《陸軍經理建築》					
一八一四 ^{ab}	クーン	全	第四編第五卷[:] 療養院 第一節[:] 病院	一九〇三 二九〇七	□
《陸軍經理建築》					
一八一五 ^{ab}	フオイグス フシダ	其他全	第四編第五卷第二節[:] 各種療養院	一九〇三 二九〇二	□
《陸軍經理建築》					
一八一六	ゲンツアア	全	第四編第五卷第三節[:] 浴場	一八九九	□
《陸軍經理建築》					
一八一七	全	全	第四編第五卷第四節[:] 洗濯所	一九〇〇	□
《陸軍經理建築》					
一八一八 ^{ab}	ベーンケ	其他全	第四編[:] 建物設計装置設備 第六卷[:] 學校[・]博物館 第一節[:] 學校	二九〇三 二九〇三	□
《陸軍經理建築》					
一八一九	エツガアト	其他全	第四編第六卷第二節 a	一九〇五	□
《陸軍經理建築》					
一八二〇	クニリフ マヒ	其他全	第四編第六卷第二節 b	一九〇五	□
《陸軍經理建築》					
一八二一	シュミット	其他全	第四編第六卷第三節[:] 畫室	一九〇一	□
《陸軍經理建築》					
一八二二	グ [?] ルンチエク	其他全	第四編第七卷[:] 官衙建物	一八八七	□
《陸軍經理建築》					
一八二三	ワグナア	其他全	第四編第七卷第二節[:] 議院	一九〇〇	□
《陸軍經理建築》					

一八二四	グルリット	全	第四編第八卷[:] 教會・紀念碑・齋場 第一節[:] 教會	一九〇六	□
《陸軍經理建築》					
一八二五	ストユツベン	全	第四編第九卷[:] 都市建設	一八九〇	□
《陸軍經理建築》					
一八二六	ラムベルト	其他全	第四編第十卷[:] 庭園建築術	一八九八	□
《陸軍經理建築》					
一八二七	ベンケ	建築術の進歩 第一[:] 學校瓦斯暖爐		一八九四	□
《陸軍經理建築》					
一八二八	シエミット	全	第二[:] 硝子屋根と屋蓋窗	一八九四	□
《陸軍經理建築》					
一八二九	フキツシャア	全	第五[:] 劇場其他の集合所の暖爐通氣照明	一八九四	□
《陸軍經理建築》					
一八三〇	ゴユツケ	全	第六[:] 建築術社會的任務 (一)社會保安の公共的建築	一八九五	□
《陸軍經理建築》					
一八三一	ヒントレーゼー	全	第八號 (一)瑞典話[語?]丁抹及フィンランドの小學校建物	一八九五	□
《陸軍經理建築》					
一八三二	ゲルハルド	全	第十[:] 米國建築物の排水装置	一八九七	□
《陸軍經理建築》					

一八三三	ウオルフ	全 第十一[:]	フランクフルトアムマイン市の公共浴場	一八九七	□
«陸軍經理建築»					
一八三四(I-IV)	ワルト	全	ブライマン建築構造學 第一[:]	一八九六	I
			全 第二[:]	一九〇〇	II
					い-237-
	コエニガア	全	ブラン[≡イ]ア[≡マ]ン建築學構造學 第三[:]	一八九〇	III
«陸軍經理建築»					
一八三四(I-IV)	シヨルツ	全	第四[:]	一九〇〇	IV
«陸軍經理建築»					
一八三五(I-XIII)	クラゼン	各種建築基準範例	第一部[:]	一八八四	I
			第二部[:]	〃	II
			第三部[:]	〃	III
			第四部[:]	〃	IV
			第六部	〃	V
			第七部	一八八九	VI
			第八部	〃	VII
			第九部	〃	VIII
			第十部	一八八七	IX
			第十一部	一八八九	X
					い-238-
			第十二部	一八九〇	XI
			第十四部	□	XII
			第十五部	一八九六	XIII
«陸軍經理建築»					
一八三六	オストホフ	小中都市の屠獸場		□	□
«陸軍經理建築»					
一八三七	バルツアア	日本ノ家屋		□	□
«陸軍經理建築»					
一八三八	オツパアマン	建築作業の一般的條件		一八九六	□
«陸軍經理建築»					
一八三九	ジーベルト	建築術ニ於ける規則及原則		一九〇三	□
«陸軍經理建築»					
一八四〇	クリユーガア	工事指導と建設法(建築警察法)		一八八七	□
«陸軍經理建築»					
一八四一	シユルガア	建築及ヒ防火警察 第一編[:]	地方建築令	□	□
«陸軍經理建築»					
一八四二	エングラード	バイエルン建築令		一九一三	□
«陸軍經理建築»					
一八四三	伯林建築組合	伯林建築地方慣例		一九〇二	□
«陸軍經理建築»					
一八四四	ベンクウキツク	地上建築の見積		一九〇〇	□
«陸軍經理建築»					
					い-239-
一八四五 ^{a-d}	シユワトロ	地上建築經費計算法		一九〇一 一九〇二	□
				一九〇五	

「陸軍經理建築」				
一八四六	シャロウスキー	鐵骨構造範例	一八九五	□
「陸軍經理建築」				
一八四七	フオエルスタア	地上建築鐵骨構造 補遺編	一九〇三	□
「陸軍經理建築」				
一八四八	ラーベス	地上建築に對する圓筒支柱横断面規定係數表	一八九三	□
「陸軍經理建築」				
一八四九	ヒルシュ	建築組立編初歩 第四編ノ一	一九〇九	□
「陸軍經理建築」				
一八五〇	バツハ	彈力と固定	一九〇二	□
「陸軍東京砲工廠」				
一八五一	ポストウヴンシツツ	穹窿支柱彈力性 楕圓の計算法則と利用	一九一〇	□
「陸軍經理建築」				
一八五二	シャヘンマイヤア	複層彈性穹窿	一九一〇	□
「陸軍經理建築」				
一八五三	ピーチエ	工場煙突(計算と設計)	一八九六	□
「陸軍經理建築」				
一八五四	ファール	築上及鐵煙突竝に屋蓋構造設計及定着度計算法	一九〇四	□
「陸軍經理建築」				
一八五五	□	ポーマン式球莖狀鐵蓋屋	□	□
「陸軍經理建築」				
一八五六	ビユツシヤア及ホフマン會社	防水建築材料 第一編[:] 屋蓋	一八九九	□
「陸軍經理建築」				
一八五七(I-II)	リ ² ーチエル	換氣及暖房裝置計算及設計法 第一編	一九〇二	□
		第二編[:] 表及圖表	一九〇二	□
「陸軍經理建築」				
一八五八	伯林建築家組合	宗教改革より現代に至る新教々會建築	一八九三	□
「陸軍經理建築」				
一八五九	ゴムメル	祭壇・演壇・教會用椅子形式圖案(32葉)	□	□
「陸軍經理建築」				
一八六〇	ベルツィン シルツィン	花園と花環 第一卷[:] 基標・基場裝飾	一九一一	□
「陸軍經理建築」				
一八六一(I-III)	リニド	ロマン式[・]ゴシック式[・]ルネツサンス式教會□□設備圖案 第一輯(□葉)□	□	□
		第二輯(八葉)□	□	□
		第三輯(八葉)□	□	□
「陸軍經理建築」				
一八六二	フェルデツク	近世寺院裝飾	□	□
「陸軍經理建築」				
一八六三	ロスムート□	室内裝飾術	□	□
「陸軍經理建築」				
一八六四(I ^{ab} -II ^{ab})	伯林建築協會	伯林と其營造物 第一[:] 土木 第二・第三[:] 地上建築	一八九六	□
「陸軍經理建築」				
一八六五	ゴットロープ	北獨逸煉瓦ゴシック式形態論	一九〇〇	□
「陸軍經理建築」				

い-240-

一八六六(I-II) モールマン	ゴシック建築構造法 第一卷・第二卷	一八九〇 二八九二	□	
「陸軍經理建築」				
				い-241-
一八六七(I-II) シーフアア	中世紀建築圖集 第二卷・第三卷	二八八六 二八九五	□	
「陸軍經理建築」				
一八六八 □	城堡建築圖集	□	□	
「陸軍工兵校」				
一八六九(I-X) エプハルト	獨逸城砦 自第一輯至第十輯	自一八九九 至一九〇七	□	
「陸軍工兵校」				
一八七〇(I ^{ab} -II ^{ab}) パウルス	ウエルテンベルグ王國の古代藝術記念物 第一卷・第二卷	二八八九・一八九七 二八九三	□	
「陸軍經理建築」				
一八七一(I-II) ラムベルト 其他 一六 - 一八世紀獨逸建築の基幹		一八九〇	□	
	第一部[:] 前期及後期ルネツサンス(一五〇〇年 - 一六五〇年)			
	第二部[:] バロツク及ロココ式(一六五〇年 - 一八〇〇年)	一八九三	□	
「陸軍經理建築」				
一八七二 <small>ツラツト</small>	木匠術 第一卷[:] 本文	一八九九	□	
「陸軍經理建築」				
一八七三 カウフマン	リノリユム使用取扱法	一九〇二	□	
「陸軍經理建築」				
一八七四 □	建築術及美術工藝に關する圖□目錄	□	□	
「陸軍經理建築」				
一八七五 □	漢堡埠頭倉庫第四五號建築圖	□	□	
「陸軍經理建築」				
一八七六 □	漢堡埠頭倉庫附屬物圖	□	□	
「陸軍經理建築」				
一八七七 工務省	建築時報内容目錄 一八五一 - 一九〇〇	一九〇四	□	
「陸軍經理建築」				
				い-242-
一八七八(I-XXII) 全	建築時報 第四一年	一八九一	I	
	第四二年	一八九二	II	
	第四三年	一八九三	III	
	第四四年	一八九四	IV	
	第四五年	一八九五	V	
	第四六年	一八九六	VI	
	第四七年	一八九七	VII	
	第四八年	一八九八	VIII	
	第四九年	一八九九	IX	
	第五〇年	一九〇〇	X	
	第五一年	一九〇一	XI	
	第五二年	一九〇二	XII	
「陸軍經理建築」				
				い-243-
一八七八(I-XXII) 工務省	建築時報 第五三年	一九〇三	XIII	
	第五四年	一九〇四	XIV	
	第五五年	一九〇五	XV	

		第五六年	一九〇六	XVI
		第五七年	一九〇七	XVII
		第五八年	一九〇八	XVIII
		第五九年	一九〇九	XIX
		第六〇年	一九一〇	XX
		第六一年	一九一一	XXI
		第六二年	一九一二	XXII
«陸軍經理建築»				
一八七九(I-XXII) 工務省	建築時報 附圖	第四一年	一八九一	I
		第四二年	一八九二	II
				い-244-
		第四三年	一八九三	III
		第四四年	一八九四	IV
		第四五年	一八九五	V
		第四六年	一八九六	VI
		第四七年	一八九七	VII
		第四八年	一八九八	VIII
		第四九年	一八九九	IX
		第五〇年	一九〇〇	X
		第五一年	一九〇一	XI
		第五二年	一九〇二	XII ^{ab} (b ^a 第一號ヨリ 第三號マデ)
		第五三年	一九〇三	XIII
		第五四年	一九〇四	XIV
«陸軍經理建築»				
				い-245-
一八七九(I-XXII) 工務省	建築時報 附圖	第五五年	一九〇五	XV
		第五六年	一九〇六	XVI
		第五七年	一九〇七	XVII
		第五八年	一九〇八	XVIII
		第五九年	一九〇九	XIX
		第六〇年	一九一〇	XX
		第六一年	一九一一	XXI
		第六二年	一九一二	XXII
«陸軍經理建築»				
一八八〇(I-XXII) 工務省	建築管理中央公報	第一一年	一八九一	I
		第一二年	一八九二	II
		第一三年	一八九三	III
		第一四年	一八九四	IV
				い-246-
		第一五年	一八九五	V
		第一六年	一八九六	VI
		第一七年	一八九七	VII
		第一八年	一八九八	VIII
		第一九年	一八九九	IX
		第二〇年	一九〇〇	X ^{ab}
		第二一年	一九〇一	XI ^{ab}
		第二二年	一九〇二	XII
		第二三年	一九〇三	XIII

		第二四年	一九〇四	XIV
		第二五年	一九〇五	XV
		第二六年	一九〇六	XVI
「陸軍經理建築」				
				い-247-
一八八〇(I-XXII) 工務省	建築管理中央公報	第二八年	一九〇八	XVII
		第二九年	一九〇九	XVIII
		第三〇年	一九一〇	XIX
		第三一年	一九一一	XX
		第三二年	一九一二	XXI
「陸軍經理建築」				
一八八一(I-IV)	ハンノウア 建築工業協會	一九〇五年度 建築工業雜誌	□	□
		一九〇六年度 全	□	□
		一九〇七年度 全	□	□
		一九〇八年度 全	□	IV
「陸軍經理建築」				
一八八二(I-IV)	□ 獨逸建築雜誌	一九〇二年度 一九〇三年度 一九〇五年度 一九一一年度	□	□
「陸軍經理建築」				
一八八三(I-VII)	ライツロニア ライツロニア主幹	建築 Rundschau(簡報) 第一年	一八八五	I
				い-248-
		第三年	一八八七	II
		第四年	一八八八	III
		第六年	一八九〇	IV
		第七年	一八九一	V
		第八年	一八九二	VI
		第十年	一八九四	VII
「陸軍經理建築」				
一八八四	□	土木建築雜誌 第五二年	一九〇二	□
「陸軍經理建築」				
一八八五(I ^{ab} -IV)	獨逸土木建築 雜誌主幹	獨逸土木建築曆 一九〇六年度	□	I ^{a-b}
		一九〇七年度	□	II
		一九一一年度	□	III
		一九一二年度	□	IV
「陸軍經理建築」				
一八八六	□	一九〇四年度南獨土木建築家曆 第二編	□	□
「陸軍經理建築」				
				い-249-
一八八七	トルクミット	土木工事監督並に指導	一八九九	□
「陸軍經理建築」				
一八八八	シユルツ	普魯西王國土木管理勤務	一八九七	□
「陸軍經理建築」				
一八八九 ^{a-d}	ブレンケツケ	土工事	一九〇七 一八九七	□
「陸軍工兵校」				
一八九〇 ^{abc}	全	土工事 補遺	一八九五	□
「陸軍工兵校」				

一八九一	コンツェクト	實用土工事	一八七四	□
《陸軍工兵校》				
一八九二	ヘンレ ^[4] ツ	土工事指針圖表	一八九六	□
《陸軍工兵校》				
一八九三		缺番		
一八九四	ライゼ	瑞西の土工建築物	一八八七	□
《陸軍經理建築》				
一八九五 ^{abc}	オバアシユルテ マイヤア ヲエーゲル	工業綱要 第一編第一卷[:]	二八九八 二九〇四	□
《陸軍經理建築》				
一八九六 ^{abc}	マツケンゼン ^{其他}	全 第一編第三卷[:]	一八八七	□
《陸軍經理建築》				
一八九七	ライスレ	全 第一編第四卷前半[:]	一九〇三	□
《陸軍經理建築》				
一八九八	全	全 全 後半[:]	一九〇三	□
《陸軍經理建築》				

い-250-

一八九九	マツケンゼン	全 第一篇第五卷[:]	一九〇二	□
《陸軍經理建築》				
一九〇〇	マイヤー	全 第一編補遺[:]	一八九六	□
《陸軍經理建築》				
一九〇一	フレンケル	全 第二編第三卷[:]	一八八八	□
《陸軍經理建築》				
一九〇二	メレンツァア	全 第二編第四卷[:]	一八八八	□
《陸軍經理建築》				
一九〇三	ヒンリツタツング	全 第二編第五卷[:]	一八八九	□
《陸軍經理建築》				
一九〇四	ゲルハルト ^{其他}	全 第三編第一卷前半[:]	一八九二	□
《陸軍經理建築》				
一九〇五	フランチェス	全 第三編第一卷[:]	一九一二	□
《陸軍經理建築》				
一九〇六	レーボック	全 第三編第二卷第一部[:]	一九一二	□
《陸軍經理建築》				
一九〇七	ブルゴツツケ	全 第三編第二卷第二部[:]	一八九五	□
《陸軍經理建築》				
一九〇八	フランチェス	全 第三編第三卷[:]	一九〇一	□
《陸軍經理建築》				
一九〇九	フリユーリング ^{其他}	全 第三編第三 ^[三] 四 ^[四] 卷[:]	一九〇四	□
《陸軍經理建築》				
一九一〇	ゾンネ	全 第三編第五卷[:]	一九〇六	□
《陸軍經理建築》				

い-251-

一九一一	ブレンエツケ	工業綱要 第三編第八卷[:]	一九〇四	□
《陸軍經理建築》				
一九一二	フランチェス ^{其他}	全 第三編補遺[:]	一八九四	□

「陸軍經理建築」				
一九一三	フランチェス	全 第四編第一卷[:]	水揚機浚渫□的機及附屬機械	一八九七 □
「陸軍經理建築」				
一九一三 ^{番外}	ロエウエ其他	全 第五編第一卷[:]	鐵道工事一般竝に軌道と車軸	一八九七 □
「陸軍經理建築」				
一九一四	全	全 第五編第二卷[:]	鐵道計算構造 上部工事の實施と維持	一八九七 □
「陸軍經理建築」				
一九一五	全	全 第五編第三卷[:]	轉轍と交叉線回轉及移動軌道	一八九八 □
「陸軍經理建築」				
一九一六	全	全 第五編第四卷[:]	停車場の按排 第一部	一九〇七 □
「陸軍經理建築」				
一九一七	ウンウキン	都市建設と原理		一九一〇 □
「陸軍經理建築」				
一九一八	スチュ□ベン	現代に於ける都市道路と沿革		一八九五 □
「陸軍經理建築」				
一九一九	シユミット	都市の地下工事 第一卷[:]	都市の街路の一般地下工事	一八九七 □
「陸軍經理建築」				
一九二〇	□	漢堡に於ける街路清掃		□ □
「陸軍經理建築」				
一九二一	ア[子マ]イヤア	漢堡に於ける排泄物焼却所		一九〇一 □
「陸軍經理建築」				
				い-252-
一九二二(I-II)	グラーン	獨逸帝國者陸[者陸都市]用水設備 第一卷[:]	普魯西國	□ □
		第二卷[:]	普魯西以外の獨逸諸聯邦	一九〇二 □
「陸軍經理建築」				
一九二三	ガイスラア	水道及瓦斯燈設備		一九〇二 □
「陸軍經理建築」				
一九二四	ハイネマン	地方町村水道設計		一九一〇 □
「陸軍經理建築」				
一九二五	クナウノ	下水渠設備の缺點		一八八四 □
「陸軍經理建築」				
一九二六	フロムマア	家庭用水排水・便所裝置		一九〇九 □
「陸軍經理建築」				
一九二七	マイリヒ	上部シレジヤ ホイテン市及ロツスベルグ下水排泄設備		二六九六 □
「陸軍經理建築」				
一九二八	シユツク	カールスルーエ下水灌溉設備		一八九三 □
「陸軍經理建築」				
一九二九	□	伯林市地水整理 第二編[:]	圖表	□ □
「陸軍技術本部」				
一九三〇	トルクミット	治水術の基本		一九〇七 □
「陸軍經理建築」				
一九三一 ^{ab}	フランチェス	治水工事		一八九〇 □
「陸軍經理建築」				
一九三二	チーグラール	谿谷堰堤工事		一九〇〇 □
「陸軍經理建築」				

一九三三	マツテルン	水力の利用	一九〇六	□
«陸軍東京砲工廠»				
一九三四	ウキリヤムス	河流築堤法	一八九八	□
«陸軍經理建築»				
一九三五	ライナア	河底規正工事	一九〇九	□
«陸軍經理建築»				
一九三六	ドエル	漂石を有せる水路(特に上部ライン河)の規正	一八九六	□
«陸軍技術本部»				
一九三七	ミュルラア	和蘭陀ゼーランド前治水制	一八九八	□
«陸軍經理建築»				
一九三八	ボルヒヤレト	レムシヤダア堰關池	一八九七	□
«陸軍技術本部»				
一九三九	インツエ	一八八九 - 一九〇三年 <small>ライン地方及ウエストフアーレンに於て給谷堰堤工事の發達</small>	□	□
«陸軍經理建築»				
一九四〇	エルスナア	沈澱泥土の取扱と利用	一九一〇	□
«陸軍經理建築»				
一九四一	□	一九一一年一〇月黃浦規正案	一九一二	(英文)
«陸軍技術本部»				
一九四二	ブーベンデイ	築港統計	一九一〇	□
«陸軍技術本部»				
一九四三	ランツベルグ	船舶通過水門鐵支柱	一八九四	□
«陸軍技術本部»				
一九四四	ヴオカシンベイ	佛國の海港	一八八六	□
«陸軍技術本部»				

一九四五(I-VI)	佛國工務所	佛國の海港(ボルドウ[港]の部)	一八八六	(佛文)
〃	〃	全 (アルゼリ港の部)	一八九一	〃 II
		全 (プレスト港の部)	一八七九	〃 III
		全 (ブローギ港の部)	一八七四	〃 IV
		全 (シエールブルグ港の部)	一八七七	〃 V
		全 (ハーブル港の部)	一八七五	〃 VI
«陸軍技術本部»				
一九四六(I-II)	<small>キネットドロシユクン男 ツェラール</small>	大西洋岸北亞米利加の海港(第一 加奈太)	一八九八	(佛文)
		全 (第二 合衆國航路港灣の行政制度)	一九〇二	(〃)
«陸軍技術本部»				
一九四七	全	歐米築港圖	□	(〃)
«陸軍技術本部»				
一九四八(I-II)	全	築港圖解[解釋 [?] 釋解 [?]] 第一卷・第二卷	二九〇〇	(〃)
«陸軍技術本部»				
一九四九	□	ドルトムンド築港落成式紀念誌	□	□
«陸軍技術本部»				
一九五〇	レヒテルン	アーノルド ウキルヘルムスハアセ[セフエ]ン第二入口築港工事	一八九一	□
«陸軍經理建築»				

一九五一	ロエウエ論	兩海(東北)運河開通記念誌	一八九五	□
«陸軍技術本部»				
一九五二	□	漢堡港築港圖	□	□
«陸軍技術本部»				
一九五三	ライブブランド	穹窿橋梁	一八九七	□
«陸軍工兵校»				
一九五四	ドイツ	遊動橋梁	一八九四	□
«陸軍工兵校»				
一九五五	シュペック	輸送吊橋の沿革と理論	一九〇八	□
«陸軍工兵校»				
一九五六	バイヤア	橋梁固有重量好況基底橋脚の歴史的發達	一九〇八	□
«陸軍工兵校»				
一九五七	マイヤア	基礎工事(壓搾空氣を使用せざる)	一八九八	□
«陸軍經理建築»				
一九五八	テヨツケ	壓搾空氣基礎工事	一八九六	□
«陸軍經理建築»				
一九五九	ジンガア	工事用地盤検査(特に山地鐵道に就き)	一九一一	□
«陸軍技術本部»				
一九六〇	ウキルマン	道路構築	一八九五	□
«陸軍經理建築»				
一九六一	ロエウエ	道路建築法	一八九五	□
«陸軍經理建築»				
一九六二	バルクハウゼン ^{其他}	土工作業道路工事架橋工事	一八九二	□
«陸軍工兵校»				

一九六三	リーゼ	瑞西の道路鐵道橋梁土木工事(圖集)	一八八七	□
«陸軍工兵校»				
一九六四	ウキルマン	隧道に對する山嶽壓下現象の二三に就て	一九一一	□
«陸軍技術本部»				
一九六五	クロエンケ	鐵道道路灣曲設計指針	一九一一	□
«陸軍工兵校»				
一九六六 ^{abc}	サラチン オニバアベック ^編	鐵道道路隧道カーヴ表	二八九九	□
«陸軍工兵校»				
一九六七(I-IX)	バルクハウゼン ^{其他}	現代の鐵道工事 第一卷第一節[:] 湊關車	一九〇三	I
	全	第二節[:] 鐵道工場	一八九八	II
	全	第二卷第一節[:] 線路敷設と軌道構成	一九〇六	III
	全	第二節[:] 上部工事と軌道構成	一九〇八	IV
	全	第四節[:] 信號及警戒裝置	一九〇四	V
	全	第三卷第一節[:] 鐵道堡線	一九〇一	VI
	全	第二節[:] 經營統計及鐵道經濟關係	一九〇二	VII
	全	第四卷 A節[:] アプト式鐵道	一九〇五	VIII
«陸軍經理建築»・«陸軍工兵校» ²⁹				

²⁹ 重出.

一九六七(I-IX) バルクハウゼン其他 現代の鐵道工事 B及C節[:] 市街鐵道其他 《陸軍經理建築》	一九〇七	IX
一九六八 □ 伯林市街鐵道(建築時報特別號) 《陸軍經理建築》	一八八六	□
一九六九 バルクハウゼン 鐵道建設と經營材料 《陸軍技術本部》	一九一四	□
一九七〇 ^{ab} コエネン 支柱及梁の張行對數表 《陸軍經理建築》	二六九六	□
一九七一 ブーレ □[田穀] [?] 類[•]石炭輸送及保藏設備 《陸軍糧秣本廠》	一八九九	□
一九七二 ビュニヂンク シュニマンク ポートランドセメント 《陸軍經理建築》	一九〇五	□
一九七三 ^{ab} □ ポートランドセメント及鐵 ポートランドセメントの 統一的供給及検査に關する獨逸の方則 《陸軍經理建築》	一九一〇	□
一九七四 ザリガア 鐵筋コンクリート 《陸軍經理建築》	一九〇六	□
[一]九七五 ハムプロツホ ライン産「トラツス」 《陸軍技術本部》	一九〇三	□
一九七六 □ グリユンツワイヒ及ハルトマン人造キルク石製造工場案内 《陸軍經理建築》	□	□
一九七七 ゲーリング テレドプルーフ和會社土工事の計算及輸送費 《京都帝大》*	一八九五—一八九八	□
一九七八 □ 獨逸ベトン組合第八會[會同]總會報告 《京都帝大》*	一九〇五	□

一九七九(I-IX) ゴツケ主幹 都市建築雜誌 自第一年至第九年 《陸軍經理建築》	皇一九〇四 皇一九一三	□
一九八〇(I-XV) ブンテ主幹 瓦斯燈水道雜誌 第四〇年 第四一年 第四二年 第四三年 第四五年 第四六年 第四七年 第四八年 第四九年 第五〇年 第五一年 《陸軍經理建築》	一八九七 一八九八 一八九九 一九〇〇 一九〇二 一九〇三 一九〇四 一九〇五 一九〇六 一九〇七 一九〇八	I II III IV V VI VII ^{ab} VIII IX X XI

一九八〇(I-XV) ブンテ主幹 瓦斯燈水道雜誌 第五二年 第五三年 第五四年 第五六年	一九〇九 一九〇[田]一〇 一九一一 一九一三	XII XIII XIV XV
---	----------------------------------	--------------------------

«陸軍經理建築»					
一九八一(I-X)	□	交通及道路工事雜誌	第二〇年 第二一年 第二二年 第二三年 第二四年 第二五年 第二六年 第二七年	一九〇三 一九〇四 一九〇五 一九〇六 一九〇七 一九〇八 一九〇九 一九一〇	I II III IV V VI VII VIII
			第二八年 第二九年	一九一一 一九一二	IX X

い-260-

«陸軍經理建築»					
一九八二(I-VI)	□	アルブレヒト主幹 衛生工事雜誌	第九年 第十一年 第十二年 第十三年 第十四年 第十五年	一九〇七 一九〇九 一九一〇 一九一一 一九一二 一九一三	I II III IV V VI

«陸軍醫務醫事»					
一九八三	□		一九一〇年度ベトン年鑑	一九〇九	□
«陸軍經理建築»					
一九八四(I-II)	□		一九一三年度セメント曆及一九一四年度 全	□	□
«陸軍經理建築»					
一九八五	□		一九〇四年度土木建築新聞カレンダー	□	□
«陸軍經理建築»					

い-261-

(六) 雜

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
一九八六	ワルデック	陶器石灰セメント石膏工業 第二編[:] 石灰及セメント製造	一九〇三	□
«陸軍經理建築»				
一九八七	ゾエルトナア	ブランデー蒸餾[日溜]	一九一三	□
«陸軍經理建築»				
一九八八	ゴイバウム	穿孔に對する松脂板の對抗能力に關する報告	一八九五	(英)
«陸軍經理建築»				

K. 交通

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
一九八九	ドイツ	海路法	一九一四	□
«陸軍教育總監»				
一九九一 ^{ab}	□	海員組合帆船災害豫防規定	一八九九	□
«陸軍教育總監»				
一九九〇	ブツデ	海路法航海日誌其他海員必要事務	一九一三	□
«陸軍教育總監»				
一九九二	ベルテス	ポケット海圖	一八九九	□
«陸軍教育總監»				

一九九三	シューマツヒヤア 東亞に於ける都市の交通	一八九九	□
「陸軍教育總監」			
一九九四	□ 支那海事辭典 第三卷	一八九四	□
「陸軍教育總監」			
一九九五	獨逸海事監督局 支那の重要港(船長航海□□)	一九〇一	□
「陸軍教育總監」			
一九九六 ^{ab}	支那稅務署 通商各關海江警船示册 第□二簿(一九一三年度)	一九一四	(英支文)
「陸軍教育總監」			
一九九七	ポルトフェルト 船員必携帳	一九〇五	□
「陸軍教育總監」			
一九九八(I-IV)	□ 北米合衆國大西洋岸水先案内書 第三 第五 第七 第八	一九〇三 (英文) 一九〇四 (〃) 一九〇六 (〃) 一九〇八 (〃)	
「陸軍教育總監」			「埼玉浦和圖」
一九九九	ズンヌニルダヤエルベ下流舟行に對する漢堡の施設	一九〇一	□
「陸軍教育總監」			
二〇〇〇	ドイツマア 獨逸商船要覽	一八九二	□
「陸軍教育總監」			
二〇〇一(I-II)	内務省 獨逸船舶名簿	二九二二 二九二三	□
「陸軍教育總監」			

二〇〇二	□ 蘭領印度船舶名簿	一九一四	(和蘭文)
「陸軍教育總監」			
二〇〇三(I-III)	ストウドニツツ 船舶 第廿四年・第二十五年・第二十六年	一九〇三・一九〇四 一九〇五	□
「陸軍教育總監」			
二〇〇四(I-III)	獨逸河江航行協會 國內航行雜誌 第十年・第十一年・第十二年	一九〇三・一九〇五 一九〇六	□
「陸軍教育總監」			
二〇〇五	□ 一八九八年度海事協會報告	□	□
「陸軍教育總監」			
二〇〇六	□ 北獨逸ロイド社案内	□	□
「陸軍教育總監」			
二〇〇七	□ 山東鐵道運行令	一九〇四	□
「陸軍教育總監」			

L. 商業

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
二〇〇八(I-II)	マイヤア=ロートシルド	商業總論 第一卷・第二卷	一九一一	□ 「東京外大附圖」
二〇〇九	ロートシルド	商業要覽	一九〇八	□ 「東京外大附圖」

二〇一〇	オプスト	商業要綱	一九〇九	□
------	------	------	------	---

二〇一一	全	貨幣 銀行及取引所	□ □	「東京外大附圖」
二〇一二	ドイツユ	通貨 金銀塊 爲替 株券及割増金附證券仲買	一九〇五 □	「東京外大附圖」
二〇一三	ア□スマン	鑛油及酒精取引要覽	□ □	
二〇一四	ツ□エツプル	米露石油の競争	一八九九 □	
二〇一五	トロイバア	獨逸帝國度量衡及貨幣	一九〇三 □	「東京外大附圖」
二〇一六	内務省	獨逸對外貿易要覽	一九一二 □	「東京外大附圖」
二〇一七	シヨルツ シヨニツト	日本との貿易	一九一三 □	「東京外大附圖」
二〇一八	シユロエツシング	現代の商人(商業参考書)	□ □	「東京外大附圖」
二〇一九	ランデンベルガア	商業用文 第三編	□ □	「東京外大附圖」
二〇二〇	オルロツプ	英語商業用文入門	一九〇六 □	「東京外大附圖」
二〇二二[三一](I-II)	プルツツア	其他 一般商業通信文(十五箇國語) 獨逸篇	□ □	「東京外大附圖」
				い-265-
		佛蘭[西]篇	□	(佛文)
二〇二二	マルテンス	獨逸領事法及殖民地法	□ □	「東京外大附圖」
二〇二三	シャーニガン	支那の法律と商業	一九〇五	(英文)
二〇二四 ^{ab}	ウキリヤムス	支那商業案内	一八六三	(〃)
二〇二五	ブレナン	支那商港に於ける貿易状態	一八九八	(〃)
二〇二六	ビユーケ	東亞派遣實業視察委員報告 第一册(秘密)	一八九七	□
二〇二七	朝鮮稅關	一九〇三年度關稅及貿易の報告	一九〇四	□
二〇二八	□	關稅商品錄	一九〇六	□
二〇二九(I-V)	□	一八九八年度ライプチヒ商業會議所年報	一九〇〇	I
		一八九九年度 全	□	II
		一九〇〇年度 全	□	III
		一九〇一年度 全	□	IV
		一九〇三年度 全	□	V
二〇三〇(I-VI)	□	一九〇七年度ドルトムンド商業會議所年報 第一編	一九〇八	I
		全 第二編	〃	II
		一九〇八年度 全 第一編	一九〇九	III
		全 第二編	〃	IV
		一九〇九年度 全 第一編	一九一〇	V
		全 第二編	〃	VI
二〇三一	ヒウエツト	香港商業會議所沿革	一九一一	(英文)
二〇三二	□	一九一二年度青島商業會議所報	□ □	

二〇三三(I-V) 内務省	商工業報告 第十四卷 第十五卷 第十七卷	一九一〇 一九一一 一九一二	I II III ^{ab}
			い-267-
二〇三三(II) 内務省	商工業報告 第十八卷 第十九卷	一九一三 〃	IV V
二〇三四 ^{abc} □	一九一貳年度獨逸輸出工業年鑑	□	(英文)
二〇三五(I ^{ab} -XI) □	一九〇一年度東洋商業年鑑	□	(英文) I ^{ab}
	一九〇二年度 全	□	(〃) II
	一九〇三年度 全	□	(〃) III
	一九〇四年度 全	□	(〃) IV
	一九〇六年度 全	□	(〃) V
	一九〇七年度 全	□	(〃) VI
	一九〇八年度 全	□	(〃) VII
	一九〇九年度 全	□	(〃) VIII
	一九一〇年度 全	□	(〃) IX
			い-268-
	一九一一年度 全	□	(〃) X
	一九一二年度 全	□	(〃) XI
二〇三六(I-II) □	一九〇一年度殖民地商業人名錄 一九一一年度 全	□ □	□ □
二〇三七 □	米國貿易索引(米國商工業家名簿)	一八九九	□
二〇三八(I-VII)内務省	獨逸商業雜誌 三月號(I) 四月號(II) 五月號(III) 六月號(IV) 七月號(V) 八月號(VI) 十二月號(VII)	一八九〇	□
二〇三九(I-X) 全	全 一月號(I) 二月號(II) 五月號(III) 六月號(IV) 七月號(V) 八月號(VI) 九月號(VII) 十月號(VIII) 十一月號(IX) 十一月號(X)	一八九〇	□
			い-269-
二〇四〇(I-XII)全	全 自一月號 至十二月號	一八九二	I-XII
二〇四一(I-XII)全	全 自一月號 至十二月號	一八九三	I-XII
二〇四二(I-VIII)全	全 一月號(I) 二月號(II) 五月號(III) 七月號(IV) 八月號(V) 九月號(VI) 十月號(VII) 十一月號(VIII)	一八九四	□
二〇四三(I-XII)全	全 自一月號 至十二月號	一八九五	I-XII
二〇四四(I-VII)内務省	獨逸商業雜誌 一月號(I) 二月號(II) 四月號(III) 五月號(IV) 六月號(V) 九月號(VI) 十月號(VII)	一八九六	□
二〇四五(I-XII)全	全 自一月號 至十二月號	一八九七	I-XII
二〇四六(I-X) 全	全 一月號(I) 二月號(II) 三月號(III) 四月號(IV) 五月號(V) 六月號(VI) 八月號(VII) 九月號(VIII) 十一月號(IX) 十二月號(X)	一八九八	□
			い-270-
二〇四七(I-XI) 全	全 自一月號 至十一月號	一八九九	I-XI
二〇四八(I-XI) 全	全 自一月號 至十一月號	一九〇〇	I-XI
二〇四九(I-XII)全	全 自一月號 至十二月號	一九〇一	I-XII
二〇五〇(I-XII)全	全 自一月號 至十二月號	一九〇二	I-XII

二〇五一(I-XI)全	全	自一月號至三月號(I-III) 五月號(IV) 六月號(V) 七月號(VI) 一九〇三 八月號(VII) 九月號(VIII) 十月號(IX) 十一月號(X) 十二月號(XI)	□
二〇五二(I-XI)全	全	自一月號 至十一月號	一九〇四 I-XI

い-271-

M. 農業・林業・牧畜・漁業

番 號	著 譯 者 名	書 名	発行年代	註
二〇五三	ヒルアイン	獨逸農作物栽培	一九一〇	□
«陸軍糧秣本廠»				
二〇五四 ^{ab}	チムマアマン	獨逸殖民地に於ける綿花栽培法	一九一〇	□
«陸軍糧秣本廠»				
二〇五五	ヘツス	耕地改良法の進歩	一八九二	□
«陸軍糧秣本廠»				
二〇五六	アイスパイン	耕地機械耕作に對する蒸氣の應用	□	□
«陸軍糧秣本廠»				
二〇五七	キルヒナア	穀類の敵	一九〇三	□
«陸軍糧秣本廠»				
二〇五八	ヒルトナア	莢豆種子の發育狀態と有機作用に依る其の影響	一九〇二	□
«陸軍糧秣本廠»				
二〇五九	リンダア <small>譯</small>	スタニスラウス・チュリアン <small>譯</small> 桑樹栽培と養蠶	一八四四	□
«北海道帝大»*				
二〇六〇	フランケ <small>譯註</small>	漢堡殖民學機[機校]論說 第十一卷[:] 耕織圖(支那の農耕と織染)一九一三	一九一三	□
«北海道帝大»*				

い-272-

二〇六一 ^{ab}	スパン	農藝代[代化]學入門 第一[:] 無機篇	一九一三	□
«北海道帝大»*				
«北海道大附圖»				
二〇六二	シユライヤア	農家文書範例	一九〇一	□
«北海道帝大»*				
二〇六三	エルザス <small>農業新聞社</small> ロートリンゲン	エルザス ロートリンゲン冬期農業學校教科書 第二卷[:] 牧畜論 農業經營論	一九〇九	□
«北海道帝大»*				
二〇六四(I-IV)	殖民省	獨逸殖民地肥培試驗 自第一號至第四號	一九一三	□
«北海道帝大»*				
«北海道大附圖»				
二〇六五	□	熱帶農業「栽培者」雜誌 第四年第一號	一九〇八	□
«陸軍糧秣本廠»				
二〇六六(I-IV)	フルブルグ ニールトミン	熱帶農業雜誌「栽培者」內容目錄 第七年 全 第十八 - 第廿五號 全 第十年第十一號 全 第十四年第三號	一九〇三 一九〇五 一九〇六 一九一〇	I II III IV
«陸軍糧秣本廠»				
二〇六七(I-III)	□	獨逸農業協會年報 第二七卷第一刊 全 第二七卷第三刊 全 第廿八卷	一九一二 " 一九一三	□ □ □
«北海道帝大»*				

い-273-

二〇六八	□	伯林高等農業學校年報	一九一三	□
«北海道帝大»*				
二〇六九	□	農科大學學術報告 第五卷第二號	明治 ² 治 ² 五年(英獨文)	
«北海道帝大»*				
二〇七〇	□	プロスカウ果實學校報	一九〇三	□
«北海道帝大»*				
二〇七一	ウオルトマン	ガイセンハイム葡萄果樹栽培學校一九〇九年度報告	一九一〇	□
«北海道帝大»*				
二〇七二 ^{ab}	德華高等學 堂農林科	農學科報告 第二冊[:] 試驗作業(一九一一 - 一二二年試驗)	一九一三	(支文)
«北海道帝大»*				
二〇七三	ワーグナア	德華高等學堂農林科報告 第三[:] 高粱の肥料攝取と要求	一九一三	□
«北海道帝大»*				
二〇七四(I-VI)	獨領東亞弗 利加總督府	獨領東亞弗利加農林事業報告 第一卷第一號	一九〇二	I
		第二號	〃	II
		第三號	一九〇三	III
		第四號	〃	IV
		第六號	〃	V
		第七號	〃	VI
«北海道帝大»*				
				い-274-
二〇七五(I-VIII)全	全 第二卷 自第一號至[第]八號	一九〇四・一九〇五 一九〇六	I-VIII	
«北海道帝大»*				
二〇七六(I-V) 全	全 第三卷 自第一號至第五號	二九〇六 二九〇七	□	
«北海道帝大»*				
二〇七七	バイラア	植林に對する人工施肥	一九〇七	□
«陸軍經理建築»				
二〇七八	シルリング	高低森林に於ける經營收益法	一九〇八	□
«陸軍經理建築»				
二〇七九	シトエツアア	森林價格計算法 <small>附山林靜力學</small>	一九〇八	□
«北海道帝大»*				
二〇八〇(I-II)	サージャント	新シイ [?] タニ [?] 知られたる北米の樹木 第三・第四	一九〇一 (英文)	
«北海道帝大»*			«北海道大附圖»	
二〇八一	ヘルマン	普魯西林學圖	一八九八	□
«北海道帝大»*				
二〇八二	ノイダイムマア	林務官讀本	一八九九	□
«陸軍經理建築»				
二〇八三	ワグナア	牧牛法講義	□	□
«陸軍糧秣本廠»				
二〇八四	□	飼秣論	□	□
«陸軍糧秣本廠»				
二〇八五	テンネツカア	乘馬愛馬家飼馬法	一七九九	□
«北海道帝大»*				
二〇八六	オストホフ	屠獸場と牛市場	一九〇三	□
«陸軍糧秣本廠»				

い-275-

二〇八七	シユワルツ	官公業屠獸場及牧場建築設置經營法	一九〇三	□
	「陸軍經理建築」			
二〇八八	ランペ	養蜂	一八九九	□
	「北海道帝大」*			
二〇八九	サヨ	吾等が密[密密]蜂	□	□
	「北海道帝大」*			
二〇九〇	タウルケ	養魚と貯魚	一九〇八	□

い-276-

[白 紙]

い-277-

N. 文學・美術・音樂

(一) 文學

(イ) 全集・評論

(1) 全集

二〇九一(I-XXIV)□	ゲーテ全集	第一卷・第二卷[:]	歌謠・詩等	一八五三	I
	全	第三卷・第四卷[:]	韻文・散文・短句	一八五三	II
	全	第五卷・第六卷[:]	ヘルマンとドロテーア アヒレイス ライネケの狐	一八五三	III
	全	第七卷・第八卷[:]	愛人の氣嫌其他	//	IV
	全	第九卷・第一〇卷[:]	ゲッツ、フオン、ベルリッ ヒンゲン エグモンド其他	一八五四	V
	全	第一一巻・第一二巻[:]	ファウスト	//	VI
	全	第一三巻・第一四巻[:]	イフキゲニイ ウエルテルの悩み	//	VII
	全	第一五巻・第一六巻[:]	ワールフエルワントシヤフト ウキルヘルムマイスタア	一八五五	VIII

い-278-

全	第一七巻・第一八巻[:]	ウキルヘルムマイスタア其他	一八五五	IX
全	第一九巻[:]	小説	//	X
全	第二一巻・第二二巻[:]	予の生涯より	//	XI
全	第二三巻・第二四巻[:]	伊太利旅行其他	[// ²]	XII
全	第二五巻・第二六巻[:]	一七九二年佛蘭西遠征其他	一八五六	XIII
全	第二七巻[:]	雜録	//	XIV
全	第二八巻・第二九巻[:]	ベンヴェヌト、ツエリニ其他	//	XV
全	第三〇巻[:]	ウキンケルマン其他	一八五七	XVI
全	第三一巻[:]	藝術評論	//	XVII
全	第三二巻[:]	獨逸文學	//	XVIII
全	第三三巻・第三四巻[:]	外國文學並に國民的詩其他	//	XIX
全	第三五巻[:]	舞臺に於けるゲッツ・フオン・ベルリッヒンゲン	一八五八	XX

い-279-

ゲーテ全集	第三六巻[:]	光學 附録 其他	一八五八	XXI
全	第三七巻・第三八巻[:]	色論・教授篇・論駁篇	//	XXII
全	第三九巻[:]	色論史	//	XXIII
全	第四〇巻[:]	色論史補遺・氣象學・自然科學	//	XIV

「陸軍教育總監」

二〇九二(I-II)	スチーラア	ゲーテ著作集	第五巻[:]	ファウスト	□	□
		全	第一三巻[:]	ウキルヘルム・マイスタアの放浪時代	□	□

「陸軍教育總監」

二〇九三	プレム編	ゲーテ拔萃集	第一三巻 - 第一六巻	□	□
------	------	--------	-------------	---	---

「陸軍教育總監」					
二〇九四(I-IV) □	シルラア全集	第一卷第一期作	□		I
	全	第五卷 - 第六卷		一八六九	II
	全	第九卷・第十卷[:] 三十年戦史, 散文		〃	III
	全	第一一巻・第一二巻	□		IV
「陸軍教育總監」					
二〇九五(I-II) クツチャア編	シルラア全集	第六編[:] ウェルヘルムテル, <small>デメトリユムの 藝術崇拜漫筆</small>	□		□
					い-280-
	シルラア全集	第八編[:] 美的養育, 無邪たる感傷的作詩に就て	□		□
「陸軍教育總監」					
二〇九六(I-II) カルペレス編	シルラア全集	第四 - 第六巻	□		□
	全	第十巻	□		□
「陸軍教育總監」					
二〇九七 スチーラア	シルラア著作集	第四巻[:] ワレンシタイン	□		□
「陸軍教育總監」					
二〇九八(I-III ^{ab}) ミュルラア編	ロイタア全集	第一巻 - 第八巻	□		I
	全	第九巻 - 第一三巻	□		II
	全	第一四巻 - 第一八巻	□		III ^{ab}
「陸軍教育總監」					
二〇九九(I-II) □	ロイタア全集(七巻の中)	第四巻及第五巻		一八八三	□
「陸軍教育總監」					
二一〇〇 □	フリッツ・ロイタア全集		□		□
「陸軍教育總監」					
二一〇一(I-VI) □	ハックレンダア全集	第七巻[:] 商業と旅行其他		一八六三	I
	全	第九巻		〃	II
	全	第一五巻[:] 「密使」「エレキ治療」「有罪!」「歐洲の奴隷生活」		〃	III
					い-281-
	ハックレンダア全集	第廿三巻[:] 西班牙の冬 第二部		一八六〇	IV
		第二九巻・第卅巻[:] <small>陣中生活第二部 新ドンキホーテ</small>		〃	V
		第卅九巻・第四十巻[:] <small>戦争と平和 日誌の夏</small>		〃	VI
「陸軍教育總監」					
二一〇二 ゴットシヤル編	ウーランド集(四巻)	第一 - 四巻	□		□
「陸軍教育總監」					
二一〇三 ジーゲン編	クライスト全集	第一 - 四巻	□		□
「陸軍教育總監」					
二一〇四 □	アンツエングラーバア全集	第二巻		一八九七	□
「陸軍教育總監」					
二一〇五 シテルン編	ヘンデル拔萃集	第三巻	□		□
「陸軍教育總監」					
二一〇六 チムマア編	ケルナア集	第二巻	□		□
「陸軍教育總監」					
二一〇七 □	リ、エンクロン全集	第一巻[:] 戦争小説	□		□
「陸軍教育總監」					
二一〇八(I-II) □	ヨハン・マイヤア全集	第七巻[:] 戯曲 及 第八巻		一九〇六	□
「陸軍教育總監」					

二一〇九(I-V) テーデン編	ゲルシテツカア集 全	亞米利加(第一卷及第二卷[]) 旅行(南米・カリフォルニア・南洋)	I, II III	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	全	叢林にて	IV	<input type="checkbox"/>	い-282-
「陸軍教育總監」	全	セイル・アキラ	V	<input type="checkbox"/>	
二一一〇(I-II) <input type="checkbox"/>	ハウフ全集(六巻の内) 第一 - 三巻及第四 - 六巻		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二一一一 シュワブ編	ハウフ全集 第四巻		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二一一二 ストルム	ストルム全集 第六巻[:] ハンスとハインツ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二一一三 ケルラア編	ヘーベル全集 第一 - 第三巻		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二一一四 <input type="checkbox"/>	ヴン・デア・エールデ全集 第四巻		一八三七	<input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二一一五 フオツス譯	ホーマア集 第一巻		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二一一六(I-II) <input type="checkbox"/>	北米クラシック文學 第一巻[:] パウルディング著いざ西へ? 第一編 第二巻[:] パウルディング著いざ西へ? 第二編		一八三七 〃	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二一一七(I-II) <input type="checkbox"/>	全	第五巻[:] パウルディング著新世界の 第六巻[:] 全	第一編 〃 第二編	一八四〇 〃 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
「陸軍教育總監」					
					い-283-
二一一八(I-III) <input type="checkbox"/>	北米クラシック文學 第七巻[:] バート著魔の巢 第八巻[:] 全 第九巻[:] 全	第一編 第二編 第三編	一八四〇 〃 〃	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> III	
「陸軍教育總監」					
二一九九(I-II) <input type="checkbox"/>	全	第十一巻[:] バート著森の悪魔 第十二巻[:] 全	第二編 第三編	一八四一 〃	I II
「陸軍教育總監」					
二二〇〇(I-II) <input type="checkbox"/>	クーパア全集	ベネヂクト派僧侶	第一編・第二編	一八三二	<input type="checkbox"/>
「陸軍教育總監」					
二二〇一 ニーチュコ譯	全	第三編[:] 歸國行	一八三八	<input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二二〇二 <input type="checkbox"/>	全	勇者	一八三二	<input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二二〇三 <input type="checkbox"/>	全	水魔-名海豚	一八三一	<input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二二〇四 ドエリング譯	全	殿の「モヒカン」人	一八三四	<input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二二〇五 モイラア譯	全	猩々海賊	一八二八	<input type="checkbox"/>	
「陸軍教育總監」					
二二〇六 <input type="checkbox"/>	全	ベルンの刑手-名葡萄摘み	一八三三	<input type="checkbox"/>	

「陸軍教育總監」

い-284-

二一二七(I-II) ツアルノウスキ 譯 全 「陸軍教育總監」		鹿殺し 第一編・第三編	一八四一	□
二一二八(I-II) □ 全 「陸軍教育總監」		移住者 第一編・第二編	一八三八	□
二一二九(I-II) モイラア 譯 全 「陸軍教育總監」		國境に住む人 <small>第一-三卷 第四-六卷</small>	一八二九	□
二一三〇(I-II) 全 全 「陸軍教育總監」		モンキンス 第一編・第二編	一八三五	□
二一三一(I-II) <small>ラング ツキシタア</small> 譯 全 「陸軍教育總監」		北米人(シエンの話) <small>第一-三卷 第四-六卷</small>	一八二九	□
二一三二(I-III) キュンツエル 譯 全 「陸軍教育總監」		北米海軍の沿革と其戦績 第二・三・四編	一八四〇	□
二一三三(I-II) ニーチユ 譯 全 「陸軍教育總監」		伊太利 第一編・第二編	一八三八	□
二一三四(I-II) 全 全 「陸軍教育總監」		瑞西旅行 第一編・第二編	一八三六	□
二一三五(I-II) 全 全 「陸軍教育總監」		佛國滞在, ライン旅行及第二次瑞西旅行 <small>第一編 第二編</small>	一八三七	□
二一三六 全 全 「陸軍教育總監」		英國と首都の社交生活 第二編	一八三七	□
二一三七(I-II) 全 全 「陸軍教育總監」		歸航-名狩 第一編・第二編	一八三八	□
二一三八 □ 全 「陸軍教育總監」		歐羅巴回顧 第一編	一八三七	□

い-285-

二一三九(I-II) □ 「陸軍教育總監」		クーパア全集 カスチリアのメルセデス 第二編・第三編	一八四一	□
二一四〇(I-II) モイラア 譯 全 「陸軍教育總監」		リオネル・リンコルン-名の包圍 <small>ボストン 第四卷・第十一卷</small>	一八二七	□
二一四一(I-II) ニーチユ 譯 全 「陸軍教育總監」		エヴちゃん-名故郷 第一編・第二編	一八三九	□
二一四二(I-III) □ 「陸軍教育總監」		二提督 第一編・第二編・第三編	一八四二	□
二一四三 「陸軍教育總監」	缺番			
二一四四 モイラア 譯 全 「陸軍教育總監」		荒野原 第四編	一八二八	□
二一四五 トロイ 全 「陸軍教育總監」		水先案内 第四卷	一八二七	□

(2) 評論

二一四六	ウォルフ	ゲーテの生涯と作物	一八九五	□
------	------	-----------	------	---

「陸軍教育總監」					
二一四七	アンゲロ ツオットリ師譯註	支那文學研究 第一卷[:]	家庭教訓	一八七九	拉丁文
「陸軍教育總監」					
二一四八	全	全	第二卷[:]	古典研究	〃 〃
「陸軍教育總監」					
二一四九	全	全	第三卷[:]	經書研究	一八八〇 〃
「陸軍教育總監」					
					い-286-
二一五〇	アンゲロ ツオットリ師譯註	支那文學研究 第四卷[:]	修辭法型範	一八八〇	拉丁文
「陸軍教育總監」					
二一五一	〃	〃	第五卷[:]	美辭と詩に就て	一八八二 〃
「陸軍教育總監」					
二一五二	マイヤース註	支那文學語解		一九一〇	英文
「陸軍教育總監」					
	(ロ) 詩文				
二一五三 ^{ab}	ロエウエンベルグ	近代名詩撰[撰選]	「金色の泉」	□	□
「陸軍教育總監」					
二一五四	プリンツホルン撰[撰選]	英米名詩撰[撰選]	「太西の兩岸」	□	□
「陸軍教育總監」					
二一五五	フレンケル	獨逸の詩と思想(海軍々人の爲に)		□	□
「陸軍教育總監」					
二一五六	コルツム	ヨブシアーデ		□	□
「陸軍教育總監」					
二一五七	伯林婦人會編	ゲルマニア(獨詩と女流詩人)		一八六一	□
「陸軍教育總監」					
二一五八	ブラウン編	獨逸詩歌のマルテイン・ルーテル		一八八三	□
「陸軍教育總監」					
二一五九	ゾイファア編	シユウヲバの國(シユワビヤ方言詩集)		□	□
「陸軍教育總監」					
二一六〇	イリツエツク	グードルンとデイトリツヒの叙事詩(附辭書)		□	□
「陸軍教育總監」					
					い-287-
二一六一	□	少年抒情詩集「嫩芽と花」		□	□
「陸軍教育總監」					
二一六二	□	リツタアハウス詩集		□	□
「陸軍教育總監」					
二一六三	ゲーテ	ライネケの狐		□	□
「陸軍教育總監」					
二一六四	□	家庭文庫 第一一巻[:]	シルラアの哲學詩	一九〇八	□
「陸軍教育總監」					
二一六五	ヘルダア	ケ [?] ツト		一八七七	□
「陸軍教育總監」					
二一六六		缺番			
「陸軍教育總監」					

二一六七	フリッツ コイタテ	物語と詩 第一編	□	□
《陸軍教育總監》				
二一六八	シャルテンマイヤー レディウヒウス	南亞戦争 第一編[:] 倫敦よりプロエムフオンタイン迄	一九〇二	□
《陸軍教育總監》				
二一六九	エル・シュミット	譯註 高等獨逸詩學修書 第二卷[:] ゲーテ著「ヘルマン」と「ドロテア」	一八九一	獨佛
《陸軍教育總監》				
二一七〇	ゲルンス	吟誦詩集	一九〇四	□
《陸軍教育總監》				
二一七一	ミュルラア	譯 ホラチユス著「カルミナ」	一八九八	伊文
《陸軍教育總監》				
二一七二	□	雛菊を求めて	□	英文
《陸軍教育總監》				

い-288-

二一七三	マーティン	支那傳詩及其他の詩	一八九四	英文
《陸軍教育總監》				
二一七四	ベートゲ	譯 支那叙情詩集 明笛	一九〇七	□
《陸軍教育總監》				
二一七五	フランシス マウキス	譯 漢文詩解	一八三四	英文
《陸軍教育總監》				
二一七六	ラヴェレンツ	海軍ストリユーウエルペタ	一九〇一	□
《陸軍教育總監》				
二一七七	ベルナウア	一不良少年の唄	□	□
《陸軍教育總監》				
二一七八	ゲーテ	予の生涯より(詩と眞理)	一九一一	□
《陸軍教育總監》				
二一七九	フクニントン フクニントン	クリユ夫人の經歷	一九〇八	英文
《陸軍教育總監》				
二一八〇	コンラード	譯 ヘンリ・ロツシユフオール著「予が生涯の冒險」 第一卷	一九〇〇	□
《陸軍教育總監》				
二一八一	キューゲルゲン	思出の記	一八七〇	□
《陸軍教育總監》				
二一八二	ドライフス	予が生涯の五箇年	一九〇一	□
《陸軍教育總監》				
二一八三	オット・エルンスト	小品集「日光」	□	□
《陸軍教育總監》				
二一八四	フオン・オンプテダ	登山生活「エキセルシオア」	一九〇九	□
《陸軍教育總監》				

い-289-

二一八五	ロールバツハ	西南亞弗利加の苦き月日より	一九〇九	□
《陸軍教育總監》				
二一八六	グライヘン ルスウルク	伊太利 さらば!	□	□
《陸軍教育總監》				
二一八七	マイ	荒蕪クルヂスタン跋涉	□	□
《陸軍教育總監》				

《防衛大圖》

二一八八	ヌヂニランシシ	バラソレーの主人 或る冬の物語	一八八九	英文
	《陸軍教育總監》			
二一八九	アルヴェルデス	予の日記(西南より)	□	□
	《陸軍教育總監》			
二一九〇	コツホブロイベルグ	佛國の二年(一八七〇- 七一年戰史)	一八九一	□
	《陸軍教育總監》			
二一九一	ラインハルト	響と煙	□	□
	《陸軍教育總監》			
二一九二	トロイヤン	要塞幽閉二箇月	一八九九	□
	《陸軍教育總監》			
二一九三	シユロエダア	「東方世界」より一八九二- 一九〇七年拔萃	一九〇八	英獨文
	《陸軍教育總監》			
二一九四 ^{ab}	エスペル	上海漫語	一九一三	□
	《陸軍教育總監》			
二一九五		缺番		

(ハ) 戯曲・小説・稗史・物語

い-290-

(1) 戯曲

二一九六	レン[≡ツ]シング	ミンナ・フオン・バルンヘルム	一九一〇	□
	《陸軍教育總監》			
二一九七 ^{ab}	フンケ註	レッツシング著「ミンナ・フオン・バルンヘルム」	一九一〇	□
	《陸軍教育總監》			
二一九八	エルシユカア編	全	一八九五	□
	《陸軍教育總監》			
二一九九	シルラア	ドン・カルロス	□	□
	《陸軍教育總監》			
二二〇〇 ^{ab}	全	マリヤ・スチユアルト	一八五一	□
	《陸軍教育總監》			
二二〇一 ^{ab}	全	オルレアンの少女	一八九五	□
	《陸軍教育總監》			
二二〇二(I-II)	全	ワレンシタイン 第一編・第二編[:] ワレンシタインの死	□	□
	《陸軍教育總監》			
二二〇三	全	ワレンシタイン	一八九六	□
	《陸軍教育總監》			
二二〇四 ^{abc}	全	ウキルヘルム・テル	一九〇七	□
	《陸軍教育總監》			
二二〇五	グリム譯	シルラア著「ウキルヘルム・テル」	獨佛文	□
	《陸軍教育總監》			
二二〇六	ゲーテ	ゲッツ・フオン・ベルリツヒンゲン	□	□
	《陸軍教育總監》			

い-291-

二二〇七	ハウプトマン	日の出前	一八九九	□
	《陸軍教育總監》			

二二〇八	リリエンクローン 獨逸の忠精	□	□
	《陸軍教育總監》		
二二〇九	フォン・シユレーゲル シエークスピヤ著「ロメオとヂユリヤ」	□	□
	《陸軍教育總監》		
二二一〇	ランゲ譯 イブセン 戯曲集 第二卷	□	□
	《陸軍教育總監》		
二二一一	ホフマンスタール エレクトラ(シトラウス作曲)	□	□
	《陸軍教育總監》		
二二一二	クラット 山守の娘	□	□
	《陸軍教育總監》		
二二一三	ヘルツオーグ ニツセンスコグにて	一九〇七	□
	《陸軍教育總監》		
二二一四	カールワイス ヘラシムソン	一九〇二	□
	《陸軍教育總監》		
二二一五	スツツケン ガワン	□	□
	《陸軍教育總監》		
二二一六	□ アドルフ・デア・キューネ	一八四六	□
	《陸軍教育總監》		
二二一七	多キユシスラム 歌劇「成金王女」	□	□
	《陸軍教育總監》		
二二一八	マルク・モドワットン「ボムペイ」の最後の日	□	佛文
	《陸軍教育總監》		
			い-292-
二二一九	ヘルブリツヒ 體操教授罰(滑稽一幕)	□	□
	《陸軍教育總監》		
二二二〇 ^{ab}	デルマ其他 ホーエンツオルレルン(普國二百年祭演戲[[?] 戲義 [?]])	□	□
	《陸軍教育總監》		
二二二一	メリツツ編 オペラ補導(オペラ拔萃二百卅五)	一九〇一	□
	《陸軍教育總監》		
	(2) 小説		
二二二二	アイゼンツツ譯 ヴエルガ著シシリイ島農夫物語	一九〇八	□
二二二三	ヘルマン・アイラアアレキサンダア・デユマア著「ハミルトン夫人」	□	□
二二二四(I-II)	アウアーバツハ森の寂寞 第一卷・第二卷	一八七四	□
二二二五	アスムスゼン 休みなき人々	一九一三	□
			《茨城大圖》
二二二六	アレキシス 愛國小説 伯林のローランド	□	□
二二二七	全 狼人	一九〇九	□
二二二八	全 フォン・ブレドウ君の袴	□	□
二二二九	アルドダメ 大衛戍地	□	□
			い-293-
二二三〇	アルトマン 小間物集	□	□
二二三一	アルンホフ其他 十傑作集	□	□
二二三二	イエンゼン 荒野を越えて	□	□

二二三三	全	フリードリヒ王 第三卷	□	□
二二三四	ウキツク	新人間	□	□
二二三五	ウキストキルヒ	ワイヤモア伯爵	□	□
二二三六	ウエルダア	武骨漢ロイトリンゲン	一九一〇	□
二二三七	ウオルフ	グリーンメルスハウゼン著「シムプリチシムス」	□	□
二二三八(I-II)	ウオルツオーゲン	哀れ罪の女 第一卷・第二卷	一九〇一	□
二二三九	ウエールス	獨身女	一〇〇八	英文
二二四〇	全	予が最初の冒険	□	□

い-294-

二二四一	ウエールス	善良なる鱈魚	一八九三	□
二二四二(I-VI)	ヴェリイ	ウエストフアーレンの血 第一輯	□	I
		第二輯	□	II
		第三輯	□	III
		第五輯	□	IV
		第六輯	□	V
		第七輯	□	VI
二二四三	エエ ^b	レット・グリーン魔法島	□	英文
二二四四	エツクシタイン ^{其他}	滑稽小説 ^{其他}	□	□
二二四五	オツベンハイム	使喚者	□	英文
二二四六	全	未曾有の組合	一九一四	〃
二二四七	ジヨルジユ・オウネ	人世の争闘・化物	□	佛文
《京都帝大》*				《京都大附圖》

い-295-

二二四八	オムプテダ	デウニーズ・ド・モンミデキ	□	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二二四九	オムプテダ ^譯	モパッサン全集 第七卷[:] 精霊	一八九九	□
《京都帝大》*				
二二五〇	オツテン	デ・ウキツト著「デツサのオルフィイス」	□	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二二五一	ガイスラア	沖の小島	一九〇七	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二二五二	フォン・カイゼルリング	ベアーチ[テ]とマライレ	□	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二二五三	ガーレン	ブランダウ男と其の公子 第三卷	一八六五	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二二五四	ガングホーフアア	山國	□	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二二五五	全	五月嵐	□	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二二五六 ^{ab}	全	ラチエレ・スカルバ	□	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二二五七	ガーヴアイス	宿命	□	英文
二二五八	全	婦人としてのスタウンチ	□	英文
二二五九	ギバラ ^譯	マグネイ著男地獄	□	□

二二六〇	キヨルナア 其他 女教師 其他	□	□
二二六一	クウオスキ 舞姫の思出	□	□
二二六二	クローカア 彼等の一家 第一巻	一九〇七	□
		《東北大附圖分館》	
二二六三	ダ[ダグ]リン エリザベスの訪れ	一九〇二	□
		《東北大附圖分館》	
二二六四	クレツツアア 黒絆纏	□	□
		《東北大附圖分館》	
二二六五	□ クーパア 著「カスチリヤのメルセデス」第一編	一八四一	□
		《東北大附圖分館》	
二二六六	クラウゼン 泣と笑	□	□
		《東北大附圖分館》	
二二六七	クライバア 譯 プロエンシテット 著 ボルトン 塔	一八九九	□
《°三高》*		《京都大總人圖》	
二二六八	クロエガア ハイネ・ウキーク 物語	一八九九	□
《°三高》*		《京都大總人圖》	
二二六九	グレーフアア エドウキンが補習時間を課せられの事	□	□
《°三高》*		《京都大總人圖》	
二二七〇	全 故シ[シレ]ムケス夫人(滑稽小説 伯林生活)	□	□
《°三高》*		《京都大總人圖》	
二二七一	全 青色判事	□	□
《°三高》*		《京都大總人圖》	

二二七二	グロート 母の言葉	一九〇五	□
		《金澤大中圖》	
二二七三	カモツル美久 「ソーントン夫人の計策」	一九〇七	英文
二二七四	クリユードツ[ウ]ン 仲買人	一九〇五	英文
		《金澤大中圖》	
二二七五	クリツフオード 最後の接觸	一八九三	〃
		《金澤大中圖》	
二二七六	グレットン イングラム	□	〃
		《金澤大中圖》	
二二七七 ^{ab}	ゲルシテツカア 曲馬師	□	□
二二七八	全 其他 ミシツピ 物語 其他	□	□
二二七九	ゲルハルド ヨドウテン街に於て	□	□
二二八〇	ケトヴオエヌ 村の公證人	□	□
二二八一	ゲーテ ヘルマンとドロテーア	一八九五	□
二二八二	ゴットヘルフ 小作人ウーリ	一八四九	□
二二八三	ゴンクール エリザ	一九〇五	□

二二八四	コリンズ 白衣の女	□	英文
二二八五	コールラオシュ セヴェリイ 著「ジオンダロウの死」	□	□

二二八六	コレリ	テルマ 前篇	□	英文
二二八七	コンラード	眞紅の闇	□	□
二二八八	全	機會	□	英文
二二八九	コンラード ラムロ	時計草	□	□
二二九〇	コナン・ドイル著	「踊り人形」外探偵小説	□	□
二二九一	ラウテンバツハ グライナア ¹⁹⁹	コナン・ドイル著「シヤールックホルムス・一年」	一九〇八	□
二二九二	□	全 「バスカーヴキユの犬」	一九〇七	□
二二九三	□	全 「四」の記號	一九〇二	□
二二九四	コナン・ドイル	密[蜜蜜]柑の種(獨譯)	□	□
二二九五 ^{ab}	全	クルームバアの神秘	□	英文

い-299-

二二九六	ザルトリユス	迷い・野うばら其他	□	□
二二九七	サマロウ	英雄と皇帝	□	□
二二九八	シュリヒト	ペンジオノボリス 第二卷	□	□
二二九九	全	豫備少尉	一九〇七	□
二三〇〇	全	グツシ男爵夫人	一九一三	□
二三〇一	シュビン	蔭[蔭陰]翳	一八九三	□
二三〇二	全	白や(犬小説)	一九〇〇	□
《新潟高》*				
二三〇三	シヨーベルト	醜女 第三卷	一九〇二	□
《新潟高》*				
二三〇四	シヨルツ譯	ゴルキ著世界の痛苦	一九〇一	□
《新潟高》*				
二三〇五	シトラウス	天使の王	□	□
《新潟高》*				
二三〇六	シターヴェ	雪に埋るゝ焰	□	□
《新潟高》*				
二三〇七	シエル	シエル小説集 第一・第二卷[:] シルラア	□	□

い-300-

二三〇八	シユツエ	啓ちゃんと角ちゃんとあたい	一九〇一	□
			《信州大松本圖》?	
二三〇九	スコウロネーク	許嫁船	□	□
二三一〇	スペル	往時の眞面目と戯れ「斯くありき」	一九〇二	□
二三一一	ステングリ	正しき者	□	□
			《信州大松本圖》?	
二三一二	スプリングルド譯	白耳義物語 クラリツサ	□	□
			《山口大總圖》	
二三一三	ヴオーターア・スコット	「セント ロナン」の井戸	□	□
二三一四 ^{ab}	スコット	イヴンホー(獨譯)	□	□
二三一五	ステヴンス	サラの樂園	□	英文
			《山口大總圖》	
二三一六	スタリプール	珊瑚船	□	英文

《山口大總圖》

二三一七	スチュアート	無茶苦茶	□	英文
二三一八	ステイル	キング ユラント	□	英文
二三一九	ホーレー・スマート	廻る砥石	一九〇七	英文

い-301-

二三二〇	ステフエンス	金壺	一九一二	英文
二三二一	ストエバア	ガスタインの仕立屋其他	一八九六	□
二三二二	セイプト譯	ヂツケンス著クリスマスの夜其他	□	□
二三二三	オイン・ゼルビッツ	バイエルン往時軍人生活「今は昔」	一八九五	□
二三二四	セーンピエール	パウルとヴ[ア]ーヂニイ(獨譯)	一八九九	□
二三二五	ゾンネンブルグ	ウエスタアランドの船長	□	□
二三二六	ゾフアア譯	アイル著彼女は彼を教育すべし	□	□
二三二七	ゾーン	誘惑	□	□
二三二八	ゾムマアフェルド	カモラ組の秘密	□	□
二三二九	ゾラ	ルールド	□	□
二三三〇	全	テレーゼ・ラクキン	□	□
二三三一	全	パスカル博士	□	□

い-302-

二三三二	全	アベモレの罪	□	□
二三三三	□	ゾラ著クラウドの懺悔	□	□
二三三四	□	全 ニノンへの物語	□	□
二三三五	□	全 「巴里の胃袋」	□	□
二三三六	□	全 生の樂み	□	□
二三三七	ゾラ	候[候侯]爵夫人の肩	一八九九	□
二三三八	ヴァイツテリイ譯	ゾラ著「羅馬」	一九〇四	英文
二三三九	ヘルリング譯	全 撲殺者	□	□
二三四〇	ホルヒヤート譯	「オイゲン・ルーゴン閣下」	□	□
二三四一	ローゼ譯	ゾラ著僧侶の失脚	□	□
二三四二	ワーゲホーフエン	全 「一少年の告白」	□	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二三四三(I-II)	ダヌンチオ	享樂 第一卷・第二卷(獨譯)	□	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》

い-303-

二三四四	タネラ	センホラ アニンハ(ブラジル小説)	□	□
《京都帝大》* ³⁰				
二三四五	チーグラア	線の水	□	□
《京都帝大》*				《京都大附圖》
二三四六	チイナン	ジュリヤ	□	(英文)
《京都帝大》*				

³⁰ “誤り。二三四四—タネラ—センホラ—アニンハ(ブラジル小説)”(傍線[下線]赤鉛筆)とす。

二三七〇	ノッタア譯	バルワア著「オイゲンアラム」第一卷	□	□	「金澤大中圖」
二三七一	カール・ハンゼン	ヘンリツク エツテ	一九〇四	□	「金澤大中圖」
二三七二	フオン・ハイゲル	侮慢者	□	□	
二三七三	パスクエ	ハンス・クレールベルヒ	□	□	
二三七四	ピアツリス	バラドウン夜航船	□	□	(英文)
二三七五	バルチエ	エリザベト・コエツト	□	□	
二三七六	バイヤアライン	シミルデ・ヘーゲワルド	□	□	
二三七七	ゴウテイジンシ シ伯爵夫人	露西亞を戀ひて	□	□	
二三七八	ハーゼ	沼地にて	一九一二	□	
二三七九	ハルト	チターネンの家	一九一四	□	
い-306-					
二三八〇	バルツアク	老嬢	一九一〇	□	
二三八一 ^{ab}	ハース	グルンドの山守	□	□	
二三八二	ハールハウス	錫杖の下に	一九〇六	□	
二三八三	パルロウ	丁抹の國旗と獨逸の國旗	□	□	
二三八四	バルテルス	デイトリツヒ・ガブラント 第一卷	一八九九	□	
二三八五	ハイベルグ	藥劑師ハインリツヒ	□	□	
二三八六	全	他人 一度は天に	□	□	
二三八七	ハツクレンダア	藝術家 第三編	□	□	
二三八八	全	タンホイザア	一八八九	□	
二三八九	□	ハウフ短篇集	□	□	
二三九〇	ウキルヘルム・ハウフ	帝の肖像其他	□	□	
二三九一	ハウフ譯	トルストイ著「戰と平和」	□	□	
い-307-					
二三九二		缺番			
二三九三	□	バウルディング著和蘭軍 第二編(獨譯)	一八三八	□	
二三九四	ハイヒエン譯	ゾラ著夢	□	□	
二三九五	全 譯	ヴェルン著完備	□	□	
二三九六	全 譯	全 メキシコ物語	□	□	
二三九七	全 譯	全 地球より月へ	□	□	
二三九八	全 譯	全 月世界旅行	□	□	
「新潟高」*					
二三九九	全 譯	全 征服者ロブール	□	□	
「新潟高」*					
二四〇〇	全 譯	全 苦難の支那人	□	□	
「新潟高」*					
二四〇一	全 譯	全 焰の島海	□	□	
「新潟高」*					
二四〇二	全 譯	全 「酸博士の空想」	□	□	

«新潟高»*

二四〇三	全 譯	全	富札九六七二號	□ □ «信州大松本圖»?
い-308-				
二四〇四	全 譯	全	金剛石の國	□ □ «信州大松本圖»?
二四〇五	全 譯	全	帆船シヤンツエロア	□ □ «信州大松本圖»?
二四〇六	全 譯	全	毛皮の國	□ □
二四〇七	全 譯	全	「マイスタア・アンティファア」	□ □ «信州大松本圖»?
二四〇八	全 譯	全	「クラデキユス・ボムバルナク」	□ □ «山口大總圖»
二四〇九	全 譯	全	アマゾン四千里 チャンガダ	□ □ «山口大總圖»
二四一〇	全	全	エロヴキス・ダーデントル	□ □ «山口大總圖»
二四一一	全	全	線光	□ □ «山口大總圖»
二四一二	全	全	ツアールの飛脚ミハエル・ストロゴツフ 第一卷	□ □ «山口大總圖»
二四一三(I-II)	全	全	アチアス・ザンドルフ 第二卷・第三卷	□ □ «東京外大附圖»
二四一四(I-II)	全	全	強情者ケラバン 第一卷・第二卷	□ □ «東京外大附圖»
二四一五	全	全	蒸氣家屋 第二卷	□ □ «東京外大附圖»
い-309-				
二四一六	ハイヒエン譯	ヴエルン著	海の英雄 第二卷	□ □ «東京外大附圖»
二四一七	全	全	法外の遺言 第二卷	□ □ «東京外大附圖»
二四一八	全	全	ハツテラス船長の冒険 第二卷	□ □
二四一九		缺番		
二四二〇		缺番		
二四二一	全	全	アマゾンの筏 第二卷	□ □
二四二二(I-II)	全	全	休暇二年 第一卷・第二卷	□ □
二四二三(I-II)	全	全	少年フキンリングー名兒供商會百貨店 第一卷・第二卷	□ □
二四二四	全	全	グランド船長の兒 第一[:] 亞米利加	□ □
二四二五	全	全	全 第二[:] 濠洲	□ □
二四二六	全	全	無名の家族 第一卷・第二卷	□ □
二四二七(I-III)	全	全	海底二萬哩 第一卷・第六卷・不明	□ □

い-310-

二四二八	全	全	秘密島 第一卷[:] 難破氣球	□	□
二四二九	全	全	全 第二卷[:] 島の秘密	□	□
二四三〇 ^{ab}	全	全	全 (不明)	□	□
二四三一(I-II)	全	全	十五歳の船長 第一卷・第二卷	□	□
二四三二(I-II)	全	全	大陸發見 第一卷・第二卷	□	□
二四三三(I-II)	全	全	ヘクトル・セルヴアダアの冒険 第一卷・第二卷	□	□
二四三四	全		モース著「フルの息子」	□	□
二四三五	フォン・ツアイーリツチユ	全	全	□	□
二四三六	パリツシュ	ベツスナーヴェル		一九〇七	(英文) 《佐賀大附圖》
二四三七	ハツガアド	ソロモン王の富源		□	(〃)
二四三八	ハイネ	ダイヤモンドの製法		□	(〃)
二四三九	ヒアン	不正官吏(米國・支那探偵小説)		□	□

い-311-

二四四〇	ビーヤナツキ	沖の小島	—z北海の難船者	□	□
二四四一	ビヨルンソン	日蔭が岡		一九〇八	□
二四四二	ヒツクサル	帝王の溪谷		一九〇九	(英文)
二四四三 ^{ab}	フレンセン	ヨルン・ウール		一九一二	□
二四四四	ブリーガア	バルサアク	著「金色の眼の少女」	□	□
二四四五	ブリーガア	バルツアク	著「仙丹」	一九〇五	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
二四四六 ^{ab}	プロエム	國民の争鬪		□	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
二四四七	全	鐵の年		□	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
二四四八	全	日の國		□	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
二四四九	ファルケ	三人仲よし		□	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
二四五〇	全(I-II)	陸と海邊 第一卷[・]第二卷		□	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
二四五一	フキイビヒ	火中の鐵		一九一三	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》

い-312-

二四五二	全	アイフェルの兒		一九〇三	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
二四五三	□	フォンターズ[スネ]	小説集 第七卷	□	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
二四五四	フォンターズ[スネ]	ラヅルテラ		□	□
					《京都大附圖》
二四五五	フォス	サンセバスチアン		□	□
二四五六	フォツス	ロラ		□	□
二四五七	ブロウトン	花として来る		一九一〇	□

二四五八	ブリッス	弗[弗佛?]娘	□	□
二四五九	フラットハス	異郷	□	□
二四六〇	フリーデンベルグ	譯クウパア著「水魔」	□	□
			《東北大附圖分館》	
二四六一	フアーノル	天麩羅紳士	一九一三	□
			《東北大附圖分館》	
二四六二	フキシヤア	少女	一九一一	□
二四六三	オツベルン フロニコウスキ	譯モーパッサン拔萃短篇	一九〇八	□
			《東北大附圖分館》	

い-313-

二四六四	ブルムボロウスキ	暗き時間其他	□	□
			《東北大附圖分館》	
二四六五	フキンシヤア ザルシタイン	失れたる息子其他	□	□
《°三高》*			《京都大總人圖》	
二四六六	フオツク	漢堡海員	□	□
《°三高》*			《京都大總人圖》	
二四六七	フキルポツツ	旋風	一九〇八	(英文)
《°三高》*			《京都大總人圖》	
二四六八	全	河	□	□
《°三高》*			《京都大總人圖》	
二四六九	ファウト	下宿人	□	(英文)
《°三高》*			《京都大總人圖》	
二四七〇	ヘルマン	クビンケ	一九一〇	□
			《金澤大中圖》	
二四七一	ヘルツフモード	譯ガルボルグ著倦[捲倦]みたる心	一九一一	□
			《金澤大中圖》	
二四七二	ヘルツオーグ	水蜻蛉	□	□
			《金澤大中圖》	
二四七三	ベルフアル	愛人	□	□
			《金澤大中圖》	
二四七四	ベシユカウ	世界と女と馬車馬と	□	□
			《金澤大中圖》	
二四七五	ベル	おゝクリステイナ!	□	(英文)

い-314-

二四七六	ベル	譯エバアス著「ウウルダ」	一八八二	(英文)
二四七七	ベンソン	葛かづら	□	(〃)
二四七八	ベツヒヤア	譯リチ著船乗	一八九九	□
二四七九	ジエームス	ペイン「他人の重荷」	一八九七	(英文)
二四八〇	ペムバアトン	自轉車を驅った人	□	(〃)
二四八一	ホフマン	悪魔の藥汁	一九〇八	□
二四八二	全	フリツツ伯母ちゃん	一八九九	□
二四八三	ホエツカア	金と石	□	□
二四八四	全	探偵小説 無鐵砲の道	□	□
二四八五	全	ザンクト・モリツツの太陽	□	□

二四八六	全	無冠の王者	一九一三	□
二四八七 ^{ab}	ポパアト	ヘルムート・ハリンガ	一九一一	□
い-315-				
二四八八 ^{ab}	ボエラウ	古ワイマール物語 夏文筐	□	□
二四八九	ホルベルヒ	リンドナウ	□	□
二四九〇	ホルレンダア	シャーロット・アヂユツテイ	□	□
二四九一	ホルバウアー	アルフオン ドウデ著フロモトジユンとリスラアセン	□	□
二四九二	ホルツ	六〇〇年後	□	□
二四九三	ボクラウスキ	動遙[遙搖]時代より	□	□
二四九四	□	ポラツエク著マラツハ黨	□	□
二四九五	ポエツツル	維納生活「禿山」	□	□
二四九六	ホルツエンドルフ	譯ステヴエンソン著ホラポイ嬢	□	□
二四九七	ボイスキンベルト	世界滅亡	□	□
二四九八	ポー	寂しき物語(短篇集)	□	□
二四九九	ホーナング	スチンガリイ	□	(英文)
い-316-				
二五〇〇	マイゼルハ [?] ウ [?] ス	フ [?] アンニイ・ロート	□	□
《新潟高》*				
二五〇一	マン譯	バウデイツツ著雪の足蹟	一八九九	□
《新潟高》*				
二五〇二	カピテン・マリヤツト	ラツトリン・デア・レツプア	一八九〇	□
《新潟高》*				
二五〇三	□	マリヤツト著ヤコフ・エールリツヒ	一八九〇	□
《新潟高》*				
二五〇四	マリオツト	上品な婦人	□	□
《新潟高》*				
二五〇五	□	マリツト著老嬢の秘密	□	(英文)
二五〇六	マレイ	水天彷彿	□	(〃)
二五〇七	マレット	金色帆船の難破	一九一〇	(〃)
二五〇八	マツカアシイ	戀の王女	□	(〃)
二五〇九	ヘレン・マサア	ライ麥	一九〇四	(〃)
二五一〇	ミハエリス	エルジイ・リシトナア	□	□
《山口大總圖》				
二五一一	ミユルレムバツハ	長所	□	□
《山口大總圖》				
い-317-				
二五一二	ミツシユ	俳優夫妻	□	□
《山口大總圖》				
二五一三	ミユルラア譯	アツプルトン著「皇帝の襟飾」	□	□
《山口大總圖》				
二五一四	ムシ	ストライキ	□	□

				「山口大總圖」
二五一五 ^{ab}	ツア・メゲデ	フェリチイ	□	□
二五一六	メルルリマン	白髪の貴婦人	□	(英文)
二五一七	メースン	薔薇の宿	□	(川)
二五一八	マ[≠ツア]ーン	寒山風	一九〇六	□
				「東京外大附圖」
二五一九	ヤコブス	船乗戯談	□	□
				「東京外大附圖」
二五二〇	ヤンチエツク	楽しき夫妻	□	□
				「茨城大圖」
二五二一	□	辛き勝 第一編	□	□
二五二二	ユングスト	老嬢の手記「所望と發見」	一八九〇	□
二五二三	ラウフ	マリイ・フェスツーン	□	□
				い-318-
二五二四	ライブテノ譯	チランチエ著死者の眼	一八九九	□
二五二五	ランゲ譯	リイ著千里眼	□	□
二五二六	リヒタア	宮廷太鼓持	□	□
二五二七 ^{ab}	ワール	市會樂手	一九〇四 一九〇五	□
二五二八		缺番		
二五二九 ^{ab}	リリエンクローン	戦争少[少小]説集	一八九九	□
二五三〇	全	熱病船・坊チヤン兵士	一八九七	□
二五三一	リユーメリン譯	オービーン著老嬢の夢	一八九三	□
二五三二	ルツセル著	黄金島	□	□
二五三三	レー	女自轉車乗	一八九七	□
				「山形大中圖」
二五三四	レワルド	伯父	□	□
二五三五	レワルト譯	ヂューマア著「三人の短銃兵」	□	□
				い-319-
二五三六	フリッツ・ロイタア	予が反[疾奔?]流時代より	□	□
二五三七	全	佛蘭人時代の思出	□	□
二五三八	ロゼツガア	ペタア・マイル	一八九九	□
二五三九	ロンドン	燃ゆる日光	□	(英文)
二五四〇	フリードリケ・ローマン	新物語集 第二卷	一八二八	□
二五四一	ハンス・ワルタア	ステツチンの唄ひ手	□	□
二五四二	ロイリイ	ラツジャーの民	□	(英文)
二五四三	ロード夫人	ブレザアトン嬢	□	(英文)
二五四四	全	ロバアト・エルスメア	□	(川)
二五四五	□	生れ故郷にて	□	□
				「京都大附圖」
二五四六	□	舊ハンノーヴァ物語「動搖時代」	□	□
				「京都大附圖」
二五四七	□	イウエツテ	□	□

《京都帝大》*

《京都大附圖》

い-320-

二五四八	□	濱行く人[々] ²	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二五四九	□	戦友ヘツヒエル	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二五五〇	□	吾等が舊友	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二五五一	□	プエブラ 第二	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二五五二	□	軍人小説「土」	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二五五三	□	ミーツエ・ビーデンバツハ ^[1] 「思出の記」 ^[1]	一九〇六	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二五五四	□	武俠漢	□	(英文)
《京都帝大》*				
二五五五	□	女護島	□	(〃)
二五五六	□	數日物語	□	(〃)
二五五七(I-III)	□	恰度 私の様に 第一卷・第二卷・第三卷	□	(〃)
二五五八	□	キヨルシユ ナア文庫 フォン・カッフエツセン タア夫人「召使物語」 アンナ・ピロト「ツルネミユンデ物語」 ブリユードゲン「評論者」 ツオエラア・ライオンハアト「悪舌」 フォン・デーテンロート「動亂時代」	□	□

い-321-

二五五九	□	短編小説集第四編 海洋小説 ネットテルベック「難破船」 ハウフ「幽霊船」 ホフマン「危険なる快船」 イエンゼン「海邊にて」 ボエツク「大沽灣頭淺葱服の獨逸人」 ヴギルダ「ハイチ島に於けるカープ船長の冒険」	一九〇七	□
二五六〇	□	エブナア, エツシエンバツハ, ロゼツガ其他八傑作集	□	□
			《東北大附圖分館》	
二五六一	□	近代傑作集 アンツエン グルーバア グロル ラア イエンゼン ロゼツガア等	□	□
			《東北大附圖分館》	
二五六二	□	ブレンターノ ホフマン テヨンケ 獨逸諷刺小説集	一九〇八	□
			《東北大附圖分館》	
二五六三	□	新進作家傑作短篇集	□	□
			《東北大附圖分館》	
二五六四	□	一九世紀傑作集 第一卷	□	□
			《東北大附圖分館》	
二五六五	□	ハイゼ ライストナア共編 新獨逸小説集 第二十四卷	一八八七	□
《°三高》*			《京都大總人圖》	
二五六六	□	ロゼツガア ウキ[-]スバーデン國民文庫 没落村	一九〇二	□
《°三高》* ³²			《京都大總人圖》	

³² “二五六六 ロゼツガア ウキ[-]スバーデン國民文庫 没落村「没落日村」”(傍線[下線]: 赤鉛筆; 「没落日村」: 朱筆).

二五六七 ウエツセリイ^{其他} ウヰ[-]スバーデン國民文庫 デイツケン著クリスマスの晩^{其他} 一九〇二 □
 «^o三高»* «京都大總人圖»
 二五六八 イエンゼン^{其他} 全 校長チモトチス^{其他} 一九〇一 □
 «^o三高»* «京都大總人圖»

い-322-

二五六九 ホフマン^{其他} ウヰ[-]スバーデン國民文庫 後れて[≠し]幸^{其他} □ □
 «^o三高»* «京都大總人圖»
 二五七〇 エブナア^{其他} 全 クラムバンプリ 月明 一九〇一 □
 «金澤大中圖»
 二五七一 シトルム^{其他} 全 海の彼方より^{其他} 一九〇一 □
 «金澤大中圖»
 二五七二 シユニツト^{其他} 全 此世の平和^{其他} 一九〇四 □
 «金澤大中圖»
 二五七三 ジルバーシタイン^{其他} 全 ゲルハーブ^{其他} 一九〇四 □
 «金澤大中圖»
 二五七四 ホエフアア^{其他} 全 新兵ロロフ^{其他} 一九〇五 □
 «金澤大中圖»
 二五七五 ゲルシテツカア^{其他} 全 ケルメルスハウゼン^{其他} 一九一〇 □
 二五七六^{ab} ファリユス^{其他} 全 タウン家の末路^{其他} 一九〇六 □
 二五七七 コピツシユ^{其他} 全 カブリ島碧洞窟ノ發見^{其他} 一九〇六 □
 二五七八 ゴツトヘルフ^{其他} 全 クリステンが妻を得たる事^{其他} □ □
 二五七九 □ 全 ロイタア「佛蘭[西]人時代の思出」 □ □
 シルレル「詩集」ドライヤ「文と子」
 二五八〇 □ 全 デイリンガア「釘」 □ □
 ドロステ・ヒユルスホフ「ウエストアフリカノ山毛櫨」
 トルストイ「生の燈消息□□に」 「□老人」
 シユルンバツハ「ヨハネの祝福」 「□薊」
 ステルン「クリスマスの聖壇」

い-323-

二五八一(I-II) □ 獨逸小説文庫 第十三年・第十七年第一卷 一八八九 □
 二五八二 □ 新小説 十一月號 一九一〇 (英文)

(三[三-3]) 稗史

二五八三 □ レトクリツク著セバストポール □ □
 二五八四 レトクリツク サブオマの十字架 第二卷 □ □
 二五八五 全 政治歴史小説「ガエダ・デユツペル」第二編 □ □
 二五八六(I-IV) 全 ヴキラフランカ 第二部[:]十年 自第一卷至第四卷 □ □
 二五八七(I-III) 全 全 第三部 マゲンタとソルフエリノ 第一卷 □ □
 第三卷 □ □
 第四卷 □ □
 二五八八(I^{ab}-III^{ab})全 歴史小説「祕露國王の寶」第二編・第三編 □ □

い-324-

二五八九(I-V) 全 世界統一を 自第一卷至第五卷 □ □
 二五九〇(I-III)ペルジ~~ニ~~アニ サヴオヤの十字 第二卷・第三卷 □ □

二五九一	□	メレシユコウスキ著「レオナルド・ダ・ヴキンチ」	一九一一	□
二五九二	ハプス	エルクマンシヤトリアン著「一八一三年の一徴募兵の話」	□	□
二五九三	ノイマン	ウキリバルド・アレキシス・カバニス	一九一一	□
二五九四	グリーンメルス・ハウゼン	三十年戦争の冒険物語	□	□
二五九五	シヤード譯	エルクマン・シヤトリアン著フアルツブルクの包圍	□	□
二五九六	タイロル	アンチノウス	一八八〇	□
二五九七	エルクマン シヤトリアン	一農夫の物語 第三	一八八二	□
二五九八	シトルレ	エルバとワートルロウ	□	□
「新潟高」*				
二五九九	ヴェルネ	北方對南方 第一編	□	□
「新潟高」*				
二六〇〇	フオン・ギルザ譯	キングスレイ著「ピパチア」	□	□
「新潟高」*				

い-325-

二六〇一	ゲツツ譯	ヴキラフランカ 第三部[:] マゲンタとソルフエリノ 第四卷	□	□
「新潟高」*				

(四[四-4]) 物語

二六〇二	アルウエヒ	庵室より(十六世紀の物語)	□	□
			「信州大松本圖」?	
二六〇三	アイヒエンドルフ	大理石像 デュランデ城	□	□
			「信州大松本圖」?	
二六〇四	ウキラツツエン譯	シヤールリング著若き英雄	一八九六	□
			「信州大松本圖」?	
二六〇五	エス・ビー・ウキーガ編	階梯支那研究叢書 通俗物語	一九〇三	(支那文)
二六〇六	グラウブレヒト	鶉籠	□	□
			「信州大松本圖」?	
二六〇七 ^{ab}	クライスト	ミハエル・コールハウス	一九〇七	□
二六〇八	ゲルシテツカア	ミシシツピ物語	□	□
二六〇九	全	米國南北物語	□	□
			「山口大總圖」	
二六一〇	ジーバアト	愛の種々	一九〇七	□
			「山口大總圖」	

い-326-

二六一一	シュミーデベルク	白頭の前には起立して長者を尊べ	一九〇一	□
			「山口大總圖」	
二六一二	シトラウス	力の争ひ	一九〇八	□
			「東京外大附圖」	
二六一三	シュワルツ	鶯の墓(ネグロ物語) 第一卷	一八九〇	□
二六一四	C.L.博士	モール著快樂主義者	一八九七	□
			「東京外大附圖」	
二六一五	スチルゲバウア	ゲツツ・クラフト	□	□
二六一六	ゾーンレイ	フリーデジンヒエンの生涯	一九〇四	□

二六一七	チンマアマン	回想		□	□
二六一八	デユスタアホッフ	祈らば甲斐あり	一九〇六		□
二六一九	トロイムンド	国民恩人の生活より		□	□
二六二〇	ナトウヅウス	ランゲンシタインとボフリンゲン	一八九一		□
二六二一	ノイマン	ブランデンブルグ門の靴磨少年	一九〇一		□
二六二二		缺番			

い-327-

二六二三	パンウキツツ	譯 セント・リンプソン著平原動物と其運命	一九一〇		□
二六二四	ハレム	お菓子のリイゼ・お友達		□	□
二六二五	ヒューブナア	スチマンスキイ著亞[亞西]伯利亞物語		□	□
二六二六	フライ	コマンチエスの酋長 灰色の狼		□	□
二六二七	フェルゼネク	北極のポール迄		□	□
二六二八	フアルケンホルスト	亞米弗利加に於ける若き獨逸 第三[:] バガモヨの椰子樹の下		□	□
二六二九	全	亞米弗利加の小獨逸 第四[:] ムロゴロの珈琲栽培者		□	□
二六三〇	ブーフ	名の爲めに	一八九七		□
二六三一	ブレンネカーム	村の記録より	一八八九		□
二六三二		缺番			
二六三三	ヘルレン	自由	一八九七		□
					《山形大中圖》 [?]
二六三四	ホエツカア	轉ばぬ先の杖(上部シレジヤ物語)	一九〇〇		□

い-328-

二六三五(I-II)	ホツペンザツク	カール・マルテン 第一編・第二編	一八八〇		□
二六三六	M. V. O.	平和攪亂者	一九一四		□
二六三七	ミユルラア	樂長		□	□
二六三八	全	懸崖の邊(普佛戦争物語)	一八九四		□
二六三九	ユストウス	干潮と満潮		□	□
二六四〇	リンデン	生活の學校	一八九八		□
二六四一	リリエンクローン	六十一聯隊の軍旗		□	□
二六四二	ロゼツガア	永劫の光	一九〇八		□
二六四三	全	夫 マルテイン	一九〇五		□
二六四四	全	ゴットリーブ・アルチビヤデス・ペングラート		□	□

(二) 傳説・偶[偶寓]話・お伽噺

い-329-

二六四五	ジムロツク	ニーベルンゲンの歌		□	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
二六四六	ウオルフ	幽霊船	一八九二		□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
二六四七 ^{ab}	モーニケ	譯 テグナア著「フリチヨーフ傳説」		□	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》
二六四八	コエネ	イゼン湖物語		□	□
《京都帝大》*					《京都大附圖》

二六四九 ^{ab}	ハウフ	リヒテンシタイン(傳説小説)	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二六五〇	ルンド	ミュレンホツフス編「シユレウスウキヒホルシダインの傳説」	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二六五一	フオニホルン	ライン(ライン地方傳説物語[])	一八八一	□
《京都帝大》*				
二六五二	□	ザイデル物語集 第三卷[:] 地方傳説	一九〇〇	□
			《京都大附圖》	
二六五三	ワルドミュルラドン・アドーナ		一九〇一	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二六五四	ハイヒエン譯	バザイル著「パンタメローネ」物語 一名ダーイヌ王妃物語	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二六五五	□	千一夜物語	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	

い-330-

(ホ) 雜

二六五六	□	獨逸諧謔集	□	□
《參謀本部》				
二六五七	ブリーゼン	自由市民書翰	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二六五八		缺番		
《京都帝大》* ³³				
二六五九	□	舞臺 第六年 第一卷	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二六六〇(I-III)	□	ウエスタアマン月刊雜誌	□	□
		全 第四十五卷 二月号	一九〇四	□
		全 第二卷	一九〇六	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二六六一(I-IV)	□	フェルハーゲンクラシグ月刊雜誌第二卷	一八九五 - 九六	□
		全 第一	一八九六 - 九七	□
		全 第二	〃	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	

い-331-

二六六一(I-IV)	□	フェルハーゲンクラシグ月刊雜誌第十八年第七號	一九〇四	□
《京都帝大》*				
二六六二	□	政治並に文學雜誌「新ルンドシヤウ」第一卷	一九〇八	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	
二六六三	滑稽新聞社	一九一〇年度滑稽新聞曆	□	□
《京都帝大》*			《京都大附圖》	

(二) 美術

二六六四	ハート	支那藝術中 外國の影響	一八九六	□
《陸軍經理建築》				
二六六五(I-II)	バツシエル	支那美術 第一卷・第二卷	二九〇六	(英文)

³³ “二六五八 □ 缺番”(傍線[下線]赤鉛筆)とす。

「陸軍經理建築」				
二六六六 ^{ab}	パレオログ	支那美術	一八八七	(佛文)
「陸軍經理建築」				
二六六七	ジツテ	藝術的原則より見たる都市建設	一八八九	□
「陸軍經理建築」				
二六六八	ボーン	一一〇〇 - 一一〇六年代の李龍眼[眠眠]の繪畫	一九〇七	□
「陸軍經理建築」				
二六六九	パステルン	ローマン式[・]ゴシック式裝飾畫圖集(二八葉)	□	□
「陸軍經理建築」				
二六七〇	ワスマート編	壁畫集 第一輯	□	□
「陸軍經理建築」				
				い-332-
二六七一(I-II)	ギユランド	支那の陶器 第一卷・第二卷	一九〇二	(英文)
「陸軍經理建築」				
二六七二	チムマアマン	支那の陶器 第一卷(記事)	一九一三	□
「陸軍經理建築」				
二六七三	ボツク	フローレンツ及ベネチヤ式額椽[椽縁](ゴシック及レネツサン時代)□	□	□
「陸軍經理建築」				
二六七四	原信吉補導 ブリックマン	日本刀劍裝飾巨匠	一九〇二	□
「陸軍經理建築」				
二六七五	レヴキイ	レッシング著「ラオコーン」	一八七九	(支佛文)
「陸軍經理建築」				
二六七六	メンワール シャープアン	譯記註兩漢之石刻	一八九三	(佛文)
「陸軍經理建築」				
二六七七	□□□□□□	メツゲンドルフアア畫報	一九〇九	□
「陸軍經理建築」				
二六七八	□	美術彙報 第二年四月 - 九月	一八八七	□
「陸軍經理建築」				

(三) 音樂

二六七九	フロムメル	「日常生活に於ける藝術」「ヘンデルとバツハ」	一八九八	□
二六八〇	ブルノウ	露西亞音樂	□	□
				い-333-
二六八一	ストランツ	オペラ補導	□	□
二六八二 ^{a-e}	シュワルツ	男聲合唱帖	□	□
二六八三	普魯西陸軍省	行軍曲	一九一二	□

0. 雜書

二六八四(I-III)	アンリイ・コルデキエ編	支那帝國に於ける著書案内 第一卷第一編	一九〇四	(佛文)
		全 第二編	〃	(〃)
		第二卷第一編	一九〇五	(〃)
二六八五	□	膠州圖書館圖書目錄原稿	□	□
二六八六	□	膠州總督府工務部圖書目錄	一九〇五	□
二六八七	□	モエルレンドルフ圖書館圖書目錄	一九〇五	□

二六八八	□	オックスフォード大學出版部圖書目錄	一九一三	□
二六八九	□	工藝科學圖書出版目錄	□	□
二六九〇	□	フオルクマール・スタークマン一九〇八-〇九年度在庫圖書目錄	□	□
二六九一 ^{ab}	□	一九一二年度ヒンリックス書店半期目錄	□	□
二六九二	□	ポリタアファイ書店目錄	一九〇七	□
二六九三	□	オゼリユス書店法律及政治學圖書目錄	一九一三 - 一四	□
二六九四	□	カメラードシャフト書店圖書目錄	□	□
二六九五	□	ライプチヒ市ストレアラ書店現金販賣圖書目錄	一九〇九	□
二六九六	□	オーベンドルフ・ザイデル商會製圖用具カタログ	□	□
二六九七 ^{ab}	□	一九一二年度漢堡コンラードベーレ書店目錄	□	□
二六九八	□	グセリユス書店提要類目錄 第九	□	□
二六九九	□	タリ ² タアファイ書店目錄	一九〇四	□

二七〇〇	□	伯林ウキツヒマン目錄(製圖具店)	一九〇六 - 〇七	□
二七〇一	□	組合家族其他餘興案内(戯曲書目錄)	□	□
二七〇二(I-II)	□	フローベルグ 體操練習法 第一卷・第二卷	一九一一	□
二七〇三		缺番		
二七〇四	□	伯林體育組合 器械體操練習表	一九〇五	□
二七〇五	□	ゴエツリユール 獨逸體操館建築及設備案内 «陸軍經理建築»	一九〇九	□
二七〇六 ¹⁻⁷²	□	伯林體育給組合 獨逸體操唱歌集	□	□
«京都帝大» ^{*34} ・« [∨] 東北帝大» ^{*35} ・«北海道帝大» ^{*36} ・« [°] 三高» ^{*37} ・«新潟高» ^{*38} «京都大總人圖»・«東北大附圖本館»・«北海道大附圖»・«東京外大附圖» ・«信州大松本圖» ^{?39} ・«東北大附圖分館»・«九州大中圖» ⁴⁰ ・«佐賀大附圖» ⁴¹ ・«金澤大中圖» ⁴² ・«福島圖研» ^{?43}				
二七〇七	□	ヨット俱樂部「キーラアウオツヘ」史(一八八二 - 一九〇七)	□	□
«京都帝大»*			«京都大附圖»	
二七〇八(I ^{ab} -V)	□	一九〇五年度帝國ヨット俱樂部年鑑	□	I ^{ab}
		一九〇七年度 全	□	II
		一九〇八年度 全	□	III
		一九一〇年度 全	□	IV

³⁴ “16-21 二七〇六¹⁻⁷²”とす.

³⁵ “22-24 二七〇六¹⁻⁷²”とす.

³⁶ “28-30 二七〇六¹⁻⁷²”とす.

³⁷ “37-39 二七〇六¹⁻⁷²”とす.

³⁸ “58-60 二七〇六¹⁻⁷²”とす.

³⁹ 3冊.

⁴⁰ 3冊.

⁴¹ 3冊.

⁴² 3冊.

⁴³ 1冊(渡邊氏惠送複印に據る).

		一九一二年度	全	□	V
「京都帝大」*					「京都大附圖」
二七〇九	ウキルダ	帝室ヨツト「メテオル」米國遠航記		一九〇二	□
「京都帝大」*					「京都大附圖」
二七一〇	□	一九一〇年度獨逸フットボール年鑑		□	□
「京都帝大」*					「京都大附圖」
二七一〇	□	一九一六年第四回オリムピック競技會海軍準備書		□	□
「京都帝大」*					
二七一二	グルーベ	瑞西アルプ界より		一八七七	□
「京都帝大」*					「京都大附圖」
二七一三	エムマア	獨逸アルプス協會組織及管理		一八九三	□
「京都帝大」*					「京都大附圖」
二七一四(I-II)	□	獨逸アルプス協會會報		二九〇三	□
「京都帝大」*					「京都大附圖」
二七一五 ^{a-d}	□	一九〇八 - 〇九年度青島登山協會年報		□	□
二七一六 ^{abc}	獨逸將校組合	旅行案内		一九〇四	□
二七一七	□	マイヤア旅行案内「ライン地方」		□	□
二七一八	ライマアス	歐羅巴及南米旅行案内		□	(獨西文)
二七一九	□	北獨逸ロイド會社亞西[西細]亞濠洲旅行案内		一九〇四	(英文)

二七二〇	□	獨逸及埃太利鐵道時間表	一〇, 一一月號	一九〇九	□
二七二一	ロツコ	社交形式		一八九六	一
二七二二	カール・オット	家庭節用(書翰文範)		□	□
二七二三	□	家庭の友	六月 - 十二月	□	□
二七二四	キューブラア	家庭料理法		□	□
「陸軍糧秣本廠」					
二七二五	ブロードマイヤ	船内料理書		一九一三	□
「陸軍糧秣本廠」					
二七二六	デーゲナア	獨逸紳士録		一九一三	□
二七二七	□	帝國銀行振替勘定口座所有者名簿		一九〇八	□
二七二八(I-VI)	□	一九〇三年度獨逸殖民地商業人名録		□	□
		一九〇四年度	全	□	□
		一九〇七年度	全	□	□
		一九〇八年度	全	□	□

		一九〇九年度	全	□	□
		一九一四年度	全	□	□
二七二九(I-VI)	フキツチア	獨逸ニューギニア・マーシャル島・サモア・膠州殖民地人名録		一九〇三	I
		全		一九〇六	II
		全		一九〇八	III
		全		一九〇九	IV
		全		一九一〇	V ^{ab}
		全		一九一二	VI
二七三〇(I-XI ^{abc})	オットローゼ	膠州殖民地及山東省人名録		一九〇一	I
		一九〇三 - 〇四年度	全	□	II ^{ab}

一九〇五年度	全	□	III
一九〇七年度	全	□	IV
一九〇八年度	全	□	V ^{ab}

い-339-

二七三〇(I-XI ^{abc})	オットローゼ	膠州殖民地及山東省人名録	一九〇九年度	VI	□
		一九〇九 - 一〇年度	全	VII ^{ab}	□
		一九一〇 - 一一年度	全	VIII	□
		一九一二 - 一三年度	全	IX ^{a-d}	□
		一九一四年度	全	X ^{ab}	□
		一九一四 - 一五年度	全	XI ^{abc}	□
二七三一	□	獨逸讀本		□	□
二七三二	□	獨逸國語讀本		□	□
二七三三	マイヤア	中等獨逸語讀本		一九一三	□
				《茨城大圖》	
二七三四	エヴァース	ワルツ	中學獨逸讀本	一九〇七	□
二七三五 ^{a-x}	全	中學獨逸讀本	第三卷	一九〇八	□
				《東北大附圖分館》	
二七三六 ^{ab}	全	全	第五卷	一九〇三	□
《°三高》*				《京都大總人圖》	

い-340-

二七三七		缺番			
《°三高》* ⁴⁴					
二七三八 ¹⁻⁴²	ガブリエリ	共編	獨逸小學讀本 第二卷	一九〇八	□
《°三高》* ⁴⁵	《新潟高》* ⁴⁶			《京都大總人圖》	《東京外大附圖》
				《信州大松本圖》 ²	《金澤大中圖》 ⁴⁷
二七三九	□	ボエツトヒヤア	通信教授(獨語・佛語・算術)	□	□
二七四〇	□	獨逸唱歌集		□	□
二七四一	□	獨逸新唱歌集		□	□
				《東北大附圖分館》	
二七四二	トンガース	國民唱歌集		□	□
《°三高》*				《京都大總人圖》	
二七四三	□	民謡小集		□	□
				《金澤大中圖》	
二七四四 ^{abc}	□	學生醉歌集		□	□
				《東京外大附圖》	
二七四五	ドレイガア	官吏就職案内		一九一三	□
二七四六	□	諸官廳に對する就職申込範例		一九一二	□
二七四七(I-II)	ステツツエレス	編	一八七一年度國民曆一九一二年度	全	□
二七四八 ^{ab}	コエラア	編	一九一一年度獨逸カイザア・カレンダア	□	□

⁴⁴ “二七三七”.

⁴⁵ “[二七三八]^{1-42, 2}”.

⁴⁶ “[二七三八]²⁷⁻³⁰”のみの如し.

⁴⁷ “4册有り”.

い-341-

二七四九	□	一九〇七年度獨逸海員曆	□	□
二七五〇 ^{a-e}	ボエデイカア	國外獨逸人用家族電信暗號	一九〇八	□
二七五一 ^{ab}	□	キール海軍將校集會所酒場電報暗號	一九〇二	□
二七五二	□	獨逸振り	□	□
二七五三	ラートル	獨逸船乘	一九〇〇	□
二七五四	グリグル譯	フラムマクオン著予の空中旅行	□	□
二七五五	テンネツカア	愛馬家提要 第一卷	一八〇一	□
二七五六	グリツヅナア	各國勲章徽章譜	一八九三	□
二七五七	ヒルシユ編	猶太滑稽一口噺	□	□
二七五八	ビンデル	消防祭餘興「何時でも準備あり」	□	□
二七五九	□	一九〇四年度 青島交通新圖	□	□
二七六〇	□	自轉車滑稽雜誌 第十年	一八九七	□

い-342-

二七六一	ゼンフ	萬國郵便切手カタログ	一九一三	□
二七六二	□	山東鐵道會社交通規則附運賃規則	一九〇四	□
二七六三	□	秘中の秘 モーゼ魔法交感術	□	□

い-343-

官有書籍(洋書)追加目録

A. 一般

[I-I] 百科辭典

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
追 1[1-1](I-XXIV)□		マイヤア百科辭典 自第一卷至第廿四卷	(一九〇四 一九一三)	□

「陸軍教育總監」

B. 政治, 法律, 經濟,

[I-I] 政治

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
追 二(I-II)	フライシユマン	獨逸政治法律辭典 第一卷・第二卷	一九一三	□
「參謀本部」				
追 三(I-II)	ビツタア	普魯西行政辭典 第一卷・第二卷	一九一一	□
「京都帝大」*				
追 四(I-VII)	コンラード 其他	政治學辭典 第一卷(I)・第二卷(II) 第四卷(III)・第五卷(IV)	一九〇九 一九一〇 一九一一	□ □ □

い-344-

第六卷(V)・第七卷(VI)・第八卷(VII)

「陸軍教育總監」

追五	ペンツラア	皇帝宰相手簡(ウキルヘルム一世とビスマルク間)	一九〇〇	□
「京都帝大」*				
追六	ローレンツ	官歴[歴廳] 官房勤務	一九一〇	□
「京都帝大」*				
追七	〃	一九一三年拾一月四日訂正膠州總督府令集	□	□
追八	ロールバツハ	殖民地	□	□
追九	ラドラウア	保護領内獨立會計事務及地方行政	一九一〇	□
「陸軍經理校」				
追一〇	グリユーンフェルド	支那[・]日本[・]朝鮮に於ける港灣殖民地と殖民事情	一九一三	□
追一一	支那 人 ツォチエンチョウ	支那帝國ノ改革	一九〇九	□
追一二	フオスカムプ	新舊支那	一九一四	□
追一三	モール	支那に於ける租借地	一九一三	□
追一四	關東都督府	關東都督府第七統計高	大正元年	(日本文)

い-345-

[(二D)] 法律

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註	
追一五	ビルクマイヤア	法律百科全書	一九〇一	□	
「京都帝大」*					
追一六	シ[ツ]オルン ザツセン	グツテンターク法律集 第四九[:]	獨逸殖民地	一九一三 □	
「京都帝大」*					
追一七	アルント	全	第八二[:]	帝國官吏法	一九〇八 □
「京都帝大」*					
追一八	ヒンツエ	全	第一〇五[:]	獨逸保護領財政制度	一九一二 □
「京都帝大」*					
追一九	□	フエヒナア法律文庫	第一卷[:]	法律百科辭典	一九〇九 □
「京都帝大」*					
追二〇	□	全	第一卷、二[:]	法律百科辭典	一九一〇 □
「京都帝大」*					
追二一	□	全	第二卷[:]	帝國司法々規	□ □
「京都帝大」*					
追二二	□	全	第三卷[:]	民法及商法々典	□ □
追二三	□	全	第四卷[:]	各種法典	□ □
「京都帝大」*					
追二四	□	全	第五卷[:]	普魯西行政法	一九〇九 □
「京都帝大」*					

い-346-

追二五	□	ス[フ]エヒナア律文庫	第六卷、一[:]	帝國租稅法	□ □
「京都帝大」*					
追二六	□	全	第六卷、二[:]	普魯西租稅法	一九〇九 □
「京都帝大」*					
追二七	□	全	第七卷[:]	社會政策法 第一編	□ □
「京都帝大」*					
追二八	□	全	第九卷、一 第九卷	補遺編	一九一一 □
「京都帝大」*					

追二九	全	第一二卷 <small>補遺編</small> (鐵道交通條例其他)	一九〇九	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
追三〇	全	補遺編第一・第三	□	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
追三一	全	俸給法及帝國官吏陸海軍俸給條例	□	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」
追三二	ヘフタア	現代に於ける歐洲の國際法	一八八八	□
追三三	ツオルン	國際法の特質	一九〇三	□
追三四	シユラム	倫敦海戰法會議々事竣に決議(一九〇八年十二月 - 一九〇九年二月)	一九一一	□
追三五	ジークリン	殖民地司法	一九〇八	□
追三六	ガライス	獨逸殖民法	一九〇二	□

い-347-

追三七(I-XI)	チムマアマン	獨逸殖民地立法集	第三編 一八九七 - 一八九八年	一八九九	I
			第四編 一八九八 - 一八九九年	一九〇〇	II
			第五編 一八九九 - 一九〇〇年	一九〇一	III
			第六編 一九〇一 - 一九〇二年	一九〇三	IV
			第七編 一九〇三年	一九〇〇	V
			第八編 一九〇四年	一九〇〇	VI
			第九編 一九〇五年	一九〇〇	VII
			第十編 一九〇六年	一九〇貳[貳二]	VIII
			第十二編 一九〇八年	一九〇九	IX
			第十一編	一九〇八	X
			第十三編 一九〇九年	一九一〇	XI
追三八	ドエル	獨逸殖民地刑事訴訟法		一九一三	□

い-348-

追三九	ウオルフ	民法々典註釋		一九一三	□
追四〇	ビルク ヒルシュベルグ	獨逸保護領内不動産法		一九一二	□
追四一	□	支那帝國礦山法		一九〇八	□
追四二	グロノウ	裁判官指針		一九一四	□
追四三	ボンフキルス	國際法講義		一九〇四	□

[(I)三(D)] 經濟

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
追四四	リーフマン	カルテルとトラスト	□	□
「京都帝大」*				「京都大附圖」

C. 陸軍

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
追四五	ヘルンシュト	陸軍刑法	一九〇五	□
追四六	□	戰時衛生條例	一九〇七	□
「陸軍醫務醫事」				

い-349-

D. 歴史

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
追四七	フオーグト	一八六二 - 一八九〇年間世界歴史	一八九二	□

「京都帝大」*

E. 地理

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
進四八(I-II)	リヒトホーフエン	支那地圖 第一編[:] 北支那 第二編[:] 南支那	一八八五	□
進四九	スチルゲバウア	再役下士用地理學	一九一三	□
				「京都帝大」*
進五〇	フランケ	直隸省熱河地方誌	一九〇二	□
進五一	南部山東新教々會	儒教の遺物	一九〇六	□

F. 美術

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
進五二	グラースア	東西の美術	□	□
「陸軍經理建築」 ⁴⁸				

ろ- 1-

官有書籍(漢書)目録

第一 經書子類(哲學 教育學)

假番號	書 名	卷	冊數	摘要
五	皇朝四書彙解	一 - 七五	一二	□
「陸軍教育總監」				
二二	論語本義官話	全	二七四	□
「陸軍教育總監」				
一九	四書古註群義彙解	四書改錯卷一 - 二二二 孟子正義卷一六 - 三〇五 大學古本記	五	中庸章段 中庸餘論 論語札記上、中、下 孟子札記上、下
「陸軍教育總監」				
五八	孟子正義	一 - 一五	二	□
「陸軍教育總監」				
四五	孟子講義 學庸講義	一[-]一 一[-]四	六 二	□
「陸軍教育總監」				
二六	二論講義	一[-]一〇	四	□
「陸軍教育總監」				
八〇	義論讀本	全一	一	□
「陸軍教育總監」				
三四	莊子	一 - 一〇	四	□
「陸軍教育總監」				
四一	淮南子	一 - 二〇	六	□
「陸軍教育總監」				
ろ- 2-				
四四	朱子語類	一 - 一四	四八	□
「陸軍教育總監」				
七九	蒙學初歩	七六課 - 一二〇課	一	□

⁴⁸ 「所在不明」(「圖書分配表」1922., MF No. 0124, 頭註).

《陸軍教育總監》			
七六 簡明修身教科書	一	二	□
《陸軍教育總監》			
八 訂最新修身書	三, 八, 九, 一〇	七三	卷三, 三册 卷八, 一六册 卷九, 二十七册 卷十, 二十七册
《陸軍教育總監》			
七五 最新修身教科書	一	一一	□
《陸軍教育總監》			
七四 最新修身教科書教授法	四 - 六	四	□
《陸軍教育總監》			
七三 新初等小學修身教科書教授法	三	二	□
《陸軍教育總監》			
一二 約翰傳福音書	一章 - 二十二章	一	□
二四 舊約全書	一章 - 二二章	一	□

第二 央[央史]傳

一三 御批歷代通鑑輯覽	六九 : 二三 三九 : 一三〇	二二	卷一 : 五 缺 卷二四 : 三八
-------------	---------------------	----	----------------------

ろ- 3-

四 國朝先正事略	一 - 六〇	八	□
《陸軍教育總監》			
三 續先正事略	一 - 八	二	□
《陸軍教育總監》			
四〇 十六國春秋	一 - 一〇〇	一二	□
《陸軍教育總監》			
六四 綱鑑易知錄 綱鑑易知錄 綱鑑易知錄	一 : 九二 一 : 一五	二三 三	一三 - 一九缺卷
《陸軍教育總監》			
六五 典故列女傳	全一	一	□
《陸軍教育總監》			
七二 萬國央[央史]記	一 - 二〇	八	□
《陸軍教育總監》			
六 讀中國歷史[央史]教科書	上下	六七	上 三十一册 下 三十六册
《陸軍教育總監》			
七一 共和國教科書 新歷史[央史]	甲種	一六	但シ三二五册 二一六册
《陸軍教育總監》			

第三 文學(美術 音樂)

五七 皇朝經世文[編]	一五 - 一九	七四	參謀部保管
五四 李太白文集	一四 - 二二	一	□

ろ- 4-

一 國文課本	□	六三	□
二 繪文學初階	二, 三, 五	一一	卷二, 九册 卷三, 一册 卷五, 一册
五五 西國樂法啓蒙	全一	一	□

第四 辭典(言語學)

一八 說文解字注	一 - 一五	七	□
《陸軍教育總監》			
五九 說文通檢[檢檢]	一 - 一四	一	□
《陸軍教育總監》			

二〇	新增說文韻府群玉 《陸軍教育總監》	一 - 二〇	二〇	□
三九	說文句讀 《陸軍教育總監》	二：四 七：三〇 + 三册	一五	但シ 五 - 六缺卷
三三	佩文韻府 《陸軍教育總監》	卷六六ノ下	一	□
六〇	字母 《陸軍教育總監》	全一	一	□
三一	官話類編 《陸軍教育總監》	三卷	一七	□

ろ- 5-

第五 政刑(經濟)

四九	欽定大清會典	一 - 一〇〇	二四	□
三五	欽定續通典		四七	參謀部保管
四七	大清律例增統纂集成		二三	全上
三二	德意志刑法	全一	二	□
二五	督補則例附纂	上下	一	□
二九	通商約章類纂		一九	參謀部保管
二三	約章述要	一	一	□
二八ノ二	濟南商埠租建章程		二	參謀部保管
二八ノ一	濟南商埠巡警章程		三	全上
六一	通商各關華洋貿易總册 光緒三十三年		三〇	□
六二	通商各關華洋貿易總册 宣統元年		一〇	□

ろ- 6-

六三	通商各關華洋貿易總册 中華民國元年(日)		二	□
九	國法商人通例	全一	一	□
二七	原富部	乙 - 戊[戊戌] ²	六	但シ 用 ² 缺本
一六	大清摺紳全書		六	大清中樞備覽上下二册 折紳全書元亨利貞四册
五〇	山東同官表[表錄 ²]	全一	一	參謀部保管
三〇	萬國公報		一〇	一九二號二册 一八一號一册 一八五號五册 一七七號一册 一八三號一册

第六 武事

第七 天文・地文

三七	山東通志		三八	參謀部保管
四八	歷城縣志		一六	全

ろ- 7-

三六	泰安縣志		一四	參謀部保管
一七	益都縣志		六	全
一四	寧陽讀[讀縣]志(光緒十三年重增修)		一一	全
四二	即墨縣志		八	全

一五	莒州志		一二	全
四三	膠州志		七	全
四六	諸城縣志		一三	全
七〇	地理論	全一	一三	□
一一	最新中國地理教科書	上下	一一八	上 六十七册 下 五十一册
六九	共和國教科書 新地理	甲種	一五	□
五六	中華民國二年才[才歲]次癸丑曆書	全一	一	□

ろ- 8-

第八 傳[傳博]物

一〇	最新格致教科書	全一	一一	□
七	最新理科教科書	一, 二	一七	卷一, 十四册 卷二, 三册

第九 數學

二一	筆算數學官話	七	三	□
六八	蒙[蒙筆]算初步	全一	一六	□
七七	最新筆算教科書	一 - 五	一二〇	但シ 一, 二十册 二, 十八册 三, 十三册 四, 四十五册 五, 二十四册
七八	最新初等小學筆算教科書	一 - 五	八	但シ 一, 一册 五, 七册

第十 醫卜

八一	籌辦山東紅十字會章程	全一	一	□
----	------------	----	---	---

ろ- 9-

第拾一 農商工

六六	種果樹新法	全一	一	□
六七	天津習藝所現行章程	全一	一	□
五二	天津習藝所現行圖表目錄	全一	一	□

第拾二 雜書

五三	密電本	全一	一	□
五一	民報	七號 - 八號	二	□
三八	中西教會報	□	一三	參謀部保管

は- 1-

德華高等學堂藏書[洋書]目錄(乙ノ部ト稱ス)

A. 政治・法律・經濟

(一) 政治

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
三九一	マイヤア	支那政府一覽	一八七七	英
三九九	シユリムバツハ	政治上算術	一九〇二	□
四四七	コルデキエ	支那外交史(一八六〇年ヨリ 一九〇二年ニ至ル)	一九〇二	佛
四六五	ゲオルグマイヤア	獨逸行政法 第二編	一八九四	□

七六三	フライナア	獨逸行政法	一九一一	□
七六四	ローレンツ	官吏必携	一九一一	□
七六五	ハイネマン	普魯西官吏法	一九〇九	ハ
九五四	ミュンスタアベルグ	支那の改造	一八九五	□

は- 2-

(二) 法律

[假 番 號]	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註]
三七三	ヘルウキヒ	法力の實體及其主觀的限界	一九〇一	□
三八五	シメオン	獨逸帝國の法律及訴訟手續 第一卷	一九一三	□
四一七	ヘルウキヒ	獨逸民事訴訟法系統 第一編	一九一三	□
三三三	ネルデケ	民事訴訟及強制執行法	一九〇九	□
二〇七(1)	ストエルツエル	民法適用指針 第一卷	一九〇九	□
全(2)	全	全 第二卷	一九〇六	□
五六〇	クレート	民法中農夫須知事項	一九〇八	□
四二一(註1-5)	ジャクミン	國際法及比較法學 <small>皇一九〇六年 皇一九〇九年</small>	二九〇九	佛四五册
一九六	コーラア	國際法及聯邦法雜誌 卷一	一九〇七	□
五六一	デュットマン	廢兵保險法講義	□	□
一六〇	ワグナア	海上法	一九〇六	□

は- 3-

一七九	ユルマン	法行爲・公文書論	一九一〇	□
七六六(1-3)	ビーヤク[タリ]ング	法理論 自第一編至第三編	二九〇四 二九〇五	三册 「福島圖研」 ⁴⁹
七六七	商務印書館	德國六法	一九一三	(支)
七六八(1-4)	ビンディング	獨逸憲法 第一卷	一九〇九	同一書 四册 「福島圖研」 ⁵⁰
七六九	コーラア	國際法及聯邦法雜誌 第三卷	一九〇九	□
七七〇	シュツフアー	民事訴訟法概要	一九一〇	□
七七一	シュタイン	民事訴訟法	一九〇七	□
七七二	デュットマン	廢兵保險法	一九〇〇	□
七七三	アルント	普魯西普通鑛山法	一九〇九	□
七七四	□	國際法招[招協]會 第二十八回會議報告	一九一四	(英佛) 「福島圖研」
七七五	海軍省	國庫規定	一九〇八	□
七七六	ロージン	普魯西に於ける警察命令權	一八九五	□

は- 4-

⁴⁹ “乙七六六ノ二”(渡邊2004., 3頁, ⑥).

⁵⁰ “乙七六八ノ一”(渡邊氏惠送複印に據る).

七七七(1-3)	ホルツハウア	支那人用法政一斑 B編 第一[:]	司法制度 第一部	一九一二	同一書 三冊
七七八	青島特別高等 專門學堂法政科	中德法律彙覽 第八編[:]	裁判所構成法	一九一二	(支)
七七九	海軍省	膠州殖民地行政に關する諸規定		一九〇三	□
七八〇	膠州總督府	膠州總督府一般規定		一九〇九	□
七八一	モール	膠州殖民地諸規定便覽		一九一一	□
七八二(1-2)	海軍省	海軍衛戍建築物規定		一九〇九	同一書 二冊
《陸軍經理建築》					
七八三	コーラア	法律及經濟哲學研究錄 第二卷[:]	二九〇九	一九〇九	□
七八四	ツエーントア	保險契約に關する帝國法律		一九〇八	□
				《佐賀大附圖》	
七九五	バツペンハイム	海上法提要		一九〇六	□
				《佐賀大附圖》	
九五六	マイヤア	獨逸行政教程 第一編[:]	一般學說 內政	一八九三	□
				《佐賀大附圖》	
九五七	アンシュツツ	國家法と行政法の問題		一九一一	□
九五八	全	普魯西內政構成法		一九〇八	□
は- 5-					
九五九(1-2)	キツシュ	獨逸民事訴訟法 第一卷 第二卷		二九〇九	二冊
				《佐賀大附圖》	
九六〇	□	民事訴訟法並に裁判所構成法		一九〇九	□
九六一	ホフマン	工業傷害保險 第三卷第一編		一九一一	□
九六二	コーラア	國際法及聯邦[法?]雜誌 第二卷		一九〇八	□
九六三	ハイマン	國際法及比較法學 一九〇四年號		□	(佛)

(三) 經濟

[假番號]	著譯者名	書名	發行年代	註]	
四三三	ヒンリクセン	原料検査法	一九一二	□	
《陸軍東京砲工廠》					
三四一	リハエンタール	工場組織[:]	工場簿記法及原價計算法	一九一四	□
《陸軍被服本廠》					
七八五	ヨエステイング	經營學國家論及經濟論 第一卷[:]	經營學	一九一〇	□
七八六	ハーン	世界の經濟		一九〇〇	□
七八七(1-2)	大藏省	日本財政及經濟年報 第十一年 第十二年		二九二三	二冊

は- 6-

九六四	ヨエステ[イ?]ング	營業學國家學經濟學 第二卷[:]	國家學及經濟學	一九一〇	□
-----	------------	------------------	---------	------	---

B. 軍事

番號	著譯者名	書名	發行年代	註	
三二六	海軍省	海軍々人制規類集	一九〇六	□	
一九九(1-2)	全	二九二〇年海軍會報	二九二〇	二冊	
九五〇	シエルツエ	陸軍測量法	一九〇三	□	
《陸軍工兵校》					

C. 宗教・哲學・教育

(一) 宗教

〔假番號 著譯者名 書名〕	發行年代	註
二一(1-3) オットラヴ オットラヴ 共編 シュライヤアマツヒヤア全集拔萃 卷一 卷三 卷四	一九一〇 一九二二	三冊
五一 エルンストツレルツ 系統的基督教	一九〇九	□
五二 エリウスウエルイウゼン 基督教沿革	一九〇九	□
は- 7-		
五八(1-6) グルート 支那宗教系統 自第一至第六	皇一八九二 聖一九二〇	六冊
七八八 聖書公會 新舊約聖書	一九一二	(支)
七八九 ガイルス 佛國記	□	(英)

(二) 哲學

〔假番號 著譯者名 書名〕	發行年代	註
一二(1-6) フリッツメデイクス フキヒテ全集 自卷一至第〔第卷 ² 〕六 《陸軍教育總監》 ^[*3]	(一九一一 一九〇八 一九二二)	六冊 《埼玉浦和圖》 ²
一八(1-3) オットワイス シエリング全集 拔萃 卷一 卷二 卷三 《陸軍教育總監》 ^[*3]	一九〇七	三冊
一五四 ウンデルバンド 近世哲學史 卷二 《陸軍教育總監》 ^[*3]	一九〇七	[* ²]
一五五 // 哲學史 《陸軍教育總監》 ^[*3]	一九〇七	[* ²]
五一六(1) ロルフエス 哲學叢書 第二卷[:] アリストテレスの形而上學 《陸軍教育總監》 ^[*3]	一九〇四	[* ²]
// (2) // // 第三卷[:] // 第二編	//	[* ²]
《陸軍教育總監》 ^[*3]		
// (3) ブツセ // 第四卷[:] アリストテレスの精神論 《陸軍教育總監》 ^[*3]	一九一一	[* ²]
// (4) ロルフエス // 第五卷[:] アリストテレスのニコマクス倫理 《陸軍教育總監》 ^[*3]	//	[* ²]
は- 8-		
九六五 キルヒマン // 第十卷[:] アリストテレスの斷定論	一八七七	[* ²]
九六六 // // 第十二卷[:] // 立證法	一八八二	[* ²]
九六七 // // 第十三卷[:] // 詭辨[辨辯]的否定法	一八八三	[* ²]
九六八 // // 第十五卷[:] // 第一[:] 分拆[拆析]論註釋	一八七七	[* ²]

*2 “哲學叢書ト哲學文庫トハ同一ノ種類ナリ。其卷號ハ前後シ居レドモ存在セルハ左ノ卷ナリトス[:]2,3,4,5,7,8,10,11,12,13,15,16,17,18,20,21,22,23,24,25,26,26a,27,28,29,30,31,32,33,34,35,36,66,69,70,71,72,73,76,78,79,85,86,87,88,89,90,91,92,93,94,95,96,98,100,101,102,103,104,107,108,124,125”(一五四[は- 7]-五一六(19)[は- 11-]の註部に填記)。

*3 “自一二(1-6)フリッツメデイクス フキヒテ全集 自卷一至第〔第卷²〕六至五一六(28-29)キルヒマン 哲學叢書第七卷第八卷アリストテレスの政治論”(MF No. 0153)

九六九	〃	〃	第十六卷[:]	〃	第二[:]	〃	一八七八	[* ²]
九七〇	〃	〃	第十七卷[:]	〃	立證法註釋		一八八三	[* ²]
九七一	〃	〃	第十八卷[:]	〃	詭辯[辨辯]的否定法註釋		一八八三	[* ²]
九七二	ラツソン	〃	第二十一卷[:]	ギオルダノ	ブルノの原因原理及一に就て		一九〇二	[* ²]
九七三	キルヒマン	〃	第二十二卷[:]	キケロの五書[:]	最高の善惡		一八七四	[* ²]
九七四	〃	〃	第二十三卷[:]	キケロの三書[:]	神の本質		一八七四	[* ²]
九七五	〃	〃	第二十四卷[:]	キケロのアカデミイ論		〃		[* ²]
九七六	ジヨンソン	〃	第二十五卷[:]	コンヂラクの感覺論			一八七〇	[* ²]

は- 9-

五一六(5)	ブーヘナウ	哲學叢書	第二十六卷[:]	デカルトの哲學	第一編[:]	方法論	一九〇五	[* ²]
〃(6)	〃	〃	第二十六卷のa[:]	〃	第一編[:]	續編	一九〇六	[* ²]
1.精神誘導の原則,2.自然の照明に依る眞理の探究								
〃(7)	〃	〃	第二十七卷[:]	デカルトの哲學	第二編[:]	原理に關する黙想	一九〇四	[* ²]
〃(8)	〃	[〃]	第二十八卷[:]	デカルトの哲學	第三編[:]	哲學の原理	一九〇八	[* ²]
七九二(1)	〃	哲學文庫	第二十九卷[:]	デカルトの哲學	第四編[:]	情熱	一九一一	[* ²]
九七七(1-2)	キルヒマン	哲學叢書	第三十二卷[:]	グロチユスの戰爭と平和の權利	第二卷	二六六九	二冊	[* ²]
九七八	ローゼン克蘭ツ	哲學叢書	第三十四卷[:]	ヘーゲルの哲學	百科全書註釋		一八七〇	[* ²]
九七九	パウルゼン	〃	第三十六卷[:]	ユームの自然教問答	竝に自教自然及靈魂不滅に就て		一八九四	[* ²]
九八〇	キルヒマン	〃	第六十六卷[:]	法立[立律]道德の根本觀念			一八七三	[* ²]
五一六(9)	シャルシユミット	〃	第六十九卷[:]	ライプニッツの人類悟性論			一九〇四	[* ²]

は- 10-

五一六(10)	〃	〃	第七十卷[:]	ライプニッツの人類悟性論	解説		一九〇八	[* ²]
〃(11)	キルヒマン	〃	第七十一卷[:]	ライプニッツ	辯神論		一八九[九七]九	[* ²]
九八一	〃	〃	第七十二卷[:]	全上	註釋		〃	[* ²]
五一六(12)	〃	〃	第七十三卷[:]	ライプニッツの哲學	小論文集		〃	[* ²]
七九二(2)	ウキンクラア	哲學文庫	第七十六卷[:]	ジョン・ロツク	人類悟性の試験		一九一一	[* ²]
九八二	キルヒマン	哲學叢書	第七十八卷[:]	全上	註釋	第二部	一八七四	[* ²]
九八三	マイヤア	〃	第七十九卷[:]	ロツクの悟性の支配			一八八三	[* ²]
九八四(1-2)	ノアツク	〃	第八十六卷[:]	エリゲナの自然の分類	第一二部	二六七四	二冊	[* ²]
九八五	〃	〃	第八十八卷[:]	ヨハネス・スコツス・エリゲナ			一八七六	[* ²]
九八六	パツペンハイム	〃	第八十九卷[:]	エムピリクスのピロン派の特徴			一八七七	[* ²]
九八七	〃	〃	第九十卷[:]	全上	註釋		一八八一	[* ²]
九八八	キルヒマン	〃	第九十六卷[:]	スピノーザルに宛てたる ⁵¹ 諸學者の書簡と其の回答		〇		[* ²]

は- 11-

九八九	キルヒマン	哲學叢書	第百卷[:]	スピノーザ著悟性改良論	註釋		一八七一	[* ²]
-----	-------	------	--------	-------------	----	--	------	-------------------

⁵¹ 原文は“スピノーザルに宛てたる……”故、本來は“スピノーザル[其]に宛てたる……”とす可きなるも、翻刻者の技術的理由で表記の如くしておいた。

九九〇	〃	〃	第百一卷[:] スピノーザの書簡 註釋	一八七二	[* ²]
九九一	ドリユウス	〃	第百四卷[:] シェルリングの <small>近代哲學史と經驗派哲學の説明</small>	一九〇二	[* ²]
五一六(13)	ブーヘナウ	〃	第百七卷[:] ライブニッツ哲學原理論 第一編	一九〇四	[* ²]
〃(14)	〃	〃	第百八卷[:] 全 第二編	一九〇六	[* ²]
〃(15)	キルヒマン	〃	第九十八卷[:] スピノーザ「デカルトの哲學思想」解説	一八七二	[* ²]
〃(16)	ゲブハルト	〃	第九十五卷[:] スピノーザ 悟性の改良・國家	一九〇七	[* ²]
〃(17)	ブーヘナウ	〃	第九十四卷[:] スピノーザ <small>(一)幾何學的根柢に立てる デカルトの哲學思想 (二)形而上學的思想</small>	一九〇七	[* ²]
〃[#]					
〃(18)	ゲブハルト	〃	第九十三卷[:] スピノーザ 神學的政治的約束	一九〇八	[* ²]
〃(19)	ベーンシュ	〃	第九十二卷[:] スピノーザの倫理	一九〇四	[* ²]
〃(20)	シャールシユミット	〃	第九十一卷[:] スピノーザの神 <small>〔b〕</small> 人類及其幸福	一九〇七	[* ²]

は- 12-

〃(21)	ユーバーウエヒ	〃	第二十卷[:] 「ベルクレイ」人類認識の原理	一九〇六	[* ²]
〃(22)	キルヒマン	〃	第三十卷[:] フキヒテあらゆる天啓に對する批判の試み	一八七二	[* ²]
〃(23)	ラツリン	〃	第三十三卷[:] ヘーゲル 哲學的科學全書	一九〇五	[* ²]
〃(24)	リヒタア	〃	第三十五卷[:] ユームの人類悟性の研究	一九〇七	[* ²]
〃(25)	トウエステン	〃	第八十五卷[:] シュライヤアマツヒヤアの哲學倫理一般	一九一一	[* ²]
〃(26)	キューネマン	〃	第百三卷[:] シルレルの哲學的論文及詩	一九一〇	[* ²]
〃(27)	ラツリン	〃	第二百二十四卷[:] ヘーゲルの法理學	一九一一	[* ²]
七九二(3)	アスムス	哲學文庫	第百二十五卷[:] ダマスキオス 哲人インドロスの生涯	一九一一	[* ²]
五一六(28-29)	キルヒマン	哲學叢書	第七卷[*]第八卷[:] アリストテレスの政治論	一八八〇	[* ²]
〃(30)	〃	〃	第十一卷[:] アリストテレスの第二分析者 一名認識論	一八七七	[* ²]
					《佐賀大附圖》
〃(31)	リヒタア	〃	第百二卷[:] ヒラスとフキロノウスとの對話	一九一〇	[* ²]
四三一	ヴント	論理學	第三卷[:] 精神科學の論理	一九〇八	□

は- 13-

六四九	フオーク	伯林大學東洋語學科報告	第十四卷附録[:] 王充論衡	一九一一	(英)
					《佐賀大附圖》
七九〇	コペルツ	希臘の思想家	第二卷	一九〇三	□
七九一	アルニシテニ	生存競争		一九〇九	□
					《佐賀大附圖》
七九三	バルト	社會學としての歴史哲學	第一編	一八九七	□
七九四	キューン	カーライル「勤勞」と「失望せざれ」		□	□
					《佐賀大附圖》
七五九五	スタニスラル・ガル	哲人朱熹と其學說竝に感化		一八九四	佛
九九二	ラング	因果問題	第一編[:] 因果・沿革	一九〇五	□
九九三	グムプロウキツツ	社會學綱領		一九〇五	□
					《佐賀大附圖》
九九四	オストワルト	日々の要求		一九一〇	□
九九五	キンダアマン	近代國民生活の指導		□	□

(三) 教育

〔假番號〕	著譯者名	書名	發行年代	註〕
一三六	テツシュ	小學校全教科目教授法	一九〇一	□
«陸軍教育總監»				
三七八	シューマン	教育學 第一編	一九〇四	□
«陸軍教育總監»				
は- 14-				
三七二	ライン	教育學 第二卷	一九〇六	□
«陸軍教育總監»				
四二四	ホーマン	教育學 第二卷[:] 各科教授法	一九〇四	□
«陸軍教育總監»				
四六六	パウルゼン	教育學	一九一一	□
«陸軍教育總監»				
五六五	リツプス	人世觀と教育理想	一九一一	□
«陸軍教育總監»				
四八四	□	高等教員養成所	一九一〇	□
«陸軍教育總監»				
六四五	コエプケ	高等教育月報 第十卷	一九一一	□
«陸軍教育總監»				
七九六	リユムカア	植物栽培に關する北米の農事教育	一九一〇	□
«陸軍教育總監»				
七九七	シュミツド	自然科學教授	一九〇七	□
«陸軍教育總監»				
七九八	シユトエスナア	教育心理學	一九一一	□
«陸軍教育總監»				
七九九(1)	フオイグト	シューマンの教育學 第一編[:] 總論	一九〇四	□
«陸軍教育總監»				
〃(2)	〃	〃 第二編[:] 教育心理學	一九〇五	□
«陸軍教育總監»				
«防衛大圖»				
八〇〇	ホルマン	丁抹の小學校	一九〇九	□
«陸軍教育總監»				
は- 15-				
八〇一	オストワルド	教育難に就て	一九〇九	□
«陸軍教育總監»				
九九六	ライ	實驗教授法 一般篇	一九〇五	□
«陸軍教育總監»				

(四) 倫理

〔假番號〕	著譯者名	書名	發行年代	註〕
一八五(1-2)	クープロエル譯	禮記 第一卷[・]第二卷	一八九九	二冊
四五二	〃	四書	一八九五	拉丁・佛

四五三	〃	書經	一八九七	〃
四五四	〃	詩經	一八九六	〃
八〇二	〃	〃	〃	〃

(五) 心理學

〔假番號	著譯者名	書名	發行年代	註]
八〇三	ゼモン	記臆[臆憶]術	一九一一	□

「陸軍教育總監」

D. 歴史・地理

(一) 歴史

は- 16-

〔假番號	著譯者名	書名	發行年代	註]
四一二(1-2)	リヒタア	獨逸中世史年代記 第三編第一卷・第二卷	二八九〇	二冊
二〇一	ナホド	日本史 第一卷	一九〇六	□
四一九	シエツプ	周朝史	一九〇三	佛
四〇八(1-2)	アヴル	西安府に於ける西教碑	二八九七	佛
四〇五	ルキ・ガイヤール	歴史上及地理上より見たる南京	一九〇三	佛
八〇四	プラート	支那古代史料	一八七〇	□
八〇五	ブレトシユナイダア	歴史参考書 第六編	一九一〇	□
八〇六	シエツプ	秦朝史	一九〇九	佛
八〇七	ケサダ	世界年鑑志	一九一〇	西
八〇八	アヴル	成都佛教徒の墓碑に刻せられたる「天主」に就て	一九〇一	佛
九九七	マルテンス	高等師範學校用歴史教科書 第三卷	一九〇五	□
九九八	アツラア	歴史教授提要 第二編[:] 獨逸史	一九〇八	□

は- 17-

九九九	キユツパアス	ノエウキルの海豚(第一佛蘭西革命時代)	□	□
一〇〇〇	ゴットヘルク	テルの息子	□	□
一〇〇一	キユツパアス	ヘルクスモンテ	□	□

一〇〇二	ガルテン	金の拍車(十三世紀中葉物語)	□	□
«陸軍教育總監»				
一〇〇三	ハース	佛蘭西の兒(獨立戰爭時代)	□	□
«陸軍教育總監»				
一〇〇四	ケルナア	大詩人ワルタア(バルバロッサ帝時代)	□	□
«陸軍教育總監»				

(二) 地理

【假番號	著譯者名	書名	發行年代	註】
五七六	アブル	楊[楊揚]子江口崇明島	一九〇一	佛
«陸軍教育總監»				
五七七	アブル	安徽省	一九〇三	佛
«陸軍教育總監»				
八〇九	ハーク	地理學年鑑 第九年	一九一一	□
«陸軍教育總監»				

E. 文學・美術・音樂

【假番號	著譯者名	書名	發行年代	註】
一四七(1-2)	グロエバア	羅馬古文學一斑[班班] 卷二ノ一, 及第二卷第三編	一九〇二	二冊
は- 18-				
四四九(1-2)	ブランデンブルグ	ダーマン・ワイツ獨逸古文書學及全補遺	一九〇七	二冊
«茨城大圖»				
五六八	ラース	高等中學校用獨逸作文理論と材料 第二編[:] 材料	一八九四	□
四七	エーリヒ・シユミット	東洋文學史	一九〇六	□
四〇七	ペチヨン	文學上の隱語	一九〇九	佛
«茨城大圖»				
五七八	ガイヤール	支那に於ける十字型及方字型	一九〇四	佛
五七九	エチエンヌ	支那に於ける科學[學學]の實施	一八九四	佛
五八五	グローテ	東洋人文雜誌 第二卷	一九一二	□
八一〇(1-6)	フンケ	レッシング作ミンナ・フォン・ベルンヘルレ[ヘルンハイム?]	一九一〇	同一書 六冊
«茨城大圖»				
八一	ハウプトマン	アトランテイス	一九一二	□
八一	フオエルスタア	ヘルリヒ: 英國クラシツク作家 第二卷	一九一〇	英
八一	ネーリング	ヘルバースタインとヒルフフオーゲル	一八九七	□
八一	フルツク	詩歌集錦	一八九九	漢・獨
は- 19-				
一〇〇五	マクゴワン	支那國民訓話	一九一〇	英
一〇〇六	ハーバーラント	東洋文學の主流 第二編[:] 波斯, セム及土耳古文學	一九〇二	□
一〇〇七	マロルド	ハルトマン フォン アウエ、ウオルフラム フォン エンバツハ、及ゴットフリード フォン ストラスブルグ詩集	一九一〇	□
一〇〇八	ボエツテイツヒヤア ケンツェル	獨逸文學及言語史	一九一〇	□
«參謀本部»				
一〇〇九	ハルテン	蟻[蟻蟋]蟀	□	□
一〇一〇	ピユツツ譯	ウキニフレッド	□	□

一〇一一	ヒルデン	アルダラの相續人	□	□
五五〇	フェルステンベルグ	遠景畫法初步	一八八三	□
		《陸軍經理建築》		
一八二	シャヴ[ア]ンヌ	支那の石彫	一八九三	□
		《陸軍經理建築》		

F. 言語學

[假 番 號]	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註 1
四八	ウキラモウキツツ メレンドルフ	希臘及羅典文學及言語學	一九〇七	□
四九	ハインリヒ[・]チムマー	ローマ文學及言語學	一九〇九	□
は-20-				
五〇	ベツエンベルガー	東歐文學及スラブ言語學	一九〇八	□
四一一(1-2)	ヤコブ・グリム	獨逸文法 第三編・第四編	二六七八	二冊
		《參謀本部》		
四一〇	ウイルマンズ	獨逸文法[:] ゴート, アルト, 中高及新高獨逸語 第三編	一九〇六	□
		《參謀本部》		
六九〇(1-14)	ランゲ・ザツハウ	伯林大學東洋語學科報告 自第一卷 第一編[:] 東亞研究	一九〇〇	缺卷第十三
		至第十五卷	一九一二	卷 十四册
一〇一三	〃	全 第十三卷	一九一〇	缺卷ヲ 補ヘリ
六六九(1-13)	シユレーゲル コルデイユ	東洋研究通報 自第一卷第二號(佛) 至第二卷第八號	一八九一 一九〇七	缺 第一卷1, 8, 6 第二卷1, 7.
〃 (14)	〃	全 第一卷第一號(佛)	一八九〇	補ヘリ
〃 (15)	ヒルト	全 第五號 補遺 支那書に據る イスラムの圖々	一八九四	獨
〃 (16)	シユレーゲル	全 第一卷第六號	一八九五	補ヘリ
〃 (17)	コルデイユ[≡エ]	全 第九號 補遺 一八九五 - 九八年 支那語研究	□	佛
〃 (18-20)	シユレーゲル ⁵² コルデイユ	全 第一卷第八號 第二卷第一號・第七號	一八九七 一九〇六	英佛獨 補ヘリ
六四七	シユレーゲル	シヤム語研究 東洋研究通報第二卷第二號 補遺(英)	一九〇二	□
は-21-				
二〇二	ヂユリアン	支那書中梵語判讀法	一八六一	□
八一五	ベハーグヘル	獨逸言語史	一九〇五	□
		《參謀本部》		
八一六	ウント	言語史及言語心理學	一九〇一	□
		《參謀本部》		
八一七	ハーヘ	小學發音教授 第一編	一八九五	□
八一八	カウフマン	ゴート, 古, 中及新高獨逸語文法	一九〇九	□
八一九	ジーブス	獨逸舞臺發音法	一九一〇	□
		《參謀本部》		
八二〇(1-3)	ウルフ	拉丁語讀本	一九一〇	同一書 三冊
〃 (4-6)	〃	全 解説	〃	〃
八二一	ハンゲン	英語練習文庫 第二十三編[:] フライタツハ作「新聞記者」	一九〇八	□
八二二	マイヤフェルド	獨人と英人との言語及性質	一九〇三	□

⁵² 原文は“コルデイユ……”故, 本來は“コルデイユ[≡エ]……”とす可きなるも, 翻刻者の技術的理由で表記の如くしておいた。

「參謀本部」

八二三	ヒルト	支那文件字句入門	一八八八	英	「茨城大圖」
八二四(1-2)	德華高等學堂	德華物理學語彙	一九一〇	同「參謀本部」 三冊	
八二五	侯官幾道嚴復	支那文英語文法	一九〇七	□	
一〇一二(1-3)	ドヴェリクス	簡易外國語學自修書「アダミテイクス」	一九一四	三冊	

は-22-

G. 辭典

[假番號]	著譯者名	書名	發行年代	註]
一六一(1-6)	オット・リユーガア	工藝百科辭典 自第一卷至第七卷	一九〇四	第四卷缺
		「陸軍經理建築」		
一七一(1-9)	(カールマシユ)	工藝辭書 自第一卷至第九卷	二八六六	□
		「陸軍經理建築」		
四四五	(エリクソン)	英獨工藝辭典 第一編	一八八二	□
		「陸軍經理建築」		
四一六	セルド[ゴバ]ツト[トハ]	圖解 礦山辭典	一九〇七	□
		「九州大圖」		
一八六(1-4)	シユレーゲル	蘭支辭典 自第一卷至第四卷	二八六四	□
五八六	クロエツパア	英國實用百科辭典 第二卷	一八九九	□
八二六(1-4)	ドウデン	獨逸正語辭典	一九一一	同「參謀本部」 四冊
		「參謀本部」		
一〇一四	〃	〃	一九〇九	□
				「佐賀大附圖」
八二七	ミーグ	蘭獨辭典	一八九九	□

は-23-

H. 自然科學

(一) 一般

[假番號]	著譯者名	書名	發行年代	註]
四八三(1-2)	ダンネマン	自然科學の發達及相互關係 ^{第一卷} _{第二卷}	二九一〇	二冊
		「陸軍教育總監」		
四五六(1-2)	アブダハルデン	自然科學研究の進歩 第六卷	二九二三	同二冊
		「陸軍教育總監」		
四六七	フェルトマン	森に於ける自然の友(自然科學)	□	□
		「陸軍教育總監」		
四七七	ネルンスト	自然科學に於ける數學	一九一〇	□
		「陸軍教育總監」		
二〇三	ダンネマン	世界大研究家著各學說拔萃	一九〇八	□
		「陸軍教育總監」		
四四四	ダルムシテツダア	自然科學史及工藝史年表	一九〇八	□
		「陸軍經理建築」		
五九二	プラスマン	自然科學年報 一九一〇 - 一九一一 第二十六卷	一九一一	□

「陸軍教育總監」				
八二八	ラインケ	自然科學講演集	一九〇八	□
「陸軍教育總監」				
八二九	デツカア	精神機能 第二編[:] 見る・嗅ぐ・味ふ	□	□
「陸軍教育總監」				
八三〇	マイヤア	唯物主義の崩壊	一九〇六	□
「陸軍教育總監」				
				は-24-
一〇一五	ラインケ	實在としての世界	一九〇五	□
「陸軍教育總監」				
一〇一六	メトナア	有機體と國家	一九〇六	□
「陸軍教育總監」				

(二) 天文地文

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
一四九(1-3)	コーエン	氣象學 卷一・卷二・卷三	{一八九四 一九〇八 一九〇五}	三冊
「陸軍經理建築」				
四九五	テイレ	獨逸農事氣候學	一八九五	□
「 [√] 東北帝大」*				「東北大附圖本館」
四七五	ワルタア	陸と海	一九〇七	□
「 [√] 東北帝大」*				「東北大附圖本館」
三五	ミルヒ	地文學原理	一八九九	□
「陸軍經理建築」				
三七六	ルードツキ	地相學	一九一〇	□
「 [√] 東北帝大」*				「東北大附圖本館」
三一七(1-4)	エドワード・スエス	地相學 自第一卷至第三卷後編	□	四冊
「 [√] 東北帝大」*				「東北大附圖本館」
〃 (5) 〃	〃	〃 名辭索引 自第一八八八 - 一九〇九發行	□	□
「 [√] 東北帝大」*				「東北大附圖本館」
二〇四	ネーリング	現代及古代の沼澤竝に荒原	一八九〇	□
「 [√] 東北帝大」*				「東北大附圖本館」
三七四	トウラ	地質學	一九〇六	□
「 [√] 東北帝大」*				「東北大附圖本館」

は-25-

四五(1-2)	ウーリヒ	ノイマイル地質史 卷一・卷二	二八九五 二八九七	二冊
「 [√] 東北帝大」*				「東北大附圖本館」 ⁵³
一六八(1-4)	考古學會	地質學叢書 自卷一至卷三(附圖)	一八八〇 一九〇九	四冊
「 [√] 東北帝大」*				「東北大附圖本館」
六九三(1-2)	ムルゴチ	世界地質報告 第一卷・第二卷	二九二一 二九二〇	二冊
「 [√] 東北帝大」*				
四二九	リンデマン	地球・地質に關する自然力 第一卷	一九一一	□

⁵³ “假番號乙四五1”(卷一), “假番號乙四六五-二”(卷二)とす.

« [▽] 東北帝大»*		«東北大附圖本館»
三九五	ホツゴスニルスカ 地震	一九一〇 □
«陸軍經理建築»		
四四一	ホワン 支那に於ける地震表	一九〇九 佛
«陸軍經理建築»		
六五三(1-2)	獨逸地質學協會 獨逸地質學協會月報(一九一〇年號)	一九一〇 □
« [▽] 東北帝大»*		
八三一	ダンネマン 宇宙創造論	一九一二 □
« [▽] 東北帝大»*		«東北大附圖本館»
八三二	ボエルンシユタイン 氣象問答	一九〇五 □
« [▽] 東北帝大»*		«東北大附圖本館»
八三三	ベツバア 天候豫測法	□ □
« [▽] 東北帝大»*		«東北大附圖本館»
八三四	ハース 火山	一九〇三 □
« [▽] 東北帝大»*		«東北大附圖本館»
八三五	シユナイダア 地球に於ける火山的現象	一九一一 □
« [▽] 東北帝大»*		«東北大附圖本館»

は-26-

八三六	マウヒヤア 地質學教授法	一九〇七 □
« [▽] 東北帝大»*		«東北大附圖本館»
八三七	壙國地質調査局 帝國地質調査局報告(一九一〇年度)	一九一〇 □
« [▽] 東北帝大»*		
八三八(1-2)	獨逸地質學協會 獨逸地質學協會雜誌 第六十一卷[・]第六十二卷	二九〇三 二冊
« [▽] 東北帝大»* ⁵⁴		

(三) 動物・植物・礦物

【假番號	著譯者名	書名	發行年代	註】
四二八	クラツス	動物學	一八八七	□
«北海道帝大»*				
五七三(1-2)	ウエヒタア	動物學教授法 <small>第一編 脊椎動物 第二編 無脊椎動物</small>	二八九八 二九〇三	二冊
«北海道帝大»*				
四六三(1-2)	マイヤア	動物の地理的分布 第一卷・第二卷	一八七六	二冊
«陸軍糧秣本廠»				
三〇九(1-3)	オーツ	英領印度の動物 鳥の卷 <small>自第一卷 至第三卷</small>	一八八八	三冊
« [▽] 東北帝大»*				«東北大附圖本館» ⁵⁵
〃 (4)	ブランフオード 全	爬蟲類の卷	□	□
« [▽] 東北帝大»*				«東北大附圖本館» ⁵⁶
〃 (5)	ブーレンヂャア 全	哺乳類の卷	一八九五	□
« [▽] 東北帝大»*				«東北大附圖本館» ⁵⁷

⁵⁴ “一ダケ 八三八(1-2) 獨逸地質學協會三〇七六〇九ノ4 發行年代一八九〇 著譯者名 ブーレンヂャア”とす。

⁵⁵ 「鹵書・圖目」1920.の記載に混亂アルモ、詳報時(後日)に訂正。

⁵⁶ “假番號 乙三〇七六〇九ノ4 發行年代一八九〇 著譯者名 ブーレンヂャア”とす。

⁵⁷ “假番號 乙三一〇〇九ノ五 發行年代一八八八-九一 著譯者名 ブランフオード”とす。

著者	書名	種別	発行年	冊数	所蔵
〃 (6) デイスタント 全	昆虫の巻 第二巻第一編[:] 椿象科				
≪ [√] 東北帝大≫*					〃 〃 ≪東北附圖本館≫ ⁵⁸
五五五(1-2) チヤネ	交尾飛翔後女王蟻の胸甲振動筋肉の解剖附圖		二九〇七	佛 二冊	≪東北附圖本館≫
≪ [√] 東北帝大≫*					
は- 27-					
五五六 チヤネ	昆虫形態學		一九〇三	佛	≪東北附圖本館≫
≪ [√] 東北帝大≫*					
三九二 コルベ	昆虫學入門		一八九三	〃	≪東北附圖本館≫
≪ [√] 東北帝大≫*					
八三九 ツエル	動物界漫遊		一九〇六	〃	
八四〇 〃	動物に理性なきか?		一九〇三	〃	
八四一 ボエルシエ	動物の起源		〃	〃	
八四二(1-3) トン[⇒メ]	動物學教科書 第一編[:] 人類		一九〇八	同三[冊]	≪茨城大圖≫
八四三 ツエル	駄[駃駝]鳥の話		一九〇七	〃	
八四四 フロエリツケ	異國の鳥類		〃	〃	
八四五 デュリゲン	異國の飾魚		一八九七	〃	≪茨城大圖≫
八四六 フライシヤア	甲蟲類		一九〇五	〃	
八四七 フランセ	微細世界形成の價値		一九〇七	〃	
一〇一七 シユマイル	高等師範學校用動物學教科書		一九〇八	〃	≪茨城大圖≫
は- 28-					
一〇一八 フロエリツケ	獨逸内地産魚族		〃	〃	
一〇一九 〃	外國産匍匐蟲及兩棲類		〃	〃	
一〇二〇 ウエルナア	動物界 第三[:] 爬行蟲と兩棲蟲		一九〇八	〃	
一〇二一 ヤコビ	動物地理		一九〇四	〃	
二四三 ジヨングマンズ	二九二〇年度太古植物學に關する著述一覽 第三卷		一九一三	〃	≪佐賀大附圖≫
四八一 クリユーガア	ベーレン植物學		一九〇五	〃	
四三九 ゲーベル	植物形態學		一八九八	〃	
八六(1-2) ザツクス	植物生理學 第一卷・第二卷		二六九三	二[冊]	≪佐賀大附圖≫
三八九 クリスト	羊齒の地理的研究		一九一〇	〃	≪佐賀大附圖≫
三七一 キルヒナア	中部歐羅巴顯花植物生態史 第一卷ノ一		一九〇八	〃	≪佐賀大附圖≫
四九九 エツサア	植物學標本 第一編[:] 栽培		一九〇三	〃	
五〇〇 マイヤア	實驗植物學 第一編[:] 顯微鏡實驗		一九〇七	〃	

⁵⁸ “假番號 乙三〇九ノ六 發行年代 一九〇三 著譯者名 デイスタント 圖書名目 英領印度の動物 昆虫の巻 第二巻第一編 椿象科 (英)”とす。

一五七(1-2)	ヨスト	植物學雜誌 第一卷・第二卷	二九〇九	□
二二七	ブレトシユナイデア	二八九四 - 英國亞細亞協會支那支那植物學 第三(第二十九卷) 二八九五年/度 那支那雜志特別號	□	□
			「佐賀大附圖」	
八四八	フランセ	植物の感覺生活	□	□
			「佐賀大附圖」	
八四九(1-2)	シユマイル	植物學	一九一二	同二[冊]
		「陸軍技術本部」		
八五〇	〃	植物學教科書	一九〇九	□
		「陸軍技術本部」		
八五一	メツツ	木質腐蝕菌	一九〇八	□
		「陸軍經理建築」		
八五二	マイヤー	植物性黴菌學實驗	一九〇三	□
		「陸軍技術本部」		
八五三	フキツシユバツハ	森林植物學	一九〇五	□
		「陸軍技術本部」		
八五四	ウキルヘルム	森林植物學小附圖	一九〇七	□
		「陸軍技術本部」		
一〇二二	デイルス	植物地理	一九〇八	□
		「東北帝大」*	「東北大附圖本館」	
一〇二三	ラインエツケ ミツラ	植物界	一九〇〇	□
		「東北帝大」*	「東北大附圖本館」	
一〇二四	デンネルト	植物の構造と生態	一九〇五	□
		「陸軍技術本部」		

一〇二五	ミグラ	植物生物學	一九〇六	□
		「東北帝大」*	「東北大附圖本館」	
一〇二六	〃	水中植物界	一九〇三	□
		「東北帝大」*	「東北大附圖本館」	
一〇二七	ベーレンス	有用植物	一九〇〇	□
		「陸軍技術本部」		
一〇二八	ネーガア	針葉樹	一九〇七	□
		「陸軍經理建築」		
一〇二九	ピルガア	顯花植物の組織(裸花植物を除く)	一九〇八	□
		「東北帝大」*	「東北大附圖本館」	
一〇三〇	ブルツク	植物の疾病	一九〇七	□
		「陸軍技術本部」		
一〇三一	コエルシユ	荒蕪地と沼地	□	□
		「東北帝大」*	「東北大附圖本館」	
一〇三二	〃	植物界に於ける暴虐者	□	□
		「陸軍經理建築」		
一〇三三	フ[マコ]エルシユ	花香しき沼湖	□	□

«[√]東北帝大»* «東北大附圖本館»
 一〇三四(1) ミュルラア ラーベン氏獨塊西隱花植物 第六卷[:] 錢答[[?]錢答蘚苔[?]] 第十七輯 一九一三 □
 «[√]東北帝大»* 第十八輯 一九一四 □
 // (2) // // // «東北大附圖本館»
 «[√]東北帝大»* 第十卷[:] 菌 第二百二十二輯 // □
 // (3) // // // «東北大附圖本館»
 «[√]東北帝大»*

は- 31-

一〇三五 プフル 植物園の設備と利用 一九一〇 □
 «陸軍經理建築»
 三九〇 グロート 礦物一覽 一八九八 □
 «[√]東北帝大»* «東北大附圖本館»
 四七一 ボエツトガア シュワルベ礦物學及地質學 一九〇三 □
 «[√]東北帝大»* «東北大附圖本館»
 四八五 グロート 博物學教師要覽「自然の研究」 一九〇四 □
 «[√]東北帝大»* «東北大附圖本館»
 四八二 ブラウンス フックス礦物分析案内 一九〇七 □
 «[√]東北帝大»* «東北大附圖本館»
 四七六 ブレンドラア 礦物集 第一編 一九〇八 □
 «[√]東北帝大»* «東北大附圖本館»
 四三二 ストイヤア 沈澱粘土學 一九一〇 □
 «陸軍經理建築»
 八五五(1-2) ワインシエンク 礦物學 第一編[:] 總論・第二編[:] 各論 一九〇六 二[冊]
 «[√]東北帝大»* «東北大附圖本館»
 八五六 リンネ 實用礦物學 一九〇八 □
 «陸軍經理建築»
 八五七 エンゲル 重要礦物の種類 一八九六 □
 «[√]東北帝大»* «東北大附圖本館»⁵⁹
 八五八 ゾムマーフェルト 結晶體 一九一一 □
 «[√]東北帝大»* «東北大附圖本館»⁶⁰
 一〇三六 ノイマン 礦物學初歩 一九〇七 □
 «[√]東北帝大»* «東北大附圖本館»
 二〇〇〇^{ab} シユマイル 植物學教科書 — 同⁶¹
 «[√]東北帝大»*

は- 32-

(四) 物理・化學

[假 番 號 著 譯 者 名 書 名	發 行 年 代	註 1
五六七 ウキーデアン テインダル著「光」	一八九五	□

⁵⁹ “假番號 乙八五五”とす.

⁶⁰ “假番號 乙八五六”とす.

⁶¹ 東北大學現藏國本に據る.

五四一	ギーセル	放射物體及其放射線に就て	一九〇二	□
八八	ヘルムホルツ	テインダルの音響學	一八九七	□
四九一	シユミット	科學集 第二十七卷[:] 地上に於ける重量測定	一九〇八	□
八五九	ヒルデブランド	クリューガア物理一班[班班]	一九〇九	□
八六〇	ホードレイ	一般物理學	□	英
«陸軍被服本廠»				
八六一	ワインホールド	物理論證	一九一三	□
			«茨城大圖»	
一〇三七	クライバア	中學校用物理教科書	一九一〇	□
			«茨城大圖»	
一〇三八	ゲナウ	物理學摘要	一九〇七	□
			«茨城大圖»	
一〇三九	ギヤンニツリェ	物理學階梯	一九〇八	佛
			«茨城大圖»	
一〇四〇	マーラア	物理學法式集	一九〇六	□
は- 33-				
五六二	リムバツハ	物理化學的小實驗	一九〇九	□
«陸軍被服本廠»				
八六二	ブライトフェルド	物理化學教授要綱	一九〇八	□
«陸軍被服本廠»				
一〇四一	フツス	物理化學教科書	一九〇五	□
«陸軍被服本廠»				
四五一	リュプケ	化學一斑	一九〇二	□
«陸軍被服本廠»				
五七四	□	實用化學	□	□
«陸軍被服本廠»				
五五四	アーレンス	化學及化學工藝講義集 第十四卷	一九〇九	□
«陸軍被服本廠»				
四二六(1-5)	コルベツク	プラツトナア吹管試金術	一九〇七	同五[冊]
八六三	ブルーノ・ケル	吹管試験	一八六二	□
八六四(1-5)	スミス	實驗化學初步	一九一〇	同五[冊]
一〇四二	アレニウユス	免疫化學	一九〇七	□
一〇四三	ラムセイ	高等瓦斯及放射能的瓦斯	一九〇八	□
一〇四四	ラーデンブルグ	通俗博物學講義	一九一一	□

は- 34-

(五) 考古學・人類學・進化論

【假番號	著譯者名	書名	發行年代	註】
一〇四五	ホエルネス	考古學	一九一〇	□
«V東北帝大»*			«東北大附圖本館»	
一〇四六	シユロツサア	支那の化石哺乳動物	一九〇三	□
«V東北帝大»*			«東北大附圖本館»	

一〇四七	バウア其他	礦物・地質・考古學年報 第一卷第三號		一九〇九	□
六五二(1-2)	〃	全	一九〇九年號 一九一〇年號	一九〇九 一九一〇	二[冊]
六五二(3-5)	〃	全	一九〇九年號 第二卷 一九一〇年號 第一・二卷	〃	二[冊]
一〇四八	□	チューリツヒ博物研究協會年報	第四十一年 第二紀念號	一八九六	□
一〇四九	ヨングマン	太古植物學著述書誌		一九一一	□ 《東北大附圖本館》
一九七	バランスキ	有史以前		一八九七	□ 《東北大附圖本館》
四五七(1-2)	スタインマン	太古生物學入門		一九〇七	□ 《東北大附圖本館》
八六五(1-5)	フェリツクス	太古化石		一九〇六	同五[冊] 《東北大附圖本館》
八六六	マルテイン	馬來半島奧地蕃民種族		一九〇五	□ 《陸軍被服本廠》

は-35-

五七二	ツイアン	血族發達に及ぼす絶縁の影響		一八七二	□ 《陸軍被服本廠》
一四〇(1-6)	プレツツ	人種及社會生物學雜誌	自第一卷 至第六卷	一九〇四 一九〇九	六[冊] 《陸軍被服本廠》
四二二	ネーゲリ	機械的生理學的進化論學說		一八八四	□ 《東北大附圖本館》
三四	カール・オ[ホデ]ツト	直接順應論		一九〇四	□ 《東北大附圖本館》

[I. 原本缺録]

J. 數學・測量

(一) 數學

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
四二(1-3)	メルンスト シユロエダア	代數論理學講義(第一卷・第二卷・第三卷)	一八九〇 一八九一 一八九五	三[冊] 《埼玉浦和圖》
四六〇(1)	スタウダツヒヤア	「クライヤー」百科全書代數四則	□	□
〃 (2)	〃	〃 第二編	一八九一	□
〃 (3)	クライヤア	〃 平面幾何學 第一・二編	一八八八	□
〃 (4)	ザイプ	〃 立體幾何學 第一編	□	□
九一(1-2)	フオグラア	實用幾何學 卷一・卷二	二八九五	二[冊]

四八〇	ガンタア	解析幾何學	一九〇六	□
«陸軍教育總監»				
四九〇	ハムマア	平面及立體三角術	一九〇七	□
«陸軍教育總監»				
四九三(1-4)	リツタア	畫法靜力學の應用 <small>第一卷ヨリ 第四卷</small>	二八八六 二九〇六	四[冊]
«陸軍經理建築»				
五七〇	ミュルラア	畫法幾何學初歩	一九〇三	□
«陸軍教育總監»				
四七八	ベルンハルト	畫法幾何學	一九〇五	□
«陸軍經理建築»				
五八一	キルシユケ	機械工藝用畫法幾何學	一九一三	□
«陸軍經理建築»				
一五六	ライニンヒ <small>編</small>	リーマン氏數學著述並に遺稿集	一八九二	□
«陸軍教育總監»				
六三一	クレルレ	係數表	一九〇七	□
«陸軍經理建築»				
四六二(1-3)	ツーバア	生命保險等に於ける公算法 <small>第一卷 第二卷</small>	二九〇八 二九一〇	二[冊]
«陸軍教育總監»				
八六七	ポアンカレ	純數學及數理的物理講演	一九一〇	□
«陸軍教育總監»				
八六八	シエ[エユ]ロエダア	論理計算の分理	一八七七	□
«陸軍教育總監»				
八六九	ドエルプ	定量	一九〇八	□
«陸軍教育總監»				

八七〇	グロースマン	保險算術	一九〇二	□
«陸軍教育總監»				
八七一	ヘルテン シユタイン	バルデイ:算術問題	一九〇九	□
«陸軍教育總監»				
八七二	ウキツトシユタイン	初等數學 第一卷第一編[:] 算術	一八九五	□
«陸軍教育總監»				
八七三	ドウルクセス	ハイス[:] 普通算術及代數例題	一九〇九	□
«陸軍教育總監»				
八七四	ピーツカア	バルデイ:代數例題及解き方	一九〇三	□
«陸軍教育總監»				
八七五	リュプセン	算術及代數教科書	一九〇六	□
«陸軍教育總監»				
八七六	ドナト	リュプセン[:] 初等幾何學 第一編[:] 平面幾何學	一九〇九	□
«陸軍教育總監»				
八七七	ミュルラア	立體幾何學 平面圖法	一九〇三	□
«陸軍教育總監»				
八七八	リュプセン	高等幾何學	一九〇八	□

「陸軍教育總監」					
八七九	謝洪資	初等三角形	一九〇七	支	
「陸軍教育總監」					
八八〇	グリンツアー	平面三角	一九〇七	□	
「陸軍教育總監」					
八八一(1-2)	コールラウシュ	微分積分學	一九〇七	同二[冊]	
「陸軍教育總監」					
				は- 38-	
八八二	ヘーゲマン	清算法	一九〇八	□	
「陸軍教育總監」					
八八三	シユロエダア	畫法幾何學	一九〇一	□	
「陸軍教育總監」					
八八四	シユロートケ	畫法幾何學	一九〇五	□	
「陸軍經理建築」					
八八五(1)	デラバル	製圖法 第一編[:]	幾何學的圖法	一九〇四 □	
「陸軍經理建築」					
〃 (2)	〃	〃	第四編[:]	極圖法及竝行圖法	一九〇五 □
「陸軍教育總監」					
一〇五〇	ビユルクレン	數學方式集	一九〇九	□	
「陸軍教育總監」					
一〇五一	〃	立體解析幾何問題集	一九〇六	□	
「陸軍教育總監」					
一〇五二	ハイス	算術代數例題集 第二卷	一九〇八	□	
「陸軍教育總監」					
一〇五三	マウラア	幾何學問題 第一卷	一九〇六	□	
「陸軍教育總監」					
一〇五四	リユーブセン	平面及立體三角法	一九〇八	□	
「陸軍教育總監」					
一〇五五	シヨエンフリース	點の多樣變化論の發達 第二編	一九〇八	□	
「陸軍教育總監」					
一〇五六	シユツテ	畫法幾何學講義 第一編	一九〇七	□	
「陸軍經理建築」					
				は- 39-	
一〇五七	シヨエンフリース	幾何畫法本則解説	一九〇八	□	
「陸軍教育總監」					
一〇五八	ミユルラア	平面幾何學的構造と畫法	一九〇九	□	
「陸軍經理建築」					
一〇五九	ベツクラア	幾何畫法	一九〇五	□	
「陸軍經理建築」					
一〇六〇	シユム	直線畫法	□	□	
「陸軍經理建築」					

(二) 測量術

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
三七五	シヨルダン	獨逸測量法 第一卷[:]	一八八二	□
「陸軍工兵校」				
四二五	ツアヂニツク	實用測量術	一九〇一	□
「陸軍經理建築」				
五八七(1)	エツカート	「シヨルダン」測量學 第一卷[:]	一九一〇	□
「陸軍工兵校」				
〃 (2)	〃	〃 第二卷[:]	一九〇八	□
「陸軍工兵校」				
〃 (3)	ラインベルツ	〃 第三卷[:]	一九〇七	□
「陸軍工兵校」				
八八六	バウル	初等測量學	一八九五	□
「陸軍教育總監」				
八八七	ガウス	測量術に於ける計算	一九〇六	□
「陸軍工兵校」				
は- 40-				
八八八	ヘルツ	測量學	一九〇五	□
「陸軍工兵校」				
八八九	ガウス	土地區分の對數表	一九〇九	□
「陸軍工兵校」				
八九〇	フオグラア	測地練習	一九〇九	□
「陸軍經理建築」				
八九一	コル	測地術最小平方計算法	一九〇一	□
「陸軍工兵校」				
一〇六一	ツアーネン	測量・土地分割及水準法實用指針	一九〇八	□
「陸軍經理建築」				
一〇六二	シユルツ ディクマン	數學技術對數表	一九〇八	□
「陸軍教育總監」				

K. 醫學

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
一〇六三	ドルステウキツツ	藥物學	一九〇八	□

L. 農業

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
四七二	ストレッツカア	耕作法	一九一〇	□
「北海道帝大」*				
六五〇	獨逸農作獎勵會	農作講習録 第一卷	一九一一	□
「北海道帝大」*				
三九四	アーレンス	農事應用化學	一九〇五	□
「陸軍糧秣本廠」				

は- 41-

三九三	シエルレンベルガア	農事自然科學	一九〇六	□
「陸軍教育總監」				

五八〇	リツヒヤアト	地下水		一九一一	□	
«陸軍經理建築»						
三六(1-3)	マシクシ	農業著述に關する研究	皇第一卷補遺 皇第三卷補遺	二八九七 二九〇三	三[冊]	
«陸軍教育總監»						
三六四(1)	スタインブリユツク	農業全書 第二卷[:]	耕作總論	一九一一	□	
«陸軍糧秣本廠»						
// (2)	//	//	第二卷[:]	耕作各論	一九〇八 □	
«陸軍糧秣本廠»						
// (3)	//	//	第四卷[:]	牧畜	一九一一 □	
«陸軍糧秣本廠»						
// (4)	//	//	追補第二卷[:]	農事建築及植林	□ □	
«陸軍糧秣本廠»						
// (5)	//	//	追補第三卷[:]	牧畜 第二編[:]	騾馬・犬・家兔・飼草 □ □	
«陸軍糧秣本廠»						
// (6)	//	//	//	第四卷[:]	經營法 第二編[:]	農業に關する法律及組合労働者問題及測地 □ □
«陸軍糧秣本廠»						
// (7)	[// ²]	//	//	[:]	農事工藝副業	一九〇九 □
«陸軍糧秣本廠»						
// (8)	フアルケ	//	第十九卷[:]	牧場	一九〇八 □	
«陸軍糧秣本廠»						
は- 42-						
一五三(1-2)	ブロマイヤ	農業利用植物の栽培	卷一・卷二	二八九九	二[冊]	
«陸軍糧秣本廠»						
四八六	ボエツトナア	實用野菜栽培法		一九一一	□	
«陸軍糧秣本廠»						
一三七	ゴーレン	植物栽培原理		一八七七	□	
«陸軍糧秣本廠»						
五六九	ゴエテ	木虱		一九〇九	□	
«北海道帝大»*						
三八四	ワイツ	肥料としての智利硝石		一九〇五	□	
«北海道帝大»*						
五五八	シユナイデウキント	窒素原料及窒素肥料の使用		一九〇八	□	
«北海道帝大»*						
五五七	//	優良地に於ける加里施肥		一九〇五	□	
«北海道帝大»*						
一五九	ゼツテガスト	農業及其經營		一八八五	□	
«北海道帝大»*						
六六八	クレーマア	農業研究録		一九〇二	□	
«北海道帝大»*						
四六八七	ストラウス	農業學講義法		一九〇四	□	
«北海道帝大»*						
四三〇	ヒルマン	獨逸農業の植物改良		一九一一	佛	
«北海道帝大»*						
四三四	ハルツ	農事種子論 第一卷		一八八五	□	

«北海道帝大»*

は- 43-

四九二	アルニシユタツト	模範農夫「フランツ・ノック」	一九〇九	□
«北海道帝大»*				
五四八	ローハウス	沼澤荒蕪地に於ける新耕作及牧羊牛	一九〇七	□
«陸軍糧秣本廠»				
一九八	ドロープ	近代農業に於ける荒蕪地	一九〇一	□
«北海道帝大»*				
一八〇(1-2)	ハンゼン	デイユ[ニコ]プスホーフ農事試験場 第一報告・第二報告	二九〇八	二[冊]
«北海道帝大»*			«北海道大附圖»	
三三六	フェスカ	日本農業一斑[班班] 第二卷	一八九三	□
«北海道帝大»*				
三九(1-3)	ヲニシシク	瑞西アルプ産業 卷一・卷二・卷三	一八九九	三[冊]
«北海道帝大»*			«北海道大附圖»	
五三七	ボルヒヤルド	高加索より: 第一編[:] 北「カウガズ」の農業	一九〇六	□
«北海道帝大»*				
五四四	アウハーゲン	外「カスピア」の農業	一九〇五	□
«北海道帝大»*				
五四〇	ボルヒヤルド	南部及中部露西亞の小麥作及其收益	一九〇二	□
«北海道帝大»*				
五四三	〃	西南部及中部露西亞農事情	一九〇二	□
«北海道帝大»*				
五四二	〃	ヴォルガの東部流域より	一九〇四	□
«北海道帝大»*				
五四五	アウハーゲン	西伯利亞移住に就て	一九〇二	□
«陸軍經理校»			«一橋大附圖»	

は- 44-

五三八	シエツク	加奈太の森林	一九〇四	□
«北海道帝大»*				
五五二	ブルーチュケ	北米合衆國の農事機械	一九〇四	□
«北海道帝大»*				
五五三	アウハーゲン	「シリキア」の地質及農業	一九〇七	□
«北海道帝大»*				
五四六	ホフマン	丁抹・英國・愛蘭に於ける牧草及「クローバア」種子の栽培及取引	一九〇九	□
«北海道帝大»*				
六五四七	〃	丁抹の牧草及「クローバア」種子業	□	□
«陸軍糧秣本廠»				
六六七(1-5)	獨逸農事協會	獨逸農事協會雜誌 皇卷三十一 皇卷三十五	二九〇六 二九一〇	五[冊]
«北海道帝大»*				
三〇三(1-5)	〃	〃 年報 皇卷三十一 皇卷三十五	二九〇六 ⁶² 二九一〇	五[冊]

⁶² 原文上行は“一九一六”故、本來は“一九一[=〇]六”とす可きなるも、翻刻者の技術的理由で表記の如くしておいた。

«北海道帝大»*
 六五一(1) // 獨逸農事協會事業 第二百二十八卷[:] 牧畜に關する新經驗 一九〇七 □
 «北海道帝大»*
 // (2) // 全 第百十一卷[:] フアルケ乾草 一九〇五 □
 «北海道帝大»*
 三三(1-64) インベ
ケルナー 農業研究書^{[?]書所[?]}農事試験場 自卷一至卷七六 二九五九 □
 但シ卷七・八・二五・二七・二九・三一・三三・三五・四六・四七・五九・六〇缺本
 «北海道帝大»*

は- 45-

一〇七七 インベ
ケルナー 農業研究書^{[?]書所[?]}農事試験場 第七十八卷 一九一三 □
 «北海道帝大»*
 三三(65) // 全 第二十一卷 - 第五〇卷目錄 一八九八 □
 «北海道帝大»*
 1[~~1~~—[?]](1-11) 俾林フル
ケルナー發行 殖民經濟會機關雜誌 熱帶農業雜誌 第二卷一・[~~1~~—[?]]第十五卷 皇二八九八 十一[冊]
 «北海道帝大»*
 七七(1-3) ワルブルグ 熱帶農業雜誌附録卷二 - 卷三 皇一九〇三 三[冊]
 «陸軍糧秣本廠»
 // (4) ウオルトマン 「サモア」に於ける栽培及移住[:] 熱帶農業雜誌附録卷五 一九〇四 □
 «陸軍糧秣本廠»
 // (5) ワルブルグ 熱帶農業雜誌附録卷六 一九〇五 □
 «陸軍糧秣本廠»
 // (6) シヤンツ 北米合衆國に於ける綿花[:] 熱帶農業雜誌附録卷九 一九〇八 □
 «陸軍糧秣本廠»
 // (7-8) ワルブルグ 熱帶農業雜誌附録卷十・卷十一 二九二二 二[冊]
 «陸軍糧秣本廠»
 // (9) // 「カメルン」の太古林[:] 熱帶農業雜誌附録卷十二 一九一一 □
 «陸軍糧秣本廠»
 // (10) プロイス 熱帶農業雜誌卷十一附録[:] 「サモア」に於ける「カカオ」其他の栽培 一九〇七 □
 «陸軍糧秣本廠»
 二〇〇 ミユルラア 一九〇三年度栽培及牧畜年報 第一年 一九〇四 □
 «北海道帝大»*
 六九二 テイル 農學年報 第三八卷 増刊第五號 一九〇九 □
 «北海道帝大»*

は- 46-

四〇一 ストラウス 農事教授の理論と實際 一九〇三 □
 «北海道帝大»*
 三九七 マイヤーボーデ 冬期農學校讀本 一九〇七 □
 «北海道帝大»*
 七一〇(1) ルカス 冬期農閑夜話 第二編[:] 果樹栽培に就て 一九〇二 □
 «北海道帝大»* «北海道大附圖»
 // (2) // // 第七編[:] 野菜栽培に就て 一九一〇 □
 «北海道帝大»* «北海道大附圖»
 一〇七三 ツエーブ // 第八編[:] 牧草栽培[に就て?] 一九一〇 □
 «陸軍教育總監»

一〇七四(1-2)ノイマン	〃	第十六編[:]	獨逸農業組合制度	一九〇一	同二[冊]
«北海道帝大»*					«北海道大附圖»
七一〇(3) ホップフ	〃	第十九編[:]	鳥と農業	一九〇二	□
«北海道帝大»*					«北海道大附圖»
七一〇(4) ツエーヅブ	〃	第二十編[:]	園藝に就て	一九〇〇	□
«北海道帝大»*					«北海道大附圖»
一〇七五(1-2)ホルデフライス	〃	第二十五編[:]	小農經營法	一九〇三	同二[冊]
«北海道帝大»*					
七一〇(5) ホップフ	〃	第二十六編[:]	動物養護	一九〇六	□
«北海道帝大»*					
〃 (6) シユミツド	〃	第二十七編[:]	絹柳栽培法	一八九八	□
«北海道帝大»*					
一〇八五 チツペリユス	〃	第二十八編[:]	農家馬匹飼養法	一九一〇	□
«北海道帝大»*					

は- 47-

七一〇(7) コエマア	冬期農閑夜話	第卅四編[:]	農事教師の日記より	一九〇九	□
«北海道帝大»*					
〃 (8) リンク	〃	第八十四編[:]	植物肥料の價値と利用	一九〇八	□
«北海道帝大»*					
七一(1) ハーバーノル	農業教科書[:]		農業簿記法	一九〇八	□
«北海道帝大»*					
〃 (2) フンク	〃	[:]	農業沿革	一九一〇	□
«北海道帝大»*					
〃 (3-4) コンラデイ	〃	[:]	牧畜法	一九〇六	同二[冊]
«北海道帝大»*					
〃 (5-6) ロート	〃	[:]	農業經營法	一九〇九	同二[冊]
«北海道帝大»*					
〃 (7-11) ペトリ	〃	[:]	農業會計法	一九〇三	同五[冊]
«北海道帝大»*					
〃 (12) フンク	〃	[:]	經濟一斑	一九一〇	□
«北海道帝大»*					
七一(1) ストレツカア	テール文庫[:]		農事器具器械	一九〇六	□
«北海道帝大»*					«北海道大附圖»
〃 (2) ステブラア	〃	[:]	合理的牧草栽培	一九〇九	□
«北海道帝大»*					«北海道大附圖»
〃 (3) ノワツキ	〃	[:]	クローバ栽培法	〃	□
«陸軍糧秣本廠»					
〃 (4) ウエルナア	〃	[:]	馬鈴薯栽培法	一九〇六	□
«北海道帝大»*					«北海道大附圖»

は- 48-

〃 (5-6) 〃	〃	[:]	ウオルフの肥料學	一九〇四	同二[冊]
«北海道帝大»*					«北海道大附圖»
七一三 リユムカア	農業と科學			一九〇五	□
«北海道帝大»*					
七一四 クール	農學校讀本			一九〇七	□

「北海道帝大」*				
七一五	シユリツプ	農業提要	一九〇八	□
「北海道帝大」*				
七一六	ワイツエル	モエルリン農家の一年	一九〇六	□
「北海道帝大」*				
七一七	ハーン	耕耘沿革	一九〇九	□
「北海道帝大」*				
七一八	カ	農事作業の濫觴	一九〇八	□
「北海道帝大」*				
七一九	キースリング	穀物乾燥検査	一九〇六	□
「陸軍糧秣本廠」				
七二〇	クラウス	大麥藁・燕麥藁の区分	一九〇五	□
「陸軍糧秣本廠」				
七二一	シユーマツヒヤア	小作權	一九〇一	□
「北海道帝大」*				
七二二	ギユンゲリヒ	農業簿記法	一九〇八	□
「北海道帝大」*				
七二三	ホーワルド	農業簿記 第一卷	一九〇三	□
「北海道帝大」*				
				は- 49-
七二四	イーネ	ヘツセン農業地圖	一九一一	□
「北海道帝大」*				
七二五	ワイネク	近代農業に對する荒蕪地の價值	一九〇三	□
「北海道帝大」*				
七二六	ワグナア	耕地の検査	一九一三	□
「北海道帝大」*				
七二七	デムトシンスキ	苗地耕耘法	一九一一	□
「陸軍經理建築」				
七二八	ゾラウア	園藝植物生理學	一八九一	□
「北海道帝大」*				
七二九	シエルレ	中部歐羅巴の非落葉針葉樹	一九〇九	□
「北海道帝大」*				
七三〇	ベルガア	肉厚大戟	一九〇七	□
「北海道帝大」*				
七三一	ツリンクワルタア	外國有用栽培植物	一九一〇	□
「北海道帝大」*				
七三二	ゴエツエ	カンドイユ[:] 栽培植物の起源	一八八四	□
「北海道帝大」*				
七三三	□	ケーニヒスベルグ大學農科大學報告	□	□
「北海道帝大」*				
七三四	ウルリヒ	果樹栽培の槩	一九〇九	□
「北海道帝大」*				
七三五	ゴエシユケ	生産的獨活栽培法	一九〇四	□
「北海道帝大」*				

七三六	フェスカ	熱帯及亞熱帯に於ける植物栽培 第三卷	一九一一	□
《陸軍糧秣本廠》				
七三七	ヨハンゼン	一般種及純粹種に於ける形態遺傳	一九〇三	□
《北海道帝大》*				
七三八	デユンケルベルヒ	牧草耕作及利用	一九〇五	□
《陸軍糧秣本廠》				
一〇六四	ブラウンガルト	印度ゲルマニア全民族農業の故郷	一九一二	□
《北海道帝大》*				
一〇六五	バツハマン	國民經濟原理 第一編[:] 一般經濟	一八九七	□
《北海道帝大》*				
一〇六六	〃	〃 第二編[:] 農業と農業政策	一八九六	□
《北海道帝大》*				
一〇六七	モルラート	農學校用法律學	一九〇九	□
《北海道帝大》*				
一〇六八	アウハーゲン	西伯利亞移住に就て	一九〇二	□
《北海道帝大》*				
一〇六九	〃	裏高架索の農業	一九〇五	□
《北海道帝大》* ⁶³				
一〇七〇	ワイン	作物としての大豆	一八八一	□
《北海道帝大》*				
一〇七一	リンバアト ランゲンベック	農業と植物栽培法	一九〇四	□
《北海道帝大》*				
一〇七二	キツスリング	煙草學と煙草栽培及煙草工業	一九〇五	□
《北海道帝大》*				

一〇七六	ラウル	農業に於ける評價記帳計算法	一九一一	□
《北海道帝大》*				
一〇七八	ファルケ	牧場及草地に於ける施肥影響の試験 第一部	一九〇四	□
《北海道帝大》*				
一〇七九	ファルケ	エーレンベルグの牧場組合	□	□
《北海道帝大》*				
一〇八〇	フランケ	牧畜問答	一九一〇	□
《陸軍經理校》				
一〇八一	プロモダーアン クネニゲンドルフ	牧畜基本	一九〇二	□
《陸軍經理校》				
一〇八二	ファルケ	持久牧畜	一九〇七	□
《陸軍經理校》				
一〇八三	ストレーベル	幼牛飼養法	一九〇八	□
《陸軍經理校》				
一〇八四	バツソン	慣用的滋養飼料の利用	一九〇五	□

《一橋大附圖》

⁶³ “ナシ ~~一〇六九~~ 〃 ~~裏高架索の農業~~ ~~一九〇五~~”(傍線[下線]は赤鉛筆)とす。

「北海道帝大」*				
一〇八六	シュワーブ	齒牙に據る馬匹年齢鑑定法	□	□
「北海道帝大」*				
一〇八七	クニスベル	牧畜業組合の組織と管理	一九〇二	□
「北海道帝大」*				
七三九	ケーニヒ	牧場	一九〇六	□
「北海道帝大」*				
七四〇	モムゼン	ビーデンコツプ[:] 飼草論	一九〇六	□
「北海道帝大」*				

は- 52-

七四一	メッツ	近代人造肥料	一九〇八	□
「北海道帝大」*				
七四二	ヒンク	受胎と遺傳	一九〇五	□
「陸軍醫務醫事」				
七四三	ブランケ	有用家禽飼養法	一九〇五	□
「北海道帝大」*				
七四四	〃	家禽 第一編[:] 大家禽 第二卷	一九〇八	□
「北海道帝大」*				
七四五	ベーク	家禽飼養法 第一卷[:] 養雞法	一九〇八	□
「北海道帝大」*				
七四六	グリユンハルト	工藝的養禽法	一九〇九	□
「北海道帝大」*				
七四七	ツアンダア	養蜂 第三卷[:] 密[密蜜]蜂の形態	一九一一	□
「北海道帝大」*				
七四八	ワグナア	牧畜篇	□	□
「北海道帝大」*				
七四九	〃	牧牛篇	□	□
「北海道帝大」*				
七五〇	クラフト	農業 第三卷[:] 牧畜論	一九〇六	□
「北海道帝大」*				
七五一	グロース	農事有用動物 第七卷[:] 東フリースランド種馬匹	一九〇八	□
「北海道帝大」*				
七五二	ラウ	獨逸牧馬の急務	一九〇七	□
「北海道帝大」*				

は- 53-

七五三	ノエルナア	瑞西の斑牛	一八九二	□
「北海道帝大」*				
七五四	ボルヒヤルト	フキンランドの農業	一九〇八	□
「北海道帝大」*				
七五五	スカルワイト	英國の果樹栽培	一九〇七	□
「北海道帝大」*				
七五六	フロスト	丁抹・佛蘭・和蘭に於ける牛酪取引	一九〇六	□
「北海道帝大」*				

七五七	メツツガア	丁抹の山毛櫨苗床用器具	一九〇六	□
«北海道帝大»*				
七五八	ノイダム	林務官試験準備書	一九〇八	□
«北海道帝大»*				
七五九	コツトマイヤ	農學校林業教科書	一九〇三	□
«北海道帝大»*				
七六〇	テイム	街路樹	一九〇六	□
«陸軍經理建築»				
七六一	ガオヒヤア	樹木の改良	一九〇九	□
一九四	シュワツプパツハ	森林論	一八九四	□
四六九	エンドレス	森林論	一九〇五	□
一三四	ハイヤア	養林	一九〇六	□

は-54-

四二〇	マイル	養林	一九〇九	□
三七七	ヘツス	「ハイヤア」養林(一名)森林産業第二卷	一九〇九	□
四七〇	ノイマイスタア	「ユードアイヒ」森林整理	一九〇四	□
三九六	ストエツツア	森林整理	一九〇八	□
九〇(1-2)	シュワツプパツハ	獨逸森林竝に狩獵沿革 卷一・卷二	二六六六	二[冊]
四八九	〃	「ノイダンマア」林務員必携	一九〇八	□
五九一	マイル	「ガリヤー」森林利用法	一九〇九	□
五五一	ウキムマア	外國種樹木の試植(バーデン大公國官林)	一九〇九	□
四八八	エツクシュタイン	野獸に對する森林防護法	一九〇四	□
四七九	グルンドイヤア	森林生木數計算法	一九〇七	□
四六八	エンドレス	森林價格計算法及林業經濟學	一九一一	□
四六四	ニユツスリン	森林昆蟲學彙	一九〇五	□

は-55-

一〇八八	シュワツプパツハ	養林學	一九〇八	□
一〇八九	ラリス	有用木材の種類	一九一〇	□
一〇九〇	ヨエスチング	森	一八九八	□
一〇九二[三一]	グローテ	林業計算問題	一九〇八	□
一〇九二	クロデイ	養魚と養殖地[² 地池 ²]	一九〇八	□
七六二(1-2)	タウルケ	養魚法	一九〇八	同二[冊]
四〇二	スコーフロネク	漁撈と養殖	一九〇四	□
九五二	デルブリユツク	天然酵母培養法	一九〇三	□
五五九	リーゼンフェルド	銀行との取引に於ける農夫須知事項	一九〇六	□

M. 工藝

(一) 一般

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
一九三(1-3)	獨逸工業協會	工業研究報告 卷二九	一九〇五・一九〇七	三[冊]
		自卷四五及至卷一〇六	一九一一	

«陸軍經理建築»

は- 56-

一九五	リンダース	工藝上必要ナル物理的質量	一九〇四	□
«陸軍技術本部»				
六九五(184)	アイゼル	工藝叢書 第六九編[:] 幾何學的光學の原要素	一九〇八	□
«陸軍技術本部»				
七〇〇(1-5)	フキツシャー	火力工業家節用	一九〇九	同五[冊]
«陸軍技術本部»				
八九二	ウェツディング	鐵の試験法	一八九四	□
«陸軍技術本部»				
八九三(1-2)	獨逸工藝協會	研究作業報告 第二二卷[・]第三九卷	二九〇五	二[冊]
«陸軍技術本部»				
八九四	王室材料検査局	伯林高等工業學校[:] 王室材料検査局報告	一九一三	□
«陸軍經理建築»				

(二) 機械

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註]
二〇五	キツク	機械工藝學講義	一九〇八	□
«陸軍技術本部»				
六九五(15)	ライヒエルト	工藝叢書 第一一〇編[:] 機械構造法	一九〇九	□
«陸軍技術本部»				
〃 (16)	〃	〃 機械構造材料検査法	一九〇九	□
«陸軍技術本部»				
三四六	ブランド	蒸汽機關運轉監督検査法	一九一三	□
«陸軍經理建築»				
三四七	ウーネルト	機械製造及建築組立固定法	一九〇八	□
«陸軍技術本部»				

は- 57-

五八八	フライタツハ	機械製造参考書	一九〇八	□
«陸軍技術本部»				
五六三	ネツデン	機械製造志願者實習	一九〇七	□
«陸軍技術本部»				
六二四	ハイヤア	蒸汽々罐焚火法	一九一〇	□
«陸軍經理校»				
三三七	ギユルドナア	瓦斯發動機及働[働動]力瓦斯装置の設計及計算	一九一四	□
«陸軍東京砲工廠»				
五六四	カムマアホフ	「エヂソン」蓄電器	一九一〇	□
«陸軍技術本部»				
四七三	ウエバア	渦輪及水門綫條	一九〇七	□
«陸軍技術本部»				
四五〇	ステフアン	索道の構造及利用	一九〇七	□
«陸軍工兵校»				
三三八(1-3)	エルンスト	起重機 第一卷・第二卷・第三卷	一九〇三	三[冊]

「陸軍經理建築」	六三二 シュルレンバット	室内装置工藝雜誌 第一七卷	二九二三	□
「陸軍經理建築」	四〇三 バツハ	計算及構成上より見たる機械の要素 第一卷	一九〇八	□
「陸軍技術本部」	八九五 ミラー	器械學	一九〇六	□
「陸軍技術本部」	八九六 ガウス	機械計算用對數表	一九〇一	□
「陸軍技術本部」				
				は- 58-
「陸軍經理建築」	八九七 ドクリル	測量器製法	一九〇七	□
「陸軍技術本部」	八九八 モール	機械學	一九〇六	□
「陸軍經理建築」	八九九 ラウエンシュタイン	機械學	一九〇七	□
「陸軍經理建築」	九〇〇 ビーデンカツプ	ジェームス・ワットと蒸汽機關發明	一九一一	□
「陸軍技術本部」	九〇一 クライバア	蒸汽機關, 汽罐, 瓦斯, 石油, 及ベンチ[キチ ²]ンモートル	一九〇八	□
「陸軍技術本部」	九〇二 ゲットシエ	冷却機	一九一〇	□
「陸軍技術本部」	九〇三 オストホフ	機械構成計算法	一九〇九	□

(三) 建築

[假 番 號]	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註 1
三四四	ワウルチニヨク	機械及建築材料検査法	一九〇八	□
「陸軍經理建築」				
四九八	ヘツク	建築機械學	一九〇八	□
「陸軍經理建築」				
四一四(1-2)	ハインリッヒ・ ミュルラア	建築構成上の靜力學 第一卷・第二卷第二編	二九〇五	二[冊]
「陸軍經理建築」				
四五五	シュミット	建築學 第四編[:] 建築物設計及構築 第三卷第一部[:] 農事建築物	一九〇一	□
「陸軍經理建築」				
				は- 59-
五六六	ホトツブ	「ケツク」建築固定計算に於ける彈力論	一九〇五	□
「陸軍經理建築」				
四九七	シユーベルト	田園建築指針	一九一〇	□
「陸軍經理建築」				
五九七(1-39)	エンデル工務省	建築雜誌 自卷二至卷六〇 缺卷一, 三 - 八, 一〇 - 一六, 二一, [二三 - 二五, 二八] ² , 四一, 四三, 四五 - 四六, 五五	皇一八五三 二一九三〇	□
「陸軍經理建築」				

六三八(1-35) 〃	建築雑誌附圖 自卷二至卷六〇 缺卷一, 三 - 八, 一〇 - 一六, 二一, 二三 - 二五, 二八, 四一, 四三, 四五 - 四六, 五五, 五九	自一八五二 至一九二〇	□
《陸軍經理建築》			
二一〇(1-30) 獨逸建築 工藝協會	建築雑誌 自卷三至卷三四 缺卷一, 二, 四, 五	自一八六七 至一九〇〇	□
《陸軍經理建築》			
二一二(1-26) 工務省	建築公報 自第一卷 至第三二卷 缺卷二一, 二二, 同書[同書]八, 九, 一〇, 一二	自一八八一 至一九一三	□
《陸軍經理建築》			
〃 (29-36) 〃	〃 自第二三卷至第三〇卷	一九〇三 一九二〇	八冊
《陸軍經理建築》			
〃 (27-28) 〃	建築公報目錄 自卷一至卷一〇	二八八一 二八九〇	二冊
《陸軍經理建築》			
〃 (37) 〃	〃 自第一一卷至第二〇卷	一九〇二	□
《陸軍經理建築》			
二九一(1-4) 伯林建築協會	獨逸建築週報 第一卷 - 第五卷	一八六七 一八七一	第三卷缺 四冊
《陸軍經理建築》			

は- 60-

六一七(1-10) 建築公報 編輯部	記念碑建築雑誌 第一卷 - 第一三卷 缺卷二, 三, 九	二八九九 二九二二	十冊
《陸軍經理建築》			
六二二(1-2) ハールマン	建築工業雑誌 第五五卷[・]第五七卷	一九一〇 一九二三	二冊
《陸軍經理建築》			
九〇四 ダウブ	上部建築法 第四編[:] 建築指導	一九〇九	□
《陸軍經理建築》			
九〇五 ウエイラオホ	弾力性穹窿脚柱	一八九七	□
《陸軍經理建築》			
九〇六 フローン	畫法靜力學	一九〇六	□
《陸軍經理建築》			
九〇七 コルネリウス	機關車庫の設計と建築	一九〇九	□
《陸軍經理建築》			
九〇八 製綱[綱鋼]會社	上部建築に於ける鐵	一九一三	□
《陸軍經理建築》			
九〇九 ストウルケル	架橋附圖 第二	一九〇六	□
《陸軍工兵校》			
九一〇(1-2) ヘーゼラア	架橋 第一編[:] 鐵橋及同附圖	一九〇八	二[冊]
《陸軍工兵校》			
九一一(1-3) 普國王室 鐵道協會	普國鐵道の轉轍, 軌道6dの轉轍 第一・第二・第三編	□	三[冊]
《陸軍技術本部》			
〃 (4-7) 〃	〃 軌道8aの轉轍 第一・第二・第三・第五編	□	四[冊]
《陸軍技術本部》			
九一二 □	ハノーヴァー裁判所新築寫眞	□	□
《陸軍經理建築》			

は- 61-

一〇九三 デラパール	主要木組法	一八九六	□
《陸軍經理建築》			

一〇九四 // 石材主要構築法 一八九九 □
 «陸軍經理建築»

(四) 礦山

[假番號]	著譯者名	書名	發行年代	註]
一〇九五(1-2)	ホエフアー	礦業員必携 第一卷[•]第二卷	一九一一	二[冊]
		«陸軍技術本部»		
九一三	クルーグ	ケル, 礦石試験法	一九〇八	□
		«陸軍技術本部»		
九一四	ウエツディング	製鐵	一九〇八	□
		«陸軍技術本部»		
九一五	//	冶金術 第三卷[:] 製鐵法	□	□
		«陸軍技術本部»		
九一六	クルツシュ	礦層調査法及評價法	一九〇七	□
		«陸軍技術本部»		
九一七	ベルトリング	獨逸に於ける重晶石礦層	一九一一	□
		«陸軍技術本部»		
九一八	スツツアー	非金屬の重要礦層 第一編[:] 花崗石・金剛石・硫黃・磷礦	一九一一	□
		«陸軍技術本部»		
九一九	バーク	獨逸褐炭・石炭・加里礦業年報 第十一卷	一九一一	□
		«陸軍技術本部»		
九二〇	アーレンツ	一九一三年度萬國石油工業便覽	一九一二	□
		«陸軍技術本部»		
				は- 62-
九二一(1)	農商務省	普魯西礦業雜誌 第五六卷	一九〇八	□
		«陸軍技術本部»		
六六二(1-2)	//	// 第五七卷[•]第五八卷	二九〇九	二[冊]
		«陸軍技術本部»		
九二一(2)	//	// 第五六卷統計附録	一九〇八	□
		«陸軍技術本部»		
九二二	コルベック	礦業新報 第六〇卷	一九〇一	□
		«陸軍技術本部»		
九二三	ライン フアンリヤ石炭組合	一九世紀後半に於ける ライン・フアンリヤ石炭業沿革 第一〇編[:] 經濟的發達 第一	一九〇四	□
		«陸軍技術本部»		«海保大圖»
四四八	シユナーベル	冶金術	一九〇四	□
		«陸軍技術本部»		
三四三(1)	ハイゼー[=]?	採礦學 第一卷	一九一一	□
		«陸軍技術本部»		
三四三(2-3)	ハイゼ[ハイゼ] //	第三一巻	一九一一	同二[冊]
		«陸軍技術本部»		
// (4-6)	//	// 第三二巻	一九一〇	同二[冊]
		«陸軍技術本部»		
一四四(1-3)	ダーピイエル	礦山採掘法 卷一・卷二・卷三	一九〇五 一九一三	三[冊]

「陸軍技術本部」				
六九五(1-5)	ユングスト	工藝叢書 第七七編[:]	有用礦層	一九〇八 同五[冊]
「陸軍技術本部」				
は- 63-				
六九五(6-13)	フリーゼ	工藝叢書 第三七編[:]	礦石及石炭の撰[撰選]礦	一九〇八 同八[冊]
「陸軍技術本部」				
〃 (17-18)	ミラア	〃	第一二編[:]	測量術
「陸軍技術本部」				一九一〇 同二[冊]
二四四	バイシュラーグ	有用礦石の礦層	第一卷	一九〇九 □
「陸軍技術本部」				
一四八	エングラア ホエフアア	石油	卷二	一九〇九 □
「陸軍技術本部」				
四四〇	ブルース	獨逸に於ける有洋用礦物及山嶽の種類		一九〇六 □
「陸軍技術本部」				
六九四	フツテラア	金山[[?] 出產 [?]]地「アフリカ」の過去、 _レ 現在及將來		一八九五 □
「陸軍技術本部」				
三八三	シユマイサア	トランスバールに於ける有用礦物の所在と採掘		一八九五 □
「陸軍技術本部」				

(五) 土木

[假番號]	著譯者名	書名	發行年代	註]
四二三	ヒューヅング	ポートルランドセメント	一九〇五	□
「陸軍經理建築」				
三二一(1-3)	エムペルガア	鐵筋コンクリイト 第一卷・第二卷・第三卷	二九〇八	三[冊]
「陸軍經理建築」				
〃 (4-6)	〃	第四卷第一編・第二編・第三編	一九〇九	三[冊]
「陸軍經理建築」				
三二三(1-4)	〃	ベトン及鐵 第九卷・第一〇卷・第一一卷・第一二卷	二九二〇	四[冊]
「陸軍經理建築」				
は- 64-				
一三五	フリニドリヒ	水道設備竝に經營	一九〇七	□
「陸軍經理建築」				
四〇九	マツテマン	水力の利用	一九〇八	□
「陸軍技術本部」				
六三九(1-2)	ルドルフ	建築雜誌増刊[:]	北米治水工事報告(一八九五年號)及全附圖	一八九五 二[冊]
「陸軍經理建築」				
九二四	ケルステン	鐵筋コンクリイト 第二編	一九〇九	□
「陸軍經理建築」				
九二五	ケルラア	下部工事構圖(圖面二六枚)	一九〇三	□
「陸軍經理建築」				
九二六	ガマン	道路維持法	一九〇八	□
「陸軍經理建築」				

(六) 雜

〔假 番 號〕	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註 1
九二七	ヂヤコノウ	硝子製造吹管法	一九一一	□
«陸軍經理建築»				
九二八	ミュルラア	印刷術	一九〇四	□
«陸軍技術本部»				
九二九	クラーセン	製糖工業 第一[:] 製糖	一九〇五	□
«陸軍技術本部»				
九三〇	ドナート	着色寫眞	一九〇六	□
«陸軍經理建築»				
九三一	エルバン	染料印刷・製紙工藝提要	一九〇八	□
«陸軍千住製絨»				
				は- 65-
九三二	バーデン リンソニダ會社	染料利用法	□	□
«陸軍千住製絨»				
九三三	ワルドウ	植字工	□	□
«陸軍技術本部»				
四九六	パロウ	澱粉製造	一九〇八	□
«陸軍千住製絨»				
四〇四	バーデン リンソニダ會社	アニリン	一九〇〇	□
«陸軍千住製絨»				
三八八(1)	レオポルド セセラ會社	絨毛染色	□	□
«陸軍千住製絨»				
〃 (2-3) 〃		木綿染色及全追加 第一卷	二九〇二 二九〇四	二[冊]
«陸軍千住製絨»				
〃 (4) 〃		絹毛混合材料の染色	一九〇六	□
«陸軍千住製絨»				
三七九(1-4)	□	造船協會年報 自第一卷至第七卷	一九〇〇 缺卷 三 一九〇六 五 六	
«陸軍技術本部»				
五八二(1-2)	王室監督委員會	王室原料試驗局報告 ^{第二九卷} _{第三〇卷}	二九一一 二九一二	二[冊]
«陸軍技術本部»				
五〇九	デュツセルドルフ ネスマン鐵管製造會社	マンネスマン ⁶⁴ 鐵管製造所一覽	□	□
«陸軍技術本部»				

N. 交通・商業

〔假 番 號〕	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註 1
一九二	トロスケ	一般鐵道學 卷一	一九〇七	□
«陸軍工兵校»				
				は- 66-
四七四	ロエツダー	長距離電車の進歩	一九〇八	□
«九州大中圖»				

⁶⁴ 原文は“デュツセルドルフ 日マンネスマン鐵管製造會社”乍ら、技術的理由で表記の如くしておいた。

五〇六(1-28)	プロシヤ工務省	鐵道雜誌 自第二卷至第三〇卷	一八七九 一九〇七	缺卷 一六	《九州大中國》
三五一(1-12)	〃	輕便鐵道雜誌 自第一卷至第一四卷	一八九四 一九〇七	缺卷六 一三	《九州大中國》
九三四	ケーグバイン	一九一二年度世界海運及造船	□	□	
九三五	オーデル	列車解體停車場	一九〇四	□	
		《陸軍經理建築》			
九三六	カウアー	乗客停車場	一九一三	□	
		《陸軍經理建築》			
九三七	エツカート	ケルン高等商業學校[:]一九〇六 - 〇七年度報告	一九〇八	□	
四四二(1)	支那海關	支那開港場商工業發達報告(一八九二 - 一九〇一[:] 一〇年間)			
		卷一[:] 北方及揚子江沿岸諸港	一九〇四	英	
〃 (2)	〃	〃			
		卷二[:] 南方諸港	一九〇六	英	
四〇六	ルキ・ガイヤール	開港地「南京」	一九〇一	佛	

は- 67-

O. 雜件

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
四四三	ウエンクステルン	大日本書史 一八九四 - 一九〇六年	一九〇六	英・佛・獨
三六三(1-4)	フオルクマール	獨逸出版目錄 二九一〇 - 一九一一年 一九一三 - 一九一四年	□	四[冊]
一九〇	シユレーゲル	プロシヤ圖書館アルファベット目錄解説	一九〇九	□
五九三	エンゲルマン	書店エンゲルマン百年祭紀念目錄	一九一一	□
二四(1-4)	アンリ・コルデキエ	支那帝國に關する著述一覽 自卷一 至卷四	二九〇四 二九〇八	四[冊]
五八九(1-2)	帝國統系[系計]局	獨逸帝國統系[系計]年報 第二九卷[・]第三〇卷	二九〇八 二九〇九	二[冊]
六五六	シユミット	伯林大學百年祭報告(一九一〇年)	一九一一	□
五四九	□	ミュンヘン大學文科大學會議報告 第二卷	一八七三	□
三三二	コロンビヤ大學	コロンビヤ大學一覽	一九一三	□
三三五(1-2)	遞信省布令局	帝國郵便小切手取引人名簿	二九二二 二九二三	二[冊]
二四〇(1-3028)	プレトシユナイダ ストユルツエル エンベルガー	英國亞細亞協會[北]支那支部雜誌	自第一卷 一八六八 至第三五卷 一九〇四	缺卷: 四 六 一三 一四 二九 但シ廿 八冊

は- 68-

五八四	[大 ²]同會社	大同電氣會社案内(A.E.G.)	□	□
六二八(1-2)	〃	物理機械製造 マックス・コール會社商品目錄第二一卷及全補遺	□	二[冊]
九三八(1-2)	シユルツ	伯林讀本 第四卷	□	同二[冊]
九三九	ヘロルド	中學獨逸讀本 第二卷	一九一一	□
九四〇	エンゲリー	獨逸讀本(小學二年生用)	一九一〇	□
九四一	デイトライン	初等獨逸讀本	一九〇四	□
九四二	ウユルテンベルヒ	高等獨逸讀本 第三卷	一九〇五	□
九四三	プツツガア	小學獨逸讀本(二年生前期)	一九〇九	□
九四四(1-2)	ザンダア	德文讀本漢釋	一九一三	□
				《海保大圖》
九四五	□	獨逸高等工業學校諸規定	一九〇四	□

九四六	エチエンヌ	支那武官登用試験	一八九六	佛
九四七	□	一八七七年度北京ガゼット 翻[翻譯]譯	一八七八	英
は- 69-				
九四八	□	鑛業著書及會社人名目録	一九一〇	□
九四九	□	レンズ目録	□	□
九五三	□	ヘブライ語書籍	一八九七	□
一〇九六	サロモン	サロモン 新聞一般史	一九〇七	□
一〇九七	ブルンフーバア	獨逸の新聞事情	一九〇八	□
一〇九八(1-2)	パルダムス	高等女學校用獨逸讀本 第二卷[・]第四卷	二九〇五	二[冊]
一〇九九	□	一九一二年度伊太利數 目 學著書目録	□	伊

に- 1-

德華高等學堂藏書 漢籍之部 目録

第一. 經書子類(哲學[・]教育學)

[假] 番 號	書 名	卷	冊數	摘要
三五二	大學衍義及衍義補			
	第一帙[:] 大學衍義	一 - 三九	八	□
	第二帙[:] 同	四〇 - 四三	二	□
	大學衍義補	一 - 一六〇	三八	自第三帙至第六帙計四帙
一五	校補蘇氏增批孟子	上[・]下	二	□
一	四書經註集證			
	第一帙[:] 大學	一	一	□
	第一帙[:] 中庸	一	一	□
	論語	一 - 八	六	□
	第二帙[:] 論語	九 - 一〇	一	□
	孟子	一 - 七	七	□
二二	經苑(四庫全書)			
	第一帙[:] 易苑	一 - 六	二	□
	吳園 周易解	一 - 九	二	□
	誠齋[齊齋] 易傳	一 - 一九	四	□
	第二帙[:] 易傳證 <small>易學濼齋 數文書院</small>	全一	一	□
	尚書精義	一 - 三二	七	□
	第三帙[:] 尚書精義	三三 - 五〇	四	□
	詩總聞	一 - 一七	四	□
	第四帙[:] 詩總聞	一八 - 二〇	一	□
	呂氏讀詩記	一 - 二五	七	□

に- 3-

	第五帙[:]	呂氏讀詩記	二六 - 三二	二	□
		續呂氏讀詩記	一 - 三	二	□
		周官新義	一 - 一六	四	□
	第六帙[:]	義[義儀]禮集釋	一 - 二六	八	□
	第七帙[:]	義[義儀]禮集釋	二七 - 三〇	一	□
		春秋集解	一 - 一二	二	□
		春秋纂例	一 - 八	四	□
二二		春秋微旨	上・中・下	一	□
	第八帙[:]	孝經刊誤本義或問翼	全一	一	□
		論語意原	一 - 四	一	□
		孟子外書	一 - 三	一	□
		四書叢書 大學	全一	一	□
					に- 4
		四書叢書 中庸 論語	上 中 下	一	□
		瑟譜	全一	一	□
二七	皇清經解		一 - 一,四〇八	三六〇	計四十帙
「京都帝大*」*					
二八	皇清經解續編		一 - 一,四三〇	二八〇	第九 一七 三五 二
「京都帝大*」*					八 三五 三九 缺帙
四八	毛詩注疏		一ノ一 - 二〇ノ四	二四	□
五四	欽定詩經傳說		一 - 二一	一六	内詩序上下二册アリ
五七	御纂周易折中		一 - 二二	一〇	計一帙
四二	禮記注疏		一 - 六三	二八	計四帙
三〇	五禮通考		一 - 二六二	一〇〇	計一〇帙
三八	二程遺書(四庫全書)				
	第一帙[:]	二程遺書	一 - 二五	四	□
		二程外書	一 - 一二	一	□
					に- 5-
		明道文集	一 - 五	一	□
		伊川文集	一 - 八	二	□
	第二帙[:]	伊川文集	全一	一	□
		伊川易傳	一 - 四	三	□
		伊川經說	一 - 四	一	□
「京都帝大*」*					
三八	第二[三三 ²]帙[:]	程氏經說	五 - 六	一	□
		二程粹書	一 - 二	二	□
「京都帝大*」*					
三三	朱子五[五語]類		一 - 一四〇	四八	計六帙
「京都帝大*」*					
三六	船山遺書(四庫全書)				
	第一帙[:]	周易内傳	一 - 六	七	□
		周易稗疏攷異	一 - 四	一	□
		周易大象解	全一	一	□
					に- 6-
		周易外傳	一 - 二	一	□
		周易外傳	一 - 二	一	□

	[周易外傳]	二		?
第二帙[:]	周易外傳	三 - 七	三	<input type="checkbox"/>
	尙書引義	一 - 六	三	<input type="checkbox"/>
	書經稗疏	一 - 四	二	<input type="checkbox"/>
	詩經稗疏	一 - 四	一	<input type="checkbox"/>
	<small>詩經攷異</small>	二	一	<input type="checkbox"/>
	<small>詩經口十百四辨</small>			<input type="checkbox"/>
第三帙[:]	詩廣傳	一 - 五	二	<input type="checkbox"/>
	禮記章句	一 - 一四	八	<input type="checkbox"/>
第四帙[:]	禮記章句	一五 - 四九	七	<input type="checkbox"/>
	春秋家說	一 - 三	〇	<input type="checkbox"/>
第五帙[:]	春秋稗疏	上 - 下	一	<input type="checkbox"/>

に- 7-

	春秋世論	一 - 五	二	<input type="checkbox"/>
	<small>春秋世論</small>	上[•]下	一	<input type="checkbox"/>
	<small>左氏傳傳義</small>			<input type="checkbox"/>
	四書大全說	一 - 六	六	<input type="checkbox"/>
第六帙[:]	四書大全說	七 - 一〇	四	<input type="checkbox"/>
	四書稗疏攷異	一	一	<input type="checkbox"/>
	說文廣義	一 - 三	三	<input type="checkbox"/>
	讀通鑑論	一 - 六	二	<input type="checkbox"/>
第七帙[:]	讀通鑑論	七 - 三〇	一〇	<input type="checkbox"/>
第八帙[:]	宋論	一 - 一五	四	<input type="checkbox"/>
	永麻實錄	一 - 二六	三	<input type="checkbox"/>
	蓮峰志	一 - 五	一	<input type="checkbox"/>
	張子正蒙注	一 - 四	二	<input type="checkbox"/>

に- 8-

第九帙[:]	張子正蒙注	五 - 九	二	<input type="checkbox"/>
	思問錄內外篇	一	一	<input type="checkbox"/>
	俟解噩夢	一	一	<input type="checkbox"/>
	黃書識小錄 老子衍	一	一	<input type="checkbox"/>
	莊子解	一 - 三三	五	<input type="checkbox"/>
第一〇帙[:]	楚辭釋	一 - 八	三	<input type="checkbox"/>
	薑齊[齊齋]文集	一 - 一〇	一?	<input type="checkbox"/>
	薑齊[齊齋]稟	一	一	<input type="checkbox"/>
	薑齊[齊齋]詩集	一	一	<input type="checkbox"/>
	<small>欽定初集二集</small>	一	一	<input type="checkbox"/>
	<small>瀋州怨詩</small>	一	一	<input type="checkbox"/>
	詩話	一	一	<input type="checkbox"/>
	<small>經義 三船山義書校勘記</small>	一	一	<input type="checkbox"/>
	<small>薑齊詩 龍源夜話 憶得詩</small>			<input type="checkbox"/>

«京都帝大*»*

に- 9-

三六	第一〇帙[:]	薑齊[齊齋]詩文體編年稟文集補遺 全一	一	<input type="checkbox"/>
«京都帝大*»				
五	御纂性理精義	一 - 一二	六	<input type="checkbox"/>
二五	廣雅叢書			
	第一帙[:]	尙書仲孔篇禹貢班義述	上・中・下	<input type="checkbox"/>
		毛詩傳箋通釋	一 - 一七	<input type="checkbox"/>
	第二帙[:]	同	一八 - 三二	<input type="checkbox"/>
	第三帙[:]	禮記天算釋	全一	<input type="checkbox"/>

	毛詩天文考	全一	一	<input type="checkbox"/>	
	爾雅補注殘本	全一	一	<input type="checkbox"/>	
	釋穀	一 - 四	一	<input type="checkbox"/>	
	漢碑徵經	全一	一	<input type="checkbox"/>	
	汗簡箋正	一 - 二二	四	<input type="checkbox"/>	
				に - 10-	
	第四帙[:]	史記志疑	一 - 一五	七	<input type="checkbox"/>
	第五帙[:]	同	一六 - 三六	七	<input type="checkbox"/>
		補續漢書藝文志	全一	一	<input type="checkbox"/>
	第六帙[:]	諸史考異	一 - 一八	三	<input type="checkbox"/>
		近思錄	一 - 七	三	<input type="checkbox"/>
	第七帙[:]	同	八 - 一四	二	<input type="checkbox"/>
		史記天官書補目	全一	一	<input type="checkbox"/>
		史表功比說	全一	一	<input type="checkbox"/>
		史漢駢枝楚漢諸侯[候侯]疆域志	全一	一	<input type="checkbox"/>
	第七帙[:]	人表攷	一 - 九	四	<input type="checkbox"/>
	第八帙[:]	歷代史表	一 - 二五	三	<input type="checkbox"/>
	第九帙[:]	同	二六 - 五九	三	<input type="checkbox"/>
					に - 11-
		三國志攷證	一 - 八	二	<input type="checkbox"/>
	第一〇帙[:]	<small>晉書校勘記</small> <small>宋州郡志文藝功記</small>	二 - 四 二 - 三	一	<input type="checkbox"/>
		漢[漢漢]書辨疑	一 - 二二	五	<input type="checkbox"/>
	第一一帙[:]	<small>水經注西南諸水考</small> <small>統允行書筆記</small>	一 - 三 一 - 四	一	<input type="checkbox"/>
		三國志辨疑	一 - 三	一	<input type="checkbox"/>
		後漢書注文補	全一	一	<input type="checkbox"/>
		後漢書辨疑	一 - 一一	三	<input type="checkbox"/>
		句溪雜著	一 - 六	一	<input type="checkbox"/>
		廣溪[溪經]室文鈔	全一	一	<input type="checkbox"/>
	第一二帙[:]	學詒齋[齊齋]文集	上・下	一	<input type="checkbox"/>
		愈愚錄	一 - 六	二	<input type="checkbox"/>
		劉氏遺書	一 - 八	二	<input type="checkbox"/>
					に - 12-
		先聖生卒年月表	全一	一	<input type="checkbox"/>
四 ^七	日知錄	一 - 三二	一六	<input type="checkbox"/>	
「京都帝大*」*					
□五	經史百家雜鈔	一 - 一二	六	<input type="checkbox"/>	
七六	尙書注疏	一 - 二〇	一〇	<input type="checkbox"/>	
八六	欽定書經傳說彙纂	一 - 二一	一二	<input type="checkbox"/>	
七七	<small>周易注疏</small> <small>經典釋文</small>	二 - 九	五	計一帙	
一〇五	周禮注疏	一 - 四二	一八	計二帙	
八八	欽定禮記義疏	一 - 八二	三二	計四帙	
一八四	論語本義官話	全一	二	<input type="checkbox"/>	
一一一	孟子注疏(四庫全書)	一,上 - 一四,下	八	<input type="checkbox"/>	
一四七	中庸本義官話	全一	二	<input type="checkbox"/>	
一四六	大學本義官話	全一	三	<input type="checkbox"/>	

七二

古經解彙函

第一帙[:]	鄭氏周易注	上・中・下	一	<input type="checkbox"/>
	陸氏周易述	一	一	<input type="checkbox"/>
	周易集解	一一一七	五	<input type="checkbox"/>
	周易口譯義	一一六	一	<input type="checkbox"/>
	<small>周乾中變度 周坤中變度 周系中變度</small>	上・下	一	<input type="checkbox"/>
第二帙[:]	韓詩外傳	一一一〇	〇	<input type="checkbox"/>
	毛詩陸疏	上・下	一	<input type="checkbox"/>
	易緯稽覽圖	一	一	<input type="checkbox"/>
	春秋繁露	一一一七	二	<input type="checkbox"/>
	尚書大傳	一一三	二	<input type="checkbox"/>

第三帙[:]	春秋釋例	一一一五	六	<input type="checkbox"/>
	春秋集傳纂例	一一一〇	三	<input type="checkbox"/>
第四帙[:]	春秋微旨	上・中・下	一	<input type="checkbox"/>
	春秋集傳辨疑	六一一〇	一	<input type="checkbox"/>
	論語義疏	一一二	一	<input type="checkbox"/>
	論語集解	一一一〇	三	<input type="checkbox"/>
	論語筆解	上・下	一	<input type="checkbox"/>
	孝經注疏	二二九〇	二六	計一帙
	論語注疏	二二三〇	二六	

但シ卷一 - 五マテ
一册缺

七五

小學彙函

六七

第一帙[:]	方言	一一一三	一	<input type="checkbox"/>
	釋名	一一八	一	<input type="checkbox"/>
	廣雅	一一一〇	一	<input type="checkbox"/>

	匡謬正俗	一一八	一	<input type="checkbox"/>
	急就篇	一一四	二	<input type="checkbox"/>
	說文解字	一,上 - 一二,下	四	<input type="checkbox"/>
第二帙[:]	說文繫傳	一一四〇	五	<input type="checkbox"/>
	說文繫傳校勘記	上・中・下	一	<input type="checkbox"/>
第三帙[:]	說文篆韻譜	一一五	二	<input type="checkbox"/>
	玉篇	上・中・下	三	<input type="checkbox"/>
	干祿字書[・]五經文字	上[・]中	一	<input type="checkbox"/>
	五經文字[・]九經字樣	下	一	<input type="checkbox"/>
第四帙[:]	廣韻上平聲	一	一	<input type="checkbox"/>
	全 下平聲	一	一	<input type="checkbox"/>
	全 上聲	一	一	<input type="checkbox"/>

一三七

經義亭疑

一二五

近思錄補註

[一]²二四

宋元學案

全 去聲	一	一	<input type="checkbox"/>
全 入聲	一	一	<input type="checkbox"/>
全 廣韻	一一五	五	<input type="checkbox"/>
經義亭疑	一一三	一一	<input type="checkbox"/>
近思錄補註	一一一四	四	<input type="checkbox"/>
宋元學案	一一一〇〇	四八	<input type="checkbox"/>

«京都帝大*»*

一四三	蒙學讀本全書	全	七	□
一四二	修身教科書	一 - 四	四	□
[一] ² 四九	修身教科書詳解	二 - 三	二	□
一五八	兒童矯弊論	一	一	□
一五一	第一次教育統計圖表	一	一	光緒三十三年度分
一一七	新譯日本教育法規	一編 - 一八編	一二	計二帙

に-17-

一三〇	山東教育官報	一期 - 一八期	一四	但シ四 一三 一四缺本
[一二] ² 七	吉林教育官報	九三 - 一〇一	六	但シ一 - 九二、九四、 五、七缺卷
一三一	山東教育公報	中華元年度 中華二年度	一〇 二	□

第二. 史傳

假番號	書名	卷	冊數	摘要
四九	春秋左傳[注]疏	一 - 六〇	三〇	但シ六、七一册缺本 計四帙
五五	欽定春秋傳說	一 - 三八	一九	但シ六、七一册缺本 計二帙
二	資治通鑑	一 - 二九四	一〇〇	計一〇帙
«京都帝大*»*				
三	正續資治通鑑	一 - 二二〇	六〇	計六帙
六三	南北齊書			
	第一帙[:] 南齊書	一 - 五九	五	□
	北齊書	一 - 五〇	五	□
六二	隋書	一 - 八五	一二	計二帙
三九	宋史鑑(四庫全書)	一 - 一五〇	二四	計三帙
二九	廿二史劄記	一 - 三六	一〇	計二帙二部
五三	廿二史攷異	一 - 二三	六	□
一一	文獻通考	一 - 三四八	七二	計一二帙
一二	通志	一 - 二〇〇	九六	計一六帙
一〇	通典	一 - 二〇〇	二四	計四帙
二一	五種記事本末			
	第一帙[:] 左傳記事本末	一 - 四七	一〇	□
	第二帙[:] 同	四八 - 五三	二	□
	通鑑記事本末	一 - 三三	八	□
	自第三帙[:] 通鑑記事本末 至第七帙	三四 - 二二二	五〇	□
	第九帙[:] 宋史記事本末	二九 - 七八	一〇	但シ一、二八、一帙 缺本
	第一〇帙[:] 同	七九 - 一〇九	六	□
	元史記事本末	一 - 二七	四	□
	自第一一帙[:] 明史記事本末 至第一二帙	一 - 八〇	二〇	□

に-19-

«京都帝大*»*

五八 國朝先正事略

五八[五六]	第一帙[:] 國朝先正事略	一 - 二五	五	□
	第二帙[:] 國朝先正事略	二六 - 六〇	三	□
	續先正事略	一 - 八	二	□
九四	儀禮注疏	一 - 五〇	一六	計二帙
一一〇	欽定儀禮義疏	一 - 四八	二六	計四帙
に- 20-				
九七	皇朝通典	一 - 一〇〇	四〇	計四帙
九八	欽定續通典	一 - 一五〇	四〇	計四帙
九九	皇朝通志	一 - 一二六	四〇	計四帙
一〇〇	欽定續通志	一 - 六四〇	二〇〇	計二〇帙
一二一	讀禮通考	一 - 一二〇	三二	計四帙
九五	皇朝文獻通考	一 - 三〇〇	一六〇	計一六帙
九六	欽定續通考	一 - 二五〇	一二〇	計一二帙
六六	文獻徵存錄	一 - 一〇	一二	□
七八	公羊注疏	三 - 二八	一一	但, 卷一 - 二, 一册缺本
一一九	穀梁注疏(四庫全書)	一 - 二〇	六	□
九二	史記	一 - 一三〇	一六	計二帙
一一六	十七史商榷	一 - 一〇〇	一四	計二帙
に- 21-				
八九	史通例纂 (文心雕龍後編)	二 - 四〇	四	計一帙
九三	諸史拾遺	一 - 五	二	□
一六一	古今圖書集成 邊裔典	全第五十九卷	一	□
七九	歷代帝王年表	一 - 三	三	□
一一三	批點歷代史論			
	第一帙[:] 左傳史論	一 - 二	一	} 計一帙
	歷代史論	一 - 一二	五	
	宋史論	一 - 三	二	
	元史論	一	一	
	明史論	一 - 四	一	
一三五	王船山續[續讀]通鑑論附宋論	宋論一 - 二二五 續讀論一 - 二二六	九	讀通論四, 三卷缺
一三四	繡像東周列國志	三 - 二七	六	二九二三一缺卷
に- 22-				
一〇六	前漢書	一 - 一〇〇	一六	計二帙
一〇七	後漢書	一 - 九〇 續一 - 三〇	三三	計二帙
一一一	三國志	一 - 六五	八	□
八四	魏書	一 - 一四	二〇	計二帙
八三	晉書	一 - 三〇	二〇	計二帙
一〇四	北史	一 - 一〇〇	一六	計二帙
九一	南史	一 - 八〇	一六	計二帙
一〇八	陳書	一 - 三五	四	□
八七	周書	一 - 五〇	四	□

一一五	梁書	一一五六	六	□
九〇	舊五代史	一一一五〇	一六	計二帙
七三	五代史	一一七四	八	□
に-23-				
八〇	舊唐書	一一二〇〇	四〇	計四帙
八一	唐書	一一二二五	四〇	計四帙
八五	宋書	一一一〇〇	一六	計二帙
六八	宋史	一一四九六	一〇〇	計一〇帙
一一八	遼史	一一一一五	一二	計二帙
七〇	金史	一一一三五	二〇	計二帙
六九	元史	一一二一〇	四〇	計四帙
七一	明史	一一三三二	八〇	計八帙
一二二	拿破崙本紀	一一四	四	□
【《東京外語》】 ⁶⁵				

第三. 文學(美術・音樂)

に-24-				
假番號	書名	卷	冊數	摘要
五六	文選	一一六〇 二四	內. 考異一 - 一〇. 四冊アリ 計三帙	
《京都帝大》* [*]				
六	古文辭類纂			
	第一帙[:] 古文辭類纂	一一四六	八	□
	第二帙[:] 古文辭類纂	四七 - 七五	四	□
	續古文辭類纂	一一一〇	四	□
	第三帙[:] 同	一一 - 二八	八	□
《京都帝大》* [*] 【《東京外語》】 ⁶⁶ 《東京外大附圖》				
三四	曾文正公			
	自第一帙[:] 奏稿	一一三六	三六	計四帙半
	至第五帙[:] 十八家詩鈔	一一二八	二八	計三帙半
	自第五帙[:] 經史百家雜鈔	一一二四	二四	計三帙
	至第九帙[:] 同	二五 - 二六	二	□
に-25-				
	經史百家簡編	上・下	二	□
	鳴原堂論文	上・下	二	□
	詩集	一一三	一	□
	文集	一	一	□
	第一三帙[:] 文集	一一三	三	□
	書札	一一六	五	□
《京都帝大》* [*]				
三四	自第一四帙[:] 書札	七 - 二八	一六	計二帙
	至第一五帙[:]			

⁶⁵ “ ”()

⁶⁶ “ナシ ~~〇六九~~ ~~ノ~~ 裏高架索の農業 ~~九〇五~~”(傍線[下線]は赤鉛筆)

	第一六帙[:]	書札	二九 - 三三	五	<input type="checkbox"/>
		批牘	一 - 三	三	<input type="checkbox"/>
	第一七帙[:]	同	四 - 六	三	<input type="checkbox"/>
		雜著	一 - 貳	二	<input type="checkbox"/>
		讀書錄	一 - 七	三	<input type="checkbox"/>
					に-26-
	第一八帙[:]	同	八 - 一〇	一	<input type="checkbox"/>
		求闕齋[齊齋]日記	上[・]下	二	<input type="checkbox"/>
		年譜	一 - 九	五	<input type="checkbox"/>
	第一九帙[:]	同	一〇 - 一二	一	<input type="checkbox"/>
		家書	一 - 七	七	<input type="checkbox"/>
	第二〇帙[:]	同	八 - 一〇	三	<input type="checkbox"/>
		大事記	一 - 四	二	<input type="checkbox"/>
		家訓	上[・]下	二	<input type="checkbox"/>
		孟要	一 - 五	一	<input type="checkbox"/>
«京都帝大»*					
三一	元文類		一 - 七〇	一〇	<input type="checkbox"/>
«京都帝大*»*					
六〇四	正誼堂全書				
	第一帙[:]	周濂溪集	一 - 一三	四	<input type="checkbox"/>
					に-27-
	<i>英 洛加德著</i>	二程文集	一 - 一二	三	<input type="checkbox"/>
	第二帙[:]	張橫渠集	一 - 一二	二	<input type="checkbox"/>
		朱子文集	一 - 七	六	<input type="checkbox"/>
六[四]	第三帙[:]	朱子文集	八 - 一八	四	<input type="checkbox"/>
		楊龜山集	一 - 六	二	<input type="checkbox"/>
		尹和靖集	全一	一	<input type="checkbox"/>
		羅豫章集	一 - 四	一	<input type="checkbox"/>
	第四帙[:]	羅豫章集	五 - 一〇	一	<input type="checkbox"/>
		李延平集	一 - 四	一	<input type="checkbox"/>
		張南軒集	一 - 七	二	<input type="checkbox"/>
		黃勉齋[齊齋]集	一 - 八	二	<input type="checkbox"/>
		陳克齊[齊齋]集	一 - 五	二	<input type="checkbox"/>
					に-28-
	第五帙[:]	許魯齋[齊齋]集	一 - 六	二	<input type="checkbox"/>
		薛敬軒集	一 - 一〇	三	<input type="checkbox"/>
		胡敬齋[齊齋]集	一 - 三	二	<input type="checkbox"/>
		諸葛武侯集	一 - 三	一	<input type="checkbox"/>
	第六帙[:]	陸宜公集	一 - 四	二	<input type="checkbox"/>
		韓魏公集	一 - 二〇	五	<input type="checkbox"/>
		[司馬]溫公文集	一 - 二	一	<input type="checkbox"/>
	第七帙[:]	同	三 - 一四	四	<input type="checkbox"/>
		[文]文山文集	上[・]下	二	<input type="checkbox"/>
		謝疊山[集]	一 - 二	一	<input type="checkbox"/>
		方正學集	一 - 四	一	<input type="checkbox"/>
	第八帙[:]	同	五 - 七	一	<input type="checkbox"/>

				に- 29-
第八帙[:]	楊椒山集	一 - 二	一	□
	二程粹言	上[•]下	二	□
	伊洛淵源	一 - 一四	二	□
	上蔡語錄	上[•]中[•]下	一	□
	讀書分年日程	一 - 三	一	□
第九帙[:]	同	三	一	□
	朱子學的	上[•]下	二	□
	學部通辨	一 - 一二	三	□
	讀書錄	一 - 八	二	□
第十帙[:]	居□[日業]錄	一 - 八	二	□
	道南源委	一 - 六	二	□
	困知錄[錄記 ²]	一 - 四	一	□

				に- 30-
	思辨錄	一 - 二二	三	□
第一一帙[:]	讀禮志疑	一 - 六	二	□
	讀朱隨筆	一 - 四	一	□
	問學錄	一 - 四	一	□
	松陽抄存	一	二	□
	石徂徠集	上[•]下	二	□
第一二帙[:]	高東溪集	上[•]下	一	□
	真西山集	一 - 八	二	□
	熊勿軒集	一 - 六	一	□
第一二帙[:]	聞過齋[齊齋]集	一 - 四	一	□
	魏莊渠集	上[•]下	一	□
	羅整庵集	一 - 二	一	□

				に- 31-
	陳剩夫集	一 - 四	一	□
第一三帙[:]	張陽和集	一 - 三	一	□
	湯潛庵集	上[•]下	一	□
	陸稼書集	一 - 二	二	□
	道統錄	上[•]下	二	□
	二程語錄	一 - 九	二	□
第一四帙[:]	同	一〇 - 一八	二	□
	朱子五[五語]類	一 - 八	四	□
	濂洛關閩書	一 - 八	二	□
第一五帙[:]	同	九 - 一九	三	□
	近思錄	一 - 一四	五	□
第一六帙[:]	廣近思錄	一 - 一四	三	□

				に- 32-
	困學錄集粹	一 - 八	二	□
	小學集解	一 - 六	三	□
第一七帙[:]	濂洛風雅	一 - 九	二	□
	學規類編	一 - 二七	四	□
	養正類編	一 - 一三	一	□
	居濟一得	一 - 四	一	□
第一八帙[:]	居濟一得	五 - 八	一	□

	正誼堂文集	一一一二	三	□
	正誼堂續文集	一一八	二	□
	唐宋八大家文抄	一一三	二	□
	第一九帙[:]同	四一九	六	□
	范文正公集	一一九	二	□
				に-33-
	第二〇帙[:]楊大洪集	上[•]下	二	□
	海剛峯集	上[•]下	二	□
	續近思錄	一一一四	四	□
五〇	惜抱軒全集			
	第一帙[:]文集	一一一六	三	□
	文後集	一一一〇	二	□
	詩集	一一九	二	□
	詩後集	一	一	□
	第二帙[:] <small>法帖題跋 三傳國語補註</small>	一一三	一	□
	筆記	一一八	二	□
	經說	一一一七	二	□
	五言詩	一一九	二	□
				に-34-
	七言詩	一一九	一	□
«京都帝大*»*				
三五	皇朝經世文續編	一一二〇	八〇	計一〇帙
一六	國朝文祿[祿錄]	一一八二	一六	計二帙
一〇一	全上古三代秦漢三國六朝文			
	第一帙[:]秦文	一	一	□
一〇一[一〇一]'	第一帙[第一帙]'三代文	一一一六	二	□
	漢文	一一三八	五	□
	第二帙[:]漢文	三九一六三	三	□
	後漢文	一一三九	五	□
	第三帙[:]後漢文	四〇一一〇六	八	□
	第四帙[:]三國文	一一七五	八	□
	第五帙[•]六帙[•]七帙[:]晉文	一一一六七	二四	計三帙
				に-35-
	第八帙[:]宋文	一一六四	八	□
	第九帙[:] <small>齊文 梁文</small>	一一二六 一一三六	四 五	計一帙
	第一〇帙[:] <small>梁文 陳文</small>	一一三六 一一七八	六 七	計一帙
	第一一帙[:] <small>後魏文 北齊文</small>	一一六〇 一一七〇	七 三	計一帙
	第一二帙[:]隨[隨隋]文(先唐文卷一)	一一三六	五	} 計一帙
	後周文	一一二四	三	
一二三	古文淵鑿	一一六四	三二	計三帙
一三三	正續古文辭類纂	一一七四	六	三一 : 四〇 五一 : 六〇 缺卷
一六二	古文詞略	一一四	一	□
	【«東京外語»】 ⁶⁷			

⁶⁷ “大正12年9月2日焼失”(東京外國語學校圖書出納簿38 中國書(一), 大正12年5月4日付)との由.

八二	唐文粹(四庫全書)	一一〇〇	一六	計二帙
一一二	明文在	一一〇〇	一〇	□
一〇三	皇朝經世文[編 [?] 續編 [?]]	一一二〇	八〇	計八帙
に-36-				
一三六	最新國文教科書	一八	八	□
一四一	國文教科書詳解	三四	三四	□

第四. 字典(言語學)

假番號	書名	卷	冊數	摘要
六五	爾雅注疏(四庫全書)	一一〇	六	□
六一	段注說文解字			
	自第一帙[:] 至第二帙[:]	一篇 - 一二篇	一二	計二帙
	第三帙[:]	一三篇 - 一五篇	三	
	六書音均表 古閣說文訂	一 - 五 一	二 一	

«京都帝大*»*

に-37-

第五. 政刑(經濟)

[假番號]	書名	卷	冊數	摘要]
六〇	欽定周官義疏	一四八	二四	計二帙
四六	欽定歷代職官錄	一七二	二二	計四帙
«京都帝大*»*				
四〇	天下郡國利病書	一一二〇	六〇	計六帙
«京都帝大*»*				
二三	列國政要	一三二	三二	計四帙二部
四	唐律疏義	一三〇	八	計一帙
八	刑案匯覽	一六〇	六四	計八帙
七	續增刑案匯覽	一一六	一六	計二帙
一三	大清律例按語根源	一〇四	八〇	計一〇帙
一四	大清律例增修統纂集成	一四〇	二四	計四帙
一七	大清法規大全			

に-38-

一七	第一帙[:]	憲政部	一七	四	□
		吏政部	二三	七	□
	第二帙[:]	民政部	一五	二	□
		財政部	四	三	□
		教育部	三一	七	□
	第三帙[:]	法律部	一三	六	□
		禮制部	九	一	□
		軍政部	一三	二	□
		實業部	一五	二	□
	第四帙[:]	旗藩部	二	一	□
		外交部	一三	六	□

	交通部	一一五	一	□
	大清新法律	全四	四	□
一八	正編大清法規大全			に- 39-
	第一帙[:] 憲政部	一一七	三	□
	吏政部	一一二三	七	□
	第二帙[:] 財政部	一一一四	三	□
	教育部	一一三一	七	□
	第三帙[:] 禮制部	一一九	一	□
	民政部	一一一五	二	□
	法律部	一一一三	六	□
一八	第三帙[:] 軍政部	一一一一	二	□
	第四帙[:] 旗藩部	一一二	一	□
	實業部	一一一五	二	□
	交通部	一一五	一	□
	外交部	一一一三	六	□
一九	續編大清法規大全			に- 40-
	第一帙[:] 軍政部	一一九	一	□
	憲政部	一一六	一	□
	民政部	一一一一	一	□
	教育部	一一二〇	三	□
	吏政部	一一一七	三	□
	財政部	一一一三	三	□
	第二帙[:] 法律部	一一七	二	□
	現行刑律定本	一一三六	六	□
	實業部	一一一一	一	□
	交通部	一一二	一	□
	外交部	一一一〇	一	□
	<small>禁煙條例 秋審條例</small>	全一	一	□
	第三帙[:] 憲政部	一一六	一	□
	財政部	一一一三	三	□
	軍政部	一一九	一	□
	第三帙[:] 教育部	一一二〇	一	□
	吏政部	一一一七	三	□
	第四帙[:] 法律部	一一三六	七	□
	實業部	一一一一	一	□
	交通部	一一五	一	□
	外交部	一一一〇	一	□
	<small>禁煙條例 秋審條例</small>	全一	一	□
四一	大清光緒新法令	一類一一三類	二〇	計四帙
五二	大清宣統新法令	一一二〇	二〇	計二帙
五九	通商[條] ² 約章[程] ² 成案彙編	一一三〇	一二	□

二〇	新纂約章大全	一 - 七三	四八	計六帙
一〇二	五朝聖訓			
	第一帙[:] 太祖高皇帝	一 - 四	一	□
	世祖章皇帝	一 - 六	二	□
	太宗文皇帝	一 - 六	二	□
	世宗憲皇帝	一 - 一〇	六	□
	第二帙[:] 世宗憲皇帝	一一 - 三六	一二	□
	第三帙[•]四帙[:] 聖祖仁皇帝	一 - 六〇	二四	計二帙
				に- 43-
一二九	大清律講義	律服疏證四ノ一 聖訓經義歷代律目沿革表	七	□
一〇九	補註洗冤錄集證	一 - 六	六	□
一二六	德意志帝國新刑律 ^{草案} _{總則}	全	一〇九	□
一五七	新譯日本法規大全	一	一	□
一五五	非常國際法論	下	一	但シ上卷缺本
一二〇	通商約章類纂	一 - 三三	一九	計二帙
一五六	約章述要	一	一	□
一三二	外交報	一 - 三五 二八	但シ一四、二四、二五、二六、 二七、二八、三三、 _{缺號}	

第六. 武事

假番號	書名	卷	冊數	摘要
四三	讀史兵略	一 - 四六	一六	計四帙
				に- 44-
四四	續讀史兵略	一 - 一〇	一〇	計二帙

第七. 天文・地理

假番號	書名	卷	冊數	摘要
三七	玉海(四庫全書)			
	第一帙[:] 通鑑地理通釋	一 - 一四	三	計一帙
二六	水經注	一 - 四〇	二四	計四帙
«京都帝大*»*				
九	李氏五種			
	第一帙[:] 歷代地理韻編	一 - 二〇	八	} □
	皇朝輿地韻編	上[•]下	一	
«京都帝大*»*				
九	第一帙[:] 歷代地理沿革圖	一	一	} 計一帙
	紀元編	上[•]下	二	
«京都帝大*»*				
				に- 45-
二四	元豐九域志	一 - 一〇	六	□
五一	太平寰宇記	一 - 二〇〇	三六	計六帙
七四	元和郡縣圖志			
	第一帙[•]第二帙[:] 元和郡縣圖志	一 - 四〇	六	□
	全補志	一 - 九	二	□

一五二	印度志	—	—	□
【◀東京外語▶】 ⁶⁸				
一五三	印度新志	—	—	□
【◀東京外語▶】 ⁶⁹				

第八. 博[博]博物

假 番 號	書 名	卷	冊 數	摘 要
一五〇	近世物理學教科書	— - 九	二	□
一四四	力學課本(發問一 - 二五)	— - 八	四	□
				に-46-
一四五	質學課本	— - 五	五	□

第九. 數學

假 番 號	書 名	卷	冊 數	摘 要
一五四	形學課本	—	—	□
一四〇	高等小學算術教科書	— - 三	三	□
一三九	筆算教科書	上[・]下	二	□
一六〇	心算教授法	—	—	□
一三八	心算初學	— - 六	二	□

第一〇. 醫卜

に-47-

第一一. 農[・]商[・]工

假 番 號	書 名	卷	冊 數	摘 要
一五九	中國礦產志畧鐵路簡明志	—	—	□
一二八	瀛機附錄一	— - 一 - 二	六	□

第一二. 雜書

假 番 號	書 名	卷	冊 數	摘 要
一六三	書目	全一	二	□

ほ- 1-

ウイ[キル]ヘルム・コーン遺贈支那及東洋に関する圖書目録

A. 宗教

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	[註]
-----	---------	-----	---------	-----

⁶⁸ “大正12年9月2日焼失”(東京外國語學校圖書出納簿38 中國書(一), 大正12年5月4日付)との由.

⁶⁹ “大正12年9月2日焼失”(東京外國語學校圖書出納簿38 中國書(一), 大正12年5月4日付)との由.

一	ベルヒマン譯	支那ゼサイト教徒論集(佛文より)	一七七八	□
二	ワルネク	支那の教會	一九〇〇	□
三	シユミット	支那古記録参照[:] 基督教の原教理	一八三四	□
四	ツエルラア	支那基督教史と其國家及國民	一八三六	□
五	フアルケ	基督教と佛教	一八九八	□
六	エールリツヒ	佛教と基督教	一八六四	□
七	シーフナア	佛教開祖釋迦牟尼傳(西藏書より)	一八四八	□
八	ノイマン	支那佛僧の印度巡禮	一八三三	□
九	□	支那の順禮	□	□
一〇	ハツペル	古代支那の國教	一八八二	□

ほ- 2-

一一	シヨット	支那佛教史	一八七三	□
一二	全	亞細亞高原及支那に於ける佛教に就て	一八四六	□
一三	ポーチエ譯註	支那人の一神教を論ず(佛文)	一八六一	□
一四	ド・ハルレ譯註	漢梵集要(佛文)	一八九七	□
一五	ド・グルー譯註	支那摩訶宗經典[:] 修行者及俗人に對する其感化(佛文)	一八九三	□
一六	全譯註	ギーム博物館年報(支那民教の研究)第十卷[:] 廈門の有名なる祭典(佛文)	一八八六	□
二六一	クランツ譯	救世宗教は完成せる儒教なり	一八九八	□

B. 哲學・倫理・教育

[(I-D)] 哲學

[番 號]	著 譯 者 名	書 名	發行年代	註]
一七	プラート	ミンバオ・キエン著支那の哲學	一八六三	□
一八	全	古代支那人の不死論	□	□
一九	井上哲二郎	人性に關する支那哲學者の論争	□	□
二〇	クリングマン	佛教悲觀主義及近世人生觀	一八九八	□
二一	ノイマン	支那人の自然哲學と宗教哲學	□	□

ほ- 3-

二二	バスチアン	宗教哲學としての佛教	一八九三	□
二三	プキツマイヤア	唐代に於ける哲學的著書	一八七八	□
二四	全	道教の尸解と劍解	□	□
二五	全	道教派の長壽	□	□
二六	シヨット	支那博識者朱熹の論斷	□	□
二七	フアーバア譯註	列子一名古代支那の自然主義	一八七七	□
二八	グルーベ譯註	通書	一八八〇	□
二九	フル・ゴオビル譯	書經(佛文)	一七七〇	□
三〇	ド・ハレル譯	易經(佛文)	一八九七	□
三一	ケルラア,ゾダン譯	ボレル著支那の美	□	□
三二	ビヤナツキ	支那の算術	□	□
二五五	マレン・マテ	古代支那社會主義の本旨 又は哲學者墨子の説	一八七七	□

二五六	全	倫理的基礎の政治學 或は孟子の教義	一八七七	□
二六二	キューネルト	孔子の哲學	一八九五	□
二六三	ドグラス	儒教と道學	一八八九	(英文)
二六六	ブランド	支那哲學と國家儒教	一八九八	□

[(D) 倫理・教育]

[番 號]	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註 1
三三	シヨット譯註	孔夫子第一卷[:] 論語	一八二六	□
				ほ- 4-
三四	プレクナア譯註	中庸	一八七八	□
三五	フォン・シトラウス	老子の道德經 第十四章	□	□
三六	スタニスラ・ ヂュリアン譯	老子道德經(佛文)	一八四二	□
三七	レオン・ド・ロスニイ	孝經(佛譯)	一八八九	□
三八	カレリー譯	禮記(佛文)	一八五三	□
三九	北京佛國公使館付通譯官 カミュウエ アムボールユエール註	朱柏盧原著家庭の教訓(佛文註)	一八八一	□
四〇	フランシス・ダヴキス譯	賢文書(英文)	一八二三	□
四一	ワレンヂアニ譯註	孝行往來(伊文)	一八七三	□
四二	遠藤秀三郎	孔子の生涯と其教育學的意義	一八九三	□
四三	ザツハウ	伯林大學東洋語學校開設報告	一八八八	□
四四	エドモンド・ビオ編	一八四四年十月廿一日 王室大學會議報告の抜粹(佛文)	□	□
四五 ^二 六五	ロエツトガア	妄天地會[魯會]	一八五二	□

ほ- 5-

C. 言語學・辭典

[番 號]	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註 1
四五	ヘンケル編	支那の言語と文學(ドグラスの講義に基き)	一八七七	□
四六	ヒルト	口語及文語に於ける支那語	一九〇二	□
四七	ガベレンツ ダールニエ	支那語文法附録列子の語解	□	□
四八	アンリー・[.]コルデキエ編	巴里東洋語學校教授 フランシア ツアロ註 支那文典(佛文)	一八八七	□
四九	ハルー	支那官話文法(佛文)	一八八四	□
五〇	スタニスラ[.]ヂュリアン	支那語章句法及言語學解剖の實地練習(佛文)	一八四二	□
五一	レオン・ド・ロスニイ	支那語發音表(佛文)	一八五七	□
五二	エム・バザン	支那語俗語の一般的方則に関する記憶(佛文)	一八四五	□
五三	アベル・レミユザ	支那人の外國語研究(佛文)	□	□
五四	ハウボルト	支那語文法の一般的法式と其の特質に關し アベル・レミユザ氏に與ふる書 (佛文)	一八二七	□
五五	キョウプラート	古代支那の音律語	□	□
				ほ- 6-
五六	キューネルト	南京の支那語	□	□
五七	クラブロート	亞細亞の文學歴史言語學研究 第一卷	一八一〇	□
五八	□	漢字變符法(漢字を電信符號に變する法)	□	□

五九	アンドレア[・]ガイガア	漢字文法書廣總目	一八六四	□
六〇	シヨット	安南文章及言語學論	一八五六五	□
六一	レランド	ピヂン英語	□	□
六二	石齊[齊齋]主人編	華英字典(英支辭典)	一八八六	□
六三 ₁	グードリヒ	支英辭典書	一八九一	□
六四 _三 ₂	全	支英辭書索引	一八九三	□
四〇四 _二 ² 五七	クーヴリユール	支佛字辭典	一八九〇	□
二六九	ガベレンツ	支那文法	□	□

D. 法律・軍事・政治・經濟

ほ- 7-

[番 號]	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註]
六四	ブラート	往時支那に於ける法律と法典	一八六五	□
六五	スタウントン譯	大清律例重訂(支那刑法法典[]) (英文)	一八一〇	□
六六	コーラア	支那刑法	一八八六	□
六七	モエルレンドルフ	支那親族法	一八九五	□
六八	ウルシンプルスチンスキ	プチャタ著「支那の兵力」	一八九五	□
六九	アベル・レミューザ	亞細亞の新混合 第二卷(佛文)	一八二九	□
七〇	ド・ラネサン	印度支那に於ける佛國の殖民(佛文)	一八九五	□
七一	マイヤース譯註	支那政府(支那官制詳解)(英文)	一八九七	□
七二	ダアエ	支那に於ける地租(英文)	□	□
七三	ロストホルン	支那勢力の西南發展	一八九五	□
七四	ヒロル譯	東亞の形勢	一八九七	□
七五	ブランド	東亞の將來	一八九五	□

ほ- 8-

七六	全ブランド	東亞問題	一八九七	□
七七	全	殖民地と海軍力問題	一八九七	□
七八	□	支那團匪と歐洲外交	一九〇〇	□
七九	シャイベルト少佐	支那の戦争(竝に支那の習慣及歴史)	□	□
八〇	ホフマン	獨逸殖民の行政竝に裁判所組織	一九〇八	□
八一	ジンガア	東亞に於ける經濟事情	一八八八	□
八二	グルンツエル	最近廿五年間に於ける支那の商業的發達	一八九一	□
八三	シユワーベ	支那帝國の交通事情	一九〇〇	□

E. 歴史・地理

[(I)-I] 歴史

[番 號]	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註]
八四	ダベルツホーフエル譯	支那史實(葡葡文より)	一六一一	□
八五	ア エス 共著	支那全史 第一卷[・]第二卷(佛文)	一八九三六〇	□

ほ- 9-

八六	ブールガア	支那小史(英文)	一八九三	□
八七	フアアバア	支那歴史考證	一八九五	□
八八	メボルド譯	ポーテノール著支那	一八三九	□
八九	フォン・デア・カビツツペレンツ ²	支那大遼史	一八七七	□
九〇	□	歴史的藝術的支那	十九世紀初?	□
九一	プキツマイヤア	晉の永康年代史	□	□
九二	全	隋朝に關する諸外國	一八八一	□
九三	全	支那遊説家系(蘓[蘇]秦[・]張儀[・]范雎)	一八六〇	□
九四	全	古代支那に於ける火の利用及故事	一八七〇	□
九五	全	古代支那に於ける貧富	□	□
九六	全	支那工具器具に關する故事	一八七三	□
九七 ^{a1a}	デインルト譯	ドギイニユ著匈奴土耳其古[蒙古泰西]韃靼史 第一卷	一七六八	□

ほ- 10-

九 ^{b2-4} 全 ^{1b-4}	全	全著匈奴土耳其古モゴル及其他の韃靼史 第一卷 - 第四卷(佛文より)	一七七〇	□
九八	コイツフアア	アブラハム時代前の支那國民	一八五〇	□
九九	ビユルケ	マルコ[・]ポロの旅行	一八四五	□
一〇〇	グラドイツシュ	世界歴史理解の棗 第一部[:] 古代支那人とピタゴラス學徒	一八四一	□
一〇一	ド・パラヴェー	支那と交抄[抄涉]あるアマゾン(佛文)	一八四〇	□
一〇二	ハース博士	支那と東ローマ帝國との干[干]關係(英文)	一八八五	□
一〇三	フオルシア・デュルバン	乾隆皇帝論(佛文)	一八四一	□
一〇四	オット譯	支那に於ける暴動(長髮賊)	一八五四	□
一〇五	ノイマン	鴉片戰爭	一八五五	□
一〇六	ノイマルク	支那に於ける革命	一八五七	□
一〇七	ロツホ	支那征戰 最後の事件	一八四四	□
一〇八	ウキツシタイン譯	羅針盤の發明に就て	一八八五	□

ほ- 11-

一〇九	ピパア	支那形象之文字に於ける世界及人生の起原	一八四六	□
一一〇	プラート	支那帝國の永續と發達に就て	一八六一	□
一一一	全	往時支那人の稼業	一八六九	□
一一二	全	往時昔支那人の衣食住	一八六八	□
一一三	□	コリン 著 役子及ドミノ札を用ふる支那の[遊]戲(英文) 一八九五 シユレーゲル著 歐洲に於ける支那の習慣と遊戯(獨文) 一八六九		
一一四	ド・ハルレ	嘉慶皇帝時代の軍紀(佛文)	□	□
一一五	全譯	皇文集(佛文)	□	□
一一六	全譯註	支那の嬰兒殺(佛文)	一八八五	□
一一七	ハウグ	支那賢人孔子	一八八〇	□
一一八	ヂェームス・レッツゲ譯	法顯傳(英文)	一八八六	□
二六四	ヘルマン[・]ヒスマーク	北京の包圍	一八八五	□
二六七	ステント	支那の宦官	□	□

二七二	パラヴェー	猶太の古名及象形名に関する論説(佛文)	一八六三	□
一一九	ムル	支那に於ける猶太人史	一八〇六	□
一二〇	倫敦猶太人傳道教會	開封府に於ける猶太人(英文)	一八五一	□
一二一	アンリイ・コルデイエ	支那に於ける猶太人(佛文)	一八九一	□
一二二	カツツ	支那に於ける猶太人	一九〇〇	□
一二三	ヒルト	支那東洋大學	□	□
一二四	サムソン・ヒムメルス、チエルナ メツツガア	「東西の反對」 「黃白種族の將來の戰」	一八九七	□
一二五	エンドリツヒヤア	和漢錢志	一八三七	□
一二六	ヂヤイルス	支那古今姓氏族譜(英文)	一八九八	□
一二七	ルーレロ	支那百年曆(一七七六 - 一八七六) (英文)	一八七二	□
一二八	□	一八五七年度上海年鑑(英文)	□	□
一二九	□	東洋學者の國際會議(一八九七年於巴里) (佛文)	一八九七	□

[(二D)] 地理

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註 1
一三〇	エズワール・ビオ編	支那地名字典(佛文)	一八四二	□
一三一 ¹⁻⁵	デュ・アルド	支那及韃靼志 第一 - 第五卷(佛文) (完六歴史ニ續ク)	一七四七	五册
一三二	ビシヨフ・ワキ シタアシタイン	地理學上より見たる支那	□	□
一三三	ペタアマン	一八六七年天山山脉[脈脈 ²]系研究	一八七五	□
一三四	マブライトシユナイダア	北京平野と近隣山地	一八七六	□
一三五	アミドルヒルス	支那事情(拉丁文)	一六七四	□
一三六	ルイ・ル・コント譯	今日の支那(佛文より)	一六九九	□
一三七	ジュウル・アレイヌ	支那(佛文)	一八八三	□
一三八 ¹⁻²	ピシアアル譯	デ・ヴィス著支那 第一卷[・]第二卷(佛文)	一八三七	二册
一三九 ¹⁻²	ポオシユ バザン	近代支那 第一卷[・]第二卷(佛文)	一八五三	二册
一四〇	□	新支那(佛文)	□	□

一四一 ¹⁻²	ホウグ譯	支那帝國 第一卷[・]第二卷	一八五六	二册
一四二 ¹⁻²	アーベル メクレムブルグ譯	北京露國公使著支那事情 第一卷[・]第二卷	一八五八	二册
一四三	クレム	中國支那	一八四七	□
一四四	□	支那と支那人	一八五九	□
一四五	シユルツエ譯	支那チエン・キ・トン將軍著支那及支那人	一八九六	□
一四六	ルーシトラアト	中國より(支那風俗)	□	□
一四七 ¹⁻²	オブルチエウ	支那より 第一卷[・]第二卷	一八九六	二册
一四八	コルマン譯	ウキリヤムス著支那帝國と其住民	一八五四	□
一四九	プラート	滿洲住民 第二卷	一八三一	□
一五〇 ^{ab}	ブランド	辨[辨辯]髮の國より	一八九四	二册
一五一	ブランド	支那國民研究[・]少女と夫人	一八九五	□

一五二	シモン譯	支那の社會[:] [?] 政治宗教生活(英文)	一八八七	□
ほ- 15-				
一五三	カツチャア	支那生活の一斑	一八八一	□
一五四	シユロエサア譯	ガイル著支那スケッチ	一八八〇	□
一五五	イ・エ・ライプエルト	支那に於ける十年	一八九六	□
一五六	ギユツツラツク	支那通信	一八五〇	□
一五七	ピーバア	雑草と芽と花(中華の國より)	一九〇八	□
一五八	ハイグル	支那の宗教と文明	一九〇〇	□
一五九	マチギヨス軍醫正	支那の迷信(罪惡と慘狀) (佛文)	□	□
一六〇	ヒ・ヅ・ハルレ譯	家裏(支那人家庭の儀式) (佛文)	一八八九	□
一六一	アレキサンダア	支那風俗圖解(英文)	一八三一 □	三冊 □
一六二 ¹⁻³	□	廣東漫錄 第二[:]第四[:]第五(英文)	一八三一	三冊
一六三	エリツリン伯爵	支那に於ける一通譯の日記(支那視察記) (佛文)	一八八六	□
一六四	アベル・レミューザ	亞細亞見聞録(佛文)	一八二九	□
ほ- 16-				
一六五	ヒルト	イスラムの國々(支那記録に據る)	一八九四	□
一六六	ハルトマン	イスラムの東洋 第二[:]第三	一九〇〇	□
一六七	ニコル・ボル シト中尉	支那秘密團體[:]天地會(英文)	□	□
一六八	エルヴェ・サン・デニ譯	支那通俗文庫 第三十編(佛文)	一八九二	□
一六九	ヒユットネル譯	ジヨハン, バウロアロウ共著支那紀行(英文より)	一八〇四	□
一七〇	バスチアン	支那旅行	一八七一	□
一七一	ツエンカア譯	フオーチューン著一八四三 - 四五年間支那内地旅行	一八五四	□
一七二	コウヘロンアアモート	支那人の國を巡りて	一八九八	□
一七三	シユロエダア	廣西省旅行記	□	□
一七四	シエワルツ譯	ベウ子ツアウル著西部支那旅行[:] 青江の流にて	一八八〇	□
一七五	ゴールドマン	支那の一と夏 第一卷	一八九九	□
一七六	テエス・チエエス譯	ドウブルジユ著ブライト僧正支那旅行談(佛文より)	一六七一	□
ほ- 17-				
一七七	オエツルツ譯	ゲオルギイ著東印度及支那紀行(瑞丁文より)	一七六五	□
一七八 ¹⁻²	シタウントン	マカアトネイ伯邊遣支旅行 <small>第二編 第三編</small>	二七九九 二六〇〇	二冊
一七九	□	支那遣支旅行(十八世紀末葉)	□	□
一八〇 ¹	ミユルラア譯	ドギーギユ著 <small>一七八四 - 一八〇一年間</small> 第一卷[:] 北京への旅	一八一〇	□
全 ³	全	全 第二卷[:] マニラ及イスル・ド・ス[スフ [?]]ランスへの旅	全	□
一八一	ウキルダ	香港よりモスコウへ	一九〇二	□
一八二 ¹⁻³	ギーギユ	北京馬尼羅及佛蘭西島旅行記 第一 - 第三卷(佛文)	一八〇八	三冊
一八三	全	支那旅行畫帳(佛文)	□	□
一八四	コワ [?] ングニイ譯	支那及ベンガル旅行	一八〇一	□
一八五	エーラアス	印度支那鞍上跋涉 第一卷	一八九六	□

一八六	ウオベザア譯	コルクハウン著黄金國跋渉 第一卷[:]	南支那境界地方及ビルマ	一八八四	□
一八七	クレンチュ譯	クウパア著支那より印度に至る陸路の探險(英文より)		一八七七	□

ほ- 18-

一八八(1)	シユミット譯	チムコウスキ著一八二〇 - 二一年蒙古より支那へ 第一卷[:]	北京旅行	一八二五	□	
一八八(2)	全	全	第二卷[:]	北京滞在	一八二五 □	
	全 (3)	全	全	第三卷[:]	支那への歸路と蒙古一瞥	一八二六 □
一八九	マルチン譯	ロバアト・シヨウ著	韃靼及カシユガル紀行	一八七二	□	
一九〇	キユルブ	ピントの支那	韃靼暹羅ペグ冒険旅行	一八六八	□	
一九一	□	ユツク及ガベエ著	蒙古西藏紀行(佛文より)	一八七四	□	
一九二	アルビン・コオン譯	プルセワルスキイ著	蒙古紀行(露文より)	一八八一	□	
一九三	リンデンベルグ	世界一週[週周] 第二編[:]	支那[・]日本[・]ホノル、[・]北米	一九〇〇	□	
一九四	ハツタア	極東便り		一八九八	□	
一九五	オイレンブルグ	一八六〇 - 六二年	オイレンブルグ伯東亞通信	一八六四	一九〇〇 □	
一九六	オツパアト	東亞旅行		□	□	
一九七	スピイス	一八六〇 - 六二年に於ける	普魯西の東亞遠征	一八六四	□	

ほ- 19-

一九八 ¹⁻³	ハイネ	支那日本オホツク海探險 第一卷[・]第二卷[・]第三卷		二八五九	三册
二七〇	グルーベ	北京葬式慣例		一八九八	□

F. 自然科学・醫學・農工業

[番 號]	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註 1
一九九	フオン・デア・ガハベレンツ譯	支那太極圖	一八七六	□
二〇〇	ストウル	支那及印度星學の起原と故事研究	一八三一	□
二〇一	シユレーゲル譯	星辰考源(支那星體學) 第一卷(佛文)	一八七五	□
二〇二	プキツマイヤア	支那の樹木昆蟲の考證	一八七四	□
二〇三	全	支那の樹木	一八七五	□
二〇四	マルテンス	普魯西東亞遠征報告 植物の部[:]	海草類	一八六六 □
二〇五	ダルビー大尉	支那の醫法(佛文)	一八六三	□
二〇六	プキツマイヤア	支那食物の毒物論	一八六六	□
二〇七	全	支那果實の考證	一八七四	□

ほ- 20-

二〇八	□	支那内地絹及茶地方(英文)	一八四五	□
二〇九	シヤムピオレ譯註	古代及近代の支那帝國工業	一八六九	□
二一〇	スチリスラ譯	支那陶器の由來と其製法附日本陶器ニ關スル記憶(佛文)	一八五六	□
二五八	シユレーゲル	支那天體圖(佛文)	一八七五	□
二六〇	シユンキング	支那及歐洲に於ける農業	一八九三	□

G. 文學・美術・音樂

[番 號]	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註 1
二一一	シヨット	支那文學講義	一八五四	□

二一三	全	支那作詩術に就て	一八五七	□
二一三	イグナチイ・ケンダングレリ	康熙帝の欽定文書(拉丁文)	一八〇二	□
二一四	ゴットシャル	支那の劇と戯曲	一八八七	□
二一五	張之洞	支那の劇場	一八八六	□
二一六 ¹⁻⁵	□	ダルジヤン候[侯]爵著支那論集 第一 - 第五卷(佛文より)	一七六八	五册

ほ- 21-

二一七	バザン・エイネエ譯	支那劇(佛文)	一八三八	□
二一八	バザン・エイネエ譯	琵琶記(佛文)	一八四一	□
二一九	□	支那戯曲「老世子」(英譯)	一八一七	□
二二〇	スタニスラフ・ヂュリヤン譯	西廂記(佛文)	一八七二 - 八〇	□
二二一	全	灰闌記(佛文)	一八三二	□
二二二	全	趙氏の孤兒(佛文)	一八三四	□
二二三	□	好逑傳(?) (英文より)	一七六六	□
二二四	ダルシー譯	好逑傳 (佛文)	一八四二	□
二二五 ¹⁻²	フランシス・ダブユス譯	好逑傳第一卷[・]第二卷	一八二九	二册
二二六 ¹⁻⁴	アベル・レミューザ譯	玉嬌梨 第一 - 第四卷(佛文)	一八二六	四册
二二七 ¹⁻⁴	□	アベル・レミューザ譯支那小説「遊郊里」一名二人從姉妹 第一 - 第四卷(獨譯)	一八二七	四册
二二八	シュレーゲル	賣油郎独占花魁(佛支文)	一八七七	□

ほ- 22-

二二九	ウエルネ	一支那人の悩み	□	□
二三〇	アドルク[ムフ]・エルリセン譯	支那韻文	□	□
二三一	ハインリツヒ・クルツ譯	花□[白瓣?](支那語詩)	一八三六	□
二三二	アミオ譯	乾隆帝著奉天詩(佛文)	一七七〇	□
二三三	プラート	唐詩二集	一八六九	□
二三四	フオルケ譯	漢及六朝の詩華	一八九九	□
二三五	ア・ヴキツシエール譯註	航海吟草(佛支文)	一九〇〇	□
二三六	ザイデル	亞細亞國民文學歌謠集	一八九八	□
二三七	孟氏重譯[² 重譯 ²]	イソツブ物語(意拾喩言) (英支文)	一八四〇	□
二三八	ミチイ	添皿(英文)	一九〇八	□
二三九	プキツマイヤア	往時支那に於ける技巧と藝術	□	□
二四〇	デュ・シユズヌバン	極東の美術(佛文)	一八九七	□

ほ- 23-

二四一	パレオローグ	支那の美術(佛文)	一八八七	□
二四二	ヒルト	支那の繪畫	一九〇〇	□
二四三	ヒルト	外國の影響を受けたる支那美術	一八九六	□
二四四	ソームス	古代支那花瓶論(英文)	一八五一	□
二四五	□	花鳥圖繪下(日本書[])	文政十年	□
二四六	ワアゲナア	支那音樂理論	一八七七	□

二四七	ノイマン	音楽史	□	□
二五九	ミュンスタアベルグ	東亞の美術工藝と歐羅巴	一八九五	□
二七一 ^{ab}	コーンアンテノリツド	支那の音楽美	一九〇三	二册

H. 雜件・雜誌

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註 記
二四八 ¹⁻¹⁰	北京宣教師	隨筆 第一卷 - 第十卷(佛文)	一七八〇	一〇册
				ほ- 24-
二四九	シヨット	御書房滿漢書廣錄	一八四〇	□
二五〇	□	雜錄(歐羅巴と支那, 文明の敵, 坐花[]) (佛文)	□	□
二五一 ¹⁻³	アンリ・コルデキエ編	極東雜誌 第一卷 - 第三卷(佛文)	二八八三	一八八四 三册
二五二 ¹⁻⁴	クラブロート編	亞細亞雜誌 第一卷第六號 - 第二卷第一[・]第二[・]第三號	一八〇二	四册
二五三	玉井喜作主幹	「東亞」第一年	一八九八 - 九九	□
二五四	□	英國亞細亞協會北支那支部雜誌(一八六九 - 七〇年度)(英文)	□	□
二六八	□	支那及日本に關する出版目錄(歴史・地理・人類學・旅行・言語學・藝術・地圖)	一八九八	□

以上 二百七十二部
三百廿四册

と- 1-

膠州圖書館藏書(洋書)追加目錄

舊番號: 原圖書目錄ニ準ズルモノ
新番號: 整理上附シタル番號ナリ

舊番號	新番號	著 譯 者	書 名	卷 號 及	發 行 年
62	番外IA-1		Sammlung gemeinverständlicher wissenschaftlicher Vorträge III. Serie Heft 49-72. (Twesten: Machiavelli-Wittich: Ueber die Schnelligkeit unseres Empfindens und Wollens etc.)		
216	66		Illustrierte Zeitung		1912.
			«京都帝大»*		
419	152		Preussische Jahrbücher		1911. Bd. III.
			«京都帝大»*		«京都大附圖»
420	153	〃		〃 〃 IV.	
			«京都帝大»*		«京都大附圖»
421	154	〃		1912 _[.] 〃 I.	
			«京都帝大»*		«京都大附圖»
422	155	〃		〃 〃 II.	
			«京都帝大»*		«京都大附圖»
488	172		Alldeutsche Blätter		1912 _[.]
			«京都帝大»*		
832	288		Meggendorfer-Blätter		1912.
			«京都帝大»*		

と- 2-

840 番外IB-9 Die Friedens-Halle. 10. Jahrg. 1896.

「京都帝大」*				「京都大附圖」
891	291	[Die] Jugend	1913. Bd. I.	
「京都帝大」*				
1029	番外IB-8	Illustrierte Monatsheft[e]		「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1242	404	[Die] Grenzboten III.	1913.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1418	441	Die Zukunft	1912 (II.)	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1502	455	Das literarische Echo	¹⁰ /1910- ¹⁰ /1911.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1535	468	Die Umschau	1911	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1617	490	Der Ostasiatische Lloyd	1911. Bd. II.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1641	497	Deutsche-Asiatische Warte	1904.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1773	525	Der Tag	1911. Bd. II.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1774	526	〃	〃 〃 III.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1775	527	〃	1912 〃 I.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
				と- 3-
1776	528	〃	〃 〃 II.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1777	529	〃	〃 〃 III.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1926	600	Kiautschou-Post (山東彙報)	1911 Bd. _[] II.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1927	601	〃	1912 〃 I.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1928	602	〃	〃 〃 II.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1971	603	März	1911 〃 I.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1972	604	〃	〃 〃 II.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1973	605	〃	〃 〃 III.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1974	606	〃	〃 〃 IV.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1975	607	〃	1912 〃 I.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1976	608	〃	〃 〃 II.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				
1977	609	〃	〃 〃 III.	「京都大附圖」
「京都帝大」*				

と- 4-

1978	610	März	1912	Bd. IV.	
«京都帝大»*					«京都大附圖»
2080	567	The Illustrated London News	1911	Bd. II.	
«京都帝大»*					
2215	593	L'Illustration	1911	// II.	
«京都帝大»*					
2543	652	Hoensbroech: 14 Jahre Jesuit			«京都大附圖»
«京都帝大»*					
2552	661	Sell, K _[.] : Aus der Geschichte des Christentums.			«京都大附圖»
«京都帝大»*					
2553	662	Hartmann, Martin: Fünf Vorträge über den Islam.			«京都大附圖»
«京都帝大»*					
2556	663	Besant, Annie: Welt-Religion _[.]			«京都大附圖»
«京都帝大»*					
2581	667	Warneck: Missionsstunden	Bd. II.		«京都大附圖»
«京都帝大»*					
2622	676	Hennig, Richard: Gut und schlecht Wetter			
«京都帝大»*					
26797	742	Nietzsches Werke	II. Abt. XIII.	(V. Band der II. Abt.)	
2798	743	„	„	„ XIV.	(VI _[.] „ „ „)
2799	744	„	„	„ XV.	(VII _[.] „ „ „)

と- 5-

2808	750	Kesster, Ronald: Experimental-Philosophie	1914.		
2809	751	Hegel: Vorlesungen über die Philosophie der Geschichte.			
2869 ^{ab}	802 ^{ab}	Kehlbach: Kritik der reinen Vernunft von Immanuel Kant			
2870	803	„	: Kritik der praktischen Vernunft von Immanuel Kant		
2871	804	„	: Kritik der Urteilskraft von Immanuel Kant		
2872	805	Fritsch: Grundlegung zur Metaphysik der Sitten von Immanuel Kant.			
2873	806	Kehlbach: Zum ewigen Frieden (ein philosophischer Entwurf) von I. K.			
2874 ^{ab}	807 ^{ab}	„	: Die Religion innerhalb der Grenzen der blossen Vernunft von Immanuel Kant.		
2911 ^{a-g}	817 ^{a-g}	Schlömilch: Fünfstellige logarithmische und trigonometrische Tafeln.			
2979	843	Franke: Die deutsch-chinesische Hochschule in Tsingtau			
2980	844	Neubauer, Friedrich: Kleine Staatslehre (für höhere Lehranstalt _[.])			
2982	845	Ziegler: Ueber Universitäten und Universitätsstudium			

と- 6-

3004	850	Brandi, Karl: Unsere Schrift (drei Abhandl. z. Einführung in d. Geschichte d. Schrift u. d. Buchdruck[s])			«東京外語»
3028	868	Richter, Elise: Wie wir sprechen?			«東京外語»
3079	883	Wilhelm, Richard: 德英華文科學字典 Deutsch-Englisch-Chinesisches Fachwörterbuch.			
3080	884	D. C. Hochschule: Deutsch-Chinesisches Verzeichnis von Fachausdrücken aus d. Gebiete d. Physik u. verwandten Gebieten.			
3103	897	Zeitschrift des Allgemeinen Deutschen Sprachvereins	1911.		
3104	898	„	„	„	1912.
3120	899	Kiang: Deutscher Sprachunterricht für Chinesen 德文進階 第一卷			

- 3203^{ab} 番外IVB-1^{ab} Langenscheidt: Notwörterbuch der französischen und deutschen Sprache II.
 3349^{ab} 番外IVB-934^{ab} Bürgerliches Gesetzbuch
 3368 950 Brand: Reichsbeamten-gesetz vom 31. März 1873.
 3369 951 Kirchner: Automobilgesetz
 3383 960 Laband, Paul: Das Staatsrecht des Deutschen Reichs II.

と- 7-

- 3384 961 // : // III.
 3389 962 Herzfelder: Haftpflichtversicherung
 3418 966 Haarhaus: Das Recht des deutschen Kolonialbeamten.
 3491 969 Stenographische Berichte der Reichstagsverhandlungen von 5. 1907-5. 1910
 3492 970 Etat für das Schutzgebiet Kiautschou auf 1907-1911.
 3504 973 Mayer: Disziplinar- und Beschwerderecht für Heer und Marine.
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3539 983 Hoensbroech: Das Jesuitengesetz.
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3541 984 Ergebnisse der zweiten Hager Friedenskonferenz.
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3542 985 Bamberger: Für das Erbrecht des Reiches.
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3543 986 Strauß: Die Miete (nach dem bürgerlichen Gesetzbuch)
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3544 987 Ortman: Handbuch für Mieter, Hauswirte und Grundbesitzer
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3545 988 Pollitz: Strafe und Verbrechen.
 «京都帝大»* «京都大附圖»

と- 8-

- 3546 989 Most: Die deutsche Stadt und ihre Verwaltung I.
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3547 990 // : // II.(eine Einführung in die Kommunalpolitik der Gegenwart)
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3548 991 // : // III.
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3549 992 Mendheim: Berühmte Kriminalfälle
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3551 993 Romberg: Staatsrecht (Rechts- und Wissenschaften für Chinesen)
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3552 994 // : Strafrecht (//)
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3561 995 Chinesische-Deutsche Gesetzsammlung: Verfassungen
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3562 996 // // // : Vereins- und Versammlungsgesetz
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3563 997 // // // : Transportgesetz
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3564 998 // // // : Staatsangehörigkeitsgesetz.
 «京都帝大»* «京都大附圖»
 3609 1005 Kriegstechnische Zeitschrift 1911
 3610 1006 // // // 1912

3629	1013	Arme[e]e et Marine (fr.)	1911	
3630	1014	Der Militäranwärter	1912	
3631	1015	//	1913	
3647	1021	„Ueberall“ (für Armee und Marine)	1910-1911	
3648	1022	//	1911-1912	
3649	1023	//	1912-1913	
3669	1037	Deutsches Off[i]zierblatt	1911	Bd. I.
3670	1038	// //	//	// II.
3671	1039	// //	1912	// I.
3672	1040	// //	//	// II.
3673	1041	// //	1913	// I.
3674	1042	// //	//	// II.

3701	1046	Alten: Handbuch für Heer und Flott[e]	I.	
3702	1047	// : //	II.	
3703	1048	// : //	III.	
3704	1049	// : //	IV _[1]	
3757	1068	Schwarte: Technik des Kriegswesens		
3758	1069	Beseler: Die Allgemeine Wehrpflicht		
3778 ^b	1082	Bernhardi: Deutschland und nächster Krieg		
3779	1083	// : Vom heutigen Kriege	I.	
3780	1084	// : //	II.	
3889 ^{abc}	1157 ^{abc}	Ahlemann: Mein Kommando zu den Manövern der 3. japanischen Division.		
3890 ^{ab}	1158 ^a	Haushofer: Eine japanische Winterübung		
// ^b	// ^b	Wille: Ueber die Bewaffnung der Feldartillerie		

3893	1161	Bornemann: Kowno-Moskau-Kowno	1812, Individualismus als Grundprinzip der Buren-	
		takt ²]ik von Crenzinger		
3896	1162	Biermann: Die Fußartillerie		
3897	1163	Mummenhoff: Die moderne[n] Geschütze der Fußartillerie	I. Teil	
3898	1164	// :	//	II. //
3899	1165	Wrzodek: Die Entwicklung der Handfeuerwaffen		
3901	1167	Löffler: Strategie		
3927	1191	Freytag-Loringhoven: Die Führung in den neuesten Kriegen[:]	Operatives und Taktisches	I.
3928	1192	// :	//	II.
3941	1193	Großen Generalstabe Kriegsgeschichtliche Abteilung I.:	⁷⁰ Studien zur Kriegsgeschichte	
		und Taktik V. Band: der 18. August 1870.		
3942	1194	// :	//	Karten

⁷⁰ “Kriegsgeschichtliche Abteilung des Großen Generalstabs: Abteilung I.?”

3946 1195 Generalfeldmarschall Graf Alfred v. Schlieffen (Gesamter[er]te Schriften) I.
 3947 1196 // // // II.

と - 12-

3948 1197 Karten zu Band I. Gesamter[er]te Schriften Graf Alfred v. Schlieffen
 3949 1198 // // // II // // // // //
 4066 1231 Marine Rundschau 1911 Bd. I.
 4067^{ab} 1232^{ab} // // 1912 // I.
 4068^{ab} 1233^{ab} // // // // II.
 4069^{ab} 1234^{ab} // // 1913 // I.
 4089 1246 Hansa 1911
 4090 1247 // (Deutsche nautische Zeitschrift) 1912
 4091 1248 // // 1913
 4144 1279 Stenzel: Kriegführung zur See. Lehre von[er] Seekriege

«海保大圖»

4148 1283 // : Seekriegsgeschichte in ihren wichtigsten Abschnitten mit Berücksichtigung der Seetaktik
 I. Teil
 4149 1284 // : // II. Teil

と - 13-

4153 1287 Stosch: In Fjord und Mittelmeer (Fahrten eines Kl. Kreuzers in ihren wichtigsten Abschnitten)
 4164 1298 Stenzel: Seekriegsgeschichte in ihren wichtigsten Abschnitten mit Berücksichtigung der See-
 taktik III.
 4165 1299 // : // IV.
 4166 1300 // : // V.
 4167 1301 Jane: Ketzereien über Seemacht
 4168 1302 Troeltsch: Deutschlands Flotte im Entscheidungskampf (eine Einführung d. Laien i. d. Wesen d.
 modern. Seekrieges)
 4212^{abc} 1314^{abc} Lookout: Englands Weltherrschaft u. d. deutsche „Luxusflotte“
 4219 1321 Gersdorff: Ist die deutsche Flotte ein Luxus oder eine Notwendigkeit?
 4220 1322 // : Die Kriegsbereitschaft d. englischen Flotte im Jahre 1911.
 4246^{abc} 1342^{abc} Herausgegeben v. Deutschen Flottenverein: Deutschland sei wach! (Betrachtungen über Rü-
 stungsfragen und Weltpolitik)
 4247 1343 Kirchhoff: [Von] Seehelden und Admiralen.
 4250 1344 Leberecht: Auf, über, unter Wasser (Augenblicksbilder von der deutschen Flotte der Gegenwart)
 1914.

と - 14-

4301 1345 Marineverordnungsblatt 1908
 4302 1346 // 1909
 4303 1347 // 1910
 5327 1433 Alberti-Sittenfeld: Die Eroberung der Erde 1912
 5427 1453 Rummel: Erster Klasse und Zwischendeck (eine Weltumsegelung durch Zufall 1911)
 5601 1476 Nansen: Nebelheim (Entdeckung und Erforschung d. nördlichen Länder u. Meere) I. 1911
 5602 1477 // : // II. 1911

- 7004 1553 Schmidt: Im Lande der Freiheit_[j] Gleichheit und Brüderlichkeit
 7402 番外VIIC-5 Vosberg-Rekow: Asiatisches Jahrbuch; herausgegeben in[am] Auftrag der Deutsch-Asiatisch. Gesells. 1913
 7681 1651 Maier-Hugendubel: 世情 Bilder aus dem chinesischen Volks- und Missionsleben 1913
 7747 番外VIIC-6 Holzhauer: Das Justizwesen in China
 7748 1700 Rohrbach: Deutschland in China voran! 1912

と - 15 -

- 7749^a 1701^a Wertheimer: Deutsche Leistungen und deutsche Aufgaben in China
 7750^a 1702^{[al]?} Pape: Alluvial Chekiang (eng_[j]) 1913
 7757 1703 Rohrbach: Deutsch-Chinesische Studien 1909
 7768 1704 Winter: Tsingtau. (eine)[j] Erinnerung an Ostasien) 1909
 7771 1705 Secker, Fritz: Schen (Studien aus einer chinesischen Weltstaa[ad]²ts[s]²) 1913
 7772 1706 Vortisch von Vloten: Chinesische Patienten [und/oder/über]² ihre Aerzte 1914
 7913^{ab} 1713^{ab} Die Schantung Eisenbahn und das von ihr erschlossenen[an] Gebiet 1912
 7914^{ab} 1714^{ab} Ohlmer: Tsingtau, sein Handel und sein Zoll-System 1913
 7959 1720 Deutsche Niederlassungsgemeinde in Tientsin;[j] 1913 Protokoll über [die] jährliche Gemein-
 deversammlung der deutsch. Niederl.-Gemeinde in Tientsin am 26. 11. 1913 und Jahresbericht
 1912.
 8016 1731 Ursyn-Pruszyński: Kleiner Führer durch das annektierte k[KK]orea 1910.
 8018 1732 Haegholz: Korea und die Koreaner 1913

«佐賀大附圖»

と - 16 -

- 8080 1753 The Welcome Sos[sc]iety of Japan Ki hin Kai: A ga[ga]Gu]ide-Book for Tourist[s] in Japan
 (eng_[j]) 1910
 8082 1754 Rathgen: Die Japaner in der Weltwirtschaft 1911
 8083 1755 Published by Thos. Cook & Son: Information for travellers landing in Japan
 8085 1756 Grünfeld: Die Japanische Auswanderung 1913
 8222 1776 Goebel: Vom Ural bis Sachalin 1913
 22299 番外IXA-8 Rathenau: Zur Kritik der Zeit 1912
 22738 // IXA-5 Schwarz: Die Finanzsysteme der Grossmächte I.
 22739 // IXA-6 // ; // II.
 22830 // IXA-7 Wallas: Politik und menschliche Natur
 23035 2980 Deutsches Kolonialblatt 1911
 23036 2981 // // 1912
 233[32]59 3068 Mitteilungen aus den Deutschen Schutzgebieten XVIII, Band 1905 I. Heft

と - 17 -

- 23260 3069 // // // II. //
 23261 3070 // // // III. //
 23262 3071 // // // IV. //
 23263 3072 // XIX // 1906 I. Heft
 23264 3073-I // // // II. //
 23265 3074-I // // // III. //
 23264 □ (dieselbe Nummer 2) // - 3073-II XX // 1907

23265 □ (//) // 3074-II XXI // 1908
 23266 3075 // □ □ 1905 IV. //

23344 番外IXB-1 Schneider: Jahrbuch über die deutschen Kolonien 1912
 23423 番外IXB-2 Zimmerme[ea]nn: Geschichte der deutschen Kolonialpolitik
 24063^{ab} 3149^{ab} Annalen der Hydrographie und Maritime[n]² Meteorologie 1911

«東北大附圖本館»

と - 18 -

2460604 3275 Mitteilungen und Kosmischen Physik der Vereinigung von Freunden der Astronomie[und Kosmi-
~~sehen Physik der Vereinigung von Freunden der Astronomie~~ der Vereinigung von Freunden der
 Astronomie und Kosmischen Physik] 1904

«東北帝大»*

34063 番外XIIIC-7 Kürschners Bücherschatz

«京都大附圖»

34285 4181 Wenden: Die Tote (eine Artistengeschichte)

«京都帝大»*

«京都大附圖»

35565 番外XIIIC-2-5 Bloem: Das Lockende Spiel

35568 // // XIIIC-2-10 Böhme: Abseits vom Wege

39172 // // XIIIC-2-14 Heyking: Tschun, eine Geschichte aus dem Vorfrühling Chinas

39194 // // XIIIC-2-15 Hauptmann[:]² Atlantis

40679 4916 Laggenscheidt: Blondes Gift

41636 4988 Ompteda: Die Tochter des grossen Grossen Georgi (Theaterroman) 1911

42873 5146 Retcliffe: Sebastopol (Historisch-Politischer Roman aus dem 19. Jahrhundert) II. Band

43528 [番州]² XIIIC-2-9 Steffen: Im Orlog

1

43613 [// //]² XIIIC-2-20 Strauss, Emil: Der nackte Mann

と - 19 -

47246 5566 Müllmann: Der Chinesisch-Japanische Krieg 1894-95

48154 5788 Grosse: Vetter Isidor 1901

49143 5791 Herzog: Wiskottens (Roman) 1906

84577 7226 The Studio (engl[.]) 1911

84579 7227 // // 1912

86059 7411 Zentralblatt der Bauverwaltung 1904

«九州大中圖»

87023 7502 Archiv für Post und Telegraphie 1911

87716 7539 Adressbuch 1911-1912

— ○ —

と - 20 -

[原本白紙]

3.: 青島守備軍參謀部: “大正九年三月鹵獲書籍追加目錄”

[表紙]

大正九年三月

鹵獲書籍追加目錄

青島守備軍陸軍參謀部

[i]

目次

官有書籍(洋書)第二追加目錄目次

第一 法律

	頁 數
(一) 憲法	一
(二) 行政法	二
(三) 刑法・刑事訴訟法及監獄法	六
(四) 民法及民事訴訟法	一三
(五) 商法	一九
(六) 國際法	二五
(七) 雜	二六

第二 雜 書

(一) 新聞・雜誌	三九
(二) 政治	三九
(三) 經濟	四一
(四) 軍事	四二
(五) 歷史・地理	四三
(六) 言語學・辭典	四四
(七) 植物學	四五
(八) 醫學	四五
(九) 土木	四五
(十) 商業・交通	四六
(十一) 雜	四六

[ii]

德華高等學堂藏書(洋書)追加目錄目次

	頁 數
H. 自然科學	四九
三 動物・植物・礦物	四九
五 考古學	四九
L. 農業	五〇
M. 工藝	五二
第三 建築	五二

[iii]

ウキルヘルム・コーン叢書(洋書)追加目錄目次

	[頁 數]
M. 文學・美術・音樂	五三
N. 雜	五三

[iv]

官有書籍(洋書)第二追加目錄

第一 法律
(一) 憲法

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
一	レンネ	獨逸憲法	一八九九	□
		「陸軍教育總監」		
二	アルント	獨逸憲法	一八九五	□
		「陸軍教育總監」		
三	アルント	普魯西憲法	一九〇〇	□
		「陸軍教育總監」		
四(I-II)	ラバント	獨逸帝國々法 第一卷[*]第二卷	一八九五	□
五	アルント	獨逸帝國々法	一九〇一	□
六	マイヤア	獨逸國法教科書	一九〇五	□
				- [2]-
七	レプシュス	エルザス・ローレンの選舉權問題	一九一三	□
八	メンガア	新國家論	一九〇六	□
		「陸軍教育總監」		
九	クラッベ	主權論	一九〇六	□
		「陸軍教育總監」		
一〇	グライス	普魯西及獨逸帝國憲法及行政提案	一八九八	□
一一(I-II)	フライシュマン	獨逸國法及行政法辭典 第一卷 A-F	一九一一	□
		全 第二卷 G-N	一九一三	□

(二) 行政法

一二(I-II)	ミュルラア	普魯西司法行政 第一卷 官廳と官吏 第二卷 事務	一八九二	□
			〃	□
一三	ピーパー	帝國官吏法	一八九六	□
一四 ^{ab}	ブラント	帝國官吏法	一九〇二 一九〇七	□
			「京都大附圖」 [?]	
一五	スピルリング	帝國官吏法	一九〇六	□
				- 3-
一六	□	普魯西官吏法	一八九七	□
一七	デリユス	官吏の責務	一九〇一	□
一八	アルブレヒト	官吏の旅費日當	一九〇六	□
一九	ローメン	軍人恩給法	一九〇六	□
二〇	□	全	一八八九	□
二一	コルマン	將校の俸給請求權	一九一二	□
二二 ^{ab}	テツシュ	殖民地官吏と彼等の權利義務	一九〇八	□

二三	ドエル	一九一〇年六月八日殖民地官吏法	一九一〇	□
二四(I ^{a-c} -II ^{ab})	ロムベルグ	一九一〇年六月八日殖民地官吏法及全追捕	一九一三	□
二五 ^{ab}	ツオルン	獨逸殖民法	二九〇二	□
二六 ^{ab}	海軍省	保護領法	一九〇一	□
二七	フロラツク	保護領と其行政	一九〇五	□
- 4 -				
二八	ベンデイツクス	殖民地政治法律學	一九〇三	□
二九	ホフマン	獨逸保護領の行政及裁判組織	一九〇八	□
三〇	アンシユツツ	獨逸殖民地に於ける命令權	一九〇八	□
三一	ライマア	獨逸保護領との無稅移住	一九一一	□
三二	ハウシルド	殖民地に於ける國籍	一九〇六	□
三三	ザバアスキ	殖民地の内地外國觀念	一九〇七	□
三四	ペタアス	獨逸保護領に於ける土民の獨逸殖民法に基く觀念と 國法並に國際法上の地位	一九〇六	□
三五	ポーザア	獨逸保護領の法的地位	一九〇三	□
三六	□	一九〇〇年九月十日宰相の表明せる保護領法案	□	□
三七	ホフマン	獨逸殖民地營業法	□	□
《東北大附圖分館》				
三八(I-II)	□	獨逸徵兵令イロハ索引及獨逸徵兵令	一九〇四	□
《京都大總人圖》				
- 5 -				
三九	ドイツ	陸軍徵兵[徵兵懲罰]令	□	□
《金澤大中圖》				
四〇	海軍省	海軍懲罰令	一九〇二	□
《金澤大中圖》				
四一	フキーリツツ	海軍懲罰令註釋	一九〇三	□
四二 ^{ab}	ウキルヘルミ	獨逸工業條例	(二八九六)	□
《陸軍技術本部》				
四三	レツピン	食料品に關する諸法令	一九〇〇	□
四四	フルド	著作權法	一九〇七	□
四五	ゲツシユ	獨逸帝國衛生に關する法律	一八八八	□
《陸軍醫務醫事》				
四六	ステフアン	商品記號保護法	一八九四	□
四七	コエニヒ	獨逸郵便電信法	一九〇二	□
《陸軍技術本部》				
四八	エフナア	普魯西狩獵法	一九〇八	□
四九	ロジン	普魯西警察命令權	一八九五	□
五〇	カーン	帝國及聯邦國籍取得並に喪失に關する法律	一八九六	□
- 6 -				
五一	デリユス	獨逸帝國及聯邦國籍法	一九一三	□
五二	□	一八八七年八月六日發布海員能力證明に關する告示	一八八八	□

五三	ペレルス	海員條例	一九〇二	□
五四	□	一九〇二年六月二日發布海員條例	一九〇二	□
五五(I-III)	ダマシユケ	土地改良年報 第七卷・第八卷・第九卷	(一九一三	□
			《信州大松本圖》 ²	
五六(I-VIII)	ステイヤサムロ	行政法年報 第一年・第二年・第三年・第四年 全 第五年前編後編及第六年前編後編 全 第七年・第八年	(一九〇七 I-IV 一九〇九 V ^{1,2} , VI ^{1,2} 一九一三 VII, VIII	

(三) 刑法・刑事訴訟法及監獄法

五七	グロツス	刑法學辭典	一九〇一	□
				- 7 -
五八(I-II)	ステングライン	獨逸刑法辭典 第一卷A-H 第二卷I-Z	一九〇〇	□
五九(I-III)	全	刑法附屬法註釋 第一卷 ₁ 第二卷及全補遺	二九〇三	舊廢
六〇	フランク	獨逸刑法々典	一九〇三	□
				《東京外語》
六一 ^{ab}	リユドルフ	獨逸刑法々典	一九〇三	□
六二 ^{ab}	ダルケ	刑法と刑事訴訟	二九〇七 二九〇五	□
六三 ^{abc}	□	獨逸刑法草案附説明	一九〇九	□
六四	カール其他	獨逸刑法草案對案	一九一一	□
六五 ^{abc}	ヘルウキヒ	刑事訴訟法及裁判所構成法	(一九〇一 一九〇三 二九〇〇)	□
六六	ドエル	獨逸殖民地刑事訴訟法	一九一三	□
六七	フキヤハウス	刑事訴訟法書式	一八九九	□
六八	ロエウエ	獨逸刑事訴訟法	一八九八	□
六九	獨逸法律新聞	獨逸刑事訴訟法草案附説明	一九〇八	□
				- 8 -
七〇	ワイドリツヒ	英國刑事訴訟の實地と獨逸刑事訴訟改革	一九〇六	□
七一	クリーグマン	刑事判決の無効	一九〇七	□
七二	エツセンボルン譯	ベツカリヤ著犯罪と刑罰に就て	一九〇五	□
七三	獨逸精神病學協會法律委員	刑法草案註解	一九一〇	□
七四	ルンプフ	刑事裁判官	一九一二	□
七五	ゲルハルド	書簡に對する刑事上の保護	一九〇五	□
七六	ビルクマイヤア	リスツトと刑法(刑法に於ける近代趨向に對する警告)	一九〇七	□
七七	ウエツトシタイン	獨逸殖民地への流刑	一九〇七	□
七八	ブツスラア	笞刑	□	□
七九	アツスマン	訴追	一八九六	□
八〇	バロウス	犯罪, 過失犯及罰金	一九〇〇	英文
八一	全	萬國監獄委員會報告	一八九九	英文
				- 9 -
八二	バロウス	一九〇〇年八月白耳義「ブラツセルス」に於ける第六回萬國監獄會議	一九〇三	英文
八三	全	合衆國の少年裁判所	一九〇四	英文

八四	ハツケ	重罪(帝國刑法第三六〇條第一一項)	一八九二	□
八五(I-II)	スターン	陳述心理學 第一編・第二編	一九〇四 一九〇六	□
	«陸軍教育總監»			
八六	クラフト エツピング	精神病療法教科書	一九〇三	□
	«陸軍醫務醫事»			
八七	□	裁判醫検屍手續規定	一九〇五	□
	«陸軍醫務醫事»			
八八	オルト	裁判醫検屍手續規定註解	一九〇五	□
	«陸軍醫務醫事»			
八九	リーフマン	證人の怠慢なる偽誓	一九〇七	□
九〇	ストエルツエル	普魯西獨逸刑法に於ける國家的及非國家的外國	一九一〇	□
九一	オーマン	獨逸代議士より被りたる侮辱に對する報復の相殺	一九一三	□
-10-				
九二	ウォルツェンドルフ	警察權の境界 第一編[:] 警察國[國法 ⁷]に於ける警察權の範圍に就て	一九〇五	□
九三	グロツス	刑法學の系統たる豫審判事用參考書	一八九九	□
九四	ネツタア	比較刑法論(獨逸及諸外國)索引篇	一九〇九	□
九五(I-XV)	ビルクマイヤ ヴァン・カルカア 全 ハイム・ベルガア, リ・エンタール, フツハ, ビツベル, カール, ミンタア マイヤア ラードブルツフ等	比較刑法論總論 自第一卷至第六卷 各論 第一卷[:] 國家及國權に對する犯罪 第二卷[:] 公の秩序に反する犯罪 第三卷[:] 宗教犯行, 誣告, 決闘 貨幣犯罪, 偽誓罪 第四卷[:] 風紀紊亂罪・侮辱罪・戶籍違反 第五卷[:] 殺人犯罪, 傷害罪 自由に對する犯罪 強盜と恐喝, 物件毀損, 竊盜と横領罪 不當利得	一九〇八 一九〇六 一九〇六 一九〇六 一九〇五 一九〇七	I-VI VII VIII IX X XI XII
-11-				
		比較刑法論各論 第七卷[:] 庇護罪と隱匿, 文書偽造, 詐欺, 食料品偽造 第八卷[:] 破産, 背信, 高利と強奪, 第三者の秘密侵害, 狩獵及漁撈犯罪 第九卷[:] 公安を害する犯罪 職務上の犯罪	一九〇七 一九〇六 一九〇六	XIII XIV XV
九六	□	帝國議會第九會期一八九五 - 九六年第四期議事録 第九〇號	□	□
九七	エルンスト	陸軍刑法	一九〇三	□
九八	海軍省	海軍刑罰執行規則	一九〇八	□
九九	マイヤア	陸軍刑法學說と實際の論議	一九〇八	□
一〇〇	ゾルムス	獨逸陸海軍刑法及刑事訴訟	一八九二	□
一〇一	ラスティツ:	軍事上に於ける不從順の犯罪	一九〇六	□
一〇二	コツプマン	獨逸陸軍刑法	一八八五	□
一〇三	□	陸軍刑罰執行規定 第一篇[:] 刑罰執行令	□	□
-12-				
一〇四(I-II)	□	帝國軍法會議判決例集 第一卷第一 五卷 索引 第六卷第一一〇卷 索引	一九〇五 一九〇八	□
一〇五(I-XVIII)	□	帝國軍法會議判決例集 自第一卷至第一七卷 全 追捕	(一九〇三 一九〇三)	I-XVII XVIII
一〇六(I-VII)	ヒツベル其他	刑法學雜誌 自第二七卷至第三三卷	(一九〇七 一九〇七)	□
一〇七	クライン	普魯西司法監獄管理及刑の執行規定	一九〇五	□
一〇八	□	監獄規定	□	(英文)
一〇九	クルツ	刑の執行・法律上の救助・引渡事項に關する參考書	一八九三	□

一一〇	ウオレンケン	囚徒の勞銀	一九〇一	□
一一一	フリーゲン シユミット	監守の職	一九〇二	□
一一二	クルーゼン	現今の日本監獄制	一九〇二	□
一一三	エンゲルベルグ	監獄學雜誌 第四一號	一九〇七	□

-13-

(四) 民法及民事訴訟法

一一四	バビヒト	民法論	一九〇〇	□
一一五	イエーリング	占有保護の理由に就て	一八六九	□
一一六	レオンハルド	舉證責任	一九〇四	□
一一七	ベーゼン ステッヒャア	實質的法力論	一九〇五	□
一一八	レオンハルド	履行地と債務地	一九〇七	□
一一九	シユロツスマン	意思表示と法律行爲	□	□
一二〇	フアルクマン	使者の法律上の地位	一九〇八	□
一二一	レオンハルド	契約締結の際の債務	一九一〇	□
一二二	ダンツ	法律行爲の解釋	一九〇六	□

-14-

一二三	シヨエニガア	民法の給付行爲	一九〇六	□
一二四	クルーゲ	馭者の責任に對する經濟的原理(民法上)	一九〇五	□
一二五	プライヤア	膠州保護領に對するに於ける土地所有權の法的關係	一九〇六	□
一二六	ガライス	民法々典	一八九七	□
一二七	□	民法々典	一八九八	□
一二八	プランク其他	民法註釋 第七卷 辭彙及索引	一九〇二	□
一二九	ノイマン	獨逸民法 第三卷	一九〇〇	舊廢
一三〇(I-II)	コーラア	民法教科書 第一卷・第二卷	一九〇六	□
一三一	□	民法草案備忘	一八九六	□
一三二	エンゲルマン	普魯西私法	一八八三	□
一三三(I-IV)	フオエルスタア	普魯西私法 自第一卷至第四卷	二八九卷	□
一三四	ムグダン	獨逸民法資料集索引	一八九九	□

-15-

一三五(I-IV)	ムグダン	獨逸民法資料集 自第一卷至第五卷	一八九九	第三卷缺
一三六	□	民法第三三條改正に關する一九〇八年五月三〇日法律資料	一九〇八	□
一三七	□	改正民事訴訟法に關する一九〇五年六月五日の法令資料	一九〇五	□
一三八	ツアルニーキ	不動産強制執行に關する法令	一八九二	(舊廢)
一三九	クレツヒ	不動産強制執行に關する普魯西法律	一八九四	(舊廢)
一四〇	シユリム	獨逸殖民地に於ける土地法	一九〇五	□
一四一	メルカア	遺産取扱	一八九七	(舊廢)
一四二	アイヒホルン	遺言	一九〇〇	□
一四三	ハーン其他	歐洲諸國の婚姻法	一九〇四	□

一四四	ノイバウア	外國夫婦財産法	一八八二	□
一四五	ヤストロウ	私生兒法	一九〇一	□
一四六	フリードリツヒス	權限法	一九〇四	□
-16-				
一四七	リンケルマン	不法行爲の損害賠償義務	一八九八	□
一四八	ダンデ	軍人の民法上に於ける關係	一八八七	□
一四九	ステーゲマン	獨逸帝國民法に於ける普魯西施行法 第一編	一九〇〇	□
一五〇	□	普魯西民法施行法	一九〇〇	□
一五一	□	任意裁判權及土地登記法事件の判決 第七卷	一九〇六	□
			《東北大附圖分館》	
一五三二	アウエルバツハ	裁判管轄權要覽	一九一〇	□
			《東北大附圖分館》	
一五三	アルンツ	羅馬法教科書	一八五九	□
一五四	アルツマン	民法附屬法律	一九〇〇	□
			《東北大附圖分館》	
一五五	クリユツクマン	不可能と不可能訴訟	一九〇七	□
一五六	エルツバツヒヤア	不作爲の訴	一九〇六	□
			《京都大總人圖》	
一五七	ベルンハルデイ	債務者法律行爲の取消申上に關する法律	一九〇三	□
			《京都大總人圖》	
一五八 ^{a-d}	グ[ダブ]ツシユ	民事訴訟法附裁判所構成法	一九〇一—一九〇九	□
			二九一〇	□
			《京都大總人圖》	
-17-				
一五九	シドウ	民事訴訟法附裁判所構成法	一八八八	□
			《金澤大中圖》	
一六〇	□	獨逸民事訴訟法々典	一九一〇	□
			《金澤大中圖》	
一六一	フロイツテンタール	民事訴訟法	一九一〇	□
			《金澤大中圖》	
一六二	デリユス	民事訴訟法	一九一〇	□
			《金澤大中圖》	
一六三	レーマン	民事訴訟法・破産法・商法	一八九九	□
			《金澤大中圖》	
一六四	ラインケ	獨逸民事訴訟法	一九〇〇	(舊廢)
一六五	マルナイヤ	民事訴訟法	一九〇九	□
一六六(I-II)	スツルクマン ^{其他}	獨逸民事訴訟法 第一卷・第二卷	一九〇一	□
一六七	ゾイフェルト	獨逸民事訴訟法註解	一八九三	(舊廢)
一六八(I-II)	全	民事訴訟法註釋 第一卷・第二卷	二九〇二	(舊廢)
			二九〇三	(舊廢)
一六九(I-II)	ペタアゼン ^{其他}	獨逸帝國民事訴訟法 第一卷・第二卷	二九〇四	□
			二九〇六	□
一七〇	シドウ及ブツシユ	民事訴訟法及裁判所構成法	一九〇一	(舊廢)
-18-				
一七一	スタイン	一九〇九年六月一日發布民事訴訟法新法	一九一〇	□

一七二	マイヤア	訴訟實地練習例初歩	一九〇二	□
一七三	ブラウン	民事訴訟法の期間と方式	一九一二	□
一七四	デユルレンフェルト	民事訴訟新法に基く公文書式	一九一〇	□
一七五	□	民事訴訟法改正に関する帝國法令施行規則草案	□	□
一七六	マイヤア	差押法	一九〇〇	□
一七七	ニードナア	強制競賣及強制管理法	一九〇四	□
一七八	フキツシヤア	不動産強制執行法	一九〇〇	□
一七九 ^{ab}	ウオルフ	強制競賣及強制管理法	一九〇一	□
一八〇	カイデル	判決例 第十六部[:] 強制競賣と強制管理	一九一三	□
一八一	ウエンツ	強制競賣及強制管理實用參考書	一九〇七	□
一八二(I-II)	ストエルツエル	民法適用練習 第一編・第二編	一九〇二	□

-19-

(五) 商法

一八三 ^{ab}	リントハウア モッセ	商法法典	一九〇五 一九〇一	□
一八四(I-III)	マコワア	商法註釋 自(1)至(3)	一八九八 一九〇〇	□
一八五(I-II)	スタウブ	商法講義 第一卷・第二卷	一九〇〇	(舊廢)
一八六 ^{ab} (I-II)	コエニゲ ^{其他註}	スタウブ商法講義 第一卷・第二卷	一九〇六 一九〇七	□
一八七		缺番		
一八八	スタウブ	獨逸商法註解補遺	一八九七	□ 《信州大松本圖》 [?]
一八九	全	獨逸商法註解	一八九七	(舊廢)
一九〇	ブランド	商法(海上法を除く)	一九一一	□ 《山口大總圖》
一九一	コザツク	商法教科書	一九〇〇	□ 《山口大總圖》
-20-				
一九二	レーマン	商法教科書	一九〇八	□ 《山口大總圖》
一九三(I-XVI)	ボルヒヤルト ^{其他}	萬國商法 第一篇 北米 第一卷[:] 北米合衆國	一九〇八	I
		全 全 第二卷[:] 北米合衆國 墨西哥		II
		全 第二篇 中米		III
		全 第三篇 南米 第一卷[:] コロンビヤ、エネゼラ、 エクワドル		IV
		全 第四篇 全 第二卷[:] アルゼンチン、ウルガイ パラガイ、智利		V
		全 第五篇 全 第三卷[:] ブラジル、ペル、 ボリキヤ		VI
		全 第六篇 亞弗利加と亞細亞		VII
		全 第七篇 南歐 第一卷[:] 西班牙、葡萄牙、伊太利、 サンマリノ、ルーマニヤ		VIII
		全 第八篇 全 第二卷[:] ブルガリヤ、希臘、モンテ ネグロ、セルキヤ、土耳其		IX
		全 第九篇 東歐(露西亞、附ポーランド、フキンランド)		X
		全 第十篇 北歐及東北歐 第一卷[:] 瑞典、諾威 丁抹		XI
-21-				
		萬國商法 第十一篇 北歐及東北歐 第二卷[:] アイスランド	一九〇八	XII

	全	第十二篇 中歐	第一卷[:]	白耳義, コンゴ	XIII
	全	全	第一部[:]	佛蘭西, モナコ	XIV
	全	第一三編[編篇]	第二部[:]	和蘭, 蘭領印度	XV
	全	全	第一卷[:]	瑞西, ルクセンブルグ	XVI
	全	全	第二部[:]	獨逸帝國	
	全	全	第一卷[:]	塊大利, 匈牙利, ボスニヤ, ヘルテ	
	全	全	第一部[:]	ゴキナ, クロアチヤ, スラウオニヤ	
	全	全	第二部[:]		
一九四 ^{ab}	デイクホフ	商業登記届出			□ □
一九五	コーン	商業及組合登記		一九〇一	□
一九六	エツサア	株式會社		一八九九	□
一九七	シエテリツヒ	倉庫業		一九〇六	□
一九八	スタウブ	有限責任會社に關する法令註釋		一九〇三	(舊廢)
一九九	アレキサンダア	指圖式倉庫證券に依る在庫品所有權の取得		一九〇七	(舊廢)
					《福島圖研》
二〇〇	イガア	伯林商事裁判所判決例 第一卷		□	□
					-22-
二〇一	ウオルク	諸會社實用會計法		一九〇五	□
二〇二	ホエニガア	商品倉庫の保安委付		一九一〇	□
					《福島圖研》
二〇三	ベチンガア	商業簿記記帳法		□	□
					《佐賀大附圖》
二〇四	シユミット	郵便物受取人の權利		一八九八	□
二〇五	ハイマン	商法上引渡後證券の物的効力		一九〇五	□
					《佐賀大附圖》
二〇六	ゲツペルト	抵當銀行法		一九〇〇	□
二〇七	フルド	一九〇九年六月七日發布不正競賣業に對する法令		一九一〇	□
					《佐賀大附圖》
二〇八	ローゼンタール	一九〇九年六月七日發布不正競賣業に對する法令		一九〇九	□
二〇九	□	不正競業防止法例題		一九〇三	□
二一〇	ストランツ	獨逸手形法		一九〇八	□
二一一	スタウブ	獨逸手形法講義		一八九六	□
二一二	マイヤア	手形法		一九〇六	□
					-23-
二一三	グラウニツツ	手形拒絕證書		一九一一	□
二一四	ホツペンシテット	一九〇七年の小切手法草案(批評と改正提案)		一九〇八	□
二一五	リーサア	獨逸小切手法臨時草案記註		一九〇八	□
二一六	ロエブ	小切手法草案		一九〇七	□
二一七	ツリムブルン	小切手制(特に獨逸郵便小切手)		一九一〇	□
二一八	アプト	小切手法		一九〇八	□
二一九	ウエドケ	傷害保險法		一八九〇	□
					《陸軍千住製絨》
二二〇	クルンエス キンシキ	建築従事員の傷害保險に關する法律		一八九八	□
二二一	ウエドケ	廢疾及養老保險法		一八九五	□
					《陸軍千住製絨》
二二二	海軍省	傷害保險施行規定(帝國海軍に於ける)		一九一二	□
					《陸軍千住製絨》

二二三	北田彦三郎	海上保険の委付(日本法を考慮に於ける)	一九〇八	□
二二四	フオイグト	獨逸海上保険法	一八八九	□
-24-				
二二五	ウルリツヒ	共同海損(最重要諸國の法令)	一八八四	□
二二六	ペレルス	獨逸帝國一般海上公法	一九〇一	□
二二七	全	現代世界海上法	一九〇三	□
二二八 ^{ab}	クニチユキイ	獨逸海上法	一九〇二	□
二二九 ^{ab}	ブロードマン	獨逸海上法	一九〇六	□
«京都大附圖»				
二三〇	シャツプス	獨逸海上法註解	一九〇六	□
二三一(I-II)	レウキス	獨逸海上法 第一卷・第二卷	二八八 ^三 _四	□
二三二	スクライヴナア	リード著船主船長必携	□	英文
二三三	プリーン	船舶衝突論	一八九九	□
二三四 ^{ab}	シドウ	破産法	二九〇 ^三	□
二三五	全	破産法附施行法	一八八六	□
二三六 ^{ab}	ウキルニウスキ	獨逸帝國破産法	二八八 ^五 _六	□
-25-				
二三七	イエーガア	帝國破産法(新法に基く註釋)	一九〇二	□
二三八	ゼンスト	破産管理(帝國破産法に基く)	一九〇四	□
二三九	ザルウエイ	獨逸破産法註釋	一九〇一	□
二四〇	ヘルマン	獨逸破産法教科書	一九〇七	□

(六) 國際法

二四一	日本外務省	日本帝國及諸外國間の條約並に協約	□	英文
二四二	ポール	支那が獨逸に對する膠州灣の讓渡	一九〇八	□
二四三	ニーマイヤ	獨逸國に適用さるゝ國際私法	一八九四	□
二四四	海軍省	海軍々事裁判所と外國との交渉に關する規定	一九〇三	□
二四五	オルスハウゼン	獨逸帝國引渡條約及領事條約	一九〇三	□
-26-				
二四六(I-III)	レスケ其他	國際訴追 第一卷・第二卷・第三卷	一八九五—一八九七 二九〇一	□
二四七	トエル	國際法・裁判官法其他	一八四六	□
二四八	ツオルン	獨逸領事法	一九〇一	□
二四九 ^{abc}	フオアウエルク	領事裁判權	二九〇 ^五 _六	□
二五〇	ゴエス	一八七九年七月一〇日領事裁判權に關する法律	一八九七	□
二五一 ^{ab}	□	獨逸領事名簿(一九〇三年二月)	□	□
二五二(I-IX)	ニーマイヤ	國際法雜誌 自第十四卷至第十八[共廿 ^二]二卷	二九〇 ^四 _三	□

(七) 雜

二五三	□	聯邦及帝國法令時報索引 一八六七 - 一九〇六	一九〇七	□
二五四(I ^{ab} -XII)	□	一八九七年度 帝國法令時報	□	I ^{ab}
		一八九八年度 帝國法令時報 二六號 - 五七號		-27- II
		一八九八年度 帝國法令時報		「東北大附圖分館」 III ^{abc}
		一九〇一年度 全 及一九〇四年度 全		「東北大附圖分館」 IV, V
		自一九〇六年度 全 至一九一二年度 全		「東北大附圖本館」 VI-XII
				「東北大附圖分館」
二五五(I-II)	□	一八〇六 - 一八八三年普魯西王國法令集索引 A-L, M-Z	一八八五	□
				「京都大總人圖」
二五六	□	一八八四 - 一九〇三年普魯西王國法令集索引	一九〇四	□
				「京都大總人圖」
二五七(I ^{ab} -XVI)	□	自一八九七年度普魯西王國法令集至一九一二年度全上	□	I ^{ab} , IV ^{ab}
				「京都大總人圖」
二五八 グローテフェンド		一八〇六 - 一八九九年普魯西及獨逸法令集索引 [:] 一八〇六 - 一八九五年	一九〇〇	□
				「京都大總人圖」
二五九(I-IV)	全	一八〇六 - 一八九九年普魯西及獨逸法令集自第一卷至第四卷	一九〇〇	□
				「京都大總人圖」
二六〇	全	一八〇六 - 一八九九年普魯西及獨逸法令集補遺 [:] 一八九六 - 一八九九年	一九〇〇	□
				「京都大總人圖」
二六一(I-II)	德華高等學堂	中德法律彙覽第二集[:] 中華民國臨時約法第八集[:] 法律編制法	一九一二	□
二六二(I-VI ^{ab})	□	一九〇一年度 青島官報	□	I
				「金澤大中國」
	□	一九〇四年度 青島官報及一九〇五年度 全上	□	-28- II, III.
	□	自一九〇七年度 全上 至一九〇九年度 全上	□	「金澤大中國」 IV-VI ^{ab}
				「金澤大中國」
二六三	ハーゲン	帝國法令イロハ索引	一九一二	□
二六四(I ^{ab} -XIV)	フルド	カード式法令集 第一卷[:] 商法	□	I ^{ab}
	ガライス	全 第二卷[:] 爲替法		II
	レオ	全 第五卷[:] 海上法		III
	ノイベルグ	全 第六卷[:] 著作權, 特許法其他		IV
	カイデル	全 第八卷[:] 破産法		V
	全	全 第九卷[:] 疾病保險		VI
	全	全 第一〇卷[:] 傷害保險		VII
	全	全 第一一卷[:] 廢疾保險		VIII
	全	全 第一五卷[:] 任意裁判權		IX
	カイデル	カード式法令集 第一六卷[:] 強制管理	□	-29- X
	ウエルナア	全 第一七卷[:] 私的保險法		XI

	ブラウン	全	第一八卷[:] 工業條例	XII
	フルド	全	第一九卷[:] 有限責任會社法	XIII
	フアヤンス	全	第二〇卷[:] 小法令	XIV
«陸軍技術本部»				
二六五	ミュルラア	帝國私法的法令集	一九〇八	□
二六六	シドウ	裁判所構成法	一八九九	□
二六七	□	改正裁判所構成法其他に關する一九〇九年六月一日の法令資料	一九〇九	□
二六八	□	改正裁判所構成法其他に關する法律草案	□	□
二六九	ストエルツエル	普魯西に於ける訴訟方法と權限爭議	一九〇一	□
二七〇	フキヤハウス	裁判所及檢事用獨逸訴訟書式	一八八〇	□
二七一(I-II)	フキヤハウス フイゼシガア	裁判所及檢事用獨逸訴訟書式 ^{第一卷} ^{第二卷}	一九〇一 一九〇九	□
-30-				
二七二	フキヤハウス	判決の方法に就て	一九一一	□
二七三 ^{abc}	ブツシュ	獨逸訴訟費用法	一九〇七	□
二七四 ^{abc}	リットマン	獨逸裁判所費用法	一九〇三六舊廢, 一九〇九, 一九一〇	
二七五 ^{abc}	プツアツフエロート	獨逸裁判所費用法	一九〇三, 二六九六舊廢	
二七六	全	普魯西裁判所費用法	一八九六	舊廢
二七六	全	普魯西裁判所費用法	一八九六	舊廢
二七七	□	獨逸並に普魯西費用法	一九一〇	□
二七八	ピーチュ	普魯西費用法	一九〇〇	舊廢
二七九 ^{abc}	ピーチュ	普魯西費用法	一九〇四 一九〇七 一九〇〇	舊廢
二八〇	ワルデンブルグ	訴訟費用法に關する高等法院判決例	一九一三	□
二八一	ペルシエル	費用確定の手續	一九〇七	□
二八二 ^{ab}	シドウ	辯護士法	一九〇七	□
二八三	マストロウ	公證人手續	一八九一	□
-31-				
二八四	ウエルナア ^{其他}	獨逸及普魯西の公證人	一九〇〇	□
二八五	ヤストロウ	公證人手續	一九〇〇	□
二八六	□	裁判所及檢事勤務令	一九〇七	□
二八七	□	區裁判所書記勤務令	一八九九	□
二八八	□	地方裁判所書記勤務令	一八九九	□
二八九	□	一八九九年一月一日發布執達吏勤務令	一八九九	□
二九〇	□	普魯西執達吏勤務令追補	一九一一	□
二九一	エックスナア	普魯西執達吏勤務關係	一九〇一	□
二九二	□	執達吏規則	一九〇三	□
二九三	フエルスト	辯護士料金條例	□	□
二九四	ワルタア	一八七九年七月七日發布辯護士料金規則	一九〇四	□
二九五	シドウ	獨逸辯護士手数料規則	一九〇〇	□
-32-				
二九六	ヨアヒム	普魯西辯護士及執達吏料金	一九〇〇	□

三二四(I-II)	ミツテルシタイン	獨逸内水航行法	第一卷□ 帝國法規 第二卷□ 帝國法規に非らざる規定	一九〇三 一九〇〇	
□					
三二五	エガア	自動車交通に関する帝國法律		一九一一	□
		«陸軍技術本部»			
三二六	ベ/ビツタアマン	其他自動車法提案		一九一三	□
		«陸軍技術本部»			
三二七	クレツヒ	共同宿舎條例		一八八五	□
三二八 ^{abc}	カイザア	帝國司法々規		一九〇一 一八九四	□
三二九	シドウ	普魯西司法々規施行法並に法令		一八九五	□
三三〇	ステーゲマン	帝國司法々規に関する普魯西施行法 第二編		一九〇〇	□
三三一	アドイツケス	司法改革の理解		一九〇七	□
					«佐賀大附圖»
-35-					
三三二	アドイツケス	徹底的司法□□改革原理		一九〇六	□
					«佐賀大附圖»
三三三	フックス	推斷的法律學の公□妨害		一九〇九	□
					«佐賀大附圖»
三三四	デンステット	司法上の犯罪		□	□
三三五	フ□□ア	豫備勞務 特に建築經費見積		一九一二	□
三三六	フユツ'タア	利子計算表(一 - 五〇□□□□)		一九〇三	□
三三七	□	一八七七 - 一九一一年(普魯西立法司法)司法省□□□		一九一二	□
三三八	アツペリユス	獨逸帝國工業條例		一八九三	(舊廢)
三三九	ノイカムフ	全		一九〇六	□
三四〇 ^{ab}	ウオルフ	土地臺帳事項に関する制令		一八九七	(舊廢)
三四一(I-III)	イエリング	法律論文集 第一卷[•]第二卷[•]第三卷		一八八一 - 一八八二 一八八六	□
三四二	ジークリン	殖民地司法		一九〇八	□
三四三	ゼールバツハ	獨逸殖民地の司法特徴		一九〇四	□
三四四	コエブナア	殖民地に於ける司法制度		一九〇三	□
-36-					
三四五	ウキツク	獨逸保護領に於ける黑人司法		一九一四	□
三四六(I-XII)	テムマアマン コエブナア	獨逸殖民地立法集	自第二卷卷 一八九六 - 一八九七年 至第十三 一九〇九年	IV ^{a-d} ・V ^{ab} ・VI ^{ab} ・VIII ^{ab} ・XI ^{ab}	
三四七	□	香港總督府告示 第二五六		一九〇三	(英文)
三四八	□	香港政廳報 第五二卷		一九〇六	(英文)
三四九(I-II)	□	一九〇四年度及一九〇五年度香港ブリューブック		□	(英文)
三五〇(I-III)	□	香港□法律律報	自 第一卷一九〇五 - 一九〇六年 至 第三卷一九〇八年	□	(英文)
三五一(I-III)	□	香港法令集	自 第一卷一八四四 - 一八九〇年 至 第三卷一九〇二 - 年	一九〇四	(英文)
三五二(I-III)	□	自一九〇三年至一九〇五年度香港法令集		(二九〇三)	(英文)
三五三	□	一九〇六年度海峽殖民地立法會議記事		□	(英文)
三五四	シュニツツラア	獨逸合衆國間法的文通便覽		一九〇三	□
三五五 ^{ab}	普魯西陸軍省	軍事法々典		一九〇〇	□
三五六	□	軍事裁判□法草案		一八九七	□

三五七	ストウルム	獨逸軍事裁判法	一八九九	□
-37-				
三五八	ステングライン	軍事裁判法註解	一九〇一	□
三五九	□□エンバツハ	軍事裁判法	一八九八	□
三六〇 ^{ab}	□	軍事裁判勤務令	一九〇〇	□
三六一	陸軍省	帝國海軍法官勤務規定	一九〇四	□
三六二	□	陪席判事規定(軍事裁判に於ける)	□	□
三六三	□	軍事裁判審査結果 一九〇一 - 一九一〇年	□	□
三六四	海軍省	帝國海軍將校名譽裁判の最高法令	一九一一	□
「陸自衛生校」 ⁷¹				
三六五	全	帝國海軍醫官名譽裁判の最高法令	一九一一	□
三六六	ドイツ	第一回獨逸陸軍法官會議々事録	一九一三	□
三六七	□	司法官衙金櫃令	一九〇七	□
三六八 ^{ab}	海軍省	平時海軍俸給規定	一九〇四	□
三六九	□	軍艦給養規定	一八八八	□
三七〇	□	海軍俸給令	一九〇九	□
-38-				
三七一	海軍省	將校扶助料管理規定	一九〇二	□
三七二	ノイマン	獨逸法律年報索引 第八 - 一〇年	一九一二	□
三七三(I-IV)	全	獨逸法律年報 自第六年至第九年	(一九〇八)	□
三七四(I-IV)	□	獨逸法官新聞 自第一年至第四年	(一九〇九)	□
三七五(I-II)	□	中央法律新聞 第一年[・]第二年	(一九一〇)	□
三七六	□	法律 第十六年	一九一二	□
三七七 ^{□...}	□	膠州總督府主要規定其他 ABC索引	一九〇四	□
三七八 ^{□...}	□	膠州總督府主要規定集	一九〇四 [?]	□
三七九 ^{□...}	□	膠州總督府一般規定集	一九〇九	□
三八〇 ^{ab}	□	膠州保護領行政規定集	一九〇三	□
三八一(I-II)	□	一九一〇年度普魯西法官季節曆 <small>第一部 第二部</small>	□	□
「東北大附圖分館」				
三八二	□	獨逸法律刊行物目錄	一九〇六	□
三八三	□	法律書出版目錄 一九一一 - 一九一〇	□	□
-39-				
三八四(I-IV)	□	法政出版報 一八九五 - 一九六、一八九八 - 一九九、 一九〇〇 - 〇一、一九〇五 - 〇七年	□	□
「東北大附圖分館」 ⁷²				

第二 雜 書

⁷¹ 現時點では“三六四”・“三六五”の孰れか同定不能なるも、暫時“三六四”の如く假定しておく。

⁷² 但、例えば下記の如く記す。

“假番號 三八四ノI 發行年代 □ 著譯者氏名 □ 圖書名目 法政出版報 一八九五 - 九六年”

“假番號 三八四ノII 四一八 發行年代 □ 著譯者氏名 □ 圖書名目 法政出版報 一八九八 - 九九年”

“假番號 三八四ノIII 發行年代 一九〇〇 著譯者氏名 □ 圖書名目 法政出版報 一九〇〇 - 〇一年”

(一) 新聞 雜誌

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
三八五(I-XXIV) □		德文新報 自一九〇二年一月六日 至一九一三年七月十二日	一八九九	各附 □ □ 《京都大總人圖》

(二) 政治

-40-

三八六	□	一八七九年第二會期第四立法期國會議事錄	□	□ 《金澤大中國》
三八七	□	一八八七年第一會期第七立法期國會議事錄	□	□ 《金澤大中國》
三八八	フェルリング譯	江木巽翼著「膠州灣に就て」(タイプライタ寫本)	一九〇七	□ 《陸軍技術本部》
三八九	□	青島港灣規則	一九〇八	(獨支文)
三九〇	□	獨逸の殖民地	□	□
三九一	□	獨逸殖民政策	一八八六	□
三九二(I-III)	フキツナア	獨逸殖民地便覽 第一卷、第二卷補 一九〇二年度追及	一九〇一 一九〇二	□
三九三(I-VI)	シュナイダア	獨逸殖民地年報 自第一年至第六年	(一九〇八 一九一三)	□
三九四	□	獨逸殖民地政策年報 第二卷	一九八九	□
三九五	□	一九〇六 - 〇七年亞弗利加及南洋に於ける獨逸保護領年報	□	□
三九六(I-III)	獨逸殖民協會	殖民政策及殖民經濟雜誌 自第十二卷 至第十四卷	一九一〇 一九一三	□
三九七	□	獨逸殖民新聞 第二十二年	一九〇五	□

-41-

三九八(I-II)	□	一九〇二年度國家歲計豫算及同附錄 第一卷 第二卷	一九〇一	□
三九九	□	一九〇一年度帝國豫算附錄 第一卷 第二卷	一九〇一	□
四〇〇(I-VIII)	□	自一九〇二年度至一九一一年度獨逸保護領豫算 (一九〇三年度・一九〇七年度・一九〇八年度缺一九〇九年度ニ附録□…□)	一九〇一 一九一〇	□
四〇一	□	一九〇八年度膠州豫算	□	□
四〇二	□	一九〇九年度膠州保護領歲入一覽	□	□
四〇三	□	一九一一年度帝國海軍豫算	□	□

(三) 經濟

四〇四	□	山東鐵道建設史	一九〇四	□ 《陸軍技術本部》
四〇五	□	撫順炭坑と其設備	一九一四	(英文)
四〇六	□	一九一三年度貨幣相場表	□	□
四〇七	□	一九一二年度獨逸工業年報	□	(英文)
四〇八	□	支那關稅率	一九一二	(佛文)
四〇九 ^{a-d}	□	山東鐵道運行規定	一九〇四	□

-42-

(四) 軍事

四一一	ナウテイクス	一九〇七年度獨逸海軍年報	□	□
四一二	海軍省	帝國海軍軍人軍屬旅行規定則	一九一三	□
四一三 ^{ab}	全	帝國海軍人員編成規定	一九〇六	□
四一四	□	海軍將校及高等官誕生日表	一九〇七	□
四一五	□	一九〇三年度獨逸陸海軍將校停年名簿	□	□
-43-				
四一六	□	一九一四年度獨逸帝國海軍階級錄	□	□
四一七	□	一九〇七年度獨逸帝國海軍官吏階級錄	□	□
四一八(I-V)	□	海軍節用第三年・第四年・第六年・第九年・第十一年	(一九〇五)	□

(五) 歴史・地理

四一九	ノイバウア	中學校用歴史教科書 第二編[:] 獨逸史	一九一二	□
四二〇(I-IV)	リヒトホーフエン	支那地理 自第一卷至第四卷	(二六六三)	□
«陸軍教育總監»				
四二一	膠州總督府	獨領膠州灣と其の住民	一八九九	□
四二二	ケルフアー	山東省地質圖	一九〇一	□
«陸軍教育總監»				
四二三	□	膠州保護領の測量(附録 ---)	□	□
«東北大附圖本館»				
四二四	ベニメ クリニガア共著	青島案内記	一九〇四	□
«陸軍技術本部»				
-44-				
四二五	アンドレー	世界地圖 第四版	一八九九	□
四二六	ベックマン	土耳其に於ける一夫多妻	一九〇五	□
四二七	□	伯林東洋語學校報 第九年第三部[:] 亞弗利加研究	一九〇六	□

(六) 言語學・辭典

四二八 ^{ab}	ユーベルアツカア	自修文庫 獨逸文法附正字法	一九〇四	□
«陸軍教育總監»				
四二九	ドウデン	正字辭典	一九〇三	□
«陸軍教育總監»				
四三〇	フォーゲル	文法辭典	□	□
«陸軍教育總監»				
四三一 ^{ab}	□	獨逸公文書用正字辭彙	一九〇三	□
«陸軍教育總監»				
四三二	□	大同獨逸語協會雜誌 第二十八年	一九一三	□
四三三(I-II)	ゲゼニユス	英語教科書 第一編[•]第二編	一九〇二	□

四三四 プレツツ 佛語初步 一九〇二 □

(七) 植物學

四三五 ギルグ 膠州附近植物論 一九〇四 □

四三六 □ アルペン植物保護會報 第十四[四回] 一九一〇 □

《東北大附圖本館》

(八) 醫學

四三七 トウムキンツエル 手蹟の心理學的病理學的價值
《陸軍醫務醫事》 □ □

(九) 土木

-46-

四三八 □ 獨逸土木節用 一九〇五年度 □ □

(十) 商業・交通

四三九 ウオルタア 商人(自修書) □ □

《東京外語》

四四〇 ロエウエ 商業算術問題 第八編 一九〇五 □

四四一(I-II) マイヤア 交通百科辭典 第一卷A-K 第二卷L-Z 二九一三 □

(十一) 雜

四四二(I-II) ウオーレンチーン 普魯西司法廳判任官試驗用 □ 第一卷 第二卷 一八八九 □

-47-

四四三 □ 膠州總督府文書目錄 □ □

四四四 □ 土木部藏書目錄 一九〇五 □

四四五(I^{abc}-XI^{ab}) □ 膠州領人名錄 自一九〇二年至一九〇二 - 一三年 II^{a-d}・IV^{abc}・VI^{ab}・VII^{abc}・X^{ab}

四四六 香港中外新報 一九〇七年度極東人名簿錄(英文) □ □

四四七 □ 一九一〇年度獨逸殖民地商業人名錄 □ □

四四八(I-III) □ 獨領ニューギニア・サモア・膠州人名錄 一九〇六・一九〇九・一九一〇年度 □ □

四四九(I-II) ヘツス 獨逸アルプス協會々報 一九〇四年度 一九〇五年度 □ □

四五〇 □ 獨逸アルプス協會カツセル支部報 一九〇六 □

《信州大松本圖》²

四五一 □ 膠州保護領電話加入人名簿 一九一三 □

四五二^{a-g} チブアース 中學獨逸讀本 第三卷 一九〇八 □

《陸軍教育總監》

以上 四五二部 七九九册.

-48-

德華高等學堂藏書(洋書)追加目錄

H. 自然科學

三. 動物, 植物, 礦物.

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
二〇〇一 «陸軍教育總監»	チーグラア	生物學上の遺傳論	一九〇五	□
二〇〇二 «陸軍教育總監»	ヨスト	植物生理學	一九〇八	□
二〇〇三 «陸軍教育總監»	フェスカ	熱帶植物の栽培 第二卷	一九〇七	□
二〇〇四 «陸軍教育總監»	クリユーガア	植物の疾病及傷害	一九〇八	□

五. 考古學

二〇〇五 «陸軍教育總監»	ケルラア	往古の獸類	一九〇九	□
------------------	------	-------	------	---

L. 農業

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
二〇〇六 ¹ «北海道帝大»*	[フライヘル]	フォン・[デア] ゴルツ 農業全書 第一卷[:] 農業經濟	一八九〇	□ «北海道大附圖»
全 ² «北海道帝大»*	全	全 第二卷[:] 耕耘と栽培	一八八九	□ «北海道大附圖»
二〇〇七 «北海道帝大»*	リンキイ	新時代の農業	一九〇八	□
二〇〇八 «北海道帝大»*	シンドラア	小麥	一八九三	□
二〇〇九 «陸軍糧秣本廠»	ボエ/ンマア	農産飼料	一九〇〇	□
二〇一〇 «北海道帝大»*	ボエメ	農家必携「農業徒弟」	一九〇八	□
二〇一一 «北海道帝大»*	リントナア	農事産業	一八九三	□

二〇一二	ボエツトナア	實用果樹栽培法	一九一〇	□
«北海道帝大»*				
二〇一三	オエメ	沼地牧草栽培	一九〇八	□
«陸軍糧秣本廠»				
二〇一四	フロスト	白耳義の農業	一九〇九	□
«北海道帝大»*				
-51-				
二〇一五	フロスト	阿蘭陀の農業	一九〇六	□
«北海道帝大»*				
二〇一六	プロエダーマン	英國の羊豚飼育	一九〇三	□
«北海道帝大»*				
二〇一七	エバースワルデ	我等が家禽 第二卷[:] 鳩の種類	一九〇五	□
«北海道帝大»*				
二〇一八	¹⁻¹³ ケルナア フキンガーリン	農業研究書農事試験場	自第七七卷第一部 至第八三卷第六部	一九一三 缺=七八・八〇卷 一九一四
«北海道帝大»*				
二〇一九	¹⁰⁻⁴	獨逸農業協會 獨逸農業協會年報	自第二十六卷第一編 至第二十八卷第三編	一九一三 缺=二七卷 一九一四 計五冊
«北海道帝大»*				
二〇二〇	栽培研究所會	栽培研究雜誌附録第四編	一九一四	□
«北海道帝大»*				
二〇二一	フツツアア	丁抹及瑞典農業の獨逸に對する競争	一九〇四	□
«北海道帝大»*				
二〇二二	エツガス	穀物輪作法	一九〇五	□
«北海道帝大»*				
二〇二三	リユムカア	農事試験場と農事教育	一九一一	□
«北海道帝大»*				
二〇二四	テイレ	玉蜀黍栽培法	一八九九	□
«北海道帝大»*				
二〇二五	プラットナア	家畜の短脚と其原因	一九一一	□
«北海道帝大»*				
二〇二六	エツツレ	アルゴイの牛	一九一〇	□
«北海道帝大»*				
-52-				
二〇二七	ラム	内外馬匹名産地	一九〇一	□
«陸軍教育總監»*«北海道帝大»* ⁷³				

M. 工藝
第三. 建築

假番號	著譯者名	書名	發行年代	註
二〇二八	ボーンアーゲン	人造石	一九〇九	□
«陸軍技術本部»				

-53-

⁷³ “誤り 二〇二七 ラム 内外馬匹名産地 一九〇一”(傍線[下線]は赤鉛筆)とす。

ウエルヘルムコーン叢書(洋書)追加目録

M. 文學・美術・音樂

番 號	著 譯 者 名	書 名	發 行 年 代	註
二七三	ボエム	獨譯漢詩	一八七三	□

N. 雜

二七四	□	亞細亞通信	一八九八	□
-----	---	-------	------	---

-54-

[白紙]

- 55 -

膠州圖書館藏書(洋書)第二追加目録

舊番號ハ 原圖書目録ニ準スルモノ。
 新番號ハ 整理上付シタル番號ナリ。
 Δ印ハ 原圖書目録ニ記載ナキ書籍ヲ示ス。

舊番號	新番號	著 譯 者 名	書 名	卷 號 及 發 行 年
Δ -	番外IB-11	-	Gartenlaube	1913 «京都大附圖»
Δ -	// IIA-1	Besant:	Esoterisches Christentums	
Δ 3749	// VIA-1	-	Deutschland in Waffen	
Δ 4019	// VIC-1	Siegel:	Die Flagge	
5609 ^a	1480 ^a	Nansen:	In Nacht und Eis	1897
Δ 5631	番外VIA-1	Mikkelsen:	Ein arktischer Robinson	1913
Δ 5632	// VIIA-2	Amundsen:	Die Eroberung des Südpols I.	1912
Δ 5633	// VIIA-3	//	: // // // // II.	//
Δ 5634	// VIIA-4	Scott:	Letzte Fahrt I.	1913
Δ 5635	番外VIA-5	Scott:	Letzte Fahrt II.	1913
6201	// VIIB-2	Brohm:	Helgoland in Geschichte und Sage	1907
Δ 7401	// VIIC-11	Vosberg-Rekow:	Asiatisches Jahrbuch	1912.
7669 ^b	1642 ^b	Richthofen:	China II. das nördliche China	1882
Δ 7670	番外VIIC-12	//	: // III. das südliche China	1912
Δ 7667	// VIIC-13	//	: // V.	1911 «佐賀大附圖»
Δ 7911	// VIIC-14	-	Eine Reise durch die Deutschen Kolonien VI. Kiautschou	1912
7956 ^b	1719 ^b	-	Längs der Schantungbahn	1912

- 56 -

8704	番外VIIC-15	Guthe: Palästina	1908
△ 9114	// VIID-5	Steindorff: Durch die L Libysche Wüste	1904
9392	// VIID-6	Meyer: Zum Schneedom des Kilimandscharo	
9455	// VIID-7	Passarge: Südafrika	1908
- 57-			
△ 9614	// VIID-8	Thorbecke: Auf der Savanne	1914
9620	// VIID-9	- Eine Reise durch die Deutschen Kolonien III. Togo	
12229	// VIIF-1	Krämer: Die Samoa-Inseln I.	
			«佐賀大附圖»
12230	// VIIF-2	// : // // // II.	
			«佐賀大附圖»
△ 12234	// VIIF-3	Spiegel: Kriegsbilder aus Ponape	
15906	// VIIC-5	Pfister: Kaiser Wilhelm I. und seine Zeit	
△ 15995	// VIIC-6	Seidel: Hohenzollern-Jahrbuch	15. Jahrg. 1911
△ 15996	// VIIC-7	// : // //	16. // 1912
△ 15997	// VIIC-8	// : // //	17. // 1913
△ 16120	// VIIC-9	- Deutschland unter Kaiser Wilhelm II.	I. 1904.
△ 16121	// VIIC-10	- ' // // // //	II. //
18658	// VIIE-1	Der russisch-japanische Krieg. Amtliche Darstellung des Russischen Generalstabes. Deutsche Ausgabe von Frhr. von Tettau.	B. I. 3. Teil. «外務圖»
- 58-			
18659	番外VIIE-2	Der russisch-japanische Krieg. Amtliche Darstellung des Russischen Generalstabes. Deutsche Ausgabe von Frhr. von Tettau.	B. II. 1. Teil.
18660	// VIIE-3	// // // // // // // //	B. I. 2. //
18662	// VIIE-4	// // // // // // // //	B. III. 2. //
18663	// VIIE-5	// // // // // // // //	B. IV. 1. //
18664	// VIIE-6	// // // // // // // //	B. IV. 2. //
			«外務圖»
18902 ^d	2694 ^d	Schüler: Geschichte Chinas	
△ 23345	番外IXB-4	Schneider: Jahrbuch über die deutschen Kolonien	VI. Jahrg. 1913.
23363	// IXB-5	Die deutsche Schutzgebiete in Afrika und der Südsee	1909/10.
23375	// IXB-6	Dove: Die deutschen Kolonien II. d[e D]as Südseegebiet & Kiautschou	
23376	// IXB-7	Hutter: Das überseeische Deutschland I.	1911.
23377	// IXB-8	// : // // // // II.	1911
23416	// IXB-9	Zimmermann: Die Europäischen Kolonien. Ihre Entstehung, Entwicklung, Erfolge, Ausichten. I. Portugal und Spanien.	
- 59-			
23419	// IXB-10	// : // // // // // IV. Frankreich	
△ 23492	// IXB-11	Deutscher Kolonialatlas mit Jahrbuch 1913	
		Zur 100. Wiederkehr von Schillerstag Todestag.	

30405	// XIIA-5	Marbacher Schillerbuch. Herausgegeben vom Schwäbischen Schillerverein. Stuttgart 1905.	
			«東京外語»
Δ 85340	// XIVA-4	Ziller: Schinkel	1897
85345	// XIVA-5	Lübke-Semrau: Die Kunst des Altertums	1899
85347	// XIVA-6	// : Die Kunst der Renaissance in Italien u. im Norden	1903
85368	// XIVA-7	Haend[c]ke: Kunstanalysen aus 19. Jahrhunderten. Ein Handbuch zur Betrachtung von Kunstwerken.	
85408	// XIVA-8	Osborn: Berlin	
[Δ]85428	// XIVA-9	Mahlke: Chinesische Dachformen	191[[?] 0 [?]]2
Δ 86011	// XIVA // XV-4	Fürst: Die Wunder um uns. Neue Einblicke in Natur u. Technik.	
			«九州大中圖»
86805 ^a	7485 ^c	Boeck: Geschichte des Eisens IV.	1899
Δ 87811	番外XVI-2	Leberecht: Luftfahren im Frieden und im Kriege.	1913
			- 60-
88307 ^b	7580 ^b	Beckmann: Die Rassen des Hundes II.	1895
«北海道帝大»*			
884 [?] 09 ^a	7589 ^a	Dunkelberg: Die Zuchtwahl des Pferdes	
«北海道帝大»*			
8□□□5	番外XVIII-1	Jahrbuch des Kaiserlichen Jachtklubs für 1910	
			以上 44部59冊

4.: 青島守備軍參謀部: “膠州圖書館藏書目錄 補遺”

[表紙]

膠州圖書館藏書目錄 補遺

青島守備軍參謀部

- I -

膠州圖書館藏書目錄補遺

目次

	頁數
I. B Zeitschriften	1.
VII. Länder und Völkerkunde.	
C. Asien	9.
D. Afrika	10.
E. Amerika	11.
F. Australien und p[øP]olynesien	11.
VIII. Geschichte.	
A. Allgemeine Weltgesch[ich]te – Kultur- und Sittengesch[ich]te	12.
C. Geschichte der germanischen Völker.	
Deutsche Geschichte	12.
	- II -
Englische Gesch[ich]te	15.
D. Geschichte der romant[is]ischen Völker.	15.
E. Geschichte der slavischen Völker und der Türkei	16.
F. Geschichte der asiatischen Völker	17.
G. Geschichte auf afrikanischem Boden	18.
IX. Politik, Socialpolitik, Nationalökonomie, Kolonialpolitik, Kolonialwesen.	
A. Politische, Sociale, Nationalökonomische Schriften	19.
B. Kolonialwesen	21.
X. Naturwissenschaften.	
A. Zeitschriften, Allgemeines	23.
C. Geologie, Mineralogie	24.
	- III -
D. Astronomie – Meteorologie – Chemie	25.
E. Botanik – Zoologie – Anthropologie – Physiologie – Biologie	26.
XI. Medizin	27.
XII. Deutsche Literatur, einschließlich der nordischen und holländischen Uebersetzungen.	
A. Literaturgeschichte – Lebensbilder – Erinnerungen – Tagebücher – Briefe – Gespräche und Reden.	28.
B. Werke poetischen Inhalts: Gedichte, Epen, Schauspiele	30.

C. Erzählungen, Romane, Novellen, Humoresken, Skizzen.

- [1. Sammelwerke.] Deutsche Romanbibliothek 33.
2. Einzelwerke 35.

D. Volksbücher

- IV -

1. Sammelwerke 42.
2. Einzelwerke 45.
3. Märchen, Kalender, Jugendschriften 46.

XIII. Ausländische Literatur.

A. Englische Literatur.

2. Uebersetzungen aus dem Englischen. 47.

B. 1. Französische Literatur 48.

D. Orientar[?]ische Literatur 51.

XIV.A. Kunst und Kunstgeschichte 51.

B. Musik 53.

XV. Bau- und Maschinenwesen.

- Technik, Industrie 54.

- V -

XVI. Handel und Verkehr, Schifffahrt. 56.

XVII. Land-, Forst- u. Hauswirtschaft, Vieh- und Pferdztucht. 57.

XVIII. Spiel und Sport. 58

書籍分配先略號表

帝圖	帝國圖書館	外務	外務省	海大	海軍大學校
陸文	陸軍文庫	東大	東京帝國大學	農大	北海道帝國大學
京大	京都帝國大學	東北大	東北帝國大學	九大	九州帝國大學
一高	第一高等學校	二高	第二高等學校	三高	第三高等學校
四高	第四高等學校	五高	第五高等學校	六高	第六高等學校
七高	第七高等學校	八高	第八高等學校	松山	松山高等學校
新潟	新潟高等學校	松本	松本高等學校	山口	山口高等學校
水戸	水戸高等學校	山形	山形高等學校	佐賀	佐賀高等學校

- VI -

外語	東京外國語學校	[士官	陸軍士官學校]
----	---------	-----	---------

- 1 -

膠州圖書館藏書目錄補遺

I. B. Zeitschriften.

分配先	舊番號	新番號	著譯者	書名	卷號	發行年
京大	110	37	-	Deutsche Erde	-	1910 -
«京都帝大»						«京都大附圖»

//	111	38	-	// //	- 1911 -
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	271	71	-	Fliegende Blätter - 138.	
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	297	75	-	Wild und Hund	- 1911 -
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	298	76	-	// // //	- 1912 -
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	299	77	-	// // //	- 1913 -
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	337	104	-	Deutsche Revue	- 1911 - III. Bd.
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	338	105	-	// //	// IV. Bd.
«京都帝大»					«京都大附圖»

- 2 -

京大	339	106		Deutsche Revue	- 1912 - I. Bd.
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	340	107		// //	// II. //
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	341	108		// //	// III. //
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	342	109		// //	// IV. //
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	343	110		// //	- 1913 - I. //
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	344	111		// //	// II. //
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	345	112		// //	// III. //
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	346	113		// //	// IV. //
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	423	156		Preussische Jahrbücher 149. Bd.	- 1912 -
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	424	157		// // 150. //	//
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	425	158		// // 151. //	- 1913 -
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	426	159		// // 152. //	//
«京都帝大»					«京都大附圖»

- 3 -

//	427	160		// // 153. //	//
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	428	161		// // 154. //	//
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	489	173		Alldeutsche Blätter	- 1913 -
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	552 ^{abc}	220 ^{ab}		Daheim	- 1911 - II.
«京都帝大»					«京都大附圖»
//	553 ^{ab}	221 ^{ab}		//	- 1912 - I.
«京都帝大»					«京都大附圖»

〃	556	222	〃	- 1913 - II.
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	591	233	Die Gartenlaube	- 1867 -
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	643 ^{ab}	269 ^{ab}	〃 〃	- 1911 - II.
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	645	270	〃 〃	- 1912 - II.
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	646	271	〃 〃	- 1913 - I.
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	647	272	〃 〃	〃 II.
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	684	280	Nach dem Dienst - 22. Jahrg.	- 1912 -
«京都帝大»				«京都大附圖»

- 4 -

京大	685	281	Nach dem Dienst - 23. Jahrg.	- 1913 -
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	774	283	Die Woche - 13. Jahrg.	- 1911. -
«京都帝大»				
〃	780	248284	〃 〃 - 15. 〃	- 1913. - (I.)
«京都帝大»				
〃	782	285	〃 〃 〃 〃	- 〃. - (II.)
«京都帝大»				
〃	926	297	Ueber Land und Meer.	- 1913 -
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	1067	301	Westermanns-Monatshefte.	^{1911/} 1912. II.
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	1068	302	〃 〃	1912. I.
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	1069	303	〃 〃	〃 II.
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	1156	番外 IB-3	Deutsche Rundschau	- 1911 - I.
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	1157	IB-4	〃 〃	〃 II.
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	1158	356	〃 〃	- 1912 - (150.)
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	1159	357	〃 〃	〃 (151.)
«京都帝大»				«京都大附圖»

- 5 -

〃	1160	358	〃 〃	〃 (152.)
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	1161	359	〃 〃	〃 (153.)
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	1162	360	〃 〃	- 1913 - (154.)
«京都帝大»				«京都大附圖»
〃	1163	361	〃 〃	〃 (155.)
«京都帝大»				«京都大附圖»

//	1164	362	//	//	//	(156.)
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1165	363	//	//	//	(157.)
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1235	397	Die Grenzboten			- 1911 - (70)
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1236	398	//	//		- 1912 - (71). I.
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1237	399	//	//		// // II.
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1238	400	//	//		// // III.
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1239	401	//	//		// // IV.
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1240	402	//	//		- 1913 - (72). I.
«京都帝大»						«京都大附圖»

- 6 -

京大	1241	403	Die Grenzboten			- 1913 - (72). II.
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1243	405	//	//		// // IV.
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1415	番外 IB-5	Die Zukunft			- 1911 - 76. Bd.
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1416	IB-6	//	//		// 77. //
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1417	440	//	//		- 1912 - 78. //
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1419	442	//	//		// 80. //
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1420	443	//	//		// 81. //
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1421	444	//	//		- 1913 - 82. //
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1422	445	//	//		// 83. //
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1463	451	Simplicissimus			- 1911 - I.
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1464	452	//			- 1912 - II.
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1479	453	Kladderadatsch			- 1912 -
«京都帝大»						«京都大附圖»

- 7 -

//	1503	456	Das literarische Echo			¹⁹¹¹ / ₁₉₁₂
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1504	457	//	//	//	¹⁹¹² / ₁₉₁₃
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1536	469	Die Umschau.			1912. I.
«京都帝大»						«京都大附圖»
//	1537	470	//	//		// II.

«京都帝大»							
//	1538	471	//	//		1913.	I.
«京都帝大»							«京都大附圖»
//	1539	472	//	//		//	II.
«京都帝大»							«京都大附圖»
//	1618	491			Der Ostasiatische Lloyd.	1912.	I.
«京都帝大»							«京都大附圖»
//	1619	492	//	//	//	//	II.
«京都帝大»							«京都大附圖»
//	1620	493	//	//	//	//	III.
«京都帝大»							«京都大附圖»
//	1621	494	//	//	//	1913.	I.
«京都帝大»							«京都大附圖»
//	1622	495	//	//	//	//	II.
«京都帝大»							«京都大附圖»
//	1623	496	//	//	//	//	III.
«京都帝大»							«京都大附圖»

- 8 -

京大	1730	507		Deutsche Japanpost		- 1911 -	
«京都帝大»							
//	1731	508	//	//		- 1912 -	I.
«京都帝大»							
//	1732	509	//	//		//	II.
«京都帝大»							
//	1733	510	//	//		- 1913 -	I.
«京都帝大»							
//	1734	511	//	//		//	II.
«京都帝大»							
//	2082	568		The Illustrated London News		- 1912 -	II.
«京都帝大»							
//	2083	569	//	//	//	- 1913 -	
«京都帝大»							

- 9 -

VII. Länder und Völkerkunde.

C. Asien.

佐賀	8420	1802	Kauffmann, O., Aus Indiens Dschungeln. I.
«佐賀高»			
//	8421	1803	//
«佐賀高»			II.
//	8422	1804	Wegener, G., Das heutige Indien.
«佐賀高»			
水戸	8521	1821	Brunhuber, R., An Hinterindiens Riesenströmen.

«水戸高»				
//	8522	1822	Arnold u. Elliott, The Philippines, the Land of Palm and Pine.	
«水戸高»				
//	8523 ^{ab}	1823 ^{ab}	-	Tripe[<i>e</i>] in □[<i>et</i>]he isle of Java.
«水戸高»				
//	8524	1824		Census of the Philippine i[<i>il</i>]sland. I.
«水戸高»				
//	8525	1825		// II.
«水戸高»				
//	8526	1826		// III.
«水戸高»				
//	8527	1827		// IV.
«水戸高»				

- 10 -

水戸	8528	1828		Manila (Guide Book)
«水戸高»				
山形	8617	1845	Langenegger, F.,	Durch verlorne Lande, von Bagdad nach Damaskus.
«山形高»				
//	8618	1846	Banse, E.,	Auf den Spuren der Bagdadbahn.
«山形高»				
//	8619	1847	Hartmann, M.,	Reisebriefe aus Syrien.
«山形高»				

D. Afrika.

松山	9003	1873	Ludwig, E.,	Die Reise nach Afrika.
«松山高»				
//	9111	1893	Cromer, E.,	Das heutige Aegypten. I.
«松山高»				
//	9359	1915	Adolf Friedrich Herzog zu Mes[<i>sc</i>]kl.,	Vom Kongo zum Niger und Nil. I.
«松山高»				
//	9360	1916	//	// II.
«松山高»				
//	9395	1944	v. Lindequist,	Deutsch-Ostafrika als Siedlungsgebiet für Europäer. I.
«松山高»				

- 11 -

松山	9396	1945	Langheld, W.,	Zwanzig Jahre in deutschen Kolonien.
«松山高»				
//	9398	^{番 外} VIID-3	Karstedt,	Deutsch-Ostafrika.
«松山高»				

// 9613 1961 Ritter, K., Neukamerun.
«松山高»

E. Amerika.

山口 10804 2017 v. Vacano, M., Aus dem Erbe der Inkas Bolivien.
«山口高»

«山口大總圖»

F. Australien und p[ɸP]olynesien.

松本 12005 2033 Schachner, R., Die soziale Frage in Australien und Neuseeland.
«松本高»

- 12 -

VIII. Geschichte.

A. Allgemeine Weltgesch[ich]te. – Kultur- und Sittengeschichte.

新潟 13212 2112 Spielfs, K., Die deutschen Volkstrachten.

«新潟高»•«^v新潟高»*

// 13273 2140 Zentrums-Album des Kladderadatsch 1870-1910.

«新潟高»•«^v新潟高»*

C. Geschichte der germanischen Völker. Deutsche Geschichte.

東大 14713^{ab} 2247^{ab} Rudolf Herzog, Preußens Geschichte.

«東京帝大»

// 15111^{ab} 2279^{ab} Philippson, M., Der große Kurfürst Friedrich Wilhelm von Brandenburg.

«東京帝大»

// 15331 2298 v. Freytag-Loringhor[ɸv]en, König Friedrich als Kriegsherr und Heerführer.

«東京帝大»

// 15332 2299 Koser, R., Friedrich der Große.

«東京帝大»

// 15333 2300 Graf Schlieffen, Friedrich der Große.

«東京帝大»

- 13 -

// 15451 2309 Friedrich, R., Die Befreiungskriege. 1813-1815. Bd. I.

«東京帝大»

// 15452 2310 // // // // II.

«東京帝大»

// 15453 2311 // // // // III.

«東京帝大»

// 15456 2312 Granier, A[AH]., Berichte aus der Berliner Franzosenzeit 1807-1809

«東京帝大»

// 15457 2313 Delbrück, H., Das Leben des Feldmarschalls Grafen Neidhardt von Gneisenau. Bd. I.

«東京帝大»								
//	15458	2314	//	//				// III.
«東京帝大»								
//	15459	2315		v. Boyen, Denkwürdigkeiten und Erinnerungen 1771-1813. Bd. I.				
«東京帝大»								
//	15460	2316	//	//			// II.	
«東京帝大»								
//	15462	2317		Wohlrabe, Die Freiheitskriege in Lied und Geschichte.				
«東京帝大»								
//	15464	2318		Droysen, Das Leben des Feldmarschalls Grafen Yor[c]k von Wartenburg.				
«東京帝大»								
//	15465	2319		Krimer, W., Erinnerungen eines alten Lützower Jägers 1795-1819. Bd. I.				
«東京帝大»								
//	15466	2320	//	//			Bd. II.	
«東京帝大»								

- 14 -

東大	15568	2365		Brandenburg, E., Die deutsche Revolution. 1848.				
«東京帝大»								
//	15806 ^{a-d}	2456 ^{a-d}		Huguenin, Geschichte des III. See-Bataillons.				
«東京帝大»								
//	15807	2457		Bunge, In Kriegs- und Friedenszeiten beim III. Seebataillon 1898/1901.				
«東京帝大»								
//	15863	2469		Für[s]t Bismarcks Reden IX. Band.				
«東京帝大»								
//	15864	2470	//	X. //				
«東京帝大»								
//	15865	2471	//	XI. //				
«東京帝大»								
//	15866	2472	//	XII. //				
«東京帝大»								
//	15867	2473	//	XIII. //				
«東京帝大»								
//	15911	2485		Stolze, W., Die Gründung des Deutschen Reiches im Jahre. 1870.				
«東京帝大»								
//	16101	2534		Rachfahl, Kaiser und Reich 1888-1913.				
«東京帝大»								
//	16115	2545		Kaiser-Wilhelm-Dank, Deutschland als Weltmacht.				
«東京帝大»								

- 15 -

Englische Geschichte.

京大	16617	2561	Ueberall	- 1912 - Heft 6.
«京都帝大»				«京都大附圖»
//	16618	2562	v. Peez, Englands Vorherrschaft.	
«京都帝大»				«京都大附圖»
//	16619	2563	Lamprecht, K., Der Kaiser	
«京都帝大»				«京都大附圖»
//	16621	2564	v. Peez, England und der Kontinent.	
«京都帝大»				«京都大附圖»
//	16622	2565	Wendt, G., England	
«京都帝大»				«京都大附圖»
//	16623	2566	Lea, H., Des Britischen Reiches Schicksalsstunde	
«京都帝大»				«京都大附圖»

D. Geschichte der romant[is]ischen Völker.

東大	17519	2605	Bourgogne, 1812. Kriegserlebnisse.
«東京帝大»			
//	18157	2618	Burcardus, Alexander VI. und sein Hof.
«東京帝大»			

- 16 -

東大	18454	2622	Friedrich, Rud., Der Feldzug 1815.
«東京帝大»			

E. Geschichte der slavischen Völker und der Türkei.

外務	18609	2632	Wirth, A., Geschichte der Türken.
«外務»			
//	18666	2662	v. Jettau, Port Arthur.
«外務»			
//	18675	2665	// , Von Libau bis Tsuschima.
«外務»			
//	18676	2666	v. Maltzan, Der Seekrieg zwischen Russland und Japan.
«外務»			
//	18678	2667	v. Janson, Tsuschima.
«外務»			
//	18679	2668	Krawtschenko, Durch drei Ozeane.
«外務»			
//	18702	2670	v. Diest, Das Osmanische Reich, einst u. jetzt.
«外務»			
//	18704 ^{abc}	2671 ^{abc}	Vischer, An der Serbischen Front.
«外務»			

- 17 -

〃	18706	2672	Jäckh, Deutschland im Orient nach dem Balkankrieg.
«外務»			
〃	18707	2673	Grothe, Durch Albanien und Montenegro.
«外務»			
〃	18709	2674	Ruland, Geschichte der Bulgaren.
«外務»			
〃	18712	2675	Immanuel, Der Balkankrieg 1912/13 _[1]
«外務»			
〃	18715	2676	v. Fényes, Tagebuch eines Mannes vom roten Kreuze.
«外務»			
〃	18716	2677	Weiss-Bartenstein, Bulgariens volkswirtschaftliche Entwicklung bis zum Balkankriege.
«外務»			
〃	18717	2678	v. der Goltz, Der jungen Türkei Niederlage.
«外務»			
〃	18718	2679	Wirth, A _[1] , Geschichte der Türkei.
«外務»			
〃	18720	2680	v. Mark, Briefe aus dem Balkankriege.
«外務»			

F. Geschichte der asiatischen Völker.

- 18 -

陸文	18903 ^{ab}	2695 ^{ab}	Hermann, H., Chinesische Geschichte.
«參謀陸軍文庫»			
〃	18904	2696	Lutschewitz, W., Alte und neue Zeit in Tsimo.
«參謀陸軍文庫»			
〃	19428	2731	Hoebel, P., Der Chinese im Kampf.
«參謀陸軍文庫»			
〃	19429	2732	Janson, Die Entwicklung Chinas.
«參謀陸軍文庫»			
〃	19635	2758	Vosberg-Rekow, Die Revolution [in] China.
«參謀陸軍文庫»			
〃	19637	2759	Salzmann, Aus Jung-China.
«參謀陸軍文庫»			

G. Geschichte auf afrikanischem Boden.

外務	20349	2795	Puttkamer, Gouverneursjahre in Kamerun.
«外務»			

- 19 -

IX. Politik, Sozialpolitik, Nationalökonomie, Kolonialpolitik, Kolonialwesen.

A. Politische, Soziale, Nationalökonomische Schriften.

東大	22320	2843	Hoener, Das Deutschtum im Ausland.
«東京帝大»			
//	22323	2845	Peters, Carl, Zur Weltpolitik.
«東京帝大»			
//	22325	2846	v. Bernhardi, Unsere Zukunft.
«東京帝大»			
//	22326	2847	Deutsche Vereinigung Shanghai, Denkschrift zur Förderung des Deutschtums in China.
«東京帝大»			
//	22327	2848	– Die Ostmark.
«東京帝大»			
//	22412	2859	Stier-So[œ]mlo, Politik.
«東京帝大»			
//	22684	2887	Arndt, P., Deutschlands Stellung in der Weltwirtschaft.
«東京帝大»			
//	22686	2888	Ler[ʃv]y, A., Die Beschaffung der Geldmittel.
«東京帝大»			
– 20 –			
東大	22704	2902	Eichholtz, Entwicklung der Landpolitik.
«東京帝大»			
//	22727	2921	Waldthausen, Der Bremer Vermögensschoss.
«東京帝大»			
//	22729	2922	Harms, Weltwirtschaftliche Aufgaben der deutschen Verwaltungspolitik.
«東京帝大»			
//	22737	2929	Schwarz, O., Die Kurse der deutschen Reichs- und Staatsanleihen.
«東京帝大»			
//	22745 ^{ab}	2930 ^{ab}	Conrad, Grundriß zum Studium der Politischen Ökonomie. II. Hälfte. 1. Band.
«東京帝大»			
//	22746	2931	Helfferrich, K., Deutschlands Volkswohlstand 1888-1913.
«東京帝大»			
//	22747	2932	Hesse, A., Die wirtschaftliche Entwicklung des Deutschen Reiches.
«東京帝大»			
//	22748	2933	Neuhaus, Die deutsche Volkswirtschaft und ihre Wandlungen im letzten Vierteljahrhund[ert.]
«東京帝大»			I.
//	22749	2934	// // //
«東京帝大»			II.
//	22779	2947	Winternitz, Die Presse und ihre Leute.

«東京帝大»
 // 22781 2949 Cathrein, Der Sozialismus.
 «東京帝大»

- 21 -

B. Kolonialwesen.

外務	23109	3013	Deutsche Kolonialzeitung
«外務»			
//	23110	3014	// //
«外務»			
//	23111	3015	// //
«外務»			
//	23133	3019	Koloniale Rundschau
«外務»			
//	23134	3020	// //
«外務»			
//	23135	3021	// //
«外務»			
//	23157	3028	Die deutschen Kolonien
«外務»			
//	23158	3029	// // //
«外務»			
//	23200	3030	Schäfer, Kolonialgeschichte
«外務»			
//	23238 ^{ab}	3057 ^{ab}	Zeitschrift für Kolonialpolitik.
«外務»			
//	23239	3058	// // //
«外務»			
外務	23240	3059	Kolonial[e] Monatsblätter
«外務»			
//	23280	3076	Das Echo
«外務»			
//	23281	3077	// //
«外務»			
青島守備軍	23337	3106	Schrameier, Aus Kiautschous Verwaltung
«青島守備軍»			
// [外務]	23338	3107	Reichs-Kolonialamt, Jagd und Wildschutz in der deutschen Kolonien.
«外務»			
//	23339	3108	Nielsen-Deiters, Duetschen Frau[en] im Auslande und in den Schutzgebieten.

[- 22 -]

「外務」			
//	23364	3116	Die deutschen Schutzgebiete in Afrika u. der Südsee 1910/1911.
「外務」			
//	23365	3117	Grünfeld, Hafenkolonien.
「外務」			
//	23493	番 外 IXB-3	Deutscher Kolonialatlas mit Jahrbuch 1914.
「外務」			
//	23506	3132	Süsserotts Illustrierter Kolonialkalender 1914.
「外務」			

- 23 -

X. Naturwissenschaften.
A. Zeitschriften, Allgemeines.

外務	24040	3133	Jahrbuch der Naturwissenschaften	1911-1912.
「外務」				
//	24041	3134	// // //	1912-1913
「外務」				
//	24042	3135	// // //	1913-1914
「外務」				
東北大	24064	3150	Annalen der Hydrographie und maritimen Meteorologie	- 1912 -
「東北帝大」				「東北大附圖本館」
//	24105	3156	Kosmos	- 1911 -
「東北帝大」				「東北大附圖本館」
//	24106	3157	//	- 1912 -
「東北帝大」				「東北大附圖本館」
//	24107	3158	//	- 1913 -
「東北帝大」				「東北大附圖本館」
//	24140	3164	Prometheus	- 1911 - I.
「東北帝大」				「東北大附圖本館」
//	24141	3165	//	- // - II.
「東北帝大」				「東北大附圖本館」
//	24366	3221	Zart, A., Bausteine des Weltalls	
「東北帝大」				「東北大附圖本館」
				- 24 -
東北大	24376	3227	Bölsche, W., Stirb und Werde!	
「東北帝大」				「東北大附圖本館」

C. Geologie, Mineralogie.

東北大	25509	3265	Riemann, K., Die deutschen Salzlagerstätten	
「東北帝大」				「東北大附圖本館」
//	25510	3266	ハ 活版目録ノ通り	

«東北帝大»				«東北大附圖本館»
〃	25510	3267	Kukuk, P., Unsere Kohlen.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
〃	25511	3268	ハ 活版目錄ノ通り	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
〃	25511	3269	Eppler, A., Die Schmucksteine und die Schmuckstein-Industrie.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
〃	25512	3270	Bölsche, W., Festländer und [Meere in] Wechsel der Zeiten.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»

- 25 -

D. Astronomie=Meteorologie=Physik=Chemie.

東北 大學	26203	3284	Dannemann, Wie unser Weltbild entstanden.	«東北大附圖本館»
«東北帝大»				
〃	26204	3285	Marcuse, A., Astronomie.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
〃	26718	3326	Resultate der meteorologischen Beobachtungen in Tsingtau aus dem[mn] Jahren 1898 bis 1908	
«東北帝大»				
〃	26723	3330	Kayser, Physik des Meeres	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
〃	27244	3371	Uslar v., Arbeiten mit der Wünschelrute.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
〃	27245	3372	Gibson, Was ist Electricität?	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
〃	27246	3373	v. Rohr, Das Auge und Brille.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
〃	27247	3374	Block, W., Masse und Messen.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
〃	27443	3375	Kauffmann, H., Das Radium.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
〃	27727	3394	Manheim, E., Toxikologische Chemie.	
«東北帝大»				
〃	27734	3401	Soddy, F., Die Chemie der Radio-Elemente.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»

- 26 -

E. Botanik=Zoologie=Anthropologie=Physiologie, Biologie.

東北 大學	28219	3430	Winkler, H., Botanisches Hilfsbuch.
----------	-------	------	-------------------------------------

«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	28220	3431	Eichinger, A., Die Pilze	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	28230	3438	Koelsch, A., Der blühende See.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	28500	3439	Kuckuck, P., Der Strandwanderer	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	28513	3451	Floericke, K., Einheimische Fische	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	28514	3452	Dekker, H., Vom sieghaften Zellenstaat	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	28520	3453	Bölsche, W., Das Pferd und seine Geschichte	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	28529	3462	Ruso, Der Kanarienvogel	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	28569	3498	Floericke, K., Krieche[<i>e</i>]tiere und Lurche fremder Länder	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	28570	3499	Hesse, R., Der Tierkörper	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
				- 27 -
//	28813	3512	Weule, K., Kulturelemente der Menschheit	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	28822	3519	Bölsche, W., Der Mensch der Vorzeit II.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	28827	32522	Weule, K., Die Urgesellschaft und ihre Lebensfürsorge.	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»
//	29209	3529	Dekker, H., Auf Vorposten im Lebenskampf	
«東北帝大»				«東北大附圖本館»

XI. Medizin.

九大	29557	3555	Fefslor, F., Die Chirurgie unserer Zeit	
«九州帝大»				
//	29635	3586	Külz, Die Dysenterie	
«九州帝大»				
//	29636	3587	Plehn, F., Tropenhygiene	
«九州帝大»				
//	29774	^{番 外} XI-1	Gruber, B., Der Alkoholismus	
«九州帝大»				
//	29775	3601	Aus frischem Quell, Ein Buch gegen den Alkohol.	
«九州帝大»				

**XII. Deutsche Literatur,
einschließlich der nordischen und holländischen Uebersetzungen.**

A. Literaturgeschichte – Lebensbilder – Erinnerungen – Tagebücher – Briefe – Gespräche und Reden.

松山	30005	3627	Geiflsler, M., Führer durch die deutsche Literatur des zwanzigsten Jahrhunderts.	
«松山高»				
〃	30028	3643	Busse, B., Das Drama _[1] II. Von Versailles bis Weimar.	
«松山高»				
〃	30030	3644	Spiro, H., Geschichte der deutschen Lyrik seit Claudius	
«松山高»				
〃	30063	3670	Harden, M., Köpfe. II. Teil	
«松山高»				
〃	30064	3671	〃 〃 III. 〃	
«松山高»				
〃	30065	3672	Eulenberg, H., Neue Bilder aus Literatur, Kunst und Geschichte.	
«松山高»				
新潟	30066	3673	Soergel, A., Dichtung und Dichter der Zeit.	
«新潟高»*« [∇] 新潟高»*				
〃	30394	3681	Chamberlain, Goethe	
«新潟高»*« [∇] 新潟高»*				
〃	30422	3704	Koenigsberger, L., Hermann von Helmholtz	
«新潟高»*« [∇] 新潟高»*				
〃	30423	3705	Buchholtz, A., Ernst v. Bergmann.	
«新潟高»*« [∇] 新潟高»*				
〃	30424	3706	Wiese, J., Gustav Nachtigal	
«新潟高»*« [∇] 新潟高»*				
松本	30811	3747	Arndt, E. M., Meine Wanderungen und Wandelungen mit dem Reichsfreiherrn Heinrich Karl Friedrich von Stein.	
«松本高»				«信州大松本圖»
山口	30851	3777	Rosegger, P., Mein Weltleben	
«山口高»				
〃	30852	3778	Lehmann, L., Mein Weg	
«山口高»				«山口大總圖»
〃	30868	3794	Bebel, A., Aus meinem Leben II.	
«山口高»				«山口大總圖»
〃	30876	3801	v. Toscana, L., Mein Lebensweg	
«山口高»				«山口大總圖»
〃	30877	3802	Rosen, E., Der deutsche Lausbub in America I.	
«山口高»				«山口大總圖»
〃	30878	3803	〃 〃 II.	
«山口高»				«山口大總圖»
〃	30880	3804	– Die Irrfahrten des Daniel Er[el]ster I.	

– 29 –

«山口高»					
〃	30881	3805	[-]	〃	II.
«山口高»					

- 30 -

**B. Werke poetischen Inhalts:
Gedichte, Epen, Schauspiele.**

二高	32042	3880	-	Die deutsche Ballade I.	
«二高»					«東北大附圖分館»
〃	32043	3881	[-]	〃	II.
«二高»					«東北大附圖分館»
七高	32575 ^{ab}	3971 ^{ab}		Jacobs, F., Den Blick aufs Meer, Germane!	
«七高»					
松山	33191	4021	-	Gesammelte Werke des Grafen Adolf Friedrich v. Schack I.	
«松山高»					
〃	33192	4022		〃	II.
«松山高»					
〃	33193	4023		〃	III.
«松山高»					
〃	33194	4024		〃	IV.
«松山高»					
〃	33195	4025		〃	V.
«松山高»					
〃	33196	4026		〃	VI.
«松山高»					
〃	33197	4027		〃	VII.
«松山高»					
〃	33198	4028		〃	VIII.
«松山高»					
〃	33199	4029		〃	IX.
«松山高»					
〃	33200	4030		〃	X.
«松山高»					
山口	33480	4081		Hauptmann, G., Gabriel Schillings Flucht	
«山口高»					
外語	33495	4092		Sudermann, H., Der Bettler von Syrakus	
«東京外語»					«東京外語»
〃	33496	4093	〃	Der gute Ruf	
«東京外語»					«東京外語»
〃	33505	4097		Thoma, L., Moral	

- 31 -

«東京外語»					
//	33506 ^{ab}	4098 ^{ab}	//	Lottchens Geburtstag	
«東京外語»					«東京外語»
//	33507	4099	//	Magdalena	
«東京外語»					«東京外語»
//	33522	4106		Hauptmann, G., Festspiel	
«東京外語»					«東京外語»
帝國	33554 ^{ab}	414224 ^{ab}		Hofmannsthal, Der Rosenkavalier	
«帝國圖書館»					
//	33555	4125		Fulda, Die Zwillingsschwester	
«帝國圖書館»					
					- 32 -
帝國	33556	4126		Fulda, Der Seeräuber	
«帝國圖書館»					
//	33557	4127	//	Der Dummkopf	
«帝國圖書館»					
//	33558	4128	//	Das Exempel	
«帝國圖書館»					
//	33569	4137		Ernst, O., Die Gerechtigkeit	
«帝國圖書館»					
//	33572 ^{ab}	4138 ^{ab}		Wedekind, Gesammelte Werke Bd. II.	
«帝國圖書館»					
//	33574	4139	//	//	// IV.
«帝國圖書館»					
//	33575 ^{ab}	4140 ^{ab}	//	//	// V.
«帝國圖書館»					
//	33576	4141	//	//	// VI.
«帝國圖書館»					

C. Erzählungen, Romane, Novellen, Humoresken, Skizzen.

- 33 -

[I. Sammelwerke.] Deutsche Romanbibliothek.

京大	34223	4175	v. Dinsklage-Campe, Im Tramontau	
«京都帝大»				«京都大附圖»
//	34246	4176	Heiberg, H., Zwischen drei Feuern	
«京都帝大»				«京都大附圖»
//	34249	4177	Bazin, R., Landflucht	
«京都帝大»				«京都大附圖»
//	34266	4178	Emanto, M., Wahn	
«京都帝大»				«京都大附圖»
//	34272	4179	Theuriet, A., Der Pate des Marquis	
«京都帝大»				«京都大附圖»

〃	34278	4180	Skowronnek, F., Der Hungerbauer		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34287	4182	v. Roberts, Schlachter[n]bummler		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34351	4193	Novellenbuch I. Band		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34352	4194	〃 II. Band		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34353	4195	〃 III. Band		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34354	4196	〃 IV. Band		
«京都帝大»					«京都大附圖»
- 34 -					
京大	34355	4197	Novellenbuch V. Band		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34356	4198	〃 VI. Band		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34357	4199	〃 VII. Band		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34421	XIIC-2	Ausgewählte Volkserzählungen II.		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34422	XIIC-3	〃 III.		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34423	XIIC-4	〃 IV.		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34424	XIIC-5	〃 V.		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34425	XIIC-6	〃 VI.		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	34501	XIIC-8	Deutsche Roman Zeitung	1907.	I.
«京都帝大»					
〃	34529	4219	〃	1914.	I.
«京都帝大»					«京都大附圖»

- 35 -

2. Einzelwerk[e].

京大	35058	4261	Algenstaedt, L., Frau Rübezahl		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	35061	4263	Arendt, H., Dorm[m]enpfade der Barmherzigkeit,		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	35119	4292	Andreas-Salomé, Ma.		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	35149	4293	Andersen, H. C., Sein oder Nichtsein		
«京都帝大»					«京都大附圖»
〃	35412	4300	Böhlau, Ein Sommerbuch		
«京都帝大»					«京都大附圖»

一高 35561 4386 Bauditz, S., Schneespuren
 «一高»
 // 35567 4387 Böhme, M., Im Irrlichtschein
 «一高»
 帝圖 35571 ^番XIIC(2)-1 Brinkmann, L., Die Erweckung der Maria Carmen
 «帝國圖書館»
 一高 35583 4388 Boy-Ed, Ein königlicher Kaufmann
 «一高»
 // 36239 4399 Croissant-Rust, Pimpernelle
 «一高»
 // 36240 4400 // , Winkelquartett.
 «一高»

- 36 -

一高 36488 4401 Dahn, F., Julian der Abtrünnige
 «一高»
 // 36577 4443 Dose, J., Ein Bonapartefeind
 «一高»
 // 36579 4444 Dove, K., Die Kobra
 «一高»
 二高 37224 4483 Elbe, v. d., Des lustigen Heinz Bekenntnisse.
 «二高» «東北大附圖分館»
 // 37225 4484 // , Die Ricklinger
 «二高» «東北大附圖分館»
 // 37261 4505 Engel, E., Ausgewiesen
 «二高» «東北大附圖分館»
 // 37318 4519 Enking, O., Heine Stölting
 «二高»
 // 37599 4520 Federer, H., Pilatus
 «二高» «東北大附圖分館»
 三高 37649 4539 Freussen, G., Der Untergang der Anna Hollmann
 «三高» «京都大總人圖»
 // 37705 4561 Finckh, L., Die Reise nach Tripstrill
 «三高» «京都大總人圖»
 // 38243 4571 Goethes Werke, Auswahl in fünf Bänden II. Band
 «三高»
 // 38244 4572 // // III. //
 «三高»

- 37 -

// 38372 4610 Ludwig Ganghofers Gesammelte Schriften, Volksausgabe, VII. Bd.
 «三高» «京都大總人圖»
 // 38375 4611 // // X. //

«七高»				
//	40609	4873	Lenaus sämtliche Werke IV. Band	
«七高»				
//	40694	4917	Lieblein, S., Kismet	
«七高»				
//	40703	4918	Löffler, F. H., Martin Bötzingen I.	
«七高»				
//	40704	4919	// // II.	
«七高»				
//	40707	4920	Lambrecht, N., Die tolle Herzogin	
«七高»				
//	40907	4925	Mann, H., Flöten und Dolche	
«七高»				
八高	41008	4965	Madeleine, M., Die Kleider der Herzogin	
«八高»				
//	41009	4966	v. Mole, W., Totes Sein	
«八高»				
松山	42695	5058	Reisiger, H., Jakobsland	
«松山高»				
//	42696 ^{ab}	5059 ^{ab}	Raff H., Der Nebelreiter und andere Geschichte[n]	
«松山高»				
新潟	42997	5152	Friedrich Rückerts ausgewählte Werke (I. II.)	
«新潟高»•« ^v 新潟高»*				
//	42998	5153	// (III. IV.)	
«新潟高»•« ^v 新潟高»*				
//	42999	5154	// (V. VI.)	
«新潟高»•« ^v 新潟高»*				
松本	43328	52142	Schmidt, M., Hochlandsbilder	
«松本高»				«信州大松本圖»

松本	43334	5213	Schmidthenner, A., Psyche	
«松本高»				«信州大松本圖»
//	43407	5239	Schücking, L., Der Kampf im Spessart	
«松本高»				«信州大松本圖»
//	43439	5251	Seeberg, D., Die Eroberung von Wilhelmstein	
«松本高»				«信州大松本圖»
山口	43522	5269	Spitteler, C., Gerold und Hansli, Die Mädchenfeinde	
«山口高»				
//	43523	5270	// Gustav	
«山口高»				
//	43524	5271	// Friedli der Kolderi	

«山口高»				
//	43547	52795	Storch, L., Karl von Spanien I.	
«山口高»				
//	43618	5300	v. Straufs, L. und Torney; Judas	
«山口高»				«山口大總圖»
//	44000	5321	L. Tiecks Werke 1. Das Fest zu Kenelworth Dichterleben	
«山口高»				
//	44001	5322	Taubert, E., Die Niobide	
«山口高»				«山口大總圖»
//	44002	5323	Taunn, T., Im Lande der Jugend	
«山口高»				«山口大總圖»
//	44003	5324	// Im Lande der Leidenschaft	
«山口高»				«山口大總圖»

- 41 -

//	44005 ^{ab}	5325 ^{ab}	Thoma, L., Agricola	
«山口高»				
//	44012	5328	Telmann, K., Wer tat's?	
«山口高»				«山口大總圖»
//	44035	5338	Tovote, H., Sonnemanns	
«山口高»				«山口大總圖»
外語	44050	5342	Thoma, L., Lausbubengeschichten	
«東京外語»				«東京外語»
//	44051	5343	// Tante Frieda	
«東京外語»				«東京外語»
//	44053	5344	// Wittiber	
«東京外語»				«東京外語»
//	440304	5346	Urban, H., Der Eisberg	
«東京外語»				«東京外語»
//	44306	5347	v. Uxkull, W., Kaukasische Novellen	
«東京外語»				«東京外語»
//	44707	5355	R. Wagners sämtliche Schriften und Dichtungen V.	
«東京外語»				
//	44710	5356	// // X[? ✕V?]I.	
«東京外語»				
//	44790	5386	v. Werner, R., Der Peter von Danzig	
«東京外語»				«東京外語»
//	44806	5393	Wichert, E., Ein kleines Bild	
«東京外語»				«東京外語»

- 42 -

帝圖	44887	5433	v. Wildenbruch, Der Meister von Tanagna	
«帝國圖書館»				
//	44910	5445	Wohlbrück, Das goldene Bett	

«帝國圖書館»				
//	44947	5451	v. Wildenbruch, Gesammelte Werke Bd. VII.	
«帝國圖書館»				
//	44949	5452	≠ // // VIII.	
«帝國圖書館»				
//	45221 ^{ab}	5471 ^{ab}	v Zobeltitz, Das Heiratsjahr.	
«帝國圖書館»				
//	45269	5484	// Der gemol[hr]dete Wald	
«帝國圖書館»				

D. Volksbücher_[1]

1. Sammelwerke_[1]

山口	47015	5496	Rosegger, P., Das Ereignis in der Schnur. – 's Guderl. – Die Nottaufe.	
«山口高»				
				- 43 -
//	47033	5511	Muellenbach, E., Gebhard	
«山口高»				«山口大總圖»
//	47039	5512	Meyr, M., Die Lehrersbraut	
«山口高»				«山口大總圖»
松山	47361	5610	Brommy, R., Von Piraten gefangen	
«松山高»				
//	47362	5611	Richter, O., Tätigkeit unserer Marine und sonstige Seereignisse im deutschen-dänischen Kriege von 1864.	
«松山高»				
//	47363	5612	// , Wie unsere Kolonien Südafrika, Kamerun u. Togo erworben.	
«松山高»				
//	47364	5613	// , Die Forschungsreise Sr. Maj. Korvette „Gazelle“	
«松山高»				
//	47365	5614	// , Die ältesten Schiffe der preussisch-deutschen Marine.	
«松山高»				
//	47366	5615	// , Unsere Marine in China 1900/01. I.	
«松山高»				
//	47367	5616	// // II.	
«松山高»				
				- 44 -
松山	47368	5617	Richter, O., Unsere Marine bei der Unterdrückung des Herero-Aufstandes (1904/05)	
«松山高»				
八高	47973	5770	König, E., Der Dombaumeister von Prag.	
«八高»				
//	47976	5771	Niese, Ch., Aus schweren Tagen	

«八高»			
»	47977	5772	Kotzde, W., Und deutsch sei die Erde.
«八高»			
»	47978	5773	Höffner, J., Die Treue von Pommern.
«八高»			
»	47979	5774	Lobsien, W., Jodute!
«八高»			
»	47980	5775	Geucke, K., Der Steiger vom Davidrichtschaft
«八高»			
»	47981	5776	», Die Diamantinsel
«八高»			
»	47982	5777	Lobsien, W., Unter Schwedens Reichsbanner
«八高»			
»	47983	5778	Walter, R., Münchhausens Wiederkehr
«八高»			

- 45 -

2. Einzelwerke_[1]

一高	50052	5794	Altorf, P., Vom Fremdenlegionär zum preussischen Unteroffizier.	
«一高»				
»	50074	5799	Albert, R., Das Goldschiff	
«一高»				
»	50246	5822	Brunst, P., Vom Schiffsjungen bis zum Kapitän.	
«一高»				
二高	50723	5842	Dittmar, J., Im neuen China	
«二高»				«東北大附圖分館»
三高	51590	5892	Groner, A., Neue Kriminalnovellen II. Band	
«三高»				«京都大總人圖»
»	51702	5894	» Habt acht; 244 militärische Anekdoten und Witze	
«三高»				«京都大總人圖»
六高	52210	5976	Keil, R., K., Von der Schulbank nach Afrika	
«六高»				
»	52237	5983	Körber, P., Der Lootse der Gefion	
«六高»				
»	52238	5984	Krehmcke, K., Sigimer, der Alemanne	
«六高»				
»	52453 ^{a-d}	5997 ^{a-d}	- Auf weiter Fahrt, Selbsterlebnisse zur See und zu Lande. VI. Band	
«六高»				
七高	52561	6015	May, K., Die Helden des Westens	

- 46 -

«七高»				
八高	52303	6064	-	Joachim Nettelbeck, Bürger zu Kolberg
«八高»				
松本	53703	6188		Spindler, C., Der Jude II.
«松本高»				
//	53704	6189	//	// III.
«松本高»				
水戸	53965	6264		Tanera, K., Nser-ben-Abdallah, Der Araberfritz
«水戸高»				
//	54255	6269		Wagner, W., Prinz Eugén
«水戸高»				
佐賀	54506	6305	-	Ferdinand von Schill
«佐賀高»				

3. Märchen, Kalender, Jugendschriften.

- 47 -

山形	56491	6328		Deutscher Flottenkalender 1911.	
«山形高»					«福島圖研»
//	56492	6329		// // 1912.	
«山形高»					«福島圖研»
//	56621	6332		Jubiläums-Kalender des Deutschen Frauenvereins vom roten Kreuz für die Kolonien. 1913.	
«山形高»					«福島圖研»

XIII. Ausländische Literatur.

A. Englische Literatur.

2. Uebersetzungen aus dem Englischen.

四高	65542	6608		Cooper, J. F., Der letzte der Mohikaner	
«四高»					«金澤大中圖»
//	65548	6609	//	Der Bravo	
«四高»					«金澤大中圖»
佐賀	69211	6780		Twain, M., Gold und Silberland. III.	
«佐賀高»					«佐賀大附圖»

- 48 -

B. 1. Französische Literatur.

陸大	70016	6801		Balzac, De, Der Landarzt.	
«陸軍大»					
//	70024	6805		Bordeaux, Henry, La neige sur les pas	

«陸軍大»				
//	70025	6806	Bruneau, Récits de guerre (1870-1871)	
«陸軍大»				
//	70026	6807	// , Souvenirs d'a[A]lgérie	
«陸軍大»				
//	70027	6808	Braisne, de, Après le punch	
«陸軍大»				
//	70028	6809	Bounat, Le journal de Ti-ca	
«陸軍大»				
山形	70173	6854	Grosclaude, Pardon Madame!	
«山形高»				
//	70184	6855	Jourdain, F., Beaumignon	
«山形高»				
//	70188	6857	Hinzelin, E., Stenka Razin	
«山形高»				«山形大中國»
//	70210	6859	Ler[R]oux, G., Rouletabille chez le tsar	
«山形高»				
				- 49 -
佐賀	70224	6866	Loti, P., D'un enfant	
«佐賀高»				
//	70228	6870	Lein[asu]eur, D., Gilles de claircœur	
«佐賀高»				
//	70229	6871	London, J., L'amour de la vie – la foi des hommes	
«佐賀高»				«佐賀大附圖»
//	70231	6873	Lys, G., Chou-blanc	
«佐賀高»				«佐賀大附圖»
//	70232	6874	Lesueur, D., Au delà de l'Amour	
«佐賀高»				
//	70248	6881	Margueritte, P., Les fabrecé	
«佐賀高»				
海大	70254	6885	Maeterlinck, Marie-Magdæeleine	
«海軍大»				
//	70255	6886	Maupassant, Le Horla	
«海軍大»				
//	70256	6887	// Clair de Lune	
«海軍大»				
//	70264	6893	// Pierre & Jean	
«海軍大»				
//	70265	6894	// Contes de La Becasse	
«海軍大»				
//	70268	6895	// Les Dimanches dim[m]un bourgeois de Paris]	

«海軍大»

海大 70269 6896 Mille, P., Marianne – Uebersee

«海軍大»

// 70310 6910 O'm[~~m~~M]onroy, Turtur et Tote[[?] ~~Turtur et Tote~~ Tout en rose![?]]

«海軍大»

一高 70347^{ab} 6928^{ab} Prévost_[e,] Dernières, Lettres de Femmes

«一高»

// 70348 6929 // , Les Auges gardiens

«一高»

// 70349 6930 // , Mademoiselle Jaufre

«一高»

// 70370 6939 Rossel, V., Anna Sentéri

«一高»

// 70371 6940 Rachilde, Der Wo[~~o~~ö]lfinnen Aufruhr

«一高»

// 70372 6941 Roger-Milès, La Cité de misère

«一高»

// 70387 6943 Sardon[~~au~~], V., Madame Sans Gène

«一高»

二高 70405 6952 Silvestre, Contes tragiques et sentimentaux

«二高»

«東北大附圖分館»

// 70435 6957 Vandérem, Les Deux Rives

«二高»

«東北大附圖分館»

D. Orientalische Literatur.

東大 80027 7145 Wilhelm (übersetzt von), Ku Hung-Ming

«東京帝大»

// 80041 7148 Buber (//), Reden und Gleichnisse des Tschuang=Tse.

«東京帝大»

// 80042 7149 Mootz, H., Mong dse (孟子)

«東京帝大»

// 80043 7150 Wilhelm, Dschuang dsi 莊子南華真經

«東京帝大»

XIV. A. Kunst und Kunstgeschichte.

京大 84519 7194 Deutsche Kunst und Dekoration (29) 1911/1912

«京都帝大»

// 84520 7195 // // // // (30) 1912
 «京都帝大»
 // 84534 7204 Die Kunst 1911 Bd. II.
 «京都帝大»

- 52 -

京大 84535 7205 Die Kunst 1912
 «京都帝大»
 // 84539 7206 Dekorative Kunst 1913
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 84581 7228 The Studio 1912 IV.
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 84633 7259 Der Kunstwart 1911 III.
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 84634 7260 // // // IV.
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 84635 7261 // // 1912. I.
 «京都帝大»
 // 84636 7262 // // // II.
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 84637 7263 // // // III.
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 84638 7264 // // // IV.
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 84639 7265 // // 1913 I.
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 84640 7266 // // // II.
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 84641 7267 // // // III.
 «京都帝大» «京都大附圖»

- 53 -

// 84690 7269 Innen-Dekoration - 1912-
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 84692 7270 // - 1913-
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 85299 7283 Knackfufs, H., Velazquez
 «京都帝大»
 // 85309 7292 // , Rembrandt
 «京都帝大»
 // 85320 7294 // , Dürer
 «京都帝大»
 // 85497 7356 Hagemann, C., Regie (Studien zur dramatischen Kunst)
 «京都帝大» «京都大附圖»

B. Musik₁

京大 85611 7369 Schering, A., Musikalische Bildung
 «京都帝大» «京都大附圖»
 // 85622 7379 Istel, E., Das Kunstwerk Richard Wagners

**XV. Bau- und Maschinenwesen.
Technik, Industrie.**

士官	85382	7329b	Matthaei, A., <i>Deutsche Baukunst I</i> ²	
«陸軍士官校»				
九大	86012	7399	Die Technik im zwanzigsten Jahrhundert I.	«九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86013	7400	〃	II. «九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86014	7401	〃	III. «九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86015	7402	〃	IV. «九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	860103	7416	Alfred Krupp und die Entwicklung der Gußstahlfabrik zu Essen.	«九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86104	7417	Kollbach, K., <i>Deutscher Fleiß, Wanderungen durch die Fabriken etc.</i> I.	«九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86105	7418	〃	II. «九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86200	7419	Roppold, O., <i>Kanal- und Schleusenbau.</i>	«九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86203	7421	Schwarz, T., <i>Die Entwicklung des Kriegsschiffbaues vom Altertum bis zur Neuzeit I.</i>	«九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86204	7422	〃	II. «九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86432	7460	Lehmann, H., <i>Die Kinematographie</i>	«九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86433	XV-2 ^{番外}	David, <i>Ratgeber im Photographieren.</i>	
«九州帝大»				
〃	86502 ^{ab}	7461 ^{ab}	Berlin und seine Arbeit, amtlicher Bericht der Berliner Gewerb[e]-Ausstellung 1896.	«九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86515	7474	Bau, A., <i>Bierbrauerei</i>	«九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86516	7475	Glafey, H., <i>Die Textilindustrie</i>	«九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86517	7476	Lehmann, M., <i>Die Spinnerei</i>	«九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86810	87490	Was man von einem Hausbau wissen mufs.	«九州大中圖»
«九州帝大»				
〃	86811	7491	Weinlig, O. F., <i>Haus und Heim im Kleinen</i>	

XVI. Handel und Verkehr, Schiffahrt.

外務	87024	7503	Archiv für Post und Telegraphie	1912
«外務»				
〃	87025	7504	〃	1913
«外務»				
〃	87035	7509	Andree's Geographie des Welthandels II.	
«外務»				
〃	87036	7510	〃	〃
«外務»				III.
〃	87037	7511	Hennig, Problem[e] des Weltverkehrs	
«外務»				
〃	87204	7516	Melnik, Die Hamburg-Amerika Linie	
«外務»				
〃	87213	7524	Neubauer, P., Die deutschen Reichspostdampferlinien	
«外務»				
〃	87215	7525	Scholtz, u. Vogt, Handbuch für den Verkehr mit Japan	
«外務»				
〃	87281	7526	- Weltverkehr und Weltwirtschaft	1911/1912
«外務»				
〃	87282	7527	- 〃 〃 〃	1912/1913
«外務»				
				[- 57 -]
陸文	87717	7540	Adressbuch der[rs] deutschen Kiautschougebiet[es]	
«參謀陸軍文庫»				
〃	87718	7541	〃 〃 〃	〃
«參謀陸軍文庫»				

XVII. Land-, Forst[-] u. Hauswirtschaft, Vieh- und Pferdzuucht.

農大	88016	7567	Dr. Wagner, Die Organisation der land- und forstwirtschaftlichen Abteilung der Deutsch-Chinesischen Hochschule.
«北海道帝大»•« ^Y 北海道帝大»			
〃	88017	7568	Schanz, M., Die Baumwolle in Ostasien.
«北海道帝大»•« ^Y 北海道帝大»			

XVIII. Spiel und Sport.

水戸	89000	7595	v. Tepper-Laski, Rennreiten
«水戸高»			
山形	89020	7612	– Jungdeutschlands Pfadfinderbuch.
«山形高»			
佐賀	89251	7628	Pehle, W., Der Kegelsport
«佐賀高»			
//	89518	7637	– Sport im Bild. II. Halbjahr, 1911.
«佐賀高»			
